福島県立医科大学学術成果リポジトリ
FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

令和4年（2022年）福島県立医科大学業績集

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2024-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001507

福島県立医科大学業績集

令 和 4 年

福島県立医科大学

目　　次

Ⅰ　福島県立医科大学業績 …… 1

論文・書籍等出版物・研究発表等

Ⅱ　受賞一覧 ……629

Ⅲ　共同研究・競争的資金等の研究課題一覧 ……641

Ⅳ　産業財産権の設定の登録一覧 ……727

令和４年掲載内容件数

理事長業績	4 件
医学部業績	4,376 件
看護学部業績	122 件
保健科学部業績	443 件
附属病院，他業績	1,646 件
受賞	68 件
共同研究・競争的資金等の研究課題	833 件
産業財産権の設定の登録	16 件
総計	7,508 件

Ⅰ　福島県立医科大学業績

論文・書籍等出版物・研究発表等

福島県立医科大学業績　論文・著書・研究発表等

理事長 1

医学部

神経解剖・発生学講座 1
解剖・組織学講座 3
細胞統合生理学講座 4
システム神経科学講座 5
生化学講座 5
免疫学講座 7
病態制御薬理医学講座 8
微生物学講座 9
基礎病理学講座 11
衛生学・予防医学講座 13
公衆衛生学講座 18
法医学講座 26
放射線生命科学講座 28
疫学講座 31
放射線物理化学講座 43
健康リスクコミュニケーション学講座 45
循環器内科学講座 47
血液内科学講座 68
消化器内科学講座 77
リウマチ膠原病内科学講座 92
腎臓高血圧内科学講座 101
糖尿病内分泌代謝内科学講座 108
脳神経内科学講座 118
呼吸器内科学講座 119
消化管外科学講座 130
肝胆膵・移植外科学講座 146
呼吸器外科学講座 156
乳腺外科学講座 169
心臓血管外科学講座 179
外科研修支援担当 181
脳神経外科学講座 188
整形外科学講座 192
形成外科学講座 199
産科婦人科学講座 201
小児科学講座 206
眼科学講座 217
皮膚科学講座 222
泌尿器科学講座 233
耳鼻咽喉科学講座 245
神経精神医学講座 251
放射線医学講座 258
麻酔科学講座 266
救急医療学講座 273
病理病態診断学講座 276
臨床検査医学講座 277
感染制御学講座 281
輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部 283
地域・家庭医療学講座 292
放射線健康管理学講座 295
甲状腺内分泌学講座 300
災害こころの医学講座 303
放射線腫瘍学講座 310
腫瘍内科学講座 311
放射線災害医療学講座 315
リハビリテーション医学講座
／リハビリテーションセンター 318
人間科学講座　生命倫理学分野 319
自然科学講座　数理情報学分野 320
自然科学講座　先端化学分野 320
自然科学講座　分子細胞生物学分野 322
自然科学講座　数理物質科学分野 322
生体物質研究部門 323
細胞科学研究部門 324
生体機能研究部門 325
放射性同位元素研究施設 327
実験動物研究施設 327

災害危機管理看護学講座.....334
国際被ばく保健看護学講座.....334
周産期・小児地域医療支援講座.....335
災害医療支援講座.....338
地域救急医療支援講座.....341
地域産婦人科支援講座.....343
白河総合診療アカデミー.....344
東白川整形外科アカデミー.....346
疼痛医学講座.....348
スポーツ医学講座.....351
外傷学講座.....352
外傷再建学講座.....360
生体機能イメージング講座.....365
多発性硬化症治療学講座.....369
低侵襲腫瘍制御学講座.....374
心臓調律制御医学講座.....380
運動器骨代謝学講座.....383
手外科・四肢機能再建学講座.....385
ヒト神経生理学講座.....385
総合内科・臨床感染症学講座.....388
地域包括的癌診療研究講座.....390
先端地域生活習慣病治療学講座.....391
周産期間葉系幹細胞研究講座.....393
癌集学的治療地域支援講座.....398
エピゲノム分子医学研究講座.....401
アスタチン核種治療研究講座.....403
甲状腺治療学講座.....403
救急・生体侵襲制御学講座.....407
地域婦人科腫瘍学講座.....408
地域支援視機能再建学講座.....409

看護学部

総合科学部門　言語学分野.....410
総合科学部門　行動科学分野（心理学）.....410
総合科学部門　行動科学分野（社会学）.....411
総合科学部門　保健情報学・疫学分野.....412
生命科学部門.....415
基礎看護学部門.....417
成人・老年看護学部門.....418
小児・精神看護学部門.....421
地域・公衆衛生看護学部門.....421
母性看護・助産学部門.....422

保健科学部

理学療法学科.....424
作業療法学科.....436
診療放射線科学科.....440
臨床検査学科.....450
総合科学.....462

附属病院，他

附属病院長.....464
医療安全管理部.....479
医療情報部.....479
患者サポートセンター.....480
ふたば救急総合医療支援センター.....487
総合内科.....489
小児外科.....491
小児腫瘍内科.....494
歯科口腔外科.....495
検査部.....497
放射線部.....500
手術部.....502
集中治療部.....504
総合周産期母子医療センター.....507
病理部.....511
内視鏡診療部.....511
臨床腫瘍センター.....521
臨床工学センター.....522
臨床研究教育推進部.....522
性差医療センター.....527

薬剤部 528
助産師養成課程設置準備室.....530
大学健康管理センター.....532
甲状腺検査室.....534
総合科学教育研究センター　人文社会科学系領域.....535
総合科学教育研究センター　自然科学系領域.....537
医療人育成・支援センター.....542
看護師特定行為研修センター 550
医療研究推進センター.....555
地域医療支援センター.....556
ふくしま子ども・女性医療支援センター 563
放射線医学県民健康管理センター.....569
健康増進センター 579
甲状腺・内分泌センター.....580
先端臨床研究センター.....582
医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター..586
臨床研究イノベーションセンター.....587

会津医療センター

総合内科学講座 591
漢方医学講座 595
循環器内科学講座..... 600
血液内科学講座 601
消化器内科学講座..... 602
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座 603
感染症・呼吸器内科学講座 606
精神医学講座 607
小腸・大腸・肛門科学講座 610
外科学講座..... 615
整形外科・脊椎外科学講座 619
耳鼻咽喉科学講座..... 625
臨床医学部門 626

凡　　例

1.　本業績集は、令和４（2022）年に発表された論文、書籍等出版物、研究発表等を収録した。

2.　収録は、所属別とし、業績の種類により、

　1）論文　①原著　②総説等　③症例報告　④研究報告書　⑤その他

　2）書籍等出版物

　3）研究発表等　①研究発表　②シンポジウム　③特別講演　④招待講演　⑤その他

　4）その他の業績　の順に記載した。

3.　記載方法

⑴　論文については、著者名、標題、掲載誌名、出版年月、巻（号）、頁の順に記載した。

⑵　書籍等出版物については、著者名、書名、出版地、出版者名、出版年の順に記載した。ただし、分担執筆の場合は、担当論題、頁を記入した。

⑶　研究発表等については、発表者名、発表題名、発表会議名、発表年月日、開催地（または開催形態）、掲載資料名、巻（号）、頁の順に記載した。

理事長

論　　文

〔原　著〕

Sawano T, Tsubokura M, Ohto H, Kamiya K, Takenoshita S. An attack on a nuclear power plant during a war is indiscriminate terrorism. Lancet. 202204; 399(10333):1379.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

〔総説等〕

Shibata M, Kono K, Takenoshita S. Inhibiting VEGF in cancer immunotherapy. Clinical Immunology Communications. 202212; 2:12-16.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 2022; 5(1):134-144.

神経解剖・発生学講座

論　　文

〔原　著〕

Shichinohe T, Kondo T, Date H, Hiramatsu M, Hirano S, Ide C, Iwanaga T, Izawa Y, Kikuta A, Kobayashi E, Matsui Y, Nohara Y, Shibata T, Shirakawa Y, Suzuki T, Takahashi H, Taneichi H, Tsurumoto T, Uchiyama Y, Watanabe M, Yaginuma H, Yamaguchi K, Yoshida K. Guidelines for cadaver dissection in education and research of clinical medicine (The Japan Surgical Society and The Japanese Association of Anatomists). Anatomical Science International. 202207; 97(3):235-240.

Shichinohe T, Date H, Hirano S, Kobayashi E, Izawa Y, Shirakawa Y, Hiramatsu M, Mase M, Taneichi H, Yaginuma H, Fujimoto T, Tsurumoto T, Watanabe M, Kurita H, Hato N, Kato T, Kanayama H, Suzuki T,

Yamaguchi K, Takeda Y. Usage of cadavers in surgical training and research in Japan over the past decade. Anatomical Science International. 202207; 97(3):241-250.

Maejima Y, Yokota S, Ono T, Yu Z, Yamachi M, Hidema S, Nollet KE, Nishimori K, Tomita H, Yaginuma H, Shimomura K. Identification of oxytocin expression in human and murine microglia. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry. 202212; 119:110600.

Shichinohe T, Kondo T, Date H, Hiramatsu M, Hirano S, Ide C, Iwanaga T, Izawa Y, Kikuta A, Kobayashi E, Matsui Y, Nohara Y, Shibata T, Shirakawa Y, Suzuki T, Takahashi H, Taneichi H, Tsurumoto T, Uchiyama Y, Watanabe M, Yaginuma H, Yamaguchi K, Yoshida K. Guidelines for cadaver dissection in education and research of clinical medicine (The Japan Surgical Society and The Japanese Association of Anatomists). Surgery Today. 202207; 52(7):989-994.

〔総説等〕

八木沼洋行，向笠勝貴. 運動神経細胞の発生・分化・細胞死から見る「くび」の進化. 解剖学雑誌. 202209; 97(2):60-64.

橋本光広. 小脳プルキンエ細胞から内側傍小脳脚核への直接神経投射. 細胞. 202202; 54(2):115-117.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

岡村悠里，本間俊作，八木沼洋行. 壁外枝の存在・意義の再検討. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

岡本康成，本間俊作，八木沼洋行. 膝前外側靭帯の存在・意義についての再検討. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

橋本明佑美，本間俊作，八木沼洋行. 腕神経叢を腹側から背側に貫く破格筋について. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

橋本光弘，八木沼洋行. 3D プリンタで作製した LED 照明付きガラスキャピラリーホルダーは、脳定位固定装置を用いた脳内微量注入を改善する. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

向笠勝貴，八木沼洋行. ニワトリ胚側板中胚葉トランスクリプトームの領域別比較解析. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

渡邉裕二，八木沼洋行. The roles for Wnt signaling in the layers formation of developing avian optic tectum. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

向笠勝貴，佐久間千恵，八木沼洋行. 神経管パターニング遺伝子のシス制御配列の進化可能性. 日本発生生物学

会第 55 回大会; 20220601-03; 金沢.

赤間沙彩，**佐久間千恵**，**向笠勝貴**，**八木沼洋行**. マウス胚における頸部運動神経細胞群の早期プログラム細胞死は特定の運動神経サブグループに起こるか. 日本解剖学会第 68 回東北・北海道連合支部学術集会; 20220910-11; 札幌/Web.

橋本光広，**八木沼洋行**. 脳定位固定装置を用いた脳内微量注入を改善する、3D プリンタで作製した LED 照明付きガラスキャピラリーホルダー. 日本解剖学会第 68 回東北・北海道連合支部学術集会; 20220910-11; 札幌/Web.

本間俊作. 発生学的な筋文化コンパートメントに基づく脊髄神経分岐パターン. 日本人類学会　ヒト・霊長類比較解剖学分科会拡大研究会　肉眼解剖学セミナー新潟　まとめの研究会; 20221126; 高崎.

〔その他〕

八木沼洋行. 運動神経細胞の発生・分化・細胞死から見た「くび」の進化. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

解剖・組織学講座

論　　文

〔原　著〕

Ding WX, Ni HM, Waguri S, Komatsu M. Lack of Hepatic Autophagy Promotes Severity of Liver Injury but Not Steatosis. Journal of Hepatology. 202211; 77(5):1458-1459.

Ishimura R, El-Gowily AH, Noshiro D, Komatsu-Hirota S, Ono Y, Shindo M, Hatta T, Abe M, Uemura T, Lee-Okada HC, Mohamed TM, Yokomizo T, Ueno T, Sakimura K, Natsume T, Sorimachi H, Inada T, Waguri S, Noda NN, Komatsu M. The UFM1 system regulates ER-phagy through the ufmylation of CYB5R3. Nature Communications. 202212; 13(1):7857.

Yesbolatova AK, Arai R, Sakaue T, Kimura A. Formulation of Chromatin Mobility as a Function of Nuclear Size during C. elegans Embryogenesis Using Polymer Physics Theories. Physical Review Letters. 202204; 128(17):178101.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

田村直輝，和栗聡．高浸透圧ストレスに応答した非膜性オルガネラの形成・分解機序．第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

植村武文，和栗聡．膜交通による EGFR の寿命調節機構．日本顕微鏡学会第 78 回学術講演会; 20220511-13; 郡山.

田村直輝，和栗聡．高浸透圧ストレス下で形成される非膜性オルガネラの比較解析．第 74 回日本細胞生物学会大会; 20220628-30; 東京/Web.

植村武文，和栗聡．クラスリンアダプターAP-1 複合体は EGFR 発現を調節する．日本解剖学会第 68 回東北・北海道連合支部学術集会; 20220910-11; 札幌/Web.

〔シンポジウム〕

Arai R, Yamashita SI, Sugisaki T, Huajui W, Kanki T, Waguri S. Ultrastructural analysis on the process of isolation membrane formation during piecemeal mitophagy. 日本顕微鏡学会第 78 回学術講演会; 20220511-13; 郡山.

〔招待講演〕

Uemura T, Waguri S. Roles of recycling endosome-localized clathrin adaptors AP-1 and GGA2 in regulation of cell surface expression of EGFR for cell growth. 第 127 回日本解剖学会総会・全国学術集会; 20220327-29; Web.

細胞統合生理学講座

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Miyake M, Yoshie S, Kaneko S, Hazama A. Selection of frozen mouse early embryos by membrane potential measurement. 第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web.

Kobayashi D, Nishimura N, Hazama A. Cesium application depresses glycolysis pathway in HeLa cell. 第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web. Journal of Physiological Sciences. 72(Supplement 1):87.

システム神経科学講座

論　　文

〔原　著〕

Sugano Y, Maeda S, Kato Y, Kasai A, Tsuji S, Okamoto M, Sekiryu T. Morphometrics in three dimensional choroidal vessel models constructed from swept-source optical coherence tomography images. Scientific Reports. 202209; 12(1):15130.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

加藤由美子，高橋和巳，永福智志. 睡眠・覚醒サイクルにおけるラット視床下部背内側核ニューロンの活動記録. 第 16 回環境生理学プレコングレス; 20220315; 仙台/Web.

Takahashi K, Kato Y, Eifuku S. Single neuronal activity in the dorsomedial hypothalamic nucleus of rats across sleep-wake cycles. 第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web.

高橋和巳，加藤由美子，永福智志. 睡眠・覚醒時のラット視床下部背内側核における単一ニューロン活動. 日本睡眠学会第 47 回定期学術集会; 20220630-0701; 京都.

生化学講座

論　　文

〔原　著〕

Okamoto D, Yamauchi N, Takiguchi G, Nishita M, Kakeji Y, Minami Y, Kamizaki K. Autonomous and intercellular chemokine signaling elicited from mesenchymal stem cells regulates migration of undifferentiated gastric cancer cells. Genes to Cells. 202205; 27(5):368-375.

Kariya Yoshinobu, Kariya Yukiko. Osteopontin in Cancer: Mechanisms and Therapeutic Targets. International Journal of Translational Medicine. 202208; 2(3):419-447.

Saji T, Nishita M, Ikeda K, Endo M, Okada Y, Minami Y. c-Src-mediated phosphorylation and activation of kinesin KIF1C promotes elongation of invadopodia in cancer cells. Journal of Biological Chemistry. 202207; 298(7):102090.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High Correlation among Brain-Derived Major Protein Levels in Cerebrospinal Fluid: Implication for Amyloid-Beta and Tau Protein Changes in Alzheimer's Disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Abe E, Fuwa TJ, Hoshi K, Saito T, Murakami T, Miyajima M, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Hashimoto Y, Honda T. Expression of Transferrin Protein and Messenger RNA in Neural Cells from Mouse and Human Brain Tissue. Metabolites. 202206; 12(7):594.

Sonoda D, Kamizaki K, Matsuo Y, Aruga K, Mikubo M, Yamashita K, Nishita M, Minami Y, Satoh Y. Characterization of morphological alterations in micropapillary adenocarcinoma of the lung using an established cell line. Oncology reports. 202201; 47(1):19.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

苅谷慶喜，苅谷由貴子. 癌悪性化におけるリン酸化オステオポンチンの意義. 第８回マトリセルフォーラム; 20220910; つくば.

永井友朗，桃北恵輔，梶弘和，西田満. Slug 依存的な上皮間葉転換の誘導が集団的細胞運動に与える影響. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋.

前田紗希，永井友朗，梶弘和，西田満. TGF-β刺激依存的な集団移動における ROCK 阻害剤 Y-27632 の影響. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋.

渡部祐亮，星京香，紙崎孝基，澁谷浩司，南康博，西田満. Rif 低分子量 G タンパク質の細胞内局在と機能の制御機構. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋

免疫学講座

論　　文

〔原　著〕

Kusakari K, Machida T, Ishida Y, Omori T, Suzuki T, Sekimata M, Wada I, Fujita T, Sekine H. The complex formation of MASP-3 with pattern recognition molecules of the lectin complement pathway retains MASP-3 in the circulation. Frontiers in Immunology. 202208; 13:907023.

Matsumoto H, Fujita Y, Onizawa M, Saito K, Sumichika Y, Yoshida S, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Machida T, Watanabe H, Migita K. Increased CEACAM1 expression on peripheral blood neutrophils in patients with rheumatoid arthritis. Frontiers in Immunology. 202212; 13:978435.

Kato Y, Oguchi Y, Omori T, Kasai A, Ogasawara M, Sugano Y, Itagaki K, Ojima A, Ishida Y, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Age-Related Maculopathy Susceptibility 2 and Complement Factor H Polymorphism and Intraocular Complement Activation in Neovascular Age-Related Macular Degeneration. Ophthalmology Science. 202204; 2(2):100167.

〔総説等〕

町田豪，関根英治．総論　補体の多面性　自然免疫・獲得免疫と補体．日本臨床. 202211; 80(11):1728-1734.

大森智子，関根英治，石龍鉄樹．補体異常症　加齢黄斑変性．日本臨床. 202211; 80(11):1795-1801.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大森智子，町田豪，石田由美，石龍鉄樹，関根英治．ヨウ素酸ナトリウム誘発網膜障害モデルマウスにおける MASP-1 の役割．第 58 回日本補体学会学術集会; 20220820; 江別.

病態制御薬理医学講座

論　　文

〔原　著〕

Imai R, Mizuno K, Omiya Y, Mizoguchi K, Maejima Y, Shimomura K. The effects of ninjin'yoeito on the electrophysiological properties of dopamine neurons in the ventral tegmental area/substantia nigra pars compacta and medium spiny neurons in the nucleus accumbens. Aging. 202206; 14(11):4634-4652.

Fujiwara M, Shimizu M, Maejima Y, Shimomura K. Efficacy of SGLT2 inhibitors as additional treatment in Japanese type 2 diabetic patients: second or third choice? BMC Research Notes. 202203; 15(1):120.

Misaka S, Ono Y, Taudte RV, Hoier E, Ogata H, Ono T, König J, Watanabe H, Fromm MF, Shimomura K. Exposure of Fexofenadine, but Not Pseudoephedrine, Is Markedly Decreased by Green Tea Extract in Healthy Volunteers. Clinical Pharmacology and Therapeutics. 202209; 112(3):627-634.

Ono Y, Saito M, Sakamoto K, Maejima Y, Misaka S, Shimomura K, Nakanishi N, Inoue S, Kotani J. C188-9, a specific inhibitor of STAT3 signaling, prevents thermal burn-induced skeletal muscle wasting in mice. Frontiers in Pharmacology. 202212; 13:1031906.

Shikano H, Ikeda A, Maejima Y, Kobayashi S, Terauchi T, Yokoyama J, Shimomura K, Taira S. Optimization of the use of Py–Tag for next generation derivatization reagents in imaging mass spectrometry. Journal of Bioscience and Bioengineering. 202209; 134(3):264-268.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Yamachi M, Shimizu M, Ono T, Yu Z, Tomita H, Shimomura K. Surface translocation of Kir2.1 channel induces IL-1β secretion in microglia. Molecular and Cellular Neurosciences. 202205; 120:103734.

Maejima Y, Yokota S, Ono T, Yu Z, Yamachi M, Hidema S, Nollet KE, Nishimori K, Tomita H, Yaginuma H, Shimomura K. Identification of oxytocin expression in human and murine microglia. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry. 202212; 119:110600.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

日出間志寿，前島裕子，下村健寿，水野景太，西森克彦．加味帰脾湯はオキシトシン欠損マウスが示す向社会性行動異常を改善する．第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web.

〔シンポジウム〕

長由扶子，日出間志寿，大村卓朗，土屋成輝，小池一彦，小池香苗，及川寛，此木敬一，大島泰克，山下まり．渦鞭毛藻における麻痺性貝毒の生合成．令和４年度日本水産学会春季大会; 20220329; Web.

〔招待講演〕

三坂眞元．臨床薬理学からみた緑茶と薬物の相互作用．日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022; 20221106; 静岡．講演要旨集. 61.

微生物学講座

論　　文

〔原　著〕

Sakata H, Suzutani T, Kanzaki S, Ogawa K, Kaga K. Efficacy of transtympanic infusion of dexamethasone into the tympanic cavity in mice with acute sensorineural healing loss associated with cytomegalovirus infection. Acta Oto-laryngologica. 202209; 142(9-12):647-652.

Suenaga T, Mori Y, Suzutani T, Arase H. Siglec-7 mediates varicella-zoster virus infection by associating with glycoprotein B. Biochemical and Biophysical Research Communications. 202206; 607:67-72.

Suenaga T, Mori Y, Suzutani T, Arase H. Regulation of Siglec-7-mediated varicella-zoster virus infection of primary monocytes by cis-ligands. Biochemical and Biophysical Research Communications. 202207; 613:41-46.

Honda-Takanami R, Hata J, Matsuoka K, Hoshi S, Koguchi T, Sato Y, Akaihata H, Kataoka M, Ogawa S, Nishiyama K, Suzutani T, Kojima Y. Association between the presence of bacteria in prostate tissue and histopathology in biopsies from men not complaining of lowr urinary tract symptoms. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):161-167.

Jin H, Kishida K, Arase N, Matsuoka S, Nakai W, Kohyama M, Suenaga T, Yamamoto K, Sasazuki T, Arase H. Abrogation of self-tolerance by misfolded self-antigens complexed with MHC class II molecules. Science Advances. 202203; 8(9):eabj9867.

Fukatsu M, Ohkawara H, Wang X, Alkebsi L, Furukawa M, Mori H, Fukami M, Fukami S-I, Sano T, Takahashi H, Harada-Shirado K, Kimura S, Sugimoto K, Ogawa K, Ikezoe T. The suppressive effects of Mer inhibition on inflammatory responses in the pathogenesis of LPS-induced ALI/ARDS. Science Signaling. 202203; 15(724):eabd2533.

Beppu S, Kinoshita M, Wilamowski J, Suenaga T, Yasumizu Y, Ogawa K, Ishikura T, Tada S, Koda T, Murata H, Shiraishi N, Sugiyama Y, Kihara K, Sugimoto T, Arase H, Standley DM, Okuno T, Mochizuki H. High cell surface expression and peptide binding affinity of HLA-DQA1*05:03, a susceptible allele of neuromyelitis optica spectrum disorders (NMOSD). Scientific Reports. 202201; 12(1):106.

Uotani R, Miyazaki D, Shimizu Y, Ohtani F, Haruki T, Sasaki SI, Koyama A, Inoue Y, Suzutani T. Antiviral cytotoxic T lymphocyte responses for long term prognosis of corneal infection by cytomegalovirus in immunocompetent subjects. Scientific Reports. 202203; 12(1):5419.

末永忠広，錫谷達夫. 先天性サイトメガロウイルス感染症の現状と課題　サイトメガロウイルスの感染メカニズムと抗ウイルス抗体. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 202204; 57(4):761-764.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

北畠健裕，石岡賢，宮崎希，錫谷達夫. 単純ヘルペスウイルス１型 UL50 遺伝子変異（dUTPase 欠損）株は新生児マウスで神経病原性を示す. 第 74 回日本細菌学会東北支部総会; 20220822-23; 福島.

宮﨑希，尾崎千明，錫谷達夫. 大豆イソフラボンの腸内代謝物（エクオール）による膀胱過活動予防効果. 第 74 回日本細菌学会東北支部総会; 20220822-23; 福島.

宮﨑希，桂涼太，尾崎千明，錫谷達夫. エクオールの神経保護作用による下部尿路閉塞ラットにおける排尿筋過活動の予防効果. 第 29 回日本排尿機能学会; 20220901-03; 札幌.

錫谷達夫. アメナメビル耐性単純ヘルペスウイルス（HSV）の性状解析. 第 30 回日本抗ウイルス療法学会学術集会; 20220915-17; 京都.

橋本理奈，末永忠広，錫谷達夫. 白金ー銀ナノ粒子の消毒効果. 第 69 回日本ウイルス学会学術集会; 20221113-15; 長崎.

緑川一清，末永忠広，河俣貴也，尾崎千明，石岡賢，錫谷達夫. ヒトサイトメガロウイルス glycoprotein N（gN）の多型の解析. 第 69 回日本ウイルス学会学術集会; 20221113-15; 長崎.

基礎病理学講座

論　　文

〔原　著〕

Saito AC, Endo C, Fukazawa Y, Higashi T, Chiba H. Effects of TAMP family on the tight junction strand network and barrier function in epithelial cells. Annals of the New York Academy of Sciences. 202211; 1517(1):234-250.

Kashiwagi K, Sato-Yazawa H, Ishii J, Kohno K, Tatsuta I, Miyazawa T, Takagi M, Chiba H, Yazawa T. LXRß Activation Inhibits the Proliferation of Small-cell Lung Cancer Cells by Depleting Cellular Cholesterol. Anticancer Research. 202206; 42(6):2923-2930.

Ito Y, Takasawa A, Takasawa K, Murakami T, Akimoto T, Kyuno D, Kawata Y, Shano K, Kirisawa K, Ota M, Aoyama T, Murata M, Sugimoto K, Chiba H, Saito T, Osanai M. Aberrant expression of claudin-6 contributes to malignant potentials and drug resistance of cervical adenocarcinoma. Cancer Science. 202204; 113(4):1519-1530.

Park S, Sater AHA, Fahrmann JF, Irajizad E, Cai Y, Katayama H, Vykoukal J, Kobayashi M, Dennison JB, Garcia-Manero G, Mullighan CG, Gu Z, Konopleva M, Hanash S. Novel UHRF1-MYC Axis in Acute Lymphoblastic Leukemia. Cancers. 202208; 14(17):4262.

Hui SP, Sugimoto K, Sheng DZ, Kikuchi K. Regulatory T cells regulate blastemal proliferation during zebrafish caudal fin regeneration. Frontiers in Immunology. 202208; 13:981000.

Irajizad E, Fahrmann JF, Long JP, Vykoukal J, Kobayashi M, Capello M, Yu CY, Cai Y, Hsiao FC, Patel N, Park S, Peng Q, Dennison JB, Kato T, Tai MC, Taguchi A, Kadara H, Wistuba II, Katayama H, Do KA, Hanash SM, Ostrin EJ. A Comprehensive Search of Non-Canonical Proteins in Non-Small Cell Lung Cancer and Their Impact on the Immune Response. International Journal of Molecular Sciences. 202208; 23(16):8933.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

小林信，杉本幸太郎，千葉英樹. 臨床検体を用いたバイオマーカー研究　がん自己抗体研究の軌跡. 電気泳動. 202210; 66(1):43-46.

〔症例報告〕

Akanuma H, Iizuka T, Abe D, Yoshida K, Matsuda N, Sugimoto K, Hashimoto Y, Kanai K. Paraneoplastic

anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis associated with small cell lung cancer and cytotoxic T-cell-mediated pathology: Case report. Frontiers in Immunology. 202208; 13:952868.

書籍等出版物

Higashi T, Furuse M. Tricellular Tight Junctions. In: González-Mariscal L. Tight Junctions. Switzerland: Springer Nature; 202206. p.11-26.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

杉本幸太郎，西間木淳，小林信，千葉英樹. 肝受容体ホモログ-1(LRH1)の異常セリンリン酸化による肝癌と膵癌の悪性形質増強機構. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):237.

小林信，杉本幸太郎，遠藤雄大，宮川諒也，瓜生開，田口歩，千葉英樹. 卵巣癌に起因する細胞表面タンパク質シグネチャーの同定. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):250.

遠藤雄大，杉本幸太郎，小林信，藤森敬也，千葉英樹. Claudin-9 は子宮内膜癌の予後不良因子である. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):287.

瓜生開，杉本幸太郎，遠藤雄大，小林信，千葉英樹. 卵巣癌新規診断マーカーとしての Claudin-12. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):353.

宮川諒也，小林信，杉本幸太郎，千葉英樹. Spondin-1 は卵巣癌における新規予後マーカーとなり得る. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):353.

小林信，杉本幸太郎，宮川諒也，瓜生開，遠藤雄大，小林靖幸，田口歩，千葉英樹. 卵巣癌の新規バイオマーカーとしての Spondin-1. 第 68 回日本病理学会秋期特別総会; 20221117-18; 盛岡.

〔シンポジウム〕

小林信，杉本幸太郎，宮川諒也，瓜生開，遠藤雄大，小林靖幸，田口歩，千葉英樹. Surfaceome 解析を基盤とした卵巣癌細胞表面タンパク質シグネチャーの同定. 日本プロテオーム学会 2022 年大会; 20220808-10; 相模原.

〔特別講演〕

千葉英樹. 細胞接着ー核内受容体シグナルは多彩な細胞機能を制御する. 日本レチノイド研究会第 33 回学術集会; 20221014-15; いわき.

〔招待講演〕

小名木彰史，**杉本幸太郎**，**小林信**，**小島祥敬**，**千葉英樹**．腎細胞癌における Claudin-10 の臨床病理学的・分子病理学的解析．第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web．日本病理学会会誌. 111(1):223.

衛生学・予防医学講座

論　　文

〔原　著〕

Kuwabara Y, Kinjo A, Fujii M, Minobe R, Maesato H, Higuchi S, Yoshimoto H, Jike M, Otsuka Y, Itani O, Kaneita Y, Kanda H, Kasuga H, Ito T, Osaki Y. Effectiveness of nurse-delivered screening and brief alcohol intervention in the workplace: A randomized controlled trial at five Japan-based companies. Alcoholism, Clinical and Experimental Research. 202209; 46(9):1720-1731.

Endo S, Kasuga H, Yusuke M, Hidaka T, Kakamu T, Fukushima T. Reliability and validity of the Japanese version of the weight bias internalization scale. BMC Research Notes. 202210; 15(1):333.

Tsuboi S, Mine T, Fukushima T. Heterogeneous trends of premature mortalities in Japan: joinpoint regression analysis of years of life lost from 2011 to 2019. Dialogues in Health. 202212; 1:100071.

Nomiyama T, Azuma K, Fukushima T, Hara K, Hori H, Horie S, Ichiba M, Ichihara G, Ishitake T, Ito A, Iwasawa S, Kamijima M, Karita K, Katoh T, Kawamoto T, Kumagai S, Kusaka Y, Miyagawa M, Miyauchi H, Morimoto Y, Okuda H, Omae K, Sobue T, Sobue T, Takebayashi T, Takeshita T, Takeshita T, Yamano Y, Yokoyama K, Harada K, Horiguchi H, Ikeda-Araki A, Ito Y, Kakamu T, Matsumoto A, Naito H, Nakano M, Okuda M, Sato K, Suwazono Y, Takeuchi A, Takeuchi A, Tsuji M, Tsukahara T, Ueno S, Ueyama J, Umeda Y, Yamamoto K, Yamauchi T; The Japan Society for Occupational Health, the Committee for Recommendation of Occupational Exposure Limits (2021-2022). Recommendation of occupational exposure limits(2022-2023). Environmental and Occupational Health Practice. 2022; 4(1):ROEL2022.

Kasuga H, Endo S, Masuishi Y, Hidaka T, Kakamu T, Saito K, Abe K, Fukushima T. Association between subjective economic status and refusal of life-prolonging treatment: a cross-sectional study using content analysis with stratified random sampling. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):11-18.

Hidaka T, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kakamu T, Fukushima T. Visualizing the decline of public interest in the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident by analyzing letters to the editor in Japanese newspapers. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):63-66.

Tsumura H, Fukuda M, Kanda H. Blunted cortisol and normal sympathetic nervous system responses to an acute psychosocial stressor in internet addiction. Heliyon. 202212; 8(12):e12142.

Hidaka T, Sato S, Endo S, Kasuga H, Masuishi Y, Kakamu T, Fukushima T. The Systematic Workplace-Improvement Needs Generation (SWING): Verifying a Worker-Centred Tool for Identifying Necessary Workplace Improvements in a Nursing Home in Japan. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202202; 19(3):1671.

Watari T, Tokuda Y, Amano Y, Onigata K, Kanda H. Cognitive Bias and Diagnostic Errors among Physicians in Japan: A Self-Reflection Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202204; 19(8):4645.

Kakamu T, Endo S, Tsutsui Y, Hidaka T, Masuishi Y, Kasuga H, Fukushima T. Heart rate increase from rest as an early sign of heat-related illness risk in construction workers. International Journal of Industrial Ergonomics. 202205; 89:103282.

Maeda T, Hamada Y, Funakoshi S, Hoshi R, Tsuji M, Narumi-Hyakutake A, Matsumoto M, Kakutani Y, Hatamoto Y, Yoshimura E, Miyachi M, Takimoto H. Determination of optimal daily magnesium intake among physically active people: a scoping review. Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 202206; 68(3):189-203.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Current situation survey for establishing personally acceptable radiation dose limits for nuclear disaster responders. Journal of Radiation Research. 202207; 63(4):615-619.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High orrelation among brain-derived major protein levels in cerebrospinal fluid: Implication for amyloid-beta and tau protein changes in Alzheimer's disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Abe E, Fuwa TJ, Hoshi K, Saito T, Murakami T, Miyajma M, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Hashimoto Y, Honda T. Expression of transferrin protein and messenger RNA in neural cells of mouse and human brain tissue. Metabolites. 202206; 12(7):594.

Hidaka T, Kasuga H, Kakamu T, Endo S, Masuishi Y, Fukushima T. Concerns related to returning home to a "difficult-to-return zone" after a long-term evacuation due to Fukushima Nuclear Power Plant Accident: A qualitative study. PLOS ONE. 202208; 17(8):e0273684.

福島哲仁. コードシェアというもう一つの方法　効率的なカリキュラム編成のための工夫. 医学教育. 202202; 53(1):112-113.

永幡幸司. サウンドスケープの視点からみたコロナ禍による仙台の音環境の変化. 音響技術. 202206; 51(2):16-23.

永幡幸司, **岡崎悠太**, **高橋優木**. 震災復興期における被災者が求める音環境についてのケーススタディー高速道路沿いの復興公営住宅における社会調査を手がかりに. 日本音響学会誌. 202209; 78(9):484-495.

園田美保，永幡幸司．環境問題の認識構造に関する探究的研究ー鹿児島の大学生の二次元イメージ展開法とテキスト分析からー．南九州地域科学研究所所報. 202203; (38):21-27.

絹田皆子，神田秀幸．動脈硬化性疾患予防のための食事療法・生活指導　飲酒，アルコール．臨床栄養. 202211; 141(6):842-851.

〔総説等〕

永幡幸司. Stream 紹介：Human & Society. 騒音制御. 202212; 46(6):268-270.

書籍等出版物

春日秀朗．親の期待に対する大学生の適応について：期待を記号としたモデルの提案．京都：ナカニシヤ出版; 202203.

伊藤央奈，青地克頼，伊藤勇貴，近藤浩代，須崎尚，林原好美，細田晃文．保健統計学. In：角野猛, 岸本満. 公衆衛生学　実験・実習．東京：建帛社. 202205. p.21-33.

神田秀幸．第 2 章 1.8　飲酒. In：日本動脈硬化学会編集．動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版．東京：日本動脈硬化学会. 202207. p.41-42.

神田秀幸．第 3 章 2.2　飲酒. In：日本動脈硬化学会編集．動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版．東京：日本動脈硬化学会. 202207. p.75-76.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kakamu T, Endo S, Tsutsui Y, Hidaka T, Masuishi Y, Kasuga H, Fukusihma T. Heart rate increase from rest as an early sign of heat-related illness risk in construction workers: A cross-sectional study. 33rd International Congress on Occupational Health; 20220206-10; Web. Safety and Health at Work. 13(Supplement):S268-S269.

Ito T, Kurosawa H, Endo N, Hoshi C, Zenpo M, Yaginuma K, Hashimoto A, Nemoto A, Yoshida A, Kameta K, Okabe S. What impact do home vegetable garden have on health. 24th International Federation for Home Economics(IFHE) World Congress; 20220907; Atlanta, USA.

Hoshi K, Toyota A, Tatemichi M, Sato Y, Kimura E, Tsuji M, Mizushima H, Yamakami H, Tashiro T, Ueno S, Nishio A. Future application of ICD-11 codes on the diagnostic names of sickness or injury in nationwide patient survey in Japan. WHO-Family of International Classifications Network Annual Meeting 2022; 20221017-21; Geneva, Switzerland.

桑原祐樹，金城文，藤井摩耶，尾崎米厚，真栄里仁，美濃部るり子，樋口進，吉本尚，大塚雄一郎，井谷修，

兼板佳孝，地家真紀，神田秀幸，春日秀朗，伊藤央奈．中高生の喫煙・新型タバコ使用実態とその社会的背景．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

絹田皆子，久松隆史，福田茉莉，谷口かおり，中畑典子，神田秀幸. 2 年間の前向き地域研究からみた室温・外気温が家庭血圧に与える影響：益田研究．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

福田茉莉，久松隆史，絹田皆子，中畑典子，谷口かおり，神田秀幸．高血圧症と社会要因との関連：益田研究から．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

舩越駿介，前田俊樹，川添美紀，佐藤敦，吉村力，辻雅善，山之口稔隆，多田和弘，高橋宏治，伊藤建二，安野哲彦，升谷耕介，向原茂明，有馬久富．一般住民における白血球数が高尿酸血症発症におよぼす影響：ISSA-CKD 研究．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

各務竹康，伊藤央奈，遠藤翔太，日高友郎，増石有佑，春日秀朗，福島哲仁．暑熱環境下での屋外作業における熱中症発生リスクの事前予測因子．第 95 回日本産業衛生学会; 20220525-28; 高知.

日高友郎，遠藤翔太，増石有佑，各務竹康，桜沢美土里，宗像ゆかり，多治見公高，福島哲仁．座位中心型労働者における運動パターン（持久力・筋力・バランス）と睡眠品質の関連．第 95 回日本産業衛生学会; 20220525-28; 高知.

絹田皆子，中畑典子，久松隆史，福田茉莉，谷口かおり，神田秀幸．家庭血圧変動と食事摂取状況に関する検討：益田研究．第 76 回日本栄養・食糧学会大会; 20220610-12; 神戸/西宮.

神田秀幸，福田茉莉，絹田皆子，久松隆史．コロナ禍でわが国の国民の飲酒量は減ったのか？ 2022 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会; 20220909; 仙台.

永幡幸司．サウンドスケープ評価における Perceived Affective Quality をめぐる一考察．日本音響学会第 148 回（2022 年秋季）研究発表会; 20220915; 札幌．日本音響学会秋季研究発表会講演論文集. 2022(秋季):591-594.

橋本康弘，菅野真由美，星京香，山口芳樹，齋藤貴志，赤津裕康，小川倫弘，橋詰良夫．新規アルツハイマー病マーカー：神経細胞由来の高マンノース糖鎖含有トランスフェリン．第 41 回日本糖質学会年会; 20220929-1001; 吹田.

春日秀朗，金城文，兼板佳孝，神田秀幸，井谷修，真栄里仁，地家真紀，吉本尚，伊藤央奈，樋口進，大塚雄一郎，美濃部るり子，桑原祐樹，尾崎米厚．女性の多量飲酒につながる要因についての質的分析：成人女性に対するインタビューから．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

神田秀幸，福田茉莉，絹田皆子，久松隆史．青少年者におけるゲームに対する社会的対応の東アジアの動向とわが国の課題．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

谷口かおり，久松隆史，福田茉莉，絹田皆子，中畑典子，神田秀幸．地域住民の COVID-19 流行禍における身体活動量の推移：益田研究．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

久松隆史，福田茉莉，絹田皆子，谷口かおり，中畑典子，神田秀幸．地域における IoT 高血圧管理研究が高血

圧有病率・認知率・治療率・管理率に与える影響. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

福田茉莉, **久松隆史**, **絹田皆子**, **中畑典子**, **谷口かおり**, **神田秀幸**. 高血圧と社会的要因との関連：就労状況に注目して. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

星佳芳, **豊田章宏**, **水島洋**, **木村映善**, **佐藤洋子**, **辻雅善**, **小林健一**, **上野悟**, **西大明美**, **高田春樹**. 患者調査の効率的な実施手法の確立に資する研究. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

牧香里, **上野珠未**, **河野和美**, **森永朗子**, **岩永和代**, **舩越俊介**, **山之口稔隆**, **辻雅善**, **阿部真紀子**, **佐藤敦**, **川添美紀**, **前田俊樹**, **吉村力**, **有馬久富**. 日本人一般住民における塩分摂取量と肥満発症との関連：ISSA-CKD 研究. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

Kinuta M, Hisamatsu T, Fukuda M, Taniguchi K, Komukai S, Nakahata N, Kanda H. Associations of environmental temperatures and home blood pressure: The Masuda study. 第 44 回日本高血圧学会総会; 20221014-16; 京都.

橋本康弘, **星京香**, **菅野真由美**, **山口芳樹**. 高マンノース糖鎖を持つトランスフェリンは神経細胞に由来しアルツハイマー病の髄液マーカーとなる. 第 16 回東北糖鎖研究会; 20221015-16; 福島.

北村あかり, **宮田まりも**, **森弥生**, **生江英一**, **黒澤大樹**, **久保田功**. 児童・生徒の吃音支援～教育現場での支援の広がりを目指して～. 日本 LD 学会第 31 回大会; 20221029; 京都.

過年業績

春日秀朗. 親の期待に対する対処方略と関連する要因：進学期待を中心とする医学部進学者の語りから. 日本家族心理学会第 38 回大会; 20211119-21; Web.

春日秀朗, **遠藤翔太**, **増石有佑**, **日高友郎**, **各務竹康**, **福島哲仁**. COVID-19 緊急事態宣言の繰り返しによる関心の変化：新聞の読者投稿を用いた内容分析. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221; 東京/Web.

〔招待講演〕

神田秀幸. アディクションの動向と課題. 第 95 回日本産業衛生学会; 20220225-28; 高知.

公衆衛生学講座

論　　文

〔原　著〕

Yoshida Y, Ishizaki T, Masui Y, Arai Y, Inagaki H, Ogawa M, Yasumoto S, Iwasa H, Kamide K, Rakugi H, Ikebe K, Gondo Y. Association of personality traits with polypharmacy among community-dwelling older adults in Japan: a cross-sectional analysis of data from the SONIC study. BMC Geriatrics. 202204; 22(1):372.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202207; 22(1):542.

Hoshi H, Iwasa H, Goto A, Yasumura S. Effects of working environments with minimum night lighting on night-shift nurses' fatigue and sleep, and patient safety. BMJ Open Quality. 202201; 11(1):e001638.

Horiuchi T, Yamada C, Kinoshita M, Moriyama N, Yasumura S. Issues in Radiation Nursing Education in Japan Before and After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202208; 16(4):1346-1350.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kobayashi T, Maeda M, Nakayama C, Takebayashi Y, Sato H, Setou N, Momoi M, Horikoshi N, Yasumura S, Ohto H. Disaster Resilience Reduces Radiation-Related Anxiety Among Affected People 10 Years After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Frontiers in Public Health. 202207; 10:839442.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle or psychosocial factors on onset of hypertension after the Great East Japan Earthquake: A 7-year

follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Iwasa H, Inagaki H, Masui Y, Gondo Y. Relationship between Personality and Mortality among Japanese Older Adults: A 14-Year Longitudinal Study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202202; 19(4):2413.

Kinoshita Y, Nakayama C, Ito N, Moriyama N, Iwasa H, Yasumura S. Subjective Wellbeing and Related Factors of Older Adults Nine and a Half Years after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study in the Coastal Area of Soma City. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202202; 19(5):2639.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle factors associated with undernutrition in older people after the Great East Japan Earthquake: a prospective study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Orui M. Suicide and Suicide Prevention Activities Following the Great East Japan Earthquake 2011: A Literature Review. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202209; 19(17):10906.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Fukasawa M, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Worry about Radiation and its Risk Factors Five-to-Ten Years after the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 19(24):16943.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro M, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Hashimoto K, Maeda H, Iwasa H, Kyozuka H, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Sato A, Ogata Y, Murata T, Fujimori K, Shinoki K, Nishigori H, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Tobacco Exposure During Pregnancy and Infections in Infants up to 1 Year of Age: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Epidemiology. 20220409; doi: 10.2188/jea.JE20210405.

Go H, Hashimoto K, Kyozuka H, Maeda H, Nishigori H, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal hemoglobin levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 202212; 35(26):10472-10480.

Mori M, Ishii K, Goto A, Nakano H, Suzuki K, Ota M, Yasumura S, Fujimori K. Factors Associated With Smoking Relapse Among Women in Japan From Pregnancy to Early Parenthood. Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing. 202207; 51(4):428-440.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Moriyama N, Nakayama C, Watanabe K, Kuga T, Yasumura S. Feasibility study of an intervention program to enhance self-confidence of kindergarten teachers who deal with radiation-related health concerns from parents with young children. Pilot and Feasibility Studies. 202202; 8(1):25.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Ukai T, Tabuchi T, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Takahashi A, Yasumura S, Iso H, Kamiya K. Associations between the perception of risk in radiation exposure and changes in smoking and drinking status after a disaster: The Fukushima Health Management Survey. Preventive Medicine Reports. 202211; 30:102054.

Pike KM, Rebello TJ, Hanasaki S, Narita-Ohtaki R, Kaufman P, Akiyama T, Doerries B, Yang LH, Suzuki N, Magill EB, Yasumura S. The Tōhoku Theater Project in Postdisaster Japan: An Exemplar for Addressing Community Mental Health in the Context of Disaster. Psychiatric Services. 202206; 73(6):712-715.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Mashiyama F, Hashimoto K, Norito S, Okabe H, Sato A, Kume Y, Maeda R, Sato M, Sato M, Kyozuka H, Fujimori K, Nishigori H, Shinoki K, Yasumura S, Sakuma H, Hosoya M. Neutralizing and Epitope-Specific Antibodies Against Respiratory Syncytial Virus in Maternal and Cord Blood Paired Samples. Viruses. 202212; 14(12):2702.

伊藤佳代子，森山信彰，安村誠司．福島市における地域在宅高齢者の食品摂取の多様性の現状と関連する要因の検討．厚生の指標. 202201; 69(1):1-7.

大類真嗣，佐伯涼香，下村瑞希，細川護之，原田修一郎，林みづ穂．東日本大震災の被災地での継続的な被災者支援にむけた次代の職員への継承の取り組み．最新精神医学. 202209; 27(5):359-368.

大類真嗣，田中充．自死予防に関する相談電話の相談対応者向け支援ツールの開発の実践報告．自殺予防と危機介入. 202209; 42(2):41-48.

陸智美，岩佐一，森山信彰，中山千尋，安村誠司．東日本大震災後における福島県住民の主観的健康感に関連する要因の検討．福島県保健衛生雑誌. 202210; 38:2-7.

大類真嗣，原田修一郎，林みづ穂，鈴木康彦，早川敏．東日本大震災の被災者の生活支援を行う支援者向けメンタルヘルスに関する研修プログラムの開発　コロナ禍に対応したオンライン研修プログラムの実装．明治安田こころの健康財団研究助成論文集. 202211; (57):137-147.

〔総説等〕

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_12):S3-S10.

木内貴弘，中山健夫，石川ひろの，奥原剛，中山和弘，杉森裕樹，孫大輔，安村誠司，八巻知香子，江口泰正，福田洋．日本ヘルスリテラシー学会の設立と同学会誌の発刊．日本ヘルスリテラシー学会誌. 2022; 1(1):3-5.

〔その他〕

安村誠司. 連載「日本の災害と公衆衛生　過去・現在・未来」についての紹介. 公衆衛生. 202210; 86(10):886-888.

安村誠司. 寝たきりは社会的な問題　ひざ・腰が痛い→歩きたくない→認知症→死亡が増えています. 週刊現代別冊　おとなの週刊現代. 202208; 2022(3):70-74.

安村誠司. 日本学術会議、特に、東北地区会議の活動について. 日本学術会議　東北地区会議ニュース. 202203; 36:8.

岩佐一, **中山千尋**, **森山信彰**, **大類真嗣**, **安村誠司**. 原子力災害下における福島県住民の心的外傷後成長の実態自由記述の検討. 日本公衆衛生雑誌. 202202; 69(2):158-168.

佐野碧, **岩佐一**, **森山信彰**, **中山千尋**, **宍戸由美子**, **安村誠司**. 中学生・高校生におけるメディア利用時間と主観的健康感の関連. 日本公衆衛生雑誌. 202211; 69(11):895-902.

書籍等出版物

Kobayashi T, Yasumura S. Chapter 1 - Development of Fukushima disaster. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.3-20.

Fujimori K, Ishii K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Chapter 5 - Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.81-98.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Chapter 6 - Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.99-122.

Harigane M, Yasumura S. Chapter 12 - Disaster-related health issues among older adults. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.217-230.

安村誠司, **他 監修**, **医療情報科学研究所 編集**. 公衆衛生がみえる 2022-2023. 東京: Medic Media; 202203.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋允生，高橋敦史，風間順一郎，岡﨑可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区区域住民の健康に及ぼす影響：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web．第 32 回日本疫学会学術総会講演集. 96.

岡﨑可奈子，安田俊，石井佳世子，中野裕紀，大平哲也，藤森敬也，石川徹夫，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の福島第一原発事故による外部被ばく線量の周産期転帰への影響：福島県「県民健康調査」．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web．第 32 回日本疫学会学術総会講演集. 159.

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡﨑可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web．第 32 回日本疫学会学術総会講演集. 159.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡﨑可奈子，島袋允生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域等の住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web．第 32 回日本疫学会学術総会講演集. 159.

石井なつみ，江口依里，林史和，前田正治，針金まゆみ，安村誠司，矢部博興，高橋敦史，高瀬佳苗，神谷研二，大平哲也．東日本大震災後の福島県における果物接種頻度と糖尿病との関連：県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web．第 32 回日本疫学会学術総会講演集. 163.

増山郁，橋本浩一，則藤桜子，佐藤晶子，久米庸平，前田亮，佐藤真紀，佐藤晶論，経塚標，藤森敬也，西郡和秀，篠木恒成，保村誠司，佐久間弘子，細矢光亮．母体血と臍帯血のペア検体における RS ウイルスに対する中和抗体価とエピトープ特異抗体．第 92 回日本衛生学会学術総会; 20220321-23; Web．日本衛生学雑誌. 77(Suppl.):S192.

陸智美，森山信彰，中山千尋，渡邊清高，安村誠司．放射線健康不安について幼稚園教諭が相談対応する時の自信を高めるプログラムの効果．第 92 回日本衛生学会学術総会; 20220321-23; Web．日本衛生学雑誌. 77(Suppl.):S183.

森山信彰，陸智美，大島鉄三，佐藤久美子，栗田美穂，安村誠司．「太極拳ゆったり体操」の中長期的な効果検証～喜多方市のデータの生存分析による検討～．第 92 回日本衛生学会学術総会; 20220321-23; Web．日本衛生学雑誌. 77(Suppl.):S181.

小野道子，石川みどり，安村誠司．東日本大震災被災地における肥満者増加の要因－中食利用行動を中心とした検証－．第 71 回東北公衆衛生学会; 20220722; 山形．東北公衆衛生学会誌. 71:26-27.

森山信彰，中山千尋，深澤舞子，井高貴之，安村誠司．労働者におけるヘルスリテラシーと健康づくりに関して信頼できる情報源の関連. Health Communication Week 2022, Nagoya; 20221001-02; 名古屋/Web.

長尾匡則，小針英理，田中健一，林史和，大平哲也，安村誠司，島袋允生，前田正治，坂井晃，矢部博興，

細矢光亮，高橋敦史，大戸斉，神谷研二，風間順一郎. 東日本大震災後の高血圧新規発症に対するリスク要因の検討：福島県「県民健康調査」. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府. 第 81 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 200.

中山千尋，岩佐一，森山信彰，安村誠司. 原発事故後の関東地方の放射線健康影響不安と情報源・メディアの関連. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府. 第 81 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 237.

岡崎可奈子，長尾匡則，島袋允生，大平哲也，中野裕紀，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二. 東日本大震災後のやせの新規発生と生活習慣・精神的健康との関連：福島県県民健康調査. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府. 第 81 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 314.

木下ゆり，中山千尋，伊東尚美，森山信彰，岩佐一，安村誠司. 東日本大震災から 9 年半後の高齢者の主観的幸福感と関連要因：相馬市での横断研究. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府. 第 81 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 356.

堀越直子，前田正治，水木理恵，村上道夫，岩佐一，安村誠司. 避難者における相談できる家族の存在と心理的ストレスの影響：福島県「県民健康調査」. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府. 第 81 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 399.

山田秀彦，森山信彰，岡本なつみ，中山千尋，佐藤香代子，小野田知子，岩佐一，菅野恭子，安村誠司. 新型コロナウイルス感染症拡大による高齢者の社会活動・人とのつながりと睡眠との関連. 令和 4 年度福島県保健衛生学会（第 50 回）; 20221013; 福島. 福島県保健衛生雑誌. 38:17.

森山信彰，中山千尋，深澤舞子，井高貴之，安村誠司. ウィズコロナ時代の労働者における伝達的・批判的ヘルスリテラシーと精神的健康状態の関連. 令和 4 年度福島県保健衛生学会（第 50 回）; 20221013; 福島. 福島県保健衛生雑誌. 38:18.

〔シンポジウム〕

安村誠司. 県民健康調査　11 年の総括. 第 125 回日本小児科学会学術総会; 20220415-17; 郡山. 日本小児科学会雑誌. 126(2):S46.

〔その他〕

安村誠司. 新型コロナ断面　がん検診受診低調　専門家、発見遅れ増に警鐘　がん検診受診率　向上へ取り組み強化. 福島民報. 20220207.

安村誠司. 健康ふくしま　県と福医大健康増進センター　健康づくり映像、HP で公開. 福島民報. 20220223.

安村誠司. 第 2 次健康ふくしま 21　健康づくり計画最終評価に着手　県、次期計画策定へ. 福島民友. 20220531.

安村誠司. 人生 100 年クラブ　身も心もリラックス 太極拳で健康増進　太極拳ゆったり体操. 毎日新聞. 20220606.

安村誠司. 未来の自分のための健康づくり. 健康長寿ふくしまトップ会談; 20220829; 福島.

安村誠司. 健康長寿ふくしまトップ会談　栄養や運動など大事. 福島民報. 20220830.

安村誠司. 健康長寿ふくしまトップ会談　早期の取り組みが大事. 福島民友. 20220830.

安村誠司. 「どちらとも言えない」5割超コロナ「五類」への引き下げ　福島民報が59市町村長にアンケート. 福島民報. 20220902.

安村誠司. 健康長寿ふくしまトップ会談　早期の取り組み効果につながる. 福島民報. 20220926.

安村誠司. 健康長寿ふくしまトップ会談　早期の取り組み効果につながる. 福島民友. 20220926.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

安村誠司. 広島大学医学部連携教授. 20171001-.

安村誠司. 福島県感染症対策アドバイザー. 20200901-.

安村誠司, **他**. 令和3年度介護予防関連事業評価　福島県介護予防市町村支援委員会報告書. 2021-2022.

安村誠司, **森山信彰**, **陸智美**, **井高貴之**. 喜多方市における「太極拳ゆったり体操」の中長期的な効果検証　研究に関する情報公開. 202109-202203.

安村誠司. コロナ禍での健康生活のススメ～太極拳ゆったり体操～講義編（福島県立医科大学健康増進センターコロナ禍での健康づくり動画）. 20220221.

安村誠司. 福島県内外でのがん・循環器疾患等の疾病動向について－研究班からの報告－（YouTube）. 20220310.

安村誠司. 保険者支援のためのガイド～国保・後期高齢者ヘルスサポート事業を中心として～. 20220331.

法医学講座

論　　文

〔原　著〕

Sugiura R, Ikarashi S, Suzuki D, Terakado S, Fujikawa T, Nishikata R, Nishimoto T. In vivo impact tests assuming human–robot contact to evaluate soft tissue bruise injury tolerance. Mechanical Engineering Journal. 2022; 9(6):22-00153.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High correlation among brain-derived major protein levels in cerebrospinal fluid: Implication for amyloid-beta and tau protein changes in Alzheimer's disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Abe E, Fuwa TJ, Hoshi K, Saito T, Murakami T, Miyajima M, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Hashimoto Y, Honda T. Expression of transferrin protein and messenger RNA in neural cells of mouse and human brain tissue. Metabolites. 202206; 12(7):594.

武田紗希，上野智史，鈴木剛，小野寺誠，加藤菜穂，西形里絵，伊関憲. 急性カフェイン中毒患者に実施した血液浄化法の評価. 中毒研究. 202209; 35(3):186-191.

関根萌，岩渕雅洋，鈴木剛，全田吏栄，小野寺誠，武田紗希，伊関憲. 尿中シュウ酸カルシウムと乳酸ギャップを治療指標としたエチレングリコール中毒の 1 例. 日本救急医学会雑誌. 202207; 33(7):304-309.

西形里絵，加藤菜穂，武田紗希，林王真美，黒田直人. 生き埋めとなった労災死亡事故の 2 剖検例. 法医学の実際と研究. 202211; (65):65-69.

武田紗希，加藤菜穂，西形里絵，黒田直人. 植込み型補助人工心臓のケーブル切断およびトリカブトの服毒による複合自殺の 1 剖検例. 法医学の実際と研究. 202211; (65):71-76.

〔その他〕

西形里絵. あなたの大切な人をたばこの煙から守りましょう. リビング福島・郡山. 20220527.

西形里絵. 福島地方検察庁　福島支部の喫煙所問題. 福島県医師会報. 202211; 84(11):1044-1045.

書籍等出版物

黒田直人. 外因による死　異常環境による死. In: 福島弘文 監修. 法医学　改訂 4 版. 東京: 南山堂; 202201.

p.113-122.

西形里絵. 4. 法医学とタバコの深い関係. In: 風間咲美, 風間順一郎 編集. 禁煙で日本を元気に！ 受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208. p.30-39.

西形里絵. 9. 法・条例施行後の福島市の変化. In: 風間咲美, 風間順一郎 編集. 禁煙で日本を元気に！ 受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208. p.93-99.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

海野由紀子, **岡博之**, **黒田直人**. RapidHIT ID を用いた, 高度死後変化遺体試料における臓器からの STR 型鑑定. 第 106 次日本法医学会学術全国集会; 20220608-10; 名古屋.

加藤菜穂, **西形里絵**, **武田紗希**, **林王真美**, **白坂由美子**, **黒田直人**. 死体血 HbA1c 測定における各種 POCT（臨床現場即時検査）機器の誤差要因の比較検討. 第 106 次日本法医学会学術全国集会; 20220608-10; 名古屋.

高橋識志, **對馬好**, **黒田直人**. 臍ヘルニアをきたした小腸に医原性の穿孔をきたした一剖検例. 第 106 次日本法医学会学術全国集会; 20220608-10; 名古屋.

西形里絵, **加藤菜穂**, **武田紗希**, **林王真美**, **黒田直人**. 直腸癌穿破による右大腿壊死性筋膜炎の一剖検例. 第 106 次日本法医学会学術全国集会; 20220608-10; 名古屋.

武田紗希, **加藤菜穂**, **西形里絵**, **黒田直人**. HILIC カラムを用いたアシクロビルの分析方法. 第 106 次日本法医学会学術全国集会; 20220608-10; 名古屋.

橋本康弘, **菅野真由美**, **星京香**, **山口芳樹**, **齋藤貴志**, **赤津裕康**, **小川倫弘**, **橋詰良夫**. 新規アルツハイマー病マーカー：神経細胞由来の高マンノース糖鎖含有トランスフェリン. 第 41 回日本糖質学会年会; 20220929-1001; 大阪.

黒田直人, **西形里絵**, **加藤菜穂**, **武田紗希**, **林王真美**, **白坂由美子**. 偶発的に遭遇した側脳室上衣下損傷の一剖検例（第二報）. 第 23 回日本法医学会学術北日本地方集会; 20221007; 札幌.

加藤菜穂, **西形里絵**, **白坂由美子**, **林王真美**, **武田紗希**, **黒田直人**. 当講座における COVID-19 対応検案・剖検例. 第 23 回日本法医学会学術北日本地方集会; 20221007; 札幌.

橋本康弘, **星京香**, **菅野真由美**, **山口芳樹**. 高マンノース糖鎖を持つトランスフェリンは神経細胞に由来しアルツハイマー病の髄液マーカーとなる. 第 16 回東北糖鎖研究会; 20221015-16; 福島.

〔その他〕

黒田直人. 死体検案の実際と注意点. 令和 3 年度福島県医師会死体検案研修会; 20220227; 福島.

西形里絵. 法医学からみた喫煙問題～タバコの有無で大違い！人生の最期～. 世界禁煙デー山形福島合同イベント; 20220529; 山形/福島.

西形里絵. 法医学で斬るタバコ問題. 禁煙サポーター養成講座; 20220917; 福島.

西形里絵. 吸わないからこそ知ってほしいタバコの害～法医学の視点から～. 福島県赤十字血液センター職員研修会; 20221124; 福島.

放射線生命科学講座

論　　文

〔原　著〕

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Jin Y, Yaegashi D, Shi L, Ishida M, Sakai C, Yokokawa T, Abe Y, Sakai A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Hijioka N, Awai K, Tashiro S, Takeishi Y, Ishida T. DNA Damage Induced by Radiation Exposure from Cardiac Catheterization. International Heart Journal. 2022; 63(3):466-475.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Sun Z, Imano H, Eguchi E, Hayashi F, Ohira T, Cui R, Yasumura S, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Iso H. The Associations between Evacuation Status and Lifestyle-Related Diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal

of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(9):5661.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Yasuda Uemura M, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H, Kamiya K. Association Between Lifestyle Habits and the Prevalence of Abdominal Obesity After the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202211; 32(11):496-501.

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Sakai A, Kurihara O, Hosoya M, Sakata R, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. External Doses Available for Epidemiological Studies Related to the Fukushima Health Management Survey: First 4-month Individual Doses and Municipality-average Doses for the First Year. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S11-S22.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S84-S94.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Katoh Y, Natsume O, Takayanagi F, Sakai A, Fukuie T. A case of oral immunotherapy for peach allergy sensitized to Pru p 7. Pediatrics International. 202201; 64(1):e14860.

Kudo KI, Tsuyama N, Nagata K, Imaoka T, Iizuka D, Sugai-Takahashi M, Muramatsu M, Sakai A. ΔNp63α transcriptionally represses p53 target genes involved in the radiation-induced DNA damage response: ΔNp63α may cause genomic instability in epithelial stem cells. Radiation Oncology. 202211; 17(1):183.

Imaoka T, Nishimura M, Daino K, Hosoki A, Kudo KI, Iizuka D, Nagata K, Takabatake M, Nishimura Y, Kokubo T, Morioka T, Doi K, Shimada Y, Kakinuma S. Dose rate effect of radiation on rat mammary carcinogenesis and an emerging role for stem cell biology. Radiation Protection Dosimetry. 202209; 198(13-15):1036-1046.

Fukatsu M, Ohkawara H, Wang X, Alkebsi L, Furukawa M, Mori H, Fukami M, Fukami SI, Sano T, Takahashi H, Harada-Shirado K, Kimura S, Sugimoto K, Ogawa K, Ikezoe T. The suppressive effects of Mer inhibition on inflammatory responses in the pathogenesis of LPS-induced ALI/ARDS. Science Signaling. 202203; 15(724):eabd2533.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

〔総説等〕

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S36-S46.

書籍等出版物

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.99-121.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Abe Y, Takahashi M, Tsuyama N, Kudo K, Azami Y, Fukami M, Kamiya K, Sakai A. Investigation of background value of chromosome aberrations and individual radiosensitivity in Japanese. 第 6 回放射線災害・医科学研究拠点　国際シンポジウム; 20220207; Web.

Kudo KI, Tsuyama N, Nagata K, Imaoka T, Iizuka D, Sugai-Takahashi M, Muramatsu M, Sakai A. ΔNp63α transcriptionally represses p53-target genes in radiation-induced DNA damage response. 第6回放射線災害・医科学研究拠点　国際シンポジウム; 20220207; Web.

Kudo KI, Tsuyama N, Nagata K, Imaoka T, Iizuka D, Sugai-Takahashi M, Muramatsu M, Sakai A. ΔNp63α transcriptionally represses p53-target genes in radiation-induced DNA damage response. 2022 ISSCR Annual Meeting; 20220615-18; San Francisco, USA/Web.

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋充生，高橋敦史，風間順一郎，岡崎可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二. 福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区域住民の健康に及ぼす影響：福島県県民健康調査. 第32回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

工藤健一，津山尚宏，永田健斗，今岡達彦，高橋（菅井）美咲，坂井晃. DNA損傷応答に対するΔNp63αの転写阻害作用について. 第6回放射線災害・医科学研究拠点カンファランス; 20220604; Web.

工藤健一，津山尚宏，今岡達彦，飯塚大輔，永田健斗，坂井晃. ヒト乳腺オルガノイドを用いた放射線応答におけるΔNp63αの影響解析. 日本放射線影響学会第65回大会; 20220915-17; 大阪.

〔シンポジウム〕

石川徹夫，安村誠司，赤羽恵一，米内俊祐，坂井晃，細矢光亮，坂田律，大平哲也，大戸斉，神谷研二. 外部被ばく線量評価のための基本調査（Basic Survey for estimating individual external doses）シンポジウム「県民健康調査 11年の総括」. 第125回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山.

Kudo KI, Tsuyama N, Nagata K, Imaoka T, Iizuka D, Sakai A. Analysis of the influence of ΔNp63 to radiation response using human mammary organoids. 日本放射線影響学会第65回大会; 20220915-17; 大阪.

疫学講座

論　　文

〔原　著〕

Funakubo N, Eguchi E, Hayashi R, Hirosaki M, Shirai K, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Omata J, Imano H, Iso H, Ohira T. Effects of a laughter program on body weight and mental health among Japanese people with metabolic syndrome risk factors: a randomized controlled trial. BMC Geriatrics. 202204; 22(1):361.

Yasukawa S, Eguchi E, Tamakoshi A, Iso H; for JACC Study Group. Super-additive associations between

parity and education level on mortality from cardiovascular disease and other causes: The Japan Collaborative Cohort Study. BMC Women's Health. 202207; 22(1):278.

Sugi N, Eguchi E, Tsuboi A, Hatanaka K, Takashiba S, Kira Y, Miura M, Ogino K, Hirano K, Nakagawa T, Doi K. Periodontal diseases assessed by average bone resorption are associated with microvascular complications in patients with type 2 diabetes. Diabetology International. 202206; 14(1):32-39.

Sorimachi K, Muto K, Sugaya K, Ueno S, Onodera M, Ohira T, Tsubokura M, Iseki K. Characteristics of Patients Transported by Doctor-Requested Helicopters After Japan's 2011 Nuclear Incident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202207; 17:e161.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Wang Y, Shirai K, Ohira T, Hirosaki M, Kondo N, Takeuchi K, Yamaguchi C, Tamada Y, Kondo K, Cadar D, Iso H. Occasions for laughter and dementia risk: Findings from a six-year cohort study. Geriatrics & Gerontology International. 202205; 22(5):392-398.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Hirokawa K, Ohira T, Nagao M, Nagayoshi M, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H. Associations Between Occupational Status, Support at Work, and Salivary Cortisol Levels. International Journal of Behavioral Medicine. 202206; 29(3):299-307.

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Sun Z, Imano H, Eguchi E, Hayashi F, Ohira T, Cui R, Yasumura S, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Iso H. The Associations between Evacuation Status and Lifestyle-Related Diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal

of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(9):5661.

Eguchi E, Funakubo N, Nakano H, Tsuboi S, Kinuta M, Imano H, Iso H, Ohira T. Impact of Evacuation on the Long-Term Trend of Metabolic Syndrome after the Great East Japan Earthquake. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202208; 19(15):9492.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro M, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Nakajima S, Eguchi E, Funakubo N, Hayashi F, Iwai-Takano M, Ohira T. Trends and Regional Differences in the Prevalence of Dyslipidemia before and after the Great East Japan Earthquake: A Population-Based 10-Year Study Using the National Database in Japan. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):560.

Matsumura T, Sankai T, Yamagishi K, Kubota Y, Hayama-Terada M, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H. Impact of Major Cardiovascular Risk Factors on the Incidence of Cardiovascular Disease among Overweight and Non-Overweight Individuals: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202203; 29(3):422-437.

Li J, Imano H, Yamagishi K, Tanaka M, Cui R, Muraki I, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H; CIRCS Investigators. Leukocyte Count and Risks of Stroke and Coronary Heart Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202204; 29(4):527-535.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimmoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship between risk of hyper- low-density lipoprotein cholesterolemia and evacuation after the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Yasuda Uemura M, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H, Kamiya K. Association between lifestyle habits and the prevalence of abdominal obesity after the Great East

Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202211; 32(11):496-501.

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Sakai A, Kurihara O, Hosoya M, Sakata R, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. External Doses Available for Epidemiological Studies Related to the Fukushima Health Management Survey: First 4-month Individual Doses and Municipality-average Doses for the First Year. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S11-S22.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K; Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S23-S35.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on Perinatal Outcomes: Results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum Mental Health of Mothers in Fukushima: Insights From the Fukushima Health Management Survey's 8-year Trends. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S64-S75.

Nakaya T, Takahashi K, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Shimura H, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Revisiting the Geographical Distribution of Thyroid Cancer Incidence in Fukushima Prefecture: Analysis of Data From the Second- and Third-round Thyroid Ultrasound Examination. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S76-S83.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ,

Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S84-S94.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S95-S103.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S104-S114.

Li J, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Yamagishi K, Tanaka M, Ohira T, Sankai T, Umesawa M, Muraki I, Hayama-Terada M, Okada T, Cui R, Tanigawa T, Iso H. Retinal microvascular abnormalities and risks of incident stroke and its subtypes: The Circulatory Risk in Communities Study. Journal of Hypertension. 202204; 40(4):732-740.

Yamane N, Ikeda A, Tomooka K, Saito I, Maruyama K, Eguchi E, Suyama K, Fujii A, Shiba T, Tanaka K, Kooka A, Nakamura S, Kajita M, Kawamura R, Takata Y, Osawa H, Steptoe A, Tanigawa T. Salivary alpha-amylase activity and mild cognitive impairment among Japanese older adults: The Toon Health Study. Journal of Prevention of Alzheimer's Disease. 2022; 9(4):752-757.

Sumiyama A, Shirai K, Imano H, Eguchi E, Muraki I, Tamakoshi A, Iso H; JACC Study Group. Positive psychological factors and the risk of pneumonia-associated mortality: Japan Collaborative Cohort Study. Journal of Psychosomatic Research. 202209; 160:110971.

Igarashi T, Sato Y, Satokawa H, Takase S, Iwai-Takano M, Seto Y, Yokoyama H. Ratio of the false lumen to the true lumen is associated with long-term prognosis after surgical repair of acute type A aortic dissection. JTCVS Open. 202202; 10:75-84.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Tamada Y, Yamaguchi C, Saito M, Ohira T, Shirai K, Kondo K, Takeuchi K. Does laughing with others lower the risk of functional disability among older Japanese adults? The JAGES prospective cohort study. Preventive Medicine. 202202; 155:106945.

Ukai T, Tabuchi T, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Takahashi A, Yasumura S, Iso H, Kamiya K. Associations between the perception of risk in radiation exposure and changes in smoking and drinking status after a disaster: The Fukushima Health Management Survey. Preventive Medicine Reports. 202211;

30:102054.

Watanabe T, Iwai-Takano M, Saitoh H, Kanazawa K, Igarashi T, Fujimiya T, Ohira T. A normal pattern of mitral inflow predicts a better prognosis following cardiovascular events in early advanced-age patients. Scientific Reports. 202206; 12(1):9594.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an Application for Sustainable Support of Returning Residents Displaced by the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202206; 290:1074-1075.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

永田勝太郎，大槻千佳，志和悟子，前川衛，喜山克彦，青山幸生，大平哲也．乳酸菌 LAB4（L 群）およびグルコマンナン加乳酸菌 LAB4（GL 群）の低血糖・血糖値スパイク抑制効果　75gOGTT および Flash Glucose Monitoring（FGM）を用いた無作為化比較試験（Randomized Controlled Trial; RCT）．薬理と治療. 202203; 50(3):359-372.

〔総説等〕

大平哲也，陣内瑶，青山尚樹，溝口徹．血糖変動と精神症状に関する国内外の研究の動向. Comprehensive Medicine. 202203; 20(1):25-30.

大平哲也．健康づくり Q&A　早朝高血圧とは．健康づくり. 2022; 528(4):22.

大平哲也．科学的に証明　笑うと健康も幸せもやってくる．食べもの通信. 2022; 619(9):8-10.

野村恭子，松島みどり，佐々木那津，川上憲人，前田正治，伊藤弘人，大平哲也，堤明純．ウィズコロナ社会のメンタルヘルスの課題と対策．日本公衆衛生雑誌. 202209; 69(9):647-654.

ロザリン・ヨン，野村恭子，高塚雄介，蘭牟田洋美，谷口仁史，伊藤弘人，大平哲也，堤明純．年代別ひきこもりの課題、予防、対策．日本公衆衛生雑誌. 202212; 69(12):923-930.

大平哲也. 笑って笑って「すこやかに」すばらしき「笑い」の効果. ヘルシーパートナーズ. 2022; 13:11.

〔症例報告〕

Watanabe T, Iwai-Takano M. The pacemaker lead dislocation. Clinical Case Reports. 202204; 10(4):e05776.

〔その他〕

過年業績

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　誰でも笑える方法～笑いヨガ. 安全衛生のひろば. 2021; 62(1):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　あいさつは笑いを増やす第一歩. 安全衛生のひろば. 2021; 62(2):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　目覚めをすっきりさせて 1 日を元気に. 安全衛生のひろば. 2021; 62(3):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　ストレスによる肩こりを解消しよう！ 安全衛生のひろば. 2021; 62(4):34-35.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　笑ってストレスを発散しよう！ 安全衛生のひろば. 2021; 62(5):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　笑いの運動効果を体験しよう！ 安全衛生のひろば. 2021; 62(6):36-37.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　笑いで口の中を健康に. 安全衛生のひろば. 2021; 62(7):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　メタボ予防で心身の健康づくり. 安全衛生のひろば. 2021; 62(8):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　良い睡眠で心身の疲れをとろう. 安全衛生のひろば. 2021; 62(9):34-35.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　手足を温めると心も温まります. 安全衛生のひろば. 2021; 62(10):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　笑ってうつな気分を解消しよう！ 安全衛生のひろば. 2021; 62(11):30-31.

大平哲也. 笑いヨガでハートを健康に　笑って心と身体の健康を維持しよう！ 安全衛生のひろば. 2021; 62(12):34-35.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishi K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K,

Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press. 2022. p.81-98.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press. 2022. p.99-121.

Ohira T, Ichiki M. Laughter is the Best Therapy for Happiness and Healthy Life Expectancy. In: SoonGC, Bodeker G, Kariippanon K. Healthy Ageing in Asia: Culture, Prevention and Wellness. Boca Raton: CRC Press. 2022. p.229-240.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S, Ohira T; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. 放射線災害・医科学研究拠点　第 6 回国際シンポジウム; 20220207; Web.

Fujimori Y, Funakubo N, Eguchi E, Nagao M, Takada M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Yamagishi K, Imano H, Muraki I, Iso H, Ohira T. Associations of tongue cleaning and morning tooth brushing habits with blood pressure and diabetes among Japanese men and women. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221013; Kyoto.

Eguchi E, Satou H, Funakubo N, Nakano H, Imano H, Iso H, Ohira T. Impact of evacuation on the long-term trend of Hypertension after the Great East Japan Earthquake. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221014; Kyoto.

石井なつみ，江口依里，林史和，前田正治，針金まゆみ，安村誠司，矢部博興，高橋敦史，高瀬佳苗，神谷研二，大平哲也．東日本大震災後の福島県における果物摂取頻度と糖尿病との関連　県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

岡崎可奈子，安田俊，石井佳世子，中野裕紀，大平哲也，藤森敬也，石川徹夫，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の福島第一原発事故による外部被ばく線量の周産期転帰への影響　福島県「県民健康調査」．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

見目能基，江口依里，吉田知克，鶴田浩惇，白井こころ，玉腰暁子，磯博康，大平哲也．生きがいおよび生活習慣の組み合わせと循環器疾患死亡との関連　JACC スタディ．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

佐藤陽香，江口依里，舟久保徳美，大平哲也．東日本大震前後での過剰飲酒者と高血圧者のトレンド　NDB データの解析より．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

陣内瑶，青山尚樹，溝口徹，井上三規子，江口依里，大平哲也．糖負荷後早期のインスリン分泌と低血糖に伴う症状との関連．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

玉田雄大，竹内研時，斉藤雅茂，山口知香枝，白井こころ，大平哲也，小嶋雅代，若井建志，近藤克則．高齢者の日常生活における笑いとフレイル発生リスクとの関連　JAGES 縦断研究．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

鶴田浩惇，江口依里，吉田知克，見目能基，白井こころ，玉腰暁子，磯博康，大平哲也．人に頼られている感覚および生活習慣の組み合わせと循環器疾患死亡との関連　JACC スタディ．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡崎可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋充生，高橋敦史，風間順一郎，岡崎可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区域住民の健康に及ぼす影響：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎可奈子，島袋充生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域等住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

武山莉奈，東山京平，森翔平，高野真澄，政氏伸夫，荒川元孝，八代論，石垣泰，金井浩．超音波を用いた赤血球集合度計測における解析範囲の検討．日本超音波医学会第 63 回東北地方会学術集会; 20220306; Web.

Kanazawa K, Iwai-Takano M, Ishida G, Kamiyama Y, Komatsu N, Takahashi K, Ohira T. Concomitant Tricuspid Annuloplasty for Mild Tricuspid Regurgitation is Recommended Depending on Age and Tricuspid Annulus Diameter in Mitral Valve Disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311; Web.

Watanabe T, Iwai-Takano M. Exercise Tolerance Relates with Arterial Elastance in Patients with Atrial Fibrillation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220312; Web.

齋藤寛美，高野真澄，金澤晃子，渡部朋幸，大平哲也．洞調律保持時左室心筋重量係数は心房細動発症後 L 波出現の予測因子である．第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220313; Web.

高野智弘，高野真澄，高橋皇基．後期高齢者における開心術後トルバプタン投与の効能．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，坂井晃，中野裕紀，林史和，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，大平弘正，風間順一郎，細矢光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールは心理的負担と相関する　福島県県民健康調査．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512; 神戸．糖尿病. 65(Suppl.1):S232.

金澤晃子，高野真澄，石田悟朗，神山美之，小松宣夫，佐藤善之，高橋皇基，大平哲也．僧帽弁疾患術後患者において年齢と三尖弁弁輪径は慢性期三尖弁逆流の増悪因子である．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋．超音波医学. 49(Suppl):S661.

高野真澄，渡部朋幸，齋藤寛美，金澤晃子，大平哲也．正常型左室流入波形を有する早期高齢者は心血管イベントの低リスク群である．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220521; 名古屋．超音波医学. 49(Suppl):S682.

渡部朋幸，高野真澄．心房細動患者における運動耐容能は動脈エラスタンスに関連する．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220521; 名古屋．超音波医学. 49(Suppl):S687.

青木鐘子，山岸良匡，丸山広達，池田愛，長尾匡則，野田博之，梅澤光政，羽山実奈，村木功，岡田知佳，田中麻里，岸田里恵，木原朋未，大平哲也，今野弘規，山海知子，岡田武夫，谷川武，北村明彦，木山昌彦，磯博康．きのこ類の摂取と要介護認知症リスク：CIRCS 研究．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

江口依里，大平哲也，中野裕紀，林史和，岡崎可奈子，舟久保徳美，前田正治，安村誠司，矢部博興，神谷研二．東日本大震災後の避難の有無別にみた笑いの頻度と生活習慣病との関連．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

林史和，大平哲也，中野裕紀，島袋充生，坂井晃，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の食品摂取多様性と高中性脂肪血症の発生との関連：福島県県民健康調査．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

吉田知克，江口依里，増子博文，大平哲也．福祉支援の利用が発達障がいを抱える労働者に及ぼす影響．第 71 回東北公衆衛生学会; 20220722; 山形/Web．東北公衆衛生学会誌. 71:39-40.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールと精神的健康障害との関係：福島県県民健康調査．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723; 久留米.

小原優，森翔平，高野真澄，荒川元孝，金井浩．心筋ストレインレート計測における超音波 RF 信号包絡振幅値の深さ方向分布に起因する偏り誤差の補正．日本超音波医学会第 64 回東北地方会学術集会; 20220911; Web.

鈴木沙綺，森翔平，高野真澄，荒川元孝，金井浩．超音波を用いた血管粘弾性推定における内圧の影響の検討．日本超音波医学会第 64 回東北地方会学術集会; 20220911; Web.

金澤晃子，高野真澄，室田定洋，大橋尚人，安齋文弥，肱岡奈保子，石田悟朗，神山美之，小松宣夫．長期内服ダザチニブにより肺血管性肺高血圧症を呈したと考えられた一例．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923; 京都.

齋藤寛美，高野真澄，金澤晃子，渡部朋幸．完全房室ブロックで発症し、急激に左室収縮不全が進行した左室肥大を伴わない全身性トランスサイレチン型アミロイドーシスの 1 例．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923; 京都.

江口依里. 笑いと健康. 市民憲章運動推進第 11 回東北ブロック研修会; 20220923; 福島.

渡部朋幸, **高野真澄**, **片岡秀真**, **松本明紘**, **高橋剛**, **齋藤寛美**. 弁置換術後に感染性動脈瘤破裂および急性進行性糸球体腎炎を生じた Streptococcus sanguinis による亜急性感染性心内膜炎の一例. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220924; 京都.

片岡秀真, **高野真澄**, **齋藤寛美**, **金澤晃子**, **渡部朋幸**. 急性期に診断困難であった急性心筋梗塞に伴う心筋内出血の 1 例. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220925; 京都.

岡崎可奈子, **長尾匡則**, **島袋充生**, **大平哲也**, **中野裕紀**, **林史和**, **安村誠司**, **大戸斉**, **神谷研二**. 東日本大震災後のやせの新規発生と生活習慣・精神的健康との関連：福島県県民健康調査. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

中野裕紀, **林史和**, **吉田知克**, **梅澤光政**, **小橋元**, **大平哲也**. 福島県脳卒中発症登録に関する報告：2013 年、2018 年遡り調査の比較. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

舟久保徳美, **伊東憲翔**, **小野良太**, **鈴木遥士**, **村上大樹**, **佳冨英仁**, **大平哲也**. 医大生におけるパートナーの有無や生活習慣と主観的幸福度との関連. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府.

長尾匡則, **小針英理**, **田中健一**, **林史和**, **大平哲也**, **安村誠司**, **島袋充生**, **前田正治**, **坂井晃**, **矢部博興**, **細矢光亮**, **高橋敦史**, **大戸斉**, **神谷研二**, **風間順一郎**. 東日本大震災後の高血圧新規発症に対するリスク要因の検討：福島県「県民健康調査」. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221008; 甲府.

江尻遥香, **鈴木悟**, **浅野眞比呂**, **中畑那奈**, **鈴木聡**, **佐藤綾子**, **長嶺夏希**, **高橋智里**, **山谷幸恵**, **岩舘学**, **松塚崇**, **大平哲也**, **安村誠司**, **古屋文彦**, **志村浩己**, **鈴木眞一**, **横谷進**, **神谷研二**. 小児・青年期の甲状腺の横幅と厚さから算出された甲状腺面積の各性別、年齢、体表面積あたりの基準値について. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221009; 米子. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):143.

佐藤愛咲子, **江口依里**, **林史和**, **本田瑛子**, **清水悠路**, **岡田武夫**, **木山昌彦**, **大平哲也**. 生活習慣とうつ発症との関連についての前向き研究. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221009; 甲府.

過年業績

江口依里, **舟久保徳美**, **中野裕紀**, **大平哲也**. 東日本大震災前後の福島県内のメタボリックシンドロームの長期動向 NDB 特定健診データを用いた検討. 福島医学会第 491 回学術集会; 20211028; 福島. 福島医学雑誌. 72(2):85-86.

〔シンポジウム〕

大平哲也. 減災・レジリエンスの疫学　福島第一原子力発電所放射線事故後の健康影響と支援. 第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

大平哲也. 県民健康調査でわかったこと－心身の健康への影響. 2022 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シ

ンポジウム; 20220305; 福島.

石川徹夫，**安村誠司**，**赤羽恵一**，**米内俊祐**，**坂井晃**，**細矢光亮**，**坂田律**，**大平哲也**，**大戸斉**，**神谷研二**. 外部被ばく線量評価のための基本調査. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山/Web.

藤森敬也，**経塚標**，**安田俊**，**村田強志**，**後藤あや**，**安村誠司**，**太田操**，**幡研一**，**石井佳世子**，**鈴木孝太**，**中章人**，**後藤紗織**，**岡崎可奈子**，**中野裕紀**，**大平哲也**，**大戸斉**，**神谷研二**. 県民健康調査「妊産婦に関する調査」ならびに自然流産・人工妊娠中絶率の変化. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山/Web.

中野裕紀，**後藤あや**，**大葉隆**，**吉田和樹**，**ケネスノレット**，**村上道夫**，**大平哲也**，**熊谷敦史**，**谷川攻一**. 災害地域のニーズ調査を基に IT ツールを開発、調査を展開している事例. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221008; 甲府.

〔特別講演〕

Ohira T. Onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221013; Kyoto.

大平哲也. 災害と肥満症：福島県「県民健康調査」からの学び. 日本肥満学会第 19 回肥満症サマーセミナー; 20220702; Web.

大平哲也. 効果的な健康教育の計画、評価の設計方法について. 令和 4 年度奈良県栄養士会研究発表会・特別講演会; 20220823; Web.

過年業績

大平哲也. ストレス関連疾患への“笑い”の効果ーウィズコロナ時代のストレスマネジメントも含めてー. 第 93 回日本心身医学会東北地方会; 20210918; Web.

大平哲也. 血糖変動と精神症状に関する国内外の研究の動向. 第 33 回日本疼痛心身医学会／第 1 回低血糖・血糖値スパイク研究会; 20211127; Web.

大平哲也. 笑いと心身医療. 第 32 回日本サイコネフロロジー学会学術集会・総会; 20211211; Web.

〔招待講演〕

江口依里. 心と体のウェルネス～笑って心身リフレッシュ～. 社会福祉法人育成会講演会; 20221028; いわき.

大平哲也. 笑って笑って『すこやかに』～すばらしき『笑い』の効果～. 第 18 回健康都市連合日本支部大会; 20221124; 泉佐野.

放射線物理化学講座

論　　文

〔原　著〕

Kim E, Igarashi Y, Hashimoto S, Tani K, Kowatari M, Ishikawa T, Kurihara O. Estimation of the Thyroid Equivalent Doses to Residents in Areas Affected by the 2011 Fukushima Nuclear Disaster Due to Inhalation of ^{131}I Based on Their Behavioral Data and the Latest Atmospheric Transport and Dispersion Model Simulation. Health Physics. 202202; 122(2):313-325.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S84-S94.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S95-S103.

Omori Y, Sasaki R, Otsuki Y, Sorimachi A, Ishikawa T. Walking survey technique for ambient gamma dose rate measurement established in Fukushima Medical University. Journal of Nuclear Science and Technology. 2022; 59(8):1061-1070.

Suzuki G, Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Nagai H, Miyatake H, Yoshizawa N. Estimation of children's thyroid equivalent doses in 16 municipalities after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. Journal of Radiation Research. 202212; 63(6):796-804.

Thumwong A, Chinnawet M, Intarasena P, Rattanapongs C, Tokonami S, Ishikawa T, Saenboonruang K. A Comparative Study on X-ray Shielding and Mechanical Properties of Natural Rubber Latex Nanocomposites Containing Bi_2O_3 or $BaSO_4$: Experimental and Numerical Determination. Polymers. 202209; 14(17):3654.

Poltabtim W, Thumwong A, Wimolmala E, Rattanapongs C, Tokonami S, Ishikawa T, Saenboonruang K. Dual X-ray- and Neutron-Shielding Properties of Gd_2O_3/NR Composites with Autonomous Self-Healing Capabilities. Polymers. 202210; 14(21):4481.

Omori Y, Prasad G, Sagar DV, Sahoo SK, Sorimachi A, Janik M, Ishikawa T, Ramola RC, Tokonami S. Thoron Equilibrium Factor Observed around Chhatrapur Placer Deposit, a High Background Radiation Area in Odisha, India. Radiation Environment and Medicine. 202208; 11(2):50-55.

〔総説等〕

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Sakai A, Kurihara O, Hosoya M, Sakata R, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. External Doses Available for Epidemiological Studies Related to the Fukushima Health Management Survey: First 4-month Individual Doses and Municipality-average Doses for the First Year. Journal of Epidemiology. 2022; 32(Suppl_XII):S11-S22.

書籍等出版物

Ishikawa T. Radiation dose after the disaster. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.41-68.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

岡崎可奈子，安田俊，石井佳代子，中野裕紀，大平哲也，藤森敬也，石川徹夫，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の福島第一原発事故による外部被ばく線量の周産期転帰への影響：福島県「県民健康調査」．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡崎可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋充生，高橋敦史，風間順一郎，岡崎可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区域住民の健康に及ぼす影響：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

〔シンポジウム〕

石川徹夫，安村誠司，赤羽恵一，米内俊祐，坂井晃，細矢光亮，坂田律，大平哲也，大戸斉，神谷研二．外部被ばく線量評価のための基本調査．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山.

健康リスクコミュニケーション学講座

論　　文

〔原　著〕

Wada M, Takebayashi Y, Murakami M. Role of values and resilience in well-being among individuals affected by the Fukushima disaster. Applied Research in Quality of Life. 202212; 17(6):3503-3515.

Yamaguchi K, Ito M, Takebayashi Y, Horikoshi M, Hofmann SG. Affective styles and their association with anxiety and depression in a Japanese clinical sample. Clinical Psychology & Psychotherapy. 202207; 29(4):1481-1487.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202201; 67:102694.

Miyazaki Y, Shigematsu J, Oi H, Sasamori C, Yamada M, Takashina H, Kunisato Y, Inoue M, Takebayashi Y, So R, Nakajima S, Horikoshi M, Kuga H. The Role and Recent Trends of Informed Consent in Psychological Support: Narrative Review. Japanese Journal of Behavioral and Cognitive Therapies. 202209; 48(3):247-259.

Kashiwazaki Y, Takebayashi Y, Murakami M. The relationship between geographical region and perceptions of radiation risk after the Fukushima accident: The mediational role of knowledge. Radioprotection. 202201; 57(1):17-25.

Kobashi Y, Takebayashi Y, Yoshida M, Kawamura T, Shimazu Y, Kaneko Y, Tsubokura M. Waning of humoral immunity and the influencing factors after BNT162b2 vaccination: A cohort study with a latent growth curve model in Fukushima. Vaccines. 202211; 10(12):2007.

書籍等出版物

Takebayashi Y. Suicide-related issues among affected people. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press. 2022. p.163-175.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Sugita S, Ito M, Kato N, Toyota A, Nakajima S, Takebayashi Y, Komazawa A, Nakayama C, Yamaguchi K, Oe Y, Fujisato H, Miyamae M, Kaneko K, Yabe K, Horikoshi M. Changes in neuroticism through the unified protocol for transdiagnostic treatment of depressive and anxiety disorders. The Association for Behavioral and Cognitive Therapies (ABCT) 56th Annual Convention; 20221118; New York, USA.

樫原潤，竹林由武，国里愛彦，伊藤正哉，菅原大地. 認知行動療法によってうつ・不安症状のネットワーク構造は変容するか？統一プロトコルの臨床試験データの二次解析. 第 22 回日本認知療法・認知行動療法学会; 20221113; 東京.

重枝裕子，西村拓一，竹林由武，樫原潤，村中誠司，中島俊，青木俊太郎，押山千秋，国里愛彦，菅原大地，辻拓将，大井瞳，矢部魁一，杉田創，加藤典子，伊藤正哉. 認知行動療法と臨床査定で取得される多種データへの人工知能技術の適用－精神状態の識別及び治療アウトカムの予測－. 電子情報通信学会　人工知能と知識処理研究会; 20221221; 福岡. 電子情報通信学会技術研究報告. 122(322):42-45.

〔シンポジウム〕

樫原潤，菅原大地，竹林由武，国里愛彦，五十嵐友里，小杉考司. Process-Based Therapy とは何か？その概要と発展可能性を議論する. 日本認知・行動療法学会第 48 回大会; 20220930-1002; 宮崎/Web.

〔その他〕

伊藤正哉，西村拓一，中島俊，竹林由武，古徳純一，村中誠司，樫原潤，国里愛彦，菅原大地. デジタル－人間融合による精神の超高精細ケア：多種・大量・精密データ戦略の構築. 2022 年度人工知能学会全国大会（第 36 回）; 20220617; 京都.

樫原潤，国里愛彦，竹林由武，菅原大地. 心理ネットワークアプローチ入門：横断データ解析を中心に. 日本心理学会第 86 回大会; 20220908-11; 東京/Web.

竹林由武，山田祐樹; 日本心理学会機関誌等編集委員会　Japanese Psychological Research 編集小委員会. 英語論文投稿への道 2022. 日本心理学会第 86 回大会; 20220908-11; 東京/Web.

竹林由武. シングルケースデザインの効果評価：視覚分析、効果量、ベイズ統計. 日本認知・行動療法学会第 48 回大会; 20220930-1002; 宮崎/Web.

杉田創，竹林由武，加藤典子，豊田彩花，駒沢あさみ，中山千秋，山口慶子，大江悠樹，藤里紘子，宮前光宏，金子響介，矢部魁一，中島俊，堀越勝，伊藤正哉. 不安とうつの統一プロトコル（UP）における社会人口学的要因及び・診断特異的症状に対する効果の検討. 第 22 回日本認知療法・認知行動療法学会; 20221111-13; 東京.

循環器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kubo T, Amano M, Takashio S, Okumura T, Yamamoto S, Nabeta T, Oikawa M, Kurisu S, Ochi Y, Sugiura K, Baba Y, Kuroiwa H, Hirota T, Yamasaki N, Ishii S, Nochioka K, Takeishi Y, Yasuda S, Tsujita K, Izumi C, Kitaoka H. A retrospective investigation to establish new screening approach for the detection of patients at high risk of Fabry disease in male left ventricular hypertrophy patients. Journal of Cardiology. 2022; 80(4):325-331.

Anzai F, Yoshihisa A, Takeishi R, Hotsuki Y, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Acute myocardial infarction caused by Kawasaki disease requires more intensive therapy: Insights from the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases - Diagnosis Procedure Combination. Catheterization and Cardiovascular Interventions. 2022; 100(7):1173-1181.

Ohwada T, Sakamoto T, Suzuki S, Sugawara Y, Sakamoto K, Ikeda A, Haga F, Sato T, Nakazato K, Takeishi Y, Watanabe K. Apolipoprotein C3 and necrotic core volume are correlated but also associated with future cardiovascular events. Scientific Reports. 2022; 12(1):14554.

Ito M, Maeda D, Matsue Y, Shiraishi Y, Dotare T, Sunayama T, Nogi K, Takei M, Ueda T, Nogi M, Ishihara S, Nakada Y, Kawakami R, Kagiyama N, Kitai T, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nagatomo Y, Kohno T, Nakano S, Kohsaka S, Yoshikawa T, Saito Y, Minamino T. Association between class of foundational medication for heart failure and prognosis in heart failure with reduced/mildly reduced ejection fraction. Scientific Reports. 2022; 12(1):16611.

Haga F, Oikawa M, Akama J, Kiko T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. ATTR amyloidosis concomitant with parkinsonism and cardiac sympathetic neuropathy. Annals of Nuclear Cardiology. 2022; 8(1):117-119.

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(2):357-364.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with the occurrence of bleeding events in heart failure patients with a history of coronary artery disease. Journal of Cardiology. 2022; 80(1):88-93.

Vergaro G, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Ueland T,

Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Gustafsson I, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Emdin M, Passino C. Cardiac biomarkers retain prognostic significance in patients with heart failure and chronic obstructive pulmonary disease. Journal of Cardiovascular Medicine. 2022; 23(1):28-36.

Vergaro G, Gentile F, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, de Boer RA, Meems LMG, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Cohn JN, Ueland T, Gullestad L, Aukrust P, Brunner-La Rocca HP, Bayes-Genis A, Lupón J, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Ling LH, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Devlin G, Lund M, Giannoni A, Passino C, Emdin M. Circulating levels and prognostic cut-offs of sST2, hs-cTnT, and NT-proBNP in women vs. men with chronic heart failure. ESC Heart Failure. 2022; 9(4):2084-2095.

Yoshioka K, Maeda D, Okumura T, Kida K, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Mizukami A, Kuroda S, Kagiyama N, Yamaguchi T, Sasano T, Matsumura A, Kitai T, Matsue Y. Clinical implication of initial intravenous diuretic dose for acute decompensated heart failure. Scientific Reports. 2022; 12(1):2127.

Tamura Y, Tamura Y, Taniguchi Y, Tsujino I, Inami T, Matsubara H, Shigeta A, Sugiyama Y, Adachi S, Abe K, Baba Y, Hatano M, Ikeda S, Kusunose K, Sugimura K, Usui S, Takeishi Y, Dohi K, Hasegawa-Tamba S, Horimoto K, Kikuchi N, Kumamaru H, Tatsumi K; Japan Pulmonary Hypertension Registry Network. Clinical management and outcomes of patients with portopulmonary hypertension enrolled in the Japanese Multicenter Registry. Circulation Reports. 2022; 4(11):542-549.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical usefulness of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) thrombotic risk score to predict long-term all-cause mortality and heart failure hospitalization after percutaneous coronary intervention. PLOS ONE. 2022; 17(9):e0274287.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 8:807754.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decreases in hepatokine Fetuin-A levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict cardiac outcomes in patients with heart failure. Clinical Research in Cardiology. 2022; 111(10):1104-1112.

Jin Y, Yaegashi D, Shi L, Ishida M, Sakai C, Yokokawa T, Abe Y, Sakai A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Hijioka N, Awai K, Tashiro S, Takeishi Y, Ishida T. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. International Heart Journal. 2022; 63(3):466-475.

Dotare T, Maeda D, Matsue Y, Sunayama T, Kida K, Kitai T, Kagiyama N, Yamaguchi T, Okumura T, Mizuno A, Oishi S, Inuzuka Y, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Minamino T. Early drop in systolic blood pressure is associated with poor diuretic response and prognosis in patients with acute heart failure. European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care. 2022; 11(10):749-757.

Nogi K, Ueda T, Matsue Y, Nogi M, Ishihara S, Nakada Y, Kawakami R, Kagiyama N, Kitai T, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Saito Y. Effect of carperitide on the 1 year prognosis of patients with acute decompensated heart failure. ESC Heart Failure. 2022; 9(2):1061-1070.

Lin WL, Lai CT, Yamada S, Liu SH, Cheng WH, Chou YH, Yang CCH, Kuo TBJ, Chen SA, Lo LW. Effects of renal denervation on sleep apnea and arrhythmia in rats with myocardial infarction. Sleep Medicine. 2022; 91:115-123.

Kamioka M, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Electrophysiological properties and involvement of anatomical factors for the prediction of intramural origin in patients with ventricular tachyarrhythmia arising from the left ventricular outflow tract. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 63(1):115-123.

Kanaoka K, Onoue K, Terasaki S, Nakano T, Nakai M, Sumita Y, Hatakeyama K, Terasaki F, Kawakami R, Iwanaga Y, Miyamoto Y, Saito Y; Japanese Registry of Fulminant Myocarditis Investigators (Takeishi Y, Oikawa M, Suzuki S). Features and outcomes of histologically proven myocarditis with fulminant presentation. Circulation. 2022; 146(19):1425-1433.

Boucherat O, Yokokawa T, Krishna V, Kalyana-Sundaram S, Martineau S, Breuils-Bonnet S, Azhar N, Bonilla F, Gutstein D, Potus F, Lawrie A, Jeyaseelan J, Provencher S, Bonnet S. Identification of LTBP-2 as a plasma biomarker for right ventricular dysfunction in human pulmonary arterial hypertension. Nature Cardiovascular Research. 2022; 1(8):748-760.

Yoshihisa A, Kono S, Kaneshiro T, Ichijo Y, Misaka T, Yamada S, Oikawa M, Miura I, Yabe H, Takeishi Y. Impaired brain activity in patients with persistent atrial fibrillation assessed by near-infrared spectroscopy and its changes after catheter ablation. Scientific Reports. 2022; 12(1):7866.

Takeishi R, Misaka T, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Yoshihisa A, Takeishi Y. Increases in hepatokine selenoprotein P levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict adverse prognosis in patients with heart failure. Journal of the American Heart Association. 2022; 11(11):e024901.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Influence of power setting on superior vena cava potential during right pulmonary vein isolation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(1):25-31.

Kinugasa Y, Nakamura K, Kamitani H, Hirai M, Yanagihara K, Kato M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Takeishi Y, Yamamoto K, Anzai T. Left ventricular mass index-to-QRS-voltage ratio predicts outcomes in heart failure with preserved ejection fraction. ESC Heart Failure. 2022; 9(2):1098-1106.

Nakata T, Nakajima K, Naya M, Yoshida S, Momose M, Taniguchi Y, Fukushima Y, Moroi M, Okizaki A, Hashimoto A, Kiko T, Hida S, Takehana K. Multicenter registry in the Japanese Cardiac Sarcoidosis

Prognostic (J-CASP) Study: Baseline characteristics and validation of the non-invasive approach using ^{18}F-FDG PET. Annals of Nuclear Cardiology. 2022; 8(1):42-50.

Ohta-Ogo K, Sugano Y, Ogata S, Nakayama T, Komori T, Eguchi K, Dohi K, Yokokawa T, Kanamori H, Nishimura S, Nakamura K, Ikeda Y, Nishimura K, Takemura G, Anzai T, Hiroe M, Hatakeyama K, Ishibashi-Ueda H, Imanaka-Yoshida K. Myocardial T-lymphocytes as a prognostic risk-stratifying marker of dilated cardiomyopathy - Results of the multicenter registry to investigate inflammatory cell infiltration in dilated cardiomyopathy in tissues of endomyocardial biopsy (INDICATE Study)-. Circulation Journal. 2022; 86(7):1092-1101.

Shimauchi T, Boucherat O, Yokokawa T, Grobs Y, Wu W, Orcholski M, Martineau S, Omura J, Tremblay E, Shimauchi K, Nadeau V, Breuils-Bonnet S, Paulin R, Potus F, Provencher S, Bonnet S. PARP1-PKM2 axis mediates right ventricular failure associated with pulmonary arterial hypertension. JACC: Basic to Translational Science. 2022; 7(4):384-403.

Sugawara Y, Kobayashi A, Muto Y, Igarashi T, Takeishi Y. Perforation of the membranous atrioventricular septum caused by infective endocarditis in a patient with a unicuspid aortic valve. Journal of Medical Ultrasonics. 2022; 49(2):311-312.

Heeger CH, Sohns C, Pott A, Metzner A, Inaba O, Straube F, Kuniss M, Aryana A, Miyazaki S, Cay S, Ehrlich JR, El-Battrawy I, Martinek M, Saguner AM, Tscholl V, Yalin K, Lyan E, Su W, Papiashvili G, Botros MSN, Gasperetti A, Proietti R, Wissner E, Scherr D, Kamioka M, Makimoto H, Urushida T, Aksu T, Chun JKR, Aytemir K, Jędrzejczyk-Patej E, Kuck KH, Dahme T, Steven D, Sommer P, Richard Tilz R. Phrenic nerve injury during cryoballoon-based pulmonary vein isolation: Results of the Worldwide YETI Registry. Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology. 2022; 15(1):e010516.

Amami K, Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Nehashi T, Takeishi Y. Predictive impacts of chronic kidney disease and cardiac sympathetic nervous activity on lethal arrhythmic events in chronic heart failure. Annals of Noninvasive Electrocardiology. 2022; 27(1):e12900.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Procedural characteristics of pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting ablation compared to conventional setting. BMC Cardiovascular Disorders. 2022; 22(1):14.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Anzai F, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic effects of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. Circulation Journal. 2022; 86(12):1982-1989.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. International Heart Journal. 2022; 63(6):1063-1069.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H,

Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) bleeding risk score for long-term mortality after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(1):15-22.

Hoshide S, Yoshihisa A, Tsuchida F, Mizuno H, Teragawa H, Kasai T, Koito H, Ando S, Watanabe Y, Takeishi Y, Kario K. Pulse transit time-estimated blood pressure: a comparison of beat-to-beat and intermittent measurement. Hypertension Research. 2022; 45(6):1001-1007.

Ohara H, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 9:772466.

Takahashi H, Mori H, Fukatsu M, Sano T, Harada K, Oikawa M, Takeishi Y, Kimura S, Ohkawara H, Shichishima T, Ikezoe T. Successful management of unstable angina in a ravulizumab-treated patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):175-178.

Takeishi R, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Temporal trends in the practice pattern for sleep-disordered breathing in patients with cardiovascular diseases in Japan - Insights from the Japanese registry of all cardiac and vascular diseases - diagnosis procedure combination. Circulation Journal. 2022; 86(9):1428-1436.

Kurosawa Y, Shimizu T, Ando T, Akama J, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of D-dimer on long-term mortality in patients with coronary artery disease after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(6):1070-1077.

Fukatsu M, Ohkawara H, Wang X, Alkebsi L, Furukawa M, Mori H, Fukami M, Fukami S, Sano T, Takahashi H, Harada-Shirado K, Kimura S, Sugimoto K, Ogawa K, Ikezoe T. The suppressive effects of Mer inhibition on inflammatory responses in the pathogenesis of LPS-induced ALI/ARDS. Science Signaling. 2022; 15(724):eabd2533.

Misumi K, Matsue Y, Nogi K, Sunayama T, Dotare T, Maeda D, Kagiyama N, Kasai T, Kitai T, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nogi M, Ishihara S, Ueda T, Kawakami R, Saito Y, Minamino T. Usefulness of incorporating hypochloremia into the get with the guidelines-heart failure risk model in patients with acute heart failure. American Journal of Cardiology. 2022; 162:122-128.

Amami K, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Yamada S, Nehashi T, Hijioka N, Nodera M, Kaneshiro T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Utility of a novel wearable electrode embedded in an undershirt for electrocardiogram monitoring and detection of arrhythmias. PLOS ONE. 2022; 17(8):e0273541.

Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese bleeding risk criteria in patients after percutaneous coronary intervention and comparison with contemporary bleeding risk criteria. Circulation Reports. 2022;

4(5):230-238.

〔総説等〕

三阪智史，竹石恭知. クローン性造血と心血管疾患ー新しい治療ターゲットー. 循環器内科. 2022; 91(6):784-790.

三阪智史，竹石恭知. クローン性造血と肺高血圧症ー新しい個別化医療のターゲットー. 循環器内科. 2022; 92(4):463-469.

山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. ランジオロールによる頻脈性不整脈治療. 診断と治療. 2022; 110(10):1335-1339.

佐藤崇匡. 救急対応を要する代表的な循環器疾患の診断と治療　急性心不全. 内科. 2022; 129(3):353-357.

石田万里，石田隆史，田代聡，粟井和夫，吉栖正生. 心血管疾患と医療放射線被ばく. 脈管学. 2022; 62(10):97-104.

中里和彦. 特別な背景を有する状態　震災発生時に注意するべき緊急対応を要する循環器疾患. 内科. 2022; 129(3):411-413.

中里和彦. 肺高血圧発症メカニズムの多様性～クローン性造血の関与～. Precision Medicine. 2022; 5(5):483-487.

中里和彦. 肺動脈性肺高血圧症の重症度と治療戦略. 呼吸器内科. 2022; 41(6):559-566.

〔研究報告書〕

田代聡，岡田守人，工藤崇，竹石恭知，石田隆史. 医療放射線被ばくの人体影響評価. 2021 年度　共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト　研究成果報告集. 2022; 224-233.

東幸仁，竹石恭知，石田隆史，李桃生. 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 2021 年度　共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト　研究成果報告集. 2022; 301-311.

〔その他〕

竹石恭知. 25 年間　ありがとうございます！ パンダハウス News Letter. 2022; 15:2.

竹石恭知. 我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言ー卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指してー. 全国医学部長病院長会議　提言. 2022; 1-58.

竹石恭知. 学会開催・学会賞報告　第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会　報告. 日本心臓核医学会誌. 2022; 24(1):22.

八巻尚洋. 救急車から心電図伝送. 福島民報. 20221012; 21.

及川雅啓. 経験者は語る　ファブリー病　診断に至るまで　日常診療からの気づき～こんな疾患が隠れていた～循環器内科の場合. Sumitomo Pharma パンフレット. 2022; 1-2.

竹石恭知. 公立大学法人 福島県立医科大学　病院長メッセージ. 福島県臨床研修病院ガイドブック 2022. 2022; 9-10.

竹石恭知. 高い能力持つ医療人育成　福島医大新病院長　竹石恭知氏. 福島民友. 20220408; 3.

八巻尚洋. 心電図データ共有事例公開. 福島民友. 20221012; 3.

竹石恭知, **星北斗**. 心不全を引き起こす大動脈弁狭窄症. 福島民友. 20220528; 26.

竹石恭知. 新任挨拶. 福島医大病院ニュースレター. 2022; 58:1.

竹石恭知. 先端医療で地域貢献　福島医大付属病院長に就いた竹石恭知氏に聞く. 福島民報. 20220408; 2.

竹石恭知. 創薬医療分野　貢献へ　福島医大「近代医学教育 150 年シンポ」. 福島民友. 20220612; 2.

竹石恭知. 対談「心不全診療のアンメット・ニーズと新規治療薬ベリキューボ」. ベリキューボ錠製品情報サイト医師対談記事. 2022; 1-5.

竹石恭知. 代表理事に竹石氏. 福島民報. 20221013; 3.

喜古崇豊. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会「第 21 回若手研究者奨励賞最優秀賞を受賞して」. 日本心臓核医学会誌. 2022; 24(1):24.

堀江重郎, **天野俊康**, **石井智弘**, **井手久満**, **伊藤直樹**, **岩月正一郎**, **上芝元**, **大山力**, **小川純人**, **蔭山和則**, **方波見卓行**, **川戸佳**, **菅野潤子**, **功刀浩**, **重原一慶**, **周東孝浩**, **白石晃司**, **白川智也**, **鈴木和浩**, **高岡正和**, **高橋裕**, **竹石恭知**, **立花修**, **田邉真紀人**, **辻村晃**, **鳥居俊**, **西岡宏**, **長谷川奉延**, **畠山真吾**, **濱島崇**, **濱野逸人**, **福井道明**, **福岡秀規**, **松井克之**, **松下一仁**, **溝上敦**, **村元啓仁**, **八木弘子**, **安井孝周**, **柳瀬敏彦**, **義久精臣**. 男性の性腺機能低下症ガイドライン 2022. 日本内分泌学会雑誌. 2022; 98(Suppl):1-140.

竹石恭知. 竹石氏代表理事に. 福島民友. 20221014; 3.

竹石恭知. 白衣式で 131 人医師への一歩. 福島民友. 20221013; 4.

竹石恭知. 福医大シンポ　近代医学教育 150 年たどる. 福島民報. 20220612; 2.

竹石恭知. 福島県立医科大学附属病院長に就任して. 福島県立医科大学　大学医師会会報. 2022; 161:1.

竹石恭知. 臨床実習へ心構え新た　福島医大白衣式. 福島民報. 20221013; 21.

書籍等出版物

竹石恭知. 6.　循環器疾患　大動脈弁輪拡張症（マルファン症候群含む）. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針　2022 年版. 東京: 医学書院. 2022. p.436-437.

義久精臣, **竹石恭知**. II　心不全　1　急性心不全. In: 伊藤浩, 山下武志 編集. 循環器疾患最新の治療　2022-2023. 東京: 南江堂. 2022. p.57-62.

義久精臣, **市村祥平**, **竹石恭知**. VI　合併症とその治療戦略：睡眠呼吸障害へのアプローチ up to date. In: 伊藤浩 編集. 令和の心不全治療ガイド. 東京: 文光堂. 2022. p.205-208.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yokokawa T, Shimauchi T, Provencher S, Bonnet S, Boucherat O. Proteomic signature of right ventricular failure development in pulmonary arterial hypertension. Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022 (APSC2022); 20220311-13; Web.

Shimauchi T, Boucherat O, Yokokawa T, Grobs Y, Wu W, Orcholski M, Martineau S, Omura J, Tremblay E, Shimauchi K, Nadeau V, Breuils-Bonnet S, Paulin R, Potus F, Provencher S, Bonnet S. Role of PARP1-PKM2 axis in the pathogenesis of right ventricular failure associated with pulmonary arterial hypertension. Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022 (APSC2022); 20220311-13; Web.

Yamakuni R, Endo K, Kiko T, Ishii S, Yamaki T, Kikori K, Ukon N, Ito H, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic significance of simultaneous analysis with global myocardial flow reserve and myocardial strain under vasodilator stress using cardiac PETMR. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Vancouver, Canada/Web.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of myocardial mechanical dyssynchrony using integrated PETMR system -Direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking-. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Vancouver, Canada/Web.

Ishida T, Jin Y, Yaegashi D, Ishida M, Sakai C, Yamaki T, Nakazato K, Tashiro S, Takeishi Y. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. ESC Congress 2022; 20220826-29; Barcelona, Spain/Web. European Heart Journal. 43(Supplement_2):3015.

Ishida M, Ueda K, Sakai C, Kobayashi Y, Yoshizumi M, Nakano Y, Ishida T. Cigarette smoke extract induces DNA damage and triggers an innate immune response. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension (ISH2022) ; 20221012-16; Kyoto. Journal of Hypertension. 41(e-Supplement1):e287.

Sakai C, Ishida M, Ishida T. Omega-3 fatty acids attenuate oxidative stress-induced DNA damage through Nrf-2 in vascular endothelial cells. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension

(ISH2022) ; 20221012-16; Kyoto. Journal of Hypertension. 41(e-Supplement1):e266.

Sakai C, Ishida M, Ariyandy A, Ishida T. Polymorphism of DNA repair gene is associated with hypertension induced left ventricular hypertrophy - role of DNA damage and cell senescence. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension (ISH2022) ; 20221012-16; Kyoto. Journal of Hypertension. 41(e-Supplement1):e267.

Tomita Y, Misaka T, Anzai F, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Takeishi Y. Cardiomyocyte N-myristoylation plays an essential role during the development of heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10039.

Yamamoto K, Yokokawa T, Lemay S, Bourgeois A, Shimauchi T, Shimauchi K, Nadeau V, Salem M, Breuils Bonnet S, Potus F, Boucherat O, Provencher S, Bonnet S. DNA-PKcs: a novel therapeutic target in pulmonary arterial hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10202.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9881.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9789.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10222.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11852.

Kurosawa Y, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes undergoing intracoronary imaging-guided percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11766.

Lemay S, S Montesinos M, Grobs Y, Yokokawa T, Shimauchi T, Breuils-Bonnet S, Martineau S, Salem M, Bourgeois A, Romanet C, Huang X, Dowling J, Lu M, Ray A, Potus F, Provencher S, Boucherat O, Bonnet S. Integrins signaling represents an exciting therapeutic avenue to counter vascular remodeling and right ventricular failure in pulmonary arterial hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10904.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a axis plays a pivotal role in breast cancer progression after myocardial infarction. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10584.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9792.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of calcium volume measurement determined by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10744.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9916.

Muto Y, Sato A, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11363.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is an important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10593.

Kiko T, Endo K, Fukushima K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular strain during vasodilator stress measured by ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9764.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The distance from the right coronary artery to the cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11209.

Kurosawa Y, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of living alone on long-term cardiac mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11777.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with bleeding event in heart failure patients with a history of coronary artery disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

和田健斗，三阪智史，横川哲朗，君島勇輔，金城貴士，及川雅啓，義久精臣，竹石恭知. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

阿部諭史，義久精臣，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Calcium-phosphorus (Ca-P) product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川沙代子，横川哲朗，三阪智史，金城貴士，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Nozaki Y, Sekine T, Ando T, Suzuki S. Cardiac tamponade caused by B-cell lymphoma in a patient with rheumatoid arthritis. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

上田桂太郎，小林佑輔，坂井千恵美，吉栖正生，石田隆史，石田万里. Cigarette smoke extract induces nuclear and mitochondrial DNA damage and triggers an innate immune response. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Anzai F, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decrease in hepatokine fetuin-A is associated with hepatic hypoperfusion in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Watanabe K, Wada K, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Anzai F, Sato A, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

杉本浩一，及川雅啓，小林淳，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. MT1-MMP may be a new biomarker to predict pulmonary artery hypertention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor is associated with breast cancer progression after myocardial infarction. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure with preserved left-ventricular ejection fraction. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，佐藤悠，君島勇輔，三阪智史，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

関根虎之介，野﨑祐司，安藤卓也，佐藤悠，鈴木聡. Repeated pneumothorax caused by a pacemaker screw-type atrial lead perforation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predict bleeding events in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Nodera M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Shimizu T, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk criteria. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Ishida M, Ueda K, Sakai C, Kobayashi Y, Nakano Y, Yoshizumi M, Ishida T. Cigarette smoke-induced nuclear and mitochondrial DNA damage. 第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web. Journal of Physiological Sciences. 72(Suppl1):33(75).

三阪智史，義久精臣，石橋伸治，堀越裕子，松田美津子，山寺幸雄，菅原由紀子，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. 心不全患者における脾臓の超音波エラストグラフィの臨床的意義. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 49(Suppl):S670.

三浦里織，豊川真弘，義久精臣，小川一英，北爪しのぶ. 新しい血小板活性化バイオマーカーとしてのアミロイドβ前駆体タンパク質 770 の可能性. 第 71 回日本医学検査学会; 20220521-22; 大阪/Web.

山田慎哉，金城貴士，根橋健，天海一明，野寺穣，竹石恭知. Clinical significance of the decreased coefficient of variance of R-R interval after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

Amami K, Yamada S, Nehashi T, Nodera M, Kaneshiro T, Takeishi Y. The association between abnormal cardiac sympathetic nervous activity and lethal arrhythmic events in chronic heart failure with chronic kidney disease. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

野寺穣，天海一明，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

遠藤圭一郎，福島賢慈，喜古崇豊，山國遼，八巻尚洋，伊藤浩，竹石恭知. ^{13}N-アンモニア PET/MRI を用いた心筋血流予備能と右室ストレイン解析による予後の検討. 第 32 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20220624-25; 東京/Web. 心臓核医学. 24(2):23.

武藤雄紀，菅原由紀子，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，國井浩行，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. ガイドワイヤーによる左室穿孔を来した TAVI の 1 例. 第 12 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会; 20220701-02; 仙台.

武藤雄紀，佐藤栄奈，大橋尚人，佐久間裕也，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，國井浩行，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. TAVI 中にガイドワイヤーによる左室穿孔を来たした一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

佐藤彰彦，武藤雄紀，清水竹史，及川雅啓，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 右冠動脈起始異常を有する患者に対し TAVR を施行した一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

大原妃美佳，清水竹史，佐藤栄奈，池田彩乃，佐久間裕也，根橋健，遠藤圭一郎，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 金属アレルギー患者に対しDCAおよびDCBによりステントレスでPCIを施行し得た一例. 第30回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022); 20220721-23; 横浜/Web.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対しPCIを施行した腎血管性高血圧症の一例. 第30回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022); 20220721-23; 横浜/Web.

八重樫大輝，及川雅啓，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Nutrition risk index（NRI）によるがん治療関連心機能障害の予測. 第5回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる. 第5回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

谷哲矢，及川雅啓，三阪智史，石田隆史，竹石恭知. 心筋梗塞によるNerve Growth Factorの増加はNGF/TrkA経路を介して乳がんを進行させる. 第5回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

阿部諭史，義久精臣，一條靖洋，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Lower calcium-phosphorus product predicts adverse prognosis in patients with heart failure and chronic kidney disease. 第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寳槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal Venous Stasis Indexは心不全患者における腎うっ血を反映する. 第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐久間裕也，清水竹史，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. びまん性冠動脈狭窄および冠動脈瘤を呈した線維筋性異形成の一例. 第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. 簡易版ARC-HBR評価基準は心不全患者の出血イベントを予測する. 第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知. 左室駆出率の低下した慢性心不全患者における安静時エネルギー消費量測定の意義. 第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第26回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

冨田湧介，三阪智史，安齋文弥，市村祥平，和田健斗，君島勇輔，竹石恭知. Cardiomyocyte N-myristoylation plays an essential role during the development of heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寳槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac outcomes in heart failure with reduced ejection fraction. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts adverse prognosis in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

八重樫大輝，佐藤崇匡，池田彩乃，黒沢雄太，安齋文弥，清水竹史，竹石恭知. Successful treatment with angiotensin-receptor neprilysin-inhibitor in a patient with advanced heart failure after left ventricular assist device implantation. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

根橋健，山田慎哉，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 2D 左室心筋長軸ストレイン解析による起源同定がアブレーションに有用であった右脚ブロック型・上方軸心室性期外収縮の 2 症例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2022; 20221124-26; 新潟.

Yaegashi D, Ishida T, Kikuta A, Oikawa M, Yokokawa T, Yoshihisa A, Waragai T, Sano H, Tashiro S, Takeishi Y. Significance of DNA damage quantification in childhood cancer survivrs. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20221125-27; 東京. 日本小児血液・がん学会誌. 59(4):213.

坂井千恵美，石田万里，小林佑輔，田代聡，石田隆史. DNA 二本鎖切断蓄積による動脈硬化進展メカニズムの探索. 第 45 回日本分子生物学会年会; 20221130-1202; 千葉.

横川哲朗, Boucherat O, Potus F, Lawrie A, Provencher S, Bonnet S. Transcriptome and proteome analyses identify LTBP-2 as a biomarker for right ventricular dysfunction in pulmonary arterial hypertension. CVMW2022 心血管代謝週間：第 30 回日本血管生物医学会学術集会; 20221216-17; 東京.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation prevents cardiac hypertrophy and heart failure. CVMW2022 心血管代謝週間：第 39 回国際心臓研究学会 日本部会; 20221216-17; 東京.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a signaling pathway plays a vital role in breast cancer progression after myocardial infarction. CVMW2022 心血管代謝週間：第 6 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム (BCVR); 20221216-17; 東京.

武藤雄紀，國井浩行，佐藤栄奈，大橋尚人，佐久間裕也，菅原由紀子，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，中里和彦，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知．ガイドワイヤーによる左室穿孔を来したTAVIの1例．第50回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

清水竹史，遠藤圭一郎，安藤卓也，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．冠動脈バイパス術後の右冠動脈入口部の慢性完全閉塞に対し、両方向性アプローチにより経皮的冠動脈形成術に成功した一例．第50回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

坂井千恵美，石田万里，上田桂太郎，小林佑輔，吉栖正生，石田隆史. DNA損傷を基盤とする動脈硬化発症のメカニズム．第120回日本循環器学会四国地方会; 20220528-29; 広島.

上田桂太郎，小林佑輔，坂井千恵美，吉栖正生，中野由紀子，石田隆史，石田万里．喫煙による炎症惹起機構ー血管内皮細胞における検討．第120回日本循環器学会四国地方会; 20220528-29; 広島.

市村祥平，及川雅啓，池田彩乃，遠藤圭一郎，武藤雄紀，赤間浄，八巻尚洋，中里和彦，佐藤雅彦，石田隆史，竹石恭知．ワクチン未接種者に発症したSARS-CoV-2オミクロン株（BA.2型）によるCOVID-19関連劇症型心筋炎の一例．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

西浦司人，阿部諭史，佐久間裕也，菅原由紀子，清水竹史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．緩徐な経過を辿ったAbiotrophia defectivaによる感染性心内膜炎の一例．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

草野亮太，清水竹史，佐久間裕也，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し経皮的冠動脈形成術を施行した腎血管性高血圧症の一例．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

片平正隆，三橋武司，佐藤勇太朗，大河内諭，君島勇輔，國分知樹，中村裕一，松井佑子，坂本圭司，渡辺直彦，木島幹博．著名な右房拡大、三尖弁逆流を認め、AAIで恒久的ペースメーカー植え込み術を施行した洞不全症候群の1例．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

天海一明，山田慎哉，義久精臣，根橋健，野寺穣，金城貴士，三阪智史，竹石恭知．長時間心電図記録および不整脈検出におけるシャツ型電極の有用性．第174回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知．心内シークエンスの明らかな変化なく、デルタ波の極性変化をきたしたWPW症候群の1例．第2回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20220716; 盛岡/Web.

草野亮太，武藤雄紀，遠藤圭一郎，黒沢雄太，佐藤彰彦，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知，藤宮剛，高瀬信弥，横山斉．右冠動脈起始異常を有する患者に対しTAVIを施行した一例．第51回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

片平正隆，清水竹史，黒沢雄太，喜古崇豊，佐藤彰彦，小林淳，新城宏治，藤宮剛，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 左主幹部高度石灰化病変を責任病変とする非 ST 上昇型心筋梗塞に対し、左腋窩動脈より Impella 挿入下に PCI を施行した Leriche 症候群の一例. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

大原妃美佳，片平正隆，武藤雄紀，三浦俊輔，小林淳，竹石恭知. オシメルチニブによる CTRTD（がん治療関連心機能障害）を発症した 1 例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

磯松大介，佐藤崇匡，上田捷太，岡部亮斗，鈴木喜敬，廣坂諒，池田彩乃，大橋尚人，大原妃美佳，黒沢雄太，和田健斗，君島勇輔，佐藤彰彦，清水竹史，藤宮剛，横山斉，竹石恭知. ヘパリン起因性血小板減少症を合併し長期 IMPELLA®管理後に植込型補助人工心臓移植術を行った重症心不全の 1 例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

大和田光司，山田慎哉，片平正隆，根橋健，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 右室同期左室ペーシングが有効だった間欠性左脚ブロックの一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

小河原崚，三阪智史，市村祥平，冨田湧介，佐藤悠，三浦俊輔，横川哲朗，阿部諭史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義：心筋生検検体を用いたアプローチ. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

佐久間裕也，阿部諭史，小河原崚，遠藤圭一郎，清水竹史，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を契機とした好酸球性心筋炎の一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

鈴木喜敬，渡部瞬，上田捷太，安藤卓也，鈴木聡. 左房内腫瘤により心原性ショックを呈した一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

西浦司人，及川雅啓，佐藤悠，横川哲朗，佐藤彰彦，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 低流量低圧較差重症 AS による繰り返すうっ血性心不全に TAVI が著効した一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

三宅真里世，星野弘尊，菅井義尚，玉川和亮，鶴谷善夫，金城貴士. 複数の頻脈性不整脈の経過を経て診断に至った特発性拡張型心筋症の一例. 第 8 回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

大橋尚人，及川雅啓，佐藤栄奈，佐久間裕也，武藤雄紀，阿部諭史，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 閉塞性肥大型心筋症に合併した全身性アミロイドーシスの一例. 第 8 回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

佐藤悠，安藤卓也，野﨑祐司，関根虎之介，鈴木聡. 左回旋枝の特発性冠動脈解離が左主幹部から左前下行枝まで進展した急性心筋梗塞の 1 例. 第 12 回豊橋ライブデモンストレーションコース; 20220621-25; Web.

武藤雄紀，草野亮太，小河原崚，三浦俊輔，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，石田圭一，藤宮剛，高瀬信弥，横山斉，竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション 2022; 20220909-10; 岡山.

及川雅啓，佐久間裕也，佐藤栄奈，大橋尚人，武藤雄紀，小林淳，杉本浩一，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効した G6PD 欠損症の一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション 2022; 20220909-10; 岡山.

冨田湧介，安齋文弥，三阪智史，小河原崚，市村祥平，和田健斗，君島勇輔，横川哲朗，竹石恭知. 心不全における N-ミリストイル化を介した蛋白質翻訳後修飾の役割と心不全の新規治療開発. 第 10 回 Heart Science Club; 20221001; Web.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し PCI を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 56 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20220319; Web.

関根虎之介，野﨑祐司，安藤卓也，佐藤悠，鈴木聡. ペースメーカ心房リード（screw-type）により気胸を繰り返した 1 例. 第 42 回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

若松大樹，佐戸川弘之，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉，中里和彦，竹石恭知. 高度肺高血圧をともなう未加療の成人期部分肺静脈還流異常症への統合的治療. 第 42 回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

佐藤崇匡，藤宮剛，横山斉，竹石恭知. 福島県立医科大学附属病院における植込型補助人工心臓治療の現況. 第 42 回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. 心室期外収縮と持続性心房細動のアブレーションを一期的に行い、心機能の改善が得られた不整脈誘発性心筋症の一例. 第 19 回福島不整脈懇話会; 20220707; Web.

佐藤彰彦. カテコラミン離脱が困難だった機能性僧帽弁逆流を伴った虚血性心筋症による重症心不全に対して経カテーテル的僧帽弁クリップ術を施行した一例. 第 57 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20221001; Web.

〔シンポジウム〕

八巻尚洋. 循環器病対策基本計画が進んでいく中で CVIT の果たす役割：急性心筋梗塞への対応（シンポジウム）. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

金城貴士. Unknown Device（シンポジウム）. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

竹石恭知. 循環器領域における高齢化と先進医療：高齢者心不全の治療戦略. 福島県近代医学教育 150 年顕彰記念シンポジウム; 20220611; 福島/Web.

竹石恭知. JAK2V617F 変異クローン性造血と肺高血圧症（シンポジウム）. 第 22 回日本抗加齢医学会総会; 20220617-19; 大阪/Web.

義久精臣, **君島勇輔**, **竹石恭知**. 心不全患者における心血管イベント予測に関する Soluble Fibrin Monomer Complex の有用性（シンポジウム）. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220623-25; 仙台/Web. 日本血栓止血学会誌. 33(2):190.

義久精臣, **三阪智史**, **竹石恭知**. 心不全の睡眠呼吸障害に対する ASV（ワークショップ）. 日本睡眠学会第 47 回定期学術集会; 20220630-0701; 京都.

三阪智史. クローン性造血と肺高血圧症～新たな個別化医療のターゲット～（ランチョンセミナー）. 第 7 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20220702-03; 東京.

及川雅啓, **八重樫大輝**, **大原妃美佳**, **阿部諭史**, **三阪智史**, **小林淳**, **義久精臣**, **中里和彦**, **石田隆史**, **竹石恭知**. アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる（シンポジウム）. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

〔特別講演〕

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に生かす取り組み. 山形循環器病対策研究会; 2022028; 山形/Web.

竹石恭知. 特別講演：Onco-Cardiology への取り組み～CAT 領域に対する抗凝固療法～. Onco-Cardiology Web Seminar; 20220421; Web.

鈴木聡. 特別講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー会津心不全地域連携の取り組みからー. 会津医学会学術講演会～会津地域の心臓を守る～; 20220421; 会津若松/Web.

鈴木聡. 特別講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー理想的な地域連携を目指してー. 猪苗代心不全地域医療連携講演; 20220516; 猪苗代/Web.

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に生かす取り組み. Fukushima Cardiovascular Management Seminar; 20220524; Web.

鈴木聡. 特別講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー理想的な地域連携を目指してー. 喜多方医師会学術講演会～心不全地域医療講演会～; 20220606; Web.

鈴木聡. 特別講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー理想的な地域連携を目指してー. 南会津郡医師会学術講演会; 20220621; 南会津/Web.

鈴木聡. 特別講演：最先端の心不全診療を会津で活かすにはー理想的な地域連携を目指してー. 第 240 回両沼郡医師会研修会心不全地域医療連携講演会; 20220624; 会津坂下.

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全診療と地域医療に活かす取り組み. 地域で支える心不全診療～岡山県北エリ

アを繋ぐ～; 20220624; 津山/Web.

竹石恭知. 特別講演：薬剤性心筋症－Onco-Cardiology への取り組み－. 第 72 回新潟心不全研究会; 20220729; 新潟/Web.

竹石恭知. 特別講演：心不全パンデミックにおける高齢者心不全の治療戦略. WEB カンファレンス; 20221130; Web.

鈴木聡. 特別講演：心不全診療における SGLT2 阻害薬の在り方とは－会津心不全地域連携の取り組を踏まえて－. SGLT-2 inhibitors Web Seminar in FUKUSHIMA; 20221219; Web.

〔招待講演〕

杉本浩一. 講演：肺高血圧症の早期発見と治療の実際について. 肺高血圧症 WEB セミナー in いわき; 20220204; Web.

中里和彦. 講演：肺高血圧症診療の進歩と課題～この 20 年で何が変わったか～. 肺高血圧症の診療連携を考える会 in 西北五; 20220225; Web.

清水竹史. 講演：スポンサードセミナー：MASTER DAPT 試験からの知見. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

三阪智史. 講演：高カリウム血症に対してロケルマの投与を行った慢性腎臓病合併心不全の 1 例. Hyperkalemia Management Symposium In Fukushima; 20220309; Web.

鈴木聡. 講演：血管を守ろう・心臓を守ろう. 「血管を守る教室」にご参加ください; 20220315; 会津若松.

三阪智史. 講演：心不全における併存症の管理～一次予防から二次予防まで：睡眠呼吸障害を中心に～. 第 3 回 Meet the Specialists in Fukushima; 20220317; Web.

石田隆史. 講演：はじめに. 減塩サミット 2022 in 福島; 20220321; 誌上/Web. 福島民友, 20220321. 14.

八重樫大輝. 基調講演：腫瘍循環器外来での取り組み. 第 4 回福島 Onco-Cardiology 研究会; 20220325; Web.

鈴木聡. 講演：当科におけるトルバプタン使用経験からの考察. 心不全学術講演会; 20220412; Web.

中里和彦. 講演：肺高血圧症診療における医療連携の重要性. 安房肺高血圧症地域医療連携の会; 20220414; Web.

金城貴士. 講演：WATCHMAN による左心耳閉鎖治療と非適応例への抗凝固療法. 心房細動治療 Up to date～超高齢化社会での新しい治療選択肢～; 20220415; Web.

鈴木聡. 講演：高尿酸血症を合併した慢性心不全患者における他施設共同無作為化比較試験から. 福島高尿酸血症 WEB セミナー; 20220517; Web.

金城貴士. 講演：1st-Pass CTI block 達成のポイント. ～極～Freezor MAX における検証と検討; 20220523; Web.

八巻尚洋. 講演：虚血性心疾患における心不全管理. Meet the Specialists in Fukushima; 20220525; Web.

及川雅啓. 講演：意外と潜んでいる心アミロイドーシスー当院の臨床経験からー. 心不全診療セミナー～鑑別すべき疾患のポイント～; 20220610; 会津若松/Web.

八巻尚洋. 講演：FFRct を循環器診療に生かす. 地域で診る虚血性心疾患; 20220614; Web.

杉本浩一. 講演：検査技師に知ってほしい肺高血圧症の病態と検査所見. 令和 4 年度岩臨技第 1 回生理機能部門研修会; 20220627; Web.

小林淳. 講演：AS 治療における心エコーの役割と重要性. 福島心エコーWeb セミナー; 20220628; Web.

鈴木聡. 講演：使用経験から考えるベリキューボの位置づけと、会津における地域連携の取り組み. Meet the Expert～心不全パンデミック時代に備えて～; 20220701; Web.

中里和彦. 講演：肺高血圧症診療の進歩と課題～この 20 年で何が変わったか～. 福島市・伊達・安達医師会 2022 循環器学術講演会; 20220714; 福島/Web.

中里和彦. 講演：肺高血圧症診療の進歩と課題. 第 632 回北上医師会医学集談会; 20220728; 北上/Web.

武藤雄紀. ランチョンセミナー：未来を見据えた AS 治療戦略と疾患啓発の取り組み. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

中里和彦. 講演：肺高血圧発症メカニズムの多様性～クローン性造血の関与～. Re-PCR 2022; 20220908; Web.

鈴木聡. 講演：変わりゆく心不全診療を地域に生かすにはーオンデマンドな地域連携を目指してー. 循環器疾患未来投資フォーラム; 20220928; Web.

佐藤悠. 教育講演：心不全患者における甲状腺機能の再考. 第 2 回ロシュ・バイオマーカーフォーラム; 20220930; Web.

及川雅啓. 講演：日常臨床に潜む心アミロイドーシスー当院の臨床経験からー. ファイザー心疾患セミナー; 20221012; Web.

杉本浩一. 講演：検査技師に知ってほしい肺高血圧症の血行動態. 肺高血圧症スクリーニングセミナー～検査所見に潜む Check Point～; 20221117; Web.

佐藤彰彦. 講演：Mitraclip の現在と未来. 第 13 回会津心臓病・心血管疾患研究会; 20221118-19; Web.

鈴木聡. 講演：血管を守ろう・心臓を守ろう. 「血管を守る教室」にご参加ください; 2022.11.21; 会津若松.

杉本浩一. 講演：当院における膠原病性肺高血圧症診療の現状. 福島県肺高血圧症診療連携 Web セミナー;

20221122; 福島/Web.

小林淳. 講演：AS 治療における心エコーの役割と重要性. 日本心臓リハビリテーション学会第 7 回東北支部地方会; 20221126; Web.

佐藤悠. 講演：循環器内科における CKD の現状と課題. CKD Symposium For Cardiologist; 20221129; Web.

黒沢雄太. 講演：男性育児と循環器医. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

杉本浩一. 講演：肺高血圧症の診断と治療. PH Medical Treatment Lecture 2022; 20221209; Web.

〔その他〕

竹石恭知. 併存疾患を踏まえた心不全治療戦略の必要性とベリキューボへの期待. m3.com　MR 君（ベリキューボ Vol.15）; 20220701;Web.

血液内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Ikezoe T, Ando K, Onozawa M, Yamane T, Hosono N, Morita Y, Kiguchi T, Iwasaki H, Miyamoto T, Matsubara K, Sugimoto S, Miyazaki Y, Kizaki M, Akashi K. Phase I study of alvocidib plus cytarabine/mitoxantrone or cytarabine/daunorubicin for acute myeloid leukemia in Japan. Cancer Science. 202212; 113(12):4258-4266.

Matsumoto H, Asano T, Tsuchida N, Maeda A, Yoshida S, Yokose K, Fujita Y, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Sato S, Irie K, Norikawa N, Yamamoto T, Endo M, Fukuchi K, Ohkawara H, Ikezoe T, Uchiyama Y, Kirino Y, Matsumoto N, Watanabe H, Migita K. Behcet's disease with a somatic UBA1 variant: Expanding spectrum of autoinflammatory phenotypes of VEXAS syndrome. Clinical Immunology. 202203; 238:108996.

Misawa K, Yasuda H, Koyama D, Inano T, Inoguchi A, Shirasu C, Takano H, Iwao N, Ando M, Koike M. Adult paroxysmal cold hemoglobinuria following mRNA COVID-19 vaccination. eJHaem. 202206; 3(3):992-995.

Takahashi H, Mori H, Fukatsu M, Sano T, Harada K, Oikawa M, Takeishi Y, Kimura S, Ohkawara H, Shichishima T, Ikezoe T. Successful management of unstable angina in a ravulizumab-treated patient with

paroxysmal nocturnal hemoglobinuria. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):175-178.

Wasserstein M, Lachmann R, Hollak C, Arash-Kaps L, Barbato A, Gallagher RC, Giugliani R, Guelbert NB, Ikezoe T, Lidove O, Mabe P, Mengel E, Scarpa M, Senates E, Tchan M, Villarrubia J, Chen Y, Furey S, Thurberg BL, Zaher A, Kumar M. A randomized, placebo-controlled clinical trial evaluating olipudase alfa enzyme replacement therapy for chronic acid sphingomyelinase deficiency (ASMD) in adults: One-year results. Genetics in Medicine. 202207; 24(7):1425-1436.

Misawa K, Yasuda H, Matsuda H, Hara M, Ochiai T, Koyama D, Takano H, Iwao N, Koike M. Development of Acute Adult T-cell Leukemia Following PD-1 Blockade Therapy for Lung Cancer. Internal Medicine. 202211; 61(22):3421-3424.

Ikezoe T, Noji H, Ueda Y, Kanda Y, Okamoto S, Usuki K, Matsuda T, Akiyama H, Shimono A, Yonemura Y, Kawaguchi T, Chiba S, Kanakura Y, Nishimura JI, Ninomiya H, Obara N. Long-term follow-up of patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria treated with eculizumab: post-marketing surveillance in Japan. International Journal of Hematology. 202204; 115(4):470-480.

Iida H, Imada K, Ueda Y, Kubo K, Yokota A, Ito Y, Kiguchi T, Hata T, Nawa Y, Ikezoe T, Uchida T, Morita Y, Kawashima I, Chiba M, Morimoto K, Hirooka S, Miyazaki Y, Ohno R, Naoe T; Study Group. A phase II randomized study evaluating azacitidine versus conventional care regimens in newly diagnosed elderly Japanese patients with unfavorable acute myeloid leukemia. International Journal of Hematology. 202205; 115(5):694-703.

Suzuki M, Koyama D, Ikeda S, Sukegawa M, Teshirogi M, Misawa K, Tsunoda S. Serum IgG and lymphocyte counts are useful for the early detection of infection in patients receiving bendamustine-rituximab therapy. Journal of Clinical and Experimental Hematopathology. 202206; 62(2):91-98.

Farge D, Frere C, Connors JM, Khorana AA, Kakkar A, Ay C, Muñoz A, Brenner B, Prata PH, Brilhante D, Antic D, Casais P, Guillermo Esposito MC, Ikezoe T, Abutalib SA, Meillon-García LA, Bounameaux H, Pabinger I, Douketis J; International Initiative on Thrombosis and Cancer (ITAC) advisory panel. 2022 international clinical practice guidelines for the treatment and prophylaxis of venous thromboembolism in patients with cancer, including patients with COVID-19. Lancet Oncology. 202207; 23(7):e334-e347.

Fukatsu M, Ohkawara H, Wang X, Alkebsi L, Furukawa M, Mori H, Fukami M, Fukami SI, Sano T, Takahashi H, Harada-Shirado K, Kimura S, Sugimoto K, Ogawa K, Ikezoe T. The suppressive effects of Mer inhibition on inflammatory responses in the pathogenesis of LPS-induced ALI/ARDS. Science Signaling. 202203; 15(724):eabd2533.

Minakawa K, Ono S, Watanabe M, Sato Y, Suzuki S, Odawara S, Kawabata K, Ueda K, Nollet KE, Sano H, Ikezoe T, Kikuta A, Ikeda K. Evaluation of a quantitative PCR-based method for chimerism analysis of Japanese donor/recipient pairs. Scientific Reports. 202212; 12(1):21328.

Li R, Li X, Zhao J, Meng F, Yao C, Bao E, Sun N, Chen X, Cheng W, Hua H, Li X, Wang B, Wang H, Pan X, You H, Yang J, Ikezoe T. Mitochondrial STAT3 exacerbates LPS-induced sepsis by driving CPT1a-

mediated fatty acid oxidation. Theranostics. 202201; 12(2):976-998.

Mori H, Kataoka Y, Harada-Shirado K, Kawano N, Hayakawa M, Seki Y, Uchiyama T, Yamakawa K, Ishikura H, Irie Y, Nishio K, Yada N, Okamoto K, Yamada S, Ikezoe T. Prognostic value of serum high mobility group box 1 protein and histone H3 levels in patients with disseminated intravascular coagulation: a multicenter prospective cohort study. Thrombosis Journal. 202206; 20(1):33.

Mori H, Kataoka Y, Harada-Shirado K, Kawano N, Hayakawa M, Seki Y, Uchiyama T, Yamakawa K, Ishikura H, Irie Y, Nishio K, Yada N, Okamoto K, Yamada S, Ikezoe T. Correction: Prognostic value of plasma high mobility group box 1 protein and histone H3 levels in patients with disseminated intravascular coagulation: a multicenter prospective cohort study. Thrombosis Journal. 202208; 20(1):49.

池添隆之. 【徹底ガイドDICのすべて　2022-'23】治療薬　可溶性トロンボモジュリン（内科）. 救急・集中治療. 202207; 34(2):868-873.

池添隆之. 【徹底ガイドDICのすべて　2022-'23】類似病態、鑑別すべき病態　SOS（類洞閉塞症候群）とTLS（腫瘍崩壊症候群）. 救急・集中治療. 202207; 34(2):942-950.

池添隆之. 【血液疾患のすべて】治療　抗凝固因子製剤（AT、TM）. 日本医師会雑誌. 202206; 151(特別1):S142-S143.

池添隆之. 【血液疾患のすべて】赤血球系疾患　発作性夜間ヘモグロビン尿症. 日本医師会雑誌. 202206; 151(特別1):S187-S188.

〔総説等〕

池添隆之. 【DIC・関連疾患・COVID-19と臨床検査】DICを理解するためのLecture（Part 2）DICの治療戦略　急性前骨髄球性白血病（APL）に合併したDICの治療戦略. Land-Mark in Thrombosis & Haemostasis. 202206; (2):71-74.

池添隆之. DAMPs、PAMPs、RAMPs（第2回）　白血病、血液病とDAMPs、PAMPs. Thrombosis Medicine. 202206; 12(2):135-140.

池添隆之. 肝類洞閉塞症候群の病態と治療. 血液内科. 202204; 84(4):622-629.

深津真彦. ジャーナルクラブ　血液腫瘍患者における予防的トラネキサム酸：プラセボ対照無作為化臨床試験. 日本血栓止血学会誌. 202212; 33(6):737.

池添隆之. Editorial. 日本血栓止血学会誌. 202210; 33(5):519.

小山大輔, **池添隆之**. 【補体と疾患ーいま補体がおもしろいー】補体関連疾患　溶血性貧血. 日本臨床. 202211; 80(11):1848-1853.

小山大輔. 【壊疽性膿皮症】血液疾患における好中球異常. 皮膚科. 202211; 2(5):642-649.

〔症例報告〕

Kimura H, Furukawa M, Mori H, Shiga Y, Asai J, Satoh K, Kai T. Development of multiple myeloma after 15 years of treatment for polycythemia vera and successful treatment using bortezomib: A case report. Clinical Case Reports. 202211; 10(11):e6614.

Matsumoto H, Fujita Y, Fukatsu M, Ikezoe T, Yokose K, Asano T, Tsuchida N, Maeda A, Yoshida S, Hashimoto H, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Sato S, Murakami M, Sato H, Sakuma C, Kawashima K, Shakespear N, Uchiyama Y, Watanabe H, Kirino Y, Matsumoto N, Migita K. Case Report: Coexistence of Multiple Myeloma and Auricular Chondritis in VEXAS Syndrome. Frontiers in Immunology. 202206; 13:897722.

書籍等出版物

鈴木隆浩，竹中克斗，池添隆之. 専門医のための血液病学. 東京: 医学書院; 202203.

池添隆之，深津真彦. 第Ⅱ部：各種悪性疾患の診断と治療の基本原則（15）悪性リンパ腫・多発性骨髄腫. In: 日本がん治療認定医機構教育委員会 編集. がん治療認定医教育セミナーテキスト　第16版. 東京: 日本がん治療認定医機構教育委員会; 202208. p.220-226.

池添隆之. Ⅱ赤血球系疾患　3.溶血性貧血. In: 松村到, 張替秀郎, 神田善伸 編集. 血液疾患最新の治療　2023-2025. 東京: 南江堂; 202210. p.95-98.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Scarpa M, Barbato A, Gallagher RC, Giugliani R, Guelbert NB, Hennermann JB, Hollak C, Ikezoe T, Robin RL, Lidove O, Mabe P, Mengel E, Senates E, Tchan M, Villarrubia J, Armstrong NM, Thurberg BL, Yarramaneni A, Kim Y, Kumar M, Wasserstein MP. Olipudase alfa for adults with acid sphingomyelinase deficiency: improvements in crossover placebo patients and further improvements in original olipudase alfa patients after 2 years in ASCEND trial. 27th European Hemathology Association Congress; 20220609; Vienna, Austria/Web.

Daver N, Ikezoe T, Watts J, Hosono N, Ogawa Y, Miyazaki Y, Erba H, Affinito J, Cai H, Dobrowolska H, Eguchi K, Stoudemire J, Watanabe A, Hitron M, Yuda J. Phase 1/2, open-label, dose escalation, dose expansion study of menin inhibitor DSP-5336 in adult patients with acute leukemia with and without mixed-lineage leukemia (MLL)-rearrangement or nucleophosmin 1 (NPM1) mutation. Society of Hematologic Oncology (SOHO) Tenth Annual Meeting; 20220928; Houston, USA.

Arai H, Chi S, Utsu Y, Masuda S, Aotsuka N, Ueda T, Fukushima K, Ikeda D, Hosono N, Yamauchi T, Yoshimoto G, Horiguchi H, Iyama S, Kanda J, Katagiri S, Gotoh A, Koyama D, Ikezoe T, Kondo T, Nakamura Y, Ogasawara F, Fukuhara S, Izutsu K, Yamauchi N, Yuda J, Minami Y. A Practice-Oriented Genome Profiling Study with the Novel Halo-Shape Annealing and Defer-Ligation Enrichment (HANDLE) System. 64th ASH Annual Meeting and Exposition; 20221212; New Orleans, USA.

Villarrubia J, Wasserstein M, Barbato A, Gallagher RC, Giugliani R, Guelbert NB, Hennermann JB, Hollak C, Ikezoe T, Lachmann R, Lidove O, Mabe P, Mengel E, Scarpa M, Senates E, Tchan M, Thurberg BL, Yarramaneni A, Rawlings AM, Kim Y, Kumar M. Olipudase Alfa for Adults with Acid Sphingomyelinase Deficiency: Improvements in Crossover Placebo Patients and Further Improvements in Original Olipudase Alfa Patients after 2 Years in ASCEND Trial. 41° Congresso Nazionale della Società Italiana di Farmacologia; 20221219; Roma, Italy.

深津真彦. CML および Ph+ALL に対する治療経験からの考察. 日米の Ph+白血病治療を考える会 from 東北; 20220202; 福島.

高橋裕志. 特別講演：血友病の最新治療と関節評価について～個々の症例を踏まえて～. 血友病診療に携わる薬剤師向けセミナー; 20220210; Web.

原田佳代，佐藤佑紀，福地恒一郎，柳沼真維，遠藤麻美子，深津真彦，高橋裕志，木村哲，山田晋吾，池添隆之. 造血幹細胞移植後の内皮障害マーカーと核内蛋白の推移について. 第 16 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20220219; Web.

佐藤佑紀，深津真彦，福地恒一郎，尾張真維，遠藤麻美子，高橋裕志，原田佳代，木村哲，小山大輔，池添隆之. CHOP 療法で奏効が得られた芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例. 第 133 回日本血液学会東北地方会; 20220220; Web. 臨床血液. 63(5):492.

濱崎洋一，阿久津和子，齋敏明，池添隆之. RAEB-2 から発症した AML に対しベネトクラクス＋Ara-C では寛解に至らず，ベネトクラクス＋Aza で寛解に至った一例. 第 133 回日本血液学会東北地方会; 20220220; Web.

深津真彦. 再発 PTCL/CTCL へのレミトロ使用経験. B-cell/T-cell Lymphoma Web seminar in 東北; 20220222; 福島/Web.

池添隆之. 特別講演：造血細胞移植後に合併する DIC の診断と治療. Hematology Seminar in Kitakyushu; 20220224; 北九州.

池添隆之. 血友病における関節診療の連携と課題　Opening Remarks「Fukushima Hem-J」について. CHUGAI Hemophilia Meeting 2022; 20220402; 福島.

池添隆之. 造血器腫瘍に合併する DIC の病態・診断・治療. リコモジュリン Web 講演会～DIC の適正な診断と治療を考える～; 20220404; Web.

池添隆之. 造血器腫瘍に合併する DIC の病態と rTM の使いどころ. 血液内科領域における DIC を考える会; 20220421; 福島.

高橋裕志. 当院における血友病治療の現状、症例提示. Hemophilia Treatment Lecture～血友病患者さんの最適治療を考える～; 20220421; 福島.

深津真彦. 福島県における造血幹細胞移植. 造血幹細胞移植を考える会～ジーラスタ適応記念～; 20220426; Web.

佐藤佑紀, **深津真彦**, **福地恒一郎**, **遠藤麻美子**, **深見伸一**, **高橋裕志**, **原田佳代**, **木村哲**, **大河原浩**, **池添隆之**. 難治性 Sweet 病および器質化肺炎を合併した骨髄異形成症候群に対して同種造血幹細胞移植を施行した 1 例. 第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会; 20220513; 横浜.

皆川敬治, **佐藤友香**, **小野智**, **高橋沙樹**, **渡邉万央**, **川畑絹代**, **植田航希**, **安斎紀**, **池添隆之**, **菊田敦**, **池田和彦**. 定量 PCR を原理とした、キメリズムモニタリングキットの検討. 第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会; 20220513; 横浜.

池添隆之. 造血細胞移植ガイドライン SOS/TA-TMA（第 2 版）改訂ポイントとこれからの治療戦. SOS/VOD Web Conference; 20220517; Web.

池添隆之. 新規な作用をもつ抗凝固薬 rTM の DIC 治療における位置付け. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220528; 名古屋.

池添隆之. 特別講演 I : TM の新規な作用機序. 血液・腫瘍学セミナー～血管について考える～; 20220616; 福島.

池添隆之. COVID-19 関連 DIC や白血病関連 DIC の病態と rTM による治療への期待. Hematology Seminar in NAGASAKI; 20220620; Web.

関義信, **本田剛一**, **河野徳明**, **内山俊正**, **川杉和夫**, **窓岩清治**, **竹迫直樹**, **池添隆之**, **和田英夫**. French-American-British 分類による急性白血病 DIC の臨床的特徴とトロンボモジュリン製剤の治療. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220624; 仙台.

原田佳代, **佐藤佑紀**, **福地恒一郎**, **尾張真維**, **遠藤麻美子**, **森博隆**, **深津真彦**, **高橋裕志**, **木村哲**, **山田晋吾**, **池添隆之**. 造血幹細胞移植後における内皮障害マーカーと核内蛋白の推移について. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220624; 仙台.

深津真彦, **原田佳代**, **森博隆**, **佐藤佑紀**, **福地恒一郎**, **遠藤麻美子**, **尾張真維**, **高橋裕志**, **木村哲**, **小山大輔**, **池添隆之**. 同種造血幹細胞移植における FMC・TAT の動態と予後との関連性. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220625; 仙台.

森博隆, **原田佳代**, **河野徳明**, **早川峯司**, **関義信**, **内山俊正**, **山川一馬**, **石倉宏恭**, **入江悠平**, **西尾健治**, **矢田憲孝**, **真弓俊彦**, **岡本好司**, **池添隆之**. JSTH と ISTH の DIC 診断による予後予測能力の比較：多施設前向きコホート研究. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220625; 仙台.

木村哲. MD 療法が奏効した AL 型心アミロイドーシスの一例. アミロイドーシスを考える会 in FUKUSHIMA; 20220701; 福島.

池添隆之. 特別講演：造血器腫瘍に合併する DIC の病態と rTM の使いどころ. 茨城血液凝固セミナー; 20220712; Web.

池添隆之. 教育発表：見逃してはいけない血小板減少と肝脾腫を合併する希少疾患～成人 ASMD 症例における診断までの経緯～. ASMD web seminar～肝脾腫を合併する代謝疾患を見逃さないために～; 20220720; Web.

深津真彦. Gas6/TAM 受容体に着目した血液疾患の病態・治療研究. 第 5 回 Research Exchange/Molecular Biology Network; 20220805; 福島.

木村哲. 福島県の HIV 診療の現状と課題. 福島県医療ソーシャルワーカー協会　エイズとソーシャルワーク委員会　研修会; 20220820; 郡山.

佐藤佑紀，深津真彦，浅野奈緒美，福地恒一郎，遠藤麻美子，森博隆，林清人，髙野幹，高橋裕志，原田佳代，木村哲，小山大輔，池添隆之. 骨髄異形成症候群に合併したベーチェット病および二次性肺胞蛋白症が同種造血幹細胞移植によって軽快した一例. 第 134 回日本血液学会東北地方会; 20220903; 山形/Web.

池添隆之. What would you suspect when you see a case with throrombopenia and hepatosplenomegaly? -The Background Leading Up to the Diagnosis of Adult ASMD-. 第 20 回国際ライソゾーム病（LSD）Web カンファランス; 20220907; 福島.

池添隆之. 特別講演Ⅱ：ALL に合併する血液凝固異常のマネージメントについて. Acute leukemia web seminar; 20220921; Web.

池添隆之. 特別講演：造血器腫瘍に合併する DIC の病態と rTM の使いどころ. DIC Online Conference; 20220930; Web.

池添隆之. 特別講演：造血器腫瘍に合併する DIC の病態と rTM の使いどころ. Rethink Hematology!!; 20221007; Web.

Sawa M, Miyamoto T, Kim HJ, Hiramatsu Y, Cheong JW, Ikezoe T, Naoe T, Akashi K, Morita S, Hasabou N, Rich ES, Kosako M, Uemura E, Terada W, Kadokura T, Hill J, Miyawaki S. Gilteritinib with chemotherapy in patients with newly diagnosed acute myeloid leukaemia. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

Suzuki K, Kastritis E, Kim K, Merlini G, Palladini G, Wechalekar AD, Jaccard A, Dispenzieri A, Sanchorawala V, Gibbs SD, Mollee P, Venner CP, Schonland S, Lu J, Shimazaki C, Kim JS, Ikezoe T, Min CK, Zhou F, Cai Z, Chen X, Iida S, Katoh N, Fujisaki T, Shin HJ, Tran N, Qin X, Vasey SY, Comenzo RL. Daratumumab + bortezomib/cyclophosphamide/dexamethasone in AL amyloidosis: ANDROMEDA update. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

池成基，福島健太郎，上田智朗，片桐誠一朗，後藤明彦，細野奈穂子，山内高弘，塚本祥吉，栢森健介，竹田勇輔，堺田惠美子，小山大輔，池添隆之，吉田近思，諫田淳也，池田大輔，小林敬宏，山下鷹也，高橋直人，吉本五一，福原傑，伊豆津宏二，山内寛彦，湯田淳一朗，南陽介. Background of HM-SCREEN-JAPAN02: a practice-oriented rapid gene-testing study. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

尾張真維，小山大輔，佐藤佑紀，深津真彦，原田佳代，木村哲，福地恒一郎，遠藤麻美子，林清人，高橋裕志，三田正行，池添隆之. Immunosuppressive therapy with EPAG induced expansion of PNH clone in a patient with aplastic anemia. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

木村哲，浅野智之，佐藤佑紀，尾張真維，深津真彦，原田佳代，福地恒一郎，遠藤麻美子，林清人，小山大輔，高橋裕志，右田清志，池添隆之. VEXAS 症候群様の骨髄像を呈した大球性貧血の一例. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

桑名由希子，林清人，大野沙耶香，清水亮，石井昭広，田中宏明. Positioning of venetoclax therapy in AML treatment: Current status at our hospital. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

原田佳代，佐藤佑紀，福地恒一郎，尾張真維，遠藤麻美子，森博隆，林清人，高橋裕志，小山大輔，木村哲，山田晋吾，池添隆之. Possibility of intranuclear proteins cause thrombotic complications after stem cell transplantation. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

福地恒一郎，小山大輔，遠藤麻美子，佐藤佑紀，尾張真維，林清人，深津真彦，高橋裕志，原田佳代，木村哲，池添隆之. Venetoclax based combination as a therapeutic option for BPDCN associated with clonal hematopoiesis. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

宮島真理，大津瑛裕，浅野雄哉，佐藤剛，前田峻大，清原千貴，高野幹，西谷真来，佐々木了政，岡野良昭，古和田周吾，小宅達郎，伊藤薫樹. ドナーリンパ球輸注療法が奏効した血縁者間同種造血幹細胞移植後の播種性アデノウイルス感染症の一例. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014; 福岡.

臼杵憲祐，石山謙，池添隆之，後藤明彦, Myren KJ, Tomazos I, **下野明彦，二宮治彦，櫻井政寿，中尾眞二，西村純一**. 日本人発作性夜間ヘモグロビン尿症患者におけるラブリズマブ対エクリズマブの選好. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

大野沙耶香，久保寺愛，林清人，清水亮，村上未樹，鈴木良夫，田中宏明. A case of intralymphatic large B-cell lymphoma with pathological appearance of Castleman's disease. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

河野徳明，池添隆之，和田英夫，吉田周郎，栗山拓郎，栃木太郎，仲池隆史，下川知則，山下清. The clinical impact of high leukocytes, high LDH, and high HMGB-1 in acute leukemia with ICH and DIC. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

高橋美咲，津山尚宏，工藤健一，阿左見佑介，深見美和，池添隆之，小野寺雅史，坂井晃. Attempts to induce t(11;14) during the redifferentiation of iPS cells into B cells. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

西村早織，松本勇人，池添隆之，中村研一，三田正行. AML with CBFB-MYH11 in an elderly patient treated with venetoclax and azacitidine. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

三澤恭平，安田肇，小山大輔，稲野資明，高野弥奈，岩尾憲明，小池道明. Rare case of adult paroxysmal

cold hemoglobinuria following the mRNA COVID-19 vaccination. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221015; 福岡.

深津真彦，佐藤佑紀，福地恒一郎，遠藤麻美子，尾張真維，林清人，高橋裕志，原田佳代，小山大輔，木村哲，池添隆之. Retrospective validation of the prognostic value of EASIX in Japanese alloHCT recipients. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221016; 福岡.

池添隆之. 見逃してはいけない血小板減少と肝脾腫を合併する希少疾患～成人 ASMD 症例における診断までの経緯～. ライソゾーム病 web seminar～肝脾腫を合併する代謝疾患を見逃さないために～; 20221019; Web.

深津真彦. 再発 PTCL/CTCL へのレミトロ使用経験. 福島リンパ系腫瘍研究会 Web seminar; 20221101; 福島.

森博隆. ドナー由来の広範囲および高力価の抗 HLA 抗体による血小板輸血不応を示した急性骨髄性白血病. 第 3 回南東北若手移植の会; 20221106; Web.

池添隆之. SOS/VOD に対するデフィブロチドの治療効果と作用機序. ファイザー株式会社／日本新薬株式会社共催特別企画　SOS オンラインセミナー; 20221110; Web.

池添隆之. DIC における低フィブリノゲン血症の意義. 2022 年度赤十字血液シンポジウム東北; 20221203; 仙台.

池添隆之. SOS/VOD に対するデフィブロチドの治療効果と作用機序. 北陸造血細胞移植 web セミナー2022; 20221206; Web.

小田原聖，皆川敬治，佐藤友香，渡邉万央，小野智，鈴木沙樹，川畑絹代，植田航希，安斎紀，佐野秀樹，池添隆之，菊田敦，池田和彦. KMRtype & KMRtrack を用いた移植後キメリズムモニタリングの検討（第 2 報）. 第 57 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20221210; 福島.

〔その他〕

池添隆之. 特別講演　ここまで進捗した血液がん診療. 福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部 2022 年 1 月合同研修会; 20220127; 福島/Web.

池添隆之. 教育講演：止血・血栓をとりまく疾患の鑑別のために知っておくべき血液凝固検査. 第 16 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20220219; Web.

消化器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Ishizaki Y, Akatsuka H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Efficacy of a novel large-cell Niti-S stent with a slim delivery system for hilar biliary obstruction: a preliminary study. Annals of Medicine. 202212; 54(1):953-961.

Suzuki R, Okubo Y, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. The complement c3a-c3a receptor axis regulates epithelial-to-mesenchymal transition by activating the ERK pathway in pancreatic ductal adenocarcinoma. Anticancer Research. 202203; 42(3):1207-1215.

Suzuki R, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Yomogida Y, Ohira H. Intracellular c3 modulates EMT via the akt/smad pathway in pancreatic cancer cells. Anticancer Research. 202212; 42(12):5743-5750.

Sugimoto M, Suzuki R, Nozawa Y, Takagi T, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Suzuki O, Hashimoto Y, Hikichi T, Ohira H. Clinical usefulness and acceleratory effect of macrophage inhibitory cytokine-1 on biliary tract cancer: an experimental biomarker analysis. Cancer Cell International. 202208; 22(1):250.

Ezuka S, Ueno M, Oishi R, Nagashima S, Sano Y, Kawano K, Tanaka S, Fukushima T, Asama H, Konno N, Kobayashi S, Morimoto M, Maeda S. Modified FOLFIRINOX versus sequential chemotherapy (FOLFIRI/FOLFOX) as a second-line treatment regimen for unresectable pancreatic cancer: A real-world analysis. Cancer Medicine. 202202; 11(4):1088-1098.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Oka Y, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Association between submucosal fibrosis and endoscopic submucosal dissection of recurrent esophageal squamous cell cancers after chemoradiotherapy. Cancers. 202209; 14(19):4685.

Murakami M, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection in patients with early gastric cancer in the remnant stomach. Diagnostics. 202210; 12(10):2480.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima

Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Drug treatment for chemotherapy-induced peripheral neuropathy in patients with pancreatic cancer. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):1-10.

Takahashi A, Ohira H, Abe K, Zeniya M, Abe M, Arinaga-Hino T, Nakamoto N, Takaki A, Kang JH, Joshita S, Suzuki Y, Koike K, Inui A, Tanaka A; Japan autoimmune hepatitis study group. Risk factors for relapse of autoimmune hepatitis in Japan: A nationwide survey. Hepatology Research. 202207; 52(7):597-602.

Maeda K, Takikawa H, Aiso M, Tsuji K, Kagawa T, Watanabe M, Sato K, Sakisaka S, Hiasa Y, Takei Y, Ohira H, Hashimoto E, Ayada M, Ikegami T, Arakawa N, Kusuhara H, Saito Y, Sugiyama Y. Frequency of null genotypes of glutathione S-transferase M1 and T1 in japanese patients with drug-induced liver injury. Hepatology Research. 202210; 52(10):882-887.

Abe K, Suzuki R, Fujita M, Hayashi M, Takahashi A, Ohira H. Circulating extracellular vesicle-encapsulated microRNA-557 induces a proinflammatory immune response and serves as a diagnostic or relapse marker in autoimmune hepatitis. Hepatology Research. 202212; 52(12):1034-1049.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the great east japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle factors associated with undernutrition in older people after the great east japan earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between dietary diversity and sociopsychological factors and the onset of dyslipidemia after the great east japan earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Takahashi A, Sekine H, Ohira H. Circulating complement factor H levels are associated with disease severity and relapse in autoimmune hepatitis. JHEP Reports. 202204; 4(7):100497.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship between risk of hyper-low-density lipoprotein cholesterolemia and evacuation after the great east japan earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Matsumoto K, Ohfuji S, Abe M, Komori A, Takahashi A, Fujii H, Kawata K, Noritake H, Tadokoro T, Honda A, Asami M, Namisaki T, Ueno M, Sato K, Kakisaka K, Arakawa M, Ito T, Tanaka K, Matsui T, Setsu T, Takamura M, Yasuda S, Katsumi T, Itakura J, Sano T, Tamura Y, Miura R, Arizumi T, Asaoka Y, Uno K, Nishitani A, Ueno Y, Terai S, Takikawa Y, Morimoto Y, Yoshiji H, Mochida S, Ikegami T, Masaki T, Kawada N, Ohira H, Tanaka A. Environmental factors, medical and family history, and comorbidities associated with primary biliary cholangitis in Japan: a multicenter case-control study. Journal of Gastroenterology. 202201; 57(1):19-29.

Hayashi S, Takenaka M, Hosono M, Kogure H, Hasatani K, Suda T, Maruyama H, Matsunaga K, Ihara H, Yoshio T, Nagaike K, Yamada T, Yakushijin T, Takagi T, Tsumura H, Kurita A, Asai S, Ito Y, Kuwai T, Hori Y, Maetani I, Ikezawa K, Iwashita T, Matsumoto K, Fujisawa T, Nishida T. Diagnostic reference levels for fluoroscopy-guided gastrointestinal procedures in Japan from the REX-GI Study: A Nationwide Multicentre Prospective Observational Study. Lancet Regional Health Western Pacific. 202201; 20:100376.

Kuroda H, Oikawa T, Ninomiya M, Fujita M, Abe K, Okumoto K, Katsumi T, Sato W, Igarashi G, Iino C, Endo T, Tanabe N, Numao H, Fukuda S, Iijima K, Masamune A, Ohira H, Ueno Y, Takikawa Y. Objective response by mRECIST to initial lenvatinib therapy is an independent factor contributing to deep response in hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib-transcatheter arterial chemoembolization sequential therapy. Liver Cancer. 202202; 11(4):383-396.

Kawashima K, Onizawa M, Fujiwara T, Gunji N, Imamura H, Katakura K, Ohira H. Evaluation of the relationship between the spleen volume and the disease activity in ulcerative colitis and Crohn disease. Medicine. 202201; 101(1):e28515.

Hayashi M, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Ohira H. Changes in platelet levels and prognosis in patients with acute liver failure and late-onset hepatic failure. Medicine. 202212; 101(48):e31438.

Takahashi A, Kokubun M, Anzai Y, Kogre A, Ogata T, Imaizumi H, Fujita M, Hayashi M, Abe K, Ohira H. Association between equol production and metabolic syndrome in Japanese women in their 50s-60s. Menopause. 202210; 29(10):1196-1199.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary patterns and new-onset type 2 diabetes mellitus in evacuees after the great east japan earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Tozuka Y, Ueno M, Kobayashi S, Morimoto M, Fukushima T, Sano Y, Kawano K, Hanaoka A, Tezuka S, Asama H, Moriya S, Morinaga S, Ohkawa S, Maeda S. Prognostic significance of sarcopenia as determined by bioelectrical impedance analysis in patients with advanced pancreatic cancer receiving gemcitabine plus nab-paclitaxel: A retrospective study. Oncology Letters. 202209; 24(4):375.

Asama H, Ueno M, Kobayashi S, Fukushima T, Kawano K, Sano Y, Tanaka S, Nagashima S, Morimoto M, Ohira H, Maeda S. Sarcopenia: Prognostic value for unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma patients treated with gemcitabine plus nab-paclitaxel. Pancreas. 202202; 51(2):148-152.

Ukai T, Tabuchi T, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Takahashi A, Yasumura S, Iso H, Kamiya K. Associations between the perception of risk in radiation exposure and changes in smoking and drinking status after a disaster: The Fukushima Health Management Survey. Preventive Medicine Reports. 202211; 30:102054.

Fujita M, Abe K, Kuroda H, Oikawa T, Ninomiya M, Masamune A, Okumoto K, Katsumi T, Sato W, Iijima K, Endo T, Fukuda S, Tanabe N, Numao H, Takikawa Y, Ueno Y, Ohira H. Influence of skeletal muscle volume loss during lenvatinib treatment on prognosis in unresectable hepatocellular carcinoma: a multicenter study in Tohoku, Japan. Scientific Reports. 202204; 12(1):6479.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Waragai Yuichi, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Hikichi T, Ohira H. Factors associated with successful fistula dilation in endoscopic ultrasound-guided biliary drainage. Techniques and Innovations in Gastrointestinal Endoscopy. 2022; 24(4):316-323.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Biliary metal stents should be placed near the hilar duct in distal malignant biliary stricture patients. World Journal of Gastroenterology. 202205; 28(17):1860-1870.

Takagi T, Sugimoto M, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Screening for hilar biliary invasion in ampullary cancer patients. World Journal of Gastrointestinal Endoscopy. 202209; 14(9):536-546.

〔総説等〕

You H, Ma X, Efe C, Wang G, Jeong SH, Abe K, Duan W, Chen S, Kong Y, Zhang D, Wei L, Wang FS, Lin HC, Yang JM, Tanwandee T, Gani RA, Payawal DA, Sharma BC, Hou J, Yokosuka O, Dokmeci AK, Crawford D, Kao JH, Piratvisuth T, Suh DJ, Lesmana LA, Sollano J, Lau G, Sarin SK, Omata M, Tanaka A, Jia J. APASL clinical practice guidance: the diagnosis and management of patients with primary biliary cholangitis. Hepatology International. 202202; 16(1):1-23.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in lifestyle-related diseases and their risk factors after the fukushima daiichi nuclear power plant accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based approach for affected people having problems with mental health and lifestyle issues after the 2011 fukushima disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. J Epidemiol. Effects of external radiation exposure resulting from the fukushima daiichi nuclear power plant accident on the health of residents in the evacuation zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S84-S94.

永田浩一，大平弘正．大腸癌実地診療のポイント整理　大腸 CT 検査（CT コロノグラフィ）. Medical Practice. 202205; 39(5):689-695.

大平弘正，藤田将史，阿部和道．薬物性肝障害の最新トピック　免疫チェックポイント阻害薬による肝障害. 医学のあゆみ. 202203; 280(13):1313-1316.

高橋敦史，大平弘正．自己免疫性肝疾患患者の QOL. 医学のあゆみ. 202212; 283(11-12):1068-1071.

大平弘正，阿部和道，高橋敦史．肝障害の相談を受けたときー最近よく見る症例の特徴ー　自己免疫性肝疾患の鑑別診断. 肝臓クリニカルアップデート. 202204; 7(2):179-184.

阿部和道，藤田将史，林学，高橋敦史，大平弘正．【胆道疾患研究最前線】PBC、PSC 研究の最前線. 消化器・肝臓内科. 202201; 11(1):18-26.

引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，高木忠之，大平弘正．【内視鏡データリファレンスブック 2022】消化器内視鏡全般　消化器内視鏡診療時の鎮静に関連した有害事象とその対策. 消化器内視鏡. 202204; 34(4):504-518.

永田浩一，木島茂喜，松岡正樹，五十畑則之，大平弘正．【内視鏡データリファレンスブック 2022】臓器別大腸　大腸がん検診. 消化器内視鏡. 202204; 34(4):688-691.

川島一公，引地拓人，鬼澤道夫，郡司直彦，大平弘正．症例から学ぶ ESD　病変別攻略法　Non-lifting sign を呈する LST-NG（PD type）. 消化器内視鏡. 202210; 34(10):1699-1704.

入江大樹，引地拓人，小原勝敏．陥凹を呈する病変　上皮性・非腫瘍性陥凹病変　胃サイトメガロウイルス感染症. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):200-201.

高木忠之，小原勝敏，大平弘正．【胃疾患アトラス　改訂版】びまん性病変　びまん性炎症性病変　門脈亢進症性胃症. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):270-271.

引地拓人，中村純，髙住美香．残胃にみられる病変　早期残胃癌（吻合部病変）. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):314-315.

引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，入江大樹，柳田拓実. EVL・EIS. 消化器ナーシング. 202208; 27(8):712-719.

大平弘正. 1 ページでわかる内科疾患の診療ノートー“あたりまえ”のなかにある大事な視点　肝・胆・膵　自己免疫性肝炎. 内科. 202204; 129(4):850-853.

永田浩一，木島茂喜，馬嶋健一郎，五十畑則之，松岡正樹，大平弘正．内視鏡検査で大腸癌の見落としゼロを目指して　見落としゼロに有用か　大腸 CT 検査の立ち位置．臨床消化器内科. 202205; 37(6):683-688.

〔症例報告〕

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Gunji N, Takeda Y, Mochimaru T, Ishizaki Y, Murakami M, Kobayashi R, Shioya Y, Suzuki O, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Colonic Endoscopic Submucosal Dissection for a Granular Cell Tumor with Insufficient Endoscopic Manipulation in the Hepatic Flexure. Case Reports in Gastroenterology. 202203; 16(1):216-222.

Takeda Y, Hikichi T, Hashimoto M, Hayashi M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Murakami M, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Esophageal achalasia with severe malnutrition and liver enzyme elevation. Clinical Journal of Gastroenterology. 202204; 15(2):345-350.

Sato H, Hikichi T, Kato T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takasumi M, Kobayakawa M, Ohira H. Combination of photodynamic therapy and endoscopic mucosal resection for recurrent esophageal squamous cell carcinoma after chemoradiotherapy. Clinical Journal of Gastroenterology. 202212; 15(6):1035-1040.

Shimizu H, Suzuki R, Sato Y, Takagi T, Abe N, Irie H, Sugimoto M, Yanagita T, Kobashi R, Hashimoto M, Kato T, Takasumi M, Nakamura J, Hikichi T, Ohira H. Transjejunal endoscopic ultrasound-guided pancreatic drainage for pancreatic jejunostomy stricture using a forward-viewing echoendoscope in a patient with altered anatomy. DEN Open. 202204; 2(1):e114.

Mochimaru T, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma in patients with cirrhosis and esophageal varices. DEN Open. 202205; 3(1):e117.

Shimizu H, Matsumoto H, Sasajima T, Suzuki T, Okubo Y, Fujita Y, Temmoku J, Yoshida S, Asano T, Ohira H, Ejiri Y, Migita K. New-onset dermatomyositis following COVID-19: A case report. Frontiers in Immunology. 202210; 13:1002329.

Ishizaki Y, Kawashima K, Gunji N, Onizawa M, Hikichi T, Hasegawa M, Ohira H. Trichuris trichiura Incidentally Detected by Colonoscopy and Identified by a Genetic Analysis. Internal Medicine. 202203; 61(6):821-825.

〔その他〕

Mochida S, Nakayama N, Terai S, Yoshiji H, Shimizu M, Ido A, Inoue K, Genda T, Takikawa Y, Takami T, Kato N, Abe M, Abe R, Inui A, Ohira H, Kasahara M, Chayama K, Hasegawa K, Tanaka A. Diagnostic criteria for acute-on-chronic liver failure and related disease conditions in Japan. Hepatology Research.

202205; 52(5):417-421.

Ohira H, Takahashi A, Zeniya M, Abe M, Arinaga-Hino T, Joshita S, Takaki A, Nakamoto N, Kang JH, Suzuki Y, Sogo T, Inui A, Koike K, Harada K, Nakamoto Y, Kondo Y, Genda T, Tsuneyama K, Matsui T, Tanaka A. Clinical practice guidelines for autoimmune hepatitis. Hepatology Research. 202207; 52(7):571-585.

橋本陽，八田和久，辻陽介，由雄敏之，籔内洋平，布袋屋修，土山寿志，永見康明，引地拓人，小林雅邦，森田圭紀，住吉徹哉，井口幹崇，富田英臣，井上拓也，三上達也，波佐谷兼慶，西川潤，松村倫明，根引浩子，中松大，大仁田賢，鈴木晴久，上山浩也，林義人，杉本光繁，藤城光弘，正宗淳，大平弘正. 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の再出血. Gastroenterological Endoscopy. 202211; 64(11):2421-2433,np1-np3.

持田智，中山伸朗，寺井崇二，吉治仁志，清水雅仁，井戸章雄，井上和明，玄田拓哉，滝川康裕，高見太郎，加藤直也，阿部雅則，安部隆三，乾あやの，大平弘正，笠原群生，茶山一彰，長谷川潔，田中篤. わが国における acute-on-chronic liver failure（ACLF）とその関連病態の診断基準. 肝臓. 202205; 63(5):219-223.

書籍等出版物

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成. 今日の治療指針　2022 年版. 東京: 医学書院. 202201. p.554-555.

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 門脇孝, 小室一成, 宮地良樹. 診療ガイドライン UP-TO-DATE：日常診療に活かす　2022-2023. 東京: メディカルビュー社. 202202. p.360-363.

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 矢崎義雄, 小室一成. 内科学　3. 消化管・腹膜　肝・胆道・膵　リウマチ・膠原病・アレルギー・免疫　分冊版　第 12 版. 東京: 朝倉書店. 202203. p.226-228.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Kato T, Hashimoto M, Kobashi R, Ohira H. Endoscopic Glue Injection Therapy for Gastric Varices. APASL Oncology 2022; 20220901; Takamatsu/Web. Program & Abstracts. 136.

Fujita M, Abe K, Kuroda H, Oikawa T, Ninomiya M, Masamune A, Okumoto K, Katsumi T, Sato W, Iijima K, Endo T, Fukuda S, Tanabe N, Numao H, Takikawa Y, Ueno Y, Ohira H. Association between skeletal muscle volume loss during lenvatinib treatment and prognosis in unresectable hepatocellular carcinoma: A multicenter study in Tohoku, Japan. APASL Oncology 2022; 20220901; Takamashu/Web.

髙住美香，橋本陽，中村純，引地拓人，大平弘正. 子育て中の女性消化器内科医の働き方. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会; 20220204; 仙台. プログラム・抄録集. 117.

綿引優，亀岡英介，竹田悠太郎，間浩正，橋本健明，今村秀道，石田浩徳，迎愼二. 潰瘍性大腸炎患者におけ

る 5-ASA 不耐症の現状と、5-ASA ローテーションの有用性. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 144.

大塚充，林学，藤田将史，阿部和道，高橋敦史，大平弘正. 画像検査による形態変化を観察し得た肝血管肉腫の一例. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

水谷琢，川島一公，佐藤秀紀，村上舞，佐久間千陽，郡司直彦，松岡直紀，鬼澤道夫，大平弘正. 巨大な未破裂胸部大動脈瘤の手術予定日に中毒性巨大結腸症を合併し，緊急大腸亜全摘術施行された潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

綿引優，今村秀道，迎愼二. 当院における十二指腸、および大腸 under water EMR（UEMR）導入後の短期治療成績と今後の課題. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 101.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，佐藤雄紀，入江大樹，高住美香，鈴木玲，杉本充，高木忠之，大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後の再発予測～血小板数/脾臓長径比～. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台. プログラム・抄録集. 153.

阿部直人，斎藤桂悦，菅谷竜朗，佐川恵一，大平弘正. Felty 症候群の治療中に胃潰瘍による前庭部狭窄をきたし内視鏡的バルーン拡張術で治療した一例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台. プログラム・抄録集. 155.

菅谷竜朗，齋藤桂悦，野口祐紀，阿部直人，佐川恵一，大平弘正. Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニアによる消化管通過障害が経胃瘻的空腸瘻で改善した一例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台. プログラム・抄録集. 155.

佐竹隼輔，藁谷雄一，佐藤賢太郎，鈴木宏幸，熊川宏美. 総胆管結石患者に対する当日 ERCP の有用性についての検討. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220205; 仙台. プログラム・抄録集. 178.

工藤慶祐，石野淳，小嶋祐紀，三輪田哲郎，牛尾純，大平弘正. 複数回の内視鏡的ラジオ波焼灼療法により経過良好な切除不能肝門部領域胆管癌の 1 例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

持丸友昭，佐藤俊，大島康嘉，木暮敦子，坂充，近藤祐一郎. 膵管ドレナージが奏功した膵胸腔瘻による膵性胸水の一例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

郡司直彦. 当科における潰瘍性大腸炎に対する治療戦略. 郡山消化器病研究会; 20220210; 郡山.

高住美香，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大平弘正. 胃粘膜下病変に対する EUS-FNA/B における Fork-tip 針の有用性. 第 18 回日本消化管学会総会学術集会; 20220211; 東京/Web. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl):134.

中村純，引地拓人，橋本陽，加藤恒孝，高住美香，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 食道アカラシアに対する POEM の長期成績. 第 18 回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京/Web. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl):161.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，橋本優子，大平弘正. ESD を施行された 49 歳以下の胃癌症例の検討. 第 18 回日本消化管学会総会学術集会; 20220211; 東京/Web. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.):203.

郡司直彦. 当科 UC 治療におけるエンタイビオの位置付け. Entyvio Symposium in FUKUSHIMA; 20220222; 福島.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，佐藤雄紀，入江大樹，髙住美香，鈴木玲，杉本充，高木忠之，大平弘正. 食道・胃静脈瘤出血例に対する内視鏡治療. 第 58 回日本腹部救急医学会総会; 20220324; 東京. 日本腹部救急医学会雑誌. 42(2):244.

郡司直彦. 当科における Ustekinumab の臨床的検討. STELARA UC Expert Seminar in FUKUSHIMA; 20220325; 郡山.

浅間宏之，鈴木玲，高木忠之，高畑陽介，大久保義徳，今村秀道，渡辺晃，杉本充，紺野直紀，佐藤雄紀，入江大樹，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，引地拓人，鈴木智浩，澁川悟朗，大平弘正. 福島県における切除不能膵癌に対するがんゲノム医療の現状. 第 108 回日本消化器病学会総会; 20220422; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 119(臨増総会):A385.

林学，藤田将史，阿部和道，高橋敦史，大平弘正. 血清 Gas6 濃度と肝細胞癌患者の病態の関連についての検討. 第 58 回日本肝癌研究会; 20220512; 東京/Web.

中村純，引地拓人，大平弘正. 小児食道静脈瘤対する内視鏡的静脈瘤硬化療法の現状と課題. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513-15; 京都/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):729.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，大塚充，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する治療の現状. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513; 京都. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):737.

髙住美香，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 2cm 未満の胃粘膜下腫瘍に対する EUS-FNA/B における Fork-tip 針の有用性. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513; 京都/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):741.

入江大樹，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，引地拓人，大平弘正. 当院における EUS 下膵胆管消化管吻合術に関する検討. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513-15; 京都/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):859.

大塚充，引地拓人，中村純. Droplets guard mouthpiece for droplet-diffusion prevention during GI endoscopy. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513; 京都/Web.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，橋本陽，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，橋本優子，大平弘正. 生検で Group2 と診断された胃病変の内視鏡所見の検討～専門医の画像評価～. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513; 京都/Web.

藁谷雄一，大塚充，亀岡英介，鈴木宏幸，熊川宏実．治療内視鏡におけるタイムアウト導入前後での変化．第 8 回内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会; 20220515; 京都.

高橋敦史，今泉博道，大平弘正．非アルコール性脂肪性肝疾患の発症における睡眠の影響．第 58 回日本肝臓学会総会; 20220602; 横浜．肝臓. 63(Suppl.1):A309.

阿部和道，高橋敦史，大平弘正．自己免疫性肝炎の診断および再燃予測バイオマーカーとしての細胞外小胞由来 microRNA の探索．第 58 回日本肝臓学会総会; 20220602; 横浜.

柳田拓実，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，上田健太，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正．中・下咽頭癌に対する消化器内視鏡と耳鼻咽喉科の合同手術．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会; 20220701; 山形/Web．プログラム・抄録集. 66.

綿引優，竹田悠太郎，間浩正，橋本健明，今村秀道，迎愼二，大平弘正．妊娠・出産時期の IBD 治療中止が疾患活動性、周産期予後に与える影響．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会; 20220701; 山形/Web．プログラム・抄録集. 79.

中村純，引地拓人，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，田中秀明，大平弘正．食道狭窄症を合併した先天性十二指腸膜様狭窄症に対して内視鏡的な放射状切開法とバルーン拡張術が有効であった小児の 1 例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web．抄録集. 107.

石崎優斗，浅間宏之，引地拓人，菅野有紀子，児玉健太，紺野直紀，田﨑和洋，黒田聖仁，宮田昌之. 6 年間の経過観察後に内視鏡的粘膜下層剥離術にて切除した直腸 MALT リンパ腫の 1 例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web．抄録集. 116.

鈴木賛，紺野直紀，石崎優斗，浅間宏之，児玉健太，菅野有紀子，黒田聖仁．経口腸管洗浄剤の服用を契機に低 Na 血症による意識障害を呈した一例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web．抄録集. 116.

大塚充，藁谷雄一，亀岡英介，鈴木宏幸，熊川宏美．高齢者に対する早期胃癌 ESD の安全性と Charlson Comorbidity Index の後方視的検討．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

工藤慶祐，石野淳，小嶋祐紀，池田恵理子，三輪田哲郎，小柳亮太，牛尾純，大平弘正．トリプルバルーン法で小腸内視鏡を施行した小腸イレウスの 2 例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

藁谷雄一，佐竹隼輔，佐藤賢太郎，鈴木宏幸，大塚充，亀岡英介，佐藤雄紀，熊川宏実．上部消化管内視鏡検査における Texture and Color Enhancement Imaging の有用性．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

菅谷竜朗，赤塚英信，大平弘正．症例提示．第 377 回福島消化器病研究会; 20220715; 福島.

阿部直人，斎藤桂悦，木村友哉，茂呂貴知，佐川恵一，大平弘正．潰瘍の治癒遅延から胃前庭部狭窄を来したと考えられた Felty 症候群の 1 例. 第 70 回福島県農村医学会学術総会; 20220725-0831; Web.

林学，藤田将史，阿部和道，高橋敦史，大平弘正．自己免疫性肝炎における血中補体因子 MASP-2, Factor H 濃度と病態の関連についての検討. 第 59 回日本消化器免疫学会総会; 20220728; 大阪.

阿部和道，藤田将史，林学，高橋敦史，大平弘正．自己免疫性肝炎の微小環境における細胞外小胞由来 microRNA の役割. 第 59 回日本消化器免疫学会総会; 20220729; 大阪.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，入江大樹，小橋亮一郎，髙住美香，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，上田健太，高木忠之，大平弘正．食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後の形態再発における血小板数/脾臓長径比の関連. 第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20220909; 大阪/Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 28(3):86.

郡司直彦．当院におけるクローン病に対する Ustekinumab による治療方針. STELARA UC Expert Seminar in FUKUSHIMA; 20220928; 福島.

藁谷雄一，亀岡英介，大塚充，鈴木宏幸，八巻英郎，高山純，山谷英之，佐藤博子，渡邉一男，熊川宏実. 黒色便で発見された十二指腸 GIST の 1 例. 第 25 回福島県超音波内視鏡研究会; 20221001; 福島.

郡司直彦．当科における IBD 治療の現況. 福島 IBD カンファレンス; 20221007; 福島.

高木忠之，橋本陽，加藤恒孝，入江大樹，清水広，小橋亮一郎，小林玲子，中村純，引地拓人，大平弘正. 先天性胆道閉鎖術後の胆管空腸吻合部静脈瘤破裂に対して硬化療法を施行しえたが難渋した症例. 第 5 回東北・北関東門脈圧亢進症研究会; 20221008; Web.

郡司直彦．急速に悪化する肺病変を繰り返し呈した難治性クローン病の一例. 福島県炎症性腸疾患研究会; 20221008; 郡山.

高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，引地拓人，大平弘正．胆嚢癌への EUS-FNA の当院の実状. 第 58 回日本胆道学会学術集会; 20221013; 横浜.

佐藤雄紀．悪性遠位胆管狭窄におけるメタリックステントの留置位置の検討. 第 58 回日本胆道学会学術集会; 20221014; 横浜/Web.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，渡邊早百合，高木忠之，大平弘正．食道癌に対する光線力学療法（Photodynamic Therapy：PDT）. 第 42 回福島県食道癌胃癌研究会; 20221015; 福島.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正．携帯型吸引装置 Free-100 Next によるエアロゾル吸引効果. JDDW2022; 20221027; 福岡/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.2):2088.

中村純，引地拓人，大平弘正．小児の食道静脈瘤症例に対する内視鏡治療の現状と今後の展望. JDDW2022;

20221027-30; 福岡/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.2):2011.

川島一公，鬼澤道夫，郡司直彦，今村秀道，大平弘正．炎症性腸疾患の疾患活動性と脾臓体積との関連. JDDW2022; 20221027; 福岡/Web.

阿部和道，高橋敦史，大平弘正. Comprehensive gene expression analysis using single-cell RNA sequencing in autoimmune hepatitis. JDDW2022; 20221028; 福岡/Web.

林学，藤田将史，阿部和道，高橋敦史，大平弘正．急性肝不全における病態と血小板推移および播種性血管内凝固症候群の関連についての検討. JDDW2022; 20221029; 福岡/Web. 日本消化器病学会雑誌. 119(臨増大会):A758.

工藤慶祐，石野淳，小嶋祐紀，三輪田哲郎，池田恵理子，牛尾純，大平弘正．当院における悪性胆道狭窄に対する内視鏡的ラジオ波焼灼療法の治療成績. JDDW2022; 20221029; 福岡/Web.

佐藤雄紀．術後再建腸管における腹腔内腫瘤性病変に対する経小腸的 EUS-FNA の成績. JDDW2022; 20221029; 福岡/Web.

高橋敦史，阿部和道，大平弘正．免疫疾患を合併した自己免疫性肝炎の特徴. 第 26 回日本肝臓学会大会; 20221027; 福岡. 肝臓. 63(Suppl.2):A512.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正．バレット食道腺癌に対する ESD の治療成績と予後. 第 30 回日本消化器関連学会週間（JDDW2022）; 20221027; 福岡/Web.

入江大樹，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，引地拓人，大平弘正．特殊な術後消化管症例における ERCP に関する検討. 第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW2022）; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.2):2142.

高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，引地拓人，大平弘正．胆嚢癌への EUS-FNA の当院の実状. 第 35 回東北膵・胆道癌研究会; 20221105; 仙台.

郡司直彦．当科 UC 治療におけるベドリズマブの位置付け. Entyvio Symposium in FUKUSHIMA; 20221116; 福島.

川島一公．大腸 ESD の国内留学を経験して～大腸 ESD への近道？～. 第 134 回福島大腸研究会; 20221121; 福島.

高橋敦史，阿部和道，大平弘正．自己免疫性肝炎における metabolic dysfunction-associated fatty liver disease（MAFLD）の実態. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台. 肝臓. 63(Suppl.3):A701.

藤田将史，阿部和道，大平弘正．レンバチニブ治療における骨格筋量低下と予後についての多施設検討. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台/Web. 肝臓. 63(Suppl.3):A752.

林学，藤田将史，阿部和道，高橋敦史，大平弘正．肝細胞癌患者の病態と血清 growth-arrest specific gene 6 濃

度の関連についての検討. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台. 肝臓. 63(Suppl.3):A759.

阿部直人，林学，藤田将史，清水広，阿部和道，高橋敦史，大平弘正. アザチオプリンによる薬物性肝障害とサイトメガロウイルス感染症を併発し治療に難渋した自己免疫性肝炎の 1 例. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台/Web. 肝臓. 63(Suppl.3):A813.

菅谷竜朗，阿部和道，村上舞，藤田将史，林学，高橋敦史，鈴木智浩，江尻豊，大平弘正. 急性肝不全で発症した急性リンパ性白血病の 1 例. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台/Web. 肝臓. 63(Suppl.3):A830.

阿部和道，高橋敦史，大平弘正. 自己免疫性肝炎における細胞外小胞の網羅的解析と病態への関与. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125; 仙台.

阿部和道，若林博人，大平弘正. HCV 患者における DAA 治療 SVR 後の肝発癌リスク予測の比較検討～FIB-4, AFP, GES score～. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221126; 仙台.

〔シンポジウム〕

入江大樹，高木忠之，大平弘正. 当院における EUS-HGS の治療成績. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220205; 仙台. プログラム・抄録集. 96.

橋本陽，中村純，引地拓人. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する UEMR の現状. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 101.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，橋本陽，髙住美香，加藤恒孝，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 消化器内視鏡診療における飛沫感染対策～COVID-19 患者に対する緊急内視鏡の報告を含めて～. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220205; 仙台.

竹田悠太郎，今村秀道，迎愼二. ERCP 後膵炎の診断に対する AP チェック®の有用性の検討. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220205; 仙台.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，橋本陽，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，池田和彦，大平弘正. PGA シートとフィブリン糊被覆による胃 ESD 後出血予防法. 第 18 回日本消化管学会総会学術集会; 20220212; 東京.

杉本充，高木忠之，大平弘正. ERCP 後膵炎予防目的の膵管ステント留置位置の検討. 第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220514; 京都. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):701.

入江大樹，高木忠之，大平弘正. ERCP 困難症例に対する超音波内視鏡ガイド下膵管ドレナージ術の有用性. 第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web. 抄録集. 71.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，大平弘正. バレット食道腺癌に対する ESD～治療成績と予後～. 第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

佐藤賢太郎，澁川悟朗. 当院における表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍（SNADET）に対する underwater

EMR（uEMR）の治療成績. 第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

竹田悠太郎，今村秀道，迎愼二. 当院における術後再建腸管例に対するバルーン内視鏡を用いた ERCP に関する検討. 第 168 回日本消化器内視鏡学会 東北支部例会; 20220702; 山形/Web.

〔特別講演〕

高木忠之. 胆道癌の診断と治療. 大鵬薬品工業社内研修会; 20220112; 福島.

高橋敦史. 腸内細菌からみた免疫力向上. 令和 3 年度日本栄養改善学会東北支部市民公開講座; 20220119; 郡山.

阿部和道. 実臨床における肝疾患関連非侵襲的指標. 福島県肝疾患 Web セミナー; 20220121; Web.

阿部和道. 腸内細菌叢の基礎と臨床　消化器内科の視点から. 慢性の痛み政策研究事業矢吹班　令和 4 年度第 2 回班会議; 20220121; 福島.

高橋敦史. 腸内細菌からみた非アルコール性脂肪性肝疾患. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

阿部和道. 肝炎治療の現状から肝細胞癌の最新治療まで. 福島市・安達医師会合同学術講演会; 20220216; 福島.

藤田将史. 当院における非アルコール性脂肪肝疾患の実態と薬物治療. Kowa Web Conference; 20220307; Web.

阿部和道. 当科における肝細胞癌薬物療法の現状. がん免疫と VEGF セミナー; 20220315; 福島.

高木忠之. 胆管挿管標準化を目指して. カネカ SHOREN シンポジウム; 20220405; Web.

紺野直紀. 内視鏡の撮り方・方法・注意点（合併症など）. 第 376 回福島消化器病研究会; 20220520; 福島.

阿部和道. 消化器疾患における CKD の現状と課題. CKD Next Symposium; 20220523; 福島.

高木忠之. 慢性膵炎診療ガイドライン 2021 改訂内容に関して. 膵外分泌機能不全（PEI）を考える会; 20220527; Web.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，上田健太，高木忠之，大平弘正. 新型飛沫予防マウスピースを使用した治療内視鏡. 第 45 回福島県消化器治療内視鏡研究会; 20220611; 郡山.

大平弘正. AIH/PBC の最近の話題. 日本消化器病学会関東支部第 40 回教育講演会; 20220619; Web.

大平弘正. 自己免疫性化肝炎 Up to Date. 第 42 回臨床肝臓カンファランス; 20220709; 東京.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. PGA シートとフィブリン糊被覆による胃 ESD 後出血予防策. 第 377 回福島消化器病研究会;

20220715; 福島.

藤田将史. 当院における肝細胞癌治療の現状 ～LEN-TACE の治療成績を踏まえて～. LEN-TACE Academy 2022; 20220720; Web.

阿部和道. 肝細胞癌治療の up to date. 白河医科歯科連携講演会; 20220830; 白河.

高橋敦史. 脂肪性肝疾患患者への対応. 令和 4 年肝癌撲滅運動講演会; 20220910; 郡山.

高橋敦史. 脂肪性肝疾患とは. 令和 4 年度肝炎医療コーディネーター養成研修会; 20220910; 郡山.

阿部和道. 当科における肝細胞癌に対する複合免疫療法の現状. 会津医学会学術講演会; 20220913; 会津若松.

阿部和道. 脂質異常症を伴う肝疾患診療におけるペマフィブラートの果たす役割. Fukushima Eleven; 20220927; 郡山.

高橋敦史. NASH・NAFLD の日常診療. 日本消化器病学会東北支部第 24 回教育講演会; 20221002; Web.

川島一公. 大腸癌検診. 20221010; 福島民報.

阿部和道. 肝細胞癌の薬物療法におけるカボザンチニブの特徴と位置づけ. 肝細胞癌と緩和ケアの治療について考える会; 20221012; 福島.

藤田将史. 肝細胞癌治療と当科の治療状況. 相双がん治療勉強会; 20221019; Web.

高橋敦史. 自己免疫性肝疾患の治療戦略. 2022 年度日本肝臓学会後期教育講演会; 20221126; 仙台.

大平弘正. 自己免疫性化肝炎 Up to Date－肝硬変の対応も含めて. 第 75 回奈良消化器代謝セミナー; 20221201; 橿原/Web.

藤田将史. 当院における非アルコール性脂肪肝疾患の実態と薬物治療. 第 5 回いわき NASH・糖尿病講演会; 20221209; Web.

大平弘正. 自己免疫性肝疾患 Update－PoPH を含めて. JanssenPro PoPH Web seminar; 20221214; Web.

高木忠之. 膵疾患と栄養療法. アミティーザ発売 10 周年記念講演会慢性便秘症セミナー; 20221215; Web.

川島一公. がん出前講義～がんと予防、早期発見の重要性～. 福島学院大学　がん出前講義; 20221215; 福島.

阿部和道. 自己免疫性肝炎における細胞外小胞の網羅的解析と病態への関与. 第 7 回 G-PLUS; 20221217; 東京.

〔招待講演〕

大平弘正. Current status and challenges of autoimmune liver diseases. 第 26 回日本肝臓学会大会; 20221027;

福岡. 肝臓. 63(Suppl.2):A512.

〔その他〕

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大塚充，髙木忠之，大平弘正. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対するUEMRの現状と手技の工夫（ワークショップ）. 第18回日本消化管学会総会学術集会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl):172.

橋本陽，中村純，引地拓人，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，大塚充，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対するLECSの困難因子の解析. 第103回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513-14; 京都. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):739.

竹田悠太郎，横山健介，石野淳，八島玲，牛尾純，大平弘正. 左右肝管に狭窄を呈し、SpyGlassDSを用いて右後区域枝の肝内胆管癌と診断し、治癒切除に至った1例. 第103回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513; 京都.

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，上田健太，高木忠之，大平弘正. POEMで治療したesophagogastric junction outflow obstructionの3例. 第168回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web. 抄録集. 117.

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，大塚充，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. バルーン拡張術歴を有する食道アカラシア関連疾患に対するPOEM. 第104回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW2022）; 20221027-30; 福岡/Web. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.2):2066.

杉本充. 膵胆道癌診断における十二指腸細菌叢. 福島県腸内フローラ研究会; 20221116; 福島.

大平弘正. 自己免疫性肝疾患、肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会; 20221201; Web.

リウマチ膠原病内科学講座

論　文

〔原　著〕

Fujita Y, Fukui S, Umeda M, Tsuji S, Iwamoto N, Nakashima Y, Horai Y, Suzuki T, Okada A, Aramaki T, Ueki Y, Mizokami A, Origuchi T, Watanabe H, Migita K, Kawakami A. Clinical Characteristics of Patients with IgG4-Related Disease Complicated by Hypocomplementemia. Frontiers in Immunology. 2022; 13:828122.

Temmoku J, Asano T, Saito K, Matsumoto H, Fujita Y, Furuya-Yashiro M, Matsuoka N, Oda A, Tanabe H, Sato S, Shio-Yano K, Sasajima T, Kiko Y, Kobayashi H, Watanabe H, Shimabukuro M, Migita K. Effect of a multitarget therapy with prednisolone, mycophenolate mofetil, and tacrolimus in a patient with type B insulin resistance syndrome complicated by lupus nephritis. Modern Rheumatology Case Reports. 2022; 6(1):41-46.

Temmoku J, Miyata M, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K. Comparing the effectiveness and safety of Abatacept and Tocilizumab in elderly patients with rheumatoid arthritis. PLOS ONE. 2022; 17(9):e0274775.

Temmoku J, Migita K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Watanabe H, Miyata M. Real-world comparative effectiveness of bDMARDs and JAK inhibitors in elderly patients with rheumatoid arthritis. Medicine. 2022; 101(42):e31161.

Matsumoto H, Ohashi H, Fujita Y, Yoshida S, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Shinden Y, Kusano K, Sonobe T, Nakamoto Y, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Migita K. Total Hip Joint Replacement in a Patient with Colchicine-Resistant Familial Mediterranean Fever under Canakinumab Treatment. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 2022; 256(2):169-174.

Matsumoto H, Asano T, Tsuchida N, Maeda A, Yoshida S, Yokose K, Fujita Y, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Sato S, Irie K, Norikawa N, Yamamoto T, Endo M, Fukuchi K, Ohkawara H, Ikezoe T, Uchiyama Y, Kirino Y, Matsumoto N, Watanabe H, Migita K. Behçet's disease with a somatic UBA1 variant: Expanding spectrum of autoinflammatory phenotypes of VEXAS syndrome. Clinical Immunology. 2022; 238:108996.

Matsumoto H, Fujita Y, Onizawa M, Saito K, Sumichika Y, Yoshida S, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Machida T, Watanabe H, Migita K. Increased CEACAM1 expression on peripheral blood neutrophils in patients with rheumatoid arthritis. Frontiers in Immunology. 2022; 13:978435.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Komiya A, Matsui T, Fukui N, Suematsu E, Ohno S, Kono H, Katayama M, Nagaoka S, Migita K, Tohma S. Predisposition of HLA-DRB1*04:01/*15 heterozygous genotypes to Japanese mixed connective tissue disease. Scientific Reports. 2022; 12(1):9916.

Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Okamoto A, Hashimoto A, Komiya A, Saisho K, Yoshikawa N, Katayama M, Matsui T, Fukui N, Migita K, Tohma S. Serum rheumatoid factor IgA, anti-citrullinated peptide antibodies with secretory components, and anti-carbamylated protein antibodies associate with interstitial lung disease in rheumatoid arthritis. BMC Musculoskeletal Disorders. 2022; 23(1):46.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Toba N, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Kanno T, Migita K, Fujimori K. Maternal disease activity and serological activity as predictors of adverse pregnancy outcomes in women with systemic lupus erythematosus: a retrospective chart review. Archives of Gynecology and Obstetrics. 2022; 305(5):1177-1183.

Hayashi K, Sada KE, Asano Y, Katayama Y, Ohashi K, Morishita M, Miyawaki Y, Watanabe H, Katsuyama

T, Narazaki M, Matsumoto Y, Yajima N, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M, Wada J. Real-world data on vitamin D supplementation and its impacts in systemic lupus erythematosus: Cross-sectional analysis of a lupus registry of nationwide institutions (LUNA). PLOS ONE. 2022; 17(6):e0270569.

Suzuki E, Oda R, Kanno T, Kimura S, Saito Y, Kanbayashi H, Matsuda S, Migita K. Pure White Cell Aplasia Complicated by Systemic Sclerosis with Accompanying Scleroderma Renal Crisis. Internal Medicine. 2022; 61(12):1907-1912.

Abe K, Ishikawa Y, Kita Y, Yajima N, Inoue E, Sada KE, Miyawaki Y, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M. Association of low-dose glucocorticoid use and infection occurrence in systemic lupus erythematosus patients: a prospective cohort study. Arthritis Research & Therapy. 2022; 24(1):179.

Sada KE, Katayama Y, Asano Y, Hayashi K, Miyawaki Y, Ohashi K, Katsuyama E, Katsuyama T, Takano-Narazaki M, Matsumoto Y, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M, Yajima N. Association of one-point glucocorticoid-free status with chronic damage and disease duration in systemic lupus erythematosus: a cross-sectional study. Lupus Science & Medicine. 2022; 9(1):e000772.

Suzuki E, Zhang XK, Yashiro-Furuya M, Asano T, Kanno T, Kobayashi H, Migita K, Ohira H. The expression of Ets-1 and Fli-1 is associated with interferon-inducible genes in peripheral blood mononuclear cells from Japanese patients with systemic lupus erythematosus. Medicine. 2022; 101(45):e31522.

Koga T, Sato S, Hagimori N, Yamamoto H, Ishimura M, Yasumi T, Kirino Y, Ikeda K, Yachie A, Migita K, Kishida D, Atsumi T, Kawakami A. A randomised, double-blind, placebo-controlled phase III trial on the efficacy and safety of tocilizumab in patients with familial Mediterranean fever. Clinical and Experimental Rheumatology. 2022; 40(8):1535-1542.

浅野智之. 全身性エリテマトーデスにおける免疫チェックポイント分子機能の解明. 福島医学雑誌. 2022; 72(1):45.

〔総説等〕

右田清志，藤田雄也，天目純平. 6 歳から 64 歳までのハイリスク者における肺炎球菌ワクチン接種の考え方　関節リウマチ患者における肺炎球菌ワクチン接種を考える. 感染症学雑誌. 2022; 96(臨増):75.

藤田雄也，右田清志. パイリン関連自己炎症性疾患. リウマチ科. 202206; 67(6):746-752.

Kawakami A, Endo Y, Koga T, Yoshiura KI, Migita K. Autoinflammatory disease: clinical perspectives and therapeutic strategies. Inflammation and Regeneration. 2022; 42(1):37.

〔症例報告〕

Matsumoto H, Fujita Y, Fukatsu M, Ikezoe T, Yokose K, Asano T, Tsuchida N, Maeda A, Yoshida S, Hashimoto H, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Sato S, Murakami M, Sato H, Sakuma C,

Kawashima K, Shakespear N, Uchiyama Y, Watanabe H, Kirino Y, Matsumoto N, Migita K. Case Report: Coexistence of Multiple Myeloma and Auricular Chondritis in VEXAS Syndrome. Frontiers in Immunology. 2022; 13:897722.

Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Yaguchi T, Aita T, Kusano M, Yamamoto T, Watanabe H, Migita K. Anti-Mi-2 and Anti-TIF1-γ Double-Positive Juvenile Dermatomyositis Treated under Diagnosis of Chronic Eczema: A Case Report. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 2022; 256(4):303-308.

Saito K, Asano T, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Ohkawara H, Sumichika Y, Yoshida S, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Sato S, Watanabe H, Migita K. Refractory adult-onset Still's disease complicated with monoclonal gammopathy of undetermined significance: A case report. Medicine. 2022; 101(49):e32107.

Watanabe E, Sugiyama Y, Sato H, Imanishi T, Fukuda A, Takagi K, Asano T, Migita K, Nanki T, Kotake S. Adult-onset Still's disease during pregnancy that delivered a neonate with haemophagocytic lymphohistiocytosis and severe liver failure requiring liver transplantation: A case report and literature review. Modern Rheumatology Case Reports. 2022; 6(2):260-265.

Shimizu H, Matsumoto H, Sasajima T, Suzuki T, Okubo Y, Fujita Y, Temmoku J, Yoshida S, Asano T, Ohira H, Ejiri Y, Migita K. New-onset dermatomyositis following COVID-19: A case report. Frontiers in Immunology. 2022; 13:1002329.

赤沼春菜，板垣裕也，林田有紗，松田希，金井数明，岩楯兼尚，小島隆生，佐久間潤，浅野智之，右田清志，小林靖幸，内海滉人，橋本優子. 巨細胞性動脈炎による脳梗塞を疑い、病理解剖でアスペルギルスの頭蓋内感染症と判明した一例. 臨床神経学. 2022; 62(5):402.

書籍等出版物

山田俊幸，奥田恭章，中村正，右田清志，黒田毅. AA アミロイドーシス診療ファイル　難治性炎症診療のエッセンス. 京都: 金芳堂. 202208.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Fujita Y, Yago T, Matsumoto H, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. NLRP3 inflammasome activation mechanism of Cold-inducible RNA-binding protein(CIRP) in innate immune cells. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 525.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yashiro-Furuya M, Yokose K, Yoshida S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. Assessment of Disease Phenotype and Drug

Selection in RA Patients Using Combined Evaluation with Inflammatory Cytokines and Immune-checkpoint Molecules. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 675.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yashiro-Furuya M, Yokose K, Yoshida S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. Assessment of Disease Phenotype Using Combined Evaluation with Inflammatory Cytokines and Immune-checkpoint Molecules in RA Patients. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 544.

Michitsuji T, Kawashiri S, Endo Y, Ueki Y, Eiraku N, Okada A, Yoshitama T, Matsuoka N, Fujikawa K, Takaoka H, Hidaka T, Arinobu Y, Hamada H, Tsuru T, Nawata M, Tada Y, Ishizaki J, Otsubo H, Kawakami A. Clinical features of difficult-to-treat rheumatoid arthritis: A multicenter RA ultrasound prospective observational cohort study in Japan. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 515.

Yamamoto K, Koga T, Ichinose K, Sumiyoshi R, Kurushima S, Shimizu T, Michitsuji T, Tsuji Y, Nishihata S, Iwamoto N, Umeda M, Origuchi T, Tamai M, Okada A, Furuyama M, Umekita K, Migita K, Kawakami A, Mukae H. Immunological response to anti-SARS-CoV-2 mRNA vaccines in patients with rheumatoid arthritis. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 518.

佐藤秀三，古谷牧子，横瀬晃平，吉田周平，松本聖生，天目純平，藤田雄也，松岡直紀，浅野智之，鈴木英二，菅野孝，渡辺浩志，右田清志. 高齢発症顕微鏡的多発血管炎における治療、予後についての検討. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 685.

天目純平，横瀬晃平，吉田周平，松本聖生，藤田雄也，松岡直紀，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，渡辺浩志，宮田昌之，右田清志. JAK阻害薬：高齢者　高齢関節リウマチ患者におけるJAK阻害薬と生物学的製剤の有効性、安全性の比較. 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 371.

松本聖生，藤田雄也，松岡直紀，天目純平，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，渡辺浩志，鈴木英二，辻創介，福井翔一，梅田雅孝，岩本直樹，川上純，右田清志. IgG4関連疾患における免疫チェックポイント分子の有用性. 第31回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20220115-16; 仙台. 抄録集. 41.

松本聖生，藤田雄也，浅野智之，坂井晃，則川菜摘，山本俊幸，佐藤秀三，横瀬晃平，吉田周平，天目純平，松岡直紀，古谷牧子，渡辺浩志，右田清志. 単クローン性ガンマグロブリン血症を伴わないSchnitzler症候群の一例. 第5回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会; 20220212; 東京.

松本聖生，藤田雄也，齋藤賢司，住近祐哉，吉田周平，浅野智之，天目純平，松岡直紀，菊地大介，佐藤秀三，渡辺浩志，橋本優子，右田清志. 多発血管炎性肉芽腫症とIgG4関連疾患を合併した一例. 第30回日本シェーグレン症候群学会学術集会; 20220916-17; 金沢.

松本聖生，藤田雄也，鬼澤道夫，齋藤賢司，住近祐哉，吉田周平，天目純平，松岡直紀，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，鈴木英二，町田豪，渡辺浩志，右田清志. RA免疫細胞におけるCEACAM1免疫チェックポイント経路の異常. 第37回日本臨床リウマチ学会; 20221029-30; 札幌.

吉田周平，松岡直紀，横瀬晃平，松本聖生，天目純平，藤田雄也，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，渡辺浩

志，右田清志．大型血管炎に対する診断・評価に血管エコー検査が有用であった 2 例．第 31 回日本リウマチ学会北海道。東北支部学術集会; 20220115-16; 仙台．抄録集. 46.

吉田周平．高安動脈炎患者における寛解導入療法としてのトシリズマブとステロイド併用の有効性．第 30 回福島県リウマチフォーラム; 20220610; 福島.

吉田周平，深津真彦，河俣貴也，住近祐哉，齋藤賢司，松本聖生，天目純平，藤田雄也，松岡直紀，浅野智之，佐藤秀三，佐々島朋美，鈴木智浩，池添隆之，渡辺浩志，右田清志．難治性肺胞蛋白症を合併したトリソミー8 陽性 MDS/ベーチェット病に造血幹細胞移植が著効した一例．第 32 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20220923-24; 札幌．プログラム・抄録集. YIA1-7.

吉田周平，横瀬晃平，松本聖生，天目純平，藤田雄也，松岡直紀，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，渡辺浩志，右田清志．自然免疫系細胞における IFN シグナルとサイトカイン誘導に対するヤヌスキナーゼ阻害薬の作用．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220424-27; 横浜．プログラム・抄録集. 615.

松岡直紀，佐藤秀三，吉田周平，横瀬晃平，松本聖生，天目純平，藤田雄也，古谷牧子，浅野智之，小林浩子，渡辺浩志，右田清志．抗 SSA/Ro 抗体が重篤な病態に関与したと考えられる ANCA 陰性血管炎の剖検症例．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220424-27; 横浜．プログラム・抄録集. 680.

梶山浩，矢嶋宣幸，宮脇義亜，一瀬邦弘，吉見竜介，大野滋，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，佐田憲映，大西輝，木田節，松尾祐介，江本恭平，酒井左近，岡元啓太，松田真弓，矢澤宏晃，柳澤麻依子，丸山崇，和田琢，吉田佳弘，横田和浩，荒木靖人，舟久保ゆう，秋山雄次，三村俊英. SLE の治療（ヒドロキシクロロキン/免疫抑制薬）SLE 患者におけるヒドロキシクロロキン内服と 3 年間の腎機能変化との関連　LUNA レジストリを用いたコホート観察研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜．プログラム・抄録集. 422.

麹谷典子，杉山裕美子，吉見竜介，國下洋輔，吉岡裕二，秀川智春，櫻井菜月，岸本大河，前田彩花，平原理紗，小宮孝章，副島裕太郎，濱田直樹，永井秀人，土田奈緒美，峯岸薫，桐野洋平，矢嶋宣幸，佐田憲映，宮脇義亜，一瀬邦弘，大野滋，梶山浩，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，長岡章平，中島秀明. SLE の血清学的指標と病態　SLE 患者における低補体血症と感染症合併の関連について　LUNA レジストリを用いた観察研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜．プログラム・抄録集. 421.

古藤世梨奈，一瀬邦弘，清水俊匡，井川敬，佐田憲映，吉見竜介，大野滋，矢嶋宣幸，梶山浩，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，大西輝，木田節，宮脇義亜，松尾祐介，梅田雅孝，住吉玲美，古賀智裕，岩本直樹，玉井慎美，折口智樹，川上純. SLE の血清学的指標と病態　全身性エリテマトーデス（SLE）患者における抗 RNP 抗体と早産歴の関連　LUNA レジストリを用いた横断研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜．プログラム・抄録集. 421.

高谷亜由子，一瀬邦弘，荒木健志，梅津彩香，荒牧俊幸，寺田馨，江口勝美，佐田憲映，吉見竜介，大野滋，矢嶋宣幸，梶山浩，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，大西輝，木田節，宮脇義亜，松尾祐介，植木幸孝，川上純. SLE における疾患活動性と QOL　主治医の性別による SLE 患者の QOL・診療満足度　LUNA レジストリによる実態調査．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜．プログラム・抄録集. 367.

横瀬晃平，藤田雄也，吉田周平，松本聖生，天目純平，松岡直紀，古谷牧子，浅野智之，佐藤秀三，渡辺浩

志，右田清志. 成人 Still 病に IgA 血管炎と抗 CCP 抗体陽性関節炎を合併した一例. 第 31 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20220115-16; 仙台. 抄録集. 53.

樋口貴士，野木真一，岡笑美，古川宏，島田浩太，橋本篤，小宮明子，松井利浩，東孝典，杉山隆夫，平野史倫，岡本亨，寶來吉朗，片山雅夫，右田清志，當間重人. リウマチ性多発筋痛症の UBA1 遺伝子解析. 第 76 回国立病院総合医学会; 20221007-08; 熊本. 抄録集. 1085.

岡笑美，樋口貴士，古川宏，島田浩太，橋本篤，小宮明子，松井利浩，福井尚志，末松栄一，大野滋，河野肇，片山雅夫，長岡章平，右田清志，當間重人. 日本人 MCTD 患者では HLA-DRB1*04:01/*15 と*09:01/*15 が増加している. 第 76 回国立病院総合医学会; 20221007-08; 熊本. 抄録集. 1078.

柳井亮，石高絵里子，小黒奈緒，林智樹，井上良，櫻井康亮，高橋良，一瀬邦弘，吉見竜介，大野滋，梶山浩，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，大西輝，木田節，宮脇義亜，松尾祐介，高谷亜由子，大西貴久，山本譲，佐田憲映，矢嶋宣幸. SLE 患者における外来主治医変更の回数と障害度指数に関する横断的検討　LUNA レジストリ. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 647.

大西貴久，山根隆志，佐田憲映，宮脇義亜，一瀬邦弘，吉見竜介，大野滋，梶山浩，佐藤秀三，下島恭弘，藤原道雄，大西輝，木田節，松尾祐介，山本譲，矢嶋宣幸. 全身性エリテマトーデス患者におけるニューモシスチス肺炎予防診療実態とステロイド投与量との関連　多施設共同レジストリ LUNA データを用いた横断研究. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425-27; 横浜. プログラム・抄録集. 643.

古谷牧子，佐藤秀三，鈴木英二，菅野孝，吉田周平，横瀬晃平，松本聖生，藤田雄也，天目純平，松岡直紀，浅野智之，小林浩子，渡辺浩志，右田清志. ANCA 関連血管炎の寛解導入療法におけるリツキシマブの効果と長期の安全性についての検討. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220424-27; 横浜. プログラム・抄録集. 688.

横瀬晃平，佐藤秀三，吉田周平，松本聖生，天目純平，藤田雄也，松岡直紀，古谷牧子，浅野智之，渡辺浩志，右田清志. 多発血管炎性肉芽腫症治療中に急性前骨髄球性白血病を発症した一例. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220424-27; 横浜. プログラム・抄録集. 675.

岡笑美，樋口貴士，古川宏，島田浩太，岡本享，橋本篤，小宮明子，税所幸一郎，吉川教恵，片山雅夫，松井利浩，福井尚志，右田清志，當間重人. 関節リウマチ関連間質性肺病変と抗シトルリン化ペプチド抗体、リウマトイド因子、抗カルバミル化蛋白抗体. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220424-27; 横浜. プログラム・抄録集. 589.

〔シンポジウム〕

佐藤秀三. 関節リウマチに対する分子標的治療法の実態. 第 31 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20220115-16; 仙台. 抄録集. 27.

〔特別講演〕

右田清志. 教育講演 5　オルミエントの有用性を考える. 第 43 回日本炎症再生医学会; 20220706; 兵庫.

右田清志. 日常診療で遭遇する自己炎症疾患の鑑別と診断のポイント. 自己炎症症候群の鑑別・診断を考える会; 20220826; 東京.

右田清志. 関節リウマチ患者に関する肺炎球菌ワクチン接種の考え方について. 呼吸器感染症ワクチン研究会 2022; 20221022; 東京.

右田清志. 免疫疾患における治療の変遷と展望. 秋田　視神経脊髄炎 WEB Seminar; 20221130; 秋田/Web.

右田清志. 自己炎症性症候群の最新の知見. 第 39 回膠原病臨床病理研究会; 20221104; 東京.

右田清志. 自己炎症性疾患を含むリウマチ性疾患における SAA 測定の意義. 第 69 回日本臨床検査医学会学術集会; 20221120; 栃木.

〔その他〕

右田清志. 家族性地中海熱の診断と治療. 自己炎症性疾患セミナー; 20220127; 福島.

右田清志. 不明熱の鑑別としての家族性地中海熱（FMF）. Novartis Web Live 講演会; 20220513; 福島/Web.

右田清志. 家族性地中海熱 update. FMF discussion meeting; 20220629; 福島.

右田清志. 自己炎症性疾患アップデート. Expert WEB Meeting; 20220729; 福島/Web.

右田清志. 家族性地中海熱 up-to-date. 4th Interactive Meeting in Fukushima～自己炎症性疾患, 自己免疫性疾患の診断と治療を考える～; 20220902; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱の診断・治療. PaneL Discussion WEB 講演会; 20220914; 福島/Web.

右田清志. 家族性地中海熱 update. FMF discussion meeting; 20221004; 福島.

右田清志. NASH における IL-6 について. 第 8 回福島県 IL-6 講演会; 20221216; 福島.

佐藤秀三. 高齢関節リウマチにおけるアバタセプトと csDMARDs 併用の可能性. リウマチ WEB セミナー; 20220413; 福島/Web.

佐藤秀三. 強皮症を合併している関節リウマチ患者のマネジメント. Autoimmune Disease Webinar; 20220723; 福島.

佐藤秀三. 高齢発症の ANCA 関連血管炎患者の臨床的特徴について. RA フォーラム from 福島; 20220928; 福島.

佐藤秀三. 当科における関節リウマチ治療の現状とメトトレキサートについて. メトジェクト発売記念講演会 in 福島; 20221214; 福島.

浅野智之. 最新の関節リウマチ診断におけるエコーの有用性. FARCON2022; 20220312; 福島.

浅野智之. JAK 阻害薬について. リンヴォック発売 2 周年記念講演会 in 南東北; 20220402; 仙台.

浅野智之. 当院での RA 診療と JAK 阻害薬. JAK 阻害剤を考える会 in 郡山; 20220608; 郡山.

浅野智之. 関節エコーを用いた鑑別診断. 第 10 回東北関節エコー研究会; 20220723; 仙台.

浅野智之. 関節エコー撮像手技の解説と実技. Academy of Imaging 関節エコーワークショップ－Beginner cource－; 20220806-07; 東京.

浅野智之. 関節エコーを用いたリウマチ診療～ジセレカ投与例の経験を踏まえて～. ジセレカ発売 2 周年記念講演会 in 福島; 20221011; 福島.

浅野智之. 関節リウマチの診断と治療について. Meet The Expert for Pharmacist; 20221220; 福島.

藤田雄也. 実臨床で JAK 阻害薬に期待すること. リウマチ性疾患研究会; 20220222; 福島.

藤田雄也. 実臨床で JAK 阻害薬に期待すること. シンポニー発売 10 周年記念講演会; 20220304; 郡山.

藤田雄也. 関節リウマチにおける関節エコー撮像主義の解説と実技. FARCON2022; 20220312; 福島.

藤田雄也. 低補体血症を伴う IgG4 関連疾患の臨床的特徴. Rheumatology Conference2022; 20220625; 東京.

藤田雄也. プレシニア世代における RA 治療の診断課題と対策～ゴリムマブ治療含む～. RA Biologics Expert Seminar; 20220927; 福島.

藤田雄也. 関節リウマチとサイトカイン. 第 15 回福島県プライマリケア研究会; 20221109; 福島.

天目純平. インスリン受容体異常症 B 型を合併したループス腎炎の一例. 第 22 回福島腎フォーラム; 20220308; 福島.

天目純平. 高齢 RA に対する分子標的治療の有用性. 第 6 回 RA セミナー; 20220527; 福島.

天目純平. 高齢関節リウマチの治療戦略. ORENCIA Web Seminar In TOHOKU 2022; 20221209; 福島/Web.

天目純平. 高齢リウマチ診療の問題点～生物学的製剤を中心に～. 福島県関節リウマチ研究会; 20221223; 福島.

松本聖生. リウマチ性疾患における免疫チェックポイント分子の有用性と今後の展望. 第 6 回 Academy of clinical Immunology, one step further; 20220218; 福島.

松本聖生. 成人でみられる体細胞遺伝子変異による自己炎症性疾患. 4th Interactive Meeting in Fukushima～自己炎症性疾患, 自己免疫性疾患の診断と治療を考える～; 20220902; 福島.

松本聖生. 関節リウマチの病態と治療～プレシニア RA に対するシンポニー治療を含む～. Simponi Seminar for

Health Care Professional in FUKUSHIMA; 20221119; 福島.

吉田周平. メトトレキサートと TNF 阻害薬で加療中に肝細胞癌を併発した関節リウマチ/シェーグレン症候群の一例. 第 8 回福島県 IL-6 講演会; 20221216; 福島.

住近祐哉. 多関節痛と好酸球増多症をきたした 69 歳男性. 第 21 回東北臨床免疫研究会; 20220820; 仙台.

腎臓高血圧内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Watanabe S, Zhang Y, Fukusumi Y, Yasuda H, Takada A, Kazama JJ, Kawachi H. Th17 Cells Participate in Thy1.1 Glomerulonephritis Which Is Ameliorated by Tacrolimus. American Journal of Nephrology. 202206; 53(5):388-396.

Kazama JJ, Koiwa F, Yokoyama K, Fukagawa M, Asano K, Honda D, Akizawa T. First-in-Patient Phase I/II Study of Upacicalcet in Japanese Patients with Secondary Hyperparathyroidism Undergoing Hemodialysis: Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Properties. Clinical Pharmacokinetics. 202209; 61(9):1271-1284.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ,

Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

Oda A, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association between Serum Inorganic Phosphorus Levels and Adverse Outcomes in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort Study. Internal Medicine. 202206; 61(11):1653-1662.

Tanabe H, Hirai H, Saito H, Tanaka K, Masuzaki H, Kazama JJ, Shimabukuro M. Detecting Sarcopenia Risk by Diabetes Clustering: A Japanese Prospective Cohort Study. Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 202209; 107(10):2729-2736.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S36-S46.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S84-S94.

Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Takeda A, Tsukamoto T, Uchida S, Tsuruya K, Shoji T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Konta T, Nishio S, Goto S, Tamai H, Nagai K, Katafuchi R, Masutani K, Wada T, Nishino T, Shirasaki A, Sobajima H, Nitta K, Yamagata K, Kazama JJ, Hiromura K, Yasuda H, Mizutani M, Akahori T, Naruse T, Hiramatsu T, Morozumi K, Mimura T, Saka Y, Ishimura E, Hasegawa H, Ichikawa D, Shigematsu T, Sato H, Narita I, Isaka Y; Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study investigators. Time to remission of proteinuria and incidence of relapse in patients with steroid-sensitive minimal change disease and focal segmental glomerulosclerosis: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study. Journal of Nephrology. 202203; 35(4):1135-1144.

Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Takeda A, Uchida S, Tsukamoto T,

Tsuruya K, Akai Y, Nitta K, Fukunaga M, Hayashi H, Shoji T, Masutani K, Konta T, Katafuchi R, Nishio S, Wada T, Goto S, Tamai H, Shirasaki A, Nagai K, Nishino T, Yamagata K, Kazama JJ, Hiromura K, Yasuda H, Sofue T, Fujimoto S, Mizutani M, Naruse T, Hiramatsu T, Morozumi K, Sobajima H, Saka Y, Ishimura E, Ito T, Ichikawa D, Shigematsu T, Sato H, Narita I, Yoshitaka I; Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study investigators. Acute Kidney Injury and Remission of Proteinuria in Minimal Change Disease. Kidney International Reports. 202208; 7(10):2283-2288.

Wakasugi M, Kazama JJ, Nitta K, Narita I. Smoking and risk of fractures requiring hospitalization in haemodialysis patients: a nationwide cohort study in Japan. Nephrology, Dialysis, Transplantation. 202204; 37(5):950-959.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Takeda A, Uchida S, Tsukamoto T, Tsuruya K, Akai Y, Nitta K, Fukunaga M, Hayashi H, Masutani K, Wada T, Konta T, Katafuchi R, Nishio S, Goto S, Tamai H, Shirasaki A, Shoji T, Nagai K, Nishino T, Yamagata K, Kazama JJ, Hiromura K, Yasuda H, Mizutani M, Naruse T, Hiramatsu T, Morozumi K, Sobajima H, Saka Y, Ishimura E, Ichikawa D, Shigematsu T, Sofue T, Fujimoto S, Ito T, Sato H, Narita I, Isaka Y; JNSCS Investigators. Predictors of early remission of proteinuria in adult patients with minimal change disease: a retrospective cohort study. Scientific Reports. 202206; 12(1):9782.

田中健一. 新規薬剤と電解質異常　新規高 K 血症治療薬が循環器・腎臓診療に与える影響. 腎臓内科. 202202; 15(2):205-211.

風間順一郎. 遠隔医療による維持透析診療サポートプロジェクト・福島モデル：現状と展望. 日本遠隔医療学会雑誌. 202210; 18(2):147-150.

〔総説等〕

風間順一郎. 【心腎連関から新薬まで！心×腎疾患の薬物治療】心腎連関を考慮した薬物治療　CKD. 薬事. 202203; 64(4):693-697.

書籍等出版物

風間咲美，風間順一郎 編集. 禁煙で日本を元気に！受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208.

風間咲美，田中健一，坂部琢磨，小田朗，浅井淳，佐藤啓二，谷良宏，鈴木穂孝，風間順一郎. 喫煙習慣と維持血液透析患者の予後との密接な関連. In: 風間咲美, 風間順一郎 編集. 禁煙で日本を元気に！受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208. p.8-14.

風間順一郎. 曲がり角を迎えた医療従事者・医学研究者の禁煙推進活動. In: 風間咲美, 風間順一郎 編集. 禁煙で日本を元気に！受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208. p.78-92.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kazama JJ, Kusakabe M, Kinoshita J, Nakanishi K, Fukagawa M, Akizawa T. Efficacy and Safety of Tenapanor Added to Phosphate Binders for Hemodialysis Patients Who Have Poorly Controlled Hyperphosphatemia on Existing Phosphate Binders: Results of a Randomized Phase 3 Trial. ASN Kidney Week 2022; 20221103; Orlando, USA.

風間順一郎. ウパシタ参上！～SHPT 治療のアシタから. ウパシタ新発売記念講演会; 20220116; Web.

風間順一郎. ウパシタ参上！～SHPT 治療のアシタから. CKD-MBD カンファレンス in 富山; 20220119; Web.

風間順一郎. CKD の診療が変わる！ FORXIGA CKD seminar@SHIRAKAWA; 20220120; Web.

田中健一. CKD 臨床の現状と課題. FORXIGA CKD seminar@SHIRAKAWA; 20220120; Web.

田中健一. CKD 診療における地域医療連携～現状と今後～. 黒川医師会学術講演会; 20220121; Web.

風間順一郎. CKD の診療が変わる！ 会津医学会学術講演会～慢性腎臓病診療を考える～; 20220124; Web.

田中健一. CKD 診療の課題と今後～ダパグリフロジンの可能性～. 糖尿病と心腎を考える in 県中; 20220127; Web.

齋藤浩孝. 腎性貧血治療の現状と課題－福島 CKD コホートより－. 第 7 回福島腎と代謝研究会; 20220129; Web.

風間順一郎. ウパシタ参上！ SHPT セミナー; 20220210; Web.

田中健一. 腎性貧血の現状と課題. 腎性貧血治療を考える会 in ADACHI; 20220216; 二本松/Web.

田中健一. 鉄代謝から考える腎性貧血治療－現状と課題－. 第 120 回県北糖尿病懇話会; 20220224; 福島/Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える. 腎症重症化予防プログラム講演会 大崎・石巻; 20220314; Web.

風間順一郎. 慢性腎臓病治療が新しい時代を迎える. 学術講演会 慢性腎臓病対策推進会議; 20220315; Web.

風間順一郎. CKD 診療が、わかっちゃう♥. 田村 CKD 講演会; 20220322; Web.

田中健一. 腎性貧血治療に対する課題とバダデュスタットへの期待. CKD 合併症治療を考える会; 20220323; Web.

田中健一. 腎性貧血治療における鉄管理の意義ー福島コホート研究よりー. TORII 腎透析 Web セミナー～リオナ錠追加適応 1 周年記念～; 20220408; Web.

風間順一郎. ウパシタ参上！ CKD 医療ミーテング 2022; 20220409; 大阪/Web.

齋藤浩孝. 福島 CKD コホートから見る腎性貧血治療の現状と課題. DKD 研究会 2022; 20220412; Web.

田中健一. CKD 診療の現状と課題～ダパグリフロジンへの期待～. 新庄・最上 CKD Symposium; 20220414; Web.

田中健一. CKD 診療における早期診断と介入のポイント. 学術講演会　CKD・高カリウム血症対策推進会議; 20220517; Web.

岩崎剛史. PD 維持期の管理について. TERUMO PD Nurse Seminar I ; 20220521; Web.

齋藤浩孝. 脈拍数と CKD 発症に関する検討ー福島 CKD コホート研究ー. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610; 神戸.

田中健一. 血小板分布幅と慢性腎臓病患者の予後に関する検討ー福島 CKD コホート研究ー. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220611; 神戸.

藤原もも子. 糖尿病性腎臓病患者における低栄養と腎予後の関連. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220612; 神戸.

風間順一郎. これからの慢性腎病診療対策～電解質管理も含めて～. ふくしま　これからの CKD 診療; 20220621; Web.

田中健一. CKD 診療の課題と今後ーダパグリフロジンへの期待ー. 山梨糖尿病先端医療研究会　学術集会; 20220622; 甲府/Web.

田中健一. CKD 診療における高尿酸血症治療の意義～福島コホート研究より～. 県北エリア　高尿酸血症 WEB チャンネル; 20220628; Web.

江尻博紀, **吉田直人**, **中村和貴**, **阪野太郎**, **坂東優太**, **小内友紀子**, **新村浩明**, **尾崎章彦**, **坪倉正治**, **風間順一郎**. 常磐病院の経皮的血管拡張術とシャント開存率についての検討. 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220701; 横浜.

佐藤敦也, **風間咲美**, **田中健一**, **風間順一郎**. 第 5 波のピーク時の福島県内の透析施設における COVID-19 感染状況. 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220702; 横浜.

秦慧, **佐藤敦也**, **髙野栄亮**, **渡辺秀平**, **小田朗**, **田中健一**, **風間順一郎**. 慢性感染を伴う巨大石灰化腫瘤を保存的に治療している一例. 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220703; 横浜.

風間順一郎．これからの慢性腎病診療対策．生活習慣病重症化予防講演会; 20220705; 福島/Web.

渡辺秀平．頻回に再発し血管炎症候群との鑑別に苦慮したIgA腎症の一例．第32回東北腎ファーラム; 20220709; 仙台.

風間順一郎．慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える．米沢市医師会学術講演会; 20220720; Web.

風間順一郎．オルケちゃんがくるが考える　CKD-MBD+α．第50回宮崎県人工透析研究会　特別講演会; 20220723; 宮崎/Web.

風間順一郎. CKD-MBDじゃねーよ、Reno-Skeletal Syndromeだぜ．南勢CKD-MBDカンファランス2022; 20220727; Web.

風間順一郎. CKD治療におけるフォシーガの願い．第400回医科研究会; 20220806; Web.

江尻博紀，**吉田直人**，**中村和貴**，**坂東優太**，**小内友紀子**，**新村浩明**，**尾崎章彦**，**坪倉正治**，**風間順一郎**．ときわ会常磐病院における透析用内シャントの開存率についての検討．第48回東北腎不全研究会; 20220820; 山形.

風間順一郎，**風間咲美**，**田中健一**，**浅井淳**，**佐藤啓二**，**谷良宏**，**鈴木穂孝**．喫煙習慣は維持透析患者の予後と密接な関連を示す．第48回東北腎不全研究会; 20220821; 山形.

風間順一郎．副甲状腺機能亢進症治療の新しい視点と考え方．第12回副甲状腺機能亢進症に対するPTx研究会学術集会; 20220902; 北九州/Web.

田中健一. CKD診療の課題と今後～早期診断の意義～. CKD連携と腎性貧血を考える会; 20220906; 福島/Web.

風間順一郎. CKDの診療が、わかっちゃう♥．石川臨床懇話会; 20220915; Web.

田中健一．腎臓病診療における血清カリウム是正の意義～ロケルマの可能性～. LOKELMA WEB CONFERENCE; 20220916; Web.

中田敬，**渡辺秀平**，**守屋伶香フローラ**，**佐藤敦也**，**髙野栄亮**，**岩崎剛史**，**小田朗**，**田中健一**，**東淳子**，**風間順一郎**．左腰動脈出血を来した全身性エリテマトーデス、ループス腎炎の一例．第52回日本腎臓学会東部学術大会; 20221022; 東京.

守屋伶香フローラ，**岩崎剛史**，**中田敬**，**佐藤敦也**，**髙野栄亮**，**渡辺秀平**，**田中健一**，**東淳子**，**風間順一郎**，**渡邊凱**，**秦慧**，**齋藤浩孝**，**木村浩**. AKI,TMAを発症し，皮膚症状を欠いた強皮症腎クリーゼが疑われた一例．第52回日本腎臓学会東部学術大会; 20221023; 東京.

風間順一郎．遠隔医療による維持透析診療サポートプロジェクト・福島モデルー現状と展望ー．第26回日本遠隔医療学会学術大会; 20221029; さいたま.

風間順一郎. CKDの診療が新しい時代を迎える．会津医学会学術講演会～これからのCKD診療を考える～; 20221108; 会津若松.

田中健一. CKD 診療の現状と課題～ダパグリフロジンへの期待～. 酒田 CKDSymposium; 20221110; Web.

風間順一郎. オルケちゃんと考える震災医療と CKD-MBD. 第 56 回茨城人工透析懇話会; 20221113; つくば.

風間順一郎. 慢性腎臓病の治療が新しい時代を迎える. 地域で感がる慢性腎臓病治療 Seminar; 20221114; Web.

風間順一郎. 骨粗鬆症をガチで考えてみる. 第 4 回中越骨粗鬆症地域連携セミナー; 20221115; Web.

田中健一. CKD 診療の課題とダパグリフロジンの可能性. 糖尿病療養指導スタッフ研究会～相馬支部～; 20221119; Web.

風間順一郎. オルケちゃんが考える CKD-MBD＋α. 第 43 回伊豆半島透析施設連絡協議会学術集会; 20221203; 伊豆の国.

風間順一郎. 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. AOMORI 透析アミロイド症 WEB セミナー; 20221206; Web.

田中健一. 糖尿病性腎臓病の病態と治療. 福島県糖尿病性腎臓病 Web セミナー～カードシステム mini レクチャー～; 20221214; Web.

田中健一. 福島 CKD コホート研究における CKD 治療の課題～高カリウム血症の話題を含めて～. 下北慢性腎臓病研究会 2022; 20221222; Web.

〔シンポジウム〕

風間順一郎. 腎臓内科・透析医の立場から. 第 42 回骨形態計測学会; 20220701; 米子.

渡辺秀平, **大関光恵**. 当院での腹膜透析の導入期管理について. 第 48 回東北腎不全研究会; 20220821; 山形.

〔特別講演〕

風間順一郎. 透析を遠隔でやってみよう！ 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220702; 横浜.

〔その他〕

風間順一郎. 過疎地域の透析患者のための小さな遠隔サポート透析施設. 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220701; 横浜.

風間順一郎. 透析患者の骨病変の歴史的変遷と変わってきた尿毒症骨の概念. 第 42 回骨形態計測学会; 20220701; 米子.

糖尿病内分泌代謝内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Fujita Y, Morimoto T, Tokushige A, Ikeda M, Shimabukuro Michio, Node K, Ueda S. Women with type 2 diabetes and coronary artery disease have a higher risk of heart failure than men, with a significant gender interaction between heart failure risk and risk factor management: a retrospective registry study. BMJ Open Diabetes Research & Care. 202204; 10(2):e002707.

Takagi H, Matsumura Y, Fukuhara M, Inomata S, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Saito Haruka, Tanabe Hayato, Shimabukuro Michio, Suzuki H. Ectopic adrenocorticotropic hormone-secreting carcinoid with solitary cryptococcosis in the lungs. Cancer Reports. 202211; 5(11):e1731.

Tanaka A, Imai T, Shimabukuro Michio, Taguchi I, Sezai A, Toyoda S, Watada H, Ako J, Node K; CANDLE trial investigators. Association between serum insulin levels and heart failure-related parameters in patients with type 2 diabetes and heart failure treated with canagliflozin: a post-hoc analysis of the randomized CANDLE trial. Cardiovascular Diabetology. 202208; 21(1):151.

Yamaguchi Satoshi, Shimabukuro Michio. Acute Myocardial Infarction During the Last Part of a Triathlon: A Case Report. Cureus. 202212; 14(12):e32768.

Teragawa H, Morimoto T, Fujii Y, Ueda T, Sakuma M, Shimabukuro Michio, Arasaki O, Node K, Nomiyama T, Ueda S. Effect of Anagliptin versus Sitagliptin on Renal Function: Subanalyzes from the REASON Trial. Diabetes, Metabolic Syndrome and Obesity. 202203; 15:685-694.

Hirai Hiroyuki, Okamoto S, Masuzaki H, Murata T, Ogata Y, Sato A, Horiuchi S, Shinohara R, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Yamagata Z, Shimabukuro Michio; JECS Group. Maternal Urinary Cotinine Concentrations During Pregnancy Predict Infant BMI Trajectory After Birth: Analysis of 89617 Mother-Infant Pairs in the Japan Environment and Children's Study. Frontiers in Endocrinology. 202204; 13:850784.

Hirai Hiroyuki, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro Michio. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Soejima H, Ogawa H, Morimoto T, Okada S, Matsumoto C, Nakayama M, Masuda I, Jinnouchi H, Waki M, Saito Y; JPAD Trial Investigators. Kidney function deterioration is dependent on blood pressure levels: 11.2

year follow-up in diabetic patients. Heart and Vessels. 202211; 37(11):1873-1881.

Kusunose K, Yoshida H, Tanaka A, Teragawa H, Akasaki Y, Fukumoto Y, Eguchi K, Kamiya H, Kario K, Yamada H, Sata M, Node K; PRIZE Study Investigators. Effect of febuxostat on left ventricular diastolic function in patients with asymptomatic hyperuricemia: a sub analysis of the PRIZE Study. Hypertension Research. 202201; 45(1):106-115.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro Michio, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Oda A, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association between Serum Inorganic Phosphorus Levels and Adverse Outcomes in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort Study. Internal Medicine. 202206; 61(11):1653-1662.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro Michio, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Sun Z, Imano H, Eguchi E, Hayashi F, Ohira T, Cui R, Yasumura S, Sakai A, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K, Iso H. The Associations between Evacuation Status and Lifestyle-Related Diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(9):5661.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro Michio, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro Michio, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro Michio, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Furuhashi M, Sakuma I, Morimoto T, Higashiura Y, Sakai A, Matsumoto M, Sakuma M, Shimabukuro

Michio, Nomiyama T, Arasaki O, Node K, Ueda S. Differential Effects of DPP-4 Inhibitors, Anagliptin and Sitagliptin, on PCSK9 Levels in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus who are Receiving Statin Therapy. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202201; 29(1):24-37.

Shimabukuro Michio. Serotonin and Atheroscelotic Cardiovascular Disease. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202203; 29(3):315-316.

Shimabukuro Michio. IGF-1 and Cardiovascular and Non-Cardiovascular Mortality Risk in Patients with Chronic Kidney Disease: A Model of "Malnutrition-Inflammation-Atherosclerosis Syndrome". Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202208; 29(8):1138-1139.

Matsumura Y, Fukuhara M, Tanabe Hayato, Yamaguchi H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. Thoracoscopic resection of posterior mediastinal paraganglioma: perioperative management and surgical tips. Journal of Cardiothoracic Surgery. 202206; 17(1):143.

Tanabe Hayato, Hirai Hiroyuki, Saito Haruka, Tanaka K, Masuzaki H, Kazama JJ, Shimabukuro Michio. Detecting Sarcopenia Risk by Diabetes Clustering: A Japanese Prospective Cohort Study. Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 202209; 107(10):2729-2736.

Tanaka A, Imai T, Shimabukuro Michio, Nakamura I, Matsunaga K, Ozaki Y, Minamino T, Sata M, Node K; CANDLE trial investigators. Effect of canagliflozin on white blood cell counts in patients with type 2 diabetes and heart failure: A subanalysis of the randomized CANDLE trial. Journal of Diabetes Investigation. 202212; 13(12):1990-1999.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro Michio, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro Michio, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro Michio, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S84-S92.

Temmoku J, Asano T, Saito K, Matsumoto H, Fujita Y, Furuya-Yashiro M, Matsuoka N, Oda A, Tanabe Hayato, Sato S, Shio-Yano K, Sasajima T, Kiko Y, Kobayashi H, Watanabe H, Shimabukuro Michio, Migita K. Effect of a multitarget therapy with prednisolone, mycophenolate mofetil, and tacrolimus in a patient with type B insulin resistance syndrome complicated by lupus nephritis. Modern Rheumatology Case Reports.

202201; 6(1):41-46.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro Michio. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Akamine Y, Millman JF, Uema T, Okamoto S, Yonamine M, Uehara M, Kozuka C, Kaname T, Shimabukuro Michio, Kinjo K, Mitsuta M, Watanabe H, Masuzaki H. Fermented brown rice beverage distinctively modulates the gut microbiota in Okinawans with metabolic syndrome: A randomized controlled trial. Nutrition Research. 202207; 103:68-81.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Salim HM, Kurnia LF, Bintarti TW, Handayani H, Shimabukuro Michio. Hepatoprotective Effects of Methanol Extract of Syzygium polyanthum L. Leaves (Salam) on High Fat Diet. Tropical Journal of Natural Product Research. 202201; 5(12):2092-2095.

益崎裕章, Millman JF, **上間次己**, **根本雄飛**, **岡本士毅**. 体質医学からみたこれからの先制医療　腸脳連関と生活習慣病. 日本体質医学会雑誌. 202206; 84(2):97-105.

過年業績

Sasaki A, Yokote K, Naitoh T, Fujikura J, Hayashi K, Hirota Y, Inagaki N, Ishigaki Y, Kasama K, Kikkawa E, Koyama H, Masuzaki H, Miyatsuka T, Nozaki T, Ogawa W, Ohta M, Okazumi S, Shimabukuro Michio, Shimomura I, Nishizawa H, Saiki A, Seki Y, Shojima N, Tsujino M, Ugi S, Watada H, Yamauchi T, Yamaguchi T, Ueki K, Kadowaki T, Tatsuno I, Joint Committee in the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, the Japan Society for the Study of Obesity. Correction to: Metabolic surgery in treatment of obese Japanese patients with type 2 diabetes: a joint consensus statement from the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, and the Japan Society for the Study of Obesity. Diabetology International. 202111; 13(1):31-32.

Tateishi R, Matsumura T, Okanoue T, Shima T, Uchino K, Fujiwara N, Senokuchi T, Kon K, Sasako T, Taniai M, Kawaguchi T, Inoue H, Watada H, Kubota N, Shimano H, Kaneko S, Hashimoto E, Watanabe S, Shiota G, Ueki K, Kashiwabara K, Matsuyama Y, Tanaka H, Kasuga M, Araki E, Koike K; LUCID study investigators. Hepatocellular carcinoma development in diabetic patients: a nationwide survey in Japan.

Journal of Gastroenterology. 202103; 56(3):261-273.

〔総説等〕

島袋充生．【脂肪細胞・アディポサイトカインと糖尿病】脂肪細胞を含む多臓器ネットワークと糖尿病　膵β細胞における脂肪酸シグナルと糖尿病．月刊糖尿病. 202201; 14(1):82-87.

島袋充生．糖尿病で合併しやすい心臓や血管の病気．さかえ：月刊糖尿病ライフ. 202205; 62(5):5-10.

山口怜，島袋充生．【糖尿病合併症の管理と患者サポート】重症化を防ぐ！慢性合併症の治療とモニタリング　動脈硬化性疾患（心筋梗塞，脳血管障害，末梢動脈疾患）．調剤と情報. 202212; 28(16):2767-2772.

島袋充生．糖尿病患者における循環器疾患診療　糖尿病診療における冠動脈疾患の診かた up-to-date．糖尿病合併症. 202206; 36(1):84-87.

島袋充生．【クリニカルラダーに即して学べる！糖尿病のキホンと患者指導のコツをギュッと凝縮［保存版］糖尿病の病態生理と看護ケア】イラストでみる！糖尿病患者の体のしくみ　糖尿病と心血管の関係（糖尿病性大血管症）．糖尿病ケア＋. 202201; 19(1):47-51.

齋藤悠，島袋充生. FIB4 index と糖尿病性腎臓病．糖尿病・内分泌代謝科. 202205; 54(5):594-600.

〔その他〕

佐々木章，内藤剛，横手幸太郎，稲垣暢也，益崎裕章，綿田裕孝，小川渉，下村伊一郎，山内敏正，石垣泰，笠間和典，野崎剛弘，島袋充生，藤倉純二，宮塚健，庄嶋伸浩，西澤均，廣田勇士，卯木智，太田正之，岡住慎一，吉川絵梨，小山英則，齋木厚人，関洋介，辻野元祥，林果林，山口崇，龍野一郎，植木浩二郎，門脇孝，日本人の肥満２型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術の適応基準に関する３学会合同委員会，日本肥満症治療学会，日本糖尿病学会，日本肥満学会．日本人の肥満２型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント．糖尿病. 202203; 65(3):109-177.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋充生，高橋敦史，風間順一郎，岡崎可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区域住民の健康に及ぼす影響　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web. Journal of Epidemiology. 32(Suppl.1):96.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎可奈子，島袋充生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域等住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web. Journal of Epidemiology. 32(Suppl.1):159.

田辺隼人. 糖尿病診療における最新の話題. 県北肝・代謝疾患研究会; 20220215; 福島.

齋藤悠, Maimaituxn Gulinu, **田辺隼人**, **平井裕之**, **山口怜**, **比嘉盛丈**, **田中健一**, **旭浩一**, **風間順一郎**, **島袋充生**. 糖尿病性腎症 5 期で自然妊娠し周産期管理に難渋した 1 例. 第 119 回日本内科学会総会・講演会; 20220416-17; 京都/Web. 日本内科学会雑誌. 111(Suppl):199.

堀田悠貴, **平井裕之**, **猪狩翔吾**, **佐藤恵**, **佐藤雅紘**, **滝口善規**, **山口瑞希**, **齋藤悠**, **渡邊桐子**, **岩崎麻里子**, **田辺隼人**, **島袋充生**. 2 型糖尿病患者において年齢はセルフスティグマの独立した予測因子である　福島 DEM コホート研究. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-166.

城間かおり, **田辺隼人**, **猪狩翔吾**, **佐藤恵**, **佐藤雅紘**, **根本雄飛**, **山口瑞希**, **滝口善規**, **堀田悠貴**, **渡邊桐子**, **齋藤悠**, **岩崎麻里子**, **島袋充生**. 栄養評価ツール GNRI は 2 型糖尿病患者においてサルコペニアおよびサルコペニア指標の予測因子である　福島 DEM コホート研究. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-172.

滝口善規, **佐藤雅紘**, **根本雄飛**, **山口瑞希**, **堀田悠貴**, **渡邊桐子**, **齋藤悠**, **岩崎麻里子**, **田辺隼人**, **待井典剛**, **島袋充生**. 2 型糖尿病における軽度認知障害（MCI）の予測因子の検討　福島 DEM コホート研究. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-200.

平井裕之, **岡崎可奈子**, **大平哲也**, **前田正治**, **坂井晃**, **中野裕紀**, **林史和**, **長尾匡則**, **針金まゆみ**, **高橋敦史**, **大平弘正**, **風間順一郎**, **細矢光亮**, **矢部博興**, **鈴木友理子**, **安村誠司**, **大戸斉**, **神谷研二**, **島袋充生**. 東日本大震災後の血糖コントロールは心理的負担と相関する　福島県県民健康調査. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-232.

齋藤悠, **猪狩翔吾**, **佐藤恵**, **佐藤雅紘**, **根本雄飛**, **山口瑞希**, **滝口善規**, **渡邊桐子**, **堀田悠貴**, **田辺隼人**, **岩崎麻里子**, **平井裕之**, **山口怜**, **比嘉盛丈**, **益崎裕章**, **田中健一**, **旭浩一**, **風間順一郎**, **島袋充生**. 若年発症 2 型糖尿病の蛋白尿の出現には HbA1c が時間依存的に関与する. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-269.

山口瑞希, **田辺隼人**, **猪狩翔吾**, **佐藤恵**, **佐藤雅紘**, **滝口善規**, **堀田悠貴**, **渡邊桐子**, **齋藤悠**, **岩崎麻里子**, **島袋充生**. 2 型糖尿病における食事性炎症指数（DII）の意義　福島 DEM コホート研究. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-274.

田辺隼人, **齋藤悠**, **猪狩翔吾**, **佐藤恵**, **佐藤雅紘**, **滝口善規**, **山口瑞希**, **堀田悠貴**, **渡邊桐子**, **岩崎麻里子**, **島袋充生**. データ駆動型クラスター分析に基づいた成人発症糖尿病の新しい分類はサルコペニアのリスクを予測する　福島 DEM コホート研究. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1): S-282.

比嘉盛丈, **渡邊桐子**, **澤紙亜希子**, **長谷川吉正**, **佐田政隆**, **益崎裕章**, **島袋充生**. 沖縄県、長野県、徳島県の非糖尿病患者におけるインスリン AUC と腹部肥満との連関. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-290.

鴻野央征, **関川尚大**, **和田良太**, **渡辺裕子**, **田村明**, **太田節**, **山崎俊朗**, **鈴木進**, **島袋充生**, **杉本一博**. 2011

～2020 年の当院における死亡患者の解析. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-306.

島袋充生. クラスター分類からみた糖尿病の合併症・依存症の診かた　イブニングセミナー. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web.

佐藤雅紘. 高血圧患者に対する降圧薬の使い分け. FRAM（Fukushima Resident Assembly for Medicine）; 20220520; 福島/Web.

比嘉盛丈, **渡邊桐子**, **澤紙亜希子**, **長谷川吉正**, **佐田政隆**, **益崎裕章**, **島袋充生**. 沖縄県、長野県、徳島県の非糖尿病者におけるインスリン AUC と腹部肥満との連関. 第 95 回日本内分泌学会学術総会; 20220602-04; 別府/Web. 日本内分泌学会雑誌. 98(1):373.

澤紙亜希子, **當眞武**, **盛島菜美**, **座覇明子**, **眞境名豊文**, **島袋充生**, **益崎裕章**, **比嘉盛丈**. 50 代で診断された下垂体茎断裂による汎下垂体機能低下症の一例. 第 95 回日本内分泌学会学術総会; 20220602-04; 別府/Web. 日本内分泌学会雑誌. 98(1):338.

齋藤浩孝, **田中健一**, **岩崎剛史**, **小田朗**, **渡辺秀平**, **木村浩**, **風間咲美**, **島袋充生**, **旭浩一**, **渡辺毅**, **風間順一郎**. 脈拍数と CKD 発症に関する検討　福島 CKD コホート研究. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610-12; 神戸/Web. 日本腎臓学会誌. 64(3):223.

田中健一, **木村浩**, **齋藤浩孝**, **岩崎剛史**, **小田朗**, **渡辺秀平**, **風間咲美**, **島袋充生**, **旭浩一**, **渡辺毅**, **風間順一郎**. 血小板分布幅と慢性腎臓病患者の予後に関する検討　福島 CKD コホート研究. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610-12; 神戸/Web. 日本腎臓学会誌. 64(3):274.

木村浩, **田中健一**, **齋藤浩孝**, **岩崎剛史**, **小田朗**, **渡辺秀平**, **風間咲美**, **島袋充生**, **旭浩一**, **渡辺毅**, **風間順一郎**. Polypharmacy が CKD 発症に及ぼす影響に関する検討. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610-12; 神戸/Web. 日本腎臓学会誌. 64(3):277.

藤原もも子, **田中健一**, **木村浩**, **斎藤浩孝**, **岩崎剛史**, **小田朗**, **渡辺秀平**, **風間咲美**, **島袋充生**, **旭浩一**, **渡辺毅**, **風間順一郎**. 糖尿病性腎臓病患者における低栄養と腎予後の関連. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610-12; 神戸/Web. 日本腎臓学会誌. 64(3):302.

齋藤悠, **Maimaituxun Gulinu**, **猪狩翔吾**, **佐藤雅紘**, **根本雄飛**, **山口瑞希**, **滝口善規**, **渡邊桐子**, **堀田悠貴**, **田辺隼人**, **鴻野央征**, **岩崎麻里子**, **平井裕之**, **山口怜**, **比嘉盛丈**, **田中健一**, **旭浩一**, **風間順一郎**, **島袋充生**. 時間依存性 HbA1c は若年発症 2 型糖尿病における新規の蛋白尿と関連する. 第 95 回日本内分泌学会学術総会; 20220602-04; 別府/Web. 日本内分泌学会雑誌. 98(1):364.

田辺隼人. FreeStyle リブレの使用経験と今後の展望. 第 23 回県中・県南地区糖尿病療養指導看護を考える会; 20220611; Web(白河).

田辺隼人. isCGM の使用経験と今後の展望. 第 23 回県中・県南地区糖尿病療養指導看護を考える会; 20220611; Web(白河).

林史和，大平哲也，中野裕紀，島袋充生，坂井晃，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の食品摂取多様性と高中性脂肪血症の発生との関連　福島県県民健康調査．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220611-12; Web．日本循環器病予防学会誌．57(2):140.

堀田悠貴．2 型糖尿病において年齢はセルフスティグマの独立した予測因子である．第 7 回県北糖尿病合併症を学ぶ会; 20220713; 福島.

Maimaituxun Gulinu，**福田大受，八木秀介，佐田正隆，島袋充生**．左前下行枝周囲の心外膜脂肪組織の局所的な厚さは冠動脈疾患のシンプルな予測因子である．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723-24; 久留米/Web．プログラム・抄録集. 212.

島袋充生，渡邊桐子，齋藤悠，田辺隼人，多田隼人．原発性脂質異常症および類縁疾患の遺伝子変異と臨床像　福島県立医科大学 38 連続例の検討．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723-24; 久留米/Web．プログラム・抄録集. 234.

山口怜，名渡山野花南，屋宜宣守，金城一志，上地襄，石盛博，島袋充生．透析患者における石灰化結節病変と非石灰化結節病変の血小板数および脂質プロファイルの比較．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723-24; 久留米/Web．プログラム・抄録集. 259.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールと精神的健康障害との関係　福島県県民健康調査．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723-24; 久留米/Web.

田辺隼人．最適な糖尿病治療選択～クラスター分類の活用～. Life with Diabetesー糖尿病治療の Next GeneratioNー; 20220823; Web.

長尾匡則，小針英理，田中健一，林史和，大平哲也，安村誠司，島袋充生，前田正治，坂井晃，矢部博興，細矢光亮，高橋敦史，大戸斉，神谷研二，風間順一郎．東日本大震災後の高血圧新規発症に対するリスク要因の検討　福島県「県民健康調査」．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府．抄録集. 200.

岡崎可奈子，長尾匡則，島袋充生，大平哲也，中野裕紀，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後のやせの新規発生と生活習慣・精神的健康との関連　福島県県民健康調査．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府．抄録集. 314.

田中健一，齋藤浩孝，木村浩，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎．高血圧患者における腎予後と栄養状態の関連．第 44 回日本高血圧学会総会; 20221014-16; 京都．プログラム・抄録集. 68.

田辺隼人．クラスター分類から考える糖尿病治療戦略と SGLT2 阻害薬の適応. Kowa Web Conference; 20221019; 福島/Web.

鴻野央征．腎臓周囲脂肪の非糖尿病性または糖尿病性腎症におよぼす影響．福島肥満治療カンファレンス; 20221116; 福島.

田辺隼人．福島 CGM 研究から見えてきた糖尿病診療の現状と課題ーリアルタイム CGM への期待と使用経験ー.

先端治療デバイス リアルタイム CGM セミナー; 20221130; 福島.

島袋充生. クラスター分類から考える糖尿病治療戦略ー肥満 2 型糖尿病と心腎合併症ー　イブニングセミナー. 第 43 回日本肥満学会・第 40 回日本肥満症治療学会学術集会; 20221202; 那覇/Web.

田辺隼人, **平井裕之**, **齋藤悠**, **田中健一**, **益崎裕章**, **風間順一郎**, **島袋充生**. 糖尿病クラスター分類によるサルコペニアリスクの検出：前向きコホート研究. 第 43 回日本肥満学会・第 40 回日本肥満症治療学会学術集会; 20221202-03; 那覇/Web.

齋藤悠. 若年発症 2 型糖尿病と糖尿病性腎臓病の関連について. 第 8 回福島腎と代謝研究会; 20221210; 福島.

田辺隼人. 人工知能を活用した糖尿病再分類の試みー合併症抑制と病態に応じた精密医療へー. 岩手医科大学・福島県立医科大学 Diabetes Web Conference; 20221213; Web.

〔シンポジウム〕

島袋充生, **田辺隼人**, **齋藤悠**, **益崎裕章**. 【糖尿病患者における循環器疾患の予防と治療を考える】糖尿病クラスター分類から見た循環器疾患の診断と治療. 第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512-14; 神戸/Web. 糖尿病. 65(Suppl.1):S-39.

〔特別講演〕

島袋充生. 糖尿病診療における高血圧治療を考える　ARNI の位置づけ. 糖尿病×高血圧 WEB 講演会 in いわき; 20220323; いわき/Web.

島袋充生. 糖尿病と心不全　糖尿病治療薬の使い分け. 盛岡医師会幹事会講演会; 20220411; 盛岡/Web.

島袋充生. 糖尿病と心不全　新しいみかた、考え方. Diabetes Online Seminar; 20220426; 福島/Web.

島袋充生. 福島版評価シートから考える糖尿病診療　健診・保健指導とクリニックの連携. 福島の糖尿病重症化予防を考える会; 20220511; Web.

島袋充生. 勤労者のための高血圧治療 up to date～ARNI の位置づけを考える～. 相馬郡医師会産業医研修会; 20220517; 南相馬/Web.

島袋充生. 非循環器内科医のための心不全のみかた. 北部地域医療　糖尿病連携パス研修会; 20220606; Web.

島袋充生. 地域で取り組む糖尿病治療戦略～心腎糖尿病連関～. 糖尿病と心腎連関を考える会 in 相馬郡; 20220607; Web.

島袋充生. 糖尿病と高血圧治療 up to date～ARNI の位置づけを考える～. 糖尿病×高血圧講演会 in 白河; 20220614; 白河.

島袋充生. クラスター（群）で考える新しい糖尿病のみかた. Kowa Web カンファレンス　合併症予防を見据えた

脂質管理の重要性～糖尿病内科・循環器内科における中性脂肪管理の意義について～; 20220727; Web.

島袋充生. 日常診療における糖尿病診療の考え方～エビデンスとプラクティス～. Diabetes Online Conference; 20220905; 横浜/Web.

島袋充生. 糖尿病クラスター分類から考える新しい糖尿病治療の考え方. Kyoto Diabetes and CVD Conference; 20221005; 京都/Web.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. DKD Frontier Sminar－心・腎・代謝連関を踏まえた治療戦略－; 20221014; Web.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. DKD up to date－新たな治療選択－; 20221028; Web.

島袋充生. 日常診療における糖尿病診療の考え方～エビデンスとプラクティス～. 糖尿病 Online Conference; 20221108; 茨城/Web.

島袋充生. 家族性高コレステロール血症診療ガイドライン 2022 を読む～福島医大糖尿病内分泌代謝内科 44 例からの考察～. Web Seminar Focus on the FH 2022; 20221115; Web.

島袋充生. 日常診療における糖尿病診療の考え方～エビデンスとプラクティス～. Diabetes Online Conference; 20221118; 横浜/Web.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. WEB カンファレンス　糖尿病合併慢性腎臓病治療 up to date－心腎イベントリスク管理－; 20221129; Web.

島袋充生. 進化したリアルタイム CGM システムが血糖認識とセルフケア行動の変化をもたらす. 新しいリアルタイム CGM セミナー　血糖変動を意識した糖尿病治療を考える; 20221130; 福島.

島袋充生. 日常診療における糖尿病診療の考え方～エビデンスとプラクティス～. 糖尿病と循環器疾患を考える会; 20221207; 福島.

島袋充生. 糖尿病と慢性腎臓病 MR 拮抗薬のポジショニング. 北海道 WEB カンファレンス; 20221208; 札幌/Web.

島袋充生. 勤労者のための糖尿病治療　最近の考え方. 相双地区糖尿病学術講演会～産業医学研修会～; 20221209; 相馬.

脳神経内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Matsuda N, Kobayashi S, Hasegawa O, Yoshida K, Kubo H, Ugawa Y, Kanai K. Subclinical involvement of the trunk muscles in idiopathic inflammatory myopathies. Acta Radiologica Open. 202202; 11(2):20584601221075796.

Yoshida K, Matsuda N, Sato T, Watanabe T, Nakamura K, Saito K, Kanai K, Ugawa Y. Candida brain abscesses in a patient with anorexia nervosa receiving total parenteral nutrition. Clinical Neurology and Neurosurgery. 202201; 212:107058.

Akanuma H, Ueno S, Tanaka S, Matsuda N, Kanai K. Mollaret Meningitis Caused by Varicella-Zoster Virus: A Case Report. Cureus. 202211; 14(11):e31834.

Akanuma H, Iizuka T, Abe D, Yoshida K, Matsuda N, Sugimoto K, Hashimoto Y, Kanai K. Paraneoplastic anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis associated with small cell lung cancer and cytotoxic T-cell-mediated pathology: Case report. Frontiers in Immunology. 202208; 13:952868.

Kameyama S, Mizuguchi T, Doi H, Koyano S, Okubo M, Tada M, Shimizu H, Fukuda H, Tsuchida N, Uchiyama Y, Koshimizu E, Hamanaka K, Fujita A, Misawa K, Miyatake S, Kanai K, Tanaka F, Matsumoto N. Patients with biallelic GGC repeat expansions in NOTCH2NLC exhibiting a typical neuronal intranuclear inclusion disease phenotype. Genomics. 202209; 114(5):110469.

Oki R, Izumi Y, Fujita K, Miyamoto R, Nodera H, Sato Y, Sakaguchi S, Nokihara H, Kanai K, Tsunemi T, Hattori N, Hatanaka Y, Sonoo M, Atsuta N, Sobue G, Shimizu T, Shibuya K, Ikeda K, Kano O, Nishinaka K, Kojima Y, Oda M, Komai K, Kikuchi H, Kohara N, Urushitani M, Nakayama Y, Ito H, Nagai M, Nishiyama K, Kuzume D, Shimohama S, Shimohata T, Abe K, Ishihara T, Onodera O, Isose S, Araki N, Morita M, Noda K, Toda T, Maruyama H, Furuya H, Teramukai S, Kagimura T, Noma K, Yanagawa H, Kuwabara S, Kaji R; Japan Early-Stage Trial of Ultrahigh-Dose Methylcobalamin for ALS (JETALS) Collaborators. Efficacy and Safety of Ultrahigh-Dose Methylcobalamin in Early-Stage Amyotrophic Lateral Sclerosis: A Randomized Clinical Trial. JAMA Neurology. 202206; 79(6):575-583.

Taniguchi T, Ando M, Okamoto Y, Yoshimura A, Higuchi Y, Hashiguchi A, Matsuda N, Yamamoto M, Dohi E, Takahashi M, Yoshino M, Nomura T, Matsushima M, Yabe I, Sanpei Y, Ishiura H, Mitsui J, Nakagawa M, Tsuji S, Takashima H. Elderly patients with suspected Charcot-Marie-Tooth disease should be tested for the TTR gene for effective treatments. Journal of Human Genetics. 202206; 67(6):353-362.

Tohnai G, Nakamura R, Atsuta N, Nakatochi M, Hayashi N, Ito D, Watanabe H, Watanabe H, Katsuno M,

Izumi Y, Taniguchi A, Kanai K, Morita M, Kano O, Kuwabara S, Oda M, Abe K, Aoki M, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Ishihara T, Kawata A, Yokota T, Hasegawa K, Nagano I, Yabe I, Tanaka F, Kuru S, Hattori N, Nakashima K, Kaji R, Sobue G; Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis Research (JaCALS). Mutation screening of the DNAJC7 gene in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis. Neurobiology of Aging. 202205; 113:131-136.

Nakazato T, Kanai K, Kataura T, Nojiri S, Hattori N, Saiki S. Plasma taurine is an axonal excitability-translatable biomarker for amyotrophic lateral sclerosis. Scientific Reports. 202206; 12(1):9155.

井口正寛. 【脊椎・脊髄障害 update】脊椎・脊髄障害による特徴的な症状・神経徴候　Babinski 徴候と Babinski 徴候の変法. Clinical Neuroscience. 202211; 40(11):1360-1363.

時村瞭，**井口正寛**. 【脳梗塞】NIHSS　発症初期に重症度を的確に把握できる，国際的に標準化されたスケール. Hospitalist. 202212; 10(2):244-247.

服部香寿美，**松田希**，**吉澤茉莉**，**宇川義一**，**金井数明**. 瞳孔異常を伴わない動眼神経麻痺を呈した悪性リンパ腫の 2 例. 臨床神経学. 202207; 62(7):552-557.

赤沼春菜，**松田希**，**板垣裕也**，**吉田健二**，**金井数明**. false Taussig-Bing 奇形を持ち，脳梗塞を繰り返した成人女性の 1 例. 臨床神経学. 202212; 62(12):940-945.

呼吸器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Machida H, Inoue S, Igarashi A, Saitoh S, Yamauchi K, Nishiwaki M, Nemoto T, Otaki Y, Sato M, Sato K, Nakano H, Yang S, Furuyama K, Murano H, Ishibashi Y, Ota T, Nakayama T, Shibata Y, Watanabe M. Role of CC Chemokine Ligand 17 in Mouse Models of Chronic Obstructive Pulmonary Disease. American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology. 202204; 66(4):428-438.

Li K, Liu P, Zhang W, Liu X, Tanino Y, Koga Y, Yan X. Bioinformatic identification and analysis of immune-related chromatin regulatory genes as potential therapeutic targets in idiopathic pulmonary fibrosis. Annals of Translational Medicine. 202208; 10(16):896.

Lee H, Chubachi S, Namkoong H, Asakura T, Tanaka H, Otake S, Nakagawara K, Morita A, Fukushima T, Watase M, Kusumoto T, Masaki K, Kamata H, Ishii M, Hasegawa N, Harada N, Ueda T, Ueda S, Ishiguro T, Arimura K, Saito F, Yoshiyama T, Nakano Y, Mutoh Y, Suzuki Y, Murakami K, Okada Y, Koike R,

Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K; Japan COVID-19 Task Force. Characteristics of hospitalized patients with COVID-19 during the first to fifth waves of infection: a report from the Japan COVID-19 Task Force. BMC Infectious Diseases. 202212; 22(1):935.

Niimi A, Saito J, Kamei T, Shinkai M, Ishihara H, Machida M, Miyazaki S. Randomised trial of the P2X3 receptor antagonist sivopixant for refractory chronic cough. European Respiratory Journal. 202206; 59(6):2100725.

Gono T, Masui K, Sato S, Kuwana M. Mortality Risk Stratification Using Cluster Analysis in Patients With Myositis-Associated Interstitial Lung Disease Receiving Initial Triple-Combination Therapy. Frontiers in Medicine. 202205; 9:883699.

Shinoda M, Hataji O, Miura M, Kinoshita M, Mizoo A, Tobino K, Soutome T, Nishi T, Ishii T, Miller BE, Tal-Singer R, Tomlinson R, Matsuki T, Jones PW, Shibata Y. A Telemedicine Approach for Monitoring COPD: A Prospective Feasibility and Acceptability Cohort Study. International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease. 202211; 17:2931-2944.

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kanbe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with casirivimab-imdevimab among patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Delta variant pandemic. International Journal of Medical Sciences. 202205; 19(5):834-841.

Uematsu M, Saito J, Sato S, Fukuhara A, Suzuki Y, Rikimaru M, Onuma T, Tomita H, Watanabe N, Saito M, Morimoto J, Kawamata T, Umeda T, Togawa R, Sato Y, Koizumi T, Hirai K, Minemura H, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Munakata M, Shibata Y. Usefulness of diurnal variation of fractional exhaled nitric oxide for predicting early therapeutic response to asthma treatment. Journal of Asthma. 202210; 59(10):2039-2050.

Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Sato Y, Togawa R, Watanabe N, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Suzuki Y, Tsukada Y, Nakamura K, Kanemitsu K, Iseki K, Shibata Y. Clinical effect of early administration of tocilizumab following the initiation of corticosteroid therapy for patients with COVID-19. Journal of Infection and Chemotherapy. 202212; 28(12):1639-1644.

Namkoong H, Edahiro R, Takano T, Nishihara H, Shirai Y, Sonehara K, Tanaka H, Azekawa S, Mikami Y, Lee H, Hasegawa T, Okudela K, Okuzaki D, Motooka D, Kanai M, Naito T, Yamamoto K, Wang QS, Saiki R, Ishihara R, Matsubara Y, Hamamoto J, Hayashi H, Yoshimura Y, Tachikawa N, Yanagita E, Hyugaji T, Shimizu E, Katayama K, Kato Y, Morita T, Takahashi K, Harada N, Naito T, Hiki M, Matsushita Y, Takagi H, Aoki R, Nakamura A, Harada S, Sasano H, Kabata H, Masaki K, Kamata H, Ikemura S, Chubachi S, Okamori S, Terai H, Morita A, Asakura T, Sasaki J, Morisaki H, Uwamino Y, Nanki K, Uchida S, Uno S, Nishimura T, Ishiguro T, Isono T, Shibata S, Matsui Y, Hosoda C, Takano K, Nishida T, Kobayashi Y,

Takaku Y, Takayanagi N, Ueda S, Tada A, Miyawaki M, Yamamoto M, Yoshida E, Hayashi R, Nagasaka T, Arai S, Kaneko Y, Sasaki K, Tagaya E, Kawana M, Arimura K, Takahashi K, Anzai T, Ito S, Endo A, Uchimura Y, Miyazaki Y, Honda T, Tateishi T, Tohda S, Ichimura N, Sonobe K, Sassa CT, Nakajima J, Nakano Y, Nakajima Y, Anan R, Arai R, Kurihara Y, Harada Y, Nishio K, Ueda T, Azuma M, Saito R, Sado T, Miyazaki Y, Sato R, Haruta Y, Nagasaki T, Yasui Y, Hasegawa Y, Mutoh Y, Kimura T, Sato T, Takei R, Hagimoto S, Noguchi Y, Yamano Y, Sasano H, Ota S, Nakamori Y, Yoshiya K, Saito F, Yoshihara T, Wada D, Iwamura H, Kanayama S, Maruyama S, Yoshiyama T, Ohta K, Kokuto H, Ogata H, Tanaka Y, Arakawa K, Shimoda M, Osawa T, Tateno H, Hase I, Yoshida S, Suzuki S, Kawada M, Horinouchi H, Saito F, Mitamura K, Hagihara M, Ochi J, Uchida T, Baba R, Arai D, Ogura T, Takahashi H, Hagiwara S, Nagao G, Konishi S, Nakachi I, Murakami K, Yamada M, Sugiura H, Sano H, Matsumoto S, Kimura N, Ono Y, Baba H, Suzuki Y, Nakayama S, Masuzawa K, Namba S, Suzuki K, Naito Y, Liu YC, Takuwa A, Sugihara F, Wing JB, Sakakibara S, Hizawa N, Shiroyama T, Miyawaki S, Kawamura Y, Nakayama A, Matsuo H, Maeda Y, Nii T, Noda Y, Niitsu T, Adachi Y, Enomoto T, Amiya S, Hara R, Yamaguchi Y, Murakami T, Kuge T, Matsumoto K, Yamamoto Y, Yamamoto M, Yoneda M, Kishikawa T, Yamada S, Kawabata S, Kijima N, Takagaki M, Sasa N, Ueno Y, Suzuki M, Takemoto N, Eguchi H, Fukusumi T, Imai T, Fukushima M, Kishima H, Inohara H, Tomono K, Kato K, Takahashi M, Matsuda F, Hirata H, Takeda Y, Koh H, Manabe T, Funatsu Y, Ito F, Fukui T, Shinozuka K, Kohashi S, Miyazaki M, Shoko T, Kojima M, Adachi T, Ishikawa M, Takahashi K, Inoue T, Hirano T, Kobayashi K, Takaoka H, Watanabe K, Miyazawa N, Kimura Y, Sado R, Sugimoto H, Kamiya A, Kuwahara N, Fujiwara A, Matsunaga T, Sato Y, Okada T, Hirai Y, Kawashima H, Narita A, Niwa K, Sekikawa Y, Nishi K, Nishitsuji M, Tani M, Suzuki J, Nakatsumi H, Ogura T, Kitamura H, Hagiwara E, Murohashi K, Okabayashi H, Mochimaru T, Nukaga S, Satomi R, Oyamada Y, Mori N, Baba T, Fukui Y, Odate M, Mashimo S, Makino Y, Yagi K, Hashiguchi M, Kagyo J, Shiomi T, Fuke S, Saito H, Tsuchida T, Fujitani S, Takita M, Morikawa D, Yoshida T, Izumo T, Inomata M, Kuse N, Awano N, Tone M, Ito A, Nakamura Y, Hoshino K, Maruyama J, Ishikura H, Takata T, Odani T, Amishima M, Hattori T, Shichinohe Y, Kagaya T, Kita T, Ohta K, Sakagami S, Koshida K, Hayashi K, Shimizu T, Kozu Y, Hiranuma H, Gon Y, Izumi N, Nagata K, Ueda K, Taki R, Hanada S, Kawamura K, Ichikado K, Nishiyama K, Muranaka H, Nakamura K, Hashimoto N, Wakahara K, Sakamoto K, Omote N, Ando A, Kodama N, Kaneyama Y, Maeda S, Kuraki T, Matsumoto T, Yokote K, Nakada TA, Abe R, Oshima T, Shimada T, Harada M, Takahashi T, Ono H, Sakurai T, Shibusawa T, Kimizuka Y, Kawana A, Sano T, Watanabe C, Suematsu R, Sageshima H, Yoshifuji A, Ito K, Takahashi S, Ishioka K, Nakamura M, Masuda M, Wakabayashi A, Watanabe H, Ueda S, Nishikawa M, Chihara Y, Takeuchi M, Onoi K, Shinozuka J, Sueyoshi A, Nagasaki Y, Okamoto M, Ishihara S, Shimo M, Tokunaga Y, Kusaka Y, Ohba T, Isogai S, Ogawa A, Inoue T, Fukuyama S, Eriguchi Y, Yonekawa A, Kan-O K, Matsumoto K, Kanaoka K, Ihara S, Komuta K, Inoue Y, Chiba S, Yamagata K, Hiramatsu Y, Kai H, Asano K, Oguma T, Ito Y, Hashimoto S, Yamasaki M, Kasamatsu Y, Komase Y, Hida N, Tsuburai T, Oyama B, Takada M, Kanda H, Kitagawa Y, Fukuta T, Miyake T, Yoshida S, Ogura S, Abe S, Kono Y, Togashi Y, Takoi H, Kikuchi R, Ogawa S, Ogata T, Ishihara S, Kanehiro A, Ozaki S, Fuchimoto Y, Wada S, Fujimoto N, Nishiyama K, Terashima M, Beppu S, Yoshida K, Narumoto O, Nagai H, Ooshima N, Motegi M, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Endo M, Ohira Y, Watanabe M, Inoue S, Igarashi A, Sato M, Sagara H, Tanaka A, Ohta S, Kimura T, Shibata Y, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Sato Y, Yamada Y, Hashino T, Shinoki M, Iwagoe H, Takahashi H, Fujii K, Kishi H, Kanai M, Imamura T, Yamashita T, Yatomi M, Maeno T, Hayashi S, Takahashi M, Kuramochi M, Kamimaki I, Tominaga Y, Ishii T, Utsugi M, Ono A, Tanaka T, Kashiwada T, Fujita K, Saito Y, Seike M, Watanabe H, Matsuse H, Kodaka N, Nakano C, Oshio T, Hirouchi T, Makino S, Egi M, Biobank Japan Project, Omae Y, Nannya Y, Ueno T, Katayama K, Ai M, Fukui Y, Kumanogoh A, Sato T, Hasegawa N,

Tokunaga K, Ishii M, Koike R, Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K, Okada Y. DOCK2 is involved in the host genetics and biology of severe COVID-19. Nature. 202209; 609(7928):754-760.

Wang QS, Edahiro R, Namkoong H, Hasegawa T, Shirai Y, Sonehara K, Tanaka H, Lee H, Saiki R, Hyugaji T, Shimizu E, Katayama K, Kanai M, Naito T, Sasa N, Yamamoto K, Kato Y, Morita T, Takahashi K, Harada N, Naito T, Hiki M, Matsushita Y, Takagi H, Ichikawa M, Nakamura A, Harada S, Sandhu Y, Kabata H, Masaki K, Kamata H, Ikemura S, Chubachi S, Okamori S, Terai H, Morita A, Asakura T, Sasaki J, Morisaki H, Uwamino Y, Nanki K, Uchida S, Uno S, Nishimura T, Ishiguro T, Isono T, Shibata S, Matsui Y, Hosoda C, Takano K, Nishida T, Kobayashi Y, Takaku Y, Takayanagi N, Ueda S, Tada A, Miyawaki M, Yamamoto M, Yoshida E, Hayashi R, Nagasaka T, Arai S, Kaneko Y, Sasaki K, Tagaya E, Kawana M, Arimura K, Takahashi K, Anzai T, Ito S, Endo A, Uchimura Y, Miyazaki Y, Honda T, Tateishi T, Tohda S, Ichimura N, Sonobe K, Sassa CT, Nakajima J, Nakano Y, Nakajima Y, Anan R, Arai R, Kurihara Y, Harada Y, Nishio K, Ueda T, Azuma M, Saito R, Sado T, Miyazaki Y, Sato R, Haruta Y, Nagasaki T, Yasui Y, Hasegawa Y, Mutoh Y, Kimura T, Sato T, Takei R, Hagimoto S, Noguchi Y, Yamano Y, Sasano H, Ota S, Nakamori Y, Yoshiya K, Saito F, Yoshihara T, Wada D, Iwamura H, Kanayama S, Maruyama S, Yoshiyama T, Ohta K, Kokuto H, Ogata H, Tanaka Y, Arakawa K, Shimoda M, Osawa T, Tateno H, Hase I, Yoshida S, Suzuki S, Kawada M, Horinouchi H, Saito F, Mitamura K, Hagihara M, Ochi J, Uchida T, Baba R, Arai D, Ogura T, Takahashi H, Hagiwara S, Nagao G, Konishi S, Nakachi I, Murakami K, Yamada M, Sugiura H, Sano H, Matsumoto S, Kimura N, Ono Y, Baba H, Suzuki Y, Nakayama S, Masuzawa K, Namba S, Shiroyama T, Noda Y, Niitsu T, Adachi Y, Enomoto T, Amiya S, Hara R, Yamaguchi Y, Murakami T, Kuge T, Matsumoto K, Yamamoto Y, Yamamoto M, Yoneda M, Tomono K, Kato K, Hirata H, Takeda Y, Koh H, Manabe T, Funatsu Y, Ito F, Fukui T, Shinozuka K, Kohashi S, Miyazaki M, Shoko T, Kojima M, Adachi T, Ishikawa M, Takahashi K, Inoue T, Hirano T, Kobayashi K, Takaoka H, Watanabe K, Miyazawa N, Kimura Y, Sado R, Sugimoto H, Kamiya A, Kuwahara N, Fujiwara A, Matsunaga T, Sato Y, Okada T, Hirai Y, Kawashima H, Narita A, Niwa K, Sekikawa Y, Nishi K, Nishitsuji M, Tani M, Suzuki J, Nakatsumi H, Ogura T, Kitamura H, Hagiwara E, Murohashi K, Okabayashi H, Mochimaru T, Nukaga S, Satomi R, Oyamada Y, Mori N, Baba T, Fukui Y, Odate M, Mashimo S, Makino Y, Yagi K, Hashiguchi M, Kagyo J, Shiomi T, Fuke S, Saito H, Tsuchida T, Fujitani S, Takita M, Morikawa D, Yoshida T, Izumo T, Inomata M, Kuse N, Awano N, Tone M, Ito A, Nakamura Y, Hoshino K, Maruyama J, Ishikura H, Takata T, Odani T, Amishima M, Hattori T, Shichinohe Y, Kagaya T, Kita T, Ohta K, Sakagami S, Koshida K, Hayashi K, Shimizu T, Kozu Y, Hiranuma H, Gon Y, Izumi N, Nagata K, Ueda K, Taki R, Hanada S, Kawamura K, Ichikado K, Nishiyama K, Muranaka H, Nakamura K, Hashimoto N, Wakahara K, Koji S, Omote N, Ando A, Kodama N, Kaneyama Y, Maeda S, Kuraki T, Matsumoto T, Yokote K, Nakada TA, Abe R, Oshima T, Shimada T, Harada M, Takahashi T, Ono H, Sakurai T, Shibusawa T, Kimizuka Y, Kawana A, Sano T, Watanabe C, Suematsu R, Sageshima H, Yoshifuji A, Ito K, Takahashi S, Ishioka K, Nakamura M, Masuda M, Wakabayashi A, Watanabe H, Ueda S, Nishikawa M, Chihara Y, Takeuchi M, Onoi K, Shinozuka J, Sueyoshi A, Nagasaki Y, Okamoto M, Ishihara S, Shimo M, Tokunaga Y, Kusaka Y, Ohba T, Isogai S, Ogawa A, Inoue T, Fukuyama S, Eriguchi Y, Yonekawa A, Kan-O K, Matsumoto K, Kanaoka K, Ihara S, Komuta K, Inoue Y, Chiba S, Yamagata K, Hiramatsu Y, Kai H, Asano K, Oguma T, Ito Y, Hashimoto S, Yamasaki M, Kasamatsu Y, Komase Y, Hida N, Tsuburai T, Oyama B, Takada M, Kanda H, Kitagawa Y, Fukuta T, Miyake T, Yoshida S, Ogura S, Abe S, Kono Y, Togashi Y, Takoi H, Kikuchi R, Ogawa S, Ogata T, Ishihara S, Kanehiro A, Ozaki S, Fuchimoto Y, Wada S, Fujimoto N, Nishiyama K, Terashima M, Beppu S, Yoshida K, Narumoto O, Nagai H, Ooshima N, Motegi M, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Endo M,

Ohira Y, Watanabe M, Inoue S, Igarashi A, Sato M, Sagara H, Tanaka A, Ohta S, Kimura T, Shibata Y, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Sato Y, Yamada Y, Hashino T, Shinoki M, Iwagoe H, Takahashi H, Fujii K, Kishi H, Kanai M, Imamura T, Yamashita T, Yatomi M, Maeno T, Hayashi S, Takahashi M, Kuramochi M, Kamimaki I, Tominaga Y, Ishii T, Utsugi M, Ono A, Tanaka T, Kashiwada T, Fujita K, Saito Y, Seike M, Watanabe H, Matsuse H, Kodaka N, Nakano C, Oshio T, Hirouchi T, Makino S, Egi M, Omae Y, Nannya Y, Ueno T, Takano T, Katayama K, Ai M, Kumanogoh A, Sato T, Hasegawa N, Tokunaga K, Ishii M, Koike R, Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K, Okada Y. The whole blood transcriptional regulation landscape in 465 COVID-19 infected samples from Japan COVID-19 Task Force. Nature Communications. 202208; 13(1):4830.

Suzuki Y, Sato S, Sato K, Inoue S, Shibata Y. Treatment efficacy of LAMA versus placebo for stable chronic obstructive pulmonary disease: A systematic review and meta-analysis. Respiratory Investigation. 202201; 60(1):108-118.

Kurogi A, Onozuka D, Hagihara A, Nishimura K, Kada A, Hasegawa M, Higashi T, Kitazono T, Ohta T, Sakai N, Arai H, Miyamoto S, Sakamoto T, Iihara K, Takigami M, Kamiyama K, Houkin K, Nishi S, Kaneko S, Oka K, Nakagaki Y, Ooyama H, Takizawa K, Tokumitsu N, Suzuki S, Suzuki N, Kimura T, Izumi N, Nitta K, Ohtaki M, Isobe M, Nishiya M, Kaijima M, Mabuchi S, Ogasawara K, Kubo N, Shimizu Y, Saito K, Yamanome T, Yabuta A, Yoshino A, Harashina J, Shimoda M, Jimbo H, Murakami H, Masaoka H, Ohtaka H, Yoshida H, Suzuki I, Kohno M, Arai Y, Isoshima A, Hokari M, Kawai K, Maehara T, Arai H, Kawamata T, Noguchi M, Hoshino H, Hiyama H, Yoshida K, Fujitsuka M, Takeda Y, Karasudani H, Kobayashi S, Nakamura M, Ono J, Suda S, Hadeishi H, Wakui K, Tanno H, Sato N, Sakai H, Matsumoto T, Koketsu N, Nakahara I, Hasegawa T, Kuwayama N, Mizutani N, Suzaki N, Yasui K, Ikeda A, Takeuchi Y, Wakabayashi T, Tanaka H, Yoshimoto J, Koichiro O, Yokoe T, Murao K, Yamada T, Kato A, Wakayama A, Kataoka H, Iwatsuki K, Nakajima Y, Gi H, Uranishi R, Nakamura Y, Yamanaka K, Matsumoto H. Influence of hospital capabilities and prehospital time on outcomes of thrombectomy for stroke in Japan from 2013 to 2016. Scientific Reports. 202202; 12(1):3252.

Nakano H, Inoue S, Minegishi Y, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Nishiwaki M, Nemoto T, Otaki Y, Sato M, Sato K, Machida H, Yang S, Murano H, Watanabe M, Shibata Y. Effect of hyperhomocysteinemia on a murine model of smoke-induced pulmonary emphysema. Scientific Reports. 202207; 12(1):12968.

Enomoto N, Homma S, Inase N, Kondoh Y, Saraya T, Takizawa H, Inoue Y, Ishii H, Taguchi Y, Izumi S, Yamano Y, Tanino Y, Nishioka Y, Toyoshima M, Yokomura K, Imokawa S, Koshimizu N, Sano T, Akamatsu T, Mukae H, Kato M, Hamada N, Chiba H, Chiba H, Akagawa S, Muro S, Muro S, Uruga H, Matsuda H, Kaida Y, Kanai M, Mori K, Masuda M, Fujisawa T, Nakamura Y, Ogawa N, Suda T. Prospective nationwide multicenter cohort study of clinical significance of autoimmune features in idiopathic interstitial pneumonias. Thorax. 202202; 77(2):143-153.

相良博典，柴田陽光. COPD 診療の現状と課題を考える　COPD 患者の身体活動性・QOL 向上に果たす人参養栄湯の役割. Phil 漢方. 202210; (91):3.

柴田陽光，小嶋雅代，横山彰仁，室繁郎，佐竹昭介，荒井秀典，反町良子，橋本修. 人生 100 年時代における

COPD 受診・診断・治療介入の重要性　健康寿命の延伸に向けて. Therapeutic Research. 202208; 43(8):651-660.

久米裕昭，冨田ひかる，福原敦朗. 日本酒醸造の従事者に生じた麹菌（Aspergillus oryzae）が原因と考えられる気管支喘息の 1 例. アレルギー. 202206; 71(4):321-327.

斎藤純平. エフェロサイトーシス（Efferocytosis）. アレルギー. 202211; 71(9):1147-1148.

二階堂雄文，平井健一郎，佐々木充子，菅藤賢治，石橋敏幸，半沢恵，茨木直子，大河内ヒデ子. 認知症と ADL 低下により地域包括ケア病棟への転院を要した高齢 COVID-19 の 1 例. 大原記念財団年報. 202208; 58:40-44.

柴田陽光. 【COPD（慢性閉塞性肺疾患）診断と治療のためのガイドライン 2022 を読み解く】COPD 診断と治療のためのガイドライン 2022 における改訂のポイント. 呼吸器内科. 202210; 42(4):345-349.

鈴木康仁，柴田陽光. 【好きになる呼吸器学-珠玉の症例集から】珠玉の症例集　印象深い症例・思い出の症例より［Case16］発熱と胸痛　年齢を問わず見落とせない疾患. 内科. 202211; 130(5):931.

村上美紀，鈴木詩子，井上稜太，高橋智子，野地成子，渡部智恵子，松村勇輝，佐野秀樹，斎藤純平. 福島県立医科大学附属病院における特定臨床研究の現状　アンケート調査より. 薬理と治療. 202212; 50(Suppl.2):s166-s171.

菅谷一樹，大久保怜子，塚田泰彦，峯村浩之，柴田陽光，伊関憲. COVID-19 に投与したナファモスタットで生じた高カリウム血症に、ジルコニウムが有効であった 1 症例. 臨床麻酔. 202205; 46(5):714-716.

〔総説等〕

鈴木康仁，斎藤純平. 原因疾患別の診断と治療　最新のガイドラインを踏まえて　感染後咳嗽. Progress in Medicine. 202206; 42(6):557-560.

鈴木康仁，斎藤純平. Hydrogen sulfide as a novel biomarker of asthma anc chronic obstructive pulmonary disease. 医療ガス情報ファイル. 202204; 20:32-35.

〔症例報告〕

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Sato R, Yamada R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Yamada S, Hashimoto Y, Shibata Y. Development of dermatomyositis after anti-transcriptional intermediary factor 1-γ antibody seroconversion during treatment for small cell lung cancer. BMC Pulmonary Medicine. 202205; 22(1):191.

〔その他〕

谷野功典. 質疑応答プロからプロへ　自己免疫性疾患による進行性線維化を伴う間質性肺疾患に対して抗線維化薬は第一選択薬となりうるか？ 日本医事新報. 202201; (5101):50-51.

書籍等出版物

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Wang X and Shibata Y. Extracellular Matrix Proteins as Biomarkers of Acute Exacerbation of Idiopathic Interstitial Pneumonia. In: Carbone RG, Puppo F, Wille K, Shah P. Interstitial Lung Disease: From Diagnosis to Treatment. USA: Nova Science Publishers, Inc; 202207. p.63-74.

斎藤純平. アナフィラキシー. In: 矢崎義雄, 小室一成 総編集. 内科学　第12版. 東京: 朝倉書店; 202203. p.Ⅲ-463-465.

斎藤純平. 健康日本21とCOPD（認知度向上はすすんでいるか）. In: 日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会 編集. COPD（慢性閉塞性肺疾患）診断と治療のためのガイドライン　第6版. 東京: 日本呼吸器学会, メディカルレビュー社; 202206. p.261-263.

斎藤純平. 第4章　成人喘息. In: 日本アレルギー学会 作成, 協和企画 編集. アレルギー総合ガイドライン2022. 東京: 協和企画; 202210. p.53-68.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Watanabe N, Fukuhara N, Lee T, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Importance of clinical history of antigen exposure and anti-Trichosporon asahii antibody evaluation for diagnosis of summer-type hypersensitivity pneumonitis in patients with chronic interstitial lung diseases. 26th Congress of the APSR; 20221118; Seoul, Korea.

Nikaido T, Yoshinori T, Wang X, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Tamai K, Shibata Y. Synthesized HMGB1 peptide attenuates Poly(I:C)-induced lung inflammation in mice. 26th Congress of the APSR; 20221118; Seoul, Korea.

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Fukuhara N, Tomoyoshi L, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Peripheral blood monocyte count as a prognostic biomarker in idiopathic interstitial pneumonia other than idiopathic pulmonary fibrosis. 26th Congress of the APSR; 20221118; Seoul, Korea.

Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Kawamata T, Watanabe N, Fukuhara N, Lee T, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical Significance of Sleep Apnea Syndrome in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis. 26th Congress of the APSR; 20221118; Seoul, Korea.

Watanabe N, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Kawamaya T, Fukuhara N, Lee Tomoyoshi T, Sato R,

Onuma T, Saito M, Tomita H, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Efficacy of Low-Dose Nintedanib in Idiopathic Pulmonary Fibrosis, a retrospective single institute analysis. 26th Congress of the APSR; 20221118; Seoul, Korea.

Saito J, Rikimaru M, Suzuki Y, Saito M, Watanabe N, Kawamata T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Minemura H, Nikaido T, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Association between efficacy of Dupilumab and type 2 biomarkers in severe asthmatic patients in Fukushima Medical university Hospital. 31st Congress of Interasma Japan / North Asia; 20221125; Tokyo/Web.

力丸真美，斎藤純平，福原敦朗，二階堂雄文，植松学，鈴木康仁，谷野功典，柴田陽光．難治性喘息に合併した慢性好酸球性肺炎にベンラリズマブが奏功した症例．第 3 回日本アレルギー学会東北地方会; 20220115; Web.

井上稜太，鈴木詩子，高橋智子，野地成子，村上美紀，松村勇輝，斎藤純平．福島県立医科大学医学部附属病院臨床研究管理部　当院における特定臨床研究の現状ー前年のアンケート調査との比較ー．日本臨床試験学会第 13 回学術集会総会; 20220204; 東京.

鈴木康仁，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，渡邉菜摘，梅田隆志，河俣貴也，力丸真美，森本樹里亜，東川隆一，佐藤佑樹，平井健一郎，峯村浩之，二階堂雄文，福原敦朗，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光．会長特別企画　カシリビマブ/イムデビマブの効果　デルタ株流行期のリアルワールドデータ．第 114 回日本呼吸器学会東北地方会・第 144 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東北支部学会・第 16 回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会東北支部会　合同学会; 20220305; Web.

山田龍輝，鈴木康仁，東川隆一，森本樹里亜，渡邉菜摘，佐藤理子，大沼巧，河俣貴也，力丸真美，佐藤佑樹，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光．緑膿菌が起因菌と考えられ急速な経過で死亡に至った市中肺炎の 1 例．第 114 回日本呼吸器学会東北地方会・第 144 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東北支部学会・第 16 回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会東北支部会　合同学会; 20220305; Web.

河俣貴也，谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，渡邉菜摘，山田龍輝，佐藤理子，冨田ひかる，斉藤美加子，力丸真美，梅田隆志，森本樹里亜，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，柴田陽光．間質性肺炎における抗 Trichosporon asahii 抗体の臨床的意義の検討．第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220422; 京都/Web.

渡邉菜摘，谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，福原奈緒子，山田龍輝，佐藤理子，大沼巧，梅田隆志，力丸真美，森本樹里亜，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，柴田陽光．特発性肺線維症に対する nintedanib 低用量の効果の検討．第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220422; 京都/Web.

佐藤佑樹，谷野功典，二階堂雄文，東川隆一，河俣貴也，渡邉菜摘，福原奈緒子，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，梅田隆志，力丸真美，森本樹里亜，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，柴田陽光．特発性間質性肺炎における末梢血単球数の予後予測バイオマーカーとしての検討．第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220423; 京都/Web.

東川隆一，谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，河俣貴也，渡邉菜摘，山田龍輝，佐藤理子，大沼巧，梅田隆志，力丸真美，森本樹里亜，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，柴田陽光．睡眠時無呼吸症候群を合併した特発性肺線維症患者の臨床的特徴．第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220423; 京都/Web.

二階堂雄文，谷野功典，王新涛，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，峯村浩之，玉井克人，柴田陽光. HMGB1 fragments は Poly(I:C)誘導性急性肺炎を抑制する. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220424; 京都/Web.

力丸真美，金沢賢也，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，渡邉菜摘，梅田隆志，河俣貴也，森本樹里亜，東川隆一，佐藤佑樹，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，谷野功典，柴田陽光. 肺 LCH に合併した肺アスペルギルス症による喀血に対して EWS 気管支充填術が有用であった一例. 第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20220527-28; 岐阜/Web.

佐藤理子，峯村浩之，力丸真美，東川隆一，鈴木康仁，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光. 迅速発育抗酸菌の薬剤感受性検査（ブロスミック RGM）で治療方針を検討した肺 M.abscessus complex（MABC）症の 2 例. 日本内科学会第 226 回東北地方会; 20220618; 仙台/Web.

冨田ひかる，金沢賢也，峯村浩之，梅田隆志，河俣貴也，東川隆一，李智祥，佐藤理子，大沼巧，齋藤美加子，渡邉菜摘，力丸真美，森本樹里亜，鈴木康仁，二階堂雄文，斎藤純平，谷野功典，柴田陽光. EGFR uncommon mutation 陽性の肺腺癌に対してオシメルチニブ投与後のアファチニブが有効であった一例. 第 61 回日本肺癌学会東北支部会・第 48 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会　合同地方会; 20220730; 仙台.

齋藤美加子，峯村浩之，佐藤理子，東川隆一，佐藤佑樹，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，木村哲，柴田陽光. Pembrolizumab 単剤療法が奏効した濾胞性リンパ腫を合併した肺扁平上皮癌の 1 例. 日本内科学会第 227 回東北地方会; 20220903; 山形/Web.

森本樹里亜，鈴木康仁，東川隆一，河俣貴也，渡邊菜摘，山田龍輝，李智祥，佐藤理子，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，梅田隆志，力丸真美，佐藤佑樹，峯村浩之，二階堂雄文，福原敦朗，佐藤俊，金沢賢也，斎藤純平，谷野功典，柴田陽光. 重症喘息患者に対する Dupilumab 投与中に発症した好酸球性肺炎の一例. 第 145 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東北支部学会・第 115 回日本呼吸器学会東北地方会合同学会; 20220910; Web.

力丸真美，斎藤純平，福原敦朗，鈴木康仁，東川隆一，李智祥，佐藤理子，大沼巧，冨田ひかる，渡邉菜摘，齋藤美加子，河俣貴也，森本樹里亜，佐藤佑樹，東川隆一，峯村浩之，二階堂雄文，福原奈緒子，金沢賢也，斎藤純平，谷野功典，柴田陽光. レスター咳モニターによる咳嗽頻度の変化率と咳重症度 VAS による変化量との関連. 第 24 回日本咳嗽学会学術大会; 20221001; 旭川.

力丸真美，斎藤純平，佐藤俊，福原敦朗，鈴木康仁，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光. 喘息における呼気温度の有用性の検討. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会; 20221008; 東京/Web.

鈴木康仁，斎藤純平，力丸真美，福原敦朗，佐藤俊，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光. 気管支喘息、ACO、COPD における血清 YKL-40 濃度と呼吸機能経過との関連についての検討. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会; 20221009; 東京/Web.

鈴木康仁，峯村浩之，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，森本樹里亜，李智祥，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，渡邉菜摘，梅田隆志，河俣貴也，力丸真美，福原敦朗，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光. 福島県 COVID-19 コホート研究　重症化予測スコアの確立とデルタ株蔓延期におけるカシリビマブ/イムデビマブの有効性の検討. 第 31 回 Pneumo Forum; 20221021; 東京.

佐藤佑樹，谷野功典，二階堂雄文，東川隆一，河俣貴也，渡邉菜摘，李智祥，佐藤理子，大沼巧，冨田ひかる，斎藤美加子，力丸真美，森本樹里亜，鈴木康仁，峯村浩之，斎藤純平，金沢賢也，柴田陽光. 膠原病を合併した自己免疫性肺胞蛋白症の一剖検例. 第 21 回東北びまん性肺疾患研究会; 20221112; 福島.

河俣貴也，佐藤俊，東川隆一，平井健一郎，二階堂雄文，金沢賢也，谷野功典，西山恭子，錫谷達夫，柴田陽光. 診断に難渋した播種性クリプトコッカス症の 1 例. 第 6 回東北医真菌研究会; 20221217; Web.

〔シンポジウム〕

Saito J. Concomitant use of hydrogen sulfide (H2S) and fractional exhaled nitric oxide (FeNO) as biomarkers of airway inflammation in asthma. 12th International conference on the Biology, Chemistry and Therapeutic Applications of Nitric Oxid; 20221029; Sendai.

斎藤純平. 喘息治療 Up to Date～3 剤配合剤吸入薬の実臨床での位置づけ～. 第 8 回総合アレルギー講習会; 20220326; 横浜.

斎藤純平. 症状から考える生物学的製剤の最適なアプローチとは？～痰・息切れの観点を中心に～. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220422; 京都.

斎藤純平. 喘息の診断・管理における呼気 NO 測定の解釈 Up to date. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会; 20220423; 京都.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽診療～ゲーファピキサントの位置づけを考える～. 第 24 回日本咳嗽学会学術大会; 20221001; 旭川.

〔その他〕

斎藤純平. 17～23 日「アレルギー週間」　普段の暮らし　対策は？ 福島民報; 20220210; 9.

斎藤純平. バイオマーカーを用いた喘息管理と生物学的製剤への最適なアプローチとは？ Severe Asthma Meeting in Saga; 20220221; 佐賀.

斎藤純平. 最新の喘息診療を読み解く～喘息予防・管理ガイドライン 2021 より～. 令和 3 年度福島県アレルギー疾患講座; 20220223; 福島.

斎藤純平. 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの？／どんな治療をするの？～. 福島県アレルギー市民公開講座; 20220228; 福島.

斎藤純平. 非侵襲的モニタリング法を用いた喘息診断・管理への展望～呼気 NO、硫化水素、咳嗽モニタリングなど～. 東海喘息研究会; 20220310; 名古屋.

斎藤純平. Dupilumab は重症喘息患者に福音をもたらしたのか？～Real world data から考える～. サノフィ全国 WEB 講演会 Air Way Web; 20220330; 東京/Web.

鈴木康仁. 難治性喘息に対する Mepolizumab の有効性～自験例および REALITI-A 試験を踏まえて～. GSK Severe Asthma Seminar in 福島; 20220331; 福島.

鈴木康仁. 難治性喘息に対する生物学的製剤と福島県データベースを用いた COVID-19 の検証. Respiratory CARAVAN 2022; 20220603; 福島.

斎藤純平. 難治性慢性咳嗽の治療に対する新たな一手～ゲーファピキサントの位置づけ～. リフヌア®WEB セミナー; 20220615; 福島/Web.

斎藤純平. 喘息治療における吸入薬の使い分け～シングル？デュアル？トリプル？～. GSK Asthma Web Seminar; 20220725; 福島/Web.

斎藤純平. 原因疾患に基づく慢性咳嗽へのアプローチ～新薬ゲーファピキサントへの期待～. 和歌山呼吸器／病診連携の会; 20220824; 和歌山.

斎藤純平. 喘息診療における呼気 NO の使い方. Kyorin Web Salon; 20220831; 福島/Web.

斎藤純平. 咳嗽という観点から見た喘息診療～喘息でしつこい咳嗽が残っていたら？～. Kyorin Asthma webinar in 福島; 20220909; 福島.

鈴木康仁. 当科における重症喘息患者に対するオマリズマブの使用経験　費用対効果から考える重症喘息治療; 20220914; 福島.

斎藤純平. 難治性慢性咳嗽の治療に対する新たな一手～ゲーファピキサントの位置づけ～. リフヌア®WEB セミナー; 20221020; 福島/Web.

斎藤純平. 重症喘息においてデュピクセントが切り開く新たな治療戦略. 岩手県南中部地区 ZOOM 講演会; 20221128; 岩手/Web.

斎藤純平. 重症喘息治療 Update～費用負担と併存症を踏まえた抗体製剤の使い方～. Novartis Web Seminar; 20221208; 福島/Web.

斎藤純平. 難治性慢性咳嗽の治療に対する新たなアプローチ～リフヌアの患者像を探る～. TOHOKU Cough Expert Meeting; 20221209; 仙台.

消化管外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kawamura H, Honda M, Takano Y, Kinuta S, Kamiga T, Saji S, Kono K. Prognostic Role of Carcinoembryonic Antigen and Carbohydrate Antigen 19-9 in Stage IV Colorectal Cancer. Anticancer Research. 202208; 42(8):3921-3928.

Yamada L, Saito M, Suzuki H, Mochizuki S, Endo E, Kase K, Ito M, Nakano H, Yamauchi N, Matsumoto T, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hanayama H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Incidence of upper extremity deep vein thrombosis in the retrosternal reconstruction after esophagectomy. BMC Surgery. 202203; 22(1):91.

Matsumoto T, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Ito M, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hayase S, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Seze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. SH2D4A Downregulation Due to Loss of Chromosome 8p Is Associated with Poor Prognosis and Low T Cell Infiltration in Colorectal Cancer. British Journal of Cancer. 202204; 126(6):917-926.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

Kaneta A, Nakajima S, Okayama H, Matsumoto T, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Ito M, Mimura K, Kanke Y, Saito M, Saze Z, Fujita S, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Ohki S, Kono K. Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202211; 71(11):2765-2776.

Watanabe M, Toh Y, Ishihara R, Kono K, Matsubara H, Murakami K, Muro K, Numasaki H, Oyama T, Ozawa S, Saeki H, Tanaka K, Tsushima T, Ueno M, Uno T, Yoshio T, Usune S, Takahashi A, Miyata H; Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society. Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2014. Esophagus. 202201; 19(1):1-26.

Sakamoto W, Kanke Y, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Short-term outcomes of neoadjuvant chemotherapy with capecitabine plus oxaliplatin for patients with locally advanced rectal cancer followed by total or tumor-specific mesorectal excision with or without lateral pelvic lymph node dissection. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):89-95.

Kaneta A, Sato T, Nakano H, Matsumoto T, Tada T, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Kono

K. Preoperative bacterial culture can predict severe pneumonia in patients receiving esophagectomy. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):109-116.

Hanayama H, Katagata M, Sato T, Nakano H, Matsumoto T, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Momma T, Kato T, Hashimoto M, Nakamura J, Hikichi T, Saze Z, Kono K. Clinical outcomes of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric gastrointestinal stromal tumor. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):169-174.

Parker AL, Toulabi L, Oike T, Kanke Y, Patel D, Tada T, Taylor S, Beck JA, Bowman E, Reyzer ML, Butcher D, Kuhn S, Pauly GT, Krausz KW, Gonzalez FJ, Hussain SP, Ambs S, Ryan BM, Wang XW, Harris CC. Creatine Riboside Is a Cancer Cell-Derived Metabolite Associated with Arginine Auxotrophy. Journal of Clinical Investigation. 202207; 132(14):e157410.

Renken S, Nakajima T, Magalhaes I, Mattsson J, Lundqvist A, Arnér ESJ, Kiessling R, Wickström SL. Targeting of Nrf2 improves antitumoral responses by human NK cells, TIL and CAR T cells during oxidative stress. Journal for Immunotherapy of Cancer. 202206; 10(6):e004458.

Kobayashi H, Honda M, Kawamura H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Hori S, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. Clinical impact of gastrectomy for gastric cancer patients with positive lavage cytology without gross peritoneal dissemination. Journal of Surgical Oncology. 202203; 25(4):615-620.

Doki Y, Ajani JA, Kato K, Xu J, Wyrwicz L, Motoyama S, Ogata T, Kawakami H, Hsu CH, Adenis A, El Hajbi F, Di Bartolomeo M, Braghiroli MI, Holtved E, Ostoich SA, Kim HR, Ueno M, Mansoor W, Yang WC, Liu T, Bridgewater J, Makino T, Xynos I, Liu X, Lei M, Kondo K, Patel A, Gricar J, Chau I, Kitagawa Y; CheckMate 648 Trial Investigators (Kono K). Nivolumab Combination Therapy in Advanced Esophageal Squamous-Cell Carcinoma. New England Journal of Medicine. 202202; 386(5):449-462.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

Miyakawa T, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Kinuta S, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Impact of histological subtype on prognosis in stage IV colorectal cancer: A population-based cohort study. PLOS ONE. 202203; 17(3):e0264652.

〔総説等〕

Shibata M, Kono K, Takenoshita S. Inhibiting VEGF in cancer immunotherapy. Clinical Immunology Communications. 202212; 2:12-16.

Sakai M, Kitagawa Y, Saeki H, Miyazaki T, Yamaji T, Nemoto K, Oyama T, Muto M, Takeuchi H, Toh Y, Matsubara H, Mano M, Kono K, Kato K, Yoshida M, Kawakubo H, Booka E, Yamatsuji T, Kato H, Ito Y, Ishikawa H, Ishihara R, Tsushima T, Kawachi H, Oyama T, Kojima T, Kuribayashi S, Makino T, Matsuda S,

Sohda M, Kubo Y, Doki Y; Esophageal Cancer Practice Guidelines Preparation Committee. Fruit and vegetable consumption and risk of esophageal cancer in the Asian region: a systematic review and meta-analysis. Esophagus. 202201; 19(1):27-38.

Kubo Y, Kitagawa Y, Miyazaki T, Sohda M, Yamaji T, Sakai M, Saeki H, Nemoto K, Oyama T, Muto M, Takeuchi H, Toh Y, Matsubara H, Mano M, Kono K, Kato K, Yoshida M, Kawakubo H, Booka E, Yamatsuji T, Kato H, Ito Y, Ishikawa H, Ishihara R, Tsushima T, Kawachi H, Oyama T, Kojima T, Kuribayashi S, Makino T, Matsuda S, Doki Y; Esophageal Cancer Practice Guidelines Preparation Committee. The potential for reducing alcohol consumption to prevent esophageal cancer morbidity in Asian heavy drinkers: a systematic review and meta-analysis. Esophagus. 202201; 19(1):39-46.

Inoue T, Ishihara R, Shibata T, Suzuki K, Kitagawa Y, Miyazaki T, Yamaji T, Nemoto K, Oyama T, Muto M, Takeuchi H, Toh Y, Matsubara H, Mano M, Kono K, Kato K, Yoshida M, Kawakubo H, Booka E, Yamatsuji T, Kato H, Ito Y, Ishikawa H, Tsushima T, Kawachi H, Oyama T, Kojima T, Kuribayashi S, Makino T, Matsuda S, Doki Y; Esophageal Cancer Practice Guidelines Preparation Committee. Endoscopic imaging modalities for diagnosing the invasion depth of superficial esophageal squamous cell carcinoma: a systematic review. Esophagus. 202207; 19(3):375-383.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 202203; 5(1):134-144.

河野浩二. 連載　腫瘍免疫 Up-To-Date　第 3 回　放射線療法とがん免疫. GI Cancer Cutting Edge. 202202; 3(3):4-5.

菊池智宏，河野浩二. 【がん・感染症免疫と腸内細菌の関係を知る】（Part1）がん免疫　大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫担当細胞の関連を考える. Microbiome Science. 202210; 1(2):80-85.

三村耕作，河野浩二. 【複合がん免疫療法】食道扁平上皮癌における抗 PD-1 療法と放射線治療を用いた複合がん免疫療法の開発. 癌と化学療法. 202209; 49(9):914-916.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI-H 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 癌と化学療法. 202210; 49(10):1130-1132.

〔症例報告〕

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):191-195.

Ito M, Onozawa H, Saito M, Ami H, Ohki S, Koyama Y, Kono K. Laparoscopic total gastrectomy performed for juvenile polyposis of the stomach: A case report. International Journal of Surgery Case Reports. 202208; 97:107368.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with *TPM3-NTRK1* gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Endo Y, Sekino H, Ishii S, Okada R, Kofunato Y, Nakano H, Watanabe Y, Marubashi S, Kono K, Ito H. Two cases of pancreaticoduodenal aneurysm with median arcuate ligament syndrome treated with coil embolization and median arcuate ligament incision. Radiology Case Reports. 202208; 17(10):3663-3668.

福田裕也，齋藤勝，松石彬，楡井東，千田峻，阿美弘文，小山善久．胆石イレウスの 3 例．大原記念財団年報. 202208; 58:29-32.

仲野宏，遠藤英成，松石彬，金澤匡司．横行結腸の嵌頓・壊死を来した食道裂孔ヘルニアの 1 例．日本農村医学会雑誌. 202211; 71(4):332-336.

林孝朗，絹田俊爾，羽成直行，鈴木博也．塩化ビニル製手袋による胃内異物の内視鏡的摘出術施行中に頸部食道に嵌頓し外科的摘出術を行った 1 例．日本腹部救急医学会雑誌. 202209; 42(6):647-650.

仲野宏，花山寛之，佐瀬善一郎，河野浩二．ステントグラフト内挿術後に三期的食道再建術を行った大動脈食道瘻の 1 例．日本臨床外科学会雑誌. 202202; 83(2):314-319.

鈴木博也，絹田俊爾，産本陽平，林孝朗，白根和樹，萩尾浩太郎. Wound retractor の二重装着が有用であった毛髪胃石の 1 例．日本臨床外科学会雑誌. 202206; 83(6):1036-1040.

片方雅紀，藤田正太郎，青砥慶太，伊藤泰輔，石井芳正，河野浩二．急性虫垂炎を合併した虫垂原発 Burkitt lymphoma の 1 例．日本臨床外科学会雑誌. 202207; 83(7):1312-1317.

岩田亜弓，深井智司，菅家康之，藤田正太郎，門馬智之，河野浩二．小腸原発髄外性形質細胞腫の 1 例．日本臨床外科学会雑誌. 202207; 83(7):1296-1300.

〔その他〕

深井智司．日本臨床外科学会　国内外科研修報告　横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器センター外科での国内外科研修を終えて．日本臨床外科学会雑誌. 202203; 83(3):592.

坂本渉．第 494 回福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録　“あきらめない”大腸がん治療．福島医学会雑誌. 202208; 72(2):100.

佐瀬善一郎．第 494 回福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録　食道がん・胃がんに対するロボット手術．福島医学会雑誌. 202208; 72(2):100.

門馬智之．第 494 回福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録　消化器がんに対するロボット手術　総論．福島医学会雑誌. 202208; 72(2):100.

河野浩二，岡山洋和，芦澤舞．マイクロ RNA による PD-L1 の制御機構－The Best of the AACR Journals－．光が丘. 202202; 51:62-63.

書籍等出版物

伊藤美郷，河野浩二．臨床編 3 章　治療効果の評価，診断　5．バイオマーカー. In: 吉村清 編集. がん免疫ペディア：腫瘍免疫学・がん免疫療法の全てをまるごと理解！ 東京: 羊土社; 202203. p.83-84.

河野浩二．第Ⅲ章　食道癌治療のアルゴリズムおよびアルゴリズムに基づいた治療方針　3．cStageII、III 食道癌治療のアルゴリズム. In: 日本食道学会 編. 食道癌診療ガイドライン　2022 年版. 東京: 金原出版; 202209. p.28-38.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kono K. Therapeutic potential of anti-vascular endothelial growth factor receptor 2 therapy for M2 tumor-associated macrophages in colorectal cancer. 2nd International Congress of the Asian Oncology Society in conjunction with the 48th Annual Meeting of Korean Cancer Association (AOS 2022); 20220616-18; Web.

中島勇貴，根本大樹，高畑陽介，鈴木康平，愛澤正人，歌野健一，遠藤英成，五十畑則之，遠藤俊吾，冨樫一智. Clavien-Dindo 分類からみた直腸 ESD 後偶発症の特徴：結腸 ESD 症例との比較検討. 第 96 回大腸癌研究会; 20220121; 東京.

門馬智之，河野浩二．直腸癌ロボット支援下手術導入により見えてきた外科医教育の課題. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台/Web.

上田健太，浅間宏之，菅野有紀子，児玉健太，紺野直紀，大平怜，青砥慶太，田﨑和洋，遠藤豪一，黒田聖仁．膵臓の胸腔内逸脱による膵炎と特発性腸重積の反復を来した IV 型食道裂孔ヘルニアの一例. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

叶多諒，近内政美，菅家康之，大河内千代，岡野舞子，八島玲，片方直人，勝部暢介，田畑憲一，野水整. 遺伝子検査で HBOC と判明した大腸癌多発家系. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．食道癌髄膜癌腫症による眼球運動障害に対し放射線治療が奏効した一例. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

圓谷秀哲，伊藤泰輔，松石彬，遠藤久仁，石井芳正．腸重積を契機に発見され腹腔鏡下に切除した結腸 T 細胞リンパ腫の 1 例. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

水谷琢，川島一公，佐藤秀紀，村上舞，佐久間千陽，松岡直紀，郡司直彦，瀬戸夕輝，鬼澤道夫，坂本渉，大平弘正．巨大な未破裂胸部大動脈瘤の手術予定日に中毒性巨大結腸症を合併し，緊急大腸亜全摘術施行された潰瘍性大腸炎の 1 例．第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

山下莉奈，望月翔太朗，青砥慶太，塚田学，大須賀文彦，遠藤豪一．小腸穿孔をきたした成人Ｔ細胞性白血病・リンパ腫の 1 例．第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; Web.

佐野秀樹，菊田敦，赤間孝典，門馬智之，渡邊尚文，寺下友佳代，杉山未奈子，真部淳．多重癌の既往歴と濃厚な家族歴から Lynch 症候群が疑われたが遺伝性乳癌卵巣症候群であった 1 例．第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術研修会; 20220205; Web.

渡部茉佑，岡野舞子，勝部暢介，後藤かおり，長塚美樹，菊池智宏，八島玲，松嵜正實，片方直人，野水整．多重癌の既往歴と濃厚な家族歴から Lynch 症候群が疑われたが遺伝性乳癌卵巣症候群であった 1 例．第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

深井智司，片方雅紀，佐久間芽衣，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．リンパ節転移を伴った胃 GIST に対して腹腔鏡下噴門側胃切除術を施行した 1 例．第 94 回日本胃癌学会総会; 20220304; 横浜/Web.

佐瀬善一郎，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二．噴門側胃切除術上川法再建におけるロボット支援下手術の有用性とピットフォール．第 94 回日本胃癌学会総会; 20220304; 横浜/Web.

片方雅紀，早瀬傑，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．食道癌術後再建胃管癌の検討．第 94 回日本胃癌学会総会; 20220304; 横浜/Web.

五十畑則之，遠藤俊吾，根本鉄太郎，佐久間芽衣，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．大腸癌手術時の DST 吻合における縫合不全リスク因子・予測因子の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

坂本渉，中嶋正太郎，渡辺洋平，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．当科における働き方改革への対応と医学博士・内視鏡外科技術認定医「量産」への取り組み．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

川又崇弘，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二．術前化学療法が食道扁平上皮癌の腫瘍随伴マクロファージおよび腫瘍微小環境に及ぼす影響．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本.

長谷川誠，坂本渉，鈴木理，山田玲央，深井智司，菊池智宏，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，遠藤久仁，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，大木進司，河野浩二．左側大腸癌における下腸間膜動脈血管鞘内のリンパ節の有無とリンパ管増生の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本.

岩田亜弓，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．抗 VEGFR2 抗体を用いた M2 腫瘍関連マクロファージ制御の可能性について．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. Combination immunotherapy for colorectal cancer. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

北堀有希，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントレセプターとリガンドの発現について．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. CD163 陽性 M2 腫瘍関連マクロファージと PD-1 を標的とした複合がん免疫療法の開発．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

芥田壮平，巌康仁，佐藤公太，赤繁徹，千代延記道，杉本桃子，横山健，宮澤傑，松石彬，圓谷秀哲，遠藤久仁，伊藤泰輔，山田睦夫，石井芳正，山崎繁，田邉稔．門脈圧亢進を呈する肝障害患者における胃切除術後短期成績の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

岡野舞子，押正徳，齋藤勝治，河野浩二，大竹徹，高部和明．乳癌 PDX モデルにおいて、同所性移植の方が皮下移植よりも優れた生着およびより速い成長を達成する．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

小野澤寿志，深井智司，伊藤美郷，菅家康之，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

片方雅紀，早瀬傑，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. CY1, P0 胃癌症例に対する外科切除の意義の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

金田晃尚，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．食道癌術後重症肺炎予測因子としての術前細菌培養の有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，山田玲央，仲野宏，松本拓朗，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，齋藤元伸，佐瀬善一郎，三村耕作，門馬智之，大木進司，橋本優子，河野浩二．食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現は予後に関連する．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

齋藤元伸，仲野宏，加瀬晃志，中嶋正太郎，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．胃癌サブタイプにおける PD-L1 発現の比較検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

佐瀬善一郎，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二．ひとり立ちまでを目標とする内視鏡外科技術認定医（胃）取得に向けた手技指導．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

多田武志，片方雅紀，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，楡井東，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一，三村耕作，河野浩二．特発性食道破裂 16 例に対する手術症例の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

仲野宏，齋藤元伸，中嶋正太郎，齋藤勝治，伊藤美郷，金田晃尚，北堀有希，片方雅紀，佐藤孝洋，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，後藤明輝，河野浩二．EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現は 2 つの異なる機序により引き起こされる．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

早瀬傑，片方雅紀，仲野宏，松本拓朗，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，佐瀬善一郎，河野浩二．術前化学療法施行食道癌患者における免疫炎症マーカーと予後に関する検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．経仙骨アプローチによる低位骨盤内手術ー直腸 GIST2 例に対する手術例の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

藤田正太郎，門馬智之，深井智司，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．BRAF 変異陽性大腸癌に Encorafenib+Cetuximab 療法を施行した 1 例．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

門馬智之，藤田正太郎，長谷川誠，北堀有希，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．実臨床における進行再発大腸癌におけるラムシルマブ／FOLFIRI 治療の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

渡辺洋平，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，伊藤美郷，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．切除不能・進行再発胃癌に対する Nivolumab 投与時の NLR の有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之．COVID19 ワクチン接種を契機に発症した IgG4 関連疾患で横行結腸狭窄を呈した 1 例．第 33 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20220521; 仙台/Web.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二．dMMR/MSI 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現．第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．術前補助化学療法が食道扁平上皮癌腫瘍微小環境に及ぼす影響．第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．進行食道扁平上皮癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発．第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

大竹廉正，林下宗平，滝口千晶，菊池智宏，千田峻，齋藤勝，阿美弘文，小山善久，内海康文. Nuck 管水腫に子宮内膜症を合併した一例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

木口託見，滝口千晶，林下宗平，菊池智宏，千田峻，齋藤勝，阿美弘文，小山善久. Meckel 憩室により絞扼性腸閉塞をきたした一例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，楡井東，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. Zenker 憩室に対し，手術した 1 例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

仲野宏，遠藤英成，早瀬傑，金沢匡司．横行結腸の嵌頓・壊死を来した食道裂孔ヘルニアの 1 例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

森友輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

五十畑則之，遠藤俊吾，遠藤英成，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．局所進行直腸癌に対する術前化学療法の成績．第 44 回日本癌局所療法研究会; 20220701; 大阪.

塚田学，望月翔太朗，青砥慶太，大須賀文彦，田﨑和洋，遠藤豪一．子宮癌に対する放射線治療 50 年後に回腸穿孔性腹膜炎を発症した 1 例．第 44 回日本癌局所療法研究会; 20220701; 大阪.

中島隆宏，桑原公亀，島貫公義，井上典夫，河野浩二．アブスコパル効果を示唆する腫瘍縮小を示した再発胃癌症例の検討．第 44 回日本癌局所療法研究会; 20220701; 大阪.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智．当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針と成績．第 97 回大腸癌研究会学術集会; 20200708; 東京/Web.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．閉塞性大腸癌に対する Bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績．第 97 回大腸癌研究会学術集会; 20220708; 東京/Web.

佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当院における特発性食道破裂 22 例の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

多田武志，片方雅紀，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，楡井東，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．臓器機能低下，ハイリスク食道癌症例に対する 2 期的再建術の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

楡井東，佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．食道術後乳糜胸に対するリピオドールリンパ管造影の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜

/Web.

早瀬傑，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．栄養状態および骨格筋量変化からみた早期胃上部癌に対する噴門側胃切除術の有用性の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，金田晃尚，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．胃 GIST に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の適応と治療戦略．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

三村耕作，中嶋正太郎，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．進行食道扁平上皮癌症例における複合がん免疫療法の開発．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

五十畑則之，遠藤俊吾，遠藤英成，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法の成績．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

上野未来，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤機序について．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．当科における高齢者大腸癌患者の在院日数短縮に向けた取り組み．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

小野澤寿志，片方雅紀，伊藤美郷，松本拓朗，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．局所進行直腸癌に対する治療戦略．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

片方雅紀，坂本渉，山口大輝，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．直腸 GIST を後方アプローチで摘出した 3 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

齋藤元伸，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．胃癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

坂本渉，片方雅紀，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科におけるロボット支援下側方郭清導入－腹腔鏡下時代と比較した神経因性膀胱の発生状況の比較－．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

佐藤孝洋，佐久間芽衣，深井智司，楡井東，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．当院における高齢者胃癌患者に対する胃切除術の手術成績の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

髙野祥直，外舘幸敏，丸山裕也，鈴木優也，中尾詠一，宮川哲平，本多通孝，鈴木伸康，阿左見亜矢佳，阿部幹．ロボット支援下直腸切除における工夫ー腫瘍位置に応じたポート配置ー．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

松井田元，滝口和暁，上野智史，石井恒，宮澤正紹，又吉一仁，武藤淳．糞石を伴う急性虫垂炎に対する治療方針ー保存的治療症例と重症症例の検討からー．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

水谷知央，絹田俊爾，羽成直行，萩尾浩太郎，産本洋平，古谷元宏，田所裕紀，林孝朗，草間大輔，鈴木博也．腎結石砕石後の CT で膵腫瘍，前頚部腫瘍を認め，MEN type1 疑い，腹腔鏡下 RAMPS を施行した 1 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

門馬智之，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．直腸 NEN 手術症例の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

大須賀文彦，望月翔太朗，青砥慶太，塚田学，遠藤豪一．横行結腸癌術後に発症した上腸間膜症候群の 1 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220722; 横浜/Web.

小針大輝，菅家康之，近内政美，叶多諒，大河内千代，八島玲，片方直人，野水整．4 年の disease free survival を得た confirmed disappearing liver metastasis の 1 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220722; 横浜/Web.

佐瀬善一郎，佐久間芽衣，深井智司，金田晃尚，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二．内視鏡外科技術認定医取得に向けた手技指導～ひとり立ちを目標として．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220722; 横浜/Web.

上野智史，山口大輝，大関篤，松井田元，石井恒，宮澤正紹，又吉一仁，武藤淳．mFOLFOX6 施行中の高アンモニア血症による意識障害，痙攣重積に集学的加療を行った 1 例．第 182 回東北外科集談会・第 108 回日本胸部外科学会東北地方会・第 40 回日本血管外科学会東北地方会・第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

大関篤，宮澤正紹，山口大輝，上野智史，松井田元，石井恒，又吉一仁，武藤淳．大網由来と考えられた副腎外骨髄脂肪腫の一切除例．第 182 回東北外科集談会・第 108 回日本胸部外科学会東北地方会・第 40 回日本血管外科学会東北地方会・第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

氏家大輔，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．術前化学療法が誘導する IL-34 が食道扁平上皮癌微小環境に及ぼす影響．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220925; 東京/Web.

佐瀬善一郎，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二．ロボット支援胸腔鏡下食道亜全摘術導入期における安全性の評価．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220926; 東京/Web.

金田晃尚，佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．高齢者における食道癌手術の短期成績．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220924-26; 東京/Web.

佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．食道癌髄膜癌腫症による眼球運動障害に対し放射線治療が奏効した一例．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220924-26; 東京/Web.

多田武志，佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，金田晃尚，楡井東，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．当科での頸部食道癌の治療成績．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220924-26; 東京/Web.

芦澤舞，遠藤俊吾，五十畑則之，遠藤英成，齋藤拓朗．腹腔鏡下結腸左半切除術後に大網膿瘍を発症した 1 例．第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. S 状結腸脂肪腫による腸重積症の 1 例．第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．局所進行直腸癌に対する治療戦略．第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．当科における BRAF 変異陽性大腸癌の検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．当科における局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy（TNT）の治療成績．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

片岡幸三，辻晃仁，勝屋弘雄，藤田正太郎，弓削浩太郎，木藤陽介，福永睦，中村将人，佐川保，渡邉貴紀，塩澤学，砂川優，竹内正弘，市川度，藤井雅志. RAS 野生型切除不能大腸癌における二次治療 FOLFIRI＋ラムシルマブ療法の前治療レジメン別の効果：JACCRO CC-16 サブ解析．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

金田晃尚，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．高齢者に対する食道癌手術の短期成績と治療戦略．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

叶多諒，花山寛之，滝口千晶，圓谷秀哲，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，渡辺洋平，佐瀬善一郎，畠山優一，河野浩二．腹腔鏡下に切除し得た腫瘍内感染を伴う胃 GIST の 1 例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

菊池智宏，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，楡井東，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科における十二指腸腫瘍の外科治療戦略．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

佐藤孝洋，片方雅紀，深井智司，佐久間芽衣，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．当科における有茎空腸の食道再建術の検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

圓谷秀哲，渡辺洋平，叶多諒，滝口千晶，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，花山寛之，坂本渉，佐瀬善一郎，河野浩二. Nissen 術後のバレット食道腺癌に対して胸腔鏡下食道亜全摘術胃管再建術を施行した 1 例. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

楡井東，叶多諒，滝口千晶，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二. 術前診断に難渋し幽門側胃切除術を選択した胃血管脂肪腫の 1 例. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

花山寛之，叶多諒，滝口千晶，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二. 当教室における 80 歳以上の高齢者胃癌に対する手術成績の検討. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸/Web.

大竹廉正，中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における STING 高発現は CD8 陽性 T 細胞の高浸潤に寄与する. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

岡山洋和，松本拓朗，片方雅紀，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，坂本渉，中嶋正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 大腸癌の腫瘍免疫抑制機構. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

片方雅紀，坂本渉，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

坂本渉，佐久間芽衣，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 低位直腸癌に対する側方リンパ節郭清後のドレーン排液量の比較－ロボット vs 腹腔鏡－. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 尿管近傍の転移巣に対するロボット支援直腸手術で蛍光尿管カテーテルを使用した一例. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

佐瀬善一郎，叶多諒，滝口千晶，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，門馬智之，河野浩二. 食道癌外科治療におけるチーム医療の現状と課題. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

多田武志，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，渡辺洋平，花山寛之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二. Trastuzumab Deruxtecan を使用した HER2 陽性胃癌の 4 例. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

東倉賢治郎，三村耕作，中嶋正太郎，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二. 大腸癌における免疫チェックポイントリガンドの発現状況について. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

藤田正太郎，門馬智之，片方雅紀，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．ロボット支援下直腸手術中に炭酸ガス血症のため，開腹移行した 1 例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

齋藤元伸，河野浩二．エキスパートパネルを通じてのがんゲノム教育の実際．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

竹原由佳，田巻倫明，三村耕作，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，吉本由哉，佐藤久志，河野浩二，鈴木義行．食道扁平上皮癌における術前治療による腫瘍微小環境の免疫学的変化．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

平田公一，長谷川潔，河野浩二，藤也寸志，掛地吉弘，吉野一郎，井本滋，柴田亜希子，竹政伊知朗，増井俊彦，海野倫明，神野浩光，鶴間哲弘，清家正博，弦間昭彦．全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

門馬智之，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．当院での大腸がんの補助療法実施状況についての検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

巌康仁，佐藤公太，千代延記道，宮澤傑，芥田壮平，横山健，松石彬，圓谷秀哲，杉本桃子，赤繁徹，遠藤久仁，伊藤泰輔，山田睦夫，石井芳正，今村秀道，山崎繁，田邉稔．急性胆嚢炎を発症した高齢者の治療成績．JDDW 2022 FUKUOKA; 20221029; 福岡/Web.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，芦澤舞，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．大腸癌手術症例において吻合法別の早期合併症と炎症反応推移の検討．JDDW 2022 FUKUOKA; 20221028; 福岡/Web.

上野智史，山口大輝，大関篤，松井田元，石井恒，宮澤正紹，又吉一仁，武藤淳．mFOLFOX6 療法施行中の高アンモニア血症による意識障害，痙攣重積に対して集学的加療を行い救命し得た 1 例．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221125; 福岡.

金生直哉，菅家康之，東條華子，菅原良太，手塚康二，勝部暢介，八島玲，片方直人，野水整．Lynch 症候群 MLH1Epimutation の 1 例．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221125; 福岡.

佐瀬善一郎，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，門馬智之，河野浩二．食道癌外科治療周術期におけるチーム医療の取り組み．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221125; 福岡.

篠原千里，森友輔，加瀬晃志，宮本康太郎，中山浩一，浦住幸治郎．腹痛を契機に増大が判明した後腹膜嚢胞性リンパ管腫の 1 切除例．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221125; 福岡.

大須賀文彦，望月翔太朗，山内直人，塚田学，遠藤豪一．穿刺胆汁培養により適切に感染制御し得た十二指腸潰瘍穿孔術後真菌性胆嚢炎の 1 例．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221126; 福岡.

菅原良太，菅家康之，東條華子，大河内千代，手塚康二，岡野舞子，長塚美樹，八島玲，松嵜正實，片方直人，野水整．当科における遺伝性大腸癌診療の現状．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221126; 福岡.

丸山裕也，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，高野祥直，寺西寧，佐久間秀夫．術前診断が困難であった終末回腸に狭窄症状を呈した回腸憩室炎の一例．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221126; 福岡.

氏家大輔，藤田正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，佐久間芽衣，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. S 状結腸癌術後再発に対し，既存の化学療法に抵抗性を生じるも，pembrolizumab が適応となり長期生存を得た 1 例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

菊池智宏，三村耕作，松石彬，鈴木博也，丸山裕也，佐久間芽衣，圓谷秀哲，深井智司，金田晃尚，氏家大輔，千田峻，楡井東，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

佐久間芽衣，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，花山寛之，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．切除不能進行・再発食道癌に対する Pembrolizumab＋CDDP/5-FU 療法の 12 例の検討．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

佐藤孝洋，齋藤元伸，片方雅紀，深井智司，岡山洋和，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

鈴木博也，金田晃尚，松石彬，佐久間芽衣，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．複合免疫療法と手術による集学的治療が奏功した Stage IV 胃癌の 1 例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

東倉賢治郎，坂本渉，圓谷秀哲，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．再発大腸癌に対する late line での示唆に富むレゴラフェニブ使用経験．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，松本拓朗，菊池智宏，遠藤英成，伊藤美郷，三村耕作，菅家康之，齋藤元伸，佐藤孝洋，片方雅紀，藤田正太郎，坂本渉，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，佐藤孝洋，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，坂本渉，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

深井智司，中嶋正太郎，片方雅紀，佐久間芽衣，佐藤孝洋，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，河野浩二． HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二． 上部消化管癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

梅宮和真，鈴木義行，田巻倫明，佐藤久志，吉本由哉，竹原由佳，伊藤佑輔，河野浩二，三村耕作． 全身性多発転移胃癌に対し，姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行い良好な治療効果が得られた症例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

岡山洋和，片方雅紀，松本拓朗，遠藤英成，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二． Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

片方雅紀，岡山洋和，中嶋正太郎，遠藤英成，叶多諒，深井智司，佐久間芽衣，圓谷秀哲，佐藤孝洋，金田晃尚，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二． 癌間質における TGF-β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

中島隆宏，渡辺洋平，桑原公亀，島貫公義，井上典夫，河野浩二． 切除不能進行再発胃癌に対するニボルマブの使用経験．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二． ロボット支援下直腸切断術後に左大腿神経麻痺を来した 1 例．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

佐藤弘隆，鈴木博也，絹田俊爾，岩田亜弓，井ノ上鴻太郎，林嗣博，産本洋平，萩尾浩太郎，水谷知央． 腹腔鏡下虫垂切除術後に虫垂 Goblet cell carcinoid と診断され腹腔鏡下回盲部切除術を追加した 2 例．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

肥田樹，産本洋平，絹田俊爾，岩田亜弓，鈴木博也，井ノ上鴻太郎，林嗣博，萩尾浩太郎． 巨大メッケル憩室がバンドを形成し内ヘルニアを形成していた一例．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

深井智司，遠藤英成，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二． U-40 から発信する，地方大学医局におけるビデオクリニックの取り組み．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

芦澤舞，遠藤俊吾，五十畑則之，根本鉄太郎． 腹腔鏡補助下結腸切除術の術後在院日数短縮の取り組み．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

井ノ上鴻太郎，岩田亜弓，鈴木博也，産本洋平，林嗣博，萩尾浩太郎，水谷知央，絹田俊爾． 術前化学療法後に根治切除し得た進行食道類基底細胞癌の一例から，食道類基底細胞癌の治療についての検討．第 35 回日本内視

鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

産本洋平，岩田亜弓，鈴木博也，肥田樹，井ノ上鴻太郎，林嗣博，萩尾浩太郎，水谷知央，絹田俊爾，柳田佳嗣，三宅和恵，石丸哲也，川嶋寛. 内視鏡外科技術認定医取得までの私の取り組み，さらなる小児内視鏡外科の進歩に向けて. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

鈴木博也，絹田俊爾，岩田亜弓，井ノ上鴻太郎，林嗣博，産本洋平，萩尾浩太郎，水谷知央. 超高齢者の術前に診断し得た胆嚢捻転症に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

松井田元，大関篤，山口大輝，上野智史，宮澤正紹，又吉一仁，武藤淳. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術を施行した分類不能な動脈走行破格を伴う早期胃癌の 1 例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

岩田亜弓，鈴木博也，井ノ上鴻太郎，産本洋平，林嗣博，萩尾浩太郎，絹田俊爾，水谷知央. S 状結腸膀胱瘻の診断に難渋するもある方法で確定診断に至り腹腔鏡下 S 状結腸切除術を施行した一例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221210; 名古屋.

絹田俊爾，岩田亜弓，鈴木博也，井ノ上鴻太郎，林嗣博，産本洋平，萩尾浩太郎，水谷知央. 当院の胃癌におけるロボットと腹腔鏡の住み分け～ロボット vs 腹腔鏡のデータに基づく現在の着地点～. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221210; 名古屋.

林嗣博，絹田俊爾，岩田亜弓，鈴木博也，井ノ上鴻太郎，産本洋平，萩尾浩太郎，水谷知央. 当院におけるロボット支援下 B-I Δ吻合手技と成績. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221210; 名古屋.

〔その他〕

松井田元，大関篤，山口大輝，上野智史，石井恒，平井文子，宮澤正紹，又吉一仁，武藤淳. 保存的治療非奏功例の検討から考える複雑性虫垂炎に対する治療方針. 第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221126; 福岡.

肝胆膵・移植外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Ishizaki Y, Akatsuka H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Efficacy of a novel large-cell Niti-S stent with a slim delivery system for hilar biliary obstruction: a preliminary study.

Annals of Medicine. 202212; 54(1):953-961.

Kofunato Y, Takahashi A, Gotoh M, Kakeji Y, Seto Y, Konno H, Kumamaru H, Miyata H, Marubashi S. Geriatric Risk Prediction Models for Major Gastroenterological Surgery using the National Clinical Database in Japan: A Multicenter Prospective Cohort Study. Annals of Surgery. 202206; 275(6):1112-1120.

Yoshimoto-Haramura T, Hidaka M, Hasegawa K, Suzumura K, Takemura N, Hama N, Mizuno T, Nomi T, Kobayashi T, Sano K, Yokomizo H, Nitta H, Kurata M, Hasegawa Y, Nagayama M, Tani M, Fukumoto T, Ohta M, Hayashi H, Taniguchi H, Ishino S, Aihara T, Murase T, Tsuchida A, Shimamura T, Marubashi S, Kaneko J, Hara T, Matsushima H, Soyama A, Endo T, Eguchi S. National survey of hepatobiliary and pancreatic surgery in hemophilia patients in Japan. Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences. 202203; 29(3):385-393.

Kumamaru H, Kakeji Y, Fushimi K, Benjamin Ishikawa K, Yamamoto H, Hashimoto H, Ono M, Iwanaka T, Marubashi S, Gotoh M, Seto Y, Kitagawa Y, Miyata H. Cost of postoperative complications of lower anterior resection for rectal cancer: a nationwide registry study of 15,187 patients. Surgery Today. 202212; 52(12):1766-1774.

Sato N, Marubashi S. How is transfusion-associated graft-versus-host disease similar to, yet different from, organ transplantation-associated graft-versus-host disease? Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103406.

Takagi T, Sugimoto M, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Screening for hilar biliary invasion in ampullary cancer patients. World Journal of Gastrointestinal Endoscopy. 202209; 14(9):536-546.

岡田良，石亀輝英，丸橋繁．手術手技　膵空腸吻合における Open up 法．手術. 202203; 76(3):323-328.

千葉裕仁，佐藤佳宏，石山真弓，原島諒，芳賀淳一郎，橋本敏夫，菅野博隆，東孝泰．当院における過去 10 年の腹部臓器損傷症例の検討．米沢市立病院医学雑誌. 202203; 41(1):2-8.

伊勢元晴，佐藤佳宏，石山真弓，千葉裕仁，芳賀淳一郎，橋本敏夫，菅野博隆，東孝泰. COVID-19 感染拡大期下での当科外科手術と消化器癌の変化についての検討．米沢市立病院医学雑誌. 202203; 41(1):24-28.

伊勢元晴，佐藤佳宏，千葉裕仁，芳賀淳一郎，橋本敏夫，菅野博隆. CT/MRI と EUS で異なる画像所見を示し術式選択に苦慮した早期胆嚢癌の一例．米沢市立病院医学雑誌. 202203; 41(1):29-32.

石井芳樹，千葉裕仁，佐藤佳宏，東孝泰，芳賀淳一郎，橋本敏夫，菅野博隆．救急搬送された急性出血性胃潰瘍患者の来院後早期ショックを予測する因子についての検討．米沢市立病院医学雑誌. 202203; 41(1):33-37.

過年業績

Hoshino N, Endo H, Hida K, Kumamaru H, Hasegawa H, Ishigame T, Kitagawa Y, Kakeji Y, Miyata H, Sakai Y. Laparoscopic Surgery for Acute Diffuse Peritonitis Due to Gastrointestinal Perforation: A Nationwide

Epidemiologic Study Using the National Clinical Database. Annals of Gastroenterological Surgery. 202112; 6(3):430-440.

〔総説等〕

Sato N, Marubashi S. What is the optimal surgical treatment for hepatocellular carcinoma beyond the debate between anatomical versus non-anatomical resection? Surgery Today. 202206; 52(6):871-880.

〔症例報告〕

Akamatsu N, Hasegawa K, Nojiri K, Muto K, Shimizu J, Soeda E, Kawagishi N, Marubashi S, Mizuta K, Kaido T, Taketomi A, Ohdan H, Uemoto S, Kokudo N. Long-term quality of life of living liver donors: A Japanese nationwide survey. Liver Transplantation. 202211; 28(11):1800-1803.

Endo Y, Sekino H, Ishii S, Okada R, Kofunato Y, Nakano H, Watanabe Y, Marubashi S, Kono K, Ito H. Two cases of pancreaticoduodenal aneurysm with median arcuate ligament syndrome treated with coil embolization and median arcuate ligament incision. Radiology Case Reports. 202208; 17(10):3663-3668.

國分希美，岡田良，西間木淳，月田茂之，武藤亮，鈴志野聖子，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 肝移植後に橋中心髄鞘崩壊症を発症した患者に対する包括的ケアにおけるレシピエントコーディネーターの役割. 移植. 202205; 57(1):119-124.

西間木淳，佐藤直哉，武藤亮，木村隆，見城明，丸橋繁. 鏡視下に切除した胆嚢管原発神経鞘腫の 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌. 202203; 27(2):78-84.

東孝泰，木暮道彦，岡田良，丸橋繁，寺島信也. 胆嚢皮膚瘻を伴う重症胆嚢炎に対し，保存的治療後に待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術で治療しえた 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌. 202207; 27(4):155-163.

東孝泰，佐藤佳宏，千葉裕仁，芳賀淳一郎. WHO 第 5 版で新規に提唱された appendiceal goblet cell adenocarcinoma の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 202206; 83(6):1103.

岡田良，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，渡邊淳一郎，武藤亮，鈴志野聖子，月田茂之，西間木淳，東孝泰，小鹿山陽介，土佐太朗，木村隆，見城明，丸橋繁. 腹腔鏡補助下膵切除により完全切除できた若年性多発膵インスリノーマの 1 例. 福島医学雑誌. 202204; 72(1):23-29.

東孝泰，木暮道彦. 虫垂神経内分泌腫瘍の一例　WHO 分類による診断の変遷と本邦の症例の検討. 福島医学雑誌. 202212; 72(3):127-133.

〔その他〕

丸橋繁，掛地吉弘，上野秀樹，北川雄光，瀬戸泰之，遠藤格，宮田裕章，今野弘之，後藤満一. NCD データから紡ぐ外科学の進歩　肝胆膵領域における NCD データ解析研究と ACS-NSQIP から学ぶ外科医療成績向上へのステップ. 日本外科学会雑誌. 202211; 123(6):592-595.

千葉裕仁，佐藤佳宏，石山真弓，原島諒，芳賀淳一郎，橋本敏夫，菅野博隆，東孝泰．外傷診療における近年の話題．米沢市立病院医学雑誌. 202203; 41(1):9-16.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Nishimagi A, Sato N, Tsukida S, Muto M, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Metachronous Double De Novo Malignancy After Living Donor Liver Transplantation: A Case Report. Transplantation ScienceSymposium Asian Regional Meeting 2022; 20221125-26; Kyoto.

Sato N, Nishimagi A, Kenjo A, Kofunato Y, Kofunato T, Haga J, Muto M, Tsukida S, Marubashi S. Central Pontine Myelinolysis After Liver Transplantation; A Case Report. Transplantation ScienceSymposium Asian Regional Meeting 2022; 20221125-26; Kyoto.

土佐太朗，石亀輝英，小鹿山陽介，西間木淳，月田茂之，小林拓史，渡邊淳一郎，阿左見亜矢佳，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，鈴木伸康，木村隆，佐藤値，見城明，阿部幹，寺西寧，丸橋繁．膵 Solid-pseudopapillary neoplasm の 2 例．第 56 回東北膵臓研究会; 20220204; Web.

東孝泰，渡辺智，木暮道彦，寺島信也．当院における閉鎖孔ヘルニア治療の取り組み．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．肝胆膵移植外科における若手医師育成の課題と当講座の取り組み．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

大関篤，岡田良，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁．膵 ACTHoma の一切除例．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

小鹿山陽介，土屋貴男．血清 CA19-9 高値であった小腸原発消化管重複症の一例．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

見城明，岡田良，石亀輝英，小船戸康英，木村隆，丸橋繁．医師の働き方改革：消化器領域における特定看護師との協働の可能性について．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

土佐太朗，石亀輝英，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．大腸癌肝転移の染色パターンを呈した肝内胆管粘液癌の一例．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

森友輔，佐藤直哉，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．出血制御を目的とした術前動脈塞栓を用いて安全に切除し得た巨大小腸 GIST の 1 例切除．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

掛地吉弘，丸橋繁，上野秀樹，北川雄光，瀬戸泰之，宮田裕章，今野弘之，後藤満一．消化管領域における

NCD 研究の利活用. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

見城明，丸橋繁，遠藤俊吾，鈴木弘行. 特定行為研修修了者に関する医師・看護師を対象とした院内意識調査ータスク・シフトの促進にむけた課題と対応策の検討ー. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

佐藤直哉，鈴志野聖子，岡田良，石亀輝英，小船戸康英，渡邊淳一郎，月田茂之，西間木淳，木村隆，見城明，丸橋繁. 解剖学的肝切除における術中残肝 ICG クリアランス測定を用いた術後肝不全予測. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

月田茂之，岡田良，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 膵癌に対する膵頭十二指腸切除術後の胆管炎発症リスクの検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

丸橋繁，掛地吉弘，上野秀樹，北川雄光，瀬戸泰之，遠藤格，宮田裕章，今野弘之，後藤満一. 肝胆膵領域における NCD データ解析研究と ACS-NSQIP から学ぶ外科医療成績向上へのステップ. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

渡邊淳一郎，西間木淳，月田茂之，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 切除可能・切除可能境界膵癌に対する術前治療における治療前 CA19-9 の意義. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

山口大輝，佐藤直哉，土佐太朗，西間木淳，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 脾転移を伴った肝細胞癌の切除例. 第 58 回日本肝癌研究会; 20220512-13; 東京/Web.

石亀輝英，武藤亮，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 悪性褐色細胞腫肝転移に対し水圧式ナイフを用いて安全に肝切除を行った 1 例. 第 76 回手術手技研究会; 20220520-21; 佐賀/Web.

東孝泰，渡辺智，木暮道彦. 経鼻胃管を契機に発症した門脈気腫合併胃壁内気腫症に対し保存的加療を施行した一例. 第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

伊藤愛，二見徹，小鹿山陽介，齋藤敬弘，大谷聡，伊東藤男，土屋貴男，三浦純一. SMA 塞栓症により腸癌壊死を来した一例. 第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

木暮道彦，東孝泰. 横行結腸の腺-神経内分泌細胞癌術後、化学療法を行い 4 年 8 ヶ月で再発をきたした 1 例. 第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

土佐太朗，小船戸康英，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 1cm 以下の非機能性 NET の治療方針. 第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

西間木淳，小船戸康英，渡邊淳一郎，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 転移性胆膵腫瘍に対する外科的切除の有用性. 第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

二見徹，土屋貴男，岡田良，草間大輔，小鹿山陽介，齋藤敬弘，大谷聡，伊東藤男，三浦純一．大腸癌患者における術前免疫、栄養状態と予後および病理学的因子との関連．第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

東孝泰，木暮道彦. W-ED チューブによる栄養管理を行った 3 症例．第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会; 20220531-0601；横浜/Web.

東孝泰，木暮道彦．経鼻胃管が原因と思われた胃壁内気腫症と門脈気腫に対し保存的加療で軽快した一例．第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会; 20220531-0601；横浜/Web.

渡邊淳一郎，西間木淳，月田茂之，武藤亮，佐藤直哉，小船戸康英，芳賀淳一郎，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁．再発肝癌に対して腹腔鏡下再肝切除術を行った 4 例．福島肝胆膵外科セミナー; 20220604; Web.

Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. The relationship between perioperative nutritional indicators and prognosis in pancreatic head region cancer. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukita S, Muto M, Suzushino S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. An institutional experience of simultaneous pancreas-kidney transplantation. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine neoplasms in pancreas: A report of two cases. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Kusama D, Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Intracholecystic papillary neoplasm with pancreaticobiliary maljunction: a case report. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Nishimagi A, Kenjo A, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. Peripheral intrahepatic cholangiocarcinoma with biliary tumor thrombus extending into the common bile duct; a case report. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Sato N, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Construction of tissue-engineered islet cell sheet supplemented with adipose-derived stem cells. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

Watanabe J, Tosa T, Nishimagi A, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Evaluation of adjuvant chemotherapy after curative resection for extrahepatic bile duct cancer. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11；松山.

芳賀淳一郎，見城明，木村隆，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，佐藤佳宏，渡邊淳一郎，武藤亮，月田茂之，西間木淳．腹腔鏡下手術を施行した未破裂脾動脈瘤の 2 例．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会;

20220701; 山形/Web.

佐藤直哉，見城明，西間木淳，石亀輝英，小船戸康英，渡辺淳一郎，武藤亮，月田茂之，木村隆，丸橋繁. MR elastography を用いた移植肝グラフトの線維化診断. 第 40 回日本肝移植学会学術集会; 20220707-08; 東京/Web.

西間木淳，佐藤直哉，見城明，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，丸橋繁. 生体肝移植術後 de novo 上皮内有棘細胞癌の 1 例. 第 40 回日本肝移植学会学術集会; 20220707-08; 東京/Web.

佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，土佐太郎，木村隆，見城明，丸橋繁. 1 型糖尿病に対する膵島移植 update～実施に向けた福島医大の取り組み～. 福島糖尿病 UPDATE セミナー; 20220715; Web.

石亀輝英，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 膵癌における脈管侵襲度（Vessel Invasion Severity）評価の有用性の検討. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

岡田良，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，土佐太朗，木村隆，見城明，丸橋繁. 膵体尾部神経内分泌腫瘍に対する低侵襲手術の有用性. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

見城明，西間木淳，鈴志野聖子，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，丸橋繁. 膵頭十二指腸切除後の合併症の発症及び重症化予測因子の解析. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

小船戸康英，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 肝内胆管癌における術後補助化学療法の意義. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，土佐太郎，木村隆，見城明，丸橋繁. 当科における切除可能/切除境界膵癌に対する術前化学放射線治療の成績. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

菅原良太，佐藤直哉，丸橋繁. 外傷性膵損傷 6 例の検討. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

土佐太朗，石亀輝英，丸橋繁. 大腸癌肝転移の染色パターンを呈した肝内胆管粘液癌の一例. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

西間木淳，佐藤直哉，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 腹腔鏡下再肝切除の短期成績. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

長谷川誠，佐藤直哉，丸橋繁. 門脈喫状切除を要した肝門部領域胆管癌に対し，IMV patch graft を用いた再建を行い，5 年無再発を得た 1 例. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

森友輔，佐藤直哉，丸橋繁. 腫瘍内出血を来しコントロールに難渋した巨大空腸 GIST を切除した 1 例. 第 77 回

日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

山口大輝，佐藤直哉，丸橋繁. 同時性単発性脾転移を来した再発肝細胞癌の 1 切除例. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

渡邊淳一郎，土佐太朗，西間木淳，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 当科における十二指腸乳頭部癌 R0 切除症例の検討. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

石亀輝英. 肝胆膵外科領域における MIS への取り組み（当講座の経験より）. 福島消化器疾患セミナー; 20220916; Web.

草間大輔，岡田良，二見徹，齋藤敬弘，伊藤藤男，土屋貴男. 当院での大腸癌における budding の予後規定因子としての検討. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

菅原良太，佐藤直哉，西間木淳，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 当院における外傷性膵損傷 6 例の検討. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

高間明，岩館学，月田茂之，大平広道. 化学療法が奏効した原発不明癌の 1 例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

二見徹，岡田良，草間大輔，齋藤敬弘，伊東藤男，土屋貴男. 脳性麻痺患者に生じた上行結腸軸捻転の一例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

森友輔，佐藤直哉，西間木淳，月田茂之，武藤亮，芳賀淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 腫瘍出血で Oncologic emergency を呈し、術前動脈塞栓を行い切除した巨大小腸 GIST の 1 例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

山口大輝，佐藤直哉，要知輝，土佐太朗，西間木淳，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 脾転移を伴った再発肝細胞癌の 1 切除例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

武藤亮，石亀輝英，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，芳賀淳一郎，小船戸康英，木村隆，見城明，丸橋繁. 胆管癌における microRNA-X による腫瘍増殖抑制と UHRF1 発現変化の解析. 第 81 回日本癌学会学術総会; 20220929-1001; 横浜.

丸橋繁，小船戸康英，髙橋新，後藤満一，上野秀樹，掛地吉弘，北川雄光，瀬戸康之，今野弘之，隈丸拓，宮田裕章. 高齢者に対する消化器外科手術成績と、高齢者アウトカム予測モデルの確立. 第 44 回日本臨床栄養学会総会・第 43 回日本臨床栄養協会総会・第 20 回大連合大会; 20221007-09; 盛岡.

石亀輝英，西間木淳，月田茂之，武藤亮，渡邊淳一郎，佐藤直哉，芳賀淳一郎，小船戸康英，木村隆，見城明，丸橋繁. 胆管切離断端に組織的癌遺残（R1）を認めた症例における術前検査の後方視的検討. 第 58 回日本胆道学会学術集会; 20221013-14; 横浜.

見城明，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，芳賀淳一郎，石亀輝英，岡田良，木村隆，丸橋繁. 成人生体肝移植における術後胆管狭窄に関する検討ー胆道再建法変更による

効果ー. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

佐藤直哉，見城明，西間木淳，小船戸康英，石亀輝英，渡邊淳一郎，武藤亮，月田茂之，芳賀淳一郎，木村隆，丸橋繁. 脂肪由来幹細胞（ADSC）を付加は、膵島細胞シートの移植効率を改善する. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

鈴志野聖子，佐藤直哉，武藤亮，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と肝細胞の二層化における細胞間接着の検討. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

田中秀明，滝口和暁，南洋輔，清水裕史，西間木淳，佐藤直哉，丸橋繁. 肝移植後の創離開に対し PICO®7 創傷治療システムが有効であった一小児例. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

鈴志野聖子，佐藤直哉，武藤亮，小船戸康英，芳賀淳一郎，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 脂肪由来幹細胞と肝細胞の二層化における細胞間接着の効果. 第 48 回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20221104-05; 広島.

武藤亮. 胆道癌に対する術後補助化学療法の検討. 第 35 回東北膵・胆道癌研究会; 20221105; Web.

武藤亮. 胆管癌に対する術後補助化学療法の検討. うつくしま肝胆膵外科フォーラム 2022; 20221112; 郡山/Web.

石亀輝英，西間木淳，月田茂之，武藤亮，佐藤直哉，芳賀淳一郎，小船戸康英，木村隆，見城明，丸橋繁. 成人発症の肝間葉性過誤腫が疑われる肝腫瘍の 1 切除例. 第 26 回日本外科病理学会学術集会; 20221118-19; 富山.

小船戸康英，西間木淳，月田茂之，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 導入時期におけるロボット支援下膵体尾部切除術の短期成績. 第 14 回膵臓内視鏡外科研究会; 20221123; 福岡.

芳賀淳一郎，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，武藤亮，月田茂之，西間木淳，木村隆，見城明，丸橋繁. ICG 蛍光法が有用であった再発巨大肝嚢胞の対する腹腔鏡下天蓋切除の一例. 第 16 回肝臓内視鏡外科研究会; 20221123; 福岡.

石亀輝英，見城明，丸橋繁. 高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌における外科治療の意義. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125-26; 仙台/Web.

東孝泰，木暮道彦，寺島信也. 横行結腸，脾臓，膵体尾部が嵌入した食道裂孔ヘルニアに対し腹腔鏡下に胃壁固定を行い修復した一例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208-10; 名古屋.

月田茂之，小船戸康英，西間木淳，武藤亮，渡邊淳一郎，佐藤直哉，芳賀淳一郎，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 当科における腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の短期・中期成績. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208-10; 名古屋.

〔シンポジウム〕

佐藤直哉，渡邊淳一郎，小船戸康英，岡田良，丸橋繁. 当科における切除可能/切除境界膵癌に対する術前化学放射線治療の成績. 日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

小船戸康英，高橋新，後藤満一，掛地吉弘，瀬戸泰之，今野弘之，隈丸拓，宮田裕章，丸橋繁．高齢者の外科医療品質向上に向けた高齢者リスクモデルの構築．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

小船戸康英，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．当教室での腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除術．第 47 回日本外科系連合学会学術集会; 20220615-17; 盛岡.

月田茂之，佐藤直哉，木村隆，見城明，丸橋繁．当科における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion Surgery の成績．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会; 20220701; 山形/Web.

〔特別講演〕

小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．腹腔鏡下肝切除術の課題～安全性を重視した教育の面から～．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

丸橋繁．肝移植医療に取り組んだ 20 年と、福島での奮闘．第 4 回山口肝移植診療検討会; 20220310; 宇部.

丸橋繁．肝胆膵・移植外科におけるパラダイムシフトと福島での取り組み．第 2 回信州消化器外科手術手技セミナー; 20220425; Web.

丸橋繁．肝胆膵・移植外科におけるパラダイムシフトと福島での取り組み. 5th Toyama Surgical Seminar; 20220701; Web.

丸橋繁．健康長寿に向けたフレイル・ロコモ対策～各領域内および領域横断的取り組みの現状・課題と展望～．第 31 回日本医学会公開フォーラム; 20220716; Web.

〔招待講演〕

見城明．臓器移植とチーム医療．医療系出前講座　福島県立磐城高等学校; 20220916; いわき.

〔その他〕

芳賀淳一郎．消化器外科の縫合のコツ～運針を究める～．消化器外科専門医をめざすセミナー; 20220617; Web.

丸橋繁．外科系科・癌診療の立場から．第 31 回日本医学会公開フォーラム; 20220716; Web.

佐藤直哉．手術記録のすすめ．消化器外科専門医をめざすセミナー; 20220930; Web.

小船戸康英．外科患者の高齢化と新たな試み～高齢者に対する消化器外科手術診療指針の要点と ePRO アプリ～．日本消化器病学会東北支部第 24 回教育講演会; 20221002; Web.

岡田良．当院のがん性疼痛への取り組み．がん患者さんのトータルケアを考える会 in 須賀川; 20221129; 須賀川/Web.

呼吸器外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Fukuhara M, Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. The clinical significance of tertiary lymphoid structure and its relationship with peripheral blood characteristics in patients with surgically resected non-small cell lung cancer: a single-center, retrospective study. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202205; 71(5):1129-1137.

Kotake M, Imai H, Kaira K, Endoh H, Yamada Y, Kaburagi T, Kiyoshima M, Sugiyama T, Nakamura Y, Kasai T, Matsuguma H, Minemura H, Kanazawa K, Suzuki H, Fujita A, Minato K. Clinical Outcomes of Postoperative Adjuvant Chemotherapy for Surgically Resected High-Grade Pulmonary Neuroendocrine Carcinoma. Chemotherapy. 202208; 67(3):142-151.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 202203; 5(1):134-144.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，井上卓哉，山浦匠，福原光朗，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳，塩豊，鈴木弘行. 非小細胞肺癌でのβ-Catenin発現と免疫チェックポイント阻害薬の治療効果. 癌と化学療法. 202209; 49(9):947-949.

〔総説等〕

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

鈴木弘行. Current Organ Topics：Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌　肺癌診療における最新のトピックス 2022　総括. 癌と化学療法. 202208; 49(8):835-836.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，井上卓哉，山浦匠，福原光朗，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳，塩豊，鈴木弘行. 【複合がん免疫療法】肺癌におけるβ-Catenin に注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服. 癌と化学療法. 202209; 49(9):928-931.

武藤哲史，鈴木弘行. 未来の専門医を育てる！　福島県立医科大学呼吸器外科での学生・若手医師への教育. 胸部

外科. 202207; 75(7):534-536.

倉富勇一郎，鈴木弘行．シンポジウム 2「Immuno-Oncology 時代のがん治療」司会者のまとめ．日本気管食道科学会会報. 202204; 73(2):77.

鈴木弘行，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，尾崎有紀，渡部晶之，井上卓哉，福原光朗，山浦匠，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳，塩豊．《外科学再興特別企画》癌に対する免疫治療 New Era　癌に対する複合免疫療法の新展開　外科医でなければできないこと．日本外科学会雑誌. 202201; 123(1):95-97.

樋口光徳，鈴木弘行．【最新臨床肺癌学－診断・治療の最新動向－】進化する肺癌臨床　肺癌検診への AI 活用. 日本臨床. 202212; 80(増刊 8):66-70.

鈴木弘行．特別企画　福島県近代医学教育 150 年顕彰記念シンポジウム総説　福島県立医科大学が目指すがん治療－地域に根ざした先進医療の実践－．福島医学雑誌. 202212; 72(3):109-113.

〔症例報告〕

Kubota Y, Han Q, Masaki N, Hozumi C, Hamada K, Aoki Y, Obara K, Tsunoda T, Hoffman RM. Elimination of Axillary-Lymph-Node Metastases in a Patient With Invasive Lobular Breast Cancer Treated by First-line Neo-adjuvant Chemotherapy Combined With Methionine Restriction. Anticancer Research. 202212; 42(12):5819-5823.

Takagi H, Matsumura Y, Fukuhara M, Inomata S, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Saito H, Tanabe H, Shimabukuro M, Suzuki H. Ectopic adrenocorticotropic hormone-secreting carcinoid with solitary cryptococcosis in the lungs. Cancer Reports. 202211; 5(11):e1731.

Matsumura Y, Yamaguchi H, Watanabe K, Suzuki H. Lateral- or prone-position video-assisted thoracic surgery for dumbbell-type posterior mediastinal tumors: pros and cons. Indian Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202207; 38(4):430-433.

Matsumura Y, Fukuhara M, Tanabe H, Yamaguchi H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. Thoracoscopic resection of posterior mediastinal paraganglioma: perioperative management and surgical tips. Journal of Cardiothoracic Surgery. 202206; 17(1):143.

Inomata S, Matsumura Y, Kobayashi Y, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. Lung adenocarcinoma coexisting with diffuse idiopathic pulmonary neuroendocrine cell hyperplasia manifesting as multiple pulmonary nodules: A case report. Thoracic Cancer. 202211; 13(21):3076-3079.

Watanabe M, Matsumura Y, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Fukuhara M, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. Large cell neuroendocrine carcinoma of the lung controlled for 4 years by a single administration of pembrolizumab: A case report. Thoracic Cancer. 202210; 13(19):2817-2822.

髙木玄教，武藤哲史，福原光朗，猪俣頌，山口光，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木

弘行. 術中に使用したソフト凝固が原因と考えられた遅発性の気管支穿孔の 1 例. 気管支学. 202201; 44(1):44-49.

樋口光徳，**小泉達彦**，**鈴木朋子**，**斎藤美和子**，**押部郁朗**，**添田暢俊**，**齋藤拓朗**，**新妻一直**，**鈴木弘行**. 肺癌術後の気管支瘻による呼吸不全に対して，片側を閉鎖した Dumon stent を用いることで回復し得た 1 例. 気管支学. 202205; 44(3):221-227.

山口光，**武藤哲史**，**猪俣頌**，**渡部晶之**，**尾崎有紀**，**岡部直行**，**松村勇輝**，**塩豊**，**鈴木弘行**. 経気管支生検ののち自然消退したが、4 ヵ月後に再増大を認めた肺扁平上皮癌の 1 例. 肺癌. 202204; 62(2):103-106.

Fujiu K, Utsumi Y, Omi F, Suzuki M, Suzuki H. Two Cases of Retroperitoneal Fibrosis During Anti-programmed Cell Death 1 Antibody Treatment. 肺癌. 202212; 62(7):1044-1047.

尾崎有紀，**武藤哲史**，**鈴木理**，**鈴木弘行**. CT で充実性結節を示しリンパ節転移を来していた微少浸潤性腺癌の 1 手術例. 肺癌. 202210; 62(5):389-394.

村上美紀，**鈴木詩子**，**井上稜太**，**髙橋智子**，**野地成子**，**渡部智恵子**，**松村勇輝**，**佐野秀樹**，**斎藤純平**. 福島県立医科大学附属病院における特定臨床研究の現状ーアンケート調査よりー. 薬理と治療. 202212; 50(Suppl.2):s166-s171.

〔その他〕

鈴木弘行. 編集後記. 日本免疫治療学会誌. 202212; 10:39.

書籍等出版物

鈴木弘行. 臨床編　3 章　治療効果の評価，診断　Keyword 8. がん免疫療法の有効性の評価. In: 吉村清. がん免疫ペディア　腫瘍免疫学・がん免疫療法の全てをまるごと理解！ 東京: 羊土社; 202203. p.90-91.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Matsumura Y, Hayasaka K, Ohira T, Shiono S, Abe J, Suzuki H, Okada Y. EGFR mutation Is Not a Risk Factor for Postoperative Recurrence of Lung Adenocarcinoma on Long Follow-up of a Multi-Institutional Cohort. IASLC 2022 World Conference on Lung Cancer; 20220807; Vienna, Austria. Journal of Thoracic Oncology. 17(9 Supplement):S51-S52.

Muto S, Inomata S, Mine H, Watanabe M, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Immune Escape Mechanisms Mediated by B-Catenin in Non-small Cell Lung Cancer. IASLC 2022 World Conference on Lung Cancer; 20220807; Vienna, Austria. Journal of Thoracic Oncology. 17(9 Supplement):S126.

岡部直行，**猪俣頌**，**渡部晶之**，**尾崎有紀**，**武藤哲史**，**松村勇輝**，**塩豊**，**峯村浩之**，**金沢賢也**，**鈴木弘行**. 当院

における胸腺癌に対するレンバチニブ 3 例の使用経験. 第 41 回日本胸腺研究会; 20220211; Web.

本庄統，横内浩，西原広史，原田敏之，天野虎次，菊池創，大泉聡史，浦本秀隆，田中文啓，原田真雄，菅谷文子，藤田結花，高村圭，小島哲弥，樋口光徳，南幸範，西村正治，鈴木弘行，秋田弘俊，磯部宏. Prognostic significance of OX40^{+} lymphocytes in tumor stroma of surgically resected small-cell lung cancer. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220219; 京都/Web.

岡部直行，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 外科的切除を施行した胸腺癌における腫瘍免疫関連因子の検討. 第 38 回東北肺癌研究談話会; 20220219; Web.

大杉純. CASPIAN レジメンの有効性の検討. 肺がん治療セミナー in Fukushima; 20220310; Web.

山浦匠. 進展型小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬併用療法の経験. 肺がん治療セミナー in Fukushima; 20220310; Web.

武藤哲史. 当科における肺癌薬物療法の現状. がん免疫と VEGF セミナー; 20220315; Web.

尾崎有紀. 肺癌術後気管支瘻の術前リスク評価と術中気管支断端被覆の妥当性. 令和 3 年度 FMU 成果報告会; 20220323; 福島/Web.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 肺癌における β-catenin を介した免疫逃避メカニズムとその克服. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本/Web. 抄録集. SF-014-1.

樋口光徳，横内浩，原田敏之，山崎成夫，浦本秀隆，菊池創，秋江研志，菅谷文子，藤田結花，高村圭，小島哲弥，本庄統，南幸範，渡部直己，大泉聡史，西村正治，鈴木弘行，秋田弘俊，磯部宏. 小細胞肺癌患者の予後予測因子としての OX40 陽性リンパ球の重要性. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本/Web. 抄録集. SF-014-5.

見城明，丸橋繁，遠藤俊吾，鈴木弘行. 特定行為研修修了者に関する医師・看護師を対象とした院内意識調査－タスク・シフトの促進にむけた課題と対応策の検討－. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本/Web. 抄録集. SF-056-1.

松村勇輝，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，福原光朗，武藤哲史，岡部直行，長谷川剛生，塩豊，樋口光徳，鈴木弘行. 三次リンパ様構造はがん免疫療法後の非小細胞肺癌における特有の病理学的所見である. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本/Web. 抄録集. SF-145-8.

渡部晶之，猪俣頌，山口光，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 術後再発 LCNEC に対するプラチナ併用療法＋ICI による治療効果の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web. 抄録集. DP-090-2.

岡部直行，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 胸部大血管合併切除を行った胸腺上皮腫瘍手術症例の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web. 抄録集. DP-160-7.

岡部直行. 非小細胞肺癌 1 次治療におけるニボルマブ+イピリムマブの使用経験. Surgical Immunology Conference 2022; 20220422; Web.

長谷川剛生. 非小細胞肺癌 1 次治療におけるニボルマブ+イピリムマブの使用経験. Surgical Immunology Conference 2022; 20220422; Web.

武藤哲史, **猪俣頌**, **渡部晶之**, **尾崎有紀**, **岡部直行**, **松村勇輝**, **塩豊**, **鈴木弘行**. β-catenin 陽性非小細胞肺癌の抗腫瘍免疫逃避メカニズム. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O10-5.

猪俣頌, **渡部晶之**, **尾崎有紀**, **武藤哲史**, **岡部直行**, **松村勇輝**, **塩豊**, **鈴木弘行**. 多発肺内結節の診断に難渋し複合免疫療法後にサルベージ手術を施行した肺腺癌の一例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O12-6.

峯勇人, **松村勇輝**, **猪俣頌**, **山口光**, **髙木玄教**, **渡部晶之**, **尾崎有紀**, **福原光朗**, **山浦匠**, **武藤哲史**, **岡部直行**, **長谷川剛生**, **樋口光徳**, **塩豊**, **鈴木弘行**. がん免疫療法後に手術を施行した非小細胞肺癌における病理学的特徴. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O17-1.

山口光, **樋口光徳**, **鈴木弘行**. オシメルチニブ投与後にサルベージ手術を行い、長期間の病勢コントロールが得られたⅣ期肺腺癌の 2 例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O18-6.

松村勇輝, **早坂一希**, **阿部二郎**, **塩野知志**, **鈴木弘行**, **岡田克典**. EGFR 遺伝子変異が肺腺癌の術後再発予測因子か検証するための多施設共同後向き観察研究. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O21-4.

藤生浩一, **鈴木弘行**. ペムブロリズマブ投与中に発症した後腹膜線維症の 1 例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O22-6.

岡部直行, **猪俣頌**, **峯勇人**, **渡部晶之**, **尾崎有紀**, **武藤哲史**, **松村勇輝**, **塩豊**, **鈴木弘行**. 胸部大血管合併切除を伴う胸腺上皮腫瘍手術 9 症例の検討. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O35-6.

髙木玄教, **武藤哲史**, **福原光朗**, **塩豊**, **鈴木弘行**. 右 B1+3 の転位気管支と上下葉間の分葉不全を有し広範囲に進展した右肺癌の一例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O73-3.

丸谷慶将, **山浦匠**, **峯勇人**, **鈴木弘行**. 恒久的ペースメーカー植込み後、右心房リード穿通による右気胸の一例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O75-1.

東倉賢治郎, **山浦匠**, **峯勇人**, **鈴木弘行**. 肺癌術後、乳糜心膜症により心タンポナーデに陥った一例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O101-7.

尾崎有紀，山口光，猪俣頌，渡部晶之，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 肺癌術後気管支瘻の術前リスク評価と術中気管支断端被覆の妥当性. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O102-2.

渡部晶之，猪俣頌，山口光，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 術前 3D-CT で診断した左上肺静脈還流異常を合併した左上葉肺癌の 1 切除例. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):P7-2.

長谷川剛生，大杉純. 術直後に対側肺完全虚脱の緊張性気胸を生じた VATS 肺生検に関する報告. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):P36-4.

武藤哲史，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 肺癌における β-catenin による免疫逃避と、薬物療法が与える影響. 第 19 回日本免疫治療学会学術集会; 20220522; 東京/Web.

松村勇輝，猪俣頌，山口光，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，塩豊，鈴木弘行. ペムブロリズマブ単回投与にて 4 年間完全寛解を維持している肺大細胞神経内分泌癌の術後再発の一例. 第 19 回日本免疫治療学会学術集会; 20220522; 東京/Web.

長谷川剛生，大杉純. 気管支鏡検査後医原性気胸となり胸腔鏡手術による確定診断を要した非結核性抗酸菌症の一例. 第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20220527-28; 岐阜/Web. 気管支学. 44(Suppl):S262.

大杉純，藤嶋康祐，叢岳，長谷川剛生，野間聖，本荘浩，藤生浩一. 肺癌の胸腔内穿破により発症した有瘻性膿胸に対して N-butyl-2-cianoacrylate（NBCA）の塞栓が奏功した一例. 第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20220527-28; 岐阜/Web. 気管支学. 44(Suppl):S325.

松村勇輝，山口大輝，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，塩豊，鈴木弘行. 気管分岐部の所謂‘右肩’を主座とする腺様嚢胞癌に対して気管気管支楔状切除を施行した一例. 第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20220527-28; 岐阜/Web. 気管支学. 44(Suppl):S348.

髙木玄教，武藤哲史，福原光朗，塩豊，鈴木弘行. 上下葉の分葉不全を伴う気管気管支に下葉まで進展した右上葉肺癌を合併した一例. 第 45 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20220527-28; 岐阜/Web. 気管支学. 44(Suppl):S357.

山浦匠. 進展型小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬併用療法の経験. Lung Cancer Conference 2022 in 会津; 20220601; Web.

鈴木智大，松村勇輝，藤宮剛，石田圭一，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，塩豊，横山斉，鈴木弘行. 左房粘液腫手術待機中に急激に増大し，先行して手術を施行した肺多形癌の一例. 第 181 回東北外科集談会・第 107 回日本胸部外科学会東北地方会; 20220618; 仙台/Web.

安藤光毅，渡部晶之，猪俣頌，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，塚田泰彦，鈴木弘行. 高エネルギー外傷による BT シャント断裂で大量血胸を発症した 1 例. 第 181 回東北外科集談会・第 107 回日本胸部外科学会東北地方会; 20220618; 仙台/Web.

髙木玄教，武藤哲史，福原光朗，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 非小細胞肺癌へのICI投与で発生した内分泌障害9例の検討. 第31回日本癌病態治療研究会; 20220623; 鳴門/Web.

岡部直行，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，武藤哲史，松村勇輝，鈴木弘行. Durvalumab完遂後の残存腫瘍に悪性細胞を認めたが腫瘍の縮小を認めた肺癌の一例. 第44回日本癌局所療法研究会; 20220701; 豊中.

武藤哲史. 当院における肺がん周術期治療について. テセントリク講演会ー周術期　適応拡大ー; 20220707; 福島/Web.

大杉純. 当院における肺がん周術期治療の現状と課題. テセントリク講演会ー周術期　適応拡大ー; 20220707; 福島/Web.

武藤哲史. 当院における肺癌周術期治療と腫瘍免疫. 県中県南呼吸器内科呼吸器外科肺がん治療勉強会; 20220713; Web.

岡部直行. 当科におけるロボット支援下拡大胸腺摘出術の実際. 第16回東北呼吸器外科手術手技研究会; 20220723; 仙台.

川又諒，松村勇輝，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，鈴木弘行. 気腔内散布を伴う肺腺癌であった多発すりガラス結節の一切除例. 第61回日本肺癌学会東北支部会・第48回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20220730; 仙台.

藤生浩一，大杉純，叢岳，藤嶋康祐. 肺癌化学放射線治療後8年目に発症した肺膿瘍に，気管支塞栓と膿瘍腔洗浄で治療した1例. 第61回日本肺癌学会東北支部会・第48回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20220730; 仙台.

武藤哲史. 術後再発におけるタグリッソの使用経験. 呼吸器外科医のための肺がん治療Seminar in 福島; 20220915; 福島/Web.

武藤哲史. 肺癌周術期治療におけるirAEマネジメントの重要性. 福島県肺がんチーム医療ワークショップ; 20220917; Web.

佐藤弘隆，山浦匠，塩豊. 縦隔胚細胞腫瘍と小細胞肺癌が併存した一例. 第182回東北外科集談会・第108回日本胸部外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

丸谷慶将，松村勇輝，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，鈴木弘行. 右同時性多発肺腺癌に対して胸腔鏡下右上葉+S*区域切除を施行した一例. 第182回東北外科集談会・第108回日本胸部外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

川島萌，峯勇人，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行. 悪性リンパ腫に合併した肺硝子化肉芽腫症の1例. 第182回東北外科集談会・第108回日本胸部外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

實野和澄，塩豊，山浦匠. 自然気胸に対する胸腔穿刺脱気法の検討. 第182回東北外科集談会・第108回日本胸

部外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

滝口和暁，**南洋輔**，**清水裕史**，**鈴木弘行**，**田中秀明**. 当科における小児先天性嚢胞性肺疾患に対する胸腔鏡補助下肺葉切除の経験. 第 182 回東北外科集談会・第 108 回日本胸部外科学会東北地方会; 20220924; 郡山/Web.

松村勇輝，**猪俣頌**，**峯勇人**，**渡部晶之**，**尾崎有紀**，**武藤哲史**，**岡部直行**，**塩豊**，**塚田泰彦**，**鈴木弘行**. ファロー四徴症根治術 18 年後の外傷性血胸および縦隔血腫の一例. 第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20221006; 横浜. 抄録集. LCV1-3.

叢岳，**藤嶋康祐**，**大杉純**，**藤生浩一**，**本多通孝**，**中島淳**. 単孔式胸腔鏡下肺区域切除の切除マージン確保のための肺区域面先行形成の工夫と成績. 第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20221006; 横浜. 抄録集. LOP7-3.

叢岳，**藤嶋康祐**，**大杉純**，**藤生浩一**，**本多通孝**，**中島淳**. 続発性気胸の気瘻部位検索における CT/4D-CT を用いた胸腔造影の検査性能の評価試験. 第 75 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20221005-08; 横浜. 抄録集. P1-7.

髙木玄教. irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～. 第 4 回 irAE を考える会 in 福島; 20221013; Web.

岡部直行. RATS 右上葉切除の手術手技. 福島 RATS Seminar; 20221021; 福島.

山浦匠. RATS 右上葉切除の手術手技. 福島 RATS Seminar; 20221021; 福島.

大杉純. RATS 右上葉切除の手術手技. 福島 RATS Seminar; 20221021; 福島.

南洋輔，**滝口和暁**，**清水裕史**，**郷勇人**，**佐藤真紀**，**鈴木弘行**，**田中秀明**. 心房中隔欠損症を合併した先天性肺気道奇形に対する新生児期手術後に肺高血圧を呈した 1 例. 第 32 回日本小児呼吸器外科研究会; 20221027; 岡山.

岡部直行. 各県の取り組み紹介. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium in 南東北 2022; 20221028; Web.

渡部晶之，**猪俣頌**，**峯勇人**，**尾崎有紀**，**武藤哲史**，**岡部直行**，**松村勇輝**，**鈴木弘行**. Ipilimumab+Nivolumab 投与後に気管狭窄を来した進行肺癌の一例. 第 73 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20221103; 宜野湾. 日本気管食道科学会会報. 74(2):s47.

濵田和幸，**磯部順哉**，**平澤優弥**，**倉増敦朗**，**細沼雅弘**，**馬場勇太**，**鈴木梨沙子**，**鶴井敏光**，**入口菜々**，**石黒智之**，**大熊遼太朗**，**有泉裕嗣**，**久保田祐太郎**，**堀池篤**，**和田聡**，**吉村清**，**角田卓也**. 固形がん患者における抗 PD-1 抗体の治療有効例と免疫学的有害事象発症例に多い腸内細菌の同定. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

Mitsudomi T, Ito H, Okada M, Sugawara S, Shio Y, Tomii K, Okami J, Sakakura N, Kubota K, Takamochi K, Atagi S, Tsuboi M, Oizumi S, Ikeda N, Ohde Y, Ntambwe I, Cai J, Mahmood J, Tanaka F. Neoadjuvant Nivolumab + Chemotherapy for Resectable NSCLC: CheckMate 816 Japan Subgroup Analysis. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):487.

Tanaka F, Ito H, Okada M, Sugawara S, Shio Y, Tomii K, Okami J, Sakakura N, Kubota K, Takamochi K,

Atagi S, Tsuboi M, Oizumi S, Ikeda N, Ohde Y, Ntambwe I, Mahmood J, Cai J, Mitsudomi T. Neoadjuvant Nivolumab + Chemo for Resectable NSCLC: CheckMate 816 Surgical Outcomes in Japanese Pts. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):489.

大浦光章，山浦匠，峯勇人，鈴木弘行. 進展型小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬併用療法. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):584.

松村勇輝，早坂一希，阿部二郎，塩野知志，鈴木弘行，岡田克典. 肺腺癌における EGFR 変異と多発肺癌の関連. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):592.

樋口光徳，山口光，鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対する化学療法後のサルベージ手術施行例の臨床像と成績. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):604.

峯勇人，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行. ロボット支援下肺葉切除は低侵襲手術か. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):607.

奥村典仁，山本寛斉，宗淳一，鈴木弘行，中田昌男，藤原俊哉，玄馬顕一，佐野功，藤永卓司，片岡正文，寺崎泰宏，藤本伸一，片岡和彦，堀田勝幸，吉岡弘鎮，森田智視，松尾恵太郎，坂本純一，伊達洋至，豊岡伸一. 高齢者肺癌に対する術後補助化学療法～S-1 の連日投与および隔日投与のランダム化第二相試験（SLCG1201）～. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):619.

山浦匠，峯勇人，加藤茉莉，大浦光章，鈴木弘行. 非切除進行非小細胞肺癌 Multiplex 遺伝子検索解析が初回治療に与える影響. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):628.

大杉純，秦明登，角俊行，吉岡弘鎮，藤阪保仁，三井匡史，太田登博，守田亮，森田智視，片上信之. アファチニブからオシメルチニブへの逐次投与：前向き観察研究（Gio-Tag Japan）. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):659.

岡部直行，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，武藤哲史，松村勇輝，鈴木弘行. 当院における剣状突起下アプローチによるロボット支援下拡大胸腺摘出術導入の実際. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):683.

猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行. 局所進行期切除不能非小細胞肺癌に対する根治的化学放射線療法後の Durvalumab 維持療法による治療効果の検討. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221203; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):706.

加藤茉莉，山浦匠，塩豊，鈴木弘行. ALK 融合遺伝子変異進行肺癌合併妊娠の一例. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):725.

山口光，樋口光徳，鈴木弘行. 抗 PD-1 阻害薬耐性獲得後，集学的治療，抗 PD-L1 阻害薬の re-challenge により cCR に至った StageIVB 肺腺癌の一例. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):735.

髙木玄教，武藤哲史，福原光朗，塩豊，浅野重之，鈴木弘行. 脳転移に伴い組織型および PD-L1 発現に変化を生じた左上葉腺扁平上皮癌の一例. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221202; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):735.

山口大輝，渡部晶之，猪俣頌，峯勇人，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行．ロボット支援下に摘出したシェーグレン症候群合併胸腺 MALT リンパ腫の 1 例．第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201-03; 福岡/Web．肺癌. 62(6):768.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，峯勇人，渡部晶之，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行．当院における術後補助療法としてのアテゾリズマブの使用経験．第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201-03; 福岡/Web．肺癌. 62(6):774.

渡部晶之，猪俣頌，峯勇人，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行．オシメルチニブ減量投与による抗腫瘍効果の検討．第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201-03; 福岡/Web．肺癌. 62(6):781.

〔シンポジウム〕

長谷川剛生（ディスカッサント）．ディスカッション　がん遺伝子パネル検査を肺癌でどう活用するか？ 県中県南呼吸器内科呼吸器外科肺がん治療勉強会; 20220113; 郡山/Web.

鈴木弘行，樋口光徳，塩豊，松村勇輝，岡部直行，武藤哲史，尾崎有紀，渡部晶之，猪俣頌．肺癌診療における AI の役割：画像診断支援を中心に．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520; 東京/Web．日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):WS1-2.

武藤哲史（パネリスト）. Q&A セッション　臨床試験解釈の Tips & Traps. TAIHO Web Lecture on Lung Cancer; 20220606; Web.

鈴木弘行．福島県立医科大学が目指すがん治療～地域に根ざした先進医療の実践～．福島県近代医学教育 150 年顕彰記念シンポジウム　地方医療と先進医療にどう貢献するか; 20220611; 福島/Web.

髙木玄教（ジュニアディスカッサント）. HT(Hokkaido Tohoku)-NEXT 症例検討会 2022 年春の陣．第 107 回日本胸部外科学会東北地方会; 20220618; 仙台/Web.

松村勇輝，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，福原光朗，武藤哲史，岡部直行，塩豊，樋口光徳，鈴木弘行．三次リンパ様構造はがん免疫療法後の非小細胞肺癌における特有の病理学的所見である．第 31 回日本癌病態治療研究会; 20220624; 鳴門/Web.

大杉純（パネリスト）．パネルディスカッション　術後再発のタグリッソの治療経験～副作用マネジメント含めて～．呼吸器外科医のための肺がん治療 Seminar in 福島; 20220915; 福島/Web.

福原光朗（パネリスト）．パネルディスカッション　術後再発のタグリッソの治療経験～副作用マネジメント含めて～．呼吸器外科医のための肺がん治療 Seminar in 福島; 20220915; 福島/Web.

鈴木弘行（演者・パネリスト）．パネルディスカッション　経験から学ぶ irAE マネジメント～長期の生存延長を目指すために～. I-O Next Steps Seminar 2022; 20220924; Web.

大杉純（ディスカッサント）．ディスカッション．肺癌 NGS セミナー in Aizu; 20221116; Web.

大杉純（ディスカッサント）. ディスカッション. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20221122; Web.

山浦匠（ディスカッサント）. ディスカッション. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20221122; Web.

髙木玄教（ディスカッサント）. ディスカッション. Chugai Lung Cancer Seminar in Fukushima; 20221122; Web.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行. 肺癌に対する免疫療法と TR 研究. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

鈴木弘行，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，尾崎有紀，渡部晶之，井上卓哉，福原光朗，塩豊，山浦匠，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳. 腫瘍の微小環境に着目したバイオマーカー研究. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221203; 福岡/Web. 肺癌. 62(6):513.

〔特別講演〕

鈴木弘行. 呼吸器外科医による肺癌免疫療法. 県中県南呼吸器内科呼吸器外科肺がん治療勉強会; 20220113; 郡山/Web.

鈴木弘行. AI を活用した肺がん検診. 第 35 回埼玉県肺がん検診セミナー; 20220129; さいたま/Web.

山浦匠. シークエンス治療を見据えた EGFR 変異非小細胞肺癌治療－EGFR- TKI+ Ramucirumab 療法－. Lilly 呼吸器外科 interactive web seminar; 20220617; Web.

鈴木弘行. 肺がん治療の最前線. 昭和大学腫瘍内科研究進捗報告会; 20220714; Web.

鈴木弘行. 肺がん外科治療の今後の展望. Science of Tissue Management から学ぶ合併症軽減の可能性～呼吸器外科編～; 20220716; 福井.

鈴木弘行. EGFR 遺伝子変異陽性肺癌に対するこれからの治療を考える. 山形 Lung Cancer Surgery and Medication; 20220903; 山形/Web.

鈴木弘行. 肺癌外科治療の新展開. 第 3 回秋田胸部外科研究会; 20221014; 秋田/Web.

鈴木弘行. 呼吸器外科医が考える複合免疫療法の意義. 秋田県 Lung Cancer Seminar; 20221027; 秋田/Web.

武藤哲史. 基礎から学べるがん遺伝子パネル検査と肺癌診療での使い方. 二本松薬剤師会　第 5 回がんを学ぶ会; 20221110; Web.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新たな幕開け～IMpower010 試験を中心に～. Chugai Lung Cancer Seminar for Thoracic Surgery in 青森; 20221111; Web.

武藤哲史. 基礎から考える肺癌免疫治療～現状と今後の展望～. KEYTRUDA® がん免疫療法 Lung Cancer Web Seminar; 20221114; Web.

鈴木弘行. 周術期治療における ADAURA 試験の位置付け. 肺癌周術期治療オンラインセミナー; 20221214; Web.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する複合免疫療法 Update～5 年の使用経験を踏まえて～. MSD Lung Cancer Symposium; 20221219; Web.

〔招待講演〕

鈴木弘行（ゲスト）. 徹底討論　大学病院での AI 活用法－胸部 CT 読影支援 AI による全科での肺がん徹底チェックー; 20220203; Web.

大杉純. 小細胞肺がんの治療. PLUS CHUGAI Web 講演会; 20220427; 郡山/Web.

鈴木弘行. 呼吸器外科医が考える肺癌に対する免疫療法. 第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220521; 東京/Web.

武藤哲史. 肺癌における β-catenin による免疫逃避と、薬物療法が与える影響. 第 3 回日本免疫治療学会次世代リーダー育成プログラム; 20220521; 東京/Web.

鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する最新の治療戦略～薬物療法の効果を最大限に引き出すために～. MSD NSCLC Web Seminar 2022; 20220616; Web.

武藤哲史. ディスカッション　ケーススタディ. Lilly 呼吸器外科 interactive web seminar; 20220617; Web.

鈴木弘行. EGFR 陽性肺癌の術後再発症例に対するタグリッソの有用性. AstraZeneca Lung Cancer Symposium; 20220624; Web.

鈴木弘行. 呼吸器外科医が考える肺癌に対する免疫療法～ASCO2022 Update～. 第 36 回日本肺癌学会ワークショップ; 20220702; 東京/Web.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新展開. Lung Cancer Medical Symposium in Kansai; 20220726; Web.

鈴木弘行. 外科医目線で考えるこれからの肺癌治療. NSCLC I-O Web Seminar; 20220728; Web.

武藤哲史. 周術期における肺がん治療. 第 8 回日本医薬品安全性学会学術大会; 20220821; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する治療の進歩～周術期治療の今後の展望～. 免疫チェックポイント阻害剤－現在そして未来－; 20220902; 東京.

大杉純（講師）. アイスブレイキング. 令和 4 年度がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 in 白河; 20220903; 白河.

大杉純（講師）. 療養場所の選択と地域連携. 令和 4 年度がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 in 白河; 20220903; 白河.

鈴木弘行. 肺癌周術期治療の新たな幕開け～IMpower010 試験を中心に～. 第 190 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会; 20221105; 東京/Web.

武藤哲史. 肺癌術後補助化学療法における免疫療法への期待. North Japan Web Seminar on Lung Cancer; 20221109; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療の新たな展開～周術期治療の展望を含めて～. Lung Cancer Symposium in Kagawa 2022; 20221110; 高松/Web.

鈴木弘行. *EGFR* 遺伝子変異陽性肺がんの最新の治療戦略. 第 68 回日本病理学会秋期特別総会; 20221118; 盛岡.

鈴木弘行. imAE の実際と施設マネジメント体制の工夫～当科での経験を含めて～. imAE Clinical Conference for Lung Cancer; 20221121; Web.

岡部直行. 当科における ICI 療法の経験と今後. Lung Cancer Web Seminar in Fukushima; 20221124; Web.

鈴木弘行. ICI 時代の肺がん外科治療を考える. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201; 福岡/Web.

鈴木弘行. 福島医大が実践する最新のがん治療～福島医大はこう治す～. 令和 4 年度福島学院大学第 3 回人材寄付講座; 20221213; 福島.

〔その他〕

松村勇輝. 外科医の日常とキャリアパス. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20220408; 福島/Web.

福原光朗. 外科医の日常とキャリアパス. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20220408; 福島/Web.

武藤哲史. グループワーク　がん症例における治療マネジメントの検討. 福島県肺がんチーム医療ワークショップ; 20220917; Web.

髙木玄教. グループワーク　がん症例における治療マネジメントの検討. 福島県肺がんチーム医療ワークショップ; 20220917; Web.

渡部晶之（演者）. 症例提示& Discussion　自施設における肺癌遺伝子パネル検査の取り組み. 呼吸器外科医が診る～肺癌遺伝子パネル検査～; 20220928; Web.

大杉純（演者）. 症例提示& Discussion　自施設における肺癌遺伝子パネル検査の取り組み. 呼吸器外科医が診る～肺癌遺伝子パネル検査～; 20220928; Web.

大杉純（ディスカッサー）. ディスカッション. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium in 南東北 2022; 20221028; Web.

鈴木弘行（アドバイザー）．ディスカッション　肺癌における周術期治療. Chugai Lung Cancer Seminar for Thoracic Surgery in 青森; 20221111; Web.

武藤哲史. 呼吸器外科の魅力とやりがい～周術期治療の現状も添えて～. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20221125; Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

鈴木弘行. 39 診療科全てに肺結節検出 AI を導入、運用までの一部始終ー鈴木弘行福島県立医大病院長インタビュー　Vol. 1. m3.com AI ラボ. 20220127.

鈴木弘行. 医療事故防止の保険と考えると AI のコストは桁違いに安価ー鈴木弘行福島県立医大病院長インタビュー　Vol .2. m3.com AI ラボ. 20220202.

鈴木弘行，**佐治重衡**，**黒田純子**，**武藤哲史**. Challengers　肺がん診療の現場から　免疫関連有害事象に対応する多職種チームのこれまでとこれから（中外製薬株式会社インタビュー資材）. 202202.

武藤哲史. J-AXEL 試験の結果からⅣ期非小細胞肺癌二次治療の明日を考える　北日本肺癌オンライン座談会　医療従事者向け資材「NSCLC 2 次治療を検討する座談会」記録集. 202207.

鈴木弘行，**黒田純子**. 医療安全改革アクションプラン策定への取り組み　タスク・シフティングの推進で医師の働き方改革を. 日本化薬　診療報酬 INFO ナビ　エキスパートインタビュー. 20220930.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤で変わる肺がんの周術期治療. 株式会社フェーズワン WEB サイト「14live（医師ライブ）　LUNG CANCER」出演. 20221204.

乳腺外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Aruga T, Doihara H, Yanagita Y, Ishida T, Yamashita T, Uehara K, Taira T, Tsurutani J, Takeshita T, Tsuyuki S, Kaneko K, Ohtake T, Yamaguchi Y, Hara Y, Saji S. Evaluation of a novel medical device for pegfilgrastim administration. Cancer Science. 202205; 113(5):1763-1770.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N,

Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 202203; 5(1):134-144.

Saji S, Taira N, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Morita S, Ohno S, Toi M. Switch maintenance endocrine therapy plus bevacizumab after bevacizumab plus paclitaxel in advanced or metastatic oestrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer (BOOSTER): a randomised, open-label, phase 2 trial. Lancet Oncology. 202205; 23(5):636-649.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

Bhardwaj A, Rojo RD, Ju Z, Koh A, Tachibana K, Wang J, Bedrosian I. The molecular heterogeneity of the precancerous breast affects drug efficacy. Scientific Reports. 202207; 12(1):12590.

野田勝，立花和之進，阿部貞彦，星信大，村上祐子，岡野舞子，吉田清香，相楽浩哉，菅野薫，野水整，君島伊造，阿部力哉，大竹徹，福島県保健衛生協会乳がん検診精度管理委員会. 福島県における対策型乳癌がん検診の取り組みと成績. 日本乳癌検診学会誌. 202203; 31(1):87-92.

岡野舞子，大竹徹，高部和明. 80 歳台の乳癌は不良な腫瘍免疫微小環境と関連しており生存率が低い. 光が丘. 202204; (51):72-74.

〔総説等〕

野田勝，大竹徹. 転移・再発トリプルネガティブ乳癌に対する新たな治療戦略　免疫チェックポイント阻害薬. 大原記念財団年報. 202208; 58:23-28.

大竹徹. がんの個性に合わせた治療. 日本臨床内科医会会誌. 202206; 37(1):18-22.

〔その他〕

Ozaki A, Tachibana K, Ohtake T. Correction to: Challenges and future directions in breast cancer care in Fukushima prefecture in Japan: correspondence to "A survey on the current status of clinical resources for diagnosis and treatment of breast cancer in rural hospitals of the Tohoku region in Japan". Breast Cancer. 202201; 29(1):191.

大竹徹. 乳がん　20 年で 3 倍に. 福島民報. 20221024.

書籍等出版物

佐治重衡，野田勝，阿部宣子，大竹徹. 乳房のがん. In: 医療情報科学研究所. がんがみえる. 東京: メディックメディア; 202202. p.388-411.

大竹徹. リンパ浮腫の予防、診断、治療. In: 戸井雅和. 乳癌診療 state of the art：科学に基づく最新診療. 東京: 医歯薬出版; 202209. p.324-327.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Hoshi N, Tachibana K, Uemura T, Nishimagi Y, Noda M, Okano M, Abe S, Ohtake T, Waguri S. Protein expression and subcellular localization of a clathrin adaptor AP-1 associate with tumor growth activity in breast cancer. San Antonio Breast Cancer Symposium 2022; 20221207; Sanantonio, USA.

叶多諒，**近内政美**，**菅家康之**，**大河内千代**，**岡野舞子**，**八島玲**，**片方直人**，**勝部暢介**，**田畑憲一**，**野水整**. 遺伝子検査で HBOC と判明した大腸癌多発家系. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台/Web.

阿部貞彦，**星信大**，**村上祐子**，**野田勝**，**阿部宣子**，**立花和之進**，**吉田清香**，**喜古雄一郎**，**橋本優子**，**大竹徹**. CRRM を施行し偶発的に DCIS を認めた 1 例. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

勝部暢介，**後藤かおり**，**長塚美樹**，**岡野舞子**，**松嵜正實**，**片方直人**，**野水整**. 当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）診療の体制整備と現況. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

渡部茉佑，**岡野舞子**，**勝部暢介**，**後藤かおり**，**長塚美樹**，**菊池智宏**，**八島玲**，**松嵜正實**，**片方直人**，**野水整**. 多重癌の既往歴と濃厚な家族歴から Lynch 症候群が疑われたが遺伝性乳癌卵巣癌症候群であった 1 例. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

名取穣，**須賀淳子**，**徳田恵美**，**立花和之進**，**今井順一**，**本間玲子**，**阿左見祐介**，**野田勝**，**佐々木栄作**，**渡邉慎哉**，**大竹徹**，**佐治重衡**. Ubiquitin ligase NEDD4 promotes degradation of estrogen receptor in breast cancer and affects prognosis. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220217; 京都/Web.

浅川真有，**岡野舞子**，**後藤かおり**，**長塚美樹**，**松嵜正實**，**片方直人**，**野水整**. 妊娠期乳癌の一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

阿部貞彦，**東條華子**，**星信大**，**村上祐子**，**野田勝**，**立花和之進**，**中村泉**，**喜古雄一郎**，**橋本優子**，**大竹徹**. 腋窩部腺癌に対して腋窩郭清を施行した 2 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

菅野あづみ，**長塚美樹**，**後藤かおり**，**岡野舞子**，**松嵜正實**，**片方直人**，**勝部暢介**，**野水整**. MRI サーベイランスを契機に発見された術後 12 年対側乳癌の手術と同時に術後温存乳房 RRM と RRSO を施行した HBOC の 1 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

東條華子，**阿部貞彦**，**星信大**，**村上祐子**，**野田勝**，**岡野舞子**，**立花和之進**，**吉田清香**，**中村泉**，**喜古雄一郎**，**橋本優子**，**大竹徹**. 乳腺血管肉腫の 2 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

野田勝（座長）. 若手セッション. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

野田勝，東條華子，阿部貞彦，星信大，村上祐子，岡野舞子，立花和之進，吉田清香，大竹徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するトラスツズマブデルクステカンの使用経験. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

平栗あかり，長塚美樹，岡野舞子，松嵜正實，片方直人，野水整. 四肢の結節性紅斑を合併した Corynebacterium kroppenstedtii による乳腺炎の一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

村上祐子，東條華子，阿部貞彦，星信大，野田勝，岡野舞子，立花和之進，吉田清香，喜古雄一郎，橋本優子，大竹徹. 視力低下を伴う乳癌副鼻腔転移に対して集学的治療が奏功した 1 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

高木孝亮，岡野舞子，後藤かおり，長塚美樹，松嵜正實，片方直人，勝部暢介，野水整. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対しリスク低減乳房切除術およびリスク低減卵管卵巣摘出術を行った一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220301-06; Web.

野田勝，立花和之進，阿部貞彦，星信大，村上祐子，岡野舞子，喜古雄一郎，橋本優子，大竹徹. 乳癌術後に出現・拡大した皮膚病変. 第 35 回北福島乳腺カンファレンス; 20220326; Web.

星信大，立花和之進，阿部貞彦，村上祐子，野田勝，喜古雄一郎，橋本優子，大竹徹. 症例提示. 第 35 回北福島乳腺カンファレンス; 20220326; Web.

阿部貞彦，星信大，村上祐子，野田勝，立花和之進，喜古雄一郎，和栗聡，大竹徹. 乳癌における p62/SQSTM-1 の発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

岡野舞子，押正徳，齋藤勝治，河野浩二，大竹徹，高部和明. 乳癌 PDX モデルにおいて、同所性移植の方が皮下移植よりも優れた生着およびより速い成長を達成する. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

入江絹子，石崎莉子，佐藤真由，松村奈津子，森龍彦，花見由華，山本俊幸，星信大，喜古雄一郎. 乳頭に腫瘤状病変を呈した乳房 paget 病の 1 例. 第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220625; 弘前/Web.

佐藤真由，石崎莉子，高田満喜，石川真郷，平岩朋子，大塚幹夫，山本俊幸，野田勝. 乳癌術後の放射線照射野の発症した血管肉腫の 1 例. 第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624; 弘前/Web.

大竹徹（座長）. ミニポスター発表　画像診断①. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220701; 横浜/Web.

長塚美樹，後藤かおり，岡野舞子，松嵜正實，片方直人，勝部暢介，野水整. 当院で行った HBOC 症例に対するリスク低減手術の実際～保険適応前後での変化～. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220701; 横浜/Web.

阿左見亜矢佳，阿左見祐介，鈴木伸康，佐藤直，立花和之進，大竹徹. 高齢者乳癌に対する周術期治療と経過

観察について. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

阿部貞彦, **東條華子**, **星信大**, **村上祐子**, **野田勝**, **岡野舞子**, **立花和之進**, **田村直輝**, **植村武文**, **喜古雄一郎**, **橋本優子**, **和栗聡**, **大竹徹**. 乳癌における p62/SQSTM-1 の発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

岡野舞子, **後藤かおり**, **長塚美樹**, **松嵜正實**, **片方直人**, **野水整**. 当院における AYA 世代乳癌患者の状況と今後の展望について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

片方直人, **後藤かおり**, **長塚美樹**, **大河内千代**, **岡野舞子**, **松嵜正實**, **野水整**, **二瓶光博**. 術前薬物療法を施行した HER2 陽性乳癌の検討. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

高木孝亮, **長塚美樹**, **後藤かおり**, **岡野舞子**, **松嵜正實**, **片方直人**, **勝部暢介**, **野水整**. 当院で保険適応後に HBOC と診断され RRM と RRSO を同時に行った 4 例. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

立花和之進. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネイジメント. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

東條華子, **野田勝**, **阿部貞彦**, **星信大**, **村上祐子**, **岡野舞子**, **立花和之進**, **吉田清香**, **大竹徹**. パクリタキセルで病勢が制御された乳房温存術後の放射線誘発性血管肉腫の 1 例. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

野田勝, **立花和之進**, **東條華子**, **阿部貞彦**, **星信大**, **村上祐子**, **岡野舞子**, **吉田清香**, **大竹徹**. BRCA1/2 遺伝子学的検査の保険適応拡大による乳癌診療の変化. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

平栗あかり, **岡野舞子**, **勝部暢介**, **長塚美樹**, **松嵜正實**, **片方直人**, **旭修司**, **菅野康吉**, **野水整**. Multi gene panel 検査において ATM 遺伝子病的バリアントが判明した乳癌症例. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

星信大, **阿部貞彦**, **東條華子**, **村上祐子**, **野田勝**, **岡野舞子**, **立花和之進**, **吉田清香**, **大竹徹**. 当施設におけるホルモン受容体陽性転移再発・進行乳癌に対する CDK4/6 阻害薬の使用状況について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

村上祐子, **東條華子**, **阿部貞彦**, **星信大**, **野田勝**, **岡野舞子**, **立花和之進**, **吉田清香**, **喜古雄一郎**, **橋本優子**, **大竹徹**. 視力低下を伴う乳癌副鼻腔転移に対して集学的治療が奏功した 1 例. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

吉田美香子, **北島由菜**, **金澤麻衣子**, **石田孝宣**, **佐治重衡**, **大竹徹**, **小島祥敬**, **佐藤冨美子**, **川尻舞衣子**, **武石陽子**, **中村康香**, **吉沢豊予子**. 乳がん内分泌療法中の女性における閉経関連尿路生殖器症候群の実態. 第 24 日本女性骨盤底医学会; 20220702; さいたま.

管野由佳, **野田勝**, **東條華子**, **阿部貞彦**, **星信大**, **村上祐子**, **岡野舞子**, **立花和之進**, **吉田清香**, **大竹徹**. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネジメント. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 福島/Web.

立花和之進. 当院における HBOC 診療～見えてきた課題と今後の展望～. 第 18 回東北 Breast Cancer Workshop; 20221007; 仙台/Web.

阿部貞彦. 症例提示. 第 36 回北福島乳腺カンファレンス; 20221008; Web.

金田侑大，尾崎章彦，川上浩彬，浅野重之，井内康輝，廣岡信一，上遠野歩，高木莉子，小坂真琴，村山安寿，澤野豊明，島村泰輝，坪倉正治，黒川友博，立花和之進，和田真弘，谷本哲也，大竹徹，北村直幸，江尻友三，馬籠英之，新村浩明，神崎憲雄. 東日本大震災と福島第一原発事故後の浜通りにおける乳癌センチネルリンパ節生検の術中迅速病理診断におけるテレパソロジーの応用. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

金田侑大，尾崎章彦，小寺康博, Divya Bhandari, **小林奈緒美，高松克守，笠井唯史，荒井めぐみ，高崎順子，齋藤宏章，澤野豊明，金本義明，佐藤裕之，坪倉正治，黒川友博，立花和之進，和田真弘，谷本哲也，大竹徹，江尻友三，新村浩明，神崎憲雄**. 東日本大震災後の福島沿岸部における乳がんリンパ浮腫に関する質的調査. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

高野綾，笠原龍一，神保和美，森下慎一郎，藤田貴昭，西間木祐子，安田満彦，山本優一. 当院における axillary web syndrome の有病率と患者特性の予備的研究. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

舟見敬成，石澤真奈美，阿左見亜矢佳，阿左見祐介，寺西寧，大竹徹，佐藤聡見，森下慎一郎. 化学療法前後における乳癌患者に対する運動療法の効果～心機能と運動耐容能の変化～. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

立花和之進，野田勝，阿部貞彦，星信大，村上祐子，岡野舞子，大竹徹. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネージメント. 第 24 回 SNNS 研究会学術集会; 20221105; 金沢.

〔シンポジウム〕

片方直人，後藤かおり，長塚美樹，大河内千代，岡野舞子，松嵜正實，野水整，二瓶光博，佐治重衡. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対するパルボシクリブ投与例の治療成績と次治療について. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

星信大，東條華子，阿部貞彦，村上祐子，野田勝，岡野舞子，立花和之進，吉田清香，大竹徹. ホルモン受容体陽性転移再発・進行乳癌における当施設での CDK4/6 阻害薬の使用状況. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

立花和之進（診断部門講師）. 教育セミナー　周術期化学療法の最適化～適応とレジメン. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

渡辺隆紀，立花和之進，片方直人. ディスカッション. WEB 講演会～骨粗鬆症治療をニューノーマルな視点から再考する～; 20220311; Web.

立花和之進（ディスカッサント）. 実臨床下での irAE の経験と対処（肺障害編）. 乳がん診療医のための irAE

Webinar～実臨床の事例から学ぶ～; 20220317; Web.

野田勝，立花和之進，阿部貞彦，星信大，村上祐子，岡野舞子，吉田清香，大竹徹．シンポジウム 7　エネルギーデバイスを使用した腋窩郭清術のコツと臨床成績「バイポーラシザーズを用いた腋窩郭清術のポイントと臨床成績」．第 47 回日本外科系連合学会学術集会; 20220616; 盛岡.

大竹徹（座長）．ポスターディスカッション　放射線診断（画像診断）．第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630; 横浜/Web.

岡野舞子（ディスカッサント）．HER2 陽性乳癌の実地臨床における治療について. Fukushima Breast Cancer Symposium 2020; 20221011; Web.

野田勝（ディスカッサント）．irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～. 第 4 回 irAE を考える会 in 福島; 20221013; Web.

立花和之進．共催シンポジウム 1　HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease-guided approach を踏まえた治療方針～. 第 24 回 SNNS 研究会学術集会; 20221104; 金沢.

立花和之進（ディスカッサント）．乳がん薬物療法において、Shared Decision Making をどう実践するか. 乳がん治療における SDM 検討セミナー～患者との治療法決定プロセスを再考する～; 20221125; 札幌/Web.

立花和之進（ディスカッサント）．TNBC への ICI 治療に関して. 中外 e セミナー on Breast Cancer in Tohoku; 20221129; Web.

西間木祐子（ディスカッサント）．外来化学療法の患者負担軽減を目指したジーラスタボディーポッドの活用. 乳がん講演会 2022 in Fukushima; 20221217; Web.

〔特別講演〕

立花和之進．知ってください「乳がん」のこと. 福島県「学生予防サポーター養成事業」出前講義; 20220127; 福島.

立花和之進．乳がんについて. 学生予防サポーター養成セミナー; 20220208; 福島.

大竹徹（座長）．イブニングセミナー6　化学療法による脱毛軽減を目指した国産頭皮冷却装置の過去・現在・未来. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220217; 京都/Web.

大竹徹（座長）．スポンサードセミナー3　ホルモン受容体陽性 HER2 陰性早期乳癌患者に対する OncotypeDX の意義及び今後の展開を考える. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220302; Web.

大竹徹（座長）．スポンサードセミナー7　フルベストラント+CDK4/6 阻害剤併用療法の現在と未来. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220302; Web.

大竹徹（座長）．スポンサードセミナー11　術後ホルモン療法のストラテジーと QOL. 第 19 回日本乳癌学会東

北地方会; 20220305; Web.

大竹徹（座長）. 教育講演　乳癌診療における最新の放射線治療と免疫放射線療法. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

立花和之進. マンモグラフィ読影・画像と病理の解説. 令和 3 年度福島県医師会乳がん検診ドクター講習会; 20220312; 郡山.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease guided therapy を踏まえた治療方針～. 中外 e セミナー on Breast Cancer; 20220517; Web.

立花和之進. イブニングセミナー　HBOC 診療から紐解くチーム医療の重要性. チームオンコロジーセミナーオールジャパン 2022～日本のみんなとつながるがんチーム医療～; 20220521; 仙台.

立花和之進. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌治療におけるフルベストラントについて再考する. 2022 Osaka Breast Cancer Online Symposium; 20220610; Web.

立花和之進. イブニングセミナー6　“いま”Bevacizumab の役割とは？～Post CDK4/6 阻害剤～. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630; 横浜/Web.

立花和之進. 乳がんの術後薬物療法におけるベージニオの臨床活用について. Akita Breast Cancer Discussion; 20220706; 秋田.

野田勝. 中外製薬社内講演会. 中外製薬社内研修会; 20220720; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease guided therapy を踏まえた治療方針～. 関東北甲信越 中外 e セミナー on Breast cancer; 20220721; Web.

立花和之進. 乳癌の術後薬物療法におけるベージニオの臨床活用について. 東北・新潟 BC Interactive Web Conference; 20220729; Web.

大竹徹. 転移再発乳癌の薬物療法アップデート. 福島県北乳癌診療学術セミナー; 20220826; 福島.

立花和之進. 乳癌治療薬の最新情報と副作用マネジメントについて. Breast Cancer Web Seminar; 20220826; Web.

立花和之進. エンハーツの使用経験と適正使用について. Breast Cancer Web Seminar in Fukushima; 20220831; Web.

大竹徹. 福島県のがん対策の現況. 第 5 回福島県がんシンポジウム; 20220911; 福島.

大竹徹. 福島県のがん対策と課題. 福島県議会議員による大竹徹先生を囲む会; 20220924; 福島.

立花和之進. 乳がんとその予防について. 大切な人を守る学生「がん予防」メイト養成事業; 20221003; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residualdisease guided approach を踏まえた治療方針～. Fukushima Breast Cancer Symposium 2022; 20221011; Web.

立花和之進. 乳癌治療で使用する内服薬からみた医師と薬剤師の関わり方について. 薬薬連携講演会～乳腺外科医と共に考える～; 20221013; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳癌の周術期治療を考える～Residual disease guided approach を踏まえた治療方針～. 西讃地区 乳がん Expert Seminar 2022; 20221014; Web.

大竹徹. 乳がん検診の動向と HBOC 診療の現況. 令和 4 年度会津乳がん検診研修会; 20221018; 会津若松.

大竹徹（座長）. Special Lecture. 二本松薬剤師会　第 6 回がんを学ぶ会; 20221111; Web.

立花和之進. 乳がん診療における多職種連携～患者満足度向上を目指して～. 二本松薬剤師会　第 6 回がんを学ぶ会; 20221111; Web.

岡野舞子. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群について、疾患概念から今後の展望まで. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20221115; 郡山.

立花和之進. 乳がんについて. がん検診促進出前講座; 20221116; 福島.

立花和之進（座長）. 行政説明・特別講演. 第 10 回ふくしま病院連携ネットワーク講演会; 20221122; Web.

立花和之進. 患者中心の意思決定を目指して～効果的な SDM の実践について～. 乳がん治療における SDM 検討セミナー～患者との治療法決定プロセスを再考する～; 20221125; 札幌/Web.

大竹徹. 周術期乳癌薬物療法の治療選択とジーラスタボディーポットの位置づけ. Breast Cancer Web Seminar in Sapporo; 20221201; 札幌.

立花和之進. Residual disease guided approach を踏まえた HER2 陽性乳がんに対する周術期治療～患者さんに納得して治療を受けてもらうために私が大切にする IC のコツ～. YOKOHAMA ブレストセミナー; 20221201; Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease-guided approach を踏まえた治療方針～. CHUGAI BREAST CANCER SYMPOSIUM in SHIGA; 20221202; Web.

立花和之進. ジーラスタボディーポッドの登場によって変わる乳癌周術期薬物療法のマネージメント. 乳癌学術講演会 in 岩手; 20221213; Web.

大竹徹. 福島県におけるがん対策の現状. 患者会ピンクのリボン 乳がんほっとサロン～乳がん専門医の講演&茶話会～; 20221218; 福島.

立花和之進. 乳がん診療における Sared Decision Making の実践とチーム医療の構築. 患者会ピンクのリボン 乳

がんほっとサロン～乳がん専門医の講演&茶話会～; 20221218; 福島.

立花和之進. 自施設での irAE マネジメントの取り組み. MSD Breas Cancer Symposium; 20221221; Web.

立花和之進. 乳癌治療における FN マネジメントにジーラスタボディーポッドをどう活用するか? 福島県病院薬剤師会 郡山支部 学術講演会; 20221222; Web.

〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌治療における FN 管理について再考する. 乳癌 FN マネジメント in Fukushima 2022; 20220524; Web.

立花和之進. 転移性再発乳癌に対する治療とフォローアップの考え方. 社内教育研修会; 20220905; Web.

立花和之進. 乳がんの治療と診断～転移再発後を中心に～. 第一三共社内研修会; 20220908; Web.

立花和之進. 社内研修会. 協和キリン社内研修会; 20220928; Web.

〔その他〕

岡野舞子（座長）. 保険収載された HBOC 診療の当院と高知県における現状と課題. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

立花和之進（座長）. メディカルスタッフセミナー　HBOC 診療の現状と将来への展望を考える. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

立花和之進（司会）. 総合討論. MEET THE EXPERT in 福島 Web Forum of HALAVEN－OS 延長を目指した治療ストラテジーの追求－; 20220520; Web.

松嵜正實, **後藤かおり**, **長塚美樹**, **岡野舞子**, **片方直人**, **野水整**, **二瓶光博**, **橋本優子**. マンモグラフィーにおける石灰化病変の取り扱い（ポスターディスカッション）. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630; 横浜/Web.

大竹徹. 女性のための医療と健康　定期的ながん検診を. 20221001; 福島民友.

立花和之進. がんの早期発見！がん検診の大切さ. なんでかんで見っせ！ 20221203; テレビユー福島（テレビ放映）.

心臓血管外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Nishi H, Yokoyama H, Yaku H, Doi K, Nishimura Y, Abe K, Tsukui H, Tabata M, Okamoto K, Park YK, Matsuda H. Efficacy of simulation training for beating heart coronary anastomosis using BEAT + YOUCAN simulator. Asian Cardiovascular and Thoracic Annals. 202207; 30(6):661-668.

Nakamura M, Yaku H, Ako J, Arai H, Asai T, Chikamori T, Daida H, Doi K, Fukui T, Ito T, Kadota K, Kobayashi J, Komiya T, Kozuma K, Nakagawa Y, Nakao K, Niinami H, Ohno T, Ozaki Y, Sata M, Takanashi S, Takemura H, Ueno T, Yasuda S, Yokoyama H, Fujita T, Kasai T, Kohsaka S, Kubo T, Manabe S, Matsumoto N, Miyagawa S, Mizuno T, Motomura N, Numata S, Nakajima H, Oda H, Otake H, Otsuka F, Sasaki KI, Shimada K, Shimokawa T, Shinke T, Suzuki T, Takahashi M, Tanaka N, Tsuneyoshi H, Tojo T, Une D, Wakasa S, Yamaguchi K, Akasaka T, Hirayama A, Kimura K, Kimura T, Matsui Y, Miyazaki S, Okamura Y, Ono M, Shiomi H, Tanemoto K; Japanese Circulation Society Joint Working Group. JCS/JSCVS 2018 Guideline on Revascularization of Stable Coronary Artery Disease. Circulation Journal. 202202; 86(3):477-588.

Yokoyama H, Sawa Y, Arai H. The Japanese society for cardiovascular surgery, the Japanese association for thoracic surgery and the Japanese association for coronary artery surgery do not endorse Chapter 7.1 in the 2021 ACC/AHA/SCAI Coronary Revascularization Guidelines. General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202205; 70(5):417-418.

Shibasaki I, Usui A, Morita S, Motomura N, Haruyama Y, Yokoyama H. Sociodemographic and work-related factors influencing long working hours among cardiovascular surgeons in Japan: a cross-sectional study. Industrial Health. 202202; 60(1):16-28.

Tanemoto K, Yokoyama H, Okita Y, Ueda Y, Takamoto S, Yaku H, Bando K, Hashimoto K. Cardiovascular surgery training in Japan. Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202201; 163(1):166-175.e5.

Igarashi T, Sato Y, Satokawa H, Takase S, Iwai-Takano M, Seto Y, Yokoyama H. Ratio of the false lumen to the true lumen is associated with long-term prognosis after surgical repair of acute type A aortic dissection. JTCVS Open. 202206; 10:75-84.

Watanabe T, Iwai-Takano M, Saitoh H, Kanazawa K, Igarashi T, Fujimiya T, Ohira T. A normal pattern of mitral inflow predicts a better prognosis following cardiovascular events in early advanced-age patients. Scientific Reports. 202206; 12(1):9594.

高瀬信弥. 【循環管理のすべてー研修医からの質問 443ー】急性大動脈症候群　大動脈瘤　治療　胸部大動脈瘤.

救急・集中治療. 202204; 34(1):288-293.

佐戸川弘之，横山斉，高瀬信弥，若松大樹. 静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法　DOAC とくに経口直接 Xa 阻害薬について. 静脈学. 202202; 33(1):7-14.

柴崎郁子，碓氷章彦，塩瀬明，森田茂樹，横山斉，日本心臓血管外科学会外科医師活動支援委員会男女共同参画 WG. 待ったなしの働き方改革への対応・対策　心臓血管外科領域における時間外労働時間「年 960 時間」以上勤務に影響する因子の検討. 日本外科学会雑誌. 202201; 123(1):104-108.

高瀬信弥. 【災害後の血栓症】東日本大震災における福島県内避難所における DVT 予防啓蒙活動および発生状況からの考察. 日本血栓止血学会誌. 202212; 33(6):639-647.

池創一，濱野公一，小野稔，横山斉. COVID-19 による本邦心臓血管外科診療への影響と感染対策に関する全国アンケート調査. 日本心臓血管外科学会雑誌. 202203; 51(2):89-95.

村松賢一，石田圭一. 無菌性膿瘍から SLE の診断がついた急性 A 型大動脈解離の一例. 脈管学. 202206; 62(6):35-38.

書籍等出版物

高瀬信弥，横山斉. 3. 冠動脈疾患　冠動脈バイパス術の適応　On-pump Beating CABG と Conventional CABG の使い分け. In: 坂東興 責任編集, 長田信洋 手術画. 心臓血管外科手術基本手技（心臓血管外科手術エクセレンス 1）. 東京: 中山書店; 202204. p.207-209.

高瀬信弥. 災害と下肢深部静脈血栓症　足のむくみに注意！ In: 西田壽代 監修, 日本トータルフットマネジメント協会 編. 新　はじめよう！フットケア. 東京: 日本看護協会出版会; 202206. p.321-326.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

五十嵐崇，佐戸川弘之，高瀬信弥，若松大樹，黒澤博之，瀬戸夕輝，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉. 若年者大動脈弁閉鎖不全症に対する弁形成術の一例. 第 39 回福島心臓血管外科研究会; 20220108; 郡山.

黒澤博之，若松大樹，佐戸川弘之，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉. TCPC 時に Chimney 法を用いた弁輪上部房室弁置換術を併施した機能的単心室症の 1 例. 第 39 回福島心臓血管外科研究会; 20220108; 郡山.

高瀬信弥. 大動脈（TEVAR）高度粥腫を伴った非解離性胸部大動脈瘤に対する TEVAR の治療成績. 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220303; 横浜/Web.

高瀬信弥. 虚血性 1 多枝病変に対する動脈グラフト 2 本を使用した冠動脈バイパス術の遠隔期における優位性.

第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220303; 横浜/Web.

高瀬信弥, **佐戸川弘之**, **若松大樹**, **瀬戸夕輝**, **五十嵐崇**, **藤宮剛**, **新城宏治**, **石田圭一**, **横山斉**. 被災地における DVT 診断の重要性. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋.

佐戸川弘之. 女性ホルモン製剤使用中に発症した静脈血栓塞栓症の 2 例. 第 7 回東北静脈フォーラム学術集会; 20220903; 福島.

近内政美, **高瀬信弥**, **若松大樹**, **瀬戸夕輝**, **五十嵐崇**, **藤宮剛**, **新城宏治**, **石田圭一**, **永田恵美**, **横山斉**. Endurant による EVAR 術後 6 年でグラフトが完全閉塞した 1 例. 第 40 回日本血管外科学会東北地方会; 20220924; 福島.

永田恵美, **若松大樹**, **高瀬信弥**, **瀬戸夕輝**, **五十嵐崇**, **藤宮剛**, **新城宏治**, **石田圭一**, **近内政美**, **横山斉**. 共通房室弁形成後の逆流に対して cleft patch augmentation を施行した多脾症の一例. 第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924; 福島.

高瀬信弥. 大動脈瘤診療の Up-to-date. 第 233 回県北循環器疾患研究会; 20221116; 福島.

〔シンポジウム〕

横山斉. 冠動脈バイパス術の技術修練：段階的な評価と自立への最終関門　学会としての取り組み. 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220305; 横浜/Web.

〔その他〕

横山斉. 理事長講演. 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220303; 横浜/Web.

横山斉. 特別企画 3　フィブリノゲン製剤の心臓手術への適応拡大に向けて　フィブリノゲン製剤心臓手術適応拡大への今後の流れ. 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220303; 横浜/Web.

外科研修支援担当

論　　文

〔原　著〕

Yamada L, Saito M, Suzuki H, Mochizuki S, Endo E, Kase K, Ito M, Nakano H, Yamauchi N, Matsumoto T, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hanayama H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Incidence of upper extremity deep vein thrombosis in the retrosternal

reconstruction after esophagectomy. BMC Surgery. 202203; 22(1):91.

Matsumoto T, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Ito M, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hayase S, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Seze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. SH2D4A Downregulation Due to Loss of Chromosome 8p Is Associated with Poor Prognosis and Low T Cell Infiltration in Colorectal Cancer. British Journal of Cancer. 202204; 126(6):917-926.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

Kaneta A, Nakajima S, Okayama H, Matsumoto T, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Ito M, Mimura K, Kanke Y, Saito M, Saze Z, Fujita S, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Ohki S, Kono K. Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202211; 71(11):2765-2776.

Sakamoto W, Kanke Y, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Short-term outcomes of neoadjuvant chemotherapy with capecitabine plus oxaliplatin for patients with locally advanced rectal cancer followed by total or tumor-specific mesorectal excision with or without lateral pelvic lymph node dissection. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):89-95.

Hanayama H, Katagata M, Sato T, Nakano H, Matsumoto T, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Momma T, Kato T, Hashimoto M, Nakamura J, Hikichi T, Saze Z, Kono K. Clinical outcomes of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric gastrointestinal stromal tumor. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):169-174.

西間木淳，佐藤直哉，武藤亮，木村隆，見城明，丸橋繁. 鏡視下に切除した胆嚢管原発神経鞘腫の 1 例. 日本内視鏡外科学会雑誌. 202203; 27(2):78-84.

〔その他〕

河野浩二，岡山洋和，芦澤舞. マイクロ RNA による PD-L1 の制御機構－The Best of the AACR Journals－. 光が丘. 202202; 51:62-63.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

五十嵐崇，佐戸川弘之，高瀬信弥，若松大樹，黒澤博之，瀬戸夕輝，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉. 若年者大動脈弁閉鎖不全症に対する弁形成術の一例. 第 39 回福島心臓血管外科研究会; 20220108; 郡山.

黒澤博之，若松大樹，佐戸川弘之，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉.

TCPC 時に Chimney 法を用いた弁輪上部房室弁置換術を併施した機能的単心室症の 1 例. 第 39 回福島心臓血管外科研究会; 20220108; 郡山.

坂本渉，中嶋正太郎，渡辺洋平，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 当科における働き方改革への対応と医学博士・内視鏡外科技術認定医「量産」への取り組み. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

長谷川誠，坂本渉，鈴木理，山田玲央，深井智司，菊池智宏，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，遠藤久仁，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，大木進司，河野浩二. 左側大腸癌における下腸間膜動脈血管鞘内のリンパ節の有無とリンパ管増生の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本.

岩田亜弓，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 抗 VEGFR2 抗体を用いた M2 腫瘍関連マクロファージ制御の可能性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. Combination immunotherapy for colorectal cancer. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

北堀有希，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントレセプターとリガンドの発現について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. CD163 陽性 M2 腫瘍関連マクロファージと PD-1 を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

小野澤寿志，深井智司，伊藤美郷，菅家康之，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，山田玲央，仲野宏，松本拓朗，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，齋藤元伸，佐瀬善一郎，三村耕作，門馬智之，大木進司，橋本優子，河野浩二. 食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現は予後に関連する. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

齋藤元伸，仲野宏，加瀬晃志，中嶋正太郎，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 胃癌サブタイプにおける PD-L1 発現の比較検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

仲野宏，齋藤元伸，中嶋正太郎，齋藤勝治，伊藤美郷，金田晃尚，北堀有希，片方雅紀，佐藤孝洋，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，後藤明輝，河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現は 2 つの異なる機序により引き起こされる. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．経仙骨アプローチによる低位骨盤内手術ー直腸 GIST2 例に対する手術例の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

藤田正太郎，門馬智之，深井智司，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．BRAF 変異陽性大腸癌に Encorafenib+Cetuximab 療法を施行した 1 例．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

門馬智之，藤田正太郎，長谷川誠，北堀有希，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．実臨床における進行再発大腸癌におけるラムシルマブ／FOLFIRI 治療の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

渡辺洋平，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，伊藤美郷，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．切除不能・進行再発胃癌に対する Nivolumab 投与時の NLR の有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

高瀬信弥，佐戸川弘之，若松大樹，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉．被災地における DVT 診断の重要性．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋.

丸谷慶将，山浦匠，峯勇人，鈴木弘行．恒久的ペースメーカー植込み後、右心房リード穿通による右気胸の一例．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O75-1.

東倉賢治郎，山浦匠，峯勇人，鈴木弘行．肺癌術後、乳糜心膜症により心タンポナーデに陥った一例．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 36(Suppl):O101-7.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．術前補助化学療法が食道扁平上皮癌腫瘍微小環境に及ぼす影響．第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

大竹廉正，林下宗平，滝口千晶，菊池智宏，千田峻，齋藤勝，阿美弘文，小山善久，内海康文. Nuck 管水腫に子宮内膜症を合併した一例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

森友輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

Kimura T, Nishimagi A, Tsukita S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Marubashi S. Creating the foundation for a simulation training environment using digital data in the field of hepatobiliary and pancreatic surgery. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．閉塞性大腸癌に対する Bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績．第 97 回大腸癌研究会学術集会; 20220708; 東京/Web.

門馬智之，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．直腸 NEN 手術症例の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

上野未来，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤機序について．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

小野澤寿志，片方雅紀，伊藤美郷，松本拓朗，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．局所進行直腸癌に対する治療戦略．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

片方雅紀，坂本渉，山口大輝，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．直腸 GIST を後方アプローチで摘出した 3 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

齋藤元伸，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．胃癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

坂本渉，片方雅紀，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科におけるロボット支援下側方郭清導入－腹腔鏡下時代と比較した神経因性膀胱の発生状況の比較－．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

木村隆，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，見城明，丸橋繁．臨床実習からサブサブスペシャリティー専門医までをシームレスに見据えた包括的な外科医育成への取り組み．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

川又諒，松村勇輝，猪俣頌，峯勇人，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，鈴木弘行．気腔内散布を伴う肺腺癌であった多発すりガラス結節の一切除例．第 61 回日本肺癌学会東北支部会・第 48 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20220730; 仙台.

近内政美，高瀬信弥，若松大樹，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，永田恵美，横山斉．Endurant による EVAR 術後 6 年でグラフトが完全閉塞した 1 例．第 40 回日本血管外科学会東北地方会; 20220924; 福島.

永田恵美，若松大樹，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，近内政美，横山斉．共通房室弁形成後の逆流に対して cleft patch augmentation を施行した多脾症の一例．第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924; 福島.

氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．S 状結腸脂肪腫による腸重積症の 1 例．第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．局所進行直腸癌に対する治療戦略．第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．当科における BRAF 変異陽性大腸癌の検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．当科における局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy（TNT）の治療成績．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸.

大竹廉正，中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における STING 高発現は CD8 陽性 T 細胞の高浸潤に寄与する．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

岡山洋和，松本拓朗，片方雅紀，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，坂本渉，中嶋正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．大腸癌の腫瘍免疫抑制機構．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

片方雅紀，坂本渉，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

坂本渉，佐久間芽衣，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．低位直腸癌に対する側方リンパ節郭清後のドレーン排液量の比較ーロボット vs 腹腔鏡ー．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．尿管近傍の転移巣に対するロボット支援直腸手術で蛍光尿管カテーテルを使用した一例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

東倉賢治郎，三村耕作，中嶋正太郎，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌における免疫チェックポイントリガンドの発現状況について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

藤田正太郎，門馬智之，片方雅紀，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．ロボット支援下直腸手術中に炭酸ガス血症のため，開腹移行した 1 例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

門馬智之，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．当院での大腸がんの補助療法実施状況についての検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

氏家大輔，藤田正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，佐久間芽衣，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. S

状結腸癌術後再発に対し，既存の化学療法に抵抗性を生じるも，pembrolizumab が適応となり長期生存を得た 1 例. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

菊池智宏，三村耕作，松石彬，鈴木博也，丸山裕也，佐久間芽衣，圓谷秀哲，深井智司，金田晃尚，氏家大輔，千田峻，楡井東，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

佐藤孝洋，齋藤元伸，片方雅紀，深井智司，岡山洋和，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

東倉賢治郎，坂本渉，圓谷秀哲，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 再発大腸癌に対する late line での示唆に富むレゴラフェニブ使用経験. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

片方雅紀，岡山洋和，中嶋正太郎，遠藤英成，叶多諒，深井智司，佐久間芽衣，圓谷秀哲，佐藤孝洋，金田晃尚，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 癌間質における TGF-β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

深井智司，中嶋正太郎，片方雅紀，佐久間芽衣，佐藤孝洋，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二. ロボット支援下直腸切断術後に左大腿神経麻痺を来した 1 例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

深井智司，遠藤英成，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. U-40 から発信する，地方大学医局におけるビデオクリニックの取り組み. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

〔シンポジウム〕

中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，松本拓朗，菊池智宏，遠藤英成，伊藤美郷，三村耕作，菅家康之，齋藤元伸，佐藤孝洋，片方雅紀，藤田正太郎，坂本渉，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，佐藤孝洋，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，坂本渉，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

岡山洋和，片方雅紀，松本拓朗，遠藤英成，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，藤

田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

〔その他〕

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序について. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

脳神経外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Asano K, Yamashita Y, Ono T, Natsumeda M, Beppu T, Matsuda K, Ichikawa M, Kanamori M, Matsuzaka M, Kurose A, Fumoto T, Saito K, Sonoda Y, Ogasawara K, Fujii Y, Shimizu H, Ohkuma H, Kitanaka C, Kayama T, Tominaga T. Clinicopathological risk factors for a poor prognosis of primary central nervous system lymphoma in elderly patients in the Tohoku and Niigata area: a multicenter, retrospective, cohort study of the Tohoku Brain Tumor Study Group. Brain Tumor Pathology. 202207; 39(3):139-150.

Yoshida K, Matsuda N, Sato T, Watanabe T, Nakamura K, Saito K, Kanai K, Ugawa Y. Candida brain abscesses in a patient with anorexia nervosa receiving total parenteral nutrition. Clinical Neurology and Neurosurgery. 202201; 212:107058.

Asano K, Yamashita Y, Ono T, Natsumeda M, Beppu T, Matsuda K, Ichikawa M, Kanamori M, Matsuzaka M, Kurose A, Saito K, Sonoda Y, Ogasawara K, Fujii Y, Shimizu H, Ohkuma H, Kitanaka C, Kayama T, Tominaga T. The Real-World status and risk factors for a poor prognosis in elderly patients with primary central nervous system malignant lymphomas: a multicenter, retrospective cohort study of the Tohoku Brain Tumor Study Group. International Journal of Clinical Oncology. 202201; 27(1):77-94.

Nagai K, Fujii M, Kitazume S. Protein Tyrosine Phosphatase Receptor Type Z in Central Nervous System Disease. International Journal of Molecular Sciences. 202204; 23(8):4414.

Bhandari D, Neupane P, Tsubokura M, Zhao T, Gaire S, Fujii M. The mirage of domestic violence during COVID-19 pandemic in Nepal. Journal of Global Health. 202207; 2:03049.

Goto S, Nishio N, Iwami K, Yoshida T, Maruo T, Mukoyama N, Tsuzuki H, Yokoi S, Wada A, Hiramatsu M,

Hayashi Y, Kamei Y, Fujii M, Sone M, Fujimoto Y. Surgical Strategy for Squamous Cell Carcinoma of the External Auditory Canal: Management of Locally Advanced Cases with Skull Base Involvement. Journal of Neurological Surgery, Part B: Skull Base. 202202; 84(1):69-78.

Bakhit M, Hiruta R, Iwami K, Fujii M. Volumetric asymmetry of the major association white fibers in healthy young adults. Neuroscience and Behavioral Physiology. 202206; 52(5):791-805.

小島隆生. 脳梗塞の超急性期治療　発症時刻から考える治療選択を，症例から学んでアップデートしよう. Hospitalist. 202212; 10(2):249-256.

鴫原和昭，藤井正純，芥川奈央，二村美也子，大井直往. 覚醒下手術症例を対象とした、頭頂葉性の高次運動機能を評価する課題の開発. 高次脳機能研究. 202203; 42(1):47-54.

二村美也子，藤井正純，前澤聡，蛭田亮，小林俊輔. 多言語話者の失語症　マルチリンガルと電気刺激による言語機能マッピング. 高次脳機能研究. 202209; 42(3):282-286.

藤井正純，二村美也子，蛭田亮. 謎解き実践講座－初級編－　覚醒下手術の世界にようこそ. 高次脳機能研究. 202209; 42(3):321-325.

長井健一郎，佐久間潤，山ノ井優，根本未緒，蛭田亮，佐藤祐介, Bakhit Mudathir S，**後藤悠大，清水裕史，田中秀明，齋藤清**. VP シャント後に再発を繰り返した腹腔内髄液仮性嚢胞の 1 小児例　症例提示と文献レビュー. 小児の脳神経. 202202; 47(1):59-66.

菅谷一樹，長井健一郎，黒見洋介，武藤憲哉，全田吏栄，大久保怜子，塚田泰彦，藤井正純，小野寺誠，伊関憲. 二次爆傷による脳脱を伴う頭部外傷の経過良好例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202208; 25(4):711-716.

蛭田亮，藤井正純. 専門医に求められる最新の知識　脳腫瘍　神経膠腫摘出のための大脳白質解剖. 脳神経外科速報. 202207; 32(4):582-588.

〔総説等〕

蛭田亮，藤井正純. 神経線維腫症 2 型－Precision medicine の最新情報. 脳神経外科. 202201; 50(1):150-161.

〔症例報告〕

Ito Y, Kojima T, Yamanoi Y, Saito K. Acute Endovascular Therapy for Iatrogenic Vertebral Artery Injury: A Case Report. Journal of Neuroendovascular Therapy. 2022; 16(1):33-38.

Yokota T, Otani K, Handa J, Nikaido T, Kojima T, Sato N, Konno S. Bow hunter's syndrome: temporary obstruction of blood flow in the affected vertebral artery during posterior occipitocervical fusion. Illustrative case. Journal of Neurosurgery. Case Lessons. 20221212; 4(24):CASE22428.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ito Y, Kojima T, Kobayashi T, Sato N, Konno Y, Oda K, Fujii M. Mechanical thrombectomy for patients with occlusions in both the anterior cerebral artery and middle cerebral artery. 16th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology; 20220821-25; Kyoto/Web.

Kojima T, Maeda T, Ito Y, Fujii M. Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke in Patients with Oral Anticoagulant and Antiplatelet Therapy. 16th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology; 20220821-25; Kyoto/Web.

Yamada K, Shirakawa M, Enomoto Y, Kojima T, Wakabayashi K, Hippe DS, Yuan C, Hatsukami TS, Yoshimura S. Impact of magnetic resonance plaque imaging before carotid artery stenting: Initial result of (MR-CAS) study. 16th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology; 20220821-25; Kyoto/Web.

黒見洋介，市川優寛，藤井正純. 焦点切除術を施行した運動発作を示した頭頂葉皮質形成異常Ⅱ型の１例. 第 45 回日本てんかん外科学会; 20220127-28; 大阪/ Web.

伊藤裕平,小島隆生，藤井正純. 複数領域にわたる閉塞血管を有する症例に対する血栓回収療法. 第 47 回日本脳卒中学会学術集会; 20220317-19; 大阪/Web.

蛭田亮，市川優寛，齋藤清，藤井正純. 神経線維腫症２型の最新情報. 第 54 回東北脳腫瘍研究会; 20220326; Web.

伊藤裕平，根本未緒，齋藤清. 基底核に完成した梗塞巣を有する Tandem lesion 例に対する再開通療法. 第 45 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20220327; 仙台.

菊田春彦. 総頚動脈直接穿刺によるフローダイバーター留置術を行った右内頚動脈瘤の一例. 第 45 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20220327; 仙台.

黒沢瑞穂，齋藤孝光，小島隆生. 特発性椎骨動静脈瘻に対して母血管閉塞術を施行した１例. 第 45 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20220327; 仙台.

蛭田亮，長井健一郎，菊田春彦，黒見洋介，岩楯兼尚，市川優寛，藤井正純. 術中３テスラ MRI によるグリオーマ手術中の超急性期虚血性変化の検出精度の検討. 第 22 回日本術中画像情報学会; 20220702; Web.

伊藤裕平，小島隆生，前田卓哉，藤井正純. Pipeline 留置後に残存する IC-PC 動脈瘤に対して追加治療を行った１例. 第 46 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20220903; 山形/Web.

前田卓哉，小島隆生，伊藤裕平，藤井正純. ステント留置が困難であった未破裂脳底動脈先端部瘤に対して PulseRider を用いて治療した１例. 第 46 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20220903; 山形/Web.

蛭田亮，鈴木恭一，藤井正純. 悪性神経膠腫手術における蛍光ガイド手術手技システム HEMS plus+の可能性.

日本蛍光ガイド手術研究会第5回学術集会; 20220916-17; 東京.

黒見洋介, **市川優寛**, **二村美也子**, **蛭田亮**, **藤井正純**. 視覚路温存を目指して、覚醒下術中皮質下刺激を用いて摘出した、てんかん発症側頭葉腫瘍の1例. 第55回日本てんかん学会学術集会; 20220920; 仙台/Web.

前田卓哉, **小島隆生**, **伊藤裕平**, **小林亨**, **後藤健**, **佐藤昌宏**, **平敏**, **紺野豊**, **佐久間潤**, **藤井正純**. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延期間における血栓回収療法の治療成績. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220929; 横浜/Web.

バキット ムダシル. 左利きでは、右大脳半球の特定の皮質領域が意味処理に関わる. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220928-30; 横浜/Web.

伊藤裕平, **小島隆生**, **前田卓哉**, **佐藤直樹**, **生沼雅博**, **堀内一臣**, **市川剛**, **織田惠子**, **藤井正純**. 血栓回収療法にweekend effectは存在するか. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220928-30; 横浜/Web.

黒見洋介, **市川優寛**, **高橋克宏**, **渡部直樹**, **平田唯人**, **藤井正純**. Ziostation2®を用いたフィルムレスでの定位手術の標的位置の確認. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220928-30; 横浜/Web.

長井健一郎, **鳴瀬悠**, **三浦里織**, **北爪しのぶ**, **藤井正純**. 悪性神経膠腫治療標的としてのPTPRZの可能性. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220928-30; 横浜/Web.

蛭田亮, **長井健一郎**, **菊田春彦**, **黒見洋介**, **岩楯兼尚**, **市川優寛**, **藤井正純**. 術中3テスラMRIによるグリオーマ手術中の超急性期虚血性変化の検出精度. 日本脳神経外科学会第81回学術総会; 20220928-30; 横浜/Web.

蛭田亮, **神宮字伸哉**, **菊田春彦**, **長井健一郎**, **二村美也子**, **藤井正純**. 脳梁進展を伴う右前頭葉膠芽腫に対して斜視鏡下に左側脳梁を摘出した一例. 第27回日本脳腫瘍の外科学会; 20221014-15; 東京.

長井健一郎, **武藤優衣**, **三浦里織**, **高橋一人**, **鳴瀬悠**, **橋本優子**, **川口寧**, **藤井正純**, **北爪しのぶ**. PTPRZを修飾する脳特異的糖転移酵素GnT-IXの阻害は、神経膠腫の成長を抑制する. 第16回東北糖鎖研究会; 20221015-16; 福島.

山田清文, **白河学**, **榎本由貴子**, **小島隆生**, **若林和樹**, **Yuan C**, **今村博敏**, **片岡大治**, **吉村紳一**. 頚動脈ステント留置術前MRIプラーク性状評価に関する前向き多施設登録研究. 第38回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会; 20221110-12; 大阪.

黒沢瑞穂, **伊藤裕平**, **小島隆生**. Flow diverter留置後にくも膜下出血を生じた内頚動脈瘤について. 福島脳血管内治療カンファレンス2022; 20221126; 郡山.

〔特別講演〕

小島隆生. 脳梗塞急性期の診療連携. F-STR&FMU脳卒中急性期診療連携フォーラム; 20220719; 福島.

小島隆生. 脳血管内治療における抗血栓療法について. 脳卒中連携UPDATE Web Seminar; 20221006; Web.

小島隆生. 脳血管内治療における薬物療法の役割. 二本松薬剤師会　第 19 回疾患と薬物治療カンファレンス; 20221201; 二本松.

〔招待講演〕

小島隆生. 非心原性脳梗塞に対する薬物治療の課題と展望. 脳卒中連携 UPDATE Web Seminar; 20220311; Web.

小島隆生. 脳血管内治療：準備と実践. CERENOVUS ハンズオンセミナー; 20220402; 仙台.

小島隆生. 脳梗塞急性期における機械的血栓回収療法：地域における普及と実践. 福島脳卒中病病・病診連携 WEB フォーラム; 20220519; Web.

小島隆生. 脳卒中急性期における脳神経外科治療. 第 3 回ふくしま健康づくり Web セミナー; 20220905; Web.

小島隆生. 脳卒中を知ろう：脳卒中は予防できる病気です. いきいき健康づくりフォーラム in 田村; 20221113; 田村.

整形外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Development of a Novel Diagnostic Support Tool for Degenerative Cervical Myelopathy Combining 10-s Grip and Release Test and Grip Strength: A Pilot Study. Diagnostics. 202208; 12(9):2108.

Kobayashi H, Tominaga R, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Yabuki S, Konno S. Lumbar spinal stenosis is a risk factor for the development of dementia: locomotive syndrome and health outcomes in the Aizu cohort study. European Spine Journal. 202208; 32(2):488-494.

Sonobe T, Hakozaki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. Experimental and Therapeutic Medicine. 202211; 25(1):23.

Shirado O, Arai Y, Iguchi T, Imagama S, Kawakami M, Nikaido T, Ogata T, Orita S, Sakai D, Sato K, Takahata M, Takeshita K, Tsuji T, Ando K, Endo T, Fukuda H, Goto M, Hashidume H, Hino M, Ide Y, Inoue H, Inoue T, Ishimoto Y, Ito K, Ito S, Iwabuchi M, Iwahashi S, Iwasaki H, Kagotani R, Kanbara S, Kato K, Kimura A, Kitagawa T, Kobayashi H, Kobayashi K, Komatsu J, Koshimizu H, Machino M, Matsubara T,

Matsukura Y, Minamide A, Minetama M, Mizokami K, Morino T, Morozumi M, Nagata K, Nakae I, Nakagawa M, Nakagawa Y, Ota K, Sakai K, Saruwatari R, Sasaki S, Shimazaki T, Shiraishi Y, Takami M, Tanaka S, Teraguchi M, Tominaga R, Tomori M, Torigoe I, Tsushima M, Tsutsui S, Watanabe K, Yamada H, Yamada K, Yamaguchi H, Yokosuka K, Yoshida T, Yoshida T, Yuasa M, Yugawa Y. Formulation of Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guideline for the management of low back pain- the revised 2019 edition. Journal of Orthopaedic Science. 202201; 27(1):3-30.

Kato K, Otoshi KI, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Konno S. The prevalence and clinical characteristics of sacroiliac joint dysfunction in adolescent baseball players. Journal of Orthopaedic Science. 202203; 27(2):335-341.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Konno S. Influences of limited flexibility of the lower extremities and occurrence of low back pain in adolescent baseball players: A prospective cohort study. Journal of Orthopaedic Science. 202203; 27(2):355-359.

Watanabe Y, Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Oi N, Konno S. Associations between core stability and low back pain in high school baseball players: A cross-sectional study. Journal of Orthopaedic Science. 202209; 27(5):965-970.

Kato K, Otoshi K, Kobayashi K, Kaneko Y, Nakazawa S, Konno S. Clinical characteristics of early-stage lumbar spondylolysis detected by magnetic resonance imaging in male adolescent baseball players. Journal of Orthopaedic Science. 20221114; S0949-2658(22)00302-5.

Kaneuchi Y, Yoshida S, Fujiwara T, Evans S, Abudu A. Limb Salvage Surgery has a Higher Complication Rate than Amputation but is Still Beneficial for Patients Younger than 10 Years Old with Osteosarcoma of an Extremity. Journal of Pediatric Surgery. 202211; 57(11):702-709.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. The influence of chronic medial epicondylar apophysitis on medial ulnar collateral ligament insufficiency-: a retrospective cohort study. JSES International. 202205; 6(3):539-544.

Nikaido T, Konno S. Usefulness of Lateral Lumbar Interbody Fusion Combined with Indirect Decompression for Degenerative Lumbar Spondylolisthesis: A Systematic Review. Medicina (Kaunas, Lithuania). 202203; 58(4):492.

Konno S, Nikaido T, Markman JD, Ohta M, Machida T, Isogawa N, Yoshimatsu H, Viktrup L, Brown MT, West CR, Verburg KM. Tanezumab for chronic low back pain: a long-term, randomized, celecoxib-controlled Japanese Phase III safety study. Pain Management. 202204; 12(3):323-335.

Matsumoto H, Ohashi H, Fujita Y, Yoshida S, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Shinden Y, Kusano K, Sonobe T, Nakamoto Y, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Migita K. Total Hip Joint Replacement in a Patient with Colchicine-Resistant Familial Mediterranean Fever under Canakinumab Treatment. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202202; 256(2):169-174.

加藤欽志，伊藤紀治，野澤一貴，菊地臣一，紺野愼一．腰痛と坐骨神経痛に対する薬物療法に関するナラティブレビュー. Journal of Spine Research. 202202; 13(2):67-86.

小林洋．自宅でできるリハビリテーション(第 12 回)　自宅でできる肩こりのリハビリテーション. Loco Cure. 202211; 8(4):364-368.

加藤欽志，紺野愼一．【痛みの精密医療の展開に向けて】重症慢性疼痛患者の臨床的特徴. Precision Medicine. 202202; 5(2):131-134.

二階堂琢也．【外傷再建　いま、何ができるのか、どこまでできるのか】慢性期への介入　慢性疼痛に対する薬物療法. 救急医学. 202206; 46(6):734-740.

兼子陽太，二階堂琢也，大谷晃司，紺野愼一．【整形外科画像診断・評価の進歩】X 線検査　腰痛と X 線学的指標. 整形外科. 202205; 73(6):502-507.

二階堂琢也. Vocabulary Tanezumab. 整形外科. 202207; 73(8):866-866.

二階堂琢也．【患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬】アセトアミノフェン. 整形外科看護. 202209; 27(9):869-871.

加藤欽志．【患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬】ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液. 整形外科看護. 202209; 27(9):879-880.

小林洋．【患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬】プレガバリン. 整形外科看護. 202209; 27(9):881-882.

加藤欽志，紺野愼一．【医工連携と腰痛】心理的要因と腰痛　運動制御の観点から. 脊椎脊髄ジャーナル. 202209; 35(5):343-346.

草野敬悟，畑下智，佐藤俊介，三澤友誉，伊藤雅之．踵骨嘴状骨折術後にアキレス腱付着部骨折を来した症例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202206; 65(1):145-151.

園部樹，兼子陽太，小林賢司，茂呂貴知，鈴木幹夫．アキレス腱断裂と足関節内果骨折を合併した 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202206; 65(1):152-156.

村上和也，佐藤法義，横田武尊，大竹飯豊．膝単顆置換術(UKA)の長期成績　UKA は膝 OA の最終手術になり得るか. 東北膝関節研究会会誌. 202207; 30:49-53.

二階堂琢也，日本整形外科学会脊椎脊髄病委員会．脊椎内視鏡下手術の現状　2020 年 1 月～12 月手術施行状況調査・インシデント報告集計結果. 日本整形外科学会雑誌. 202201; 96(1):63-71.

金内洋一，箱崎道之，山田仁，紺野愼一．私の考える骨・軟部腫瘍分野の魅力. 東日本整形災害外科学会雑誌. 202203; 34(1):53-55.

國島麻実子，山田仁，渡邉一男，荒文博，紺野愼一．超高齢者に発症した脱分化型骨外性粘液性軟骨肉腫の 1 例．臨床整形外科. 202208; 57(8):1033-1037.

〔症例報告〕

Sasaki N, Kawakami R, Toshiki N, Yamada H, Hakozaki M, Konno S. Fibulo-scapho-lunate arthrodesis with free vascularized fibular graft for a Japanese Kyudo archer with osteosarcoma of the left distal radius: a case report. Cancer Diagnosis & Prognosis. 202207; 2(4):489-495.

Yokota T, Otani K, Handa J, Nikaido T, Kojima T, Sato N, Konno S. Bow hunter's syndrome: temporary obstruction of blood flow in the affected vertebral artery during posterior occipitocervical fusion. Illustrative case. Journal of Neurosurgery. Case Lessons. 202212; 4(24):CASE22428.

Kaneuchi Y, Iwabuchi M, Hakozaki M, Yamada H, Konno S. Pregnancy and Lactation-Associated Osteoporosis Successfully Treated with Romosozumab: A Case Report. Medicina (Kaunas, Lithuania). 202212; 59(1):19.

Yoshida K, Hakozaki M, Kobayashi H, Kimura M, Konno S. Surgical treatment for a combined anterior cruciate ligament and posterior cruciate ligament avulsion fracture: a case report. World Journal of Clinical Cases. 202204; 10(12):3879-3885.

佐藤俊介，畑下智，川前恵史，伊藤雅之，紺野愼一．距骨の解剖学的位置の整復と保持に創外固定が有用であった足関節内変形治癒骨折の 1 例．日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202204; 33:67-73.

佐藤俊介，畑下智，増子遼介，水野洋佑，川上亮一，伊藤雅之．伸筋群挫滅欠損を伴う前腕開放骨折の 1 例．日本マイクロサージャリー学会会誌. 202212; 35(4):144-150.

横田武尊，安永亨．マラソンを契機に生じた疲労骨折が関与した可能性がある大腿骨転子部骨折の一例．日本臨床スポーツ医学会誌. 202208; 30(3):769-774.

書籍等出版物

二階堂琢也. LIF+PPS（腰椎変性すべり症）. In: 石井賢. 整形外科医のための脊椎のアドバンスト手術. 東京: 日本医事新報社; 202210. p.100-113.

小林賢司，加藤欽志．脊椎の機能解剖. In: 加藤欽志 編. 整形外科医のための脊椎のスポーツ診療のすべて. 東京: 日本医事新報社; 202202. p.2-24.

加藤欽志．脊椎のバイオメカニクス. In: 加藤欽志 編. 整形外科医のための脊椎のスポーツ診療のすべて. 東京: 日本医事新報社; 202202. p.25-45.

加藤欽志，四家卓也．胸椎黄色靭帯骨化症, 胸椎椎間板ヘルニア. In: 加藤欽志 編. 整形外科医のための脊椎のスポーツ診療のすべて. 東京: 日本医事新報社; 202202. p.197-215.

加藤欽志. 脊椎のバイオメカニクス. In: 加藤欽志 編. 脊椎のスポーツリハビリテーション. 東京: 日本医事新報社; 202203. p.25-45.

加藤欽志, **四家卓也**. 胸椎黄色靭帯骨化症, 胸椎椎間板ヘルニア. In: 加藤欽志 編. 脊椎のスポーツリハビリテーション. 東京: 日本医事新報社; 202203. p.96-104.

加藤欽志. 椎間関節性腰痛. In: 青木保親, 杉浦史郎. フルカラーでやさしくわかる！腰痛の理学療法：医師と理学療法士のタッグで腰痛患者を治す！ 東京: 日本医事新報社; 202208. p.128-137.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

新田夢鷹, **青田恵郎**, **山岸栄紀**, **紺野愼一**. 後方系筋腱温存アプローチにおける大腿骨頚部骨切りにおける安全域の検討　解剖遺体と CT による比較検討. 第 52 回日本人工関節学会; 20220225; 京都/Web.

佐藤俊介, **畑下智**, **千葉紀之**, **川前恵史**, **伊藤雅之**. 橈骨遠位端骨折の背側骨片に着目し, 伸筋腱皮下断裂のリスクを予見する. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414; 小倉/Web.

金内洋一, **山田仁**, **紺野愼一**, **岩渕真澄**. 妊娠授乳関連骨粗鬆症に対するロモソズマブの使用経験　1 例報告. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603; 仙台.

園部樹. 膝関節にロッキングを生じた鵞足部骨軟骨腫の一例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603; 仙台.

関敬大, **金内洋一**, **箱﨑道之**, **山田仁**, **平井亨**, **山田匠希**, **長谷川靖**, **紺野愼一**. 鼠径部に発生した富細胞型血管線維腫の 3 例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220604; 仙台.

佐藤俊介, **川前恵史**, **新田夢鷹**, **渡邉剛広**, **反町光太朗**, **千葉紀之**, **伊藤雅之**, **畑下智**. 大腿骨インプラント周囲骨折に対する Whole Span Plating は術後新規インプラント周囲骨折を予防できる. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624; 横浜/Web.

金内洋一, **箱﨑道之**, **山田仁**, **鈴木丈夫**, **紺野愼一**. 低悪性度と高悪性度の脱分化像が併存した脱分化型脂肪肉腫：1 例報告. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

鈴木丈夫, **箱﨑道之**, **山田仁**, **金内洋一**, **紺野愼一**. 神経線維腫症 1 型の高齢者に生じた多形型横紋筋肉腫の 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

田地野崇宏, **山田仁**, **箱﨑道之**, **金内洋一**, **紺野愼一**. 福島県立医科大学で過去 30 年間に診療した高悪性度骨・軟部肉腫の罹患率と福島県内地域分布の経年的変化についての検討. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

箱﨑道之, **金内洋一**, **山田仁**, **紺野愼一**. 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状. 第 55 回

日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

山田仁，箱崎道之，金内洋一，田地野崇宏，渡辺慎哉，紺野愼一. ドキソルビシン+イホスファミド療法で完全奏効を呈した軟部悪性腫瘍. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

渡邊孝祐，荒文博，山田仁，金内洋一，紺野愼一. 大腿骨骨巨細胞腫術後 27 年の経過で人工関節再置換術を施行した 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

金内洋一，岩渕真澄，山田仁，紺野愼一. 妊娠授乳関連骨粗鬆症に対しロモソズマブを投与した 1 例. 第 24 回日本骨粗鬆症学会; 20220903; 大阪.

亀田拓哉，江尻荘一，横田武尊，佐々木信幸，紺野愼一. 舟状骨偽関節に対する遊離腸骨移植と血管柄付き第 2 中手骨基部骨移植術（牧野法）の併用による DISI 矯正効果の検討. 第 71 回東日本整形災害外科学会; 20220916; 東京.

新田夢鷹，青田恵郎，大橋寛憲，荒文博，山岸栄紀，佐藤法義，草野敬悟，菅原崇寛，紺野愼一. Direct superior approach(DSA) THA おけるインプラント設置精度の検討. 第 49 回日本股関節学会; 20221029; 山形.

恩田啓，高槻梢，髙橋直人，本幸枝，谷本真実，二瓶健司，笠原諭，矢吹省司. 慢性疼痛患者に対する集学的診療の治療効果　QOL の変化に着目して. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

佐藤俊介，畑下智，反町光太朗，川前恵史，伊藤雅之，紺野愼一. 重度四肢外傷での遊離皮弁において、超音波エコーパルスドプラモードによる recipient 血管評価は有用である. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201; 浜松.

〔シンポジウム〕

本幸枝，谷本真実，恩田啓，笠原諭，矢吹省司. 慢性疼痛治療における看護師の役割　チーム医療における看護師の役割. 第 51 回日本慢性疼痛学会; 20220225-26; Web. プログラム・抄録集. 66.

加藤欽志. 心理社会的要因が腰痛増悪と遷延化に与える影響. 第 12 回スポーツメディスンフォーラム; 20220313; Web.

金内洋一，箱崎道之，山田仁，紺野愼一. 術後感染症に対する治療戦略　悪性骨軟部腫瘍手術における手術部位感染の対策と治療　福島県立医科大学附属病院での取り組み. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220604; 仙台.

加藤欽志. 野球選手における腰椎分離症のマネジメント. JOSKAS-JOSSM 2022; 20220616; 札幌.

藤原智洋，金内洋一，津田祐輔, Stevenson Jonathan, Parry Michael, Grimer Robert, Jeys Lee, **中田英二，国定俊之，尾崎敏文**. ナビゲーション支援手術は補助療法の効果を期待しにくい骨盤軟骨肉腫の腫瘍学的予後を改善させるか. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220716; 東京.

亀田拓哉，江尻荘一，横田武尊，佐々木信幸，紺野愼一. 舟状骨偽関節に対する血管柄付き第 2 中手骨基部骨移植術（牧野法）と遊離腸骨移植併用の有用性. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201; 浜

松.

〔特別講演〕

加藤欽志. 野球選手の脊椎疾患に対するマネジメント　腰椎分離症から黄色靭帯骨化症まで. 第 33 回日本臨床スポーツ医学会; 20221113; 札幌.

加藤欽志. S&C コーチが知っておきたい野球選手の脊椎障害　分離症から黄色靭帯骨化症まで. プロ野球ストレングス&コンディショニング研究会; 20221217; Web.

〔招待講演〕

加藤欽志. 胸椎黄色靭帯骨化症. 第 59 回日本プロ野球トレーナー協会研究会; 20221201; 仙台.

〔その他〕

佐藤俊介. 外傷性肘不安定症&Terrible Triad Injury. レジランド Vol.5; 20220304; Web.

佐藤俊介. 橈骨頭・頚部骨折. 3rd. Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

佐藤俊介. 高齢者の上腕骨近位部骨折. レジランド Vol.14; 20220715; Web.

佐藤俊介, **畑下智**, **伊藤雅之**. 脛骨神経断裂を合併した Gustilo IIIB 下腿開放骨折に対し, Acute shortening & Lengthening で治療した 1 例. 日本重度四肢外傷 Peer Review Web Meeting; 20220829; Web.

佐藤俊介, **畑下智**, **反町光太朗**, **川前恵史**, **伊藤雅之**. 重度四肢外傷に対する遊離皮弁において, 超音波エコーのパルスドプラモードを用いた recipient 血管評価は有用である. 第 8 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20220930; 札幌/Web.

中野優, **加藤欽志**, **大歳憲一**, **紺野愼一**. アスリートに生じた胸椎黄色靭帯骨化症:4 例報告. 第 33 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20221113; 札幌.

佐藤俊介, **畑下智**. 外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 11 回重度四肢外傷 microsurgery meeting; 20221203; Web.

佐藤俊介, **畑下智**. 後脛骨動脈損傷を放置した、Gustilo IIIB 脛骨開放性ピロン骨折の 1 例. 東北重度四肢外傷「初期治療」Peer Review Web Meeting; 20221211; Web.

形成外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Matsumura T, Kawanabe H, Nemoto N, Ogino S, Fukui K, Oyama A, Okamoto T. A Preliminary Study of Interdisciplinary Approach with a Single-Stage Surgery in Children with Cleft Lip and Palate. Journal of Personalized Medicine. 202210; 12(10):1741.

小山明彦．【小耳症フレームワークーうまくいくためのポイントー】小耳症フレームワーク構築のポイント．形成外科. 202211; 65(11):1252-1258.

曽根良子，**本田進**，**小山明彦**，**木村中**．同時に受傷した 2 例の雷撃傷の治療経験．創傷. 202210; 13(4):206-209.

佐藤順紀，**福屋安彦**，**櫻井裕基**，**藤橋政尭**，**小笹俊彦**，**渡辺太朗**．指動脈穿通枝皮弁による手指腫瘍切除後皮膚欠損の再建．日本形成外科学会会誌. 202203; 42(3):123-131.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐藤順紀，**齋藤昌美**，**藤田宗純**，**北村成紀**，**永峰恵介**，**曽根良子**，**半田千紘**，**小山明彦**．開頭術後感染による広範囲頭蓋骨欠損による頭蓋再建の 1 例．第 98 回北日本形成外科学会東北地方会学術集会; 20220115; 福島.

曽根良子，**齋藤昌美**，**藤田宗純**，**北村成紀**，**永峰恵介**，**佐藤順紀**，**半田千紘**，**小山明彦**．当科における「赤ちゃんの頭の形外来」開設後の経過と現状．第 98 回北日本形成外科学会東北地方会; 20220115; 福島.

永峰恵介，**齋藤昌美**，**半田千紘**，**佐藤順紀**，**曽根良子**，**北村成紀**，**藤田宗純**，**小山明彦**．深足底枝による内側足底皮弁の 1 例．第 98 回北日本形成外科学会東北地方会学術集会; 20220115; 福島.

藤田宗純．末梢神経線維腫より悪性神経鞘腫を発症した神経線維腫症 2 型の症例経験．第 65 回日本形成外科学会総会・学術集会; 20220422; 大阪.

永峰恵介，**齋藤昌美**，**藤田宗純**，**北村成紀**，**佐藤順紀**，**半田千紘**，**浅尾一輝**，**虻川真澄**，**小山明彦**. 2 つ折り全第対外速皮弁による上顎全摘術後の変形に対する再建術．第 37 回北日本形成外科学会学術集会; 20220611; 仙台.

永峰恵介．難治性下肢潰瘍に対する当科での低侵襲治療．第 14 回日本創傷外科学会総会・学術集会; 20220714; 神戸.

永峰恵介，藤田宗純，半田千紘，佐藤順紀，北村成紀，齋藤昌美，小山明彦．血管腫の再発が疑われた頭部悪性末梢神経鞘腫の 1 症例．第 18 回日本血管腫血管奇形学会学術集会; 20220917; 浦安/Web.

永峰恵介，佐藤順紀，北村成紀，齋藤昌美，小山明彦．当院における重症熱傷患者の現状を踏まえた低侵襲的治療を目指して．第 27 回日本熱傷学会東北地方会; 20221112; 八戸.

浅尾一輝，北村成紀，齋藤昌美，虻川真澄，半田千紘，佐藤順紀，永峰恵介，小山明彦．趾間形成術において五角弁を用いた裂足症の一例．第 18 回福島県形成外科研究会; 20221126; 会津若松.

佐藤順紀，齋藤昌美，永峰恵介，半田千紘，虻川真澄，浅尾一輝，北村成紀，小山明彦. Intrinsic muscle の移行による外側趾列多趾症手術の工夫．第 18 回福島県形成外科研究会; 20221126; 会津若松.

北村成紀. Double cross face nerve graft と Jump graft 型舌下神経顔面神経縫合の併用で治療した完全顔面神経麻痺の 1 例．第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201; 浜松.

永峰恵介. 2 つ折り前外側大腿皮弁による上顎全摘術後の変形に対する再建術．第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221202; 浜松.

〔シンポジウム〕

Oyama A. Our primary cleft lip repair technique tailored for Asian patients that combines three surgical concepts. CLEFT OSAKA 2022; 20220421; Osaka.

小山明彦．頭皮・頭蓋の術後合併症の salvage．第 15 回日本整容脳神経外科; 20220416; 東京/Web.

永峰恵介，佐藤順紀，齋藤昌美，北村成紀，小山明彦. Sorbact®の適応についての検討と我々の新たな試み．第 4 回 WOUND BED PREPARATION 研究会; 20220806; 札幌.

小山明彦．小耳症手術の Aesthetic mind．第 40 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会; 20221117; 名古屋.

〔その他〕

齋藤昌美. Microdissection 法と簡便な Macrodissection 法による穿通枝皮弁の薄層化．第 27 回日本形成外科手術手技学会; 20220219; 千葉.

小山明彦．小耳症手術における私の工夫と変遷　より自然な耳介を目指して．第 65 回日本形成外科学会総会・学術集会; 20220422; 大阪.

小山明彦．唇裂・口蓋裂患者の輝く笑顔を求めて～出生から成人に至る集学的治療．第 56 回中部形成外科学会; 20220723; 名古屋.

小山明彦．形成外科の今：頭蓋顎顔面外科の革新．第 70 回福島県農村医学会学術総会; 20220725-0831; Web.

小山明彦．唇裂・口蓋裂の集学的治療：これまでの取り組みを振り返って．徳島大学 Cleft Seminar2022; 20220901; 徳島.

産科婦人科学講座

論　　文

〔原　著〕

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Toba N, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Kanno T, Migita K, Fujimori K. Maternal disease activity and serological activity as predictors of adverse pregnancy outcomes in women with systemic lupus erythematosus: a retrospective chart review. Archives of Gynecology and Obstetrics. 202205; 305(5):1177-1183.

Nakao M, Nanba Y, Okumura A, Hasegawa J, Toyokawa S, Ichizuka K, Kanayama N, Satoh S, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Suzuki H, Iwashita M, Oka A, Ikeda T. Correlation between fetal heart rate evolution patterns and magnetic resonance imaging findings in severe cerebral palsy: A longitudinal study. BJOG. 202208; 129(9):1574-1582.

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202207; 22(1):542.

Kyozuka H, Hiraiwa T, Murata T, Sugeno M, Jin T, Ito F, Suzuki D, Nomura Y, Fukuda T, Yasuda S, Fujimori K. Gestational weight gain as a risk factor for dystocia during first delivery: a multicenter retrospective cohort study in Japan. BMC Pregnancy and Childbirth. 202209; 22(1):728.

Fujimori M, Takahashi T, Furukawa Y, Takanashi A, Iizawa Y, Jimbo M, Soeda S, Fujimori K, Takeichi K. Synchronous bilateral primary ovarian cancer with right endometroid carcinoma and left high-grade serous carcinoma: a case report and literature review. BMC Women's Health. 202204; 22(1):103.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sampei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan

Environment and Children's Study Group. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: the Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Hirai H, Okamoto S, Masuzaki H, Murata T, Ogata Y, Sato A, Horiuchi S, Shinohara R, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Yamagata Z, Shimabukuro M; JECS Group. Maternal Urinary Cotinine Concentrations During Pregnancy Predict Infant BMI Trajectory After Birth: Analysis of 89617 Mother-Infant Pairs in the Japan Environment and Children's Study. Frontiers in Endocrinology. 202204; 13:850784.

Shiraiwa A, Takahashi T, Okoshi C, Wada M, Ota K, Suganuma R, Jimbo M, Soeda S, Watanabe T, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Successful pregnancy and delivery after a vitrified-warmed embryo transfer in a woman with Kallmann syndrome: A case report and literature review. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):49-55.

Kyozuka H, Sugeno M, Murata T, Jin T, Ito F, Nomura Y, Hirano T, Shinohara K, Suzuki D, Ishida T. Introduction and utility of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta for cases with a potential high risk of postpartum hemorrhage: A single tertiary care center experience of two cases. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):117-122.

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):191-195.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Shoji T, Takatori E, Nagasawa T, Kagabu M, Baba T, Shigeto T, Matsumura Y, Shimizu D, Terada Y, Seino M, Ohta T, Nagase S, Shigeta S, Tokunaga H, Shimada M, Kaiho-Sakuma M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Takahashi F, Yokoyama Y. Comparison of treatment outcomes between first-line chemotherapy with or without bevacizumab for advanced ovarian, fallopian tube, and primary peritoneal cancer (Tohoku gynecologic cancer unit: TGCU-RS001 study). International Journal of Clinical Oncology. 202212; 27(12):1874-1880.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202201; 67:102694.

Watanabe T, Soeda S, Endo Y, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Kojima M, Furukawa S, Nishigori H, Takahashi T, Fujimori K. Rare Hereditary Gynecological Cancer Syndromes. International Journal of Molecular Sciences. 202201; 23(3):1563.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on Perinatal Outcomes: Results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum Mental Health of Mothers in Fukushima: Insights From the Fukushima Health Management Survey's 8-year Trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S64-S75.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S104-S114.

Konishi A, Samura O, Muromoto J, Okamoto Y, Takahashi H, Kasai Y, Ichikawa M, Yamada N, Kato N, Sato H, Hamada H, Nakanami N, Machi M, Ichizuka K, Sunami R, Tanaka T, Yonetani N, Kamei Y, Nagamatsu T, Matsumoto M, Tairaku S, Fujiwara A, Nakamura H, Harada T, Watanabe T, Sasaki S, Kawaguchi S, Minami S, Ogawa M, Miura K, Suzumori N, Kojima J, Kotani T, Sasaki R, Baba T, Toyofuku A, Endo M, Takeshita N, Taketani T, Sase M, Matsubara K, Hayata K, Hamada Y, Egawa M, Kakinuma T, Matsushima S, Kitagawa M, Shiga T, Kurashina R, Hamada H, Takagi H, Kondo A, Miharu N, Yamashita M, Horiya M, Morimoto K, Takahashi K, Okamoto A, Sekizawa A, Sago H. Prevalence of common aneuploidy in twin pregnancies. Journal of Human Genetics. 202205; 67(5):261-265.

Go H, Hashimoto K, Kyozuka H, Maeda H, Nishigori H, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal hemoglobin levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 202212; 35(26):10472-10480.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Kanno A, Yamaguchi A, Jimbo M, Nishigori H, Fujimori K. Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202205; 42(4):563-568.

Sugihara M, Unno N, Suzuki H, Sekizawa A, Tanaka H, Fujimori K, Ikeda T, Shimoya K. Examination of fetal well-being evaluation metrics for fetal glowth restriction as seen from Japan Obstetric Compensation Cause Analysis Report data. Journal of Obstetrics and Gynaecology Researh. 202201; 48(1):15-19.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Kyozuka H, Jin T, Fujimori M, Matsuno M, Nomura S, Suzuki D, Fukuda T, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Association of placenta previa with placental size in Japanese women: A study from a single tertiary referral center. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202202; 48(2):379-384.

Kyozuka H, Jin T, Fujimori M, Nomura S, Suzuki D, Fukuda T, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Effect of gestational weight gain on preeclampsia among underweight women: A single tertiary referral center study in Japanese women. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202205; 48(5):1141-1148.

Sugeno M, Kyozuka H, Murata T, Hiraiwa T, Jin T, Fujimori M, Fukumoto Y, Ito F, Suzuki D, Toma F, Yasuda S, Fujimori K, Nomura Y. Optimal gestational weight gain to reduce the risk of hypertension disorders of pregnancy among women with obesity: A single tertiary referral center study in Japan. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202211; 48(11):2766-2773.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with *TPM3-NTRK1* gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13(1):1273-1285.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Tanaka T, Fujimori K. Effects of maternal ritodrine hydrochloride administration on the heart rate of preterm fetal sheep with intraamniotic inflammation. PLOS ONE. 202203; 17(3):e0265872.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

Mashiyama F, Hashimoto K, Norito S, Okabe H, Sato A, Kume Y, Maeda R, Sato M, Sato M, Kyozuka H, Fujimori K, Nishigori H, Shinoki K, Yasumura S, Sakuma H, Hosoya M. Neutralizing and Epitope-Specific Antibodies against Respiratory Syncytial Virus in Maternal and Cord Blood Paired Samples. Viruses. 202212; 14(12):2702.

高橋俊文，三浦秀樹，大越千弘，山口明子，神保正利，菅沼亮太．【多嚢胞性卵巣症候群の最新知見－生涯にわたる健康管理を見据えて－】多嚢胞性卵巣症候群と若年者の月経異常．産婦人科の実際. 202209; 71(9):961-965.

渡邉健史，小島学，岡部慈子，佐藤哲，植田牧子，加茂矩士，遠藤雄大，古川茂宜，添田周，渡邉尚大，藤森敬也．初回手術から 1 年後に肺転移で再発した卵巣粘液性境界悪性腫瘍の 1 例．福島医学雑誌. 202204; 72(1):37-42.

藤森敬也．難治分娩，とくに前置癒着胎盤への対応　福島県で安心して生み育てるために．福島医学雑誌. 202212; 72(3):115-119.

安田俊，福田冬馬，藤森敬也．【胎児発育のすべて－FGR から巨大児まで】FGR 児の重症度評価方法　娩出時期の判断　特に胎盤機能不全による FGR について．臨床婦人科産科. 202209; 76(9):901-909.

高橋俊文，大越千弘，神保正利．【女性医学から読み解くメタボリック症候群－専門医のための必須知識】疾患・分野別編　PCOS とメタボリック症候群．臨床婦人科産科. 202210; 76(10):987-992.

〔総説等〕

渡辺尚文．【産婦人科医が知っておきたい臨床遺伝学のすべて】腫瘍　婦人科腫瘍領域では臨床遺伝学はどのよう

に活用されているのか. 臨床婦人科産科. 202201; 76(1):82-87.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishii K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura A, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Trends in Pregnancy and Birth after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident in the Fukushima Prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Elsevier; 2022. p.81-98.

Fujimori K, Yasuda S. History and Definitions. In: Matsuda Y. Cerebral Palsy: Perspective and Clinical Relation to Perinatal Complications/Events in Japan. Singapore: Springer; 202208. p.3-11.

菅沼亮太. Rescue ICSI について. In: 柴原浩章 編集主幹・企画編集. EBM から考える生殖医療（生殖医療フロントライン MOOK1）. 東京: 中外医学社; 202211. p.146-149.

菅沼亮太. IVF での受精と受精障害の対策. In: 柴原浩章 編集主幹, 柳田薫 企画編集. 受精とその障害（生殖医療フロントライン MOOK2）. 東京: 中外医学社; 202211. p.66-72.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔その他〕

山口明子. 妊娠と医薬品についての考え方.日本女性薬剤師会　2022 年度薬剤師継続学習通信教育講座; 20220220; 東京/Web.

小児科学講座

論　　文

〔原　著〕

Imamura T, Kanai Y, Yamaguchi S, Namai Y. New Roles for Albumin/Globulin Ratio in the Early-Onset Hyperbilirubinemia among Infants Born Weighing 1,000 to 2,499 Grams. American Journal of Perinatology. 20220525; doi: 10.1055/s-0042-1749387.

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M,

Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202207; 22(1):542.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Hirai H, Okamoto S, Masuzaki H, Murata T, Ogata Y, Sato A, Horiuchi S, Shinohara R, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Yamagata Z, Shimabukuro M; JECS Group. Maternal Urinary Cotinine Concentrations During Pregnancy Predict Infant BMI Trajectory After Birth: Analysis of 89617 Mother-Infant Pairs in the Japan Environment and Children's Study. Frontiers in Endocrinology. 202204; 13:850784.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Shirota J, Sato M, Saito Y, Asano Y, Tomita Y, Watanabe M, Suyama K, Kawasaki Y, Hosoya M. Plastic bronchitis associated with influenza B virus infection: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):43-48.

Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Population analysis of oseltamivir-resistant variants for the rapid prediction of drug susceptibility by real-time reverse transcription polymerase chain reaction. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):153-159.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-

year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Saijo Y, Yoshioka E, Sato Y, Azuma H, Tanahashi Y, Ito Y, Kobayashi S, Minatoya M, Ait Bamai Y, Yamazaki K, Itoh S, Miyashita C, Ikeda-Araki A, Kishi R, Kamijima M, Yamazaki S, Ohya Y, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, Ito S, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Iso H, Shima M, Kurozawa Y, Suganuma N, Kusuhara K, Katoh T. Relations of mold, stove, and fragrance products on childhood wheezing and asthma: A prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. Indoor Air. 202201; 32(1):e12931.

Kume Y, Hashimoto K, Chishiki M, Norito S, Suwa R, Ono T, Mochizuki I, Mashiyama F, Ishibashi N, Suzuki S, Sakuma H, Takahashi H, Takeda M, Shirato K, Hosoya M. Changes in virus detection in hospitalized children before and after the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 pandemic. Influenza and Other Respiratory Viruses. 202209; 16(5):837-841.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):10.3390/ijerph192214858.

Kaneko K, Ito Y, Ebara T, Kato S, Matsuki T, Tamada H, Sato H, Saitoh S, Sugiura-Ogasawara M, Yamazaki S, Ohya Y, Kishi R, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, Ito S, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Iso H, Shima M, Kurozawa Y, Suganuma N, Kusuhara K, Katoh T, Kamijima M. Association of Maternal Total Cholesterol With SGA or LGA Birth at Term: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 202201; 107(1):e118-e129.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Yasuda Uemura M, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H,

Kamiya K. Association Between Lifestyle Habits and the Prevalence of Abdominal Obesity After the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202211; 32(11):496-501.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Sakai A, Kurihara O, Hosoya M, Sakata R, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. External Doses Available for Epidemiological Studies Related to the Fukushima Health Management Survey: First 4-month Individual Doses and Municipality-average Doses for the First Year. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S11-S22.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S84-S94.

Kume Y, Hashimoto K, Shirato K, Norito S, Suwa R, Chishiki M, Ono T, Mashiyama F, Mochizuki I, Sato M, Ishibashi N, Suzuki S, Sakuma H, Takahashi H, Takeda M, Hosoya M. Epidemiological and clinical characteristics of infections with seasonal human coronavirus and respiratory syncytial virus in hospitalized children immediately before the coronavirus disease 2019 pandemic. Journal of Infection and Chemotherapy. 202207; 28(7):859-865.

Go H, Hashimoto K, Kyozuka H, Maeda H, Nishigori H, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal hemoglobin levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 202212; 35(26):10472-10480.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Kume Y, Hashimoto K, Iida K, Maeda H, Miyazaki K, Ono T, Chishiki M, Suzuki Y, Go H, Suyama K, Hosoya M. Diagnostic Reference Value of Antibody Levels Measured Using Enzyme Immunoassay for Subacute Sclerosing Panencephalitis. Microbiology and Immunology. 202209; 66(9):418-425.

Kakizaki M, Kume Y, Suwa R, Kawase M, Ono T, Chishiki M, Norito S, Sato M, Sakuma H, Suzuki S, Hosoya M, Takeda M, Hashimoto K, Shirato K. Thirteen nearly complete genome sequences of human bocavirus 1 isolated from pediatric inpatients in Fukushima, Japan. Microbiology Resource Announcements.

202201; 11(1):e0102721.

Sugimoto S, Kume Y, Suwa R, Kawase M, Kakizaki M, Egawa K, Ono T, Chishiki M, Okabe H, Norito S, Sato M, Sakuma H, Suzuki S, Hosoya M, Takeda M, Hashimoto K, Shirato K. Ten nearly complete genome sequences of human orthorubulavirus 4 isolated from pediatric inpatients in Fukushima, Japan. Microbiology Resource Announcements. 202207; 11(7):e0041122.

Egawa K, Kakizaki M, Kume Y, Suwa R, Kawase M, Ono T, Chishiki M, Okabe H, Norito S, Sato M, Sakuma H, Suzuki S, Hosoya M, Takeda M, Hashimoto K, Shirato K. Nearly complete genome sequences of 12 types of human rhinoviruses isolated from pediatric inpatients in Fukushima, Japan. Microbiology Resource Announcements. 202208; 11(8):e0052922.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Suwa R, Kume Y, Kawase M, Chishiki M, Ono T, Norito S, Sato K, Okamoto M, Kumaki S, Nagai Y, Hosoya M, Takeda M, Nishimura H, Hashimoto K, Shirato K. Practical Validation of United States Centers for Disease Control and Prevention Assays for the Detection of Human Respiratory Syncytial Virus in Pediatric Inpatients in Japan. Pathogens. 202207; 11(7):754.

Okura T, Shirato K, Kakizaki M, Sugimoto S, Matsuyama S, Tanaka T, Kume Y, Chishiki M, Ono T, Moriishi K, Sonoyama M, Hosoya M, Hashimoto K, Maenaka K, Takeda M. Hydrophobic Alpha-Helical Short Peptides in Overlapping Reading Frames of the Coronavirus Genome. Pathogens. 202208; 11(8):877.

Go H, Ono J, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Kume Y, Maeda H, Chishiki M, Haneda K, Ichikawa H, Kashiwabara N, Kanai Y, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Nunomura S, Izuhara K, Hosoya M. Can serum periostin predict bronchopulmonary dysplasia in premature infants? Pediatric Research. 202210; 92(4):1108-1114.

Katsuta T, Shimizu N, Okada K, Tanaka-Taya K, Nakano T, Kamiya H, Amo K, Ishiwada N, Iwata S, Oshiro M, Okabe N, Kira R, Korematsu S, Suga S, Tsugawa T, Nishimura N, Hishiki H, Fujioka M, Hosoya M, Mizuno Y, Mine M, Miyairi I, Miyazaki C, Morioka I, Morishima T, Yoshikawa T, Wada T, Azuma H, Kusuhara K, Ouchi K, Saitoh A, Moriuchi H. The clinical characteristics of pediatric coronavirus disease 2019 in 2020 in Japan. Pediatrics International. 202201; 64(1):e14912.

Takahashi Y, Kanai Y, Chishiki M, Goto A, Imamura T. Neonatal reticulocytes among preterm infants of small

for gestational age. Pediatrics and Neonatology. 202209; 63(5):462-467.

Kume Y, Go H, Maeda R, Suyama K, Mori T, Kawasaki Y, Hashimoto K, Hosoya M. Gene expression profile and injury sites in mice treated with Shiga toxin 2 and lipopolysaccharide as a Shiga toxin-associated hemolytic uremic syndrome model. Physiological Genomics. 202205; 54(5):153-165.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K, Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Tatsuta N, Nakai K, Nakayama SF, Takeuchi A, Arima T, Yaegashi N, Kamijima M; Japan Environment and Children's Study Group; Yamazaki S, Ohya Y, Kishi R, Hashimoto K, Mori C, Ito S, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Iso H, Shima M, Kurozawa Y, Suganuma N, Kusuhara K, Katoh T. Effects of maternal exposure to lead on secondary sex ratio in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Science of the Total Environment. 202204; 817:152726.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

Mashiyama F, Hashimoto K, Norito S, Okabe H, Sato A, Kume Y, Maeda R, Sato M, Sato M, Kyozuka H, Fujimori K, Nishigori H, Shinoki K, Yasumura S, Sakuma H, Hosoya M. Neutralizing and Epitope-Specific Antibodies against Respiratory Syncytial Virus in Maternal and Cord Blood Paired Samples. Viruses. 202212; 14(12):2702.

細矢光亮. 【ウイルス性脳炎・脳症 2022】急性弛緩性麻痺. Brain and Nerve. 202210; 74(10):1153-1162.

細矢光亮．【感染症-脳神経外科医のためのエッセンス】中枢神経における感染性疾患　ウイルス感染症. Neurological Surgery. 202209; 50(5):942-951.

浅野裕一朗，**佐藤晶論**，**橋本浩一**，**細矢光亮**．大学附属病院小児科における抗菌薬適正使用支援プログラムの効果. 感染症学雑誌. 202209; 96(5):186-192.

石綿翔，**鈴木雄一**，**山田美香**，**浅野裕一朗**，**前田亮**，**小野敦史**，**加藤朝子**，**佐藤晶論**，**陶山和秀**，**細矢光亮**. 急性脳症症状を主として発症したMELAS（mitochondrial encephalomyopathy; lactic acidosis and stroke-like attack）. 小児科臨床. 202208; 75(4):597-602.

細矢光亮．【思春期・成人に用いられるワクチン】予防接種の接種間隔の変更. 日本医師会雑誌. 202201; 150(10):1750-1754.

細矢光亮．治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　亜急性硬化性全脳炎（SSPE）. 日本医事新報. 202206; (5122):45-46.

細矢光亮．治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　手足口病. 日本医事新報. 202207; (5123):47-47.

齋藤康，**渡部真裕**，**柳沼和史**，**齊藤修**，**新津健裕**，**清水直樹**，**陶山和秀**，**細矢光亮**．地方圏における重篤小児患者の施設間搬送の実態と課題. 日本小児科学会雑誌. 202201; 126(1):64-70.

細矢光亮．私が経験した東日本大震災・東電原発事故. 日本小児科学会雑誌. 202210; 126(10):1357-1370.

橋本浩一．【新型コロナウイルス感染症の流行でその他の感染症の発生動向はどう変化したか？】RS ウイルス感染症の発生動向の変化. 臨床と微生物. 202203; 49(2):119-125.

〔総説等〕

佐藤晶論．ノイラミニダーゼ阻害薬とバロキサビルマルボキシルの違いを教えてください. インフルエンザ. 202210; 23(3):220-221.

佐藤晶論．【感染症診療における迅速検査を知る】各種感染症における迅速検査と最新の診断技術　インフルエンザ. 小児科診療. 202211; 85(11):1435-1442.

佐藤晶論．インフルエンザ治療薬の進歩. 臨床とウイルス. 202212; 50(5):289-298.

書籍等出版物

佐藤晶論．インフルエンザ治療薬. In: 菅谷憲夫 編. インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症診療ガイド 2022-23. 東京: 日本医事新報社; 202212. p.179-189.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

齋藤康，柳沼和史，斉藤修，新津健裕，清水直樹，陶山和秀，細矢光亮. 福島県における重篤小児患者の集約化･搬送医療と、それによる県内小児科医の働き方の変化. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):195.

片寄菜生，市川弘隆，蛭田俊，知識美奈，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 先天性食道閉鎖症に広範囲の気管軟化症を合併した男児例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):252.

知識美奈，橋本浩一，久米庸平，小野貴志，鈴木重雄，佐久間弘子，佐藤晶論，白戸憲也，竹田誠，細矢光亮. COVID-19 拡大下における福島県での RS ウィルス検出状況. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 125(2):259.

久米庸平，橋本浩一，則藤桜子，知識美奈，増山郁，佐久間弘子，鈴木重雄，佐藤晶論，白戸憲也，竹田誠，細矢光亮. SARS-Cov-2 流行前の気動感染入院患児におけるウイルス検出率の検討. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):262.

岡部永生，佐藤晶論，上田万純，片寄菜生，石綿翔，中津秀幸，渡邉みずき，中澤満美子，山田美香，柳沼和史，齋藤康，浅野裕一朗，川島綾子，富田陽一，林真理子，鈴木雄一，青柳良倫，陶山和秀，桃井伸緒，細矢光亮. 生来健康な小児における重症ヒトヘルペスウイルス 7 感染症. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):269.

知識美奈，錫谷達夫，市川弘隆，蛭田俊，岡部永生，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮，大戸斉. 新規乾式母乳低温殺菌装置の殺菌効果の検討. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):300.

柳沼和史，陶山和秀，中澤満美子，齋藤康，飯島綾子，佐久間潤，細矢光亮. 動力式刈払機により頭部外傷を来した小児例. 第 125 回小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):308.

齋藤淳哉，細矢薫子，星野正人，小田愼一，細矢光亮. West 症候群を合併したダウン症候群にバルプロ酸単剤投与が奏功した 1 例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):360.

細矢薫子，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，佐藤晶論，桃井伸緒，細矢光亮. ヒトパルボウイルス B19 感染が関連した急性心筋炎の 4 症例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):360.

鈴木雄一，森田浩之，細矢光亮. 言葉の遅れや多動を主訴に受診した幼児の乳児期における行動特性の検討－第 3 報－. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):369.

城田淳，増山郁，佐久間弘子，髙野峻也，兼子恵理子，竹田悠佳，加藤一夫．郡山市の小児 COVID-19 診療と星総合病院－郡山市保健所と民間病院の共働－．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(2):418.

今村孝，佐藤賢一，渡邉みずき，中津秀幸，塙孝哉，富岡美文，生井良幸．緊急血管手術対応が困難な地域周産期母子医療センターにおける早産児動脈管開存症の管理実績．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

片寄菜生，桃井伸緒，岡部永生，柳沼和史，齋藤康，三浦義文，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，佐藤晶論，細矢光亮．肺高血圧症を併発した先天性中枢性低換気症候群の男児例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

蛭田俊，小笠原啓，市川弘隆，知識美奈，金井祐二，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮．極低出生体重児における亜鉛製剤投与による血清亜鉛値の推移に関する検討．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

上田万純，岡部永生，片寄菜生，柳沼和史，齋藤康，浅野裕一朗，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，桃井伸緒，佐藤晶論，細矢光亮．ヒトヘルペスウイルス 7（HHV-7）によると考えられた劇症型系心筋炎の 1 例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

遠藤起生，美間健二，高尾浩之，塙敦美，野寺真樹，鈴木保志朗，鈴木潤，柏原祥曜，本田義信．デキサメタゾンを投与した COVID-19 の乳児 2 例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

木田智士，美間健二，高尾浩之，塙敦美，野寺真樹，遠藤起生，鈴木保志朗，鈴木潤. MERS（可逆性梁膨大部病変を伴う軽症脳炎・脳症）を伴う COVID-19 関連小児多系統炎症候群（MIS-C）が疑われた 1 例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

佐川有理子，髙野峻也，城田淳，竹田悠佳，増山郁，加藤一夫，佐久間弘子．咽頭後リンパ節炎に合併した環軸椎回旋位固定の女児例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

佐久間一理，福田豊，木村菜央，佐久間世菜，木下英俊，有賀裕道，長澤克俊，藤木伴男．川崎病の診断基準を満たした Stevens-Johnson 症候群が疑われた 1 例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

増山郁，髙野峻也，城田淳，竹田悠佳，加藤一夫，佐久間弘子．当院における経肛門的腸療法の取り込み．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

本田義信，柏原祥曜．神経線維腫 I 型（von Recklinghausen の病）の 2 家系．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):843-844.

石綿翔，高橋信久，工藤新吾，大原喜裕，小林正悟，陶山和秀，鈴木雄一，喜古雄一郎，伊藤正樹，佐野秀樹，横谷進，細矢光亮．不定愁訴的症状で発症し診断までに時間がかかった鞍上部 germinoma の 1 例．第 125 回

日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):844.

桑名健太，鈴木重雄，高橋唯，望月いづみ，保科めぐみ，石橋直尚. 偶然に腎機能低下に気づかれた先天性腎尿路異常の 1 例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):844.

高橋唯，鈴木重雄，桑名健太，望月いづみ，保科めぐみ，石橋直尚. FGF23 関連低リン血症性くる病に対するボロスマブの使用経験. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):844.

根本浩太，前田亮，石綿翔，山田美香，浅野裕一朗，小野敦史，鈴木雄一，加藤朝子，佐藤晶論，陶山和秀，細矢光亮. 自閉症スペクトラム障害に伴う単純性肥満と考えられていた Cushing 病の男児例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):844.

久米庸平，前田亮，小野敦史，陶山和秀，細矢光亮. 溶血性尿毒症症候群モデルマウスにおける遺伝子発現プロファイルと尿路感染損傷部位の検討. 第 57 回日本小児腎臓病学会学術集会; 20220527-28; 宜野湾/Web.

前田亮，久米庸平，小野敦史，陶山和秀，細矢光亮. 重複腎動脈を伴う高レニン性高血圧症に起立性調節障害を合併した 1 例. 第 57 回日本小児腎臓病学会学術集会; 20220527-28; 宜野湾/Web.

知識美奈，橋本浩一，小野貴志，久米庸平，佐藤晶論，佐久間弘子，竹田誠，細矢光亮. 福島県下 COVID-19 流行前後での RS ウイルス感染症の臨床的特徴の比較. 第 63 回日本臨床ウイルス学会; 20220618-19; 東京.

川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，遠藤起生，桃井伸緒. 生後 1 ヵ月で発症した川崎病ショック症候群の 1 例. 第 58 回小児循環器学会総会・学術集会; 20220721-23; 札幌.

赤間太郎，金井祐二，佐久間一理，蛭田俊，市川弘隆，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 呼吸障害および哺乳障害を伴う先天性後鼻孔閉鎖症に対して 2 度の開窓術を行った CHARGE 症候群の 1 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

石綿美紅，大原喜裕，佐々木唯，工藤新吾，高橋信久，小林正悟，望月一弘，山田匠希，鈴木理，細矢光亮，佐野秀樹. IL-6 を指標にトシリズマブ長期投与の小児発症特発性多中心性キャッスルマン病の 1 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

上田茉佑，桃井伸緒，井口桃美，川島綾子，前田亮，富田陽一，林真理子，青柳良倫，細矢光亮. 川崎病の経過中に関節症状が出現し識別と治療に難渋している 1 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

佐川有理子，城田淳，久米庸平，前田亮，小野敦史，陶山和秀，細矢光亮. 高度の電解質異常から心室頻拍をきたした続発生偽性低アルドステロン症の男児例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

高橋勇貴，柳沼和史，中澤満美子，齋藤康，佐藤晶論，細矢光亮. 小児神経原性肺水腫の 3 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

旗野史帆，浅野裕一朗，陶山和秀，鈴木雄一，野寺真樹，山田美香，佐藤晶論，細矢光亮. 熱性痙攣後の熱源検索でムンプスワクチン株によるウイルス性髄膜炎所見を認めた 2 症例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10;

Web.

湯田優衣，蛭田俊，佐久間一理，市川弘隆，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，田中秀明，細矢光亮. 食道穿孔と鑑別を要した梨状窩穿孔の超低出生体重児例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

浅野裕一朗，旗野史帆，陶山和秀，鈴木雄一，野寺真樹，山田美香，佐藤晶論，細矢光亮. 熱性痙攣後の熱源検索でムンプスワクチン株によるウイルス性髄膜炎所見を認めた 2 症例. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

岡部永生，佐藤晶論，浅野裕一朗，橋本浩一，細矢光亮. 生来健康な小児における重症ヒトヘルペスウイルス 7 型感染症. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

小野貴志，橋本浩一，則藤桜子，久米庸平，知識美奈，佐藤晶論，鈴木重雄，佐久間弘子，細矢光亮. 隣接した医療圏における RS ウイルスの分子進化と COVID-19 流行前後の RS ウイルスの遺伝子的特徴の検討. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

久米庸平，橋本浩一，則藤桜子，小野貴志，知識美奈，鈴木重雄，佐久間弘子，佐藤晶論，細矢光亮. SARS-CoV-2m 流行開始前後の呼吸器症状を伴う入院患者のウイルス検出状況の変化. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

佐藤晶論，橋本浩一，細矢光亮. インフルエンザ患者における他呼吸器ウイルス遺伝子検出の臨床的意義. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

橋本浩一，前田創，久米庸平，小野貴志，知識美奈，岡部永生，細矢光亮. 妊娠中のタバコへの曝露と 1 歳までの小児の感染症罹患との関連. 第 54 回日本小児感染症学会総会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

細矢光亮. 小児における新型コロナウイルス感染症. 第 54 回日本小児感染症学会・学術集会; 20221105-06; 福岡.

〔特別講演〕

細矢光亮. 私が経験した東日本大震災・東電原発事故. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山 /Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):155.

眼科学講座

論　　文

〔原　著〕

Tamashiro T, Tanaka K, Itagaki K, Nakayama M, Maruko I, Wakugawa S, Terao N, Onoe H, Wakatsuki Y, Ogasawara M, Sugano Y, Yamamoto A, Kataoka K, Izumi T, Kawai M, Mori R, Sekiryu T, Okada AA, Iida T, Koizumi H; Japan AMD Research Consortium (JARC). Subfoveal choroidal thickness after brolucizumab therapy for neovascular age-related macular degeneration: a short-term multicenter study. Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology. 2022; 260(6):1857-1865.

Suga A, Yoshitake K, Minematsu N, Tsunoda K, Fujinami K, Miyake Y, Kuniyoshi K, Hayashi T, Mizobuchi K, Ueno S, Terasaki H, Kominami T, Nao-I N, Mawatari G, Mizota A, Shinoda K, Kondo M, Kato K, Sekiryu T, Nakamura M, Kusuhara S, Yamamoto H, Yamamoto S, Mochizuki K, Kondo H, Matsushita I, Kameya S, Fukuchi T, Hatase T, Horiguchi M, Shimada Y, Tanikawa A, Yamamoto S, Miura G, Ito N, Murakami A, Fujimaki T, Hotta Y, Tanaka K, Iwata T. Genetic characterization of 1210 Japanese pedigrees with inherited retinal diseases by whole-exome sequencing. Human Mutation. 2022; 43(12):2251-2264.

Stahl A, Sukgen EA, Wu WC, Lepore D, Nakanishi H, Mazela J, Moshfeghi DM, Vitti R, Athanikar A, Chu K, Iveli P, Zhao F, Schmelter T, Leal S, Köfüncü E, Azuma N; FIREFLEYE Study Group. Effect of Intravitreal Aflibercept vs Laser Photocoagulation on Treatment Success of Retinopathy of Prematurity: The FIREFLEYE Randomized Clinical Trial. JAMA. 2022; 328(4):348-359.

Sekiryu T. Choroidal imaging using optical coherence tomography: techniques and interpretations. Japanese Journal of Ophthalmology. 2022; 66(3):213-226.

Tanaka K, Koizumi H, Tamashiro T, Itagaki K, Nakayama M, Maruko I, Wakugawa S, Terao N, Onoe H, Wakatsuki Y, Kasai A, Ogasawara M, Shintake H, Sugano Y, Yamamoto A, Kataoka K, Hasegawa T, Izumi T, Kawai M, Maruko R, Sekiryu T, Okada AA, Iida T, Mori R. Short-term results for brolucizumab in treatment-naïve neovascular age-related macular degeneration: a Japanese multicenter study. Japanese Journal of Ophthalmology. 2022; 66(4):379-385.

Kato Y, Oguchi Y, Omori T, Ksai A, Ogasawara M, Sugano Y, Itagaki K, Ojima A, Ishida Y, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Age-Related Maculopathy Susceptibility 2 and Complement Factor H Polymorphism and Intraocular Complement Activation in Neovascular Age-Related Macular Degeneration. Ophthalmology Science. 2022; 2(2):100167.

Oshima Y, Shinojima A, Sawa M, Mori R, Sekiryu T, Kato A, Hara C, Saito M, Sugano Y, Hirano Y, Asato H, Nakamura M, Kimura E, Yuzawa M, Ishibashi T, Ogura Y, Iida T, Gomi F, Yasukawa T. Progression of age-related macular degeneration in eyes with abnormal fundus autofluorescence in a Japanese population:

JFAM study report 3. PLOS ONE. 2022; 17(2):e0264703.

Sugano Y, Maeda S, Kato Y, Kasai A, Tsuji S, Okamoto M, Sekiryu T. Morphometrics in Three Dimensional Choroidal Vessel Models Constructed from Swept-Source Optical Coherence Tomography Images. Scientific Reports. 2022; 12(1):15130.

松本翔平，新竹広晃，飯高佑介，前原紘基，今泉公宏，菅野幸紀，佐柄英人，石龍鉄樹. Kahook dual blade を用いた白内障手術併用線維柱帯切開術の 6 ヵ月成績. 眼科臨床紀要. 2022; 15(5):327-330.

森隆史，鈴木美加，松野希望，深津有佳里，黒澤供美，佐藤千尋，笠井彩香，齋藤章子，石龍鉄樹. 光学式生体計測装置で観察した学童期における眼軸長の経年変化. 眼科臨床紀要. 2022; 15(6):408-412.

則川晃希，新竹広晃，大口泰治，錫谷達夫，木村宏，石龍鉄樹. Epstein-Barr ウイルスにより急性網膜壊死を生じた 1 例. 日本眼科学会雑誌. 2022; 126(12):1057-1063.

深津有佳里，関向秀樹，今村拓未，前田駿介，則川晃希，田中啓一郎，菅野幸紀，石龍鉄樹. 3 次元モデルによる網脈絡混変性疾患の脈絡膜血管形態の評価. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:61-67.

今村拓未，深津有佳里，関向秀樹，佐藤千尋，前田駿介，田中啓一郎，笠井彩香，新田美和，菅野幸紀，森隆史，石龍鉄樹. 治療用眼鏡装用児のアトロピン点眼による調節麻痺下での脈絡膜血管形態の変化. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:69-74.

鈴木美加，森隆史，松野希望，笠井彩香，齋藤章子，橋本禎子，石龍鉄樹. 3 歳児における Spot Vision Screener の屈折度数の異常判定基準についての考察. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:93-100.

成田真帆，森隆史，鈴木美加，松野希望，笠井彩香，新田美和，齋藤章子，橋本禎子，石龍鉄樹. 3～8 歳児における眼軸長と角膜曲率半径と月齢による等価球面屈折値の予測式の検討. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:127-133.

過年業績

Fujinami-Yokokawa Y, Ninomiya H, et al; Japan Eye Genetics Study (JEGC) Group. Prediction of causative genes in inherited retinal disorder from fundus photography and autofluorescence imaging using deep learning techniques. British Journal of Ophthalmology. 2021; 105(9):1272-1279.

Maruko I, Okada AA, Iida T, Hasegawa T, Izumi T, Kawai M, Maruko R, Nakayama M, Yamamoto A, Koizumi H, Tamashiro T, Terao N, Wakugawa S, Mori R, Onoe H, Tanaka K, Wakatsuki Y, Itagaki K, Kasai A, Ogasawara M, Sekiryu T, Shintake H, Sugano Y; Japan AMD Research Consortium. Brolucizumab-related intraocular inflammation in Japanese patients with age-related macular degeneration: a short-term multicenter study. Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology. 2021; 259(9):2857-2859.

Saito M, Iida T, Saito K, Kano M, Itagaki K, Maruko I, Sekiryu T. Long-term characteristics of exudative age-related macular degeneration in Japanese patients. PLOS ONE. 2021; 16(12):e0261320.

〔総説等〕

笠井暁仁，石龍鉄樹. 眼底自発蛍光の導入にあたっての基本. 眼科グラフィック. 2022; 11(5):556-563.

鈴木美加. 上手に活用したい！スポット™ビジョンスクリーナー. 眼科ケア. 2022; 24(9):934-940.

大森智子，関根英治，石龍鉄樹. 【補体と疾患ーいま補体がおもしろいー】補体異常症 加齢黄斑変性. 日本臨床. 2022; 80(11):1795-1801.

書籍等出版物

森隆史. 眼底写真　1）眼底撮影　⑦手持ち眼底カメラによる眼底撮影. In: 根木昭 監修, 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和 編集. 眼科検査ガイド　第3版. 東京: 文光堂. 2022. p.611-612.

石龍鉄樹. 眼底写真　4）眼底自発蛍光撮影. In: 根木昭 監修, 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和 編集. 眼科検査ガイド　第3版. 東京: 文光堂. 2022. p.631-636.

石龍鉄樹. 後眼部疾患　網膜・硝子体疾患　網膜色素上皮症　多発性後極部網膜色素上皮症. In: 村上晶, 白石敦, 辻川明孝 編集. 眼科疾患最新の治療　2022-2024. 東京: 南江堂. 2022. p.241-243.

森隆史. その他の疾患　斜視, 弱視　斜視. In: 村上晶, 白石敦, 辻川明孝 編集. 眼科疾患最新の治療　2022-2024. 東京: 南江堂. 2022. p.305.

森隆史. 1 検査総論　1 視力屈折測定　検影法. In: 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 今日の眼疾患治療指針　第4版. 東京: 医学書院. 2022. p.6.

森隆史. 1 検査総論　1 視力屈折測定　小児の視力・屈折検査. In: 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 今日の眼疾患治療指針　第4版. 東京: 医学書院. 2022. p.11.

笠井暁仁，石龍鉄樹. 2 治療総論　10 網膜疾患　嚢胞様黄斑浮腫. In: 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 今日の眼疾患治療指針　第4版. 東京: 医学書院. 2022. p.671.

石龍鉄樹. 2 治療総論　10 網膜疾患　後部硝子体剥離. In: 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 今日の眼疾患治療指針　第4版. 東京: 医学書院. 2022. p.672.

菅野幸紀，石龍鉄樹. 2 治療総論　10 網膜疾患　飛蚊症. In: 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 今日の眼疾患治療指針　第4版. 東京: 医学書院. 2022. p.675.

石龍鉄樹. 眼科疾患　網膜剥離. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針：私はこう治療している　2022年版（Vol.64）. 東京: 医学書院. 2022. p.1562-1563.

森隆史. 基礎視能矯正学　生理光学　B. 屈折・調節の異常. In: 小林義治, 松岡久美子, 臼井千惠, 岡真由美 編集. 視能学　第3版. 東京: 文光堂. 2022. p.117-125.

森隆史. 基礎視能矯正学　生理光学　D. 屈折・調節の矯正. In: 小林義治, 松岡久美子, 臼井千惠, 岡真由美 編集. 視能学　第3版. 東京: 文光堂. 2022. p.142-147.

森隆史. 屈折・調節・瞳孔　3. 弱視治療. In: 大鹿哲郎, 園田康平, 近藤峰生, 稲谷大 編集. 眼科薬物療法リファレンス（新篇眼科プラクティス4）. 東京: 文光堂. 2022. p.291-293.

森隆史. 斜視視能矯正の実際　急性内斜視③上下斜視. In: 大鹿哲郎, 南雲幹 編集. 視能訓練士スキルアップ：これこそ座右の書（新篇眼科プラクティス6）. 東京: 文光堂. 2022. p.212-214.

森隆史. 3歳児健診における視覚検査. In: 仁科幸子, 林思音 編集. ファーストステップ！子どもの視機能をみる：スクリーニングと外来診療. 東京: 全日本病院出版会. 2022. p.68-72.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

菊地有希久. 閾値下レーザー照射後に脈絡膜新生血管が明瞭化した中心性漿液性網脈絡膜症. 第126回日本眼科学会総会; 20220414-17; 大阪.

関向秀樹. 3Dバイオマーカーによる網脈絡膜変性疾患の脈絡膜血管形態評価. 第126回日本眼科学会総会; 20220414-17; 大阪.

則川晃希. 滲出型加齢黄斑変性の前房水中HTRA1濃度とARMS2遺伝子変異. 第126回日本眼科学会総会; 20220414-17; 大阪.

前原紘基. 涙液中補体活性化産物とマイボーム腺機能不全の関係. 第126回日本眼科学会総会; 20220414-17; 大阪.

森隆史. 弱視発見のための屈折スクリーニング. 第126回日本眼科学会総会; 20220414-17; 大阪.

加藤裕花. 自然瞳孔での眼球生体計測値と調節麻痺下等価球面屈折値の関係. 第78回日本斜視弱視学会総会; 20220617-18; 宇都宮.

森隆史. レセプトデータに基づく2018年度の弱視の診断件数. 第78回日本斜視弱視学会総会; 20220617-18; 宇都宮.

則川晃希. シャンデリア照明を使用した強膜内陥術後の急性眼内炎の1例. フォーサム2022; 20220708-10; 広島.

土屋雄一郎. OCT Angiographyで長期経過観察した2型黄斑部毛細血管拡張症. 第38回日本眼循環学会; 20220716-17; 富山.

本庄純一郎. 緑内障合併滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF硝子体内注射後の眼圧変動. 第38回日本眼循環学

会; 20220716-17; 富山.

加藤裕花. 自然瞳孔での眼球生体計測値による調節麻痺下等価球面屈折値の推測. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

菅野幸紀. 後部ぶどう腫に伴う漿液性網膜剥離への硝子体手術併用強膜短縮術の検討. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

菊地有希久. 分節型眼内レンズと高次非球面眼内レンズの満足度調査. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

石龍鉄樹. 眼底自発蛍光を使いこなす. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

田中啓一郎. 滲出型加齢黄斑変性における前房水 Properdin 濃度と ARMS2 遺伝子. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

前原紘基. 人工知能を用いた脂腺癌と霰粒腫の識別. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

森隆史. 手持ち無散瞳眼底カメラの活用. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

石龍鉄樹. 眼科における視神経炎および類縁疾患の診断と治療. 第 40 回日本神経治療学会学術集会; 20221102-04; 郡山.

本庄純一郎. 血漿交換療法を行った小児抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein(MOG)抗体関連視神経炎の 1 例. 第 60 回日本神経眼科学会総会; 20221111-12; 倉敷/Web.

笠井暁仁. 血管長を考慮した脈絡膜血管の 3 次元解析. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会; 20221202-04; 大阪.

加藤寛. 弱視眼における光干渉断層計水平断を用いた中心窩無血管領域面積の推定. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会; 20221202-04; 大阪.

田中啓一郎. Pachydrusen と前房水中補体活性化産物. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会; 20221202-04; 大阪.

向井亮. ポリープ状脈絡膜血管症における渦静脈の拍動と脈絡膜厚・脈絡膜透過性亢進について. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会; 20221202-04; 大阪.

〔その他〕

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性診療　アップデート. 第 96 回新潟臨床眼科研究会; 20220313; 新潟.

前原紘基. アジスロマイシン点眼薬 1 %の有効性の検討. SENJU WEB Seminar; 20220602; Web.

向井亮. 加齢黄斑変性の網膜色素上皮剥離に対する抗 VEGF 薬の作用に関して. 福島県バビースモ発売記念講演会; 20220616; Web.

森隆史. 斜視の臨床的特徴と観血治療. 日本視能訓練士協会生涯教育制度　専門教育プログラムⅡ; 20220717; Web.

石龍鉄樹. 脈絡膜3次元解析の有用性. Japan Macula Club 第22回学術講演会; 20220827-28; 蒲郡.

向井亮. 加齢黄斑変性症におけるブロルシズマブでの治療について. 第6回福島オフサルミックセミナー; 20220908; Web.

向井亮. ラニビズマブBSの福島医大での使用経験. 黄斑診療検討会; 20221001; Web.

石龍鉄樹. こんな時、どうする？加齢黄斑変性治療. 第16回北陸オフサルミックフォーラム; 20221002; 富山.

向井亮. 加齢黄斑変性症の治療中の合併症を再考する. 第16回福島Maculaアカデミー; 20221110; Web.

石龍鉄樹. 大学病院でのnAMD治療戦略. EYLEA10周年Webinar in East Japan; 20221209; Web.

石龍鉄樹. 最近の加齢黄斑変性治療－こんな時、どうする？加齢黄斑変性. 第200回宮崎県眼科医会講習会; 20221217; 宮崎.

皮膚科学講座

論　　文

〔原　著〕

Irie K, Yamamoto T. Serum levels and expression of IL-25 in patients with psoriatic erythroderma. Australasian Journal of Dermatology. 202208; 63(3):e268-e270.

Sato M, Chen K-R, Yamamoto T. Coexistence of superficial thrombophlebitis and cutaneous venulitis in Behçet's disease. Indian Journal of Dermatology. 202211; 67(6):721-724.

Mori T, Yamamoto T. High levels of serum amyloid A in patients with generalized pustular psoriasis: a possible biomarker of generalized pustular psoriasis. International Journal of Dermatology. 202210; 61(10):e398-e400.

Seervai RNH, Heberton M, Cho WC, Gill P, Murphy MB, Aung PP, Nagarajan P, Torres-Cabala CA, Patel AB, Ruiz-Bañobre J, Om A, Yamamoto T, Nikolaou V, Curry JL. Severe de novo pustular psoriasiform immune-related adverse event asspciated with nivolumab treatment for metastatic esophageal adenocarcinoma. Journal of Cutaneous Pathology. 202205; 49(5):472-481.

Yamasaki K, Yamanaka K, Zhao Y, Iwano S, Takei K, Suzuki K, Yamamoto T. Adalimumab in Japanese patients with active ulcers of pyoderma gangrenosum: final analysis of a 52-week phase 3 open-label study. Journal of Dermatology. 202205; 49(5):479-487.

Umeda Y, Teramoto Y, Asami Y, Matsuya T, Saito S, Sasaki K, Baba N, Ishizuki S, Kamimura A, Yamaguchi B, Kawahara Y, Takai S, Izumi T, Doi R, Mori T, Nakamura Y. Comparison of surgical morbidities between LigaSure™ and conventional techniques in inguinal or ilioinguinal lymph node dissection for skin cancer: A single center retrospective study. Journal of Dermatology. 202210; 49(10):1020-1026.

Hiraiwa T, Yamamoto T. Nail lesions in palmoplantar pustulosis are not significantly associated with distal interphalangeal arthritis. Journal of Dermatology. 202211; 49(11):e403-e404.

Hiraiwa T, Yamamoto T. Survey of the treatment outcome of patients with pustulotic arthro-osteitis associated with palmoplantar pustulosis. Journal of Dermatology. 202212; 49(12):e448.

Ishikawa M, Yamamoto T. Erythema nodosum-like sarcoid lesion: a specific skin manifestation occasionally seen in Japanese sarcoidosis patients. Sarcoidosis, Vasculitis, and Diffuse Lung Diseases. 2022; 39(1):e2022013.

平岩朋子，山本俊幸．皮膚に水ぶくれができた（妊娠性疱疹）．周産期医学. 202208; 52(8):1119-1122.

山本俊幸．瘢痕浸潤と scar sarcoidosis についての国内外での考え方についてと、サルコイドーシスの皮膚症状の新たな分類の提案．日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会雑誌. 202210; 42(1-2):12-15.

山本俊幸．本邦における、サルコイドーシスの瘢痕浸潤の考え方について．日本皮膚科学会雑誌. 202206; 132(7):1665-1670.

平岩朋子，山本俊幸．妊婦の壊疽性膿皮症．皮膚科. 202211; 2(5):613-617.

菊池信之，山本俊幸．壊疽性膿皮症の疫学．皮膚科. 202211; 2(5):623-626.

佐藤正隆，山本俊幸．粘膜病変を含む稀な部位．皮膚科. 202211; 2(5):627-633.

山本俊幸．壊疽性膿皮症のサブタイプと特殊型．皮膚科. 202211; 2(5):634-641.

〔総説等〕

Yamamoto T. Skin manifestation induced by immune checkpoint inhibitors. Clinical, Cosmetic and Investigational Dermatology. 202205; 15:829-841.

Yamamoto T. Skin manifestation associated with multicentric reticulohistiocytosis. Journal of Clinical Rheumatology. 202201; 28(1):e234-e239.

山本俊幸. エリテマトーデスの多彩な皮疹を見極める. Derma. 202204; (320):181-187.

山本俊幸. 壊疽性膿皮症. Derma. 202207; (324):19-26.

山本俊幸. 乾癬性関節炎のトピックス 2021. 日本皮膚科学会雑誌. 202201; 132(1):19-25.

山本俊幸, **山﨑研志**, **山中恵一**, **小宮根真弓**, **川上民浩**, **山元修**, **金蔵拓郎**, **樋口哲也**, **高橋隼也**, **松島由明**, **菊池信之**. 壊疽性膿皮症　診療の手引き 2022. 日本皮膚科学会雑誌. 202205; 132(6):1415-1440.

大塚幹夫. 【皮膚リンパ腫の病態、診断と治療】皮膚リンパ腫ガイドラインと今後の課題. 皮膚科. 202203; 1(3):318-324.

山本俊幸. 全身性強皮症と鑑別を要する疾患. 皮膚科. 202205; 1(5):691-698.

山本俊幸. 疥癬罹患後に生じる、いくつかの疾患. 皮膚病診療. 202209; 44(9):766-772.

山本俊幸. 扁平苔癬の臨床. 皮膚病診療. 202210; 44(10):856-867.

山本俊幸. エリテマトーデス、皮膚筋炎の皮膚症状をめぐる最近の話題といくつかの問題点. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):100-107.

〔症例報告〕

Hanami Y, Yamamoto T. Bullous and non-bullous lichen planus during anti PD-1 therapy for lung cancer. Actas Dermo-Sifiliograficas. 202211; 113(10):1014-1016.

Mori T, Hanami Y, Yamamoto T. Vesiculo-bullous dermatomyositis in association with internal malignancy. Actas Dermo-Sifiliograficas. 202211; 113(10):1017-1019.

Endo M, Yamamoto T. A case of multiple perforating pilomatricomas. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202203; 97(2):263-264.

Endo M, Yamamoto M, Ito T, Ishikawa M, Kikuchi N, Ohtsuka M, Yamamoto T. Bullous Sweet syndrome with a unique photodistributed pattern. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202203; 97(2):266-268.

Ishikawa M, Yamamoto T. Eruptive superficial porokeratosis in a patient with nephrotic syndrome. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202205; 97(3):399-400.

Irie K, Yamamoto T. A case of subcutaneous sarcoidosis in a patient with Cushing's syndrome. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202207; 97(4):505-507.

Igari S, Sato M, Yamamoto T. Necrobiosis lipoidica arising on an old burn scar in a patient with Hashimoto's thyroiditis. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202207; 97(4):543-545.

Kato Y, Yamamoto T. Eruptive collagenoma in a patient with Down syndrome. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202209; 97(5):687-688.

Yamamoto T. Palmar dermatofibroma in a patient with multiple porokeratosis. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202211; 97(6):792-794.

Mori T, Yamamoto T. Insect bite-like reaction in a patient with T cell lymphoma. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202211; 97(6):829-832.

Yamamoto T. Onset of multiple neurofibromas in chronic lymphoedema of the lower limb. Australasian Journal of Dermatology. 202208; 63(3):406-407.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma M, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

Norikawa N, Igari S, Ishikawa M, Mori T, Hiraiwa T, Kikuchi N, Hanami Y, Yamamoto T. Six Cases of Erythrodermic Pemphigus Foliaceus: A Case Report. Case Reports in Dermatology. 202209; 14(3):258-263.

Satoh M, Yamamoto T. A case of recurrent Sweet's syndrome in a patient with idiopathic cytopenia of undetermined significance. Clinical and Experimental Dermatology. 202202; 47(2):413-415.

Kikuchi N, Matsumura N, Yamamoto T. Pyoderma gangrenosum occurring 7 years after onset of linear IgA bullous dermatosis in a young woman. Clinical and Experimental Dermatology. 202207; 47(7):1374-1375.

Endo M, Yamamoto T. Acquired cutis laxa in a patient with type I diabetes and renal failure under immunosuppressive therapy for transplantation. Indian Dermatology Online Journal. 202206; 13(4):530-531.

Watanabe Y, Mori T, Makino T, Yamamoto T. Giant Vascular Cylindroma in a Case of Brooke-Spiegler Syndrome. Indian Dermatology Online Journal. 202210; 13(6):792-793.

Miura T, Yamamoto T. Reticular erythematous mucinosis successfully treated with laser in a male patient with systemic lupus erythematosus. Indian Journal of Dermatology. 202207; 67(4):421-423.

Ishizaki R, Yamamoto M, Yamamoto T. Bullous pyoderma gangrenosum occurring on a cesarean section scar. Indian Journal of Dermatology. 202207; 67(4):481.

Ishikawa M, Hanami Y, Yamamoto T. Infantile Urticaria Pigmentosa with Eosinophilic Infiltration: A Case Report. Indian Journal of Dermatology. 202207; 67(4):482.

Ishikawa M, Igari S, Hiraiwa T, Hanami Y, Yamamoto T. Pityriasis Rubra Pilaris Significantly Improved after Treatment for Chronic Focal Infection. Indian Journal of Dermatology. 202209; 67(5):626.

Kikuchi N, Yamamoto T. Ectopic syringocystadenoma papilliferum on the arm in a patient with Noonan syndrome. Indian Journal of Dermatology. 202211; 67(6):836.

Hiraiwa T, Hanami Y, Okiyama N, Konishi R, Ichimura Y, Yamamoto T. Clinically amyopathic dermatomyositis with diffuse erosive erythema in a patient with anti-small ubiquitin-like modifier activating enzyme antibody. International Journal of Dermatology. 202210; 61(10):e389-e391.

Hiraiwa T, Yamamoto M, Yamamoto T. Partial spontaneous regression in two cases of seborrheic keratosis. International Journal of Dermatology. 202212; 61(12):1557-1558.

Takada M, Yamamoto T. A case of persistent psoriasis occurring after influenza vaccination. Our Dermatology Online. 2022; 13(3):328-329.

Hanami Y, Yamamoto T. Amicrobial pustulosis of the folds mimicking Hailey-Hailey disease in a patient with systemic lupus erythematosus and Sjögren's syndrome. Our Dermatology Online. 2022; 13(4):459-460.

Watanabe Y, Kato Y, Yamamoto T. Diltiazem-associated, photo-distributed hyperpigmentation in a patient with Sjögren's syndrome. Our Dermatology Online. 2022; 13(4):471-472.

Yoshida S, Matsumoto H, Fijita Y, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Yaguchi T, Aita T, Kusano M, Yamamoto T, Watanabe H, Migita K. Anti-Mi-2 and anti-TIF1-γ double-positive juvenile dermatomyositis treated under diagnosis of chronic eczema: a case report. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202204; 256(4):303-308.

菊池信之，森龍彦，山本俊幸. 100 歳女性の外陰部に生じた扁平苔癬の 1 例. 加齢皮膚医学セミナー. 202206; 17(1):37-40.

石川真郷，山本俊幸. 【壊疽性膿皮症】薬剤誘発性壊疽性膿皮症（paradoxical reaction 含む）. 皮膚科. 202211; 2(5):618-622.

入江絹子，本多皓，森龍彦，花見由華，山本俊幸. 【診断に苦慮した症例】鼠径部の inverse psoriasis にカンジダ感染症を生じ，抗真菌薬内服後膿疱性乾癬を生じた例. 皮膚病診療. 202201; 44(1):32-35.

山本美友貴，山本俊幸. 【膠原病－皮膚エリテマトーデスを中心にして】全身性エリテマトーデス患者に多発した皮膚線維腫. 皮膚病診療. 202203; 44(2):136-140.

遠藤麻衣，猪狩翔平，松村奈津子，平岩朋子，山本俊幸，増澤幹男. 【膠原病－皮膚エリテマトーデスを中心にして】ヒドロキシクロロキンによる重症薬疹を生じた hypertrophic lupus erythematosus. 皮膚病診療. 202202; 44(2):162-165.

平岩朋子，山本俊幸. グセルクマブが著効した掌蹠膿疱症. 皮膚病診療. 202206; 44(6):516-518.

山本美友貴，山本俊幸. 【手足の皮膚病】ホジキンリンパ腫患者の手掌に多発した環状肉芽腫. 皮膚病診療. 202207; 44(7):622-625.

入江絹子，花見由華，山本俊幸．【手足の皮膚病】手足に多発した痛風結節．皮膚病診療. 202207; 44(7):634-637.

高田満喜，山本俊幸．【扁平苔癬と類縁疾患】HCV 抗体陽性患者の亀頭部に限局して生じた annular lichen planus．皮膚病診療. 202210; 44(10):881-885.

菊池信之，山本美友貴，山本俊幸．外陰部 Paget 病の術後に生じた外陰部扁平苔癬．皮膚病診療. 202210; 44(10):898-901.

遠藤麻衣，石崎莉子，大塚幹夫，山本俊幸．【皮下硬結を呈する皮膚病】前立腺癌術後の下肢リンパ浮腫に伴って生じた Stewart-Treves 症候群．皮膚病診療. 202212; 44(12):1104-1107.

菊池信之，山本美友貴，山本俊幸. Behçet 病にみられた neutrophilic lobular panniculitis．皮膚病診療. 202212; 44(12):1070-1073.

山本俊幸. Butterfly sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):14.

山本俊幸. Flagellate erythema．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):25.

山本俊幸. Groove sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):27.

山本俊幸. Holster sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):29.

山本美友貴．【Signs & Symptoms 改訂版】臨床　Koebner 現象．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):33.

山本俊幸. Lilac ring．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):35.

山本俊幸. Needle reaction．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):37.

山本俊幸. Oil drop sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):38.

山本俊幸. Pathergy reaction．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):39.

山本俊幸. Pseudo-Köbner phenomenon．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):43.

山本俊幸. Puckered sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):44.

山本俊幸. Reccoon sign．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):45.

山本俊幸. Renbök phenomenon．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):47.

山本俊幸. Rodent ulcer．皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):48.

山本俊幸. Rope sign. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):49.

山本俊幸. Salt and pepper sign. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):50.

山本俊幸. Snail track. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):53.

山本俊幸. Strings of pearls. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):54.

山本俊幸. Unilateral heriotrope rash. 皮膚病診療. 202212; 44(Suppl.):55.

佐藤真由, **粂川宗之**, **草野美沙希**, **山本俊幸**, **遊佐志乃**. 悪性腫瘍を疑う結節状病変を呈した歯性感染症の 1 例. 臨床皮膚科. 202209; 76(10):807-811.

〔その他〕

山本俊幸. 論文紹介　トファシチニブは Th1 型免疫反応を抑えることによってサルコイドーシスを改善させる. 日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会雑誌. 202210; 42(1-2):61.

山本俊幸. 壊疽性膿皮症の治療戦略は？ 日本医事新報. 202202; (5104):50.

書籍等出版物

本多皓. サルコイドーシス. In: 常深祐一郎, 渡辺大輔 編集. 皮膚疾患診療実践ガイド　第 3 版. 東京: 文光堂. 202205. p.454-458.

猪狩翔平, **山本俊幸**. リポイド類壊死症. In: 常深祐一郎, 渡辺大輔 編集. 皮膚疾患診療実践ガイド　第 3 版. 東京: 文光堂. 202205. p.461-462.

山本俊幸. 反応性関節炎. In: 常深祐一郎, 渡辺大輔 編集. 皮膚疾患診療実践ガイド　第 3 版. 東京: 文光堂. 202205. p.521-522.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yamamoto T. Why should we consider early intervention in psoriatic disease? 30th Korean Society for Investigative Dermatology; 20220325; Seoul, Korea.

Yamamoto T. Guselkumab for the treatment of moderate to severe palmoplantar pustulosis. 16th Asia Pacific Environmental and Occupational Dermatology Symposium; 20220621; Web.

Yamamoto T. Role of IL-23 in the pathogenesis of palmoplantar pustulosis: therapeutic approach targeting IL-

23. 12th Asian Dermatology Congress; 20220805; Tokyo.

Irie K, Takada M, Kusano M, Mori T, Yamamoto T. A case of pyoderma gangrenosum which later developed neutrophilic panniculitis in a patient with myelodysplastic syndrome. 12th Asian Dermatological Congress; 20220804-05; Tokyo.

Yamamoto M, Kikuchi N, Yamamoto T. Porokeratosis of Mibelli emerged after improvement of severe psoriasis by biologics. 12th Asian Dermatological Congress; 20220804-05; Tokyo.

Yamamoto T. Palmoplantar Pustulosis: Management Challenges and Treatment Advances. Asian Society for Psoriasis 2022; 20221126; Tokyo.

Irie K, Igari S, Yamamoto T. Effects of decanoic acid on imiquimod-induced psoriasis-like dermatitis in mice. 47th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology; 20221202-04; Nagasaki/Web.

入江絹子，石崎莉子，則川菜摘，伊藤崇，本多晧，森龍彦，平岩朋子，石井文人，古賀浩嗣，名嘉真武国，山本俊幸．難治性のそう痒性皮膚疾患治療中または既往を持つ患者に、後から出現した自己免疫性水疱症の 2 例. 第 43 回水疱症研究会; 20220121-22; 高知/Web.

山本俊幸．好中球関連皮膚疾患. 第 4 回炎症性皮膚疾患集中セミナー; 20220130; Web.

菊池信之，山本俊幸．透析患者の爪白癬治療　ネイリンの治療経験を踏まえて. インターネットライブセミナー フットケアの実践; 20220214; Web.

山本俊幸．意外に難しい膠原病の皮膚症状. 第 37 回日本臨床皮膚科医会東北ブロック総会・学術大会; 20220313; Web.

山本俊幸．乾癬・乾癬性関節炎を巡るトピックスといくつかの疑問点. 第 78 回日本皮膚科学会高知地方会; 20220402; 高知.

則川菜摘，山本俊幸．足底に著明な過角化を認めた小児の尋常性乾癬の 1 例. 第 78 回日本皮膚科学会高知地方会; 20220402-03; 高知/Web.

菊池信之，伊藤崇，山本俊幸．当科における乾癬治療の現状. 乾癬治療 WEB セミナー; 20220405; Web.

入江絹子，花見由華，山本俊幸．思春期女児の頬部にみられた局所多発性脂腺増殖症か？ 第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20220423-24; 鹿児島.

石川真郷，則川菜摘，佐藤真由，伊藤崇，菊池信之，山本俊幸．壊疽性膿皮症の再発病変にアダリムマブが奏効した 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 397 回例会; 20220429; 福島.

遠藤麻衣，森龍彦，山本俊幸．放線菌が検出された臀部化膿性汗腺炎の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 397 回例会; 20220429; 福島.

入江絹子，山本俊幸．限局性皮膚硬化型の全身性強皮症に両肘の環状肉芽腫が合併した 1 例．日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 398 回例会; 20220514-15; 仙台.

高田満喜，山本俊幸，神山修．口腔内病変を伴った抗 Dsg1 抗体陽性，抗 Dsg3 抗体陰性の天疱瘡の 1 例．日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 398 回例会; 20220514-15; 仙台.

則川菜摘，大塚幹夫，山本俊幸．潰瘍化を伴う深在性エリテマトーデスに対しヒドロキシクロロキン内服加療中に尋常性乾癬を発症した 1 例．日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 398 回例会; 20220514-15; 仙台.

則川菜摘，山本俊幸．全身性強皮症患者に生じた扁平苔癬の 1 例．日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 398 回例会; 20220514-15; 仙台.

渡邊幸奈，遠藤麻衣，山本美友貴，猪狩翔平，菊池信之，山本俊幸．間質性肺炎を合併した壊疽性膿皮症の 1 例．日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第 398 回例会; 20220514-15; 仙台.

山本俊幸．生物学的製剤の新時代．第 121 回日本皮膚科学会総会; 20220604; 京都/Web.

石川真郷，山本俊幸．皮膚悪性腫瘍のリンパ節転移巣におけるサルコイド反応．第 121 回日本皮膚科学会総会; 20220602-05; 京都/Web.

入江絹子，高田満喜，遠藤麻衣，伊藤崇，石川真郷，本多晧，山本俊幸．当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚 irAE110 例の臨床的検討．第 121 回日本皮膚科学会総会; 20220602-05; 京都/Web.

渡邊幸奈，大塚幹夫，山本俊幸．原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞リンパ増殖異常症 14 例の臨床・組織学的検討．第 121 回日本皮膚科学会総会; 20220602-05; 京都/Web.

山本俊幸．小児の乾癬治療未来予想図. WEB セミナー in 東北; 20220611; Web.

入江絹子，石崎莉子，佐藤真由，松村奈津子，森龍彦，花見由華，山本俊幸，星信大，喜古雄一郎．乳頭に腫瘤状病変を呈した乳房 Paget 病の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624-25; 弘前/Web.

遠藤麻衣，高田満喜，森龍彦，山本俊幸．異なる臨床像の皮膚転移が出現した乳癌の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624-25; 弘前/Web.

則川菜摘，佐藤真由，山本俊幸，村上芙美，喜古雄一郎，菊池悟．皮下に生じた髄外性形質細胞腫の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624-25; 弘前/Web.

山本美友貴，山本俊幸，山田匠希．皮下転移を生じた悪性中皮腫の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624-25; 弘前/Web.

菊池信之，遠藤麻衣，平岩朋子，山本俊幸．当科の掌蹠膿疱症の取り組みについて．掌蹠膿疱症皮膚歯科連携 Web セミナーin 福島; 20220627; Web.

菊池信之，山本俊幸．当科におけるアミロドーシスの検査について．アミロドーシスを考える会 in Fukushima;

20220701; Web.

則川菜摘，草野美沙希，大塚幹夫，山本俊幸. 頸部に生じた炎症性線状疣贅状表皮母斑を考えた 1 例. 第 46 回日本小児皮膚科学会学術大会; 20220702-03; 浦安/Web.

大塚幹夫. 皮膚 T 細胞リンパ腫の治療：全身療法の位置づけと薬剤選択. 診療科連携セミナー～皮膚 T 細胞リンパ腫～; 20220722; Web.

山本俊幸. エリテマトーデスの皮膚症状とその治療. Tohoku 膠原病エキスパートセミナー; 20220726; 福島/Web.

山本俊幸. サルコイドーシスの皮膚症状. 令和 4 年度日本皮膚科学会研修講習会; 20220813; 東京.

高田満喜，則川菜摘，山本俊幸，小山大輔，岡佑香，橋本優子. 紫斑、色素沈着を呈した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例. 第 18 回加齢皮膚医学研究会; 20220820-21; 大阪/Web.

山本俊幸. ドボベットフォームによる尋常性乾癬外用療法の治療戦略. 第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20220828; 新潟.

石川真郷，草野美沙希，則川菜摘，佐藤真由，伊藤崇，菊池信之，山本俊幸. 全身性エリテマトーデス患者に発症した水疱型瘻疽性膿皮症の 1 例. 第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20220827-28; 新潟/Web.

高田満喜，山本俊幸. 過去 13 年間に福島県立医科大学皮膚科を受診したサルコイドーシス 58 例における，瘢痕浸潤病変の検討. 第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20220827-28; 新潟/Web.

大塚幹夫. 皮膚 T 細胞リンパ腫の診断と治療～全身療法のタイミングと薬剤選択～. CTCL Meet The Expert 名古屋; 20220901; Web.

山本俊幸. 皮膚エリテマトーデスの多彩な臨床とその治療. 第 235 回熊本地方会; 20220904; 熊本.

山本俊幸. 掌蹠膿疱症の治療戦略を考える. 第 37 回日本乾癬学会学術大会; 20220910; 鹿児島.

入江絹子，山本俊幸. 当科で経験した免疫チェックポイント阻害薬投与後の乾癬/乾癬様皮疹誘発例・増悪例のまとめ. 第 37 回日本乾癬学会学術大会; 20220909-10; 鹿児島.

石川真郷，松村奈津子，森龍彦，菊池信之，山本俊幸. 臀部に生じたメルケル細胞癌の 1 例. 日本皮膚科学会宮城・福島・山形 3 県合同地方会第 399 回例会; 20220923; 仙台.

山本美友貴，森龍彦，山本俊幸. COVID-19 ワクチン接種後に多形紅斑が生じた 1 例. 日本皮膚科学会宮城・福島・山形 3 県合同地方会第 399 回例会; 20220923; 仙台.

入江絹子，高田満喜，遠藤麻衣，伊藤崇，石川真郷，本多晧，山本俊幸. 当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う白斑　19 例のまとめ. 第 4 回日本白斑学会学術大会; 20220924-25; 山形/Web.

大塚幹夫. 皮膚 T 細胞リンパ腫の診断と治療～全身療法のタイミングと薬剤選択～. 信州 CTCL セミナー;

20220926; Web.

山本俊幸. ミノサイクリンを含めた、皮膚科領域の最新治療. 第 42 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会; 20221007; 軽井沢/Web.

遠藤麻衣, **向山竜人**, **山本俊幸**. 左耳介欠損を生じ、皮膚生検から診断に至ったびまん浸潤型皮膚サルコイドーシスの 1 例. 第 42 回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会; 20221007-08; 軽井沢/Web.

入江絹子, **山本俊幸**. 免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚 irAE とその治療について. 第 4 回 irAE を考える会 in 福島; 20221013; Web.

石川真郷, **松村奈津子**, **菊池信之**, **山本俊幸**. 採皮部上に生じた有棘細胞癌の 1 例. 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会; 20221022-23; 久留米/Web.

山本美友貴, **山本俊幸**. 当科における環状肉芽腫 12 例の集計. 第 73 回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 20221029-30; 富山/Web.

渡邊幸奈, **佐藤真由**, **遠藤麻衣**, **大塚幹夫**, **山本悛幸**. 黄色苔癬様皮疹を呈し、CD30 陽性リンパ増殖異常症を併発した菌状息肉症の 1 例. 第 73 回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 20221029-30; 富山/Web.

石川真郷, **高田満喜**, **入江絹子**, **山本俊幸**. Morbihan 病の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 400 回例会; 20221103; 郡山.

遠藤麻衣, **向山竜人**, **猪狩翔平**, **菊池信之**, **山本俊幸**. 菌状息肉症の経過中に、多発小腸潰瘍、骨髄異形成症候群を発症した 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 400 回例会; 20221103; 郡山.

草野美沙希, **石崎莉子**, **大塚幹夫**, **山本俊幸**. 外傷瘢痕と熱傷瘢痕上に生じた scar sarcoidosis の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 400 回例会; 20221103; 郡山.

高田満喜, **鈴木重行**. インフリキシマブが奏効した壊疽性膿皮症の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 400 回例会; 20221103; 郡山.

渡邊幸奈, **佐藤正隆**. 家族性良性慢性天疱瘡の 2 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 400 回例会; 20221103; 郡山.

大塚幹夫. 皮膚リンパ腫：診断力アップのための基礎知識. 第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20221120; 東京/Web.

入江絹子, **則川菜摘**, **草野美沙希**, **佐藤真由**, **伊藤崇**, **松村奈津子**, **伊藤崇**, **森龍彦**, **石川真郷**, **菊池信之**, **山本俊幸**. COVID-19 ワクチン接種後に皮膚症状が増悪した尋常性天疱瘡の 2 例. 第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20221119-20; 東京/Web.

高田満喜, **本多皓**, **森龍彦**, **猪狩翔平**, **渡邊幸奈**, **山本俊幸**. 水疱病変を伴う扁平苔癬の加療中にホジキンリンパ腫を発症した 1 例. 第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20221119-20; 東京/Web.

入江絹子，高田満喜，遠藤麻衣，伊藤崇，石川真郷，本多晧，山本俊幸．当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚 irAE110 例の臨床的検討．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201-02; 福島.

入江絹子，山本俊幸．特発性紅皮症患者の血清中 IL-25、IL-31 の検討．第 52 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20221216-18; 名古屋/Web.

則川菜摘，遠藤麻衣，入江絹子，伊藤崇，松村奈津子，石川真郷，山本俊幸．深在性エリテマトーデスに対するヒドロキシクロロキン内服中に鼠経リンパ節腫脹を認めた小児例．第 52 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20221216-18; 名古屋/Web.

則川菜摘，山本俊幸．末梢血好酸球数と血清 IgE 上昇を認めた多発血管炎性肉芽腫症の 1 例．第 52 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20221216-18; 名古屋/Web.

渡邊幸奈，山本俊幸．当科で経験した蕁麻疹様血管炎 8 例の臨床・組織学的検討．第 52 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会; 20221216-18; 名古屋/Web.

〔シンポジウム〕

入江絹子，山本俊幸．乾癬の病態における IL-17 ファミリーの役割について．難治性疾患研究会 in Fukushima 2022; 20220926; Web.

泌尿器科学講座

論　　文

〔原　著〕

Izumi Kouji, Shima Takashi, Mita Koji, Kato Yuki, Kamiyama Manabu, Inoue Shogo, Tanaka Nobumichi, Hoshi Seiji, Okamura Takehiko, Yoshio Yuko, Enokida Hideki, Chikazawa Ippei, Kawai Noriyasu, Hashimoto Kohei, Fukagai Takashi, Shigehara Kazuyoshi, Takahara Shizuko, Kadono Yoshifumi, Mizokami Atsushi. Enzalutamide Versus Abiraterone plus Prednisolone Before Chemotherapy for Castration-resistant Prostate Cancer: A Multicenter Randomized Controlled Trial. European Urology Open Science. 202205; 41:16-23.

Honda-Takinami Ruriko, Hata Junya, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Nishiyama Kyoko, Suzutani Tatsuo, Kojima Yoshiyuki. Association between the presence of bacteria in prostate tissue and histopathology in biopsies from

men not complaining of lower urinary tract symptoms. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):161-167.

Meguro Satoru, Kataoka Masao, Endo Yu, Yaginuma Kei, Hasegawa Akihisa, Makabe Syunta, Harigane Yuki, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Ogawa Soichiro, Shirou Ishii, Haga Nobuhiro, Ito Hiroshi, Kojima Yoshiyuki. Low Risk of Venous Thromboembolism After Robot-assisted Radical Prostatectomy Through Systemic Image Assessment: A Prospective Study. In Vivo. 202209; 36(5):2384-2391.

Kato Renpei, Naito Sei, Numakura Kazuyuki, Hatakeyama Shingo, Koguchi Tomoyuki, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Kandori Shuya, Kawamura Sadafumi, Arai Yoichi, Ito Akihiro, Nishiyama Hiroyuki, Kojima Yoshiyuki, Ohyama Chikara, Habuchi Tomonori, Tsuchiya Norihiko, Obara Wataru. Significance of upfront cytoreductive nephrectomy stratified by IMDC risk for metastatic renal cell carcinoma in targeted therapy era-a multi-institutional retrospective study. International Journal of Clinical Oncology. 202203; 27(3):563-573.

Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Hata Junya, Imai Hitomi, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Insights into the development of a new index, vesical adaptation response to diuresis, for understanding lower urinary tract dysfunction. International Journal of Urology. 202204; 29(4):297-303.

Tsubouchi Kazuna, Gunge Naotaka, Tominaga Kosuke, Matsuzaki Hiroshi, Fujikawa Aiko, Emoto Taiki, Miyazaki Takeshi, Okabe Yu, Nakamura Nobuyuki, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Akaihata Hidenori, Sato Yuichi, Hata Junya, Matsuoka Hirofumi, Kojima Yoshiyuki, Haga Nobuhiro. Efficacy of the opened legs position for protecting against postoperative rhabdomyolysis after robot-assisted radical prostatectomy: A propensity score-matched analysis of perioperative outcomes. International Journal of Urology. 202210; 29(10):1132-1138.

Ogawa Soichiro, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Haga, Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Risk factors for sexual dysfunction in japanese testicular cancer survivors as evaluated by patient-reported questionnaire. Journal of Cancer Rehabilitation. 2022; 5(2):62-68.

Ogawa Soichiro, Hasegawa Akihisa, Makabe Syunta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Kayama Emina, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Impacts of Neoadjuvant Hormonal Therapy Prior to Robot-Assisted Radical Prostatectomy on Postoperative Hormonal- and Sexual-Related Quality of Life - Assessment by Patient-Reported Questionnaire. Research and Reports in Urology. 202202; 19(14):39-48.

Matsushita Makoto, Fujita Kazutoshi, Motooka Daisuke, Hatano Koji, Hata Junya, Nishimoto Mitsuhisa, Banno Eri, Takezawa Kentaro, Fukuhara Shinichiro, Kiuchi Hiroshi, Pan Yue, Takao Toshifumi, Tsujimura Akira, Yachida Shinichi, Nakamura Shota, Obara Wataru, Uemura Hirotsugu, Nonomura Norio. Firmicutes in Gut Microbiota Correlate with Blood Testosterone Levels in Elderly Men. World Journal of Men's Health. 202207; 40(3):517-525.

〔総説等〕

松岡香菜子，粂川知之，針金佑樹，遠藤侑，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．いま一番新しい5α還元酵素阻害薬単剤療法. Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure. 202212; 27(6):763-767.

松岡香菜子，秦淳也，小島祥敬．各論：下部尿路機能障害を呈する個々の疾患　前立腺肥大症．診断と治療. 202206; 110(6):739-745.

小島祥敬．治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　過活動膀胱．日本医事新報. 202212; (5148):45-46.

氏家剛，植村元秀，河嶋厚成，宮川康，辻畑正雄，野々村祝夫．特集２　両側副腎病変のマネージメント　褐色細胞腫．日本内分泌外科学会雑誌. 202212; 39(4):256-260.

秦淳也，松岡香菜子，赤井畑秀則，小島祥敬．特集：高齢者の泌尿器疾患 update Ⅱ．高齢者泌尿器疾患の特徴と問題点　尿路および男性生殖器機能の加齢性変化と病態．日本臨床. 202206; 80(6):928-931.

佐藤雄一，桐花悠介，小島祥敬．【詳説、腎盂尿管移行部通過障害ーロボット支援手術時代における小児から成人までの診療ストラテジーー】改めて考える腹腔鏡下腎盂形成術のテクニック．泌尿器外科. 202203; 35(3):208-212.

松岡香菜子，赤井畑秀則，眞壁俊太，今井仁美，本田（滝浪）瑠璃子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬．男性利尿適応性障害に対する診療の最適化．泌尿器外科. 202207; 35(臨増):688-689.

赤井畑秀則，松岡香菜子，秦淳也．下部尿路機能障害　夜間頻尿．臨床泌尿器科. 202204; 76(4):90-94.

片岡政雄，今井仁美，松岡香菜子．女性泌尿器疾患　腹圧性尿失禁．臨床泌尿器科. 202204; 76(4):114-117.

片岡政雄，今井仁美，松岡香菜子．女性泌尿器疾患　骨盤臓器脱．臨床泌尿器科. 202204; 76(4):118-121.

小川総一郎，佐藤雄一，小島祥敬．【男性不妊診療のニューフロンティアー保険適用で変わる近未来像】最近の話題　環境因子から男性不妊症を再考する．臨床泌尿器科. 202209; 76(10):736-741.

佐藤雄一，小川総一郎，小島祥敬．【最新の不妊診療がわかる！ー生殖補助医療を中心とした新たな治療体系】（第４章）生殖補助医療時代の一般不妊診療ー検査や治療の意義と限界　男性不妊　検査　男性不妊のホルモン測定の適応と実施法．臨床婦人科産科. 202204; 76(4):255-257.

〔その他〕

丹治亮．コメント「新型コロナウイルス感染症は慢性膀胱機能障害の指標と関連するか？」. Broad View of Urology Topics. 202201; 4(5):2-3.

丹治亮. コメント「前立腺肥大手術前に下部尿路症状のみを有していた患者と尿閉を有していた患者における手術転帰および機能的転帰の比較：システマティックレビューとメタアナリシス」. Broad View of Urology Topics. 202201; 4(5):4-5.

本田瑠璃子. コメント「40 歳以上の男性地域住民における過活動膀胱に関する 3 年間の縦断的調査」. Broad View of Urology Topics. 202201; 4(5):6-7.

本田瑠璃子. コメント「下部尿路症状を有する男性患者において排尿筋低活動と下部尿路閉塞を識別する尿流測定曲線のパターン」. Broad View of Urology Topics. 202201; 4(5):8-9.

小島祥敬. 編集後記. Broad View of Urology Topics. 202201; 4(5):18.

赤井畑秀則. コメント「エストロゲンは膀胱上皮細胞における P2X3 受容体の発現を減少させることによりシクロホスファミド誘発性膀胱炎ラットの膀胱過活動を抑制する」. Broad View of Urology Topics. 202208; 5(2):2-3.

赤井畑秀則. コメント「二分脊椎の新生児の尿路管理に関する国際調査：最新の EAU/ESPU ガイドラインは遵守されているか？」. Broad View of Urology Topics. 202208; 5(2):4-5.

佐藤雄一. コメント「ホルミウムレーザー前立腺核手術：本当に前立腺サイズに依存しない術式か？」. Broad View of Urology Topics. 202208; 5(2):6-7.

佐藤雄一. コメント「前立腺肥大症を有する男性患者の過活動膀胱症状に対する全身性アテローム性動脈硬化症の影響」. Broad View of Urology Topics. 202208; 5(2):8-9.

小島祥敬. なんでも健康相談　泌尿器科　前立腺がんの手術後、多量の尿もれがあります. NHK きょうの健康. 202212; (417):118.

桐花悠介. 第 31 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会　学会賞受賞の一言. 日本小児泌尿器科学会（ホームページ掲載）. 20221012.

土谷順彦, **井上啓史**, **朝倉博孝**, **新村友季子**, **鳥本一匡**, **松岡香菜子**, **蘆田真吾**. 若手医師・研修医への広報活動のあり方. 日本泌尿器科学会雑誌. 202211; 113(Suppl.):S118-S134.

小島祥敬. 新役員紹介　福島県医師会常任理事ならびに福島県立医科大学医師会会長就任のご挨拶. 福島県医師会報. 202209; 84(9):831.

小島祥敬. 医療情勢のポイント. 福島県医師会報. 202210; 84(10):943-956.

小島祥敬. 編集後記. 福島県医師会報. 202211; 84(11):1093.

小島祥敬. 大学医師会会長あいさつ　大学医師会会長就任にあたって. 福島県立医科大学大学医師会会報. 202205; (160):2.

小島祥敬. 福島県立医科大学医学部教育ファクトブック 2022 発行にあたって. 福島県立医科大学医学部教育ファ

クトブック 2022. 2022; :巻頭.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202203; 76(3):254.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202206; 76(7):508.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202209; 76(10):764.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202212; 76(13):1032.

書籍等出版物

小島祥敬. 膀胱膣瘻, 尿管膣瘻. In: 福井次男, 高木誠, 小室一成. 今日の治療指針　2022 年版. 東京: 医学書院; 202201. p.1233-1234.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Akaihata Hidenori, Hakozaki Yusuke, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Yoshioka Shunsuke, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The microscopic structural changes of prostate reflected by the apparent diffusion coefficient value affect lower urinary tract function. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220513; Web.

Akaihata Hidenori, Hakozaki Yusuke, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Yoshioka Shunsuke, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Impaired urothelial barrier function induced lower urinary tract dysfunction by protease-activated recepter 2 activation. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220515; Web.

Fujita Kazutoshi, Matsushita Makoto, Hatano Koji, Nishimoto Mitsuhisa, Motooka Daisuke, Banno Eri, Hata Junya, Minami Takafumi, Nozawa Masahiro, Nakamura Shota, Tsujimura Akira, Obara Wataru, Yoshimura Kazuhiro, Uemura Hirotsugu, Nonomura Norio. Gut microbiome associated with blood testosterone levels in elderly men. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220515; Web.

Hata Junya, Kirihana Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Natsuya Hiroki, Hakozaki Yusuke, Yoshioka Shunsuke, Imai Hitomi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Shift change of the activated complement pathway in the fibrotic process associated with progression of benign prostatic hyperplasia. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220513; Web.

Kataoka Masao, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kojima Yoshiyuki. Elucidation of urinary incontinence mechanism after robot-assisted radical prostatectomy focusing on the sling mechanism by the levator ani muscle. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220516; Web.

Makabe Syunta, Kirihana Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Natsuya Hiroki, Hakozaki Yusuke, Yoshioka Shunsuke, Endo Yu, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Abdominal subcutaneous fat thickening is the useful marker to predict lower urinary tract dysfunction after robot-assisted radical prostatectomy. 2022 Annual Meeting of the American Urological Association; 20220516; Web.

Akaihata Hidenori, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The apparent diffusion coefficient value reflects the microscopic structural changes of prostate which affect lower urinary tract function. International Continence Society 2022; 20220908; Vienna, Austria/Web.

Hata Junya, Kirihana Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Natsuya Hiroki, Hakozaki Yusuke, Yoshioka Shunsuke, Imai Hitomi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Shift change of the activated complement pathway in the fibrotic process associated with progression of benign prostatic hyperplasia. International Continence Society 2022; 20220908; Vienna, Austria/Web.

Matsuoka Kanako, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The importance of bladder storage dysfunction associated with increased nocturnal diuresis rate for elderly patients with nocturia. International Continence Society 2022; 20220909; Vienna, Austria/Web.

Imai Hitomi, Akaihata Hidenori, Kumekawa Tomoyuki, Harigane Yuki, Yaginuma Kei, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. The preoperative dyslipidemia and high overactive bladder symptom score predict de novo overactive bladder after robot-assisted radical prostatectomy. International Continence Society 2022; 20220910; Vienna, Austria/Web.

Hata Junya, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Long-term prognosis of lower urinary tract function after robot-assisted radical prostatectomy in patients with preoperative low bladder contractility. Asian-Pacific Congress of Robotic Laparoscopic Surgery 2022; 20221208; Nagoya/Web.

片岡政雄. 骨盤臓器脱修復術後の蓄尿症状の予測における cineMRI による Vesical neck movement 測定の意義. 第 15 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会; 20220409; 横浜.

今井仁美，胡口智之，桐花悠介，粂川知之，夏谷広樹，箱﨑佑輔，吉岡駿佑，小名木彰史，松岡香菜子，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．ニボルマブ導入により原田病を発症するも病勢制御を得た進行性腎癌．第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20220409; Web.

粂川知之，赤井畑秀則，桐花悠介，夏谷広樹，箱﨑佑輔，吉岡駿佑，今井仁美，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬. HTLV-1 関連脊髄症に起因する下部尿路機能障害の 1 例．第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20220409; Web.

眞壁俊太，横山純，櫛田信博，吉田純也. Upfront Abiraterone を施工した前立腺導管腺癌の 1 例．第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20220409; Web.

小名木彰史，杉本幸太郎，小林信，小島祥敬，千葉英樹．腎細胞癌における Claudin-10 の臨床病理学的・分子病理学的解析．第 111 回日本病理学会総会; 20220414; 神戸/Web.

今井仁美．ニボルマブ導入により原田病を発症するも病勢制御を得た進行性腎癌．第 89 回福島泌尿器科研究会; 20220521; 郡山.

粂川知之. HTLV-1 関連脊髄症に起因する下部尿路機能障害の 1 例．第 89 回福島泌尿器科研究会; 20220521; 郡山.

箱﨑佑輔．術後 9 年に孤発転移を残存尿管に来した嫌色素性腎細胞癌の一例．第 89 回福島泌尿器科研究会; 20220521; 郡山.

長谷川暁久．尿膜管周囲静脈から発生した膀胱海綿状血管腫ー病理組織学的解析による発生機序の考察．第 89 回福島泌尿器科研究会; 20220521; 郡山.

眞壁俊太．放射線治療により病勢制御を得た前立腺基底細胞癌．第 89 回福島泌尿器科研究会; 20220521; 郡山.

佐藤雄一．腎盂尿管移行部通過障害に対するロボット支援バイパス腎盂形成術. IFO Urology Forum 2022; 20220528; 大阪.

星誠二．エンザルタミド耐性前立腺癌でのグルココルチコイド受容体により制御されるグルコーストランスポーター4 の亢進. IFO Urology Forum 2022; 20220528; 大阪.

松岡香菜子．慢性的な交感神経緊張状態が誘発する下部尿路障害に対する L-テアニンの予防効果. IFO Urology Forum 2022; 20220528; 大阪.

佐藤雄一，桐花悠介，夏谷広樹，粂川知之，吉岡駿佑，箱﨑佑輔，今井仁美，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，小島祥敬．精巣固定術の手術時期と精巣への影響ー超音波エラストグラフィを用いた精巣硬度の評価ー．日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会; 20220603; いわき.

吉田祐樹，佐藤雄一，箱﨑佑輔，桐花悠介，夏谷広樹，粂川知之，吉岡駿佑，今井仁美，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，小島祥敬．精巣発育不全を呈した

CHARGE 症候群の 1 例. 日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会; 20220603; いわき.

秦淳也，桐花悠介，粂川知之，夏谷広樹，箱﨑佑輔，吉岡駿佑，今井仁美，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬. 前立腺肥大症進行に伴う線維化過程における活性化補体経路のシフトチェンジと下部尿路症状に及ぼす影響. 日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会; 20220604; いわき.

佐藤雄一，桐花悠介，粂川知之，夏谷広樹，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬. 腎盂尿管移行部通過障害に対するロボット支援バイパス腎盂形成術の有用性. 第 19 回泌尿器科再建再生研究会; 20220604; 秋田/Web.

赤井畑秀則，箱﨑佑輔，桐花悠介，夏谷広樹，今井仁美，小名木彰史，秦淳也，片岡政雄，馬目雅彦，小島祥敬. 術前の脂質異常症が高齢者におけるロボット支援前立腺全摘除術後 De novo OAB 発症に関与する. 第 35 回日本老年泌尿器科学会; 20220610; 甲府/Web.

松岡香菜子，吉岡駿佑，粂川知之，今井仁美，小名木彰史，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬. 高齢者の夜間頻尿診療における夜間蓄尿障害の重要性. 第 35 回日本老年泌尿器科学会; 20220610; 甲府/Web.

八木沼恵，赤井畑秀則，桐花悠介，夏谷広樹，粂川知之，吉岡駿佑，箱﨑佑輔，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬. 75 歳以上の前立腺癌患者に対するロボット支援前立腺全摘除術の安全性と有用性. 第 35 回日本老年泌尿器科学会; 20220610; 甲府/Web.

笹岡愛加，青木芳隆，阿部由依，大内みふか，重田美和，田舎中真由美，横井悠加，吉田美香子，渡邊日香里，橘田岳也，小島祥敬，柿崎秀宏. 骨盤底筋トレーニングハンズオンセミナーのオンライン・ハイブリッド開催の取り組み. 第 24 回日本女性骨盤底医学会; 20220702; さいたま.

吉田美香子，北島由菜，金澤麻衣子，石田孝宣，佐治重衡，大竹徹，小島祥敬，佐藤冨美子，川尻舞衣子，武石陽子，中村康香，吉沢豊予子. 乳がん内分泌療法中の女性における閉経関連尿路生殖器症候群の実態. 第 24 回日本女性骨盤底医学会; 20220702; さいたま.

片岡政雄，今井仁美，本田瑠璃子，松岡香菜子，粂川知之，夏谷広樹，赤井畑秀則，小島祥敬. 膀胱膣瘻に対する保存的カテーテル留置療法による尿所見及び周術期・術後経過への影響. 第 24 回日本女性骨盤底医学会; 20220703; さいたま.

亀岡浩，箱﨑佑輔，小林正人，片岡政雄，小島祥敬. TVT 術後のテープ縫縮術の有効性. 第 24 回日本女性骨盤底医学会; 20220703; さいたま.

桐花悠介，佐藤雄一，長谷川暁久，吉田祐樹，今井仁美，本田瑠璃子，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，小川総一郎，小島祥敬. 鞘膜外捻転と鞘膜内捻転を同時に認め片側精巣を救済しえた新生児両側精巣捻転の 1 例. 第 31 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20220722; 東京.

佐藤雄一，桐花悠介，吉田祐樹，長谷川暁久，今井仁美，本田瑠璃子，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，小川総一郎，小島祥敬. 腎盂尿管移行部通過障害に対するロボット支援バイパス腎盂形成術. 第 31 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20220722; 東京.

今井仁美，赤井畑秀則，粂川知之，夏谷広樹，針金佑樹，八木沼恵，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術後 De novo OAB の病態解明とその治療戦略確立に向けた臨床研究．第 29 回日本排尿機能学会; 20220901; 札幌.

片岡政雄，粂川知之，夏谷広樹，今井仁美，松岡優太，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小島祥敬．尿道括約筋－尿道支持機構の解剖学的・機能的評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁メカニズムの解明．第 29 回日本排尿機能学会; 20220901; 札幌/Web.

粂川知之，赤井畑秀則，夏谷広樹，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬．ステロイド治療後も排尿筋過活動が持続した HTLV-1 関連脊髄症に伴う下部尿路機能障害の 1 例．第 29 回日本排尿機能学会; 20220901; 札幌.

秦淳也，粂川知之，夏谷広樹，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．前立腺肥大症進行に伴う線維化過程における活性化補体経路のシフトチェンジと下部尿路症状に及ぼす影響．第 29 回日本排尿機能学会; 20220902; 札幌.

赤井畑秀則，夏谷広樹，粂川知之，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，馬目雅彦，小島祥敬．前立腺尖部と前立腺底部の質的変化に起因する下部尿路症状・下部尿路機能障害の差異とその発症機序．第 29 回日本排尿機能学会; 20220903; 札幌.

松岡香菜子，粂川知之，夏谷広樹，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．夜間利尿が惹起する膀胱蓄尿障害を有する夜間頻尿患者の病態及び夜間利尿率比の臨床的意義．第 29 回日本排尿機能学会; 20220903; 札幌.

夏谷広樹，横山純，櫛田信博，吉田純也．多量の真菌球を形成した尿路カンジダ症の 1 例．第 265 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20221015; 福島.

針金佑樹，星誠二，粂川知之，遠藤侑，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬. BRCA2 生殖細胞変異に FANCA 体細胞変異を合併した去勢抵抗性前立腺癌の一例．第 265 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20221015; 福島.

胡口智之，小名木彰史，粂川知之，夏谷広樹，八木沼恵，針金佑樹，松岡優太，星誠二，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．細胞内ミオイノシトール供給システムを用いた新規腎癌治療の探索．日本泌尿器腫瘍学会第 8 回学術集会; 20221022; 神戸/Web.

星誠二，粂川知之，八木沼恵，小名木彰史，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．前立腺癌におけるエンザルタミド投与後の交叉耐性とグルココルチコイド受容体－グルコーストランスポーター経路の役割．日本泌尿器腫瘍学会第 8 回学術集会; 20221022; 神戸/Web.

胡口智之，夏谷広樹，粂川知之，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．ミオイノシトール供給システムを介した新規腎癌治療標的の探索．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

星誠二，夏谷広樹，粂川知之，針金佑樹，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．前立腺癌 Enzalutamide の耐性過程における GR に制御される GLUT4 の亢進．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

佐藤雄一，夏谷広樹，粂川知之，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術後のイレウス発症リスク低減のための工夫．第 87 回日本泌尿器科学会東部総会; 20221028; 軽井沢/Web.

今井仁美，胡口智之，粂川知之，夏谷広樹，針金佑樹，八木沼恵，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，星誠二，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．ニボルマブ療法により原田病を発症したもののステロイド局所療法で制御でき治療を再開継続し得た進行性腎癌．第 87 回日本泌尿器科学会東部総会; 20221029; 軽井沢/Web.

片岡政雄，粂川知之，夏谷広樹，松岡優太，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術における電気メス使用頻度と早期術後尿失禁量との相関．第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20221110; 神戸.

秦淳也，粂川知之，夏谷広樹，松岡優太，松岡香菜子，星誠二，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術における完全膀胱頸部温存症例の下部尿路機能予後．第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20221111; 神戸.

針金佑樹，秦淳也，遠藤侑，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．血管内環境からみたロボット支援腎部分切除術における術後腎機能予測因子の探索．第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20221111; 神戸.

粂川知之，片岡政雄，松岡優太，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小島祥敬．ロボット支援前立腺全摘除術後早期におけるリンパ嚢腫の発生頻度と周術期合併症リスク．第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20221112; 神戸.

眞壁俊太，吉岡駿佑，長谷川暁久，細井隆之，星誠二，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬．前立腺全摘除術後下部尿路機能障害発症の予測因子としての皮下脂肪の有用性．第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会.; 20221112; 神戸.

佐藤雄一，針金佑樹，八木沼恵，遠藤侑，吉田祐樹，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，丹治亮，本田瑠璃子，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，小島祥敬．当科での不妊症男性因子スクリーニングの実態．第 25 回福島リプロダクション研究会; 20221119; 福島.

星誠二. Upregulation of glucocorticoid receptor-mediated glucose transporter 4 in enzalutamide-resistant prostate cancer. 第 154 回福島県医師会医学大会; 20221123; 郡山.

片岡政雄，粂川知之，夏谷広樹，今井仁美，松岡優太，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，小島祥敬．尿道括約筋－尿道指示機構の解剖学的・機能的評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁メカニズムの解明－cineMRI を用いた検討－．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

秦淳也. 骨盤腔関連指数によるロボット支援前立腺全摘除術後の下部尿路機能の予測. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

波多野浩士, **渡部直史**, **平田岳郎**, **岡利樹**, **奥田洋平**, **山本顕生**, **植村俊彦**, **山道岳**, **冨山栄輔**, **加藤大悟**, **河嶋厚成**, **藤田和利**, **植村元秀**, **野々村祝夫**. 局所放射線治療後の再発例に対する PSMA-PET 診断と組織生検の意義. 第 37 回前立腺シンポジウム; 20221210; 東京.

星誠二, **針金佑樹**, **八木沼恵**, **遠藤侑**, **今井仁美**, **松岡優太**, **小名木彰史**, **松岡香菜子**, **胡口智之**, **秦淳也**, **佐藤雄一**, **赤井畑秀則**, **片岡政雄**, **小島祥敬**. 去勢抵抗性前立腺癌における 223Ra 投与中における 18F-FDG PET 陽性新規骨病変は治療予後不良因子である. 第 37 回前立腺シンポジウム; 20221211; 東京.

〔シンポジウム〕

秦淳也. 「腎移植適応の限界に挑む」ー子から親への腎移植ー. 第 48 回東北腎不全研究会; 20220820; 山形.

赤井畑秀則, **粂川知之**, **遠藤侑**, **松岡香菜子**, **星誠二**, **胡口智之**, **秦淳也**, **佐藤雄一**, **片岡政雄**, **小島祥敬**. 副腎腫瘍に対する reduced port surgery. 第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会; 20221111; 神戸.

小島祥敬, **佐藤雄一**, **夏谷広樹**, **粂川知之**, **針金佑樹**, **八木沼恵**, **今井仁美**, **松岡優太**, **小名木彰史**, **松岡香菜子**, **星誠二**, **胡口智之**, **秦淳也**, **赤井畑秀則**, **片岡政雄**. 小児泌尿器科領域におけるロボット支援手術の現状と今後の展望. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

〔特別講演〕

星誠二. PSMA-PET/MRI を用いた前立腺癌の診断・治療への当科の取り組み. 第 89 回うつくしま泌尿器科研究会; 20220428; 福島.

小島祥敬, **田中秀明**, **横谷進**, **栗田宜明**, **井高貴之**, **石川徹夫**, **江澤淑子**, **大戸斉**. 停留精巣の発症原因ー遺伝的因子と環境因子ー. 日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会; 20220604; いわき.

小島祥敬. まじめな性のはなし. 泌尿器科　日常診療向上のためのウロセミナー2022; 20220728; 岐阜.

植村元秀. 腎細胞癌薬物治療について～カボザンチニブを中心に～. 第 265 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20221015; 福島.

〔招待講演〕

赤井畑秀則. 尿路上皮バリア機構障害に起因する下部尿路機能障害発症機序. 第 23 回 UTP シンポジウム; 20220115; Web.

星誠二. 泌尿器系のがん治療について　講演Ⅰ. がん診療連携拠点病院の薬局薬剤師研修支援事業　薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20220303; Web.

松岡香菜子. 利尿適応性と下部尿路機能障害～OAB と夜間頻尿の病態解明に向けた臨床研究～. 夜間頻尿診療を

考える会 in GIFU; 20220305; 岐阜.

胡口智之. ミオイノシトール代謝と ISYNA1 発現変化が腎癌に及ぼす影響. MICHINOKU 泌尿器科セミナー; 20220402; Web.

片岡政雄. 腹腔鏡下仙骨膣固定術における後膣壁修復の工夫. 第 14 回福島県泌尿器手術手技研究会・第 91 回うつくしま泌尿器科研究会; 20220709; 郡山.

小川総一郎. 環境省における放射線健康管理について. 第 16 回ムーミン先生と課外授業　環境保健セミナー@福島医大; 20220803; 福島.

小島祥敬. 特別発言　日本排尿機能学会における教育活動の現状と今後の展望. 第 29 回日本排尿機能学会; 20220902; 札幌.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 大原綜合病院泌尿器科勉強会; 20220929; 福島.

夏谷広樹. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 大原綜合病院泌尿器科勉強会; 20220929; 福島.

小島祥敬. 前立腺肥大症と過活動膀胱. 過活動膀胱【OAB】診療アップデートセミナーin 相双; 20221006; 南相馬.

〔その他〕

松岡香菜子, **赤井畑秀則**, **秦淳也**, **小島祥敬**. 緑茶　習慣的な摂取が頻尿予防に効果　世界初　福医大研究グループが解明. 福島民報; 20220112; 25.

松岡香菜子, **赤井畑秀則**, **秦淳也**, **小島祥敬**. 緑茶の習慣　頻尿防ぐ　福島医大　テアニンの働き解明. 福島民友; 20220112; 2.

小島祥敬. 泌尿器希少癌の標準診療普及に向けた教育委員会主催特別プログラム（DVD）. 日本泌尿器科学会; 202203.

片岡政雄. 専門医と考える健康づくり　福島県民健康セミナー　女性のための泌尿器科外来. 福島民報; 20220318; 4.

片岡政雄. 専門医に聞く　女性のための泌尿器科外来①－②. テレビユー福島「なんでかんで見っせ！」（TV 放送）; 20220526.

赤井畑秀則. 共同研究進捗報告 PBMC を用いた抗体関連型拒絶反応に対する早期診断法の確立と個別化医療への応用. IFO Urology Forum 2022; 20220528; 大阪.

小島祥敬. 専門医に聞く　前立腺がん？①－②. テレビユー福島「なんでかんで見っせ！」（TV 放送）; 20220609.

星誠二. 郡山で県医師会医学大会. 福島民報; 20221124; 3.

小島祥敬. 前立腺癌教育ワークショップ　教育講演　前立腺癌の診断・治療（DVD）. 日本泌尿器科学会; 202212.

小島祥敬. 「安全」ということを伝えるのは難しい件. ぐぐるプロジェクト　ラジエーションカレッジ公開講座; 20221217; 福島.

小島祥敬. 県立医大で公開講座　放射線への理解を深める　県立医大の専門家らが意見. 福島中央テレビ「ゴジてれ×Sun！」（TV 放送）; 20221218.

小島祥敬. 放射線に対する正しい理解を…福島市で公開講座. 福島中央テレビニュースサイト（配信）; 20221218.

小島祥敬. 放射線の影響　情報発信を模索　福医大で公開講座. 福島民報; 20221218; 2.

佐藤雄一. 実情　原因の半分は「男性不妊」100 人に 1 人…無精子症治療へ. 福島中央テレビ「ゴジてれ×Sun！」（TV 放送）; 20221219.

小島祥敬. 放射線正しく読解を　公開講座　福島医大教授ら解説. 福島民友; 20221219; 10.

耳鼻咽喉科学講座

論　　文

〔原　著〕

Imaizumi M, Suzuki T, Murono S. Cone beam computed tomography with oral contrast for accurate diagnosis and surgical planning of pharyngeal leakage and fistula: a case series. Brazilian Journal of Otorhinolaryngology. 202211; 88(Suppl 4):S50-S57.

Kiyota N, Tahara M, Mizusawa J, Kodaira T, Fujii H, Yamazaki T, Mitani H, Iwae S, Fujimoto Y, Onozawa Y, Hanai N, Ogawa T, Hara H, Monden N, Shimura E, Minami S, Fujii T, Tanaka K, Homma A, Yoshimoto S, Oridate N, Omori K, Ueda T, Okami K, Ota I, Shiga K, Sugasawa M, Asakage T, Saito Y, Murono S, Nishimura Y, Nakamura K, Hayashi R. Weekly Cisplatin Plus Radiation for Postoperative Head and Neck Cancer(JCOG1008): A Multicenter, Noninferiority, Phase Ⅱ/Ⅲ Randomized Controlled Trial. Jounal of Clinical Oncology. 202201; 40(18):1980-1990.

Ikeda M, Suzuki M, Matsuzuka T, Ishii S, Sato H, Murono S. Neoadjuvant Superselective Intra-Arterial Cisplatin Chemoradiotherapy Combined With Surgery in Patients With T4 Squamous Cell Carcinoma of the

Maxillary Sinus. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. 202208; 80(8):1445-1450.

Weng W, Imaizumi M, Murono S, Zhu X. Expert-level aspiration and penetration detection during flexible endoscopic evaluation of swallowing with artificial intelligence-assisted diagnosis. Scientific Reports. 202212; 12(1):21689.

今泉光雅，室野重之. 福島県に勤務する耳鼻咽喉科医を対象とした嚥下障害診療に関するアンケート調査. 嚥下医学. 202210; 11(2):220-228.

今泉光雅，大槻好史，菊地大介，室野重之. Cavity problem を伴う追加手術困難症例に対する自己洗浄フィードバック法の導入経験. 耳鼻咽喉科臨床. 202201; 115(1):29-35.

尾股千里，鹿野真人，野本幸男. 小児頸部膿瘍の５例. 耳鼻咽喉科臨床. 202206; 115(6):527-532.

佐久間琴子，松見文晶，室野重之. 外科的治療が奏効した上咽頭放線菌症の１例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202206; 94(7):571-575.

松見文晶，橋本千織，平岡美菜. 草刈り機により飛来した金属異物による外鼻・鼻中隔穿通性外傷例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202206; 94(7):576-580.

平岡美菜，松見文晶，橋本千織，室野重之. 中咽頭まで伸展した鼻腔 chondro-osseous respiratory epithelial adenomatoid hamartoma 例. 日本鼻科学会会誌. 202204; 61(1):110-117.

室野重之，垣野内景. 福島市におけるスギ花粉飛散予測モデルの改良. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌. 202212; 2(4):179-183.

〔総説等〕

野本美香，佐藤廣仁，鈴木俊彦. ＜知っておきたい　みみ・はな・のど　の感染症－診断・治療の実際－＞緊急の・難治の、忘れた頃の「はな」の感染症. ENTONI. 202201; 266:39-47.

室野重之. ＜どうみる！頭頸部画像－読影のポイントと pitfall－＞嚥下障害・音声障害を起こした症例の画像をどうみる！ ENTONI. 202211; 277:25-30.

室野重之. ＜薬にまつわる疑問に答える＞耳鼻咽喉科頭頸部外科の共通病態への薬剤投与　ウイルス感染. JOHNS. 202209; 38(9):1246-1249.

室野重之. ＜生物学製剤・分子標的治療薬の使い方＞頭頸部扁平上皮がんと抗 EGFR 抗体製剤. 耳鼻咽喉科. 202209; 2(3):348-357.

室野重之. ＜帰しちゃいけない！外来診療のピットフォール＞本当はこわい頭頸部疾患　嚥下障害 脳血管障害／水痘・帯状疱疹ウイルス感染症／大動脈瘤/神経・筋疾患／腫瘍. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202208; 94(9):753-757.

室野重之. ＜HPV ワクチン勧奨再開－いま知りたいことのすべて＞HPV と子宮頸がん・HPV 関連疾患　再発性

呼吸器乳頭腫症・中咽頭がん. 臨床産婦人科産科. 202208; 76(8):746-752.

〔症例報告〕

Suzuki T, Imaizumi M, Kikuchi D, Sato K, Murono S. Using the larynx as a last resort for oral intake in a hypopharyngeal cancer patient. Auris Nasus Larynx. 202208; 49(4):717-720.

〔その他〕

室野重之. 【編集企画】編集企画にあたって…. ENTONI. 202201; 266:前付 1.

室野重之. 【私の治療】急性喉頭蓋炎. 日本医事新報. 202209; 5134:47-48.

室野重之. 外国文献紹介（抄録）Significant Declines in Juvenile-onset Recurrent Respiratory Papilloma-tosis Following Human Papillomavirus(HPV) Vaccine Introduction in the United States. Meites E, et al. Clinical Infectious Diseases 73: 885-890, 2021. 日本気管食道科学会会報. 202206; 73(3): 258.

今泉光雅，**鈴木俊彦**，**池田雅一**，**松塚崇**，**後藤あや**，**大森孝一**. ＜ANL Secondary Publication＞高齢者施設において調査票でスクリーニングした嚥下障害例に対する嚥下内視鏡評価. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 202201; 125(1):78-79.

室野重之. 耳、鼻、のどを大切にしよう　３月は「耳鼻咽喉科月間」. 福島民報（新聞）. 20220309.

室野重之. ３月は耳鼻咽喉科月間. 福島民友（新聞）. 20220309.

書籍等出版物

室野重之. 第Ⅲ編　口腔・咽頭科学　第 12 章　口腔・咽頭・唾液腺疾患の症候　A. 口腔・舌・咽頭痛. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.219-220.

室野重之. 第Ⅲ編　口腔・咽頭科学　第 12 章　口腔・咽頭・唾液腺疾患の症候　B. 口腔・咽頭・唾液腺の腫脹. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.220-221.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　I. 声帯ポリープ. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.322-323.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　J. 声帯結節. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.323-324.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　K. ポリープ様声帯. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.324-325.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　L. 喉頭肉芽腫. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.325-327.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　M. 喉頭蓋嚢胞. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.327-328.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　N. 声帯嚢胞. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.328.

多田靖宏. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　O. 声帯白板（斑）症. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.329.

室野重之. 第Ⅳ編　喉頭科学　第 19 章　喉頭の主要疾患　P. 乳頭腫, その他の腫瘍. In: 大森孝一, 野中学, 小島博己 編集. 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第 4 版. 東京: 医学書院; 202203. p.329-330.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Imaizumi M, Murono S. Will Levels Of Experience Of Examiners Affect The Clinical Course Of Patients With Swallowing Impairment? 102th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association-COSM 2022: Combined Otolaryngology Spring Meetings; 20220427-0501; Dallas, USA.

久保田叡, **仲江川雄太**, **川瀬友貴**, **池田雅一**, **鈴木政博**, **室野重之**. 気管原発腺様嚢胞癌に対し気管環状切除・端々吻合術で喉頭機能を温存しえた 1 例. 第 31 回日本頭頸部外科学会; 20220303-04; 大阪. プログラム・予稿集. 213.

池田雅一, **鈴木政博**, **仲江川雄太**, **川瀬友貴**, **久保田叡**, **室野重之**. 唾液腺腫瘍の治療前診断におけるエラストグラフィーの役割. 第 31 回日本頭頸部外科学会; 20220303-04; 大阪. プログラム・予稿集. 281.

今泉光雅, **川瀬友貴**, **室野重之**. 頸部手術後の咽頭皮膚瘻評価における嚥下造影 Cone Beam CT(CBCT)の有用性. 第 34 回日本喉頭科学会; 202220310-11; 佐賀. プログラム及び予稿集. 71.

斎藤友紀子, **佐藤和則**, **國井美羽**, **佐藤聡**, **鈴木聡崇**. 免疫抑制薬の使用中に深在性真菌症が疑われた一例. 第 140 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20220320; 福島. 抄録. 2.

橋本千織, **松見文晶**, **平岡美菜**, **鶴岡美果**. 腎摘出後 13 年で副鼻腔に転移再発した腎細胞癌の一例. 第 140 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20220320; 福島. 抄録. 2.

池田雅一, **鈴木政博**, **仲江川雄太**, **川瀬友貴**, **室野重之**. 唾液腺腫瘍の良悪性診断におけるエラストグラフィーの役割. 第 140 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20220320; 福島. 抄録. 2.

池田雅一, **鈴木雅一**, **仲江川雄太**, **川瀬友貴**, **尾股千里**, **橋本穂奈美**, **松塚崇**, **室野重之**. 頭頸部癌患者治療

における皮下植込み型中心静脈ポートの安全性の検討. 第 123 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会; 20220525-28; 神戸. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報.125(4): 710.

室野重之, **久保田叡**, **佐久間琴子**, **橋本穂奈美**, **松﨑健太**, **垣野内景**, **佐藤廣仁**, **鈴木政博**. シェーグレン症候群の診断における口唇腺生検の組織所見と血清学的検査. 第 123 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会; 20220525-28; 神戸. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報.125(4): 787.

尾股千里, **野本美香**, **垣野内景**, **佐藤廣仁**, **室野重之**. 当科で経験した上顎洞血瘤腫の 9 例. 第 123 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会; 20220525-28; 神戸. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報.125(4): 792.

橋本穂奈美, **仲江川雄太**, **佐久間琴子**, **川瀬友貴**, **池田雅一**, **鈴木政博**, **室野重之**. Pembrolizumab が著効した頭頸部癌の二例. 第 123 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会; 20220525-28; 神戸. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報.125(4): 794.

室野重之. 咽後腫瘍との鑑別を要した川崎病症例. 第 5 回福島県こどもの感染症研究会; 20220611; 福島.

斎藤杏, **池田雅一**, **川瀬友貴**, **橋本千織**, **室野重之**. 喉頭原発 neuroendocrine carcinoma の一例. 第 70 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20220723-24; 山形. 抄録集. 29.

橋本千織, **川瀬友貴**, **池田雅一**, **仲江川雄太**, **斎藤友紀子**, **佐藤廣仁**, **室野重之**. 化学放射線療法を行った下咽頭癌症例に生じた腸管気腫症. 第 70 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20220723-24; 山形. 抄録集. 33.

鈴木聡崇, **垣野内景**, **室野重之**. 単純ヘルペスウイルス初感染による急性咽頭炎の 2 例. 第 70 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20220723-24; 山形. 抄録集. 38.

川瀬友貴, **池田雅一**, **佐藤純一**, **橋本千織**, **室野重之**. 当科における上咽頭癌の治療状況について. 第 26 回北日本頭頸部癌治療研究会; 20221001; 仙台. 抄録集. 10-11.

中村陽祐, **大木幹文**, **竹内裕美**, **飯村慈朗**, **片田彰博**, **金田将治**, **北村拓朗**, **齋藤善光**, **鈴木久美子**, **千葉伸太郎**, **内藤健晴**, **中島逸男**, **中田誠一**, **野本美香**, **原浩貴**, **堀部裕一郎**, **宮崎総一郎**, **岡野光博**, **竹内万彦**, **藤原和典**. 鼻腔形態に関する手術適応の基準策定の検討ー施設状況に関する調査ー. 第 61 回日本鼻科学会; 20221013-15; 金沢. 日本鼻科学会会誌. 61(3): 557.

尾股千里, **野本美香**, **佐藤廣仁**, **室野重之**. 当科で経験した上顎洞血瘤腫の 9 例. 第 61 回日本鼻科学会; 20221013-15; 金沢. 日本鼻科学会会誌. 61(3): 566.

佐藤廣仁, **野本美香**, **尾股千里**, **室野重之**. 他臓器から鼻副鼻腔に転移した 3 症例. 第 61 回日本鼻科学会; 20221013-15; 金沢. 日本鼻科学会会誌. 61(3): 570.

野本美香, **佐藤廣仁**, **尾股千里**, **室野重之**. 当科で経験した浸潤性副鼻腔真菌症の 10 例. 第 61 回日本鼻科学会; 20221013-15; 金沢. 日本鼻科学会会誌. 61(3): 576.

尾股千里, **今泉光雅**, **鈴木聡崇**, **菊地大介**, **室野重之**. 当科における中耳真珠腫に伴う内耳瘻孔症例の検討. 第

32 回日本耳科学会; 20221019-21; 横浜. 抄録集. 391.

今泉光雅, **川瀬友貴**, **室野重之**. 梨状陥凹瘻評価における嚥下造影 Cone Beam CT(CBCT)の有用性. 第 73 回日本気管食道科学会; 20221103-04; 宜野湾. 抄録. 197.

川瀬友貴, **室野重之**. 病変が制御でき気管孔を閉鎖し得た若年発症型再発性気道乳頭腫の 1 例. 第 73 回日本気管食道科学会; 20221103-04; 宜野湾. 抄録. 250.

佐藤純一, **池田雅一**, **川瀬友貴**, **橋本千織**, **室野重之**. 当科における経口腔的咽喉頭癌切除術の検討. 第 142 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20221113; 福島. 抄録. 2.

佐久間琴子, **佐藤聡**, **三ッ井瑞季**, **國井美羽**, **鈴木政博**. 喉頭アミロイドーシスの一例. 第 142 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20221113; 福島. 抄録. 2.

橋本穂奈美, **垣野内景**, **今泉光雅**, **室野重之**. 前庭を横断する側頭骨骨折の 1 症例. 第 142 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会福島県地方部会学術講演会; 20221113; 福島. 抄録. 2.

今泉光雅, **室野重之**, **南修司郎**, **高野賢一**, **土井勝美**. 神経線維腫症 2 型の聴覚温存・再建における全国調査および治療指針作成のための研究ワーキンググループ立ち上げ. 第 67 回日本音声言語医学会; 20221124-25; 京都. 予稿集. 100.

〔特別講演〕

室野重之. 特別講演　悪性リンパ腫と耳鼻咽喉科. 第 37 回奈良悪性リンパ腫談話会; 20220903; 奈良.

〔招待講演〕

室野重之. 講演 2　耳鼻咽喉科の腫瘍とウイルス. 宮崎県頭頸部腫瘍カンファレンス; 20220224; Web.

今泉光雅. ランチョンセミナー　長期予後を見据えた残存聴力活用型人工内耳の選択：遺伝子検査の重要性. 第 84 回耳鼻咽喉科臨床学会; 20220708-09; 広島. 耳鼻咽喉科臨床. 補冊 159: 67.

川瀬友貴, **室野重之**. Research Forum Ⅲ　口腔癌のセンチネルリンパ節における免疫微小環境. 第 70 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東北地方部会連合学術講演会; 20220723-24; 山形. 抄録集. 22.

鈴木聡崇, **今泉光雅**, **尾股千里**, **菊地大介**, **室野重之**. 若手セッション 2　当科における鼓室形成術 4 型の聴力改善の過去 10 年間の治療成績. 第 32 回日本耳科学会; 20221019-1021; 横浜. 抄録集. 148.

野本美香. Session Ⅰ　当科でのデュピルマブ使用経験. Fukushima CRSwNP Seminar; 20221028; 福島.

室野重之, **川瀬友貴**, **仲江川雄太**. 学会臨床研究発表会　2019 年度：喉頭乳頭腫に関する全国疫学調査. 第 73 回日本気管食道科学会; 20221103-04; 宜野湾. 日本気管食道科学会会報. 73(2): 68.

〔その他〕

垣野内景. 子どもの耳、鼻、のどの病気. ラジオ福島　お母さん教室～ラジオドクター～; 20220318; 福島.

鈴木聡明. インタラクティブ・レクチャー　側頭骨組織インタラクティブ・レクチャー. 第 32 回日本耳科学会; 20221020; 横浜.

神経精神医学講座

論　　文

〔原　著〕

Kushima I, Nakatochi M, Aleksic B, Okada T, Kimura H, Kato H, Morikawa M, Inada T, Ishizuka K, Torii Y, Nakamura Y, Tanaka S, Imaeda M, Takahashi N, Yamamoto M, Iwamoto K, Nawa Y, Ogawa N, Iritani S, Hayashi Y, Lo T, Otgonbayar G, Furuta S, Iwata N, Ikeda M, Saito T, Ninomiya K, Okochi T, Hashimoto R, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Miura K, Itokawa M, Arai M, Miyashita M, Toriumi K, Ohi K, Shioiri T, Kitaichi K, Someya T, Watanabe Y, Egawa J, Takahashi T, Suzuki M, Sasaki T, Tochigi M, Nishimura F, Yamasue H, Kuwabara H, Wakuda T, Kato TA, Kanba S, Horikawa H, Usami M, Kodaira M, Watanabe K, Yoshikawa T, Toyota T, Yokoyama S, Munesue T, Kimura R, Funabiki Y, Kosaka H, Jung M, Kasai K, Ikegame T, Jinde S, Numata S, Kinoshita M, Kato T, Kakiuchi C, Yamakawa K, Suzuki T, Hashimoto N, Ishikawa S, Yamagata B, Nio S, Murai T, Son S, Kunii Y, Yabe H, Inagaki M, Goto YI, Okumura Y, Ito T, Arioka Y, Mori D, Ozaki N. Cross-Disorder Analysis of Genic and Regulatory Copy Number Variations in Bipolar Disorder, Schizophrenia, and Autism Spectrum Disorder. Biological Psychiatry. 202209; 92(5):362-374.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International

Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro M, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Horikoshi S, Miura I, Mui A, Hikichi T, Aono T, Hoshino KY, Terayama K, Yabe H. Second-Generation Antipsychotic Long-Acting Injection Reduced the Time of Restrictive Interventions in Patients With Schizophrenia: Retrospective, A 4-Year Mirror-Image Study. Journal of Clinical Psychopharmacology. 202211; 42(6):526-529.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S95-S103.

Iwakura Y, Kawahara-Miki R, Kida S, Sotoyama H, Gabdulkhaev R, Takahashi H, Kunii Y, Hino M, Nagaoka A, Izumi R, Shishido R, Someya T, Yabe H, Kakita A, Nawa H. Elevation of EGR1/zif268, a Neural Activity Marker, in the Auditory Cortex of Patients with Schizophrenia and its Animal Model. Neurochemical Research. 202209; 47(9):2715-2727.

Miura I, Watabe K, Sakaguchi R, Okamoto K, Maruyama H. Effectiveness of Lurasidone 80 mg in Patients with Schizophrenia: Results of an Open-Label, 12-Week Extension Study. Neuropsychiatric Disease and Treatment. 202211; 18:2627-2637.

Hino M, Kondo T, Kunii Y, Matsumoto J, Wada A, Niwa SI, Setou M, Yabe H. Tubulin/microtubules as novel clozapine targets. Neuropsychopharmacology Reports. 202203; 42(1):32-41.

Izumi R, Hino M, Nagaoka A, Shishido R, Kakita A, Hoshino M, Kunii Y, Yabe H. Dysregulation of DPYSL2 expression by mTOR signaling in schizophrenia: Multi-level study of postmortem brain. Neuroscience Research. 202202; 175:73-81.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Kunii Y, Usukura H, Otsuka K, Maeda M, Yabe H, Takahashi S, Tachikawa H, Tomita H. Lessons learned from psychosocial support and mental health surveys during the 10 years since the Great East Japan Earthquake: Establishing evidence-based disaster psychiatry. Psychiatry and Clinical Neurosciences. 202206; 76(6):212-221.

Yoshihisa A, Kono S, Kaneshiro T, Ichijo Y, Misaka T, Yamada S, Oikawa M, Miura I, Yabe H, Takeishi Y. Impaired brain activity in patients with persistent atrial fibrillation assessed by near-infrared spectroscopy and its changes after catheter ablation. Scientific Reports. 202205; 12(1):7866.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

長岡敦子，國井泰人，大沼裕美，日野瑞城，泉竜太，宍戸理紗，矢部博興．【精神科ブレインバンク】精神疾患ブレインバンクの現状と課題. 精神科. 202204; 40(4):416-421.

宇佐美清英，赤松直樹，飯村康司，井内盛遠，今村久司，榎日出夫，木下真幸子，國井尚人，小林勝弘，小林勝哉，酒田あゆみ，重藤寛史，下竹昭寛，神一敬，菅野秀宣，田中章浩，千葉茂，寺田清人，飛松省三，夏目淳，原恵子，人見健文，本多正幸，前原建寿，松本理器，三枝隆博，矢部博興，山野光彦，池田昭夫．臨床脳波の諸問題に関する情報共有と提言　脳波セミナー・アドバンスコース小委員会レポート. 臨床神経生理学. 202206; 50(3):107-112.

三浦至．【統合失調症患者の身体的脆弱性:精神科薬物治療と寿命の短縮】統合失調症における locomotive syndrome/sarcopenia と向精神薬治療の影響. 臨床精神薬理. 202204; 25(4):391-396.

〔その他〕

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡崎可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連　福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppl.1):159.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎可奈子，島袋充生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域等住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連　福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppl.1):159.

石井なつみ，江口依里，林史和，前田正治，針金まゆみ，安村誠司，矢部博興，高橋敦史，高瀬佳苗，神谷研二，大平哲也．東日本大震災後の福島県における果物摂取頻度と糖尿病との関連　県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppl.1):163.

板垣俊太郎，松本貴智，伊瀬陽子，佐藤亜希子，横倉俊也，和田知紘，浅野太志，増子博文，矢部博興．多彩な身体疾患を抱えて食行動異常を繰り返した回避制限性食物摂取障害の長期経過例. 心身医学. 202207; 62(4):356.

鈴木悠平，三浦至，板垣俊太郎，刑部有祐，長岡敦子，戸田亘，佐久間春菜，野崎啓子，渡辺研弥，矢部博興．クロザピンの血中濃度測定が有用と考えられた治療抵抗性統合失調症の１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):654.

佐藤彩，佐藤亜希子，板垣俊太郎，丹治良，島村美帆，千代田高明，佐々木太士，一瀬瑞絵，刑部有祐，三浦至，矢部博興．若年性ミオクロニーてんかんの入院加療中に心因性非てんかん性発作を発症し、鑑別と治療に難渋した１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):656.

島村美帆，板垣俊太郎，長岡敦子，佐藤亜希子，三浦至，矢部博興．コロナ禍による休校措置や活動制限を契機に抑うつ状態から多彩な精神症状を呈した若年症例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):656.

河本竜太，佐藤亜希子，一瀬瑞絵，佐藤彩，佐々木太士，島村美帆，丹治良，千代田高明，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．悪性症候群が遷延し悪性緊張病との鑑別を要した１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):658.

丹治良，三浦至，千代田高明，佐藤亜希子，一瀬瑞絵，佐藤彩，佐々木太士，島村美帆，志賀哲也，板垣俊太郎，矢部博興．市販鎮咳去痰薬の乱用から幻覚妄想状態をきたした１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):658.

平山緑香，刑部有祐，長岡敦子，戸田亘，後藤將之，佐藤彩，錫谷研，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．アルコール使用障害とアルツハイマー型認知症を合併した高齢者の１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):658.

宍戸理紗，國井泰人，後藤大介，佐藤亜希子，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．慢性リチウム中毒に低酸素脳症が重畳し意識障害が遷延した１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):661.

坪田朝子，刑部有祐，長岡敦子，戸田亘，鈴木悠平，河本竜太，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．双極性障害の高齢女性において降圧薬がリチウム中毒に影響したと考えられる１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):661.

錫谷研，井上祐紀，照井稔宏，大成晃，小野口亮，伊藤雅史，石川大道，宗像修，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，橘高一，矢部博興．利用可能エネルギー不足と運動性無月経が先行した回避・制限性食物摂取症の１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):662.

千代田高明，佐藤亜希子，島村美帆，佐々木太士，丹治良，鈴木悠平，佐藤彩，一瀬瑞絵，長岡敦子，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．抗 amphiphysin 抗体陽性の辺縁系脳炎の１例．精神神経学雑誌. 202209; 124(9):662.

赤間孝洋，刑部有祐，木村聡，泉竜太，森湧平，野崎途也，三浦至，矢部博興．詐欺被害に遭ったことを契機に一過性の幻覚妄想症状を呈した自閉症スペクトラム障害の１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):743.

浅野太志，後藤大介，落合晴香，穂積宏俊，後藤將之，鈴木二妙香，河野創一，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．妄想的な強迫症状を呈した小児期症例に近赤外線スペクトロスコピィ（NIRS）を施行した１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):743.

木村聡，野崎途也，刑部有祐，泉竜太，森湧平，赤間孝洋，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．母子間葛藤から症状が悪化した強迫性障害の１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):744.

後藤將之，後藤大介，落合晴香，穂積宏俊，浅野太志，鈴木二妙香，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．抑うつ症状の改善に伴い，認知機能低下の改善を認めた１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):745.

穂積宏俊，後藤大介，落合晴香，浅野太志，後藤將之，鈴木二妙香，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．抗うつ薬投与によりSIADHによる低ナトリウム血症が増悪したうつ病の１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):745.

森湧平，野崎途也，刑部有祐，泉竜太，木村聡，赤間孝洋，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．うつ病加療中に悪性症候群を合併したパーキンソン病に対しmECTが有効であった１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):746.

青木俊太郎，成瀬麻夕，堀内聡，松本貴智，上田由桂，三浦至，矢部博興．うつ病患者の抑うつスキーマと家族からの批判の関係性．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):747.

鈴木二妙香，後藤大介，落合晴香，穂積宏俊，後藤將之，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興．フォークト・小柳・原田病のステロイド治療中に幻覚妄想状態を呈した１例．精神神経学雑誌. 202210; 124(10):747.

志賀哲也，丹治良，千代田高明，河本竜太，荒川英香，平山緑香，羽金裕也，錫谷研，佐藤彩，森湧平，高橋雄一，戸田亘，和田知紘，落合晴香，星野大，刑部有祐，堀越翔，伊藤典和，上田由佳，松本貴智，菅野和子，大島洋和，野崎途也，疋田雅之，板垣俊太郎，三浦至，松岡貴志，矢部博興．統合失調症におけるミスマッチ陰性電位（MMN）　ミスマッチ陰性電位と統合失調症治療．精神神経学雑誌. 202204; 124(4付録):S-316.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，坂井晃，中野裕紀，林史和，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，大平弘正，風間順一郎，細矢光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールは心理的負担と相関する　福島県県民健康調査．糖尿病. 202204; 65(Suppl.1):S-232.

長尾匡則，小針英理，田中健一，林史和，大平哲也，安村誠司，島袋充生，前田正治，坂井晃，矢部博興，細矢光亮，高橋敦史，大戸斉，神谷研二，風間順一郎．東日本大震災後の高血圧新規発症に対するリスク要因の検討　福島県「県民健康調査」．日本公衆衛生学会総会抄録集. 202209; 81:200.

板垣俊太郎，島村美帆，千代田高明，赤間孝洋，和田知紘，横倉俊也，佐藤亜希子，松本貴智，増子博文，矢部博興．初発の双極性感情障害を発症した青年期症例を通じてコロナ禍による行動制限が青少年に与えた影響を考察する．日本児童青年精神医学会総会抄録集. 202211; 63:O11-4.

佐藤亜希子，板垣俊太郎，松本貴智，横倉俊也，和田知紘，赤間孝洋，矢部博興．慢性連日性頭痛を伴った不思議の国のアリス症候群の女児の精神病理学的背景について．日本児童青年精神医学会総会抄録集. 202211; 63:P7-1.

林史和，大平哲也，中野裕紀，島袋充生，坂井晃，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の食品摂取多様性と高中性脂肪血症の発生との関連　福島県県民健康調査．日本循環器病予防学会誌. 202205; 57(2):140.

江口依里，大平哲也，中野裕紀，林史和，岡崎可奈子，舟久保徳美，前田正治，安村誠司，矢部博興，神谷研二．東日本大震災後の避難の有無別にみた笑いの頻度と生活習慣病との関連．日本循環器病予防学会誌. 202205;

57(2):141.

小林有里，板垣俊太郎，矢部博興. 反抗挑戦性障害が食行動異常により増悪し治療に難渋した小児例. 日本小児精神神経学会プログラム・抄録集. 202206; 127:57.

坪田朝子，板垣俊太郎，矢部博興. 軽度発達障害によるコミュニケーションの困難さや常同行動のため神経性食思不振症の治療に難渋した一例. 日本小児精神神経学会プログラム・抄録集. 202206; 127:58.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生. 東日本大震災後の血糖コントロールと精神的健康障害との関係　福島県県民健康調査. 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集. 202207; 54:215.

佐藤亜希子，板垣俊太郎，横倉俊也，和田知紘，赤間孝洋，木村聡，鈴木雄一，松田希，三浦至，矢部博興. 片頭痛と脳波異常を伴った不思議の国のアリス症候群の一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):88.

宍戸理紗，國井泰人，山本慎之助，藤森春生，佐藤亜希子，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. PLMT 症候群の加療中に複雑性幻聴を生じ、その内容に連動した不随意運動を報告した高齢女性例の脳神経基盤についての考察. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):88-89.

佐々木太士，刑部有祐，一瀬瑞絵，大成晃，小林有里，島村美帆，丹治良，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 早期の集学的な介入が本人の生活状況の改善に必要と考えられた器質性精神障害の一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):89.

島村美帆，板垣俊太郎，長岡敦子，佐藤亜希子，三浦至，矢部博興. コロナ禍による学業継続の断念を契機に抑うつ状態を初発として双極性感情障害を発症した若年症例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):89.

丹治良，刑部有祐，一瀬瑞絵，大成晃，宍戸理紗，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 新型コロナウイルス禍における薬物乱用により入院に至った 2 症例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):89-90.

平山緑香，泉竜太，後藤大介，佐藤亜希子，戸田亘，宍戸理紗，羽金裕也，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 持効性注射剤（LAI）導入により社会参加に踏み出した一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):90-91.

坪田朝子，佐藤亜希子，宍戸理紗，戸田亘，河本竜太，千代田高明，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. ハロペリドール LAI 導入により維持透析と自宅退院が可能になった統合失調症の一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):91.

鈴木悠平，三浦至，板垣俊太郎，刑部有祐，長岡敦子，戸田亘，佐久間春菜，野崎啓子，渡辺研弥，矢部博興. クロザピンの血中濃度測定が有用と考えられた治療抵抗性統合失調症の 2 例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):91-92.

千代田高明，佐藤亜希子，島村美帆，佐々木太士，丹治良，坪田朝子，河本竜太，佐藤彩，宍戸理紗，戸田亘，一瀬瑞絵，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. クロザピンの導入により多飲水の改善が見られた治療抵抗性統合失調症の一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):92.

河本竜太，佐藤亜希子，戸田亘，宍戸理紗，千代田高明，坪田朝子，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 強迫性障害に摂食障害を合併したと考えられる一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):93.

小林有里，鈴木悠平，佐々木太士，丹治良，大成晃，一瀬瑞絵，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 多職種介入が病状改善の一助となったと考えられる摂食障害の一例. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):93-94.

七海隆之，大西真央，和田知紘，松本貴智，矢部博興. ASD 児童へのオンラインゲームを利用したプレイセラピー　現実とバーチャル世界内の並行的交流の利点. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):94-95.

羽金裕也，志賀哲也，戸田亘，三浦至，阿部十也，金井数明，伊藤浩，矢部博興. 軽度認知機能障害とパーキンソン病の MMN における縦断的比較. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):381.

河本竜太，矢部博興，三浦至，板垣俊太郎，志賀哲也，刑部有祐，星野大，錫谷研，菅野和子，疋田雅之，松本貴智，上田由桂，和田知紘，野崎途也，森湧平，高橋雄一，松岡貴志，千代田高明，佐藤彩. 時間統合窓の後半部分で起こる強度変化はミスマッチ陰性電位を発生させるか. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):383.

丹治良，志賀哲也，星野大，堀越翔，落合晴香，戸田亘，森湧平，佐藤彩，羽金裕也，平山緑香，菅野和子，上田由桂，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 成人期発達障害におけるミスマッチ陰性電位の刺激パラダイムごとの検討. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):386.

上田由桂，志賀哲也，菅野和子，星野大，落合晴香，堀越翔，森湧平，戸田亘，平山緑香，羽金裕也，丹治良，刑部有祐，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. ベンゾジアゼピン系抗不安薬の服用量とミスマッチ陰性電位の関連　処方薬依存防止の検討. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):457.

菅野和子，星野大，森湧平，荒川英香，河本竜太，千代田高明，高橋雄一，佐藤彩，錫谷研，和田知紘，上田由桂，松本貴智，野崎途也，刑部有祐，志賀哲也，疋田雅之，板垣俊太郎，三浦至，松岡貴志，矢部博興. 概日リズムを乱す夜勤・交代制勤務は持続長ミスマッチ陰性電位に影響するか. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):457.

平山緑香，志賀哲也，星野大，落合晴香，堀越翔，戸田亘，森湧平，羽金裕也，丹治良，菅野和子，上田由桂，三浦至，矢部博興. スマッチ陰性電位に反映される統合失調症の時間統合窓の時間幅の推定. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):458.

星野大，荒川英香，錫谷研，千代田高明，刑部有祐，志賀哲也，菅野和子，野崎途也，疋田雅之，松本貴智，上田由桂，和田知紘，森湧平，高橋雄一，佐藤彩，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 周波数変化ミスマッチ陰性電位は変化の遅延に反応するか. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):458.

森湧平，星野大，千代田高明，河本竜太，荒川英香，佐藤彩，錫谷研，高橋雄一，和田知紘，上田由桂，松本貴智，菅野和子，刑部有祐，疋田雅之，志賀哲也，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 統合失調症における聴覚情景分析　MMN を用いた時間統合窓・音脈分凝の優位性について. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):458.

千代田高明，星野大，荒川英香，錫谷研，刑部有祐，志賀哲也，菅野和子，野崎途也，疋田雅之，松本貴智，上田由桂，和田知紘，森湧平，高橋雄一，佐藤彩，板垣俊太郎，三浦至，松岡貴志，矢部博興. 統合失調症における開始点遅延の周波数ミスマッチ陰性電位 fMMN について. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):459.

和田知紘，星野大，板垣俊太郎，刑部有祐，菅野和子，千代田高明，荒川英香，河本竜太，錫谷研，佐藤彩，大西真央，高橋雄一，上田由桂，松本貴智，森湧平，野崎途也，疋田雅之，志賀哲也，松岡貴志，矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後でのミスマッチ陰性電位と前頭葉機能の変化についての中間報告（第２報）. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):459.

荒川英香，星野大，錫谷研，日高茂暢，菅野和子，森湧平，佐藤彩，千代田高明，河本竜太，上田由桂，松本貴智，高橋雄一，和田知紘，刑部有祐，疋田雅之，志賀哲也，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 連続する２音の後半の変化はミスマッチ陰性電位に影響するか. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):467.

高橋雄一，藤井進也，刑部有祐，星野大，吉田久美，松本貴智，青田美穂，今野嶺，青木俊太郎，菅野和子，各務竹康，福島哲仁，大井直往，森湧平，和田知紘，志賀哲也，疋田雅之，板垣俊太郎，三浦至，矢部博興. 統合失調症患者はリズムトレーニングで動作性リズム指標のコンシステンシーが改善する　The Harvard Beat Assessment Test を用いて. 臨床神経生理学. 202210; 50(5):467.

過年業績

長尾匡則，大平哲也，岡崎可奈子，林史和，中野裕紀，坂井晃，島袋充生，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討　福島県県民健康調査. 日本公衆衛生学会総会抄録集. 202111; 80:343.

岡崎可奈子，平井裕之，島袋みちお，大平哲也，中野裕紀，林史和，長尾匡則，坂井晃，前田正治，矢部博興，安村誠司，神谷研二. 東日本大震災直後の血糖コントロール状況と精神的健康との関連　福島県県民健康調査. 日本公衆衛生学会総会抄録集. 202111; 80:345.

齊藤祐子，柿田明美，吉田眞理，村山繁雄，矢部博興，國井泰人，寺田整司，横田修，入谷修二，大島健二，田中紀子，井上悠輔. 日本ブレインバンクネットの運営　５年間の節目を迎えて. 臨床神経学. 202109; 61(Suppl.):S344.

放射線医学講座

論　　文

〔原　著〕

Matsuda N, Kobayashi S, Hasegawa O, Yoshida K, Kubo H, Ugawa Y, Kanai K. Subclinical involvement of the trunk muscles in idiopathic inflammatory myopathies. Acta Radiologica Open. 202202; 11(2):20584601221075796.

Yamamoto A, Nagao M, Fukushima K, Ando K, Nakao R, Goto M, Matsuo Y, Sakai A, Momose M, Kaneko K, Sakai S, Yamaguchi J. Adverse Cardiac Events in Cardiac Sarcoidosis Prediction by ^{123}I-betamethyl-p-iodophenyl-pentadecanoic Acid Single-Photon Emission Computed Tomography and Cardiac Magnetic Resonance Late Gadolinium Enhancement. American Journal of Cardiology. 202210; 180:149-154.

Fukushima K, Momose M, Kanaya K, Kaimoto Y, Higuchi T, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Nagao M, Kuji I, Abe K. Imaging of Heart Type Fatty Acid Binding Protein Under Acute Reperfusion Ischemia Using Radio-labeled Antibody in Rat Heart Model. Annals of Nuclear Cardiology. 202208; 8(1):14-20.

Takahashi Y, Nemoto A, Hosokawa S, Ito H, Oriuchi N. Construction of a phantom for image quality evaluation in PET/MRI system. Annals of Nuclear Cardiology. 202208; 8(1):103-108.

Aoki S, Shikama Y, Yasui K, Moroi Y, Sakamoto N, Suenaga H, Tang Z, Yasuda M, Chiba Y, Stanyon M, Otani K. Optimizing simulated interviews and feedback to maximize medical students' self-efficacy in real time. BMC Medical Education. 202206; 22(1):438.

Kojima K, Hirano S, Kimura Y, Seki C, Ikoma Y, Takahata K, Ito T, Yokokawa K, Hashimoto H, Kawamura K, Zhang MR, Ito H, Higuchi M, Kuwabara S, Suhara T, Yamada M. Brain 5-HT2A receptor binding and its neural network related to behavioral inhibition system. Brain Imaging and Behavior. 202206; 16(3):1337-1348.

Yamada Y, Sugi K, Fukushima K, Muramatsu T, Nakano S. Computed Tomography Image of a Coronary Arcade, an Intercoronary Communication. Circulation Journal. 202202; 86(3):475.

Nakano S, Kohsaka S, Chikamori T, Fukushima K, Kobayashi Y, Kozuma K, Manabe S, Matsuo H, Nakamura M, Ohno T, Sawano M, Toda K, Ueda Y, Yokoi H, Gatate Y, Kasai T, Kawase Y, Matsumoto N, Mori H, Nakazato R, Niimi N, Saito Y, Shintani A, Watanabe I, Watanabe Y, Ikari Y, Jinzaki M, Kosuge M, Nakajima K, Kimura T; JCS Joint Working Group. JCS 2022 Guideline Focused Update on Diagnosis and Treatment in Patients With Stable Coronary Artery Disease. Circulation Journal. 202204; 86(5):882-915.

Ikoma Y, Kimura Y, Yamada M, Obata T, Suhara T, Ito H. Measurement of striatal dopamine release induced by neuropsychological stimulation in positron emission tomography with dual injections of [11C]raclopride. Frontiers in Psychiatry. 202207; 13:811136.

Meguro S, Kataoka M, Endo YU, Yaginuma K, Hasegawa A, Makabe S, Harigane Y, Matsuoka K, Hoshi S, Hata J, Sato Y, Akaihata H, Ogawa S, Shirou I, Haga N, Ito H, Kojima Y. Low Risk of Venous Thromboembolism After Robot-assisted Radical Prostatectomy Through Systemic Image Assessment: A Prospective Study. In Vivo. 202209; 36(5):2384-2391.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic Value of Simultaneous Analysis with Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain by Hybrid ^{13}N-Ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging in Coronary Artery Disease. International Heart Journal. 202211; 63(6):1063-1069.

Yamane T, Matsusaka Y, Fukushima K, Seto A, Matsunari I, Kuji I. Atlas of non-pathological solitary or

asymmetrical skeletal muscle uptake in [18F]FDG-PET. Japanese Journal of Radiology. 202208; 40(8):755-767.

Kato T, Tsurukiri J, Sano H, Nagura T, Moriya M, Suenaga H, Matsunaga K, Kanemura T, Ueta Y, Arai T. Nonconvulsive Status Epilepticus Caused by Cerebrospinal Fluid Dissemination of a Salivary Duct Carcinoma: A Case Report. JMA Journal. 202201; 5(1):151-156.

Nakao R, Nagao M, Yamamoto A, Fukushima K, Watanabe E, Sakai S, Hagiwara N. Papillary muscle ischemia on high-resolution cine imaging of nitrogen-13 ammonia positron emission tomography: Association with myocardial flow reserve and prognosis in coronary artery disease. Journal of Nuclear Cardiology. 202202; 29(1):293-303.

Zanotti-Fregonara P, Ishiguro T, Yoshihara K, Ishii S, Enomoto T. 18F-FDG Fetal Dosimetry Calculated with PET/MRI. Journal of Nuclear Medicine. 202210; 63(10):1592-1597.

Ikeda M, Suzuki M, Matsuzuka T, Ishii S, Sato H, Murono S. Neoadjuvant Superselective Intra-Arterial Cisplatin Chemoradiotherapy Combined With Surgery in Patients With T4 Squamous Cell Carcinoma of the Maxillary Sinus. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. 202208; 80(8):1445-1450.

〔総説等〕

福島賢慈，関野啓史，石井士朗，伊藤浩．【はじめよう！心臓の画像診断】心臓核医学読影の目の付けどころ. 画像診断. 202205; 42(7):633-645.

中埜信太郎，江木竜太，福島賢慈．安定冠動脈疾患診断における冠動脈 CT の位置づけ．日本冠疾患学会誌. 202209; 4:2-4.

山本篤志，長尾充展，福島賢慈，安藤聖恵，中尾梨沙子，後藤雅之，松尾有香，坂井晶子，百瀬満，金子恒一郎，萩原誠久，坂井修二．心サルコイドーシスにおける BMIPP-SPECT，FDG-PET の再燃，予後予測能の評価．臨床放射線. 202209; 67(9):983-990.

〔症例報告〕

Ishii S, Sugawara S, Yamakuni R, Sekino H, Ito H. Hypertrophic Pachymeningitis Demonstrated by Whole-Body 67Ga Scintigraphy. Clinical Nuclear Medicine. 202202; 47(2):e149-e151.

Yamakuni R, Ishikawa H, Hasegawa O, Sekino H, Ishii S, Otani K, Ito H. Cauda equina movement during the Valsalva maneuver in two patients with Lumbar spinal canal stenosis. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(2):135-141.

Endo Y, Sekino H, Ishii S, Okada R, Kofunato Y, Nakano H, Watanabe Y, Marubashi S, Kono K, Ito H. Two cases of pancreaticoduodenal aneurysm with median arcuate ligament syndrome treated with coil embolization and median arcuate ligament incision. Radiology Case Reports. 202208; 17(10):3663-3668.

〔その他〕

伊藤浩．α線放出核種を用いた核医学治療薬の開発ー福島県立医科大学の取り組みー. FBNews. 202201; 541:2-6.

書籍等出版物

Fukushima K, Nagao M. Perfusion, Calcium Scoring, and CTA. In: Nekolla SG, Rischpler C. Hybrid Cardiac Imaging. Switzerland: Springer; 2022. p.47-58.

Fukushima K, Nagao M. Hybrid Cardiac Viability Assessment. In: Nudi F, Schillaci O, Biondi-Zoccai G, Iskandrian AE. Hybrid Cardiac Imaging for Clinical Decision-Making. Switzerland: Springer; 2022. p.147-172.

Fukushima K, Nagao M. Clinical Cases of Hybrid Cardiac Imaging. In: Nudi F, Schillaci O, Biondi-Zoccai G, Iskandrian AE. Hybrid Cardiac Imaging for Clinical Decision-Making. Switzerland: Springer; 2022. p.191-202.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yamamoto A, Nagao N, Fukushima K, Ando K, Nakao R, Matsuo Y, Momose M, Kaneko K, Hagiwara N, Sakai S. The Utility of BMIPP SPECT and Late Gadolinium Enhancement MRI: Prognostic Value in Patients with Cardiac Sarcoidosis. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web. Journal of Nuclear Medicine. 63(Supplement 2):2296.

Ito H, Ibaraki M, Yamakuni R, Ishii S, Fukushima K, Ukon N, Takahashi K. Regional differences in oxygen extraction fraction in human brain measured by integrated PET/MRI scanner with oxygen-15 labeled gases. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web. Journal of Nuclear Medicine. 63(Supplement 2):2949.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Ito H, Tkaeishi Y. Simultaneous assessment of myocardial mechanical dyssynchrony using integrated PETMR system - Direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web. Journal of Nuclear Medicine. 63(Supplement 2):3376.

Yamamoto A, Nagao M, Kawakubo M, Ando K, Nakao R, Matsuo Y, Sakai A, Momose M, Kaneko K, Fukushima K, Sakai S, Hagiwara N. Ammonia PET-derived Right Ventricular Strain: Prognostic Value in Coronary Artery Disease. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web.

Yamamoto A, Nagao M, Kawakubo M, Ando K, Nakao R, Matsuo Y, Sakai A, Momose M, Kaneko K, Fukushima K, Sakai S, Hagiwara N. Myocardial Energy Estimated by PET Strain and Myocardial Flow Reserve: New Strategy for Coronary Artery Disease. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web.

Yamakuni R, Endo K, Sekino H, Kiko T, Ishii S, Yamaki T, Kikori K, Ukon N, Ito H, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic significance of simultaneous analysis with global myocardial flow reserve and myocardial strain

under vasodilator stress using cardiac PETMR. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Web.

Fukushima K, Yamakuni R, Endo K, Kiko T, Yamaki T, Sekino H, Ishii S, Kikori K, Ukon N, Ito H, Takeishi Y. Discrepancy of transient ischemic dilation between PET perfusion imaging and MR volumetric analysis in patients with coronary artery disease: Simultaneous assessment using dedicated PETMR system. 13th Congress of the World Federations of Nuclear Medicine and Biology; 20220907-11; Kyoto/Web.

Ishii S, Watanabe H, Yamakuni R, Hakozaki M, Suenaga H, Kuroiwa D, Sugawara S, Sekino H, Fukuhshima K, Ito H. Investigation of factors affecting 18F-FDG uptake in the bone marrow, and correlation between bone marrow FDG uptake and femoral bone marrow CT number. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology; 20220907-11; Kyoto/Web.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive Value of Calcium Volume Measurement Determined by Computed Tomography for Paravalvular Leakage After Transcatheter Aortic Valve Implantation. American Heart Association Scientific Session 2022; 20221105-07; Chicago, USA. Circulation. 146(Suppl 1):10744.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic Value of Simultaneous Analysis With Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain by Hybrid 13N-ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging in Coronary Artery Disease. American Heart Association Scientific Session 2022; 20221105-07; Chicago, USA.

Kiko T, Endo K, Fukushima K, Takeishi Y. Simultaneous Assessment of Coronary Flow Reserve and Left Ventricular Strain During Vasodilator Stress Measured by 13N-ammonia Positron Emission Tomography/Magnetic Resonance Imaging. American Heart Association Scientific Session 2022; 20221105-07; Chicago, USA.

Sekino H. Coil embolization of a celiac artery pseudoaneurysm under balloon-assisted flow control: A Case Report. Interventional Radiology Case Conference 2022; 20221112; Seoul, Korea.

原純子，末永博紀，菅原茂耕，関野啓史，長谷川靖，石井士朗，伊藤浩. バルサルバ法にて馬尾の動きが見られた腰部脊柱管狭窄症の 1 例. 第 51 回日本神経放射線学会; 20220218-19; 東京.

熊坂由紀子，石橋直尚，森谷浩史，原純子，末永博紀，菅原茂耕，関野啓史，石井士朗，伊藤浩. 新生児および乳児における脳静脈洞内の T1 強調画像高信号域と臨床的意義について：2 施設での検討. 第 24 回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20220228-0301; 浜松/Web.

Yamamoto A, Nagao M, Fukushima K. PROGNOSIS OF CARDIAC SARCOIDOSIS PATIENTS USING BMIPP-SPECT AND CMR-LGE. Annual Meeting: 86th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society Japanese Circulation Society; 20220311-13; Web.

山本篤志，長尾充展，河窪正照，安藤聖恵，中尾梨沙子，松尾有香，福島賢慈，百瀬満，金子恒一郎，坂井修二，萩原誠久. Myocardial Energy Estimated by Ammonia PET: New Strategy for Coronary Artery Disease. 第 32 回日本心血管画像動態学会; 20220519-20; 東京/Web.

関野啓史. 高齢者の脳出血の画像診断. 第 3 回東北 NR 懇話会; 20220625; Web.

石井士朗. ヨード造影剤による小腸浮腫の発生頻度と消化器症状との関連性. 第 58 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20220902-04; 東京/Web.

関野啓史, **石井士朗**, **渡邊宏剛**, **箱崎元晴**,**山國遼**, **末永博紀**, **菅原茂耕**, **黒岩大地**, **長谷川靖**, **伊藤浩**. 腹腔動脈の呼吸性の変動の検討. 第 58 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20220902-04; 東京/Web.

Yamakuni R, Ishikawa H, Kakamu T, Hara J, Suenaga H, Sugawara S, Sekino H, Ishii S, Fukushima K, Seino S, Ito H. Liver IVIM in Patients with Chronic Liver Disease: Relationship with ALBI Score, mALBI Grade, FIB-4 Index, and APRI Score. 第 50 回日本磁気共鳴医学会大会; 20220909-11; 名古屋/Web.

伊藤浩, **茨木正信**, **山國遼**, **末永博紀**, **菅原茂耕**, **石井士朗**, **福島賢慈**, **久保均**, **右近直之**, **西嶋剣一**, **高橋和弘**. O-15 標識ガス定常吸入法を用いた脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発－理論とシミュレーション－. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220909-11; 京都/Web.

石井士朗. 大腿骨骨髄 CT 値と骨髄 FDG 集積、血液パラメータとの関連の調査. 第 50 回断層映像研究会; 20220930-1001; 東京/Web.

福島賢慈, **末永博紀**, **石井士朗**, **伊藤浩**. 心アミロイドーシスにおける心筋 SPECT を用いた心筋体積算出の簡易的手法. 第 50 回断層映像研究会; 20221001; 東京/Web.

関野啓史, **黒岩大地**, **遠藤吉樹**, **山國遼**, **末永博紀**, **石井士朗**, **伊藤浩**. 偶発的に発見された腸間膜動脈の仮性動脈瘤に対して塞栓術を行った 1 例. 第 35 回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会; 20221001; 札幌.

山國遼, **関野啓史**, **齋藤将輝**, **田中優見**, **八巻杏奈**, **蛭田まほり**, **穂積宏俊**, **小檜山歩那美**, **柳沼佑基**, **渡邊宏剛**, **箱崎元晴**, **高橋克広**, **石井士朗**, **福島賢慈**, **伊藤浩**. ディープラーニング再構成法を用いた CT における脳静脈洞吸収値と貧血の相関：Hybrid-IR との比較. 第 65 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20221028-29; 甲府/Web.

山國遼, **田中優見**, **八巻杏奈**, **川本菜摘**, **穂積宏俊**, **原純子**, **遠藤吉樹**, **蛭田まほり**, **小檜山歩那美**, **柳沼佑基**, **渡邊宏剛**, **箱崎元晴**, **末永博紀**, **黒岩大地**, **長谷川靖**, **菅原茂耕**, **関野啓史**, **石井士朗**, **福島賢慈**, **伊藤浩**. 大脳基底核および白質に広範な石灰化を認めた慢性活動性 Epstein-Barr ウイルス感染症の 1 例. 第 147 回日本医学放射線学会北日本地方会・第 92 回日本核医学会北日本地方会; 20221115-1218; Web.

〔シンポジウム〕

Ito H. Measurement of cerebral circulation and oxygen metabolism using integrated PET/MRI scanner with oxygen-15 labeled gases. PET/MRI: Advantages of Multimodality Imaging. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology; 20220907-11; Kyoto/Web.

Fukushima K. Current and Novel Multimodality Imaging Approach in Nuclear Cardiology. WFNMB

Symposium 3: Recent advance in Nuclear Cardiology. 13th Congress of the World Federations of Nuclear Medicine and Biology; 20220907-11; Kyoto/Web.

Fukushima K. Asian Society of Cardiovascular Imaging-joint session [Stress nuclear imaging (SPECT and PET) for CCS]. Indonesian Cardiocerebrovascular Society; 20221023; Web.

伊藤浩，山國遼，箱﨑元晴，右近直之，石井士朗，福島賢慈，志賀哲，久保均，茨木正信，高橋和弘. ヒト PET/MRI. PET/MRI および酸素 15 標識ガスによる脳循環代謝諸量の計測. 第 24 回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20220228-0301; 浜松/Web.

福島賢慈. INOCA, MINOCA に PET, SPECT で迫る. TOKYO Physiology 2022; 20220304-05; Web.

Fukushima K. Role of non-invasive multimodality imaging for cardiomyopathy -Focus on Nuclear Cardiology-. 86th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society: International Symposium; 20220311; Web.

福島賢慈. シンポジウム 1　心筋血流予備能評価を日常診療にどう活用するかーPET の立場からー. 第 32 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20220625; 東京/Web.

福島賢慈. 今、そこにある新薬ー心臓編ー. PET サマーセミナー2022　in 甲府; 20220730; 甲府.

福島賢慈. JSNM-JSNC 合同シンポジウム「心臓 PET 最前線」. 第 47 回日本核医学会学術総会; 20220909; 京都/Web.

福島賢慈. 基調講演　ACC ガイドラインを再考する。FFRctVS 負荷パーフュージョン. 第 16 回 SCCT 研究会; 20220917; Web.

〔特別講演〕

福島賢慈. マルチモダリティでの心臓核医学の有用性と展望. 北海道心臓核医学談話会; 20220128; Web.

福島賢慈. トランスサイレチン型心アミロイドーシスの画像診断：tips&pitfall. 心不全診療セミナー; 20220610; Web.

福島賢慈. 心臓アミロイドーシスの放射線画像診断の現状とトピック. 心筋症画像・病理診断セミナー; 20220711; Web.

福島賢慈. 核医学検査. 心アミロイドーシスの画像診断; 20220722; Web.

福島賢慈. 教育講演　心アミロイドーシス. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都/Web.

福島賢慈. Post ISCHEMIA: sestamibi を見つめ直す. CardioMUSK 研究会; 20220930; Web.

伊藤浩. PET による脳循環・酸素代謝の計測. 第 13 回福岡脳神経核医学研究会; 20221117; Web.

福島賢慈. 心筋 SPECT の読影ー何をチェックする？どう解釈する？ー. 第 36 回福島県核医学研究会; 20221122; Web.

福島賢慈. 負荷心筋血流 SPECT の読影 update－最新ガイドラインを sestamibi の特性とともに見直すー. 心筋シンチ読影 Web セミナー; 20221221; Web.

〔招待講演〕

福島賢慈. （教科書にはあまり書いていない）心筋 SPECT の読影. Heart Imaging Conference in TOHOKU; 20220228; Web.

伊藤浩. PET 研修セミナー　指針と考え方 2　PET 臨床研究の注意点. 第 22 回日本核医学会春季大会; 20220507-0601; Web.

伊藤浩. PET 核医学エキスパートセミナー　臨床 1　脳神経. 第 22 回日本核医学会春季大会; 20220507-0601; Web.

福島賢慈. 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース　心臓核医学　最近のトピック. 第 22 回日本核医学会春季大会; 20220507-0601; Web.

福島賢慈. 核医学専門医教育セミナー・核医学専門医受験者コース　シンチグラム読影の実際とコツ. 第 22 回日本核医学会春季大会; 20220507-0601; Web.

福島賢慈. 心筋 SPECT・PET 読影の基本と応用力を身につける. AIMS Cardiac Imaging; 20220528; Web.

関野啓史. CT の逐次近似画像再構成法と頭部 CT への応用について. 令和 4 年度福島県診療放射線技師会浜通り地区協議会学術大会・夏季研修会; 20220827; いわき.

伊藤浩. 脳核医学最近の話題　アミロイド PET. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220909-11; 京都/Web.

〔その他〕

石井士朗. 呼吸器核医学の基礎と臨床. 第 22 回日本核医学会春季大会; 20220507-0601; Web.

麻酔科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kotani T, Inoue S, Kawaguchi M. Perioperative Dental Injury Associated With Intubated General Anesthesia. Anesthesia Progress. 202204; 69(1):3-9.

Ida M, Naito Y, Tanaka Y, Inoue S, Kawaguchi M. Factors associated with functional disability or mortality after elective noncardiac surgery: a prospective cohort study. Canadian Journal of Anaesthesia. 202206; 69(6):704-714.

Onishi T, Shimonishi N, Takeyama M, Furukawa S, Ogiwara K, Nakajima Y, Kasahara K, Nishio K, Yoshimoto K, Inoue S, Kawaguchi M, Fukushima H, Saito Y, Yoshiji H, Muro S, Tsuruya K, Okada S, Sugie K, Kawaguchi R, Nishikubo T, Yamazaki M, Oda Y, Kawabe T, Onishi K, Nishio T, Nogami K. The balance of comprehensive coagulation and fibrinolytic potential is disrupted in patients with moderate to severe COVID-19. International Journal of Hematology. 202206; 115(6):826-837.

Hatakeyama J, Inoue S, Liu K, Yamakawa K, Nishida T, Ohshimo S, Hashimoto S, Kanda N, Maruyama S, Ogata Y, Kawakami D, Shimizu H, Hayakawa K, Tanaka A, Oshima T, Fuchigami T, Yawata H, Oe K, Kawauchi A, Yamagata H, Harada M, Sato Y, Nakamura T, Sugiki K, Hakozaki T, Beppu S, Anraku M, Kato N, Iwashita T, Kamijo H, Kitagawa Y, Nagashima M, Nishimaki H, Tokuda K, Nishida O, Nakamura K. Prevalence and Risk Factor Analysis of Post-Intensive Care Syndrome in Patients with COVID-19 Requiring Mechanical Ventilation: A Multicenter Prospective Observational Study. Journal of Clinical Medicine. 202209; 11(19):5758.

Matsumoto Y, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. The effects of chest drainage on pressure-controlled ventilation. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):78.

Kobayashi T, Muto M, Nemoto C, Endo M, Mogami M, Tanaka Y, Inoue S. Repeated tracheal tube damage due to an ultrasonic bone aspirator in Le Fort I osteotomy. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):79.

Oishi A, Mogami M, Kushida N, Nemoto C, Inoue S. Rare case of urethral catheter knot formation in a woman during elective surgery. JA Clinical Reports. 202212; 8(1):97.

Oishi A, Nomoto Y, Nemoto C, Inoue S. Post-radiotherapy suggests a possible difficult airway even with an asymptomatic supraglottic change. JA Clinical Reports. 202212; 8(1):102.

Konishi K, Inoue S, Kawaguchi M. Evaluation of the Pharmacokinetics of Nafamostat Mesylate during Continuous Renal Replacement Therapy. Open Journal of Emergency Medicine. 202212; 10(4):157-167.

Konishi K, Inoue S, Kawaguchi M. Investigation of Inspiratory Circuit Condensation due to Room Temperature in a Heated Humidifier during Mechanical Ventilation. Open Journal of Emergency Medicine. 202212; 10(4):176-182.

Yoshida K, Kuwana K, Honda J, Inoue S. Administration of sodium bicarbonate in pediatric liver transplantation can also confirm intravenous position of catheters. Pediatric Anesthesia. 202212; 32(12):1374-1375.

Suzuki Y, Sato S, Sato K, Inoue S, Shibata Y. Treatment efficacy of LAMA versus placebo for stable chronic obstructive pulmonary disease: A systematic review and meta-analysis. Respiratory Investigation. 202201; 60(1):108-118.

Ashizawa H, Yamamoto K, Ashizawa N, Takeda K, Iwanaga N, Takazono T, Sakamoto N, Sumiyoshi M, Ide S, Umemura A, Yoshida M, Fukuda Y, Kobayashi T, Tashiro M, Tanaka T, Katoh S, Morimoto K, Ariyoshi K, Morimoto S, Tun MMN, Inoue S, Morita K, Kurihara S, Izumikawa K, Yanagihara K, Mukae H. Associations between Chest CT Abnormalities and Clinical Features in Patients with the Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome. Viruses. 202201; 14(2):279.

中野裕子. 【2022 のシェヘラザードたち】（第 7 夜）すべてに先立つ，針の一刺し　痛くない注射のコツ. LiSA. 202204; 29(別冊'22 春):43-47.

薬師寺たつみ，小原伸樹. 【実践にすぐ生かせる！「いつ？」「なぜ？」「なに？」がわかる！麻酔薬の投与順と使い分け NAVI】（2 章）全身麻酔に使用する薬剤の使い分けを完全マスター！使い分けをマルッと理解！鎮痛薬. オペナーシング. 202211; 37(11):1055-1061.

小川裕貴，井上聡己，奥田千愛，甲谷太一，武澤恵理子，惠川淳二，川口昌彦. Effective Medical Creation（EMC）に基づいた改装部屋と集中治療部勤務者のストレス度の関連. 蘇生. 202206; 41(1):7-11.

山仲貴之，井上聡己，甲谷太一，内藤祐介，園部奨太，西和田忠，惠川淳二，川口昌彦. 高位脊髄損傷により心停止を繰り返す患者に対し、リードレスペースメーカを留置した症例. 蘇生. 202206; 41(1):16-19.

小原伸樹. 全静脈麻酔（TIVA）、鎮静（MAC）. 麻酔科学レビュー. 202206; 2022:159-163.

〔総説等〕

Inoue S. Temperature management for deliberate mild hypothermia during neurosurgical procedures. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):143-151.

Obara S. Simulation of residual sedation effect of remimazolam: pharmacokinetic-pharmacodynamic simulation can be an additional standard anesthesia monitoring method. Journal of Anesthesia. 202204; 36(2):167-170.

吉田圭佑，田中詩織，加瀬彩織，晴山到，井石雄三，井上聡己. 集中治療領域における POCUS（Point-of-care

Ultrasound）の基本. 大原記念財団年報. 202208; 58:16-22.

井上聡己. 脳外科手術時の軽度低体温療法. 臨床麻酔. 202211; 46(11):1387-1392.

〔症例報告〕

Honda J, Kuwana K, Kase S, Obara S, Inoue S. Respiration and circulation affected by gas leakage into the abdominal cavity during endoscopic esophageal submucosal dissection after gastrostomy: a case report. JA Clinical Reports. 202201; 8(1):3.

Shiraishi T, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. A case requiring re-thoracotomy due to a significant reduction of tidal volume after commencement of chest tube drainage under pressure control ventilation following lower lobectomy. JA Clinical Reports. 202205; 8(1):36.

Mogami M, Yamazaki Y, Nemoto C, Muto M, Tanaka Y, Inoue S. Critical aspiration pneumonia during induction of anesthesia in elective abdominal surgery: a case report. JA Clinical Reports. 202208; 8(1):58.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Kurosawa S, Inoue S. Anterior knee pain post-multiple surgeries for tibia fracture effectively managed with infrapatellar fat pad injection: a case report. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):82.

Honda J, Yamazaki Y, Yakushiji T, Hirata H, Inoue S. Failed spinal anesthesia due to accidental dural puncture: a case report. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):89.

本田潤，井石雄三，大石理江子，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己. 外傷による急性A型大動脈解離術後に人工心肺離脱困難に陥りLVADを装着し救命した1例. 日本臨床麻酔学会誌. 202201; 42(1):21-25.

遠藤千麻，大石理江子，中野裕子，黒澤伸，小原伸樹，村川雅洋. 特発性前骨間神経麻痺の一例. ペインクリニック. 202201; 43(1):59-62.

小原伸樹，大石理江子，中野裕子，井上聡己. 上腕の帯状疱疹の治療中に後頭神経痛を発症した一例. ペインクリニック. 202207; 43(7):776-778.

本田潤，佐藤優紀，小林慶，佐瀬ひろの，青木健一，武藤ひろみ. 術中の偶発的ロクロニウム血管外漏出により術後呼吸抑制を来した症例. 麻酔. 202207; 71(7):784-787.

本田潤，細野敦之，井上聡己. 褐色細胞腫摘出後早期に繰り返す高度血糖値を認めた症例. 臨床麻酔. 202208; 46(8):1087-1089.

〔その他〕

Uemura K, Ozminsky M, Matsuoka C, Inoue S. Poor echocardiographic view can be a sign of the development of thoracic pneumatosis. JA Clinical Reports. 202202; 8(1):14.

Hasegawa T, Inoue S, Yoshida K, Akatsu M. Exacerbation of pleural effusion in a dasatinib-treated patient during the perioperative period. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):87.

Muto M, Nemoto C, Inoue S. Hyperchloremic metabolic acidosis caused by a large influx of saline into the peritoneal and retroperitoneal cavities during transurethral resection. JA Clinical Reports. 202211; 8(1):90.

Yoshida K, Murakawa M, Hosono A. Effects of anesthetics on expression of dopamine and acetylcholine receptors in the rat brain in vivo. Journal of Anesthesia. 202206; 36(3):436-440.

江花英朗，小玉早穂子，新山幸俊，勝又祥文，河野崇，秋山浩一. 症例カンファレンス　食道癌手術前に判明した冠動脈閉塞と腹部大動脈瘤. LiSA. 202212; 29(12):1125-1143.

鈴木朋子，小原伸樹. 画像読み取りアプリケーション WebPlotDigitizer と汎用プログラム言語 Python を用いた薬物動態解析およびシミュレーションの紹介. 麻酔. 202209; 71(9):1037-1047.

本田潤，オズミンスキー真理，松岡智恵，白石太一，松本木綿子，長谷川貴之，吉田圭佑，井上聡己. 誌上抄読会　地球温暖化と麻酔について. 臨床麻酔. 202201; 46(1):61-64.

書籍等出版物

小原伸樹. Q5. レミマゾラムの薬物動態について教えてください. In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラム Q&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.17-20.

小原伸樹. Q6. 薬物動態に影響を与える因子に、どのようなものがありますか？ In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラム Q&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.21-23.

小原伸樹. Q14. シリンジポンプを用いた導入法でよい方法は？　A. 全静脈麻酔の場合：麻酔科医がよく使うシリンジポンプを用いる方法. In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラム Q&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.61-63.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小原伸樹，大石理江子，中野裕子，佐藤薫，黒澤伸，井上聡己. ギランバレー症候群後遺症によるしびれ感に対しミロガバリンが有効だった一例. 日本ペインクリニック学会第 2 回東北支部学術集会; 20220205; Web(秋田). プログラム・抄録集. 17.

大石理江子，中野裕子，小原伸樹，佐藤薫，黒澤伸，井上聡己. 18 年間継続していたケタミン静脈注射による治療を中止できた一例. 日本ペインクリニック学会第 2 回東北支部学術集会; 20220205; Web(秋田). プログラム・抄録集. 18.

箱﨑貴大，小針健大，藁谷満，佐藤めぐみ，田代雅実，小早川義貴，島田二郎．福島県における COVID-19 病院クラスター対応．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220304; 広島/Web．プログラム・抄録集.

長谷川貴之，井上聡己，吉田圭佑，箱﨑貴大．開胸管理中の小児の肺障害における腹臥位療法の実施経験．第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220319; Web(仙台).

白石太一，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，小原伸樹，五十洲剛，井上聡己．胸腔ドレーン吸引により換気量が激減しリークを疑い再開胸した一例．第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220320; Web(仙台).

小原伸樹，大石理江子，三部徳恵，黒澤伸，井上聡己．脛骨骨折修復術後の膝痛に対し膝蓋骨下脂肪体への注射が有効であった一例．日本区域麻酔学会第 9 回学術集会; 20220415-16; 宜野湾/Web．プログラム・抄録集. 146.

小川琢也，永井岳，住吉美穂．人工心肺非使用心拍動下冠動脈バイパス術において Pectointercostal Fascial Block を施行した 1 例．日本区域麻酔学会第 9 回学術集会; 20220415-16; 宜野湾/Web．プログラム・抄録集. 178.

大石理江子，吉田圭佑，小原伸樹，黒澤伸，井上聡己. cadaver を用いた 2 つの方法での星状神経節ブロックの薬液の広がりの比較．日本区域麻酔学会第 9 回学術集会; 20220415-16; 宜野湾/Web．プログラム・抄録集. 183.

江花英朗，田中詩織，吉田圭佑，本田潤，黒澤伸，井上聡己．低用量デキサメタゾン投与が免疫細胞機能に与える影響の解析．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

髙木麻美，大石理江子，加瀬彩織，中野裕子，佐藤薫，井上聡己．受動喫煙による術後合併症の発症率．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

細野敦之，オズミンスキー真理，薬師寺たつみ，瀬田川裕紀子，五十洲剛，井上聡己．ラットにおける CB1 受容体の mRNA 転写産物量に対する長期プロポフォール投与の影響．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

松本木綿子，白石太一，長谷川貴之，井石雄三，箱﨑貴大，井上聡己．陽圧人工呼吸における胸腔内吸引の影響の検討．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

薬師寺たつみ，吉田圭佑，長谷川貴之，箱﨑貴大，五十洲剛，井上聡己．気管の血流障害から気管粘膜にびらんを生じ、脱落した痂疲により気管支の閉塞をきたした症例．日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会; 20220702; Web(仙台)．プログラム・抄録集. 29.

長谷川貴之，薬師寺たつみ，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，五十洲剛，井上聡己．片肺患者の ARDS に対して、ステロイド投与が著効した一例．日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会; 20220702; Web(仙台)．プログラム・抄録集. 31.

赤間優衣，白石太一，髙木麻美，井上聡己．硬膜外麻酔による馬尾症候群が疑われた一例．日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

板倉佑弥，小林磨巧，細野敦之，黒澤伸. 2 週間前の急性上気道炎の既往がある小児において気管支挿管による分離肺換気中に換気困難に至った一例．日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003;

Web(札幌).

遠藤秀時，オズミンスキー真理，大石理江子，五十洲剛. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症が原因で麻酔導入後に開口制限を来した 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小川琢也，松本木綿子，井石雄三，三部徳恵. 誤嚥により義歯が声門上に嵌頓し、回収に難渋した 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

オズミンスキー真理，小川琢也，花山千恵，井上聡己. Sotos 症候群を合併した患児の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小野直人，桑名圭祐，本田潤，箱崎貴大. 心拍動下冠動脈バイパス手術中にブロアーからの空気が原因の冠動脈塞栓が疑われた症例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小林磨巧，赤津賢彦，若原志保，遠藤千麻，平田日向子. 血友病 A 患者に対する冠動脈バイパス手術麻酔管理の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小林磨巧，赤津賢彦，若原志保，遠藤千麻，平田日向子. 不均衡低身長を伴う Leri-Weil 症候群患者に対する周産期管理の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

佐々木遼介，城田さつき，吉田圭佑，佐藤薫. 小児の肝移植における炭酸水素ナトリウムの投与は末梢静脈カテーテルの血管外漏出がないことを確認するのにも有用である. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

白石太一，板倉佑弥，井石雄三，井上聡己. 心アミロイドーシス患者の経皮的大動脈弁置換術中に発症した心停止に対し人工心肺使用し救命できた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

栖原稜太，晴山到，長谷川貴之，三部徳恵. 側臥位での胸腔鏡下手術中の手術台操作で、下側上腕が圧迫された合併症の報告. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

高月沙織，松岡智恵，中野裕子，五十洲剛. 腹臥位の麻酔管理中に意図せず抜管し再挿管した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

晴山到，野地善恵，渡部和弘. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の院内クラスター発生により手術時期の決定に難渋した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

松岡智恵，荒木英治，小原伸樹，黒澤伸. 麻酔導入期における反応消失時のプロポフォール効果部位濃度と麻酔維持期の麻酔薬の必要量との関係. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

山崎由貴，田中詩織，小川美穂，箱崎貴大，長谷川貴之，井上聡己. 麻酔科医も小児内視鏡治療で使用するデバイスや送気量に気をつけるべきである. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

渡部友来，薬師寺たつみ，石堂瑛美，井上聡己．弓部大動脈人工血管置換術および大動脈弁置換術後に後腹膜血腫を発症した一例．日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

鈴木健悟，吉田圭佑，田中詩織，長谷川貴之，箱﨑貴大，井上聡己．状況に応じた体外循環戦略により救命できた肺胞出血と下壁梗塞を合併した急性 A 型大動脈解離の一例．日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):171.

本田潤，吉田圭佑，田中詩織，長谷川貴之，小原伸樹，井上聡己．僧帽弁置換術後にくも膜下出血をきたし抗凝固薬を拮抗したことで術後機械弁の一部が機能不全を起こした症例．日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):239.

長谷川貴之，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己．左内頚静脈から穿刺した透析用カテーテルが後胸腺静脈に迷入した一例．日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):267.

本田潤，五十洲剛，村川雅洋，井上聡己．術中の大量出血に対して 2 つの病院の複数診療科が連携して救命できた症例．日本蘇生学会第 41 回大会; 20221104-05; 熊本．日本蘇生学会雑誌. 41(3):194.

加瀬彩織，今泉剛．硬膜外ドロペリドール投与によって錐体外路症状を呈した一例．日本臨床麻酔学会第 42 回大会; 20221111-12; 京都．日本臨床麻酔学会誌. 42(6):S263.

小原伸樹，渡部友来，花山千恵，細野敦之，井上聡己．麻酔科医を対象とした静脈麻酔試験の試み．第 29 回日本静脈麻酔学会; 20221126; 豊中．プログラム・抄録集. 30.

渡部友来，小原伸樹，井上聡己．レミマゾラムとプロポフォールを併用した全静脈麻酔法の 4 例．第 29 回日本静脈麻酔学会; 20221126; 豊中．プログラム・抄録集. 35.

〔シンポジウム〕

井上聡己．五感刺激による Effective Medical Creation (EMC)による医療戦略．第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220320; Web(仙台).

佐藤薫．塗り絵のもつ可能性～言葉にならない痛みからの解放～．第 27 回日本緩和医療学会学術大会; 20220701; 神戸/Web.

〔招待講演〕

井上聡己．招請講演　私の今までの研究の紹介．日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

〔その他〕

小原伸樹．共催セミナー　TIVA 実践に役立つ基礎知識．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

小原伸樹. 麻酔科領域講習（リフレッシャー）・ベーシック　薬物体内動態の基礎. 日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220617; 神戸/Web.

佐藤薫. パネルディスカッション（1）－2　がん終末期にも NSAIDs とアセトアミノフェンを～福島医大緩和ケアチームの取り組みから～. 日本臨床麻酔学会第 42 回大会; 20221111-12; 京都. 日本臨床麻酔学会誌. 42(6):S153.

救急医療学講座

論　　文

〔原　著〕

Ueno S, Iwabuchi M, Suzuki R, Izuha H, Iseki K. A Dome-Shaped Aerosol Box for Protection During a Pandemic. Cureus. 202202; 14(2):e22267.

Sorimachi K, Muto K, Sugaya K, Ueno S, Onodera M, Ohira T, Tsubokura M, Iseki K. Characteristics of Patients Transported by Doctor-Requested Helicopters After Japan's 2011 Nuclear Incident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202207; 17(24):e161.

武田紗希，上野智史，鈴木剛，小野寺誠，加藤菜穂，西形里絵，伊関憲. 急性カフェイン中毒患者に実施した血液浄化法の評価. 中毒研究. 202209; 35(3):186-191.

小野寺誠，伊関憲. クリニカル・トキシコロジストが語るケーススタディ（第 6 回）　自殺目的に 2 度トリカブトの根を摂取し、いずれも VA-ECMO の導入により救命したトリカブト中毒の 1 例. 中毒研究. 202209; 35(3):205-210.

草野敬悟，畑下智，佐藤俊介，三澤友誉，伊藤雅之. 踵骨嘴状骨折術後にアキレス腱付着部骨折を来した症例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202206; 65(1):145-151.

小澤昌子，伊関憲. 【ガイドラインから見た最新の救急蘇生法】アナフィラキシーの疫学と救急対応. 日本医師会雑誌. 202209; 151(6):997-1001.

関根萌，岩渕雅洋，鈴木剛，全田吏栄，小野寺誠，武田紗希，伊関憲. 尿中シュウ酸カルシウムと乳酸ギャップを治療指標としたエチレングリコール中毒の 1 例. 日本救急医学会雑誌. 202207; 33(7):304-309.

星野凪沙，矢野徹宏，鈴木剛，三澤友誉，小野寺誠，田勢長一郎，伊関憲. 福島県ドクターヘリにおける近距離からの搬送手段の検討. 日本航空医療学会雑誌. 202206; 23(1):20-25.

武藤憲哉，伊関憲．キョウチクトウ中毒．日本集中治療医学会雑誌. 202209; 29(5):498-499.

武藤憲哉，菅谷一樹，全田吏栄，三澤友誉，矢野徹宏，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲．心室細動を発症した薬剤性低カリウム血症の 1 例．日本臨床救急医学会雑誌. 202206; 25(3):607-610.

菅谷一樹，長井健一郎，黒見洋介，武藤憲哉，全田吏栄，大久保怜子，塚田泰彦，藤井正純，小野寺誠，伊関憲．二次爆傷による脳脱を伴う頭部外傷の経過良好例．日本臨床救急医学会雑誌. 202208; 25(4):711-716.

菅谷一樹，鈴木光子，全田吏栄，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲．縊頸後の高度意識障害に対し中心静脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った 1 例．日本臨床救急医学会雑誌. 202210; 25(5):871-875.

小野寺誠，塚田泰彦，鈴木剛，三澤友誉，上野智史，全田吏栄，菅谷一樹，武藤憲哉，反町光太朗，伊関憲．福島市における救急搬送困難事案に対する地域救急医療支援講座による二次救急輪番当直支援の効果．福島医学雑誌. 202208; 72(2):57-64.

全田吏栄，矢野徹宏，武藤憲哉，菅谷一樹，海老原研一，反町光太朗，鈴木剛，佐藤ルブナ，小野寺誠，伊関憲. 2 回目の抗毒素血清の投与によりアナフィラキシーショックとなったマムシ咬傷の 1 症例．麻酔. 202205; 71(5):546-550.

鈴木光子，塚田泰彦，矢野徹宏，金悠路，岩渕雅洋，伊関憲．心停止で搬送された急性喉頭蓋炎の 1 症例．臨床麻酔. 202201; 46(1):77-79.

菅谷一樹，大久保怜子，塚田泰彦，峯村浩之，柴田陽光，伊関憲. COVID-19 に投与したナファモスタットで生じた高カリウム血症に、ジルコニウムが有効であった 1 症例．臨床麻酔. 202205; 46(5):714-716.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

武藤憲哉，菅谷一樹，全田吏栄，金悠路，三澤友誉，大久保怜子，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲．自殺目的にキョウチクトウを摂取した 1 例．第 35 回日本中毒学会東日本地方会; 20220122; Web．プログラム・抄録集. 32.

大久保怜子，武藤憲哉，大山亜紗美，金悠路，矢野徹宏，塚田泰彦，伊関憲. COVID-19 患者に対する腹臥位療法と栄養の検討．第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220319; Web．日本集中治療医学会雑誌. 29(Suppl.1):483.

鈴木剛，鈴木光子，全田吏栄，三澤友誉，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲．呼吸不全を伴う COVID-19 治療中に高アミラーゼ血症を呈した 2 症例．第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220319; Web．日本集中治療医学会雑誌. 29(Suppl.1):707.

武藤憲哉，大山亜紗美，金悠路，矢野徹宏，大久保怜子，塚田泰彦，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. VV-ECMO 施行中の腹臥位療法により，出血合併症としての巨大腹直筋内血腫を認めた 1 例．第 49 回日本集中治

療医学会学術集会; 20220319; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29(Suppl.1):711.

三澤友誉，伊関憲. 医学部生に対するICLSコース開催. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20220526; 大阪/Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 25(2):322.

菅谷一樹，鈴木光子，全田吏栄，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. 縊頸後の高度意識障害に対し中心静脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った1例. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20220527; 大阪/Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 25(2):389.

Oyama A, Imai S, Zenda R. Pseudoaneurysm of RHA caused by micro-balloon catheter rupture. 第51回日本IVR学会総会; 20220606; 神戸/Web. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌. 37(Suppl.):304.

鈴木光子，菅谷一樹，鈴木剛，全田吏栄，三澤友誉，岩渕雅洋，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲. シアン中毒の一救命例. 第44回日本中毒学会総会・学術集会; 20220715; Web. 中毒研究. 35(2):152.

菅谷一樹，武藤憲哉，全田吏栄，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲. 福島県北地区での重傷外傷におけるドクターカー搬送の現状と課題. 第36回東北救急医学会・学術集会; 20220716; 会津若松/Web. プログラム・抄録集. 41.

服部尚士，小西晃生，島津勇三，足立国大，垣野内航，岩渕雅洋. 当院のフィブリノゲン製剤適正使用への取り組み. 日本心臓血管麻酔学会第27回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):185.

垣野内航，足立国大，島津勇三，岩渕雅洋，小西晃生，服部尚士. 正常血糖糖尿病性ケトアシドーシスの合併により循環管理に難渋した冠動脈バイパス術の1例. 日本心臓血管麻酔学会第27回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):251.

大山亜紗美，今井茂樹. 非外傷性脾破裂による出血性ショックに対しTAEで救命した一例. 第35回北日本インターベンショナルラジオロジー研究会; 20221001; 札幌. プログラム・抄録集. 33.

三澤友誉，伊関憲. 水辺の溺水では現場の蘇生が予後を決める. 第7回日本救護救急学会総会・学術集会; 20221015; 東京. プログラム・抄録集. 34.

大山亜紗美，小野寺誠，鈴木剛，全田吏栄，鈴木光子，後藤沙由里，伊関憲. 診断に苦慮した正常血糖糖尿病性ケトアシドーシスに高Na血症を合併した一例. 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):740.

全田吏栄，後藤沙由里，鈴木光子，大山亜紗美，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲. 自殺目的に混合型インスリンを大量皮下注射し低血糖が遷延した1例. 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):741.

鈴木剛，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲. 神経性食思不振症による心停止はECMOで救う！ 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):820.

小野寺誠，後藤沙由里，関根萌，鈴木光子，菅谷一樹，大山亜紗美，全田吏栄，三澤友誉，鈴木剛，塚田泰

彦，伊関憲．福島市におけるコロナ禍前後での救急搬送困難事案の検討．第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web．日本救急医学会雑誌. 33(10):853.

三澤友誉．溺水症例でのドクターヘリの有用性に関して．第 29 回日本航空医療学会総会; 20221204; Web．日本航空医療学会雑誌. 23(2):101.

〔その他〕

大山亜紗美，今井茂樹，全田吏栄，菅谷一樹，黒岩大地．マイクロバルーンカテーテルにて肝動脈損傷を起こした 1 例．第 30 回福島県 IVR 研究会; 20220122; Web.

病理病態診断学講座

論　　文

〔原　著〕

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Sato R, Yamada R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Yamada S, Hashimoto Y, Shibata Y. Development of dermatomyositis after anti-transcriptional intermediary factor 1-γ antibody seroconversion during treatment for small cell lung cancer. BMC Pulmonary Medicine. 202205; 22(1):191.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Oka Y, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Association between Submucosal Fibrosis and Endoscopic Submucosal Dissection of Recurrent Esophageal Squamous Cell Cancers after Chemoradiotherapy. Cancers. 202209; 14(19):4685.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

Temmoku J, Asano T, Saito K, Matsumoto H, Fujita Y, Furuya-Yashiro M, Matsuoka N, Oda A, Tanabe H, Sato S, Shio-Yano K, Sasajima T, Kiko Y, Kobayashi H, Watanabe H, Shimabukuro M, Migita K. Effect of a multitarget therapy with prednisolone, mycophenolate mofetil, and tacrolimus in a patient with type B insulin resistance syndrome complicated by lupus nephritis. Modern Rheumatology Case Reports. 202201; 6(1):41-46.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

岡佑香，川名聡，喜古雄一郎，工藤新吾，佐野秀樹，橋本優子．思春期発症の神経芽腫の 1 例. 2022 年度小児腫瘍症例検討会; 20220902; Web. 日本小児血液・がん学会雑誌. 60(1):96.

臨床検査医学講座

論　　文

〔原　著〕

Nakaya T, Takahashi K, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Shimura H, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Revisiting the Geographical Distribution of Thyroid Cancer Incidence in Fukushima Prefecture: Analysis of Data from the Second- and Third-round Thyroid Ultrasound Examination. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S76-S83.

Tanno D, Saito K, Ohashi K, Toyokawa M, Yamadera Y, Shimura H. Matrix-Assisted Laser Desorption Ionization-Time-of-Flight Mass Spectrometry with Time-of-Flight Peak Analysis for Rapid and Accurate Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women. Microbiology Spectrum Journal. 20220418; 10(3):e0173221.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

〔総説等〕

Giuliani C, Shimura H, Chung JH, Napolitano G. Editorial: The Legacy of Dr. Leonard D. Kohn to Thyroid Pathophysiology. Frontiers in Endocrinology. 202206; 13:906340.

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K; Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S23-S35.

志村浩己. 知っておきたい甲状腺腫瘍の最近の話題　福島県県民健康調査「甲状腺検査」. Medical Practice. 202201; 39(1):97-102.

志村浩己. 「技術講座　生理」甲状腺超音波検査. 検査と技術. 202202; 50(2):126-133.

志村浩己. 日本における成人の甲状腺（微小）結節の診断について（簡潔表題：（微小）甲状腺結節の診断）. 日本甲状腺学会雑誌. 202204; 13(1):5-10.

志村浩己. 福島での甲状腺検査の進捗状況について. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):11-16.

書籍等出版物

Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Setou N, Yokoya S, Shimura H. Chapter 4　Thyriod ultrasound examination program to address health concerns of Fukushima residents after the nuclear accidents. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.69-80.

Setou N, Suzuki S, Shimura H. Chapter 13　Psychosocial support for anxiety related to thyroid cancer: A team approach during the secondary confirmatory examination in thyroid ultrasound examination. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.231-246.

志村浩己. 第 3 章　各論 2：各臨床検査値の見方と次の対応　107　甲状腺関連ホルモン（TSH, FT4, FT3）. In: 小川純人, 武藤真祐, 山田俊幸 編. 高齢者診療のための臨床検査ガイド. 東京: 診断と治療社; 202205. p.272-273.

志村浩己. 第 3 章　各論 2：各臨床検査値の見方と次の対応　108　甲状腺関連自己抗体. In: 小川純人, 武藤真祐, 山田俊幸 編. 高齢者診療のための臨床検査ガイド. 東京: 診断と治療社; 202205. p.274-275.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Toyokawa M, Ohana N, Tanno D, Imai M, Honda M, Takano Y, Ohashi K, Yamashita T, Saito K, Shimura H. In vitro activity of tedizolid against Nocardia spp. isolated in Japan. 32nd European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases; 20220423-26; Lisbon, Portugal/Web.

Suzuki H, Kobayashi K, Kosuge Y, Kitazume S, Kurosaki Y, Imoto A, Ogawa K, Ishii N, Shimura H. Time course in HSP72 and anti-HSP72 antibody concentration in plasma of patients with thrombosis. 17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine; 20221007-09; Kobe.

大花昇, **豊川真弘**, **志村浩己**. 国内分離 Nocardia 属菌の菌種同定と薬剤感受性の解析. 第 33 回日本臨床微生物

学会総会・学術集会; 20220128-30; 仙台.

金子裕眠，高橋智里，山谷幸恵，岩舘学，松本佳子，鈴木眞一，志村浩己. 甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

志村浩己，松本佳子，岩舘学，中野賢英，國井葉，福島光浩，天野高志，北川亘，福成信博，村上司，宮川めぐみ，貴田岡正史，鈴木眞一. 甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性に関する Feasibility Study. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):67.

鈴木崇斗，松田美津子，佐藤ゆかり，堀越由紀子，山寺幸雄，志村浩己. CAVI が肥満患者において過小評価となる要因の検討. 第 71 回日本医学検査学会; 20220521-22; 大阪/Web.

丹野大樹，齋藤恭一，大橋一孝 豊川真弘，山寺幸雄，志村浩己. 質量分析装置を用いた新たな妊婦 GBS スクリーニング検査法. 日本臨床検査医学会第 54 回東北支部総会; 20220806; 仙台/Web. 日本臨床検査医学会誌. 70(11):898.

石橋伸治，岡崎綾奈，結城莉沙，大橋ゆかり，幕田倫子，大沼秀知，松田美津子，山寺幸雄，阿部和道，志村浩己. 肝臓における shear wave elastography および shear wave dispersion の臨床検査データとの関連性の解析. 日本超音波医学会第 64 回東北地方会学術集会; 20220911; Web. 抄録集. 6.

鈴木英明，小林浩二，小菅優子，黒崎祥史，井本明美，土筆智晶，北爪しのぶ，石井直仁，小川一英，志村浩己. 播種性血管内凝固症候群のスコア分類別による血中 HSP72 および抗 HSP70 抗体濃度の変化. 第 62 回日本臨床化学会年次学術集会; 20220930-1002; 富山/Web. 臨床化学. 51(Supp):47.

江尻遥香，鈴木悟，浅野眞比呂，中野那奈，鈴木聡，佐藤綾子，長嶺夏希，高橋智里，山谷幸恵，岩舘学，松塚崇，大平哲也，安村誠司，古谷文彦，志村浩己，鈴木眞一，横谷進，神谷研二. 小児・青年期の甲状腺の横幅と厚さから算出された甲状腺面積の各性別、年齢、体表面積あたりの基準値について. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):143.

高橋智里，江尻遥香，中畑那奈，浅野眞比呂，長嶺夏希，佐藤綾子，鈴木聡，鈴木悟 鈴木眞一，志村浩己. 超音波画像の定量化によるファントム間差の検討と精度管理に及ぼす影響. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):124.

早川莉沙，幕田倫子，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 胆嚢癌の浸潤評価に超音波検査が有用であった一例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島. ふくしま. 60(93):20.

大橋ゆかり，幕田倫子，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 超音波検査において胃病変との鑑別に苦慮した肝腫瘤の一例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島. ふくしま. 60(93):21.

引地美由紀，堀越由紀子，佐藤ゆかり，松田美津子，山寺幸雄，山田慎哉，志村浩己. ベプリジル抗不整脈薬により Torsades de Pointes が誘発された一例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島. ふくしま. 60(93):31.

鈴木聡，岩舘学，古屋文彦，鈴木眞一，横谷進，鈴木悟，志村浩己. 小児若年者における男女別甲状腺機能の

変化について. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪. 会 プログラム・抄録集. 70.

遠藤武尊, **渡辺洋子**, **菅野喜久子**, **只野光彦**, **嶋田有里**, **佐々木義和**, **山寺幸雄**, **志村浩己**. 血液検査の効率化に向けた取り組みとその効果. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

幕田倫子, **松田美津子**, **結城莉沙**, **岡崎綾奈**, **大橋ゆかり**, **石橋伸治**, **山寺幸雄**, **志村浩己**. 急性白血病治療中に超音波検査で早期診断し得た真菌性肝膿瘍の 1 例. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

石橋伸治, **松田美津子**, **幕田倫子**, **林学**, **山寺幸雄**, **志村浩己**. 嚢胞性腫瘤から充実性腫瘤へと変化した肝血管肉腫の 1 例. 日本超音波検査学会　JSS 東北第 34 回地方会学術集会; 20221211; 仙台/Web. 超音波検査技術. 48(2):231.

〔シンポジウム〕

Shimura H. Addressing health concerns of Fukushima residents after the nuclear accidents in the Thiroid Ultrasound Examination program. IAEA Consultancy Meeting on the importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society; 20220621-22; Web.

Shimura H. Communication with Fukushima residentas in the Thyroid Ulutrasound Examination program. IAEA Technical Meeting on the importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society; 20221102-04; Web.

Shimura H. Current status of Thyroid Ultrasound Examination program and findings on the effects of radiation exposure on the thyroid gland in Fukushima. Radiation Research Society 68th Annual International Meeting; 20221016-19; Waikoloa Village, USA.

志村浩己. 県民健康調査でわかったこと－甲状腺がんのリスク. 2022 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20220305; 福島.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の震災後 10 年の歩みとこれまで明らかになった小児甲状腺への影響. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):203.

志村浩己. 超音波所見評価による細胞診適応判断. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

志村浩己. JABTS の精査基準と ATA ガイドラインとの比較. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

瀬藤乃理子, **鈴木悟**, **志村浩己**. 甲状腺検査二次検査における受診者・家族への心理社会的サポート～10 年のあゆみ～. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

鈴木聡, **長嶺夏希**, **関野瑞樹**, **鈴木悟**, **鈴木眞一**, **志村浩己**. 甲状腺内異所性胸腺の超音波所見と発見率. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

志村浩己．甲状腺検査の 10 年の歩みと今後の課題．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

志村浩己，福島光浩，滝克己，佐々木英司，太田寿，尾本きよか，鈴木眞一，中野恵一，中野賢英，松本佳子，福成信博，村上司，宮川めぐみ，貴田岡正史．甲状腺穿刺吸引細胞診における検査前説明に関するアンケート調査結果．第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):46.

〔特別講演〕

志村浩己．体表領域『一歩進んだ甲状腺超音波検査のための超音波画像の判定方法とピットフォール』．第 47 回日本超音波検査学会学術集会; 20220527-29; 東京/Web.

志村浩己．東日本大震災から 10 年を経過した福島県の現状と「福島県県民健康調査」甲状腺検査のこれまでとこれから．第 51 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会; 20220909; 松山/Web.

志村浩己．臨床検査医学領域における大学院教育．第 69 回日本臨床検査医学会学術集会; 20221117-20; 宇都宮. 日本臨床検査医学会誌. 70(補冊):281.

〔招待講演〕

志村浩己．福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの歩みとこれからの挑戦．第 23 回ホルモンと癌研究会; 20220617; Web.

志村浩己．小児甲状腺検査の概要．福島災害医療セミナー2022; 20221014-15; Web.

感染制御学講座

論　　文

〔原　著〕

Yoshida K, Matsuda N, Sato T, Watanabe T, Nakamura K, Saito K, Kanai K, Ukawa Y. Candida brain abscesses in a patient with anorexia nervosa receiving total parenteral nutrition. Clinical Neurology and Neurosurgery. 202201; 212:107058.

仲村究，原靖果，北畠光希，小針朱子，金光敬二．【物・人・事から組織まで総力で臨む手指衛生戦略】オゾン水による手洗いの最新知見　オゾン水は有機物存在下でも手指衛生に使用可能か？ 感染対策 ICT ジャーナル. 202204; 17(2):105-110.

金光敬二. 【本気で向き合ってみる　消毒と滅菌】歴史と背景『2020 年版　消毒と滅菌のガイドライン』活用術. 救急医学. 202201; 46(1):32-37.

仲村究, **柏崎潤**, **丹野大樹**, **油井優**, **北畠光希**, **小針朱子**, **齋藤菜々子**, **原靖果**, **金光敬二**. 進化する手指衛生（第 3 回）　オゾン水を用いた手洗いの効果と利点. 保団連. 202209; (1380):34-40.

山本夏男. 【自然免疫を担うリンパ球たち】自然免疫を担う T 細胞と B 細胞　B1a 細胞. 臨床検査. 202205; 66(5):614-620.

書籍等出版物

仲村究. 呼吸器感染症　Lemierre 症候群. In: 藤田次郎, 舘田一博, 大毛宏喜 編集. 感染症最新の治療　2022-2024. 東京: 南江堂; 202202. p.117-118.

仲村究. 野兎病. In: 矢﨑義雄, 小室一成 総編集. 内科学　第 12 版. 東京: 朝倉書店; 202203. p.I-349-I-350.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

仲村究. 福島県における新型コロナウイルス感染症の現状. アドバンス探究講演会; 20220114; 福島.

仲村究. 新型コロナウイルス感染症の今. 郡山市議会議員研修会; 20220126; 郡山.

仲村究. クロストリディオイデス・ディフィシル遺伝子検査の重要性と感染対策について. 第 33 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20220129; 仙台.

仲村究. COVID-19 の現状と感染対策について. 令和 3 年度福島県診療放射線技師学術大会; 20220201-14; Web.

仲村究. 新型コロナウイルスの現状と今後の課題. 竹田健康財団竹田綜合病院院内学会; 20220919; 会津若松.

原靖果. 福島県における COVID-19 クラスターから学ぶ. 令和 3 年度感染制御部門微生物・ウイルス検査分野疫学検査分野合同研修会; 20220220; Web.

仲村究. 感染症について. 塩野義製薬株式会社社内勉強会; 20220715; 福島.

原靖果. AMR 対策の取り組みと今後の課題について. 塩野義製薬株式会社社内研修会; 20220725; 福島.

仲村究. グラム陰性菌感染症および感染対策について. MSD 株式会社社内学術研修; 20220729; 郡山.

金光敬二. 薬剤師が知ってお行きたい COVID-19 の感染対策. 第 32 回山口県感染制御薬剤師教育セミナー; 20220806; Web.

仲村究. 新型コロナウイルス感染症とその対策. Fukushima Resident Assembly for Medicine; 20221014; 福島.

仲村究. COVID-19 への対応経験を共有する. 第 71 回日本感染症学会東日本地方会学術集会／第 69 回日本化学療法学会東日本支部総会　合同学会; 20221028; 札幌/Web.

仲村究. 福島県におけるクラスター支援および診療体制について. 第 71 回日本感染症学会東日本地方会学術集会／第 69 回日本化学療法学会東日本支部総会　合同学会; 20221028; 札幌/Web.

仲村究. 高齢者施設における感染対策～新型コロナとインフルエンザの同時流行に備える～. 福島市高齢者入所施設従事者向けクラスター発生予防研修会; 20221118; Web.

〔特別講演〕

金光敬二. 感染対策. 令和 3 年度専門医講習会; 20220116; 郡山.

金光敬二. オミクロンの特性と感染対策. 令和 3 年度救急医療研修会; 20220329; Web.

金光敬二. COVID-19 クラスターにおける地域連携. 大阪公立大学感染対策セミナー; 20220519; Web.

金光敬二. COVID-19 感染症最前線. メディカルクリエーションふくしま 2022; 20221028; 郡山.

金光敬二. 新型コロナウイルス感染症の遷移. 第 20 回竹田地域医療フォーラム; 20221029; 会津若松.

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

論　　文

〔原　著〕

Matsumoto T, Okayama H, Nakajima S, Saito K, Ito M, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hayase S, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Seze Z, Momma T, Mimura K, Kono K. SH2D4A downregulation due to loss of chromosome 8p is associated with poor prognosis and low T cell infiltration in colorectal cancer. British Journal of Cancer. 202204; 126(6):917-926.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

Kaneta A, Nakajima S, Okayama H, Matsumoto T, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Ito M, Mimura K, Kanke Y, Saito M, Saze Z, Fujita S, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Ohki S, Kono K. Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202211; 71(11):2765-2776.

Kitazawa J, Nakadate H, Matsubara K, Takahashi Y, Ishiguro A, Inoue E, Sasahara Y, Fujisawa K, Maeda N, Oka T, Ishii E, Imaizumi M. Favorable prognosis of vaccine-associated immune thrombocytopenia in children is correlated with young age at vaccination: Retrospective survey of a nationwide disease registry. International Journal of Hematology. 202201; 115(1):114-122.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

Minakawa K, Ono S, Watanabe M, Sato Y, Suzuki S, Odawara S, Kawabata K, Ueda K, Nollet KE, Sano H, Ikezoe T, Kikuta A, Ikeda K. Evaluation of a quantitative PCR-based method for chimerism analysis of Japanese donor/recipient pairs. Scientific Reports. 202212; 12(1):21328.

Ikeda K, Minakawa K, Yamahara K, Yamada-Fujiwara M, Okuyama Y, Fujiwara SI, Yamazaki R, Kanamori H, Iseki T, Nagamura-Inoue T, Kameda K, Nagai K, Fujii N, Ashida T, Hirose A, Takahashi T, Ohto H, Ueda K, Tanosaki R. Comparison of cryoprotectants in hematopoietic cell infusion-related adverse events. Transfusion. 202206; 62(6):1280-1288.

Nollet KE, Ngoma AM, Ohto H. Transfusion-associated graft-versus-host disease, transfusion-associated hyperkalemia, and potassium filtration: advancing safety and sufficiency of the blood supply. Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103408.

Al-Riyami AZ, Estcourt L, Rahimi-Levene N, Bloch EM, Goel R, Tiberghien P, Thibert JB, Bruun MT, Devine DV, Gammon RR, Wendel S, Toungouz Nevessignsky M, Grubovic Rastvorceva RM, Oreh A, Romon I, van den Berg K, Kitazawa J, Patidar G, So-Osman C, Wood EM; ISBT COVID-19 Convalescent Plasma Working Group. Early and out-of-hospital use of COVID-19 convalescent plasma: An international assessment of utilization and feasibility. Vox Sanguinis. 202210; 117(10):1202-1210.

北澤淳一. 【まるわかり　小児・新生児の輸血ー検体採取から輸血後管理まで】輸血にかかわる小児・新生児の基礎知識. Medical Technology. 202212; 50(12):1274-1277.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI-H 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 癌と化学療法. 202210; 49(10):1130-1132.

奥田誠，池本純子，石丸健，内川誠，梶原道子，北澤淳一，国分寺晃，小山典久，竹下明裕，三浦邦彦，安田広康，松本雅則，松下正. 赤血球型検査（赤血球系検査）ガイドライン（改訂 4 版）. 日本輸血細胞治療学会誌. 202212; 68(6):539-556.

〔総説等〕

Ohto H, Uchikawa M, Ito S, Wada I, Nollet KE, Omae Y, Ogasawara K, Tokunaga K. The KANNO blood group system. Immunohematology. 202212; 38(4):119-122.

Ohto H, Flegel WA, Safic Stanic H. When should RhD-negative recipients be spared the transfusion of DEL red cells to avoid anti-D alloimmunization? Transfusion. 202211; 62(11):2405-2408.

Ohto H. Guest Editorial: Two hits and four factors affecting the development of, or resistance to, transfusion-associated graft-versus-host disease. Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103401.

三村耕作，河野浩二．【複合がん免疫療法】食道扁平上皮癌における抗 PD-1 療法と放射線治療を用いた複合がん免疫療法の開発．癌と化学療法. 202209; 49(9):914-916.

池田和彦．造血幹細胞移植後のキメリズム解析の現状と定量 PCR キット．血液内科. 202205; 84(5):714-719.

池田和彦. MPN におけるドライバー変異と心血管系合併症．血液内科. 202209; 85(3):373-378.

池田和彦．骨髄増殖性腫瘍と血管病変．臨床血液. 202209; 63(9):1107-1114.

〔症例報告〕

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. T-cell replete haploidentical stem cell transplantation with low dose anti-thymocyte globulin for relapsed/refractory Ewing sarcoma family tumors. Cancer Reports. 202207; 5(7):e1519.

Kobayashi S, Sano, H, Mochizuki K, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effects of second transplantation with T-cell-replete haploidentical graft using low-dose anti-thymocyte globulin on long-term overall survival in pediatric patients with relapse of leukemia after first allogeneic transplantation. International Journal of Hematology. 202203; 115(3):414-423.

〔その他〕

Ohto H. Brief biography. Transfusion and Apheresis Science. 202206; 61(3):103468.

池田和彦．編集後記．日本輸血細胞治療学会誌. 202208; 68(4):巻末.

書籍等出版物

池田和彦．骨髄増殖性腫瘍（MPN）共通 Q&A. In: 瀧香織．骨髄増殖性腫瘍について　第 9 版．松戸: 骨髄増殖性腫瘍患者・家族会　MPN-JAPAN; 202203. p.10-17.

亀崎健次郎，日野雅之，中世古知昭，田野崎隆二，池田和彦，矢部普正，井上雅美，牧野茂義，安井昌博，

井口晶裕，豊嶋崇徳，宮本敏浩（日本造血・免疫細胞療法学会ガイドライン委員会　造血幹細胞採取(第２版)部会）．造血細胞移植ガイドライン　造血幹細胞採取　第２版．名古屋：日本造血・免疫細胞療法学会；202205.

北澤淳一．第５章　支持療法　6　小児がん・血液診療の輸血　a．輸血指針と製剤，輸血関連検査．In：日本小児血液・がん学会．小児血液・腫瘍学　改訂第２版．東京：診断と治療社；202206. p.266-268.

室井一男，大戸斉．学会認定アフェレーシスナース制度テキストの発刊にあたって．In：学会認定・アフェレーシスナース制度カリキュラム委員会．学会認定・アフェレーシスナース制度指定カリキュラム．東京：日本輸血・細胞治療学会；202207. p.3-4.

山本晃士，池田和彦．学会認定・アフェレーシスナース制度　指定カリキュラム．東京：日本輸血・細胞治療学会；202207.

大原喜裕，池田和彦．小児のアフェレーシス．In：山本晃士，池田和彦．学会認定・アフェレーシスナース制度指定カリキュラム．東京：日本輸血・細胞治療学会；202207. p.58-68.

池田和彦．あとがき．In：山本晃士，池田和彦．学会認定・アフェレーシスナース制度　指定カリキュラム．東京：日本輸血・細胞治療学会；202207. p.193.

大戸斉．学会認定・臨床輸血看護師制度導入の趣旨．In：学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会．看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第３版．東京：中外医学社；202208. p.1-2.

松川恵梨子，梅木智美，北澤淳一．輸血の実際と看護．In：学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会．看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第３版．東京：中外医学社；202208. p.79-93.

塗谷智子，高橋理栄，北澤淳一．自己血輸血．In：学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会．看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第３版．東京：中外医学社；202208. p.101-108.

北澤淳一．輸血検査．In：学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会．看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第３版．東京：中外医学社；202208. p.120-129.

三村耕作（システマティックレビュー担当員），日本食道学会　編．食道癌診療ガイドライン　2022 年版．東京：金原出版；202209.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

齋藤和枝，仙波ゆかり，鈴木香織，渡辺樹里，鴫原花織，関純子，佐藤紀子，山口美保，渡邉範彦，五十嵐満，渡邉美奈，紺野恭宏，菅野隆浩，神林裕行，池田和彦．血液センターにおける医学部 BSL 実習とその効果について　アンケートの結果より．第 120 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会；20220305；Web．日本輸血細胞治療学会誌．68(3)：460.

伊藤正一，大戸斉，萩山佳子，入野美千代，面川進，柴崎至，小笠原健一，内川誠, Nollet KE, Flegel WA. DEL 型赤血球輸血による同種抗 D 産生を回避する予防策. 第 120 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220305; 仙台. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(3):462-463.

北澤淳一，松岡佐保子，浜口功. 血液製剤を対象にしたトレーサビリティ構築に関する研究. 第 120 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220305; Web.

力丸峻也，高野希美，川畑絹代，池田和彦. 乾式 FFP 解凍装置の新たに開発された緊急輸血モードの検討. 第 120 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220305; Web.

坂本渉，中嶋正太郎，渡辺洋平，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 当科における働き方改革への対応と医学博士・内視鏡外科技術認定医「量産」への取り組み. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

川又崇弘，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. 術前化学療法が食道扁平上皮癌の腫瘍随伴マクロファージおよび腫瘍微小環境に及ぼす影響. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本.

岩田亜弓，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 抗 VEGFR2 抗体を用いた M2 腫瘍関連マクロファージ制御の可能性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. Combination immunotherapy for colorectal cancer. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

北堀有希，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントレセプターとリガンドの発現について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. CD163 陽性 M2 腫瘍関連マクロファージと PD-1 を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，山田玲央，仲野宏，松本拓朗，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，齋藤元伸，佐瀬善一郎，三村耕作，門馬智之，大木進司，橋本優子，河野浩二. 食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現は予後に関連する. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

齋藤元伸，仲野宏，加瀬晃志，中嶋正太郎，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 胃癌サブタイプにおける PD-L1 発現の比較検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

多田武志，片方雅紀，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，楡井東，

花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一，三村耕作，河野浩二. 特発性食道破裂 16 例に対する手術症例の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

仲野宏，齋藤元伸，中嶋正太郎，齋藤勝治，伊藤美郷，金田晃尚，北堀有希，片方雅紀，佐藤孝洋，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，後藤明輝，河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現は 2 つの異なる機序により引き起こされる. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

渡辺洋平，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，伊藤美郷，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二. 切除不能・進行再発胃癌に対する Nivolumab 投与時の NLR の有用性. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

大原喜裕，佐野秀樹，齋藤康，工藤新吾，高橋信久，望月一弘，小林正悟，小野智，渡部文彦，植田航希，三村耕作，池田和彦. PICU 管理下でカスタムプライミングを用いた Optia CMNC モードによる末梢血幹細胞採取の 6 kg乳児例. 第 44 回日本造血・免疫細胞治療学会総会; 20220512; 横浜/Web.

皆川敬治，佐藤友香，小野智，高橋沙樹，渡邉万央，川畑絹代，植田航希，安斎紀，池添隆之，菊田敦，池田和彦. 定量 PCR を原理とした、キメリズムモニタリングキットの検討. 第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会; 20220512-14; 横浜/Web.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 術前補助化学療法が食道扁平上皮癌腫瘍微小環境に及ぼす影響. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二. 進行食道扁平上皮癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

北澤淳一，皆川由布子. 診療データ分析ツール「MDV analyzer」によるグロブリン製剤の使用状況調査. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527-29; 名古屋/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):167.

北澤淳一，西川彰則，赤坂浩司，大橋晃太，伊藤達也，松岡佐保子，浜口功. 在宅輸血の副作用情報システムの構築に関する研究. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527-29; 名古屋/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):173.

伊藤正一，大戸斉，萩山佳子，入野美千代，面川進，柴崎至，小笠原健一，内川誠, Nollet KE, Flegel WA. DEL 型赤血球輸血による抗 D 同種抗体産生を回避する効果的な予防策. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220529; 名古屋. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):267.

奥津美穂，皆川敬治，高野希美，高橋沙樹，力丸峻也，皆川睦美，渡邉万央，小野智，植田航希，和田郁夫，池田和彦. 末梢血幹細胞解凍における振盪機器利用の検討. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527; 名古屋/Web.

原口京子，高橋敦子，奥山美樹，高橋典子，宮本京子，高杉淑子，李悦子，金子誠，池田和彦，長村登紀子，高梨美乃子，上田恭典，田野﨑隆二. 非血縁者間末梢血幹細胞移植における採取施設と移植施設の CD34 測定値に関する実態調査　第 2 報. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527; 名古屋/Web.

皆川敬治，植田航希，山原研一，奥山美樹，藤原慎一郎，長村登紀子，大戸斉，田野﨑隆二，池田和彦. 凍害防止剤 CP-1 の輸注による造血細胞輸注関連有害事象への影響とラットに及ぼす毒性の検討. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527; 名古屋/Web.

力丸峻也，高野希美，川畑絹代，池田和彦. 乾式 FFP 解凍装置の高速解凍モードを用いた融解時の解凍時間, バッグ温度及び凝固因子の影響についての検討. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527; 名古屋/Web.

三村耕作，中嶋正太郎，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二. 進行食道扁平上皮癌症例における複合がん免疫療法の開発. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

上野未来，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤機序について. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

萩山佳子，伊藤正一，阿蘇秀樹，柴崎至，當瀬ちひろ，桂木真司，大戸斉. 抗 Jra による胎児水腫のため胎児輸血した児の経過観察に FCM 解析が有用だった 1 症例. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(6):572.

奥津美穂，皆川敬治，髙野希美，松原麻衣，高橋沙樹，力丸峻也，佐々木睦美，渡邉万央，渡部文彦，小野智，川畑絹代，植田航希，三村耕作，池田和彦. 造血幹細胞凍結産物の解凍作業効率化と品質の検討. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web.

渡部文彦，力丸峻也，髙野希美，佐々木睦美，渡邉万央，松原麻衣，小田原聖，高橋沙樹，皆川敬治，小野智，川畑絹代，森博隆，高橋裕志，池田和彦. 抗 HLA 抗体保有ドナーからの血縁者間 PBSCT により短期間で抗 HLA 抗体を保有した一例. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web.

菅野隆浩，齋藤和枝，芳賀健，小泉裕治，神林裕行. 福島県における検診医師確保の現状. 第 46 回日本血液事業学会総会; 20221011; 神戸/Web. 血液事業. 45(2):555.

大竹廉正，中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における STING 高発現は CD8 陽性 T 細胞の高浸潤に寄与する. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

岡山洋和，松本拓朗，片方雅紀，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，坂本渉，中嶋正太郎，齋藤

元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．大腸癌の腫瘍免疫抑制機構．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

多田武志，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，渡辺洋平，花山寛之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．Trastuzumab Deruxtecan を使用した HER2 陽性胃癌の 4 例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

東倉賢治郎，三村耕作，中嶋正太郎，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌における免疫チェックポイントリガンドの発現状況について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

竹原由佳，田巻倫明，三村耕作，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，吉本由哉，佐藤久志，河野浩二，鈴木義行．食道扁平上皮癌における術前治療による腫瘍微小環境の免疫学的変化．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

菊池智宏，三村耕作，松石彬，鈴木博也，丸山裕也，佐久間芽衣，圓谷秀哲，深井智司，金田晃尚，氏家大輔，千田峻，楡井東，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

佐藤孝洋，齋藤元伸，片方雅紀，深井智司，岡山洋和，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二．ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

鈴木博也，金田晃尚，松石彬，佐久間芽衣，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．複合免疫療法と手術による集学的治療が奏功した Stage IV 胃癌の 1 例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

梅宮和真，鈴木義行，田巻倫明，佐藤久志，吉本由哉，竹原由佳，伊藤佑輔，河野浩二，三村耕作．全身性多発転移胃癌に対し，姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行い良好な治療効果が得られた症例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

片方雅紀，岡山洋和，中嶋正太郎，遠藤英成，叶多諒，深井智司，佐久間芽衣，圓谷秀哲，佐藤孝洋，金田晃尚，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．癌間質における TGF-β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

深井智司，中嶋正太郎，片方雅紀，佐久間芽衣，佐藤孝洋，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，河野浩二．HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

大原喜裕，佐々木唯，工藤新吾，高橋信久，小林正悟，望月一弘，植田航希，三村耕作，池田和彦，佐野秀樹．小児末梢血幹細胞採取におけるプレリキサホルと G-CSF 併用の有効性についての検討．第 57 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20221210; 福島.

小田原聖，皆川敬治，佐藤友香，渡邉万央，小野智，鈴木沙樹，川畑絹代，植田航希，安斎紀，佐野秀樹，池添隆之，菊田敦，池田和彦. KMRtype & KMRtrack を用いた移植後キメリズムモニタリングの検討（第 2 報）. 第 57 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20221210; 福島.

工藤新吾，高橋信久，大原喜裕，小林正悟，望月一弘，池田和彦，佐野秀樹．低用量 ATG ハプロ移植を行った FUS-ERG 陽性小児急性骨髄性白血病の 2 例．第 57 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20221210; 福島.

〔シンポジウム〕

Ikeda K. JSTMCT research projects, past and future. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527-29; 名古屋/Web.

池田和彦．輸血・細胞治療研究への取り組みと今後への期待．第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527-29; 名古屋/Web.

小野智，池田和彦．造血幹細胞移植後のキメリズム解析と HLA 半合致（ハプロ）移植後再発時における HLA loss の評価．第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220527-29; 名古屋/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):237.

北澤淳一．血液疾患の患者さんにも在宅療養の選択肢を提供するために「在宅赤血球輸血ガイドについて」. 第 35 回日本臨床内科医会学術集会; 20220918; 名古屋/Web.

氏家大輔，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．術前化学療法が誘導する IL-34 が食道扁平上皮癌微小環境に及ぼす影響．第 76 回日本食道学会学術集会; 20220925; 東京/Web.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，佐藤孝洋，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，坂本渉，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，松本拓朗，菊池智宏，遠藤英成，伊藤美郷，三村耕作，菅家康之，齋藤元伸，佐藤孝洋，片方雅紀，藤田正太郎，坂本渉，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．上部消化管癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

岡山洋和，片方雅紀，松本拓朗，遠藤英成，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，藤

田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

〔特別講演〕

池田和彦. 妊婦の不規則抗体が児の赤血球系細胞におよぼす影響. 子どもの健康と環境に関する全国調査「エコチル調査」の 成果・進捗報告会; 20220309; Web.

菅野隆浩. 献血時における採血副作用対策へのかかわり　下肢筋緊張（レッグクロス）運動について. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(6):567.

北澤淳一. 「小規模医療機関の輸血療法」地方からの発信. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web. 日本輸血・細胞治療学会誌. 68(6):565.

池田和彦. ドナーとレシピエントの関係性についての最近の動向. 第 57 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20221210; 福島.

〔招待講演〕

池田和彦. ファースト～セカンドラインにおける TKI の選択. Otsuka Hematology Web Seminar; 20220720; Web.

池田和彦. 骨髄増殖性腫瘍と血管病変. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014-16; 福岡/Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

池田和彦. Transfusion：2022 Abstract Reviewers. 2022.

地域・家庭医療学講座

論　　文

〔原　著〕

Nakamura K, Kanke S, Hoshi G, Toyoda Y, Yoshida K, Kassai R. Impact of general practice / family medicine clerkships on Japanese medical students: Using text mining to analyze reflective writing. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):19-24.

Yoshida K, Nakamura K, Hoshi G, Kanke S, Goto A, Kassai R. Primary health care practitioners' perception of patient loneliness in Japanese older adults: A cross-sectional study. SSM - Population Health. 202206; 19:101143.

縄田和満，井伊雅子，葛西龍樹. 糖尿病健診における過剰と過少ー医療資源の効率利用に関する研究ー. フィナンシャル・レビュー. 202203; (148):5-34.

葛西龍樹，井伊雅子. ケアの現場で陥りやすい過剰・過少医療を減らすために：EBM 教育と患者中心の医療の役割. フィナンシャル・レビュー. 202203; (148):40-60.

伊藤由希子，葛西龍樹. 地域の医療機関の治療アウトカム評価の指標. フィナンシャル・レビュー. 202203; (148):67-87.

伊藤由希子，池田登顕，菅家智史，葛西龍樹，村上正恭. 山形県置賜二次保健医療圏における急性期病院の治療アウトカムの比較. フィナンシャル・レビュー. 202203; (148):94-128.

〔総説等〕

西明博，菅家智史. AYA がん診療におけるプライマリ・ケアの可能性. AYA がんの医療と支援. 202202; 2(1):22-26.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

中村光輝，菅家智史，石井敦，森冬人，星吾朗，菅藤佳奈子，豊田喜弘，葛西龍樹. 初期研修医に対する家庭医療専門医が指導する地域医療研修の教育効果：観察研究. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220612; 横浜/Web.

遠藤芽依. 医療ソーシャルワーカーとの協同授業による教育効果測定：混合研究. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会; 20221002; 山形/Web.

山並寛明，菅家智史，森冬人，若山隆. 高齢者施設での新型コロナウイルス感染症クラスター発生の対応. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会; 20221001-02; 山形/Web.

〔シンポジウム〕

Kassai R. 若手家庭医にとっての国際交流の魅力　Kick off the International Digital Kaizen Projects Led by Young Family Doctors. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220611; 横浜/Web.

豊田喜弘. 2 学会合同で取り組む「新しいジェネラリスト広報戦略」とは. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220612; 横浜/Web.

天野慎介，岸田徹，東光久，知念崇，高岡沙知，瀬尾卓司，西明博，小林崇人，菅家智史. ここまでできる！ここまでなりたい！プライマリ・ケア医のがん診療. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220611-12; 横浜/Web.

Kassai R. Kakaritsuke-I and Uncertainty. Kyoto Institute of Economic Research Nozawa Research Meeting; 20220820; 野沢温泉村.

豊田喜弘. 43. 気候変動 X プライマリ・ケア. 第 19 回秋季生涯教育セミナー; 20220924; Web.

葛西龍樹. 家庭医を育てよう. ライフケアシステム創立 40 周年記念の会; 20221015; 東京.

〔招待講演〕

Kassai R. Nuclear Disasters in the Marshall Islands and Fukushima: Lessons Learned. Greater Boston Physicians for Social Responsibility Monthly Meeting; 20220606; Boston, USA/Web.

菅家智史. ACP（人生会議）のすすめ～本人が望む最期を迎えるためには～. 令和 3 年度医療と介護の連携に関する研修会; 20220114; Web.

菅家智史. 今日からできる人生会議. まるごとケアの家市民講座　地域で話そう人生会議; 20220123; 福島.

菅家智史. 今日からできる人生会議. まるごとケアの家市民講座　地域で話そう人生会議; 20220227; 福島.

菅家智史. 今日からできる人生会議. まるごとケアの家市民講座　地域で話そう人生会議; 20220326; 福島.

葛西龍樹. かかりつけ医とプライマリ・ヘルス・ケア. 第 20 回記念小県医師会学術講演会; 20220809; 上田/Web.

葛西龍樹. 健康診断項目の合理性等について. 内閣府規制改革推進室ヒアリング; 20220816; 東京/Web.

葛西龍樹. かかりつけ医とプライマリ・ヘルス・ケア. 第 21 回東京都医師会・東京都病院協会合同役員勉強会; 20220913; 東京/Web.

葛西龍樹. 福島県立医科大学における地域・家庭医療学の取り組み. 2022 年医学医療交流セミナー　全人的医療をめざしたシステムの構築ー総合診療医とホスピタリストの課題と展望ー; 20221022; 毛呂山町/Web.

葛西龍樹. 家庭医・総合診療医における世界と日本の潮流と当面する課題. 日本医学ジャーナリスト協会 11 月例会; 20221101; 東京/Web.

菅家智史. 人生を最期までよりよく過ごすためにできること～大切な人と話をしよう、伝えよう～. 令和 4 年度医療と介護の連携に関する研修会; 20221129; 郡山.

菅家智史. 人生を自分らしく生きるために　いま、考えておくこと. 令和 4 年度在宅医療・介護連携推進事業　喜多方市市民公開講座; 20221130; 喜多方.

〔その他〕

菅家智史. アドバンス・ケア・プランニング. 令和３年度厚生労働省委託事業　人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業　本人の意向を尊重した意思決定のための研修会　相談研修会（中国）; 20220130; Web.

豊田喜弘. 臨床指導ブートキャンプ～若手指導医のスキルアップ、まずはここから！3 選～. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220612; 横浜/Web.

菅家智史. 行動変容を導くコミュニケーションスキル. 福島県看護協会研修会; 20221108; 郡山.

菅家智史. 行動変容を引き出すコミュニケーション. 新潟県看護協会研修会; 20221114; 新潟.

菅家智史. 行動変容. 総合医育成プログラム　診療実践コース; 20221127; Web.

菅家智史. アドバンス・ケア・プランニング. 令和４年度厚生労働省委託事業　人生の最終段階における医療体制整備事業　本人の意向に沿った意思決定のための研修会　相談員研修会（四国）; 20221210; Web.

菅家智史. アドバンス・ケア・プランニング. 令和４年度厚生労働省委託事業　人生の最終段階における医療体制整備事業　本人の意向に沿った意思決定のための研修会　相談員研修会（北海道・東北）; 20221225; Web.

放射線健康管理学講座

論　　文

〔原　著〕

Yamamoto C, Yamada C, Onoda K, Takita M, Kotera Y, Hasegawa A, Oikawa T, Tsubokura M. Disaster response among hospital nurses dispatched to evacuation centers after the Great East Japan Earthquake: a thematic analysis. BMC Health Services Research. 202207; 22(1):848.

Ito N, Kinoshita Y, Morita T, Tsubokura M. Promoting independent living and preventing lonely death in an older adult: Soma Idobata-Nagaya after the 2011 Fukushima disaster. BMJ Case Reports. 202202; 15(2):e243117.

Ono K, Murakami M, Tsubokura M. Was there an improvement in the years of life lost (YLLs) for non-communicable diseases in the Soma and Minamisoma cities of Fukushima after the 2011 disaster? A longitudinal study. BMJ Open. 202204; 12(4):e054716.

Kurokawa T, Ozaki A, Bhandari D, Kotera Y, Sawano T, Kanemoto Y, Kanzaki N, Ejiri T, Saito H, Kaneda Y, Tsubokura M, Tanimoto T, Katanoda K, Tabuchi T. Association between COVID-19 incidence and postponement or cancellation of elective surgeries in Japan until September 2020: a cross-sectional, web-based survey. BMJ Open. 202210; 12(10):e059886.

Zhao T, Nishi-Uchi T, Omata F, Takita M, Kawashima M, Nishikawa Y, Yamamoto C, Kobashi Y, Kawamura T, Shibuya K, Kazama J, Shineha R, Tsubokura M. Humoral response to SARS-CoV-2 vaccination in haemodialysis patients and a matched cohort. BMJ Open. 202211; 12(11):e065741.

Ito N, Kinoshita Y, Morita T, Fujioka S, Tsubokura M. Older adult living independently in a public rowhouse project after the 2011 Fukushima earthquake: A case report. Clinical Case Reports. 202201; 10(1):e05271.

Kaneda Y, Ozaki A, Wada M, Kurokawa T, Sawano T, Tsubokura M, Tanimoto T, Kanemoto Y, Ejiri T, Kanzaki N. Possible association of Typhoon Hagibis and the COVID-19 pandemic on patient delay in breast cancer patients: A case report. Clinical Case Reports. 202203; 10(3):e05621.

Ozaki A, Kaneda Y, Senoo Y, Wada M, Kurokawa T, Sawano T, Tsubokura M, Tanimoto T, Kanemoto Y, Ejiri T, Shimmura H, Kanzaki N. Interruption of breast cancer care and importance of inter-hospital cooperation during the COVID-19 pandemic: A case report of advanced breast cancer in Fukushima, Japan. Clinical Case Reports. 202208; 10(8):e6151.

Zhao T, Moriyama N, Ito N, Abe T, Morita T, Nishikawa Y, Tsubokura M. Long-term care issues in a municipality affected by the great East Japan earthquake: A case of Katsurao Village, Fukushima prefecture. Clinical Case Reports. 202208; 10(8):e6268.

Kaneda Y, Hori A, Kotera Y, Wada M, Sawano T, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Tanimoto T, Ejiri T, Kanzaki N, Ozaki A. Why only me? A case report of a breast cancer patient with unresolved trauma from a past disaster experience developing a mental disorder. Clinical Case Reports. 202212; 10(12):e6680.

Sorimachi K, Muto K, Sugaya K, Ueno S, Onodera M, Ohira T, Tsubokura M, Iseki K. Characteristics of Patients Transported by Doctor-Requested Helicopters After Japan's 2011 Nuclear Incident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202207; 17:e161.

Kobashi Y, Nishikawa Y, Morita T, Omata F, Ito N, Tsubokura M. Demographic Change of the Kawauchi Special Nursing Home Occupants in a Former Evacuation Area After the Nuclear Power Plant Accident: A Retrospective Observational Study. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202209; 17:e204.

Hashimoto T, Sawano T, Ozaki A, Tsubokura M. Preventing Indirect Health Problems in Ukrainian Refugees: Establishing a Long-term Support System of Living Environment. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202212; 17:e316.

Ito N, Yoshida S, Sato M, Yasui K, Sonoda Y, Tsubokura M. COVID-19 Vaccination in a Former Fukushima Nuclear Accident Evacuation Area: COVID-19 Vaccination for Former Evacuees. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202212; 17:e321.

Tsuboi M, Sawano T, Nonaka S, Hori A, Ozaki A, Nishikawa Y, Zhao T, Murakami M, Tsubokura M. Disaster-related deaths after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident - Definition of the term and lessons learned. Environmental Advances. 202207; 8:100248.

Kobashi Y, Shimazu Y, Kawamura T, Nishikawa Y, Omata F, Kaneko Y, Kodama T, Tsubokura M. Peak IgG antibody titers against SARS-CoV-2 spike protein following immunization with the Pfizer/BioNTech BNT162b2 vaccine. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):67-70.

Saito Y, Sato K, Itagaki T, Omata F, Sawano T, Kobashi Y, Nishikawa Y, Tsubokura M, Hoshi W. Home-visit rehabilitation in a repopulated village after the Fukushima nuclear disaster. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):71-77.

Harada F, Yamamoto K, Matsuda T, Yamamoto C, Tani Y, Ohnishi M, Takita M, Tanimoto T, Kami M, Shineha R. Allergic reaction to anisakis-contaminated fish after the first administration of BNT162b2 mRNA vaccine: a case report. Gastroenterology Report. 202208; 10:goac034.

Harada F, Yamamoto K, Takeuchi A, Uenishi H, Tachiya Y, Yamamoto C, Tani Y, Ohnishi M, Takita M, Tanimoto T, Kami M, Shineha R. Asymptomatic gastric anisakiasis detected in gastric cancer screening: A case report. IDCases. 202211; 30:e01635.

Kinoshita Y, Nakayama C, Ito N, Moriyama N, Iwasa H, Yasumura S. Subjective Wellbeing and Related Factors of Older Adults Nine and a Half Years after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study in the Coastal Area of Soma City. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202202; 19(5):2639.

Suzuki T, Murayama A, Kotera Y, Bhandari D, Senoo Y, Tani Y, Harada K, Kawamoto A, Sato S, Sawano T, Miyata Y, Tsubokura M, Tanimoto T, Ozaki A. Cross-Country Student Perceptions about Online Medical Education during the COVID-19 Pandemic. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202202; 19(5):2840.

Bhandari D, Neupane P, Tsubokura M, Zhao T, Gaire S, Fujii M. The mirage of domestic violence during COVID-19 pandemic in Nepal. Journal of Global Health. 202207; 2:03049.

Kobashi Y, Shimazu Y, Sonoda Y, Saito H, Yoshida M, Tsubokura M. Maturing of public-private-people partnership (4P): Lessons from 4P for triple disaster and subsequently COVID-19 pandemic in Fukushima. Journal of Global Health. 202207; 12:03028.

Tani Y, Abe T, Zhao T, Kawashima M, Tsubokura M. Political issues encouraging discrimination and prejudice associated with radiation exposure in the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant (FDNPP) incident for political purposes: a case of five former Japanese prime ministers. Journal of Radiological Protection. 202205; 42(2):024503.

Sugiura S, Sawano T, Nonaka S, Zhao T, Yoshida M, Ozaki A, Oikawa T, Tsubokura M. Trend of locally

produced food avoidance among the guardians with school children in Minamisoma City after the 2011 Fukushima Daiichi nuclear power plant disaster. Journal of Radiological Protection. 202206; 42(2):024504.

Tsuboi M, Sawano T, Ozaki A, Nonaka S, Kohayakawa Y, Kondo H, Tsubokura M. Comparison of mortality patterns after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant radiation disaster and during the COVID-19 pandemic. Journal of Radiological Protection. 202207; 42(3):031502.

Tsuboi M, Tani Y, Sawano T, Ozaki A, Nonaka S, Zhao T, Hori A, Akihiro U, Zaima F, Watanabe T, Tsubokura M. Symposium on disaster-related deaths after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Journal of Radiological Protection. 202209; 42(3):033502.

Kep K, Kobashi Y, Lopez E, Tsubokura M, Okawada M. Difference of sociodemographic characteristics among the disabled population in Cambodia: a cross-sectional study of the demographic and health survey data. Journal of Rural Medicine. 202204; 17(2):79-84.

Hara A, Kobashi Y, Hanaoka M, Nuengsigkapian V, Shimazu Y, Tsubokura M, Yamamoto H. Japanese anesthesiologists' knowledge of the cost of medicines and their attitudes toward cost containment: a cross-sectional survey. Journal of Rural Medicine. 202207; 17(3):131-136.

Kobashi Y, Srou L, Tsubokura M, Nishikawa Y, Laymithuna N, Hok S, Okawada M. Vulnerable groups and protective habits associated with the number of symptoms caused by pesticide application in Kratie, Cambodia: a cross-sectional questionnaire study. Journal of Rural Medicine. 202210; 17(4):214-220.

Sawano T, Kurokawa T, Ozaki A, Bhandari D, Furuya M, Kanemoto Y, Tsubokura M, Ejiri T, Kanzaki N. Strangulated transomental hernia in virgin abdomen: laparoscopic surgery with a small laparotomy may be useful to assess the indeterminate viability of the bowel. Journal of Surgical Case Reports. 202208; 2022(8):rjac374.

Sawano T, Tsubokura M, Ohto H, Kamiya K, Takenoshita S. An attack on a nuclear power plant during a war is indiscriminate terrorism. Lancet. 202204; 399(10333):1379.

Wu Y, Saito H, Ozaki A, Tanimoto T, Jiang Y, Yang P, Li J, Zhou Z, Zhu X, Lu F, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Zhao G. Colorectal Cancer Screening Program in Songjiang district, Shanghai between 2015 and 2017: Evaluation of participation rate and the associated factor. Medicine. 202208; 101(32):e29259.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tsubokura M, Tanimoto T, Kitamura T, Takemoto Y. Profiles of anemia in adolescent students with sports club membership in an outpatient clinic setting: a retrospective study. PeerJ. 202202; 10:e13004.

Kobashi Y, Shimazu Y, Kawamura T, Nishikawa Y, Omata F, Kaneko Y, Kodama T, Tsubokura M. Factors associated with anti-severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) spike protein antibody titer and neutralizing activity among healthcare workers following vaccination with the BNT162b2 vaccine. PLOS ONE. 202206; 17(6):e0269917.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Shimazu Y, Kobashi Y, Imoto S, Tsubokura M. A retrospective observational study analyzing work and study motivation based on the work environment of 15,677 Japanese clinicians in 2016. Scientific Reports. 202208; 12(1):14806.

Kobashi Y, Kawamura T, Shimazu Y, Zhao T, Sugiyama A, Nakayama A, Kaneko Y, Nishikawa Y, Omata F, Takita M, Yamamoto C, Yoshida M, Kosaka M, Murayama A, Sugiura S, Tanaka M, Kawashima M, Uchi Y, Shindo J, Oikawa T, Shibuya K, Kodama T, Tsubokura M. Humoral immunity after second dose of BNT162b2 vaccine in Japanese communities: an observational cross-sectional study, Fukushima Vaccination Community Survey. Scientific Reports. 202211; 12(1):18929.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Yoshida M, Kobashi Y, Kawamura T, Shimazu Y, Nishikawa Y, Omata F, Zhao T, Yamamoto C, Kaneko Y, Nakayama A, Takita M, Ito N, Kawashima M, Sugiura S, Shibuya K, Iwami S, Kim K, Iwanami S, Kodama T, Tsubokura M. Factors Associated with COVID-19 Vaccine Booster Hesitancy: A Retrospective Cohort Study, Fukushima Vaccination Community Survey. Vaccines. 202203; 10(4):515.

Saito Y, Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tsubokura M, Shibuya K. Effectiveness of the Booster of SARS-CoV-2 Vaccine among Japanese Adolescents: A Cohort Study. Vaccines. 202211; 10(11):1914.

Kobashi Y, Takebayashi Y, Yoshida M, Kawamura T, Shimazu Y, Kaneko Y, Nishikawa Y, Nakayama A, Takita M, Zhao T, Yamamoto C, Ito N, Tsubokura M. Waning of Humoral Immunity and the Influencing Factors after BNT162b2 Vaccination: A Cohort Study with a Latent Growth Curve Model in Fukushima. Vaccines. 202211; 10(12):2007.

坪倉正治. 福島リポート（第 34 回）　健康の観点から見た福島の原発事故と新型コロナウイルス感染症の類似点. 日本医事新報. 202203; (5107):50-53.

水野靖大，齋藤宏章，坪倉正治. 対策型胃がん検診のゲートウェイとしての胃がんリスク層別化検査の有用性と限界. 日本消化器がん検診学会雑誌. 202205; 60(3):357-365.

井元清哉，片山琴絵，坪倉正治，斎藤正也，村上道夫，北島正章，西川佳孝，奥田知明，三浦郁修，保高徹生，内藤航，篠原直秀，加茂将史，岩崎雄一，大西正輝，島津勇三，尾崎章彦，小橋友理江，澤野豊明，阿部暁樹，園田友紀，藤井健吉，西尾正也，横畑綾治，成瀬彰，阮佩穎，坂東宜昭，竹下潤一，小野恭子，藤田司，空野すみれ，片山浩之，山口貴世志，岩本遼, MARCO(MAss gathering Risk COntrol and Communication). 2021 年度「グッドプラクティス賞」受賞にあたって大規模集会（Mass Gathering Event）を

対象とした解決志向リスク学の実践. リスク学研究. 202203; 31(3):173-179.

書籍等出版物

Tsubokura M. Influence of different media, producing stigma. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. Academic Press: London; 2022. p.265-279.

甲状腺内分泌学講座

論　　文

〔原　著〕

Yamaguchi Y, Uchimura K, Takahashi K, Ishii T, Hanai S, Furuya F. Hyperthyroidism exacerbates ischemic reperfusion injury in the kidney. Endocrine Journal. 202203; 69(3):263-272.

Kobayashi H, Uchimura K, Ishii T, Takahashi K, Mori K, Tsuchiya K, Furuya F. Intelectin 1 ameliorates macrophage activation via inhibiting the nuclear factor kappa B pathway. Endocrine Journal. 202205; 69(5):539-546.

Osano K, Hanai S, Takahashi K, Furuya F. Glomeruloid Hemangioma in a Patient with TAFRO Syndrome. Internal Medicine. 202208; 61(16):2545-2546.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

橘正剛，猪俣啓子，西原永潤，田上哲也，岩久健志，松本佳子，吉村弘. 化学発光免疫測定装置を用いた新規第三世代 TRAb 測定試薬の臨床的性能評価. 医学と薬学. 202204; 79(4):517-531.

岩舘学，松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，志村浩己，鈴木眞一. 甲状腺乳頭癌　古典型乳頭癌の超音波診断. 乳腺甲状腺超音波医学. 202201; 11(1):61-64.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

松本佳子. 福島県立医科大学におけるレンバチニブ治療成績. TC Expert Meeting in 福島; 20220127; Web.

志村浩己（座長），**金子裕眠**，**高橋智里**，**山谷幸恵**，**岩舘学**，**松本佳子**，**鈴木眞一**. 甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

中島範昭（座長），**松本佳子**，**鈴木眞一**，**塩功貴**，**立谷陽介**，**尾崎章彦**，**鈴木聡**，**中野恵一**，**岩舘学**，**水沼廣**，**菅原茂耕**，**志賀哲**，**織内昇**. 進行甲状腺乳頭癌への非根治手術後の外照射・内照射併用療法について. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

松本佳子（座長），**塩功貴**，**鈴木眞一**，**立谷陽介**，**尾崎章彦**，**鈴木聡**，**中野恵一**，**岩舘学**，**水沼廣**. 小児甲状腺癌術後の長期にわたる治療経過を経験した 1 例について. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

松本佳子（座長），**鈴木眞一**，**山谷幸恵**，**塩功貴**，**立谷陽介**，**尾崎章彦**，**鈴木聡**，**中野恵一**，**岩舘学**，**水沼廣**. 福島での小児若年者甲状腺癌の再発について. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

菊森豊根（司会），**松本佳子**，**塩功貴**，**岩舘学**，**鈴木聡**，**中野恵一**，**水沼廣**，**鈴木眞一**. サージカルフォーラム 127 「甲状腺」完全内視鏡である腋窩乳輪アプローチによる内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木眞一（座長），**志村浩己**，**松本佳子**，**岩舘学**，**中野賢英**，**國井葉**，**福島光浩**，**天野高志**，**北川亘**，**福成信博**，**村上司**，**宮川めぐみ**，**貴田岡正史**. 甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性に関する Feasibility Study. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):67.

志村浩己（座長），**鈴木眞一（座長）**，**塩功貴**，**松本佳子**，**鈴木聡**. SMI による甲状腺結節の血流と CD31 およびαSMA による解析. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):68.

塩功貴，**松本佳子**，**鈴木聡**，**岩舘学**，**鈴木眞一**. 甲状腺リンパ腫の超音波像 3 例. 第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):141.

亀田亘（座長），**橋本重厚**，**長谷川浩司**，**松本佳子**，**岩舘学**，**鈴木眞一**. 血糖コントロール悪化が診断の端緒となったパラガングリオーマの一例. 第 30 回東北内分泌研究会／第 42 回日本内分泌学会東北地方会; 20220430; Web.

塩功貴，**松本佳子**，**岩舘学**，**鈴木聡**，**水沼廣**，**中野恵一**，**鈴木眞一**. SMI による甲状腺結節の血流についての検討. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220526; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):73.

松本佳子，**塩功貴**，**岩舘学**，**鈴木聡**，**中野恵一**，**鈴木眞一**，**水沼廣**，**中村泉**. 家族性，特に MEN1 の副甲状腺疾患の超音波診断. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220524; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):74.

塩功貴，**松本佳子**，**鈴木聡**，**岩舘学**，**鈴木眞一**. 甲状腺扁平上皮癌の超音波像 4 例. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):142.

犬飼峰彦，前島優，原井望，室井優子，磯部さやか，林田亮佑，小佐野慧一，関根哲生，一条昌志，古屋文彦，土屋恭一郎. TAFRO 症候群治療終了後に両側副腎梗塞をきたした一例. 第 95 回日本内分泌学会学術集会; 20220602-04; 別府/Web. 日本内分泌外科学会雑誌. 98(1):392.

鈴木やすよ（座長），塩功貴，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一. 一般ポスター3：甲状腺乳頭癌リンパ節転移再発の甲状腺扁平上皮癌の 1 例. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220623; つくば/Web.

鈴木聡（座長），佐藤綾子（座長），高間朗，石田秀明. 甲状腺・体表. 日本超音波医学会第 64 回東北地方会学術集会; 20220911; Web.

塩功貴，松本佳子，岩舘学，鈴木聡，中野恵一，水沼廣，鈴木眞一，古屋文彦. 副甲状腺癌の超音波像 3 例. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子.

松本佳子（座長）. 一般演題　甲状腺悪性 1 . 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子.

塩功貴，松本佳子，鈴木聡，中野恵一，鈴木眞一，古屋文彦. 甲状腺扁平上皮癌に対しペムブロリズマブを使用し irAE 腸炎に至りインフリキシマブを要した 1 例. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

鈴木聡，岩舘学，古屋文彦，鈴木眞一，横谷進，鈴木悟，志村浩己. 小児若年者における男女別甲状腺機能の変化について. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

〔シンポジウム〕

鈴木聡，長嶺夏希，関野瑞希，鈴木悟，鈴木眞一，志村浩己. 甲状腺内異所性胸腺の超音波所見と発見率. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

〔招待講演〕

梅谷健（座長），古屋文彦. 慢性腎臓病保存きからの腎性貧血へのアプローチ. 腎性貧血診療 up to date in 山梨; 20220518; Web.

〔その他〕

松本佳子（座長），稲熊凱，齋藤芙美，吉田諭，佐藤未来，松井満美，岸野瑛美. e-poster3-1：副甲状腺 MEN. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220625; つくば/Web.

災害こころの医学講座

論　　文

〔原　著〕

Kobayashi T, Maeda M, Nakayama C, Takebayashi Y, Sato H, Setou N, Momoi M, Horikoshi N, Yasumura S, Ohto H. Disaster Resilience Reduces Radiation-Related Anxiety Among Affected People 10 Years After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Frontiers in Public Health. 202207; 10:839442.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Yang HJ, Setou N, Koh E. Utilization of Mind-Body Intervention for Integrative Health Care of COVID-19 Patients and Survivors. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(11):6618.

Akechi T, Kubota Y, Ohtake Y, Setou N, Fujimori M, Takeuchi E, Kurata A, Okamura M, Hasuo H, Sakamoto R, Miyamoto S, Asai M, Shinozaki K, Onishi H, Shinomiya T, Okuyama T, Sakaguchi Y, Matsuoka H. Clinical practice guidelines for the care of psychologically distressed bereaved families who have lost members to physical illness including cancer. Japanese Journal of Clinical Oncology. 202205; 52(6):650-653.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K, Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S23-S35.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S95-S103.

Sung MK, Koh E, Kang Y, Lee JH, Park JY, Kim JY, Shin SY, Kim YH, Setou N, Lee US, Yang HJ. Three months-longitudinal changes in relative telomere length, blood chemistries, and self-report questionnaires in meditation practitioners compared to novice individuals during midlife. Medicine. 202210; 101(41):e30930.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Ishii M, Ito W, Karube Y, Ogawa Y, Tagawa A, Maeda S, Sato H, Takahashi T, Inomata N, Narisawa H, Takaesu Y, Watanabe K, Okajima I. Effects of transdiagnostic group treatment for sleep disturbances in adult attention-deficit/hyperactivity disorders and autistic spectrum disorder: A pilot study. Sleep and Biological Rhythms. 202204; 20(2):173-180.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，坂井晃，中野裕紀，林史和，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，大平弘正，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生. 東日本大震災後の血糖コントロールは心理的負担と相関する　福島県県民健康調査. 糖尿病. 202204; 65(Suppl.1):S-232.

〔総説等〕

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Kunii Y, Usukura H, Otsuka K, Maeda M, Yabe H, Takahashi S, Tachikawa H, Tomita H. Lessons learned from psychosocial support and mental health surveys during the 10 years since the Great East Japan Earthquake: Establishing evidence-based disaster psychiatry. Psychiatry and Clinical Neurosciences. 202206; 76(6):212-221.

前田正治. 新型コロナウイルス感染症とリハビリテーション医療　COVID-19 対応と医療スタッフのメンタルヘルス. Journal of Clinical Rehabilitation. 202201; 31(1):61-65.

瀬藤乃理子. 【死別にまつわる心理的苦痛-背景理論からケアおよびマネジメントまで】死別にまつわる心理的苦痛　通常の悲嘆の概念とそのプロセス. 精神医学. 202212; 64(12):1573-1579.

前田正治. 災害時における支援者のトラウマ～コロナ禍における医療従事者のための心のケア～. 栃木県作業療法学術誌. 202211; 12(1):9-12.

野村恭子，松島みどり，佐々木那津，前田正治，佐藤弘人，大平哲也，堤明純．ウィズコロナ社会のメンタルヘルスと課題と対策．日本公衆衛生雑誌. 202209; 69(9):647-654.

佐藤秀樹，土屋政雄．尺度研究における COSMIN ガイドラインの動向．認知行動療法研究. 202205; 48(2):123-134.

前田正治．自殺対策と節酒アプローチ：福島県アルコール対応力強化事業の取り組み．福島県医師会報. 202207; 84(7):628-633.

針金まゆみ，前田正治，岩佐一，安村誠司．原子力災害後の高齢者におけるメンタルヘルスの推移　福島県「県民健康調査」．老年社会科学. 202206; 44(2):200.

〔研究報告書〕

石井千賀子，瀬藤乃理子．Pauline Boss "The Myth of Closure"　パンデミックにおけるあいまいな喪失．家族療法研究. 202204; 39(1):43-46.

〔その他〕

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡崎可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連　福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppi.1):159.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎加奈子，島袋允生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連　福島県県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppi.1):159.

石井なつみ，江口依里，林史和，前田正治，針金まゆみ，安村誠司，矢部博興，高橋敦史，高瀬佳苗，神谷研二，大平哲也．東日本大震災後の福島県における果物摂取頻度と糖尿病との関連　県民健康調査. Journal of Epidemiology. 202201; 32(Suppi.1):163.

瀬藤乃理子．「あいまいな喪失」への支援（1）さよならのない別れ、別れのないさよなら. Nutrition Care. 202201; 15(1):102.

瀬藤乃理子．「あいまいな喪失」への支援（2）悲嘆が凍結するとき. Nutrition Care. 202202; 15(2):198.

瀬藤乃理子．「あいまいな喪失」への支援（3）あいまいな喪失が及ぼす影響. Nutrition Care. 202202; 15(3):294.

瀬藤乃理子．「あいまいな喪失」への支援（4）あいまいな喪失とレジリエンス. Nutrition Care. 202204; 15(4):390.

瀬藤乃理子．「あいまいな喪失」への支援（5）導入. Nutrition Care. 202204; 15(5):486.

瀬藤乃理子.「あいまいな喪失」への支援（6）A and B thinking. Nutrition Care. 202206; 15(6):582.

瀬藤乃理子.「あいまいな喪失」への支援（7）ジェノグラムの活用. Nutrition Care. 202207; 15(7):678.

瀬藤乃理子.「あいまいな喪失」への支援（8）ジェノグラムを読みとく. Nutrition Care. 202208; 15(8):774.

瀬藤乃理子.「あいまいな喪失」への支援（9）6 つのガイドライン. Nutrition Care. 202209; 15(9):878.

瀬藤乃理子.「あいまいな喪失」への支援（10）Family Meeting. Nutrition Care. 202210; 15(10):974.

瀬藤乃理子. 「あいまいな喪失」への支援（11）支援する人のレジリエンス. Nutrition Care. 202211; 15(11):1070.

前田正治. コロナ禍における心のケアの重要性. TKC 医業経営情報. 202209; 2022(3):1-5.

竹林唯, **佐藤秀樹**, **瀬藤乃理子**, **前田正治**. 福島県における COVID-19 対応「こころのケアチーム」: 災害こころの医学講座の取り組み. トラウマティック・ストレス. 202206; 20(1):87-91.

前田正治. COVID-19 対応スタッフへのメンタルヘルス・ケアークラスター発生対応に焦点を当て. 医学のあゆみ. 202210; 283(3):203-209.

瀬藤乃理子. 危機と回復への家族支援　震災から 10 年、パンデミックのさなかで　パンデミックにおけるあいまいな喪失医療従事者のレジリエンスを支える. 家族療法研究. 202208; 39(2):205-207.

林史和, **大平哲也**, **中野裕紀**, **島袋充生**, **坂井晃**, **前田正治**, **矢部博興**, **安村誠司**, **大戸斉**, **神谷研二**. 東日本大震災後の食品摂取多様性と高中性脂肪血症の発生との関連　福島県県民健康調査. 日本循環器病予防学会誌. 202205; 57(2):140.

江口依里, **大平哲也**, **中野裕紀**, **林史和**, **岡崎可奈子**, **舟久保徳美**, **前田正治**, **安村誠司**, **矢部博興**, **神谷研二**. 東日本大震災後の避難の有無別にみた笑いの頻度と生活習慣病との関連. 日本循環器病予防学会誌. 202205; 57(2):141.

前田正治, **水木理恵**, **板垣俊太郎**, **安村誠司**, **大戸斉**, **神谷研二**. 県民健康調査　11 年の総括　福島原発災害が子どものメンタルヘルスに与えた影響　福島県民健康調査から. 日本小児科学会雑誌. 202202; 126(2):203.

前田正治. ウクライナからの避難長期化. 読売新聞. 20221013. 35 面.

過年業績

前田正治, **瀬藤乃理子**. 新型コロナウイルス感染症とメンタルケアー国連 IASC マニュアルの紹介ー. 福島県医師会報. 202005; 82(5):412-415.

書籍等出版物

Kobayashi T, Yasumura S. Development of Fukushima disaster. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.3-20.

Maeda M, Takebayashi Y, Sato H. Posttraumatic stress responses and related issues: A chronological view. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.141-161.

Setou N, Suzuki S, Shimura H. Psychosocial support for anxiety related to thyroid cancer: A team approach duriing the secondary confirmatory examination in thyroid ultrasound examination. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.231-246.

Kobayashi T, Yoshida K. Crises and resilience among local communities. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.281-295.

瀬藤乃理子. 総論１　悲嘆の概念と理論. In: 日本サイコオンコロジー学会, 日本がんサポーティブケア学会. 遺族ケアガイドライン　2022 年版. 東京: 金原出版; 202206. p.12-19.

瀬藤乃理子. 総論２　通常の悲嘆とその支援. In: 日本サイコオンコロジー学会, 日本がんサポーティブケア学会. 遺族ケアガイドライン　2022 年版. 東京: 金原出版; 202206. p.22-28.

瀬藤乃理子. 総論　第７章　緩和医療　1-e　医療者が行う遺族のグリーフケア. In: 日本小児血液・がん学会. 小児・血液腫瘍学　改訂第２版. 東京: 診断と治療社; 202206. p.317-319.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，高橋敦史，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生. 東日本大震災後の血糖コントロールと精神的健康障害との関係　福島県県民健康調査. 第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723-24; 久留米. プログラム・抄録集. 215.

佐藤秀樹，竹林唯，瀬藤乃理子，前田正治. 福島県クラスター発生施設における医療・介護従事者のメンタルヘルスとそのケア：抑うつ症状に焦点を当てて. 第 30 回日本産業ストレス学会; 20221203; 東京/Web. 産業ストレス研究. 30(1):151.

瀬藤乃理子，小林智之，松井豊，竹林唯，佐藤秀樹，小林明美，前田正治. 福島県双葉郡の行政職員への震災 10 年目調査とそれに基づく組織支援. 第 30 回日本産業ストレス学会; 20221202-03; 東京/Web. 産業ストレス研究. 30(1):176.

過年業績

高階光梨，佐藤秀樹，青木俊太郎，牟田季純，秋山直美，横光健吾，竹林由武．日本語版 Covid Stress Scale（CSS）の作成と信頼性・妥当性の検討．日本認知・行動療法学会第 47 回大会; 20211010-11; Web.

〔シンポジウム〕

瀬藤乃理子. COVID-19 パンデミックにおける死別の支援．第 4 回日本グリーフ＆ビリーブメント学会学術大会; 20220201-28; Web.

瀬藤乃理子．あいまいな喪失の理論と介入～災害支援における示唆～．令和 3 年度福島医学会学術研究集会シンポジウム; 20220312; Web.

前田正治，瀬藤乃理子，小林智之，竹林唯，佐藤秀樹．あいまいな喪失シンポジウム．コンダクター養成講座; 20220312; Web.

小林智之，前田正治，竹林唯，佐藤秀樹．コロナ禍における勤労者の仕事パフォーマンスとエンゲージメントの実態調査．第 29 回日本産業ストレス学会; 20220325; 名古屋/Web．産業ストレス研究. 29(1):178.

前田正治．福島原発災害が子どものメンタルヘルスに与えた影響：福島県民健康調査から．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山.

瀬藤乃理子，鈴木悟，志村浩己．甲状腺検査二次検査における受診者・家族への心理社会的サポート～10 年のあゆみ～．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋.

岡島義，金井嘉宏，高階光梨，佐藤秀樹. COVID-19 への不安は臨床心理学分野でどのように扱うべきか？ 第 14 回日本不安症学会学術大会; 20220521-22; 東京/Web.

大江美佐理，中島聡美，山下洋，笠原麻里，前田正治．一般精神科医トラウマ関連疾患診療を普及させるにはー課題と工夫ー．第 118 回日本精神神経学会学術総会; 20220617; 福岡/Web.

前田正治．福島原発災害とコロナ・パンデミック：我々は何を学ぶべきか．第 36 回東北救急医学会学術集会; 20220716; 会津若松/Web．プログラム・抄録集. 28.

佐藤秀樹，前田正治，竹林唯，瀬藤乃理子．クラスター発生施設の医療・介護従事者に対する心理社会的支援：活動報告．第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220724; 東京/Web.

竹林唯，前田正治，瀬藤乃理子，佐藤秀樹．新型コロナウイルス感染症　対応における福祉施設職員のメンタルヘルス．第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220724; 東京/Web.

瀬藤乃理子，小林智之，松井豊他．原発事故の影響を大きく受けた自治体職員の長期的なメンタルヘルスとレジリエンス．第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220723-24; 東京/Web.

水木理恵，瀬藤乃理子，竹林唯，前田正治．アディクションとトラウマ．第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220723-24; 東京/Web.

前田正治. 福島県におけるコロナ禍のメンタルヘルス影響：飲酒問題へのアプローチを検討する. 2022 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会; 20220908-10; 仙台/Web.

黒川雅代子, **瀬藤乃理子**, **石井千賀子**. 行方不明者家族のあいまいな喪失. 第 39 回日本家族療法学会淡路島大会; 20220916; 淡路/Web.

甲田宗良, **重松潤**, **富田望**, **佐藤秀樹**, **松本昇**. 実験研究の魅力と意義ー認知臨床心理学をもっと CBT に活かしたいー. 日本認知・行動療法学会第 48 回大会; 20220930-1002; 宮崎/Web.

瀬藤乃理子. 遺族支援の基盤となる悲嘆の理論とその背景. 第 35 回日本サイコオンコロジー学会総会; 20221014; 東京.

〔特別講演〕

瀬藤乃理子. 特別企画講演　福島におけるあいまいな喪失とレジリエンス～長期の歩みを支える支援者に求められる力～. 日本ブリーフセラピー第 14 回学術会議; 20221022; 福島.

瀬藤乃理子. 特別講演　コロナ禍における医療従事者のメンタルヘルス～心と体を健康に保ち続けるために～. 高知大学看護学会; 20221112; Web.

〔招待講演〕

瀬藤乃理子. 終わりのない悲しみ～あいまいな喪失～. 死生心理学研究会研究集会; 20220911; Web.

〔その他〕

瀬藤乃理子. 自死遺族対応の基本～支援の考え方と基本的な介入～. 令和 3 年度自殺関連相談オンライン研修会; 20220111; Web.

瀬藤乃理子. 新型コロナウイルス流行時の心のケア～対応者のメンタルヘルスを守るために～. 峡東圏地域セーフティネット会議研修会; 20220114; Web.

前田正治. 災害メンタルケア実習「ワークショップ：原発からまなぶこと」. コンダクター養成講座; 20220514; 福島/Web.

前田正治. ウクライナ避難民の支援. KFB 福島放送「シェア！」 20220602.

瀬藤乃理子. 遺族対応の基本～遺族支援の考え方と基本的介入～. 兵庫県こころのケアセンター「悲嘆の理解と遺族への支援」専門研修; 20220804; Web.

前田正治. 「笑った顔を知らない」父を傷つけた戦争　暴力を受け仲間を失い…精神科医として体験を語り継ぐ. FNN プライムオンライン. 20220821; Web.

堀越直子，**小林智之**，**前田正治**．健康危機管理．第 81 回日本公衆衛生学会; 20221007-09; 甲府/Web.

前田正治．災害時における支援者のトラウマ～コロナ禍における医療従事者のための心のケア～．第 12 回栃木県作業療法学会; 20221120; Web.

瀬藤乃理子．コロナ禍における支援者のメンタルヘルス対策～個人と組織へのアプローチ～．神奈川県精神保健福祉センター令和 4 年度保健福祉担当者研修; 20221130; Web.

放射線腫瘍学講座

論　　文

〔原　著〕

Mendoza A, Takemoto Y, Cruzado KT, Masoud SS, Nagata A, Tantipanjaporn A, Okuda S, Kawagoe F, Sakamoto R, Odagi M, Mototani S, Togashi M, Kawatani M, Aono H, Osada H, Nakagawa H, Higashi T, Kittaka A, Nagasawa K, Uesugi M. Controlled lipid ß-oxidation and carnitine biosynthesis by a vitamin D metabolite. Cell Chemical Biology. 202204; 29(4):660-669.e12.

Jin S, Zhuo SH, Takemoto Y, Li YM, Uesugi M. Self-assembling small-molecule adjuvants as antigen nano-carriers. Chemical Communications. 202211; 58(87):12228-12231.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

書籍等出版物

鈴木義行．放射線治療総論. In: 鈴木隆浩, 竹中克斗, 池添隆之 編集. 専門医のための血液病学. 東京: 医学書院; 202203. p.352-359.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

梅宮和真．全身性多発転移胃癌に対し，姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行った症例．日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島.

〔招待講演〕

Suzuki Y. Multidisciplinary cancer radiation therapy including Targeted alpha particle therapy from Fukushima Medical University. 13th World Federation of Nuclear Medicine and Biology; 20220907-11; Kyoto/Web.

鈴木義行. 乳癌治療における放射線治療と免疫放射線療法. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220301-06; Web.

鈴木義行. 放射線によるがん免疫の活性化と免疫放射線療法. 日本臨床免疫腫瘍再生細胞療法研究会主催シンポジウム　免疫チェックポイント阻害剤ー現在（いま）そして未来ー; 20220902; 東京.

鈴木義行. 免疫による攻撃からの逃避. 日本放射腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221111; 広島.

腫瘍内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kawamura H, Honda M, Takano Y, Kinuta S, Kamiga T, Saji S, Kono K. Prognostic Role of Carcinoembryonic Antigen and Carbohydrate Antigen 19-9 in Stage IV Colorectal Cancer. Anticancer Research. 202208; 42(8):3921-3928.

Ueno T, Kitano S, Masuda N, Ikarashi D, Yamashita M, Chiba T, Kadoya T, Bando H, Yamanaka T, Ohtani S, Nagai S, Nakayama T, Takahashi M, Saji S, Aogi K, Velaga R, Kawaguchi K, Morita S, Haga H, Ohno S, Toi M. Immune microenvironment, homologous recombination deficiency, and therapeutic response to neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer: Japan Breast Cancer Research Group (JBCRG)22 TR. BMC Medicine. 202204; 20(1):136.

Yotsumoto D, Sagara Y, Kumamaru H, Niikura N, Miyata H, Kanbayashi C, Tsuda H, Yamamoto Y, Aogi K, Kubo M, Tamura K, Hayashi N, Miyashita M, Kadoya T, Saji S, Toi M, Imoto S, Jinno H. Trends in adjuvant therapy after breast-conserving surgery for ductal carcinoma in situ of breast: a retrospective cohort study using the National Breast Cancer Registry of Japan. Breast Cancer. 202201; 29(1):1-8.

Morita M, Shimomura A, Tokuda E, Horimoto Y, Kawamura Y, Ishizuka Y, Sekine K, Obayashi S, Kojima Y, Uemura Y, Higuchi T. Is adjuvant chemotherapy necessary in older patients with breast cancer? Breast Cancer. 202205; 29(3):498-506.

Tsuda H, Kurosumi M, Akiyama F, Ohno S, Saji S, Masuda N, Shimomura A, Sato N, Takao S, Ohsumi S, Tokuda Y, Inaji H, Watanabe T. Validation of a nuclear grading system for resected stage I-IIIA, high-risk, node-negative invasive breast carcinoma in the N-SAS-BC 01 trial. Breast Cancer. 202207; 29(4):720-729.

Turner N, Dent RA, O'Shaughnessy J, Kim SB, Isakoff SJ, Barrios C, Saji S, Bondarenko I, Nowecki Z, Lian Q, Reilly SJ, Hinton H, Wongchenko MJ, Kovic B, Mani A, Oliveira M. Ipatasertib plus paclitaxel for PIK3CA/AKT1/PTEN-altered hormone receptor-positive HER2-negative advanced breast cancer: primary results from cohort B of the IPATunity130 randomized phase 3 trial. Breast Cancer Research and Treatment. 202202; 191(3):565-576.

Aruga T, Doihara H, Yanagita Y, Ishida T, Yamashita T, Uehara K, Taira T, Tsurutani J, Takeshita T, Tsuyuki S, Kaneko K, Ohtake T, Yamaguchi Y, Hara Y, Saji S. Evaluation of a novel medical device for pegfilgrastim administration. Cancer Science. 202205; 113(5):1763-1770.

Yamamoto Y, Iwata H, Taira N, Masuda N, Takahashi M, Yoshinami T, Ueno T, Toyama T, Yamanaka T, Takano T, Kashiwaba M, Tsugawa K, Hasegawa Y, Tamura K, Tada H, Hara F, Fujisawa T, Niikura N, Saji S, Morita S, Toi M, Ohno S. Pertuzumab retreatment for HER2-positive advanced breast cancer: A randomized, open-label phase III study (PRECIOUS). Cancer Science. 202209; 113(9):3169-3179.

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):191-195.

Harada M, Kimura F, Takai Y, Nakajima T, Ushijima K, Kobayashi H, Satoh T, Tozawa A, Sugimoto K, Saji S, Shimizu C, Akiyama K, Bando H, Kuwahara A, Furui T, Okada H, Kawai K, Shinohara N, Nagao K, Kitajima M, Suenobu S, Soejima T, Miyachi M, Miyoshi Y, Yoneda A, Horie A, Ishida Y, Usui N, Kanda Y, Fujii N, Endo M, Nakayama R, Hoshi M, Yonemoto T, Kiyotani C, Okita N, Baba E, Muto M, Kikuchi I, Morishige KI, Tsugawa K, Nishiyama H, Hosoi H, Tanimoto M, Kawai A, Sugiyama K, Boku N, Yonemura M, Hayashi N, Aoki D, Osuga Y, Suzuki N. Japan Society of Clinical Oncology Clinical Practice Guidelines 2017 for fertility preservation in childhood, adolescent, and young adult cancer patients: part 1. International Journal of Clinical Oncology. 202202; 27(2):265-280.

Tozawa A, Kimura F, Takai Y, Nakajima T, Ushijima K, Kobayashi H, Satoh T, Harada M, Sugimoto K, Saji S, Shimizu C, Akiyama K, Bando H, Kuwahara A, Furui T, Okada H, Kawai K, Shinohara N, Nagao K, Kitajima M, Suenobu S, Soejima T, Miyachi M, Miyoshi Y, Yoneda A, Horie A, Ishida Y, Usui N, Kanda Y, Fujii N, Endo M, Nakayama R, Hoshi M, Yonemoto T, Kiyotani C, Okita N, Baba E, Muto M, Kikuchi I, Morishige KI, Tsugawa K, Nishiyama H, Hosoi H, Tanimoto M, Kawai A, Sugiyama K, Boku N, Yonemura M, Hayashi N, Aoki D, Suzuki N, Osuga Y. Japan Society of Clinical Oncology Clinical Practice Guidelines 2017 for fertility preservation in childhood, adolescent, and young adult cancer patients: part 2. International Journal of Clinical Oncology. 202202; 27(2):281-300.

Kawaguchi H, Yamamoto Y, Saji S, Masuda N, Nakayama T, Aogi K, Anan K, Ito Y, Ohtani S, Sato N, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M,

Yamashita H, Yamashita T, Yotsumoto D, Toi M, Ohno S. Factors associated with overall survival after recurrence in patients with ER-positive/HER2-negative postmenopausal breast cancer: an ad hoc analysis of the JBCRG-C06 Safari study. Japanese Journal of Clinical Oncology. 202205; 52(6):545-553.

Saji S, Ohsumi S, Ito M, Hayashi N, Kobayashi K, Masuda N, Niikura N, Yamashita T, Kiyama K, Hasegawa A, Nakagawa S, Hattori M. Subgroup analysis of Japanese patients in a phase III randomized, controlled study of neoadjuvant atezolizumab or placebo, combined with nab-paclitaxel and anthracycline-based chemotherapy in early triple-negative breast cancer (IMpassion031). Japanese Journal of Clinical Oncology. 202210; 52(10):1124-1133.

Saji S, Taira N, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Morita S, Ohno S, Toi M. Switch maintenance endocrine therapy plus bevacizumab after bevacizumab plus paclitaxel in advanced or metastatic oestrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer (BOOSTER): a randomised, open-label, phase 2 trial. Lancet Oncology. 202205; 23(5):636-649.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with TPM3-NTRK1 gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Barrios CH, Saji S, Harbeck N, Zhang H, Jung KH, Patel S, Patel S, Duc AN, Liste-Hermoso M, Chui SY, Mittendorf EA. Patient-reported outcomes from a randomized trial of neoadjuvant atezolizumab-chemotherapy in early triple-negative breast cancer. NPJ Breast Cancer. 202209; 8(1):108.

〔総説等〕

佐治重衡. ESMO 2021 meeting report　1）乳がん. 腫瘍内科. 202202; 29(2):226-231.

書籍等出版物

佐治重衡（監修）. 乳房のがん. In: 医療情報科学研究所 編集. がんがみえる　第1版. 東京: メディックメディア; 202202. p.388-411.

佐治重衡（診療ガイドライン委員会　委員長）, 日本乳癌学会 編. 乳癌診療ガイドライン1　治療編　2022年版. 東京: 金原出版; 202206.

佐治重衡（診療ガイドライン委員会　委員長）, 日本乳癌学会 編. 乳癌診療ガイドライン2　疫学・診断編 2022年版. 東京: 金原出版; 202206.

佐治重衡. 第18章　ホルモン療法　1. ホルモン療法薬の分類と新たな薬剤クラス. In: 戸井雅和 編. 乳癌診療 state of the art：科学に基づく最新診療. 東京: 医歯薬出版; 202209. p.430-432.

佐治重衡, 徳田恵美. Ⅳ　Biology 評価：Ki67 の臨床的意義. In: 増田慎三, 堀井理絵 編集. 治療戦略に役立つ：

臨床医・病理医のための乳腺病理の見かた・考え方. 東京: メジカルビュー社; 202211. p.138-142.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

名取穣，須賀淳子，徳田恵美，立花和之進，今井順一，本間玲子，阿左見祐介，野田勝，佐々木栄作，渡邉慎哉，大竹徹，佐治重衡. Ubiquitin ligase NEDD4 promotes degradation of estrogen receptor in breast cancer and affects prognosis. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2022）; 20220217; 京都/Web.

氏家由起子，佐藤美友紀，大森あゆみ，安清江，横江のり子，佐藤幸子，須賀淳子，赤間孝典，渡辺尚文，齋藤元伸，佐治重衡. がんゲノム医療コーディネーター看護師の役割と課題. 第 36 回日本がん看護学会学術集会; 20220219; 横浜/Web.

名取穣，佐々木栄作，徳田恵美，阿左見祐介，須賀淳子，木村礼子，佐治重衡. HLA 遺伝子型を用いた免疫関連有害事象のナルコレプシー発症のリスク評価. 第 119 回日本内科学会総会; 20220417; 京都/Web.

徳田恵美，遠藤雄大，植田牧子，赤間孝典，門馬智之，渡邉尚文. がん遺伝子パネル検査を契機に BRCA 遺伝子に病的バリアントが検出された 2 症例. 第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20220617-18; 岡山/Web.

石塚由美子，堀本義哉，森田翠，河村雪乃，関根克敏，尾林紗弥香，小島勇貴，徳田恵美，樋口徹，下村昭彦. 高齢者乳癌患者の体型と病理学的因子および悪性度に関する検討. 第 30 回日本乳癌学会総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

相良安昭，新倉直樹，佐治重衡，隈丸拓，中村翔悟，徳永えり子，長谷川善枝，柴田伸弘，川口英俊，小林心，高島勉，高田正泰，細田充主，宮下穣，増田慎三. 日本国内における進行・再発乳癌患者レジストリ構築－Advanced Breast Cancer Database プロジェクト. 第 30 回日本乳癌学会総会; 20220701; 横浜/Web.

土井原博義，有賀智之，柳田康弘，石田孝宣，山下年成，上原協，太良哲彦，鶴谷純司，山口裕介，原優衣，佐治重衡. 乳癌補助療法における自動投与デバイスによるペグフィルグラスチム投与の安全性評価試験（第 I 相試験）. 第 30 回日本乳癌学会総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

吉田美香子，北島由菜，金澤麻衣子，石田孝宣，佐治重衡，大竹徹，小島祥敬，佐藤冨美子，川尻舞衣子，武石陽子，中村康香，吉沢豊予子. 乳がん内分泌療法中の女性における閉経関連尿路生殖器症候群の実態. 第 24 回日本女性骨盤底医学会; 20220702; さいたま.

下村昭彦，相良安昭, Hwang Jason, **服部可奈，猪又兵衛，佐治重衡**. HER2 陰性再発リスクの高い早期乳癌におけるアンスラサイクリン・タキサンの治療実態. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

〔シンポジウム〕

片方直人，後藤かおり，長塚美樹，大河内千代，岡野舞子，松嵜正實，野水整，二瓶光博，佐治重衡. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対するパルボシクリブ投与例の治療成績と次治療について. 第 19 回日本乳癌学会東

北地方会; 20220305; Web(福島).

九冨五郎，坂井威彦，枝園忠彦，麻賀創太，有賀智之，石飛真人，久芳さやか，澤木正孝，寺田かおり，冨田興一，井口雅史，岩田広治，佐治重衡. 乳癌診療ガイドラインから見た乳がん外科領域の臨床試験. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

佐治重衡，徳田恵美. 免疫チェックポイント阻害薬を用いた乳癌術前治療の戦略ポイント. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

徳田恵美. Biology から考える Luminal-HER2 乳癌の治療戦略. 第 30 回日本乳癌学会総会; 20220701; 横浜/Web.

〔特別講演〕

佐治重衡. 日本乳癌学会編　乳癌診療ガイドライン／患者さんのための乳癌診療ガイドラインの役割とその変遷. 第 65 回日本形成外科学会総会・学術総会; 20220422; 大阪/Web.

佐治重衡. 周術期治療におけるオラパリブの位置づけ. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20221115; 郡山.

放射線災害医療学講座

論　　文

〔原　著〕

Yamamoto C, Yamada C, Onoda K, Takita M, Kotera Y, Hasegawa A, Oikawa T, Tsubokura M. Disaster response among hospital nurses dispatched to evacuation centers after the Great East Japan Earthquake: a thematic analysis. BMC Health Services Research. 202207; 22(1):848.

Nagata T, Arishima T, Yamaguchi Y, Hirohashi N, Usa T, Hasegawa A, Hanada H, Yamamoto N, Okamoto T, Akahoshi T, Hamada M, Abe T, Kikukawa M, Nakao H, Yamamura H, Sakamoto T, Akashi M, Hagihara A. Radiation Emergency Medical Preparedness in Japan: A Survey of Nuclear Emergency Core Hospitals. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202202; 17(2):e78.

Okazaki R, Satoh K, Hasegawa A, Matsuda N, Kato T, Kanda R, Shimada Y, Hayashi T, Kohzaki M, Mafune K, Mori K. Contribution of radiation education to anxiety reduction among Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant workers: a cross sectional study using a text mining method. Journal of Radiation Research. 202201; 63(1):44-50.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Current situation survey for establishing personally acceptable radiation dose limits for nuclear disaster responders. Journal of Radiation Research. 202207; 63(4):615-619.

Suzuki G, Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Nagai H, Miyatake H, Yoshizawa N. Estimation of children's thyroid equivalent doses in 16 municipalities after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. Journal of Radiation Research. 202212; 63(6):796-804.

Iyama K, Sato Y, Ohba T, Hasegawa A. Objective stress values during radiation emergency medicine for future human resources: Findings from a survey of nurses. PLOS ONE. 202209; 17(9):e0274482.

井山慶大，古賀聖士，池田聡司. 家族性高コレステロール血症が疑われた急性冠症候群の 10 代男子…治療戦略は？ Coronary Intervention. 202203; 18(2):93-100.

越智元郎，長谷川有史，廣橋伸之，山本尚幸，森實岳史，平塚義康，大蔵隆文. 原子力災害時の活動に関する DMAT 隊員への意識調査. 日本災害医学会雑誌. 2022; 27(1):65-74.

大葉隆，真船浩一，菅野修一，長谷川有史. 診療放射線技師の個人的背景に基づいた原子力災害への人材育成研修プログラム最適化の提案　福島第一原子力発電所事故の経験を生かして. 日本放射線技術学会雑誌. 202211; 78(11):1282-1294.

〔総説等〕

長谷川有史. 被ばく医療－レジデントが知るべき最低限の知識－. 月間レジデント. 202211; 15(3):81-95.

佐藤良信，貝沼純，長谷川有史. 手術室における被ばく・汚染傷病者の受け入れ（前編）. 手術看護エキスパート. 202205; 16(1):88-95.

貝沼純，佐藤良信，長谷川有史. 手術室における被ばく・汚染傷病者の受け入れ（後編）. 手術看護エキスパート. 202207; 16(2):69-75.

〔症例報告〕

Iyama K, Ikeda S, Koga S, Yoshimuta T, Kawano H, Tsuji S, Ando K, Matsushima K, Tada H, Kawashiri MA, Kawakami A, Maemura K. Acute Coronary Syndrome Developed in a 17-year-old boy with Sitosterolemia Comorbid with Takayasu Arteritis: A Rare Case Report and Review of the Literature. Internal Medicine. 202204; 61(8):1169-1177.

書籍等出版物

Hasegawa A. Initial turmoil in an emergency setting. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.23-40.

長谷川有史. 第 4 章　医療機関における初期対応診療マニュアル　4-2　多数傷病者・複合障害への対応. In: 量子科学技術研究開発機構 編集. 被ばく医療診療手引き. 千葉: 量子科学技術研究開発機構; 202203. p.37-40.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Iyama K, Hasegawa A. Suggestions for improving firefighters' intention to engage in nuclear disaster activities. 6th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20220207; Web.

Noguch N, Hasegawa A, Iyama K, Ohori N. Elucidation of disaster response awareness and factors among university students aiming for medical profession. 6th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20220207; Web.

Hasegawa A. Quest for Evidence-Based Narratives in Medical Education. IAEA consultancy meeting; 20220621; Vienna, Austria/Web.

長谷川有史. 福島第一原子力発電所事故と COVID-19 パンデミック：類似点と相違点を考える. 令和 3 年度福島県診療放射線技師学術大会; 20220201-14; Web.

井山慶大, **長谷川有史**. 放射線災害医療対応者は自身の許容できる被ばく線量基準を有しているか？ 第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220305; 広島.

長谷川有史, **井山慶大**, **大葉隆**. 原子力災害時の汚染傷病者受け入れの放射線管理に関する指針の提案（ポスターセッション）. 第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220305; 広島.

佐藤良信, **井山慶大**, **長谷川有史**, **光武範吏**. シャツ型心電計を用いたストレス評価ー原子力災害医療への応用ー. 第 6 回放射線災害・医科学研究拠点カンファランス; 20220604; Web. 抄録集. 33-36.

長谷川有史. 災害医療 3　原子力災害時の汚染傷病者受入れ時の放射線管理に関する指針の提案. 第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; 東京.

〔シンポジウム〕

長谷川有史（chair）. トライアングルプロジェクト. 第 3 回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ; 20220208; Web.

長谷川有史. 福島第一原子力発電所事故と COVID-19 パンデミック：類似点と相違点を考える. 第 36 回東北救急医学会総会・学術集会; 20220716; 会津若松/Web.

長谷川有史, **平良文亨**. 汚染傷病者の空路搬送「福島県の現状」. 第 10 回日本放射線事故・災害医学会学術集会; 20220910; 松山/Web.

〔特別講演〕

長谷川有史（chair）. 原子力災害医療における未解決の重要課題. 第 10 回日本放射線事故・災害医学会学術集会; 20220910; 松山/Web.

長谷川有史. 救急科領域講習 7　原子力災害に救急医が関わる事の意義. 第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; 東京. 抄録集. 196.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

長谷川有史. 原子力災害訓練ソフトウエア　カワウチ・レジェンズ VR 版. 20221207.

長谷川有史. 震災と原発事故を経験した福島で女性活躍が進む医療・教育界から学ぶ. 福島版女性会議 WAW！ウィークス. 20221217.

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

論　　文

〔原　著〕

Yabuki S, Takatsuki K, Ouchi K. Psychologic distress and QOL in medical staff after a disaster: A longitudinal 4-year study. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):25-35.

大井直往，野村潤，鴫原智彦，菅野健一，佐藤真理. 【大規模災害下でのリハビリテーション支援を考える】令和元年台風 19 号に伴う災害における福島 JRAT の活動について. Medical Rehabilitation. 202203; (272):67-72.

鴫原和昭，藤井正純，芥川奈央，二村美也子，大井直往. 覚醒下手術症例を対象とした、頭頂葉性の高次運動機能を評価する課題の開発. 高次脳機能研究. 202203; 42(1):47-54.

川原田圭，大内一夫，結城拓也，紺野愼一. アキレス腱付着部症を伴うアキレス腱断裂の 1 手術例. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):275-278.

大井直往，大内一夫，佐藤真理，柏原裕樹，嶋崎睦. 周術期リハビリテーション. 麻酔. 202211; 71(増刊):S103-S115.

人間科学講座　生命倫理学分野

論　　文

〔原　著〕

末永恵子. 日中戦争期のコレラ防疫ー防疫給水部と同仁会を中心にー. 日本植民地研究. 202206; 34:1-13.

末永恵子. 第一次世界大戦下における日本人衛生学者の軍事研究ー戸田正三の欧州留学に注目してー. 日本医史学雑誌. 202212; 68(4):326-339.

〔その他〕

末永恵子. 書籍紹介　青木茂著『中国に現存する万人坑と強制労働の現場ーガイドブック・初めて知る万人坑』. 戦争と医学. 202212; 23:119.

書籍等出版物

末永恵子. 収奪された人体ー満洲における医学と戦争. In: 吉中丈志. 七三一部隊と大学. 京都: 京都大学学術出版会; 202204. p.261-282.

末永恵子. 中国占領地同仁会（外地「いのち」の資料集 5）第 3 巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202204.

末永恵子. 中国占領地同仁会（外地「いのち」の資料集 5）第 4 巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202204.

末永恵子. 中国占領地同仁会（外地「いのち」の資料集 5）別巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202204.

末永恵子. 中国占領地同仁会 2（外地「いのち」の資料集 6）第 13 巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202205.

末永恵子. 中国占領地同仁会 2（外地「いのち」の資料集 6）第 14 巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202205.

末永恵子. 中国占領地同仁会 2（外地「いのち」の資料集 6）別冊. 金沢: 金沢文圃閣; 202205.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

末永恵子. 満洲医科大学の巡廻診療. 戦争と医学医療研究会第 49 回定例研究会; 20221023; Web. 戦争と医学. 23:122-123.

自然科学講座　数理情報学分野

論　　文

〔原　著〕

Kato T, Nakamura N, Yasui K. The simple type conjecture for mod 2 Seiberg–Witten invariants. Journal of European Mathematical Society. 202211; 25(12):4869-4877.

自然科学講座　先端化学分野

論　　文

〔原　著〕

Koizumi H, Tanabe M, Kambe T, Imaoka T, Chun W, Yamamoto K. Copper-bismuth Binary Oxide Clusters: An Efficient Catalyst for Selective Styrene Bisperoxidation. Chemistry Letters. 202203; 51(3):317-320.

Tanabe M, Nakamura Y, Niwa T, Sakai M, Kaneko A, Toi H, Okuma K, Tsuchido Y, Koizumi T, Osakada K, Ide T. Di- and Trinuclear Complexes of Pd(0) and Pt(0) with Bridging Silylene Ligands: Structures with a Coordinatively Unsaturated Metal Center and Their Reactions with Alkynes. Organometallics. 202211; 41(22):3301-3312

Yoshida K, Kamijo T, Ono T, Dairaku T, Takahashi S, Kashiwagi Y, Sato K. Electrical Stimuli-Responsive Decomposition of Layer-by-Layer Films Composed of Polycations and TEMPO-Modified Poly(acrylic acid). Polymers. 202212; 14(24):5349.

佐藤勝彦，熊野征行，杉山恭子，小松祥子，渡邉一弘，今橋良太，小野哲也，吉田健太郎，大樂武範，藤村務，柏木良友．フェノール側鎖を有するニトロキシルラジカル前駆体の水溶液中での電気化学的重合とその電気化学的分析への応用．分析化学. 202203; 71(3):191-196.

〔総説等〕

神戸徹也，田辺真，葛目陽義，山元公寿．主要族元素を含むサブナノおよびナノ構造体の精密合成と機能. Bulletin of Japan Society of Coordination Chemistry. 202212; 80:68-71.

田辺真. 多元素合金ナノ粒子の合成と触媒への展開. Organometallics News. 202205; 2:53.

田辺真. 医学部における化学教育の取り組み. 化学と工業. 202210; 75(10):755.

田辺真, **山元公寿**. 精密多元素合金サブナノ粒子の合成と触媒への展開. 触媒. 202204; 64(2):66-72.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

飯島隆輔, **フダミフタフル**, **田辺真**, **山元公寿**. 三元素サブナノ合金粒子を基盤とした酸化触媒の開発. 日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

入内嶋貴洋, **園部量崇**, **田辺真**, **山元公寿**. 銅ー貴金属合金サブナノ粒子の触媒機能評価. 日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

森合達也, **塚本孝政**, **田辺真**, **神戸徹也**, **今岡享稔**, **山元公寿**. ニッケルサブナノ粒子の精密合成と温室効果ガス変換反応触媒への応用. 日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

森合達也, **塚本孝政**, **田辺真**, **神戸徹也**, **今岡享稔**, **山元公寿**. Ni クラスター触媒による温室効果ガス変換反応. ナノ学会第 20 回大会; 20220520; Web.

飯島隆輔, **田辺真**, **山元公寿**. デンドリマーを多元素集積鋳型とするサブナノ粒子の精密合成と高活性酸化 触媒の開発. 令和 4 年度化学系学協会東北大会; 20220917; 盛岡.

田辺真, **小坂田耕太郎**. ケイ素橋架け多核金属錯体の合成と触媒への応用. 第 26 回ケイ素化学協会シンポジウム; 20221111; 静岡/Web.

〔招待講演〕

田辺真. 反応性金属クラスターの合成と触媒開発へのアプローチ. 第 39 回無機・分析化学コロキウム; 20220528; 仙台/Web.

大樂武範. メタロ塩基対の構造・物性・応用. 令和 4 年度日本薬学会東北支部主催　第 10 回物理・分析系若手研究者セミナー; 20221119; Web.

自然科学講座　分子細胞生物学分野

論　　文

〔原　著〕

Kobayashi K, Igarashi J, Kozawa T. Interdomain electron transfer in flavohaemoglobin from *Candida norvegensis* with antibiotic azole compounds. FEBS Letters. 202204; 596(7):938-946.

書籍等出版物

五十嵐城太郎，松岡有樹. 真核生物に見られる短縮型グロビン・フラボヘモグロビン. In: 城宜嗣, 青野重利, 齋藤正男. ヘムタンパク質の科学～生理機能の理解とその展開に向けて～. 東京: エヌ・ティー・エス; 202205. p.41-46.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

西山学即，五十嵐城太郎，松岡有樹. *Paramecium caudatum* 短縮型ヘモグロビンの遺伝子構造と発現系の構築. 令和 4 年度日本動物学会東北支部大会; 20220723-24; 弘前.

五十嵐城太郎，松岡有樹. 酵母 *Candida norvegensis* フラボヘモグロビンの立体構造解析. 第 95 回日本生化学会大会; 20221111; 名古屋.

自然科学講座　数理物質科学分野

論　　文

〔総説等〕

開康一. NMR 概論. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 202212; 11:1-8.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

開康一. 1 次元物質 HMTSF-TCNQ の（異常）反磁性と CDW. 日本物理学会第 77 回年次大会; 20220315-19; Web.

生体物質研究部門

論　　文

〔原　著〕

Homma MK, Hashimoto Y, Homma Y, Nomizu T. CK2a as a prognostic factor in invasive ductal carcinoma of the breast: cancer recurrence prognosis by surgical sampling. Lancet Oncology. 202207; 23(Supplement 1):S25.

〔総説等〕

山田恵子，**本間美和子**，**梅津理恵**. 例会シンポジウム 2021「女性科学者への期待・女性科学者はなぜ増えないか」アンコンシャス・バイアスの解消とジェンダード・イノベーション. 日本女性科学者の会学術誌. 2022; 22:50-51.

塩満典子，**本間美和子**，**山田恵子**，**清水美穂**，**跡見順子**. 人生 100 年時代、女性も男性も十分に能力発揮できる研究環境の実現～無意識のバイアスから自由に～例会シンポジウム 2021 と SJWS 提言の分析に基づく考察. 日本女性科学者の会学術誌. 2022; 22:86-106.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ogura M, Wada I. Elucidation of the mechanism of substantia nigra astroglial cell activation by metabolic reactive oxygen species. 第 95 回日本薬理学会年会; 20220307-09; 福岡.

Yamamoto S, Niida A, Homma MK. Dry analysis of RNA-Seq data targeting CK2. 第 81 回日本癌学会学術総会; 20221001; 横浜. 日本癌学会総会記事. 3067.

Homma MK, Yamamoto S, Hashimoto Y, Nomizu T, Homma Y. The molecular functions of protein kinase

CK2 in association with nuclear localization. 第 81 回日本癌学会学術総会; 20221001; 横浜. 日本癌学会総会記事. 3164.

福田みちる，来住野ひなた，加藤遼，本間美和子. 細胞内分子局在に着目した癌予後マーカーの研究. 量子生命科学先端フォーラム 2022 冬の研究会; 20221126; 千葉.

Ogura M, Onotsuka S, Yamaki J, Wada I, Homma MK. Glial-derived secreted protein Tinagl1 regulates neuronal survival. 第 96 回日本薬理学会年会; 20221130-1203; 横浜.

〔シンポジウム〕

Homma MK, Hashimoto Y, Homma Y, Nomizu T. CK2α as a prognostic factor in invasive ductal carcinomas of the breast: cancer recurrence prognosis by surgical sampling. Lancet Summit: Cancer Care in Asia and Latin America; 20220714-15; Web.

細胞科学研究部門

論　　文

〔原　著〕

Inoue N, Wada I. Deletion of the initial methionine codon of the Tmem95 gene causes subfertility, but not complete infertility, in male mice. Biology of Reproduction. 202203; 106(3):378-381.

Kusakari K, Machida T, Ishida Y, Omori T, Suzuki T, Sekimata M, Wada I, Fujita T, Sekine H. The complex formation of MASP-3 with pattern recognition molecules of the lectin complement pathway retains MASP-3 in the circulation. Frontiers in Immunology. 202208; 13:907023.

Ohto H, Uchikawa M, Ito S, Wada I, Nollet KE, Omae Y, Ogasawara K, Tokunaga K. The KANNO blood group system. Immunohematology. 202212; 38(4):119-122.

Yamashita A, Matsumoto N, Nemoto-Sasaki Y, Oka S, Arai S, Wada I. Phosphorylation and subcellular localization of human phospholipase A1, DDHD1/PA-PLA1. Methods in Enzymology. 2022; 675:235-273.

Hirata Y, Matsui Y, Wada I, Hosokawa N. ER-to-Golgi trafficking of procollagen III via conventional vesicular and tubular carriers. Molecular Biology of the Cell. 202203; 33(3):ar21.

〔総説等〕

Satouh Y, Inoue N. Involvement of cellular protrusions in gamete interactions. Seminars in Cell & Developmental Biology. 202209; 129:93-102.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Saito T, Wada I. Insights into self-incompatibility by structural modelling. 11th International Tunicate meeting; 20220714-15; Kobe.

Ogura M, Wada I. Elucidation of the mechanism of substantia nigra astroglial. 第 95 回日本薬理学会年会; 20220307-09; 福岡.

松本直樹，佐々木洋子，岡沙織，荒井斉祐，和田郁夫，山下純. 細胞内型ホスホリパーゼ A1 のリン酸化と細胞内局在の変化. 第 64 回日本脂質生化学会; 20220623-24; 東京.

荒井斉祐，杉本幸太郎，石龍鉄樹，和田郁夫. 加齢黄斑変性に関わる ARMS2 の細胞生物学的検討. 第 74 回日本細胞生物学会大会; 20220628-30; 東京.

〔シンポジウム〕

Inoue N. Gamete Fusion: How Spermatozoon is able to Recognize Oocyte. Gordon Research Conference Diverse Organisms and Common Mechanisms in Cell-Cell Fusion; 20220607; Easton, USA.

井上直和. 配偶子融合に至る分子メカニズム. 日本顕微鏡学会第 78 回学術講演会; 20220513; 郡山.

〔招待講演〕

井上直和. 配偶子融合に至る分子メカニズム. 日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会; 20220603; いわき.

生体機能研究部門

論　　文

〔原　著〕

Sakayori N, Katakura M, Setogawa S, Sugita M, Kobayashi K. Characterization of the fatty acid profile in the ventral midbrain of mice exposed to dietry imbalance between omega-6 and omega-3 fatty acids during

specific life stages. BMC Research Notes. 202209; 15(1):285.

Yukinaga H, Hagihara M, Tsujimoto K, Chiang HL, Kato S, Kobayashi K, Miyamichi K. Recording and manipulation of the maternal oxytocin neural activities in mice. Current Biology. 202209; 32(17):3821-3829.e6.

Matsushita N, Nishizawa K, Kato S, Iguchi Y, Fukabori R, Takeuchi K, Miyasaka Y, Mashimo T, Kobayashi K. Catecholaminergic cell type-specific expression of Cre recombinase in knock-in transgenic rats generated by the Combi-CRISPR technology. Journal of Neuroscience Methods. 202211; 381:109707.

Fujita M, Ochiai Y, Hagino Y, Kobayashi K, Pavey G, Dean B, Ikeda K. Involvement of muscarinic receptors in psychomotor hyperactivity in dopamine-deficient mice. Molecular Brain. 202211; 15(1):96.

過年業績

Isa K, Sooksawate T, Kobayashi K, Kobayashi K, Redgrave P, Isa T. Dissecting the tectal output channels for orienting and defense responses. eNeuro. 202009; 7(5):ENEURO.0271-20.2020.

Tanaka T, Isomura Y, Kobayashi K, Hanakawa T, Tanaka S, Honda M. Electrophysiological effects of transcranial direct current stimulation on neural activity in the rat motor cortex. Frontiers in Neuroscience. 202006; 14:495.

Cui W, Aida T, Ito H, Kobayashi K, Wada Y, Kato S, Nakano T, Zhu M, Isa K, Kobayashi K, Isa T, Tanaka K, Aizawa H. Dopaminergic signaling in the nucleus accumbens modulates stress-coping strategies during inescapable stress. Journal of Neuroscience. 202009; 40(38):7241-7254.

Fujita M, Ochiai Y, Takeda TC, Hagino Y, Kobayashi K, Ikeda K. Increase in excitability of hippocampal neurons during novelty-induced hyperlocomotion in dopamine-deficient mice. Molecular Brain. 202009; 13(1):126.

Kashiwagi M, Kanuka M, Tanaka K, Fujita M, Nakai A, Tatsuzawa C, Kobayashi K, Ikeda K, Hayashi Y. Impaired wakefulness and rapid eye movement sleep in dopamine-deficient mice. Molecular Brain. 202111; 14(1):170.

Takahashi H, Asahina R, Fujioka M, Matsui T, Kato S, Mori E, Hioki H, Yamamoto T, Kobayashi K, Tsuboi A. Ras-like Gem GTPase induced by Npas4 promotes activity-dependent neuronal tolerance for ischemic stroke. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. 202108; 118(32):e2018850118.

Okada K, Nishizawa K, Kobayashi T, Sakata S, Hashimoto K and Kobayashi K. Different cholinergic cell groups in the basal forebrain regulate social interaction and social recognition memory. Scientific Reports. 202106; 11(1):13589.

放射性同位元素研究施設

論　　文

〔原　著〕

過年業績

Tanaka T, Iwamoto K, Wada M, Yano E, Suzuki T, Kawaguchi N, Shirasaka N, Moriyama T, Homma Y. Dietary syringic acid reduces fat mass in an ovariectomy-induced mouse model of obesity. Menopause. 202110; 28(12):1340-1350.

Ogura M, Endo K, Suzuki T, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid compound-18 prevents sensory nerve fiber outgrowth through inhibition of the interleukin-31 pathway. PLOS ONE. 202102; 16(2):e0246630.

〔その他〕

過年業績

小椋正人，遠藤久美子，鈴木俊幸，本間好．プレニルキノリンカルボン酸誘導体-18 は、インターロイキン 31 経路の阻害を通して知覚神経線維の成長を抑制する．日本薬理学会年会要旨集. 2021; 94:1-P2-21.

実験動物研究施設

論　　文

〔原　著〕

Hijikata Y, Kamitani T, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Takegami M, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association of kyphotic posture with loss of independence and mortality in a community- based prospective cohort study: the Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). BMJ Open. 202203; 12(3):e052421.

Watanabe T, Otani K, Sekiguchi M, Konno S. Relationship between lumbar disc degeneration on MRI and low back pain: A cross-sectional community study. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):97-107.

Hiratsuka Y, Ono K, Takesue A, Sadamatsu Y, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Fukuhara S, Murakami A. The prevalence of uncorrected refractive error in Japan: the Locomotive Syndrome and health outcome in Aizu Cohort Study. Japanese Journal of Ophthalmology. 202203; 66(2):199-204.

Igari T, Otani K, Sekiguchi M, Konno S. Epidemiological study of lumbar spinal stenosis symptoms: 10-year follow-up in the community. Journal of Clinical Medicine. 202210; 11(19):5911.

Yoshida Y, Ono K, Tano T, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A. Corneal eccentricity in a rural Japanese population: The locomotive syndrome and Health outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). Ophthalmic Epidemiology. 202210; 29(5):531-536.

Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Konno S. Diagnostic accuracy of the lumbar spinal stenosis-diagnosis support tool and the lumbar spinal stenosis-self-administered, self-reported history questionnaire. PLOS ONE. 202205; 17(5):e0267892.

Ono R, Yakegami M, Yamamoto Y, Yamazaki S, Otani K, sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Impact of lumbar spinal stenosis on metabolic syndrome incidence in community-dwelling adults in Aizu cohort study (LOHAS). Scientifice Reports. 202207; 12(1):11246.

過年業績

Tominaga T, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno S. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202101; 92:104256.

Saita K, Sumitani M, Nikaido T, Sekiguchi M, Inoue R, Ave H, Konno S, Uchida K. Exponential correlations among neuropathic components, pain intensity, and catastrophic thoughts in patients with musculoskeletal pain disorder. Current Medical Research and Opinion. 202108; 37(8):1341-1348.

Watanabe K, Otani K, Tomonaga R, Kokubun Y, Sekiguchi M, Fukuma S, Kamitani T, Nikaido T, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Sagittal imbalance and symptoms of depression in adults: Locomotive syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). European Spine Journal. 202109; 30(9):2450-2456.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno S. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. European Spine Journal. 202110; 30(10):3019-3027.

Kawata K, Suzuki T, Ozawa K, Sekiguchi M. Features of T-cell subset composition in a D-galactose-induced senescence mouse model. Experimental Animals. 202108; 70(3):284-292.

Otaki H, Otani K, Watanabe T, Sekiguchi M, Konno S. Associations between clinical neck symptoms and various evaluations of cervical intervertebral disc degeneration by magnetic resonance imaging. Fukushima

Journal of Medical Science. 202112; 67(3):107-118.

Fushimi Y, Otani K, Tominaga R, Nakamura M, Sekiguchi M, Konno S. The association between clinical symptoms of lumbar spinal stenosis and MRI axial imaging findings. Fukushima Journal of Medical Science. 202112; 67(3):150-160.

Sadamatsu Y, Ono K, Hiratsula Y, Takesue A, Tao T, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Murakami A. Prevalence and factors associated with uncorrected presbyopia in a rural population of Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. Japanese Journal of Ophthalmology. 202109; 65(5):724-730.

Kato K, Sumitani M, Sekiguchi M, Nikaido T, Yabuki S, Konno S. Development of a severity discrimination scale based on physical quality of life for patients with chronic pain. Journal of Orthopaedic Science. 202111; 26(6):1124-1129.

Hirai T, Otani K, Sekiguchi M, Kikuchi S, Konno S. Epidemiological study of cervical cord compression and its clinical symptoms in community-dwelling residents. PLOS ONE. 202108; 16(8):e0256732.

〔総説等〕

関口美穂，紺野愼一. 脳イメージングからみる腰痛～磁気共鳴スペクトロスコピー（MRS）～. Pain Research. 202207; 37(2):82-88.

過年業績

関口美穂，紺野愼一. 運動器疼痛の健康障害：運動器疼痛と慢性炎症. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S271-S276.

関口美穂，紺野愼一. 腰痛が慢性化する脳メカニズム. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1182.

〔その他〕

関口美穂. 研究者としての整形外科医のキャリア形成. 整形・災害外科. 202206; 65(7):915-922.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Kaneko Y, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Nakamura M, Kobayashi K, Konno S. Radiographic parameters for the lumbar spine of L1 axis sacral distance and sacral slope angle are associated with low back pain. ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. 1230.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Facet joint degeneration preceding

the intervertebral disc: an epidemiological study in the community. ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USSA. ISSLS abstract book. 1237.

Yokota T, Kato K, Otani K, Sekiguchi M, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Tominaga R, Konno S. Associations between treatment and health-related quality of life in patients with symptomatic lumbar spinal stenosis: a retrospective propensity score-matched analysis in the Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. 1238.

Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Konno S. Can Wall-Occiput distance and Rib-Pelvis distance be used to assess sagittal spinal alignment? ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. 1239.

Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Kobayashi Y, Sekiguchi M, Otani K, Yabuki S, Konno S. Mid-term clinical results of spinal endoscopic decompression for lumbar degenerative spondylolisthesis with spinal stenosis: Does facet joint orientation affect the postoperative results? ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. 1245.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Facet joint osteoarthritis and low back pain: an epidemiological study in the community. ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. ZO5.

Watanabe T, Otani K, Kobayashi K, Sekiguchi M, Konno S. Natural history of the lumbar facet joint angle and onset of spondylolisthesis over 10 years. ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. ZO6.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Prevalence of facet joint degeneration preceding the intervertebral disc: an epidemiological study in the community. ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. ZSP1.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Kobayashi Y, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Sagittal imbalance and need for future care in elderly adults: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). ISSLS 48th Annual Meeting; 20220509-13; Boston, USA. ISSLS abstract book. ZSP5.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，渡邉剛広，紺野愼一. 腰椎椎間板に先行した椎間関節変性に関連する背景因子の検討ー南会津スタディー. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):319.

小澤和典，橋本良子，山本裕子，江崎淳二，片平清昭. 3 系統のマウスにおけるX線全身照射の急性障害、晩発性影響および低線量繰り返し被曝の影響. 第 69 回日本実験動物学会総会; 20220518; 仙台.

川田耕司，小澤和典，関口美穂. ガラクトース誘発亜急性老化モデルマウスにおける Tfh 様細胞動態と腸内細菌による修飾作用. 第 69 回日本実験動物学会総会; 20220518-20; 仙台. 抄録集. 132.

大谷晃司，紺野愼一，関口美穂，小野玲，村田俊輔，内田一彰．ロコモティブシンドロームにおけるBMIの意義－地域在住住民2753名に対する検討－．第95回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸．日本整形外科学会雑誌. 96(2):S299.

渡邉和之，大谷晃司，関口美穂，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，富永亮司，小林良浩，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一．地域住民における脊椎骨盤パラメーターと新規要介護との関連－LOHAS－．第95回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸．日本整形外科学会雑誌. 96(2):S581.

大谷晃司，菊地臣一，関口美穂，紺野愼一．壁－後頭距離（wall-occiput distance）や肋骨－骨盤距離（rib-pelvis distance）は骨粗鬆症検診に使用可能か．第95回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸．日本整形外科学会雑誌. 96(2):S917.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，渡邉剛広，紺野愼一．腰椎椎間板に先行した椎間板変性と腰痛との関連の検討．第95回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸．日本整形外科学会雑誌. 96(2):S1065.

小澤和典，山本裕子，長谷川久美子，関口美穂，片平清昭．ラットポリオーマウイルス２（RaPyV2）の感染性に関する検討（3）．第8回実験動物技術者研究交流大会; 20220521; 仙台．抄録集. 8.

Kaneko Y, Minehara H, Nakamura M, Sekiguchi M, Matsushita T, Konno S. Macrophage dynamics in the induced membrane of the Masquelet technique - A study using a mouse critical-seized bone defect model -. 第119回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台．抄録集. 76.

Watanabe T, Otani K, Kobayashi K, Sekiguchi M, Konno S. Natural history of the lumbar facet joint angle and onset of spondylolisthesis over 10 years. 7th Noth-East Spine Surgeons of Tomorrow; 20220611; Web. Abstract book. 8-9.

横田武尊，加藤欽志，富永亮司，関口美穂，二階堂琢也，大谷晃司，栗田宣明，福原俊一，紺野愼一．腰部脊柱管狭窄症に対する保存療法が健康関連QOLに及ぼす影響の検討．第19回整形外科痛みを語る会; 20220716; 高知.

兼子陽太，峰原宏昌，関口美穂，紺野愼一．Masquelet法の誘導膜におけるマクロファージの動態－マウス巨大骨欠損モデルを用いた研究－．第37回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013; 宮崎．日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1542.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，紺野愼一．地域住民の腰椎椎間関節変性発祥のリスク因子の検討：11年フォローアップ－南会津スタディー．第37回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013; 宮崎．日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1581.

横田武尊，亀田拓哉，佐々木信幸，兼子陽太，渡邉剛広，小林賢司，関口美穂，紺野愼一．ヒト腱細胞におけるtransient receptor potential (TRP) channelsと炎症の関連．第37回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013; 宮崎．日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1669.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，兼子陽太，紺野愼一．一般住民における腰椎椎間関節変性と腰椎単純X線ア

ライメント評価項目との関連ー南会津スタディー. 第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013; 宮崎. 日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1848.

横田武尊，加藤欽志，富永亮司，関口美穂，二階堂琢也，大谷晃司，栗田宣明，福原俊一，紺野愼一. 腰部脊柱管狭窄に対する保存療法と自然経過との比較　Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study (LOHAS). 第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡. 抄録集. 242.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，紺野愼一. 腰椎椎間関節変性と身体診察所見との関連性ー南会津スタディー. 第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡. 抄録集. 243.

渡邉剛広，大谷晃司，小林賢司，関口美穂，紺野愼一. 変性すべり症による椎間関節角の 10 年以上の変化　南会津スタディ. 第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡. 抄録集. 243.

横田武尊，加藤欽志，富永亮司，関口美穂，二階堂琢也，大谷晃司，栗田宣明，福原俊一，紺野愼一. 腰部脊柱管狭窄に対する保存療法が健康関連 QOL に与える効果についての検討　Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study (LOHAS). 第 44 回日本疼痛学会; 20221202; 岐阜. Pain Research. 37(4):241.

渡邉剛広，関口美穂，小幡英章，紺野愼一. 身体拘束ストレス下におけるラット髄核留置モデルでは、疼痛刺激後の側坐核におけるドパミン放出量は低下する. 第 44 回日本疼痛学会; 20221202; 岐阜. Pain Research. 37(4):252.

過年業績

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Progression of lumbar disc degeneration on MRI is not associated with occurrence of LBP, and LBP related QOL: an epidemiological study with 10-year follow up. ISSLS 47th Annual Meeting; 20210602-04; Web.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Progression of lumbar disc degeneration on MRI is not associated with occurrence of LBP, and LBP related QOL: an epidemiological study with 10-year follow up. 6th Noth-East Spine Surgeons of Tomorrow; 20210508; Web.

小澤和典，橋本良子，樋口はづき，山本裕子，岡田綾，土橋悠，片平清昭. マウス由来腫瘍組織片を用いたシンジェニック腫瘍移植モデルの作製と有用性. 第 68 回日本実験動物学会総会; 20210519; Web.

大谷晃司，紺野愼一，関口美穂，小野玲，内田一彰，村田俊輔. ロコモティブシンドロームの進行と認知機能との関係. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210521-24; 東京.

大谷晃司，紺野愼一，関口美穂，小野玲，内田一彰，村田俊輔. 自己効力感と運動器慢性疼痛やロコモティブシンドロームとの関係. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210521-24; 東京.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，渡邉剛広，紺野愼一. 一般住民における 10 年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛発生との関連の検討ー南会津スタディー. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210521-24; 東京.

伏見友希，大谷晃司，中村正隆，関口美穂，紺野愼一. Redundant nerve root の臨床的意義. 第 94 回日本整形

外科学会学術総会; 20210521-24; 東京.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. A study of the relationship between LBP and the progression of lumbar disc degeneration over 10-year period. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，渡邉剛広，紺野愼一. 一般住民における腰椎椎間板変性と椎間板変性の関連性の検討ー南会津スタディー. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢. 日本整形外科学会雑誌. 95(8):S1787.

亀田拓哉，関口美穂，紺野愼一. 椎間板細胞における TRPA1, TRPV1 発現と活性化：炎症との関与. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢. 日本整形外科学会雑誌. 95(8):S1800.

兼子陽太，峰原宏昌，関口美穂，中村正隆，松下隆，紺野愼一. Masquelet 法におけるセメントスペーサーの役割ーマウス大腿骨骨欠損モデルを用いた検討ー. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢. 日本整形外科学会雑誌. 95(8):S1806.

〔シンポジウム〕

二階堂琢也，関口美穂，矢吹省司，大谷晃司，渡邉和之，加藤欽志，小林洋，小林良浩，紺野愼一. 脳イメージングによる腰痛の診断. 第 30 回日本腰痛学会; 20221202; 盛岡. 抄録集. 119.

過年業績

関口美穂. 脊椎脊髄病医としての歩み～研究と学会活動の継続～. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都.

二階堂琢也，関口美穂，矢吹省司，紺野愼一. 脳イメージングからみた腰痛のメカニズム. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢. 日本整形外科学会雑誌. 95(8):S1455.

渡邉和之，大谷晃司，関口美穂，紺野愼一. LOHAS 発腰痛診療のエビデンス. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京. 抄録集. 92.

川上守，竹下克志，井上玄，関口美穂，折田純久，海渡貴司，川口善治，高畑雅彦，辻崇，土屋邦喜，藤原靖，星野雅俊，山田宏，渡辺航太，吉田雅博. 腰部脊柱管狭窄症診断ガイドラインの update. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京. 抄録集. 96.

関口美穂，紺野愼一. 脳イメージングからみる腰痛～磁気共鳴スペクトロスコピー（MRS）～. 第 43 回日本疼痛学会; 20211210-11; Web. Pain Research. 36(4):220.

災害危機管理看護学講座

論　　文

〔原　著〕

奥寺敬，若杉雅浩，坂元美重，伊井みず穂，木澤晃代，橋本真由美．救急医療に関する研修の現状とこれから JTAS とエマルゴ 2022 について．富山救急医療学会. 202209; 40:11-14.

国際被ばく保健看護学講座

論　　文

〔研究報告書〕

Ito N, Yoshida S, Sato M, Yasui K, Sonoda Y, Tsubokura M. COVID-19 Vaccination in a Former Fukushima Nuclear Accident Evacuation Area. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202212; 17:e321.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Sato M. The congnition and impression on Japanese nurses regarding radiation: A survey of nurses working in and outside Fukushima Prefecture. 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science; 20221018; Taipei, Taiwan/Web.

佐藤美佳，安部恭子，伊東尚美．福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域一部解除地域における支援活動「ふたば暮らしの保健室」活動報告（第 1 報）．日本災害看護学会第 24 回年次大会; 20220903; Web．日本災害看護学会誌. 24(1):107.

佐藤美佳，佐藤良信，上澤紀子，小池祐未．地域包括ケアを担う看護師の放射線健康リスクに対する関心の特徴ー居住地および同居者の年齢による比較検討ー．日本放射線看護学会第 11 回学術集会; 20220918; Web．講演集. 47.

佐藤美佳，佐藤良信．地域包括ケアを担う看護師の放射線健康リスクに対する認識ー福島県内外の看護師を対象

とした調査ー. 日本看護科学学会学術集会; 20221203; Web. 講演集. 266.

周産期・小児地域医療支援講座

論　　文

〔原　著〕

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Toba N, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Kanno T, Migita K, Fujimori K. Maternal disease activity and serological activity as predictors of adverse pregnancy outcomes in women with systemic lupus erythematosus: a retrospective chart review. Archives of Gynecology and Obstetrics. 202205; 305(5):1177-1183.

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202207; 22(1):542.

Kyozuka H, Hiraiwa T, Murata T, Sugeno M, Jin T, Ito F, Suzuki D, Nomura Y, Fukuda T, Yasuda S, Fujimori K. Gestational weight gain as a risk factor for dystocia during first delivery: a multicenter retrospective cohort study in Japan. BMC Pregnancy and Childbirth. 202209; 22(1):728.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on Perinatal Outcomes: Results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S57-S63.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S104-S114.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Kanno A, Yamaguchi A, Jimbo M, Nishigori H, Fujimori K. Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202205; 42(4):563-568.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Kyozuka H, Jin T, Fujimori M, Nomura S, Suzuki D, Fukuda T, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Effect of gestational weight gain on preeclampsia among underweight women: A single tertiary referral center study in Japanese women. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202205; 48(5):1141-1148.

Sugeno M, Kyozuka H, Murata T, Hiraiwa T, Jin T, Fujimori M, Fukumoto Y, Ito F, Suzuki D, Toma F, Yasuda S, Fujimori K, Nomura Y. Optimal gestational weight gain to reduce the risk of hypertension disorders of pregnancy among women with obesity: A single tertiary referral center study in Japan. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202211; 48(11):2766-2773.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Tanaka T, Fujimori K. Effects of maternal ritodrine hydrochloride administration on the heart rate of preterm fetal sheep with intraamniotic inflammation. PLOS ONE. 202203;

17(3):e0265872.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K, Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

安田俊，福田冬馬，藤森敬也．【胎児発育のすべてーFGR から巨大児まで】FGR 児の重症度評価方法　娩出時期の判断　特に胎盤機能不全による FGR について．臨床婦人科産科. 202209; 76(9):901-909.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishii K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura A, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Trends in Pregnancy and Birth after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident in the Fukushima Prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Elsevier; 2022. p.81-98.

Fujimori K, Yasuda S. History and Definitions. In: Matsuda Y. Cerebral Palsy: Perspective and Clinical Relation to Perinatal Complications/Events in Japan. Singapore: Springer; 202208. p.3-11.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

片寄菜生，市川弘隆，蛭田俊，知識美奈，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮．先天性食道閉鎖症に広範囲の気管軟化症を合併した男児例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(2):252.

岡部永生，佐藤晶論，上田万純，片寄菜生，石綿翔，中津秀幸，渡邉みずき，中澤満美子，山田美香，柳沼和史，齋藤康，浅野裕一朗，川島綾子，富田陽一，林真理子，鈴木雄一，青柳良倫，陶山和秀，桃井伸緒，細矢光亮．生来健康な小児における重症ヒトヘルペスウイルス 7 感染症．第 125 回日本小児科学会学術集会;

20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):269.

知識美奈，錫谷達夫，市川弘隆，蛭田俊，岡部永生，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮，大戸斉. 新規乾式母乳低温殺菌装置の殺菌効果の検討. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):300.

細矢薫子，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，佐藤晶論，桃井伸緒，細矢光亮. ヒトパルボウイルス B19 感染が関連した急性心筋炎の 4 症例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):360.

片寄菜生，桃井伸緒，岡部永生，柳沼和史，齋藤康，三浦義文，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，佐藤晶論，細矢光亮. 肺高血圧症を併発した先天性中枢性低換気症候群の男児例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

蛭田俊，小笠原啓，市川弘隆，知識美奈，金井祐二，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 極低出生体重児における亜鉛製剤投与による血清亜鉛値の推移に関する検討. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

上田万純，岡部永生，片寄菜生，柳沼和史，齋藤康，浅野裕一朗，川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，桃井伸緒，佐藤晶論，細矢光亮. ヒトヘルペスウイルス 7（HHV-7）によると考えられた劇症型系心筋炎の 1 例. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(5):843.

川島綾子，富田陽一，林真理子，青柳良倫，遠藤起生，桃井伸緒. 生後 1 ヵ月で発症した川崎病ショック症候群の 1 例. 第 58 回小児循環器学会総会・学術集会; 20220721-23; 札幌.

赤間太郎，金井祐二，佐久間一理，蛭田俊，市川弘隆，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 呼吸障害および哺乳障害を伴う先天性後鼻孔閉鎖症に対して 2 度の開窓術を行った CHARGE 症候群の 1 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

上田茉佑，桃井伸緒，井口桃美，川島綾子，前田亮，富田陽一，林真理子，青柳良倫，細矢光亮. 川崎病の経過中に関節症状が出現し識別と治療に難渋している 1 例. 第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

災害医療支援講座

論　　文

〔症例報告〕

Harada F, Yamamoto K, Matsuda T, Yamamoto C, Tani Y, Ohnishi M, Takita M, Tanimoto T, Kami M,

Shineha R. Allergic reaction to anisakis-contaminated fish after the first administration of BNT162b2 mRNA vaccine: a case report. Gastroenterology Report. 202208; 10:goac034.

Harada F, Yamamoto K, Takeuchi A, Uenishi H, Tachiya Y, Yamamoto C, Tani Y, Ohnishi M, Takita M, Tanimoto T, Kami M, Shineha R. Asymptomatic gastric anisakiasis detected in gastric cancer screening: A case report. IDCases. 202211; 30:e01635.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Endo Y, Kitagawa A, Nakanowatari H, Fukada Y, Irie Y. Endovascular Total Arch Repair Using In Situ Fenestration For Thoracic Aortic Aneurysm and Chronic Dissection. 30th ASCVTS (Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery); 20220326; Web.

Irie Y, Nakanowatari H, Endo Y, Kitagawa A, Fukada Y. Reconstruction of Infective Graft in Aortic Root and Arch Replacement by using a Rifampicin-bonded Gelatin-seal Dacron Graft. 30th ASCVTS (Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery); 20220326; Web.

Irie Y, Nakanowatari H, Endo Y, Kitagawa A, Fukada Y. Combined Root Replacement and Hemi Arch Replacement for Chronic type A Aortic Dissection. 2022 Aortic Symposium Workshop; 20220513; Web.

社本博. 多職種に知ってもらいたい！『脳神経外科医からみる摂食嚥下障害』. 看護・ケア従事者のためのWinWin 食支援セミナー; 20220817; Web.

中野渡仁，**遠藤由樹**，**北川彰信**，**深田靖久**，**入江嘉仁**. EVAR 後の瘤拡大に対してＹ型人工血管置換術を施行し多発塞栓症を呈した１例. 福島心臓血管外科研究会; 20220108; Web.

川又諒，**中野渡仁**，**遠藤由樹**，**北川彰信**，**深田靖久**，**入江嘉仁**. 弓部大動脈瘤に対し弓部分枝開窓式胸部ステントグラフト内挿術を行った１例. 常磐医学会; 20220212; いわき.

入江嘉仁. AS 診療における TAVI の意義. 第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会; 20220305; 横浜/Web.

入江嘉仁. 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理. 循環器疾患最前線を知る－外科処置の術前対応－; 20220517; いわき.

社本博. 多職種で診る脳神経障害と摂食嚥下障害. 訪問歯科アカデミア; 20220602; Web.

入江嘉仁. 最近の TAVI の話題. いわき弁膜症治療座談会; 20220621; いわき.

堀有伸. 福島県南相馬市内のメンタルクリニックにおける PTSD 症例の診療状況についての実態調査. 第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220723-24; 東京/Web.

社本博. 備えの一手　押しの一手　次の一手. 文部科学省補助金事業課題解決型高度医療人材養成プログラム　コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム「災害派遣セミナー」; 20220730; Web.

小林磨巧, **赤津賢彦**, **若原志保**, **遠藤千麻**, **平田日向子**. 血友病 A 患者に対する冠動脈バイパス手術麻酔管理の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web.

小林磨巧, **赤津賢彦**, **若原志保**, **遠藤千麻**, **平田日向子**. 不均衡低身長を伴う Leri-Weil 症候群患者に対する周産期管理の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web.

松尾孝志, **社本博**, **杉山智**. 映像　音楽　エアロバイク®　栄養を統合した運動支援効果. 第 29 回福島 NST フォーラム; 20220910; Web.

松尾孝志, **社本博**, **杉山智**. 発症 6 ヶ月以降に歩行機能が改善した再発性脳梗塞症例. 第 29 回福島 NST フォーラム; 20220910; Web.

入江嘉仁. 最新の TAVI 治療戦略～外科医の立場より～. 茨城県 TAVI 学術懇話会; 20221102; 水戸.

入江嘉仁, **中野渡仁**, **遠藤由樹**, **北川彰信**, **深田靖久**. 人工弁感染に対する治療成績. 第 35 回日本外科感染症学会総会学術集会; 20221108; 倉敷.

入江嘉仁. TAVI 最近の話題. いわき弁膜症治会療講演会; 20221121; いわき.

入江嘉仁. 手術所見から読み取るいわき市医療センターの心臓外科歴史. 第 11 回福島災害医療研究会; 20221122; 福島.

赤津賢彦. Great East Japan earthquake：anesthetists in Iwaki“温故知新”. 第 11 回福島災害医療研究会; 20221122; 福島.

原田文植. 何が起きていたのか？コロナワクチン接種後蕁麻疹で救急外来を受診した 72 歳女性. 第 11 回福島災害医療研究会; 20221122; 福島.

堀有伸. 東日本大震災・原発事故被災地に開業したメンタルクリニックの診療記録についての全例調査. 第 11 回福島災害医療研究会; 20221122; 福島.

〔その他〕

入江嘉仁. ICE ガイド下での EvolutTM 留置および TAVI 後 PCI の手技. Fukushima×Okinawa TAVI 研究会; 20221014; Web.

地域救急医療支援講座

論　　文

〔原　著〕

Sorimachi K, Muto K, Sugaya K, Ueno S, Onodera M, Ohira T, Tsubokura M, Iseki K. Characteristics of Patients Transported by Doctor-Requested Helicopters After Japan's 2011 Nuclear Incident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202207; 17(24):e161.

横藤壽，藤野靖久，藤田友嗣，高橋学，小野寺誠，井上義博. 岩手医科大学高度救命救急センターで治療した有機リン中毒 62 症例の検討. 岩手医学雑誌. 202210; 74(4):131-141.

星野凪沙，矢野徹宏，鈴木剛，三澤友誉，小野寺誠，田勢長一郎，伊関憲. 福島県ドクターヘリにおける近距離からの搬送手段の検討. 日本航空医療学会雑誌. 202206; 23(1):20-25.

小野寺誠，塚田泰彦，鈴木剛，三澤友誉，上野智史，全田吏栄，菅谷一樹，武藤憲哉，反町光太朗，伊関憲. 福島市における救急搬送困難事案に対する地域救急医療支援講座による二次救急輪番当直支援の効果. 福島医学会雑誌. 202208; 72(2):57-64.

〔総説等〕

小野寺誠，伊関憲. クリニカル・トキシコロジストが語るケーススタディ（第 6 回）自殺目的に 2 度トリカブトの根を摂取し、いずれも VA-ECMO の導入により救命したトリカブト中毒の 1 例. 中毒研究. 202209; 35(3):205-210.

〔症例報告〕

武田紗希，上野智史，鈴木剛，小野寺誠，加藤菜穂，西形里絵，伊関憲. 急性カフェイン中毒患者に実施した血液浄化法の評価. 中毒研究. 202209; 35(3):186-191.

関根萌，岩渕雅洋，鈴木剛，全田吏栄，小野寺誠，武田紗希，伊関憲. 尿中シュウ酸カルシウムと乳酸ギャップを治療指標としたエチレングリコール中毒の 1 例. 日本救急医学会雑誌. 202207; 33(7):304-309.

武藤憲哉，菅谷一樹，全田吏栄，三澤友誉，矢野徹宏，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲. 心室細動を発症した薬剤性低カリウム血症の 1 例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202206; 25(3):607-610.

菅谷一樹，長井健一郎，黒見洋介，武藤憲哉，全田吏栄，大久保怜子，塚田泰彦，藤井正純，小野寺誠，伊関憲. 二次爆傷による脳脱を伴う頭部外傷の経過良好例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202208; 25(4):711-716.

菅谷一樹，鈴木光子，全田吏栄，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. 縊頸後の高度意識障害に対し中心静

脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った 1 例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202210; 25(5):871-875.

全田吏栄，矢野徹宏，武藤憲哉，菅谷一樹，海老原研一，反町光太郎，鈴木剛，佐藤ルブナ，小野寺誠，伊関憲. 2 回目の抗毒素血清の投与によりアナフィラキシーショックとなったマムシ咬傷の 1 症例. 麻酔. 202205; 71(5):546-550.

鈴木光子，塚田泰彦，矢野徹宏，金悠路，岩渕雅洋，伊関憲. 心停止で搬送された急性喉頭蓋炎の 1 症例. 臨床麻酔. 202201; 46(1):77-79.

書籍等出版物

小野寺誠. 中毒性疾患　有機リン・カーバメイト中毒. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 : 私はこう治療している　2022 年版（Vol.64）. 東京: 医学書院; 202201. p.133-134.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

武藤憲哉，菅谷一樹，全田吏栄，金悠路，三澤友誉，大久保怜子，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲. 自殺目的にキョウチクトウを摂取した 1 例. 第 35 回日本中毒学会東日本地方会; 20220122; Web. プログラム・抄録集. 32.

大久保怜子，武藤憲哉，大山亜紗美，金悠路，矢野徹宏，塚田泰彦，伊関憲. COVID-19 患者に対する腹臥位療法と栄養の検討. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:483.

鈴木剛，鈴木光子，全田吏栄，三澤友誉，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. 呼吸不全を伴う COVID-19 治療中に高アミラーゼ血症を呈した 2 症例. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:707.

武藤憲哉，大山亜紗美，金悠路，矢野徹宏，大久保怜子，塚田泰彦，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. VV-ECMO 施行中の腹臥位療法により、出血合併症としての巨大腹直筋内血腫を認めた 1 例. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:711.

菅谷一樹，鈴木光子，武藤憲哉，全田吏栄，鈴木剛，岩渕雅洋，小野寺誠，伊関憲. 縊頸後の高度意識障害に対し、中心静脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った 1 例. 第 25 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20220527; 大阪/Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 25(2):389.

鈴木光子，菅谷一樹，鈴木剛，全田吏栄，三澤友誉，岩渕雅洋，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲. シアン中毒の一救命例. 第 44 回日本中毒学会総会・学術集会; 20220715-16; Web. 中毒研究. 35(2):152.

菅谷一樹，武藤憲哉，全田吏栄，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲. 福島県北地区での重傷外傷におけるドクターカー搬送の現状と課題. 第 36 回東北救急医学会・学術集会; 20220716; 会津若松/Web. プログラム・抄録集. 41.

大山亜紗美，小野寺誠，鈴木剛，全田吏栄，鈴木光子，後藤沙由里，伊関憲．診断に苦慮した正常血糖糖尿病性ケトアシドーシスに高 Na 血症を合併した一例．第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web．日本救急医学会雑誌. 33(10):740.

全田吏栄，後藤沙由里，鈴木光子，大山亜紗美，鈴木剛，小野寺誠，伊関憲．自殺目的に混合型インスリンを大量皮下注射し低血糖が遷延した 1 例．第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web．日本救急医学会雑誌. 33(10):741.

鈴木剛，塚田泰彦，小野寺誠，伊関憲．神経性食思不振症による心停止は ECMO で救う！ 第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web．日本救急医学会雑誌. 33(10):820.

小野寺誠，後藤沙由里，関根萌，鈴木光子，菅谷一樹，大山亜紗美，全田吏栄，三澤友誉，鈴木剛，塚田泰彦，伊関憲．福島市におけるコロナ禍前後での救急搬送困難事案の検討．第 50 回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web．日本救急医学会雑誌. 33(10):853.

〔特別講演〕

小野寺誠．救急における急性中毒診療ー身近に潜む中毒を中心にー．第 36 回東北救急医学会・学術集会; 20220716; 会津若松/Web.

地域産婦人科支援講座

論　　文

〔原　著〕

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children’s Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):191-195.

Watanabe T, Soeda S, Endo Y, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Kojima M, Furukawa S, Nishigori H,

Takahashi T, Fujimori K. Rare Hereditary Gynecological Cancer Syndromes. International Journal of Molecular Sciences. 202201; 23(3):1563.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with *TPM3-NTRK1* gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

渡邉健史，小島学，岡部慈子，佐藤哲，植田牧子，加茂矩士，遠藤雄大，古川茂宜，添田周，渡邉尚大，藤森敬也. 初回手術から１年後に肺転移で再発した卵巣粘液性境界悪性腫瘍の１例. 福島医学雑誌. 202204; 72(1):37-42.

白河総合診療アカデミー

論　　文

〔原　著〕

Andaur Navarro CL, Damen JAA, Takada T, Nijman SWJ, Dhiman P, Ma J, Collins GS, Bajpai R, Riley

RD, Moons KGM, Hooft L. Completeness of reporting of clinical prediction models developed using supervised machine learning: a systematic review. BMC Medical Research Methodology. 202201; 22(1):12.

de Jong VMT, Rousset RZ, Antonio-Villa NE, Buenen AG, Van Calster B, Bello-Chavolla OY, Brunskill NJ, Curcin V, Damen JAA, Fermin-Martinez CA, Fernandez-Chirino L, Ferrari D, Free RC, Gupta RK, Haldar P, Hedberg P, Korang SK, Kurstjens S, Kusters R, Major RW, Maxwell L, Nair R, Naucler P, Nguyen TL, Noursadeghi M, Rosa R, Soares F, Takada T, van Royen FS, van Smeden M, Wynants L, Modrak M, CovidRetro c, Asselbergs FW, Linschoten M, consortium C-C, Moons KGM, Debray TPA. Clinical prediction models for mortality in patients with covid-19: external validation and individual participant data meta-analysis. BMJ. 202207; 378:e069881.

Hijikata Y, Kamitani T, Sekiguchi M, Otani K, Konno SI, Takegami M, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association of kyphotic posture with loss of independence and mortality in a community-based prospective cohort study: the Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). BMJ Open. 202203; 12(3):e052421.

Takada T, Hoogland J, Hansen JG, Lindbaek M, Autio T, Alho OP, Ebell MH, Reitsma JB, Venekamp RP. Diagnostic prediction models for CT-confirmed and bacterial rhinosinusitis in primary care: individual participant data meta-analysis. British Journal of General Practice. 202207; 72(721):e601-e608.

Katayama K, Kurita N, Takada T, Miyashita J, Azuma T, Fukuhara S, Takeshima T. Door-to-oral time and in-hospital outcomes in older adults with aspiration pneumonia undergoing dysphagia rehabilitation. Clinical Nutrition. 202210; 41(10):2219-2225.

Suzuki T, Takada T. Spontaneous Tension Hemothorax in a Patient with Asbestosis. Clinical Practice and Cases in Emergency Medicine. 202211; 6(4):330-332.

Suzuki R, Takada T, Takeshima T, Hayashi M, Miyashita J, Azuma T, Usui M, Hamaguchi S, Fukuma S, Maehara K, Fukuhara S. Usefulness of a mobile phone application for respiratory rate measurement in adult patients. Japan Journal of Nursing Science. 202207; 19(3):e12481.

Hiratsuka Y, Ono K, Takesue A, Sadamatsu Y, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Fukuhara S, Murakami A. The prevalence of uncorrected refractive error in Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. Japanese Journal of Ophthalmology. 202203; 66(2):199-204.

Yoshioka T, Takayama A, Nakagawa H, Ozaka A, Takeshima T. Comment on: How physicians evaluate patients with dementia who present with shortness of breath. Journal of the American Geriatrics Society. 202203; 70(3):908-909.

Makiyama J, Momosaki R, Yodoshi T, Fujieda T, Ozaka A, Takayama A, Yoshioka T. RE: Progression of Frailty in Survivors of Childhood Cancer: A St. Jude Lifetime Cohort Report. Journal of the National Cancer Institute. 202206; 114(6):914-915.

Miyashita J, Shimizu S, Shiraishi R, Mori M, Okawa K, Aita K, Mitsuoka S, Nishikawa M, Kizawa Y, Morita

T, Fukuhara S, Ishibashi Y, Shimada C, Norisue Y, Ogino M, Higuchi N, Yamagishi A, Miura Y, Yamamoto Y. Culturally Adapted Consensus Definition and Action Guideline: Japan's Advance Care Planning. Journal of Pain and Symptom Management. 202212; 64(6):602-613.

Geersing GJ, Takada T, Klok FA, Büller HR, Courtney DM, Freund Y, Galipienzo J, Le Gal G, Ghanima W, Kline JA, Huisman MV, Moons KGM, Perrier A, Parpia S, Robert-Ebadi H, Righini M, Roy PM, van Smeden M, Stals MAM, Wells PS, de Wit K, Kraaijpoel N, van Es N. Ruling out pulmonary embolism across different healthcare settings: A systematic review and individual patient data meta-analysis. PLOS Medicine. 202201; 19(1):e1003905.

東白川整形外科アカデミー

論　　文

〔原　著〕

Hirai T, Kobayashi H, Kobayashi E, Saito M, Akiyama T, Kikuta K, Nakai T, Endo M, Tsukamoto S, Hakozaki M, Takenaka S, Nishimura S, Kawashima H, Tanzawa Y, Kawano H, Tanaka S. Dedifferentiation in low-grade osteosarcoma: a Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study. International Journal of Clinical Oncology. 202211; 27(11):1758-1766.

金内洋一，箱崎道之，山田仁，紺野慎一. 私の考える骨・軟部腫瘍分野の魅力. 東日本整形災害外科学会雑誌. 202204; 34(1):53-55.

〔症例報告〕

Sasaki N, Kawakami R, Toshiki N, Yamada H, Hakozaki M, Konno S. Fibulo-scapho-lunate arthrodesis with free vascularized fibular graft for a Japanese Kyudo archer with osteosarcoma of the left distal radius: a case report. Cancer Diagnosis & Prognosis. 202207; 2(4):489-495.

Yoshida K, Hakozaki M, Kobayashi H, Kimura M, Konno S. Surgical treatment for a combined anterior cruciate ligament and posterior cruciate ligament avulsion fracture: a case report. World Journal of Clinical Cases. 202204; 10(12):3879-3885.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Hakozaki M, Yamada H, Tajino T, Kaneuchi Y, Hasegawa O, Watanabe K, Konno S. 18F-FDG PET/MRI for evaluating the efficacy of neoadjuvant chemotherapy for osteosarcoma: a preliminary study. 23rd European Federation of National Associations of Orthopaedics and Traumatology (EFORT) Annual Congress 2022; 20220622-25; Lisbon, Portugal.

関敬大，金内洋一，箱﨑道之，山田仁，平井亨，山田匠希，長谷川靖，紺野愼一. 鼠径部に発生した富細胞型血管線維腫の 3 例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台.

園部樹，松尾洋平，髙橋洋二郎，吉田勝浩，箱﨑道之，紺野愼一. 膝関節にロッキングを生じた鵞足部骨軟骨腫の一例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台.

田地野崇宏，山田仁，箱﨑道之，金内洋一，紺野愼一. 福島県立医科大学で過去 30 年間に診療した高悪性度骨・軟部肉腫の罹患率と福島県内地域分布の経年的変化についての検討　第 2 報. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714-15; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 96(6):S1318.

山田仁，箱﨑道之，金内洋一，田地野崇宏，渡辺慎哉，紺野愼一. ドキソルビシン+イホスファミド療法で完全奏効を呈した軟部悪性腫瘍. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714-15; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 96(6):S1360.

箱﨑道之，金内洋一，山田仁，紺野愼一. 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714-15; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 96(6):S1443.

金内洋一，箱﨑道之，山田仁，鈴木丈夫，紺野愼一. 低悪性度と高悪性度の脱分化像が併存した脱分化型脂肪肉腫：1 例報告. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714-15; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 96(6):S1468.

鈴木丈夫，箱﨑道之，山田仁，金内洋一，紺野愼一. 神経線維腫症 1 型の高齢者に生じた多形型横紋筋肉腫の 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714-15; 東京. 日本整形外科学会雑誌. 96(6):S1476.

箱﨑道之，新田夢鷹，山田仁，金内洋一，鈴木丈夫，田地野崇宏. 病的骨折を伴った大腿骨近位部骨肉腫の 1 例. 第 22 回骨軟部腫瘍サマーセミナー; 20220820; あわら.

畑利彰，藤原智洋，吉田晶，近藤彩奈，近藤宏也，佐藤浩平，桿平将太，中田英二，国定俊之，箱﨑道之，尾﨑敏文. 腫瘍随伴マクロファージの浸潤割合および予後を予測する血中バイオマーカーの特定　浸潤性軟部肉腫患者における検討. 第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221014; 宮崎. 日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1766.

小川到，箱﨑道之，金内洋一，山田仁，山田匠希，岡佑香，長谷川靖. 右大腿部軟部腫瘍. 第 29 回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20221112; 福島.

〔シンポジウム〕

金内洋一，箱﨑道之，山田仁，紺野愼一. 悪性骨軟部腫瘍手術における手術部位感染の対策と治療　福島県立医科大学附属病院での取り組み. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台.

〔特別講演〕

箱崎道之. 四肢転移性骨腫瘍のマネージメント　変形性関節症合併症例の治療、疼痛管理も含めて. 福島県臨床整形外科医会学術講演会; 20220528; 郡山.

箱崎道之. 四肢転移性骨腫瘍のマネージメント. 第 1 回福島県 Orthopaedic Expert Lecture; 20220905; Web.

箱崎道之. 切除と再建　骨・軟部腫瘍「非定型」手術の醍醐味. 第 12 回名古屋運動器腫瘍セミナー; 20221210; 名古屋.

疼痛医学講座

論　　文

〔原　著〕

Kasahara S, Matsudaira K, Sato N, Niwa S. Attention-Deficit/hyperactivity disorder and centralized pain: A review of the case of John F. Kennedy. Clinical Case Reports. 202210; 10(10):e6422.

Yabuki S, Takatsuki K, Ouchi K. Psychologic distress and QOL in medical staff after a disaster: A longitudinal 4- year study. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):25-35.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Characteristics of patients who dropped out after multidisciplinary pain management in Japan: A prospective cohort study. Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation. 202207; 35:793-802.

Kasahara S, Takahashi N, Matsudaira K, Oka H, Takatsuki K, Yabuki S. Psychometric Properties of the Multidimensional Pain Inventory: Japanese Language Version (MPI-J). Pain Physician. 202201; 25(1):E105-E112.

髙橋直人, **高槻梢**, **笠原諭**, **矢吹省司**. ICD-11 分類別でみた運動器慢性疼痛に対する集学的入院プログラムの治療効果. PAIN RESEARCH. 202210; 37(3):141-148.

〔総説等〕

髙橋直人. 慢性疼痛のリハビリテーション(第 7 回)　運動器慢性疼痛に対するリハビリテーション医療. Journal of Clinical Rehabilitation. 202210; 31(11):1114-1120.

書籍等出版物

髙橋直人. 58 慢性疼痛. In: 小川純人, 武藤真祐, 山田俊幸 編. 高齢者診療のための臨床検査ガイド. 東京: 診断と治療社; 202205. p.142-144.

髙橋直人, **紺野愼一**. 腰痛・腰下肢痛の診断と評価法　6.電気生理学的検査. In: 森本昌宏, 橋爪圭司, 山口忍. 腰痛・腰下肢痛　診療のキーポイント. 東京: 克誠堂出版; 202203. p.82-89.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

笠原諭, **松平浩**, **佐藤直子**, **岡敬之**, **藤井朋子**, **紺野愼一**, **菊地臣一**, **丹羽真一**, **山田芳嗣**. 慢性疼痛患者のADHD 尺度得点は有意に高く、多動・衝動性と疼痛 NRS は相関する. 第 13 回日本 ADHD 学会; 20220305-06; Web.

笠原諭, **松平浩**, **佐藤直子**, **丹羽真一**. 慢性疼痛と ADHD「風と共に去りぬ」の著者マーガレット・ミッチェルの事例. 第 13 回日本 ADHD 学会; 20220305-06; Web.

恩田啓, **高槻梢**, **髙橋直人**, **本幸枝**, **谷本真実**, **二瓶健司**, **笠原諭**, **矢吹省司**. 慢性疼痛患者に対する集学的診療の治療効果　QOL の変化に着目して. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web. 日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S45.

髙橋直人, **高槻梢**, **笠原諭**, **矢吹省司**. ICD-11J 分類別にみた運動器慢性疼痛に対する外来での集学的痛み治療の効果. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web. 日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S40.

春山祐樹, **髙橋直人**, **二瓶健司**, **荒瀬洋子**, **山口歩**, **本幸枝**, **谷本真実**, **福地朋子**, **笠原諭**, **矢吹省司**. 入院型集学的痛み治療が有効であった高度脊柱側彎変形を伴った慢性腰痛の 1 例. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web. 日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S46.

笠原諭, **藤井朋子**, **吉本隆彦**, **岡敬之**, **川又華代**, **佐藤直子**, **丹羽真一**, **内田寛治**, **松平浩**. ADHD は慢性疼痛に対して因果的影響を有する　インターネット調査. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

笠原諭, **松平浩**, **佐藤直子**, **丹羽真一**. 慢性疼痛と ADHD　「風と共に去りぬ」の著者マーガレット・ミッチェルの例. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

二瓶健司, **髙橋直人**, **松平浩**, **春山祐樹**, **岩﨑稔**, **矢吹省司**. 運動器慢性痛患者の phase angle（位相角）に関連する因子の検討. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

松平浩, **笠原諭**, **酒井美枝**, **井上真輔**, **鉄永倫子**, **高橋紀代**, **高槻梢**, **二瓶健司**, **矢吹省司**, **髙橋直人**. 慢性疼痛に対する新たな心理社会的フラッグシステム開発. 第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

森田泰斗，笠原諭，松平浩，佐藤直子，丹羽真一，内田寛治．メチルフェニデートによって劇的に寛解した、ADHD 併存の非定型型顔面痛の一例．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; Web.

松平浩，笠原諭，酒井美枝，井上真輔，鉄永倫子，高橋紀代，高槻梢，二瓶健司，矢吹省司，高橋直人．慢性疼痛に対する新たな心理社会的フラッグシステム開発．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web．日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S48.

高橋直人，高槻梢，笠原諭，矢吹省司. 3 つの病態別にみた運動器慢性疼痛に対する集学的痛み治療の効果．第 44 回日本疼痛学会・第 2 回日本術後痛学会; 20221202; 岐阜/Web.

〔シンポジウム〕

笠原諭．「慢性疼痛患者と向き合うコツ～多職種からの提案～」慢性疼痛に対する動機づけ面接．第 51 回日本慢性疼痛学会; 20220225-26; Web.

本幸枝，谷本真実，恩田啓，笠原諭，矢吹省司．慢性疼痛治療における看護師の役割　チーム医療における看護師の役割．第 51 回日本慢性疼痛学会; 20220225; Web．プログラム・抄録集. 66.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

高橋直人．ロコモと痛みの関係①「健康で活き活きと暮らすためのロコモ対策（前編）」．日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202203-.

高橋直人．ロコモと痛みの関係②「健康で生き生きと暮らすためのロコモ対策（後編）」．日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202203-.

高橋直人．腰痛①「腰痛の病態と治療（保存療法）」．日本いたみ財団 web　アーカイブコンテンツ. 202204-.

高橋直人，矢吹省司．多職種連携集学的痛み治療　長引く痛みをよくするために．日本いたみ財団 web　アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹，高橋直人，二瓶健司，矢吹省司．痛みを長引かせないカラダの動かし方について　理学療法士の立場から．日本いたみ財団 web　アーカイブコンテンツ. 202012-.

スポーツ医学講座

論　　文

〔原　著〕

Kato K, Otoshi KI, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Konno S. The prevalence and clinical characteristics of sacroiliac joint dysfunction in adolescent baseball players. Journal of Orthopaedic Science. 202203; 27(2):335-341.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Konno S. Influences of limited flexibility of the lower extremities and occurrence of low back pain in adolescent baseball players: A prospective cohort study. Journal of Orthopaedic Science. 202203; 27(2):355-359.

Watanabe Y, Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Oi N, Konno S. Associations between core stability and low back pain in high school baseball players: A cross-sectional study. Journal of Orthopaedic Science. 202209; 27(5):965-970.

Kato K, Otoshi K, Kobayashi K, Kaneko Y, Nakazawa S, Konno S. Clinical characteristics of early-stage lumbar spondylolysis detected by magnetic resonance imaging in male adolescent baseball players. Journal of Orthopaedic Science. 20221114; doi:S0949-2658(22)00302-5.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Kaneko Y, Mashiko R, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. The influence of chronic medial epicondylar apophysitis on medial ulnar collateral ligament insufficiency-: a retrospective cohort study. JSES International. 202205; 6(3):539-544.

沼崎広法，加賀孝弘，小林秀男．ハイブリッド式高位脛骨骨切り術における腓骨強斜位骨切り処置　腓骨骨癒合に関する検討．東北膝関節研究会会誌. 202207; 30:39-42.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

遠藤涼乃，加藤欽志，大歳憲一．小学生ソフトボール選手における下肢タイトネスと腰痛の関連．日本臨床スポーツ医学会; 20221112-13; 札幌.

鴫原智彦，加賀孝弘．発育期野球選手の運動器疼痛による心理的ストレス反応　小学生・中学生・高校生における年代間の違い．日本臨床スポーツ医学会; 20221112-13; 札幌.

中野優，加藤欽志，大歳憲一．アスリートに生じた胸椎黄色靭帯骨化症　4 例報告．日本臨床スポーツ医学会;

20221112-13; 札幌.

山岡弘和，加藤欽志，大歳憲一. 高校野球選手における腰痛の経験が将来の肩・肘痛の発生に及ぼす影響　縦断研究による検討. 日本臨床スポーツ医学会; 20221112-13; 札幌.

渡邊孝祐，加藤欽志，大歳憲一. 胸腰筋膜接合部における腹斜筋損傷により片側性の腰痛を呈した高校野球投手の1例. 日本臨床スポーツ医学会; 20221112-13; 札幌.

外傷学講座

論　　文

〔原　著〕

Nagata K, Yamada K, Shinozaki T, Miyazaki T, Tokimura F, Tajiri Y, Matsumoto T, Yamakawa K, Oka H, Higashikawa A, Sato T, Kawano K, Karita T, Koyama T, Hozumi T, Abe H, Hodohara M, Kohata K, Toyonaga M, Oshima Y, Tanaka S, Okazaki H. Effect of Antimicrobial Prophylaxis Duration on Health Care-Associated Infections After Clean Orthopedic Surgery: A Cluster Randomized Trial. JAMA Network Open. 202204; 5(4):e226095.

Tarrant SM, Kim JW, Matsushita T, Minehara H, Noda T, Oh JK, Park KC, Yamamoto N, Balogh ZJ. Fragility Fracture Systems: International Perspectives - Asia & Australia. OTA International. 202206; 5(3 Suppl):e195.

Nakano T, Kudo T, Sano Y, Minehara H, Suzuki M, Aoki K, Matsushita T. Transcutaneous CO_2 Pressure Monitoring Increases Salvage Rates after Free Tissue Transplantation for Extremity Reconstruction. Plastic and Reconstructive Surgery. Global Open. 202208; 10(8):e4467.

高群浩司，工藤俊哉，峰原宏昌，澤口毅，松下隆，宇佐美聡. 上腕動脈部分断裂を伴った小児上腕骨顆上骨折の1例. 骨折. 202203; 44(2):224-227.

原田将太，寺本司，竹中信之，松下隆. Tibial condylar valgus osteotomy は外傷性膝関節症にも有用か？ 骨折. 202203; 44(2):428-432.

豊永真人，岡崎裕司，工藤俊哉，高群浩司，峰原宏昌，澤口毅，松下隆. 脛骨遠位部骨折における髄内釘による天蓋部アンカリングの有用性. 骨折. 202203; 44(2):446-450.

青木浩平，市原理司，丸山祐一郎，平澤英幸，富田善雅，工藤俊哉. 橈骨遠位端骨折後感染性偽関節に対し抗菌薬含有セメントを使用し治療した2例. 骨折. 202205; 44(3):582-586.

荒川郷彦，原田将太，結城拓也，森本麻美，髙木基行，浅原智彦，加藤成隆，竹中信之，寺本司，松下隆. 距骨傾斜角 10 度以上の変形性足関節症 Stage 3a に対する DTOO. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):113-116.

原田将太，寺本司，結城拓也，髙木基行，浅原智彦，竹中信之，松下隆. 距骨内側偏位の有無で 2 タイプに分類した変形性足関節症 stage 3b　X 線学的特徴と遠位脛骨斜め骨切り術後の変化. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):136-139.

結城拓也，寺本司，原田将太，髙木基行，加藤成隆，浅原智彦，竹中信之，松下隆，紺野愼一. 高位脛骨骨切り術後に増悪した変形性足関節症に対する足関節骨切り術の 2 例. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):140-143.

西井幸信，寺本司，原田将太，髙木基行，衣笠清人，大塚和孝，浅原智彦. 腓骨外果部の形態と足関節骨性不安定性の検討. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):164-167.

川原田圭，大内一夫，結城拓也，紺野愼一. アキレス腱付着部症を伴うアキレス腱断裂の 1 手術例. 日本足の外科学会雑誌. 202208; 43(1):275-278.

高田美香，張成虎，大野満子，茂木範子，岡﨑裕司，岡崎廉太郎，植田進一，望月貴夫，泉亮良，本村喜代二. 一般整形外科クリニックを訪れる患者の骨粗鬆症実態調査. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 202202; 8(1):45-55.

原田将太，寺本司，髙木基行，浅原智彦，加藤成隆，竹中信之，松下隆. 脛骨顆外反骨切り術で加療した未治療 Blount 病後高度内反膝. 日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202204; 33:115-119.

〔総説等〕

澤口毅，荻野浩，山本智章. 大腿骨頚部/転子部骨折　ロコモ対策とリエゾンサービス. Loco Cure. 202202; 8(1):1-9.

峰原宏昌. 【四肢骨折プレート固定術の創意工夫】下腿骨幹部骨折. Orthopaedics. 202210; 35(10):237-242.

岡﨑裕司. 【レジデントが知るべき整形外科基本手技】整形外科における基本手技　創外固定法. 関節外科. 202204; 41(4 月増刊):178-187.

工藤俊哉. 専門医のための症例問題トレーニング, 外傷性疾患（スポーツ傷害を含む）. 整形外科. 202201; 73(1):69-74.

澤口毅. 【新鮮骨折に対する内固定以外の治療法　人工関節手術・関節固定術・切断術 1】人工関節手術・関節固定術　高齢者新鮮寛臼骨折に対する人工関節. 整形外科 Surgical Technique. 202208; 12(4):422-426.

澤口毅. 【外傷再建　いま，何ができるのか，どこまでできるのか】関節変形に対する治療ー骨切り術，人工関節置換術. 救急医学. 202206; 46(6):708-719.

澤口毅. 大腿骨頚部/転子部骨折診療ガイドライン 2021　改訂第 3 版. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 202208; 8(3):333-336.

山田浩司，岡崎裕司．各種ガイドラインからみた最新の手術部位感染対策と抗菌薬治療．日本整形外科学会雑誌．202210; 96(10):844-851.

書籍等出版物

峰原宏昌．疾患別治療各論　A　整復と固定法. In: 高平尚伸，和田卓郎 編集．年代別四肢骨折治療のアプローチ．東京: 南江堂. 202201. p.56-71.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Minehara H. Basic/Translational Research in Orthopaedic Traumatology. 5th AO TAP Scientific Conference; 20220528; Web.

Minehara H. Existing implants should be removed to control infection. OTA 38th Annual Meeting; 20221014; Tampa, USA.

Sawaguchi T. How did we win policy change for geriatric hip fractures: Early surgery under Orthogeriatric comanagement. 10th Fragility Fracture Network Global Congress 2022; 20221020; Melbourne, Australia.

Sawaguchi T. Practice in musculoskeletal disease - Focusing on FLS. 第 8 回アジアフレイルサルコペニア学会; 20221027; 名古屋.

Minehara H. The role of fix and flap in 2022. 22nd Asia Pacific Orthopaedic Association Congress; 20221125; Web.

Sawaguchi T. Proximal Femoral Osteotomies for Posttraumatic Complications. 22nd Asia Pacific Orthopaedic Association Congress; 20221124-26; Web.

Takenaka N. Rationale of the TCVO. HTO 360°; 20221127; Web.

Teramoto T. Experience of TCVO. HTO 360°; 20221127; Web.

Minehara H. Lower Extremity II. AO Trauma Master Course; 20221211-16; Davos, Switzerland.

寺本司．変形性関節症に対する関節内骨切り術の理論と実際ー特に脛骨顆外反骨切り術と遠位脛骨斜め骨切り術についてー．佐賀県臨床整形外科医会教育研修会; 20220305; 佐賀.

寺本司．外反型変形性足関節症に対する手術方法選択の実際．第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220311; 奈良/Web.

加藤成隆. 高齢者脛骨高原骨折におけるイリザロフ創外固定のコツとピットフォール. 第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220312; 奈良/Web.

髙木基行, **芳野晃**, **荒川郷彦**, **森本麻美**, **原田将太**, **浅原智彦**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **寺本司**. 創外固定を用いた踵骨骨折治療のコツとピットフォール. 第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220312; 奈良/Web.

原田将太, **寺本司**, **荒川郷彦**, **結城拓也**, **森本麻美**, **髙木基行**, **浅原智彦**, **加藤成隆**, **寺本司**, **松下隆**. 4 期変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術による関節温存手術. 第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220311-12; 奈良/Web.

寺本司. 変形性関節症に対する関節内骨切り術の理論と手術主義～特に脛骨顆外反骨切り術と遠位脛骨斜め骨切り術について～. 第 48 回九州膝関節研究会; 20220318; 福岡.

Teramoto T. State of Art: Foot and Ankle Surjery in Japan. 第 16 回日仏整形外科合同会議; 20220405; 奈良.

澤口毅. 大腿骨近位部骨折：早期手術，二次骨折予防ーガイドラインと令和 4 年度診療報酬改定ー. FLS オンラインミーティング; 20220406; Web.

原田将太, **寺本司**, **髙木基行**, **浅原智彦**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **松下隆**. 内反型変形性足関節症における距骨傾斜角の大小は遠位脛骨斜め骨切り術の臨床成績に影響するか. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519; 神戸/Web.

寺本司. Judet の整形外科から、学ぶこと. 第 87 回長崎イリザロフ研究会; 20220521; 長崎.

寺本司. TCVOーみんなが間違うのはどこか？どこが理解できないのか？ 第 88 回長崎イリザロフ研究会; 20220604; 長崎.

竹中信之. 高齢者大腿骨近位部骨折早期手術におけるアセトアミノフェン計画的投与による術後疼痛管理術. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624; 横浜.

加藤成隆, **髙木基行**, **原田将太**, **森本麻美**, **浅原智彦**, **竹中信之**, **寺本司**, **松下隆**. 大腿骨転子部骨折に対する OLHS（オブリーク）を用いた手術手技. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜.

髙木基行, **芳野晃**, **荒川郷彦**, **森本麻美**, **原田将太**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **寺本司**. Sinus tarsi approach を用いた踵骨骨折に対するロッキングプレート固定のコツとピットフォール. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜.

原田将太, **寺本司**, **結城拓也**, **髙木基行**, **浅原智彦**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **松下隆**. 足関節骨折後変形癒合・偽関節・足関節症に対する関節温存骨切り術. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜.

寺本司, **原田将太**, **髙木基行**, **浅原智彦**, **大塚和孝**, **西野雄一朗**, **牧野佳朗**, **田代宏一郎**, **髙木謙司郎**, **西井幸信**. 外反型変形性足関節症に対する手術の実際. 第 8 回九州足の外科研究会; 20220702; 福岡.

加藤成隆，髙木基行，原田将太，森本麻美，結城拓也，竹中信之，寺本司，松下隆．四肢外傷における感染のPET-CTによる診断と創外固定による治療．第45回日本骨・関節感染症学会; 20220708; 金沢.

寺本司，原田将太，髙木基行，浅原智彦．遠位大腿骨関節内骨切り術（Distal femoral Intra-articular Osteotomy:DFIO）の手術手技と臨床成績．第109回長崎整形外科懇話会; 20220709; 長崎.

澤口毅．高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防. FLS連携ミーティング～2022年度診療報酬改定を踏まえて～; 20220719; 守谷.

澤口毅．高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－. Fujisawa Fracture Liaison Service Seminar～FFLSS～; 20220720; 藤沢.

澤口毅．股関節部骨折後障害に対する治療．第6回裏磐梯外傷イリザロフ法セミナー; 20220722-24; 北塩原村.

寺本司．世の中のTCVOの失敗はなぜおこるのか？他の人たちの失敗例から考える．第89回長崎イリザロフ研究会; 20220806; 長崎.

工藤俊哉．下肢開放骨折における創外固定治療　段階的治療について. Stryker webinar; 20220818; Web.

寺本司．外反母趾に足趾の外反を伴った（serpentine foot？）２症例．第8回四国足の外科研究会; 20220820; 高知.

澤口毅．高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－．骨粗鬆症性骨折を考える会; 20220824; Web.

加藤成隆，竹中信之，髙木基行，原田将太，森本麻美，結城拓也，金子洋之，寺本司，松下隆．海外での両大腿・両下腿延長後の感染性偽関節．第27回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20220827; 金沢.

寺本司，大崎祐寿，結城拓也，原田将太，髙木基行，浅原智彦，加藤成隆，竹中信之，松下隆．大腿骨遠位骨端線損傷後の脚長差を伴った内反膝変形の１例．第27回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20220827; 金沢.

原田将太，結城拓也，髙木基行，加藤成隆，金子洋之，竹中信之，寺本司，松下隆．何をやっても癒合しない大腿骨転子部骨折後偽関節の10年経過．第27回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20220827; 金沢.

結城拓也，原田将太，大崎祐寿，髙橋翼，髙木基行，加藤成隆，竹中信之，寺本司，松下隆，紺野愼一．下腿骨幹部骨折後変形治癒に対する回旋矯正骨切り術：症例報告．第27回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20220827; 金沢.

寺本司．「今流行の足の外科」とは全く違う私の足の外科トレンドー果部骨折　踵骨骨折　扁平足　外反母趾　足関節固定術などー．第7回佐世保市臨床整形外科医会学術講演会; 20220909; 佐世保.

竹中信之．外傷治療における合併症（偽関節・変形・感染）の診断と治療・高齢者の外傷とFLS（Fracture Liaison Service）．亀岡市医師会・船井医師会合同災害医療講演会; 20220910; 京都.

竹中信之. 骨折治療から始まる骨粗鬆症治療. これからの骨粗鬆症治療を考える WEB 講演会 2022; 20220913; 郡山/Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折における早期手術加算と二次骨折予防加算について. 富山県整形外科医会学術講演会; 20220914; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－. Hiratsuka Fracture Liaison Service Seminar; 20220915; 平塚.

寺本司. 「今流行りの足の外科とは全く違う私の足の外科とトレンド」－踵骨骨折、扁平足、変形性足関節症、足関節果部骨折など－. 第 90 回長崎イリザロフ研究会; 20220918; 長崎.

工藤俊哉. 四肢外傷再建治療をいかに習得するか－多角的外傷再建チームによる試み－　上肢を中心に. 鶴舞手外科セミナー; 20220922; 名古屋.

工藤俊哉. 安全に、きれいに、ALT を使い倒すための 3 つの手法. 第 8 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20221001; 札幌.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－. Isehara Fracture Liaison Service Seminar～IFLSS～; 20221108; 厚木.

寺本司. 「私の足の外科のトレンド No.2」－変形性足関節症、足関節果部骨折、足関節固定術など－. 第 91 回長崎イリザロフ研究会; 20221009; 長崎.

寺本司, **結城拓也**, **浅原智彦**, **原田将太**, **髙木基行**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **大塚和孝**, **西井幸信**. 外反型変形性足関節症の分類と手術療法の治療成績. 第 47 回日本足の外科学会学術集会; 20221103; 松山.

原田将太, **寺本司**, **結城拓也**, **髙木基行**, **竹中信之**, **松下隆**. 荷重時距骨傾斜角は遠位脛骨斜め骨切り術の臨床成績に影響しない. 第 47 回日本足の外科学会学術集会; 20221103-04; 松山.

結城拓也, **原田将太**, **髙木基行**, **加藤成隆**, **竹中信之**, **寺本司**, **松下隆**, **紺野愼一**. Bosworth 型足関節脱臼骨折に対する手術治療：症例報告. 第 47 回日本足の外科学会学術集会; 20221103-04; 松山.

寺本司. 最近の TCVO の実際について－新しい知見？最近やってることー. 第 92 回長崎イリザロフ研究会; 20221113; 長崎.

寺本司. 変形性関節症に対する関節内骨切り術の理論と手術手技－脛骨顆外反骨切り術（TCVO)と遠位脛骨斜め骨切り術（DTOO)－. 第 6 回京都運動器アップデートセミナー; 20221118; 京都.

寺本司. 脛骨天蓋骨折の典型的な 6 例についての手術方法. 第 110 回長崎整形外科懇話会; 20221119; 長崎.

寺本司. 最近思いついたこと、踵骨外側支柱延長、関節不安定. 第 93 回長崎イリザロフ研究会; 20221217; 長崎.

〔シンポジウム〕

Minehara H. Sacroiliac Joint Open: My Preferred Method of Reconstruction. 48th Annual Meeting of the Korean Fracture Society; 20220429; Web.

澤口毅. Total hip srthroplasty after failed pelvic or femoral osteotomy. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20220122; 奈良.

澤口毅. THA ステム周囲骨折への対処：外傷外科の観点からの治療. 第 52 回日本人工関節学会; 20220225; 京都.

澤口毅. Acute total hip arthroplasty for around the hip fractures. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜.

工藤俊哉. マイクロサージャリーのキャリアアップに必要なもの. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201-02; 浜松.

〔特別講演〕

寺本司. 変形性関節症に対する関節内骨切り術の理論と実際ー特に脛骨顆外反骨切り術と遠位脛骨斜め骨切り術についてー. 佐賀県臨床整形外科医会教育研修会; 20220305; 佐賀.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 二次骨折予防の会 in 鹿児島; 20220607; 鹿児島.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 第 3 回骨連携フォーラム; 20220608; 松山.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 第 3 回郡山二次性骨折予防学術講演会; 20220721; 郡山.

竹中信之. 大腿骨近位部緊急的早期手術体制作りと二次性骨折予防　多職種連携による FLS（骨折リエゾンサービス）の意義. 福島 FLS meeting; 20220728; 郡山.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 二次性骨折予防セミナー; 20220920; 青森.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. ASAHI FLS Start Up Meeting; 20220928; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 第 18 回 Current Opinion Forum; 20221015; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療ー早期手術、周術期管理、二次骨折予防ー. 島根県二次骨折予防を考える会; 20221026; 出雲.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－. FLS Web Seminar; 20221114; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折多職種連携診療－早期手術、周術期管理、二次骨折予防－. 二次性骨折予防地域連携セミナーin 札幌 WEST; 20221117; Web.

竹中信之. 難治性骨折と変形矯正. 第 6 回京都運動器アップデートセミナー; 20221118; 京都.

寺本司. 変形性関節症に対する関節内骨切り術の理論と手術手技－脛骨顆外反骨切り術（TCVO）と遠位脛骨斜め骨切り術（DTOO）－. 第 6 回京都運動器アップデートセミナー; 20221118; 京都.

〔その他〕

竹中信之. 四肢再建術における創外固定法の可能性. 第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220312; 奈良/Web.

工藤俊哉, **高群浩司**, **佐藤宗範**, **仲野隆彦**, **小西浩允**, **亀倉暁**, **松下隆**, **佐野善智**, **鈴木雅生**, **青木浩平**. 上肢 Major 血管損傷における「標準的な」治療－診断と対処、そして生じる新たな問題. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 北九州.

竹中信之. 日本骨折治療学会社会保険等委員会活動. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220625; 横浜.

原田将太. 変形性足関節症（骨切り術）. 第 14 回日本足の外科学会教育研修会; 20220806; 金沢.

原田将太. 足関節果部骨折　AO 分類 type A, B に対する治療. 第 86 回 JABO 研修会; 20220821; 東京/Web.

原田将太. 内反型 OA に対する適応と手術療法（DTOO）. IBRA Advanced Course; 20220924; 札幌/Web.

工藤俊哉. 上肢機能再建と組織欠損再建　何をどこまで、どうやって. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201-02; 浜松.

外傷再建学講座

論　　文

〔原　著〕

過年業績

佐藤俊介，**畑下智**．橈骨遠位端骨折の機能成績には精神医学的問題が関係する BS-POP による検討．日本手外科学会雑誌. 202111; 38(2):28-32.

〔総説等〕

伊藤雅之．【外傷再建　いま、何ができるのか、どこまでできるのか】外傷再建へのアプローチ　外傷再建外科の目指すもの．救急医学. 202206; 46(6):632-636.

畑下智．【外傷再建　いま、何ができるのか、どこまでできるのか】外傷再建へのアプローチ　外傷再建のために、外傷再建医に求められる役割・考え方．救急医学. 202206; 46(6):644-652.

〔その他〕

Sasaki N, Kawakami R, Toshiki N, Yamada H, Hakozaki M, Konno S. Fibulo-Scapho-Lunate Arthrodesis with Free Vascularized Fibular Graft for a Japanese Kyudo Archer with Osteosarcoma of the Left Distal Radius: A Case Report. Cancer Diagnosis & Prognosis. 202207; 2(4):489-495.

佐藤俊介，**畑下智**，**増子遼介**，**水野洋佑**，**川上亮一**，**伊藤雅之**．伸筋群挫滅欠損を伴う前腕開放骨折の 1 例．日本マイクロサージャリー学会会誌. 202212; 35(4):144-150.

草野敬悟，**畑下智**，**佐藤俊介**，**三澤友誉**，**伊藤雅之**．踵骨嘴状骨折術後にアキレス腱付着部骨折を来した症例．東北整形災害外科学会雑誌. 202206; 65(1):145-151.

佐藤俊介，**畑下智**，**川前恵史**，**伊藤雅之**，**紺野愼一**．距骨の解剖学的位置の整復と保持に創外固定が有用であった足関節内変形治癒骨折の 1 例．日本四肢再建・創外固定学会雑誌. 202204; 33:67-73.

過年業績

伊藤雅之. Hip dislocation and fracture. AO trauma webinar; 20210218; Web.

伊藤雅之．大腿骨転子部骨折. Hip total solution seminar; 20210220; Web.

書籍等出版物

伊藤雅之. 【第１章】寛骨臼骨折；04 手術の実際 2 Trochanteric flip osteotomy. In: 澤口毅 監修. 整形外科 Surgical Technique BOOKs 9 骨盤骨折 寛骨臼骨折・骨盤輪骨折の手術手技. 大阪: メディカ出版; 202207. p.38-48.

伊藤雅之. Ⅱ大腿骨骨折；大腿骨頚部骨折・人工物置換. In: 野田知之 編. 新 OS NEXUS No.4 下肢の骨折手術 1 骨盤・大腿骨. 東京: メジカルビュー社; 202211. p.102-110.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

畑下智，佐藤俊介，千葉紀之，川前恵史，渡邉剛広，増子遼介，水野洋佑，須藤洋輔，反町光太朗，伊藤雅之. 肘関節外側側副靭帯損傷手術例における肘関節周囲合併損傷の検討. 第 34 回日本肘関節学会; 20220211-12; 名古屋. 日本肘関節学会雑誌. 29(1):21.

千葉紀之，畑下智. 大腿骨インプラント周囲骨折. 3rd Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

増子遼介，畑下智. 大腿骨転子下骨折. 3rd Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

川前恵史. 足関節果部骨折. 3rd Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

佐藤俊介，畑下智，伊藤雅之. 関節内 Smith 骨折に対し、一時的創外固定は背側骨片の整復に有用である. 第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会; 20220311-12; Web. プログラム・抄録集. 116.

佐藤俊介，畑下智，千葉紀之，川前恵史，伊藤雅之. 橈骨遠位端骨折の背側骨片に着目し、伸筋腱皮下断裂のリスクを予見する. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):4-3.

千葉紀之，畑下智，佐藤俊介，川前恵史. trans-FCR アプローチの橈側手根屈筋腱腱鞘を切開して侵入する操作は、橈骨遠位端骨折の術後成績に影響するか？ 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):8-6.

利木成広，江尻荘一，長島智春，佐々木信幸，亀田拓哉，紺野愼一，川上亮一. 豆状三角骨関節症による環小指屈筋腱皮下断裂の治療経験. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):17-1.

畑下智，古月顕宗，江尻荘一，川上亮一，佐藤俊介，川前恵史，千葉紀之. Sauve-Kapandji 法と Darrach 法における、尺骨近位断端の術後手関節 X 線所見の比較検討. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):39-1.

川前恵史，畑下智，千葉紀之，佐藤俊介. Radial inclination の整復に注目した橈骨遠位端骨折の治療成績. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):42-1.

江尻荘一，利木成広，長島智春，紺野愼一，鈴木丈夫. 母指 CM 関節症に対する Weilby 関節形成術の治療成績. 第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉. 日本手外科学会雑誌. 39(1):56-1.

長島智春，江尻荘一，利木成広，鈴木丈夫. 手関節部骨折後に生じた尺側手根伸筋腱断裂の 2 例. 第 11 回光が丘会津会; 20220513; 会津若松.

長島智春，江尻荘一，利木成広，鈴木丈夫，紺野愼一. 母指関節破壊に対して肋軟骨移植術を施行した慢性再発性多発性骨髄炎の 1 例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台. プログラム・抄録集. 103.

利木成広，江尻荘一，川前恵史，紺野愼一. IgG 4 関連疾患の滑膜炎による手指伸筋腱断裂の 1 例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台. プログラム・抄録集. 148.

小林賢司，二階堂琢也，畑下智，中村正隆，渡邊和之，加藤欽志，小林洋，小林良浩，大谷晃司，矢吹省司，紺野愼一. 胸腰椎破裂骨折における経皮的脊椎後方固定抜釘後の矯正損失：骨折型による比較. 第 12 回最小侵襲脊椎治療学会; 20220623-25; 富山.

川前恵史，伊藤雅之，佐藤俊介，反町光太朗，千葉紀之，畑下智. 足関節脱臼骨折における三角靱帯完全断裂に対する人工靱帯を用いた三角靱帯深層の機能的修復　3 例報告. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:188.

反町光太朗，畑下智，佐藤俊介，千葉紀之，川前恵史，新田夢鷹，菅谷岳広，伊藤雅之. 二村分類 1 型大腿骨転子間骨折術後の過度な頸部 sliding を回避するには？ 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:202.

増子遼介，畑下智. 橈骨遠位端骨折に対する超音波下整復は、透視下整復に匹敵する整復位獲得が可能である. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:234.

佐藤俊介，川前恵史，新田夢鷹，渡邉剛広，反町光太朗，千葉紀之，伊藤雅之，畑下智. 大腿骨インプラント周囲骨折に対する Whole Span Plating は術後新規インプラント周囲骨折を予防できる. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:254.

畑下智，佐藤俊介，反町光太朗，増子遼介，須藤洋輔，水野洋佑，新田夢鷹，川前恵史，千葉紀之，伊藤雅之. 外旋介達外力による下腿骨幹部螺旋骨折は、元々の脛骨の外捻が関与しているのか？ 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:291.

千葉紀之，川前恵史，反町光太朗，佐藤俊介，伊藤雅之，畑下智. 比較的高エネルギー損傷により生じる整復困難な大腿骨転子部骨折. 第 48 回日本骨折治療学会学術集会; 20220624-25; 横浜. 骨折. 44:315.

畑下智，佐藤俊介，川前恵史，反町光太朗，千葉紀之，金子直樹，古月拓巳，長島智春，伊藤雅之，川上亮一. Gustilo 分類 type IIIB 下腿開放骨折に対し,『損傷要因による開放骨折形態分類』は皮弁選択の判断の一助に

なる. 第 71 回東日本整形災害外科学会; 20220916-17; 品川. 東日本整形災害外科学会雑誌. 34(3):238.

佐藤俊介, **畑下智**, **反町光太朗**, **川前恵史**, **伊藤雅之**. 重度四肢外傷に対する遊離皮弁において、超音波エコーのパルスドプラモードを用いた recipient 血管評価は有用である. 第 8 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20220930-1001; 札幌.

畑下智. よくある Gustilo 3A/B 境界領域下腿開放骨折の 1 例. 第 8 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20220930-01; 札幌.

畑下智, **佐藤俊介**, **川前恵史**, **反町光太朗**, **千葉紀之**, **金子直樹**, **長島智春**, **伊藤雅之**, **川上亮一**. 持続局所抗菌薬灌流療法により骨折内固定後深部感染の治療はどう変わるのか? 第 8 回日本重度四肢外傷シンポジウム; 20220930-01; 札幌.

普久原朝海, **伊藤雅之**, **平野優樹**, **須藤洋輔**, **小牟田佑樹**, **鈴木勇人**, **渡邉信**, **川島寛之**, **伊藤雅之**. 高齢者寛骨臼骨折の手術成績. 第 49 回日本股関節学会学術集会; 20221028-29; 山形. プログラム・抄録集. 239.

伊藤雅之. セメントレス人工股関節周囲骨折の治療. 第 49 回日本股関節学会学術集会; 20221028-29; 山形. プログラム・抄録集. 281.

杉田大輔, **堀米洋二**, **野崎あさみ**, **木村圭志**, **伊藤雅之**, **遠藤直人**. 二次骨折予防リエゾンサービスを開始した短期の活動報告. 第 49 回日本股関節学会学術集会; 20221028-29; 山形. プログラム・抄録集. 446.

山口百恵, **平野浩子**, **伊藤雅之**. 若年者股関節鏡視下手術患者の退院時相談に向けた取り組み. 第 49 回日本股関節学会学術集会; 20221028-29; 山形. プログラム・抄録集. 495.

佐藤俊介, **畑下智**. 後脛骨動脈損傷を放置した、Gustilo IIIB 脛骨開放性ピロン骨折の 1 例. 東北重度四肢外傷「初期治療」Peer Review Web Meeting; 202212; Web.

佐藤俊介, **畑下智**. 受傷後 11 時間経過して紹介された、外傷性膝関節脱臼に伴う膝窩動脈損傷の 1 例. 第 11 回重度四肢外傷 micro surgery meeting; 202212; Web.

畑下智, **佐藤俊介**, **川前恵史**, **反町光太朗**, **千葉紀之**, **金子直樹**, **古月拓巳**, **長島智春**, **伊藤雅之**, **川上亮一**. Gustilo 分類 type IIIB 下腿開放骨折に対し,『損傷要因による開放骨折形態分類』は皮弁選択の判断の一助になる. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201-02; 浜松. プログラム・抄録集. 245.

佐藤俊介, **畑下智**, **反町光太朗**, **川前恵史**, **伊藤雅之**, **紺野愼一**. 重度四肢外傷での遊離皮弁において、超音波エコーパルスドプラモードによる recipient 血管評価は有用である. 第 49 回日本マイクロサージャリー学会学術集会; 20221201-02; 浜松. プログラム・抄録集. 207.

〔特別講演〕

Ito M. Total hip arthroplasty for acetabular fracture. 66th Annual Congress of the Korean Orth0paedic Association; 20221013-15; Seoul, Korea.

Ito M. Acetabular Reconstruction for Severe Acetabular Bone Loss. AO Recon Seminar - Current Topics and Key Updates on Hip and Knee Arthroplasty; 20221012; Seoul, Korea.

Ito M. Pelvic discontinuity: open reduction and internal fixation (ORIF), cup cage, distraction. AO Davos Courses: AO Recon Course- Complex Total Hip and Knee Arthroplasty; 20221205; Davos, Switzerland.

Ito M. Internal fixation for hip femoral periprosthetic fractures. AO Davos Courses: AO Recon Course- Complex Total Hip and Knee Arthroplasty; 20221206; Davos, Switzerland.

佐藤俊介. 外傷性肘不安定症&Terrible Triad Injury. レジランド Residentconference Land 5; 20220304; Web.

佐藤俊介. 橈骨頭・頚部骨折. 3nd. Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

伊藤雅之. 大腿骨頚部骨折. 3nd. Academy of Orthopaedic Trauma in Tohoku (AOTT); 20220319; Web.

反町光太郎, **畑下智**. 整形外科医がやらなきゃいけない救急外来での全身管理単独四肢外傷の中の全身管理. 第 1 回重度四肢外傷タックル; 20220429; Web.

伊藤雅之. ランチョンセミナー6　鎖骨治療法の変遷と新しい髄内釘固定術　スレッド付鎖骨髄内釘の使用経験. 第 95 回日本整形外科学会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(2):59.

伊藤雅之. 教育研修講演 54　骨盤骨折の手術手技 up to date　寛骨臼骨折に対する人工股関節全置換術. 第 95 回日本整形外科学会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(3):984.

伊藤雅之. 外傷再建外科：整形外科の総力を使ってみる. 第 14 回千葉整形外傷研究会; 20220514; Web.

伊藤雅之. 股関節鏡　外傷治療に活用するための工夫. 第 18 回岡山関節鏡・内視鏡研究会; 20220604; 岡山.

畑下智. デブリドマンの在り方. 重度開放骨折ベーシックセミナー; 20220710; Web.

畑下智. 避けられた外傷後遺障害は如何にして減らすことができるのか？　整形外傷専門医・専門施設の必要性. 福島県立医科大学整形外科同門会 (福島整形外科ミーティング); 20220702; 郡山.

佐藤俊介. 高齢者の上腕骨近位部骨折. レジランド Resident conference Land 14; 20220715; Web.

伊藤雅之. 整形外科の魅力　股関節周囲骨折の治療を例に. 令和 4 年度京整会秋季研修会; 20220827; 京都.

反町光太郎, **畑下智**. 骨折治療の骨　～救急医の視点から伝えたいあんなこと、こんなこと～. 第 51 回 Fukushima Advanced Course by Expert (FACE); 20220903; Web.

畑下智. 外傷再建　有茎皮弁を選択するとき. OTM Fix and Flap Surgery; 20221015; 川崎.

伊藤雅之. 骨盤周囲外傷を整形外科の視点で診る. 第 53 回北九州骨・関節セミナー; 20221129; 北九州.

伊藤雅之. 外傷再建外科の目指すもの. マスターNight 整形外科外傷センター(ユニット)構築シンポジウム. 20221105; Web.

過年業績

伊藤雅之. 外傷と再建の組み合わせで外傷治療を考える. 燕市医師会講演会; 20210302; Web.

生体機能イメージング講座

論　文

〔原　著〕

Nakaya M, Sato N, Matsuda H, Maikusa N, Shigemoto Y, Sone D, Yamao T, Ogawa M, Kimura Y, Chiba E, Ohnishi M, Kato K, Okita K, Tsukamoto T, Yokoi Y, Sakata M, Abe O. Free water derived by multi-shell diffusion MRI reflects tau/neuroinflammatory pathology in Alzheimer's disease. Alzheimer's & Dementia. 202210; 8(1):e12356.

Toyohara J, Sakata M, Wagatsuma K, Tago T, Ishibashi K, Ishii K, Elsinga P, Ishiwata K. Test-retest reproducibility of cerebral adenosine A2A receptor quantification using [^{11}C]preladenant. Annals of Nuclear Medicine. 202201; 36(1):15-23.

Kubota K, Saginoya T, Ishiwata K, Nakasato T, Munechika H. [^{18}F]FDG uptake in axillary lymph nodes and deltoid muscle after COVID-19 mRNA vaccination: a cohort study to determine incidence and contributing factors using a multivariate analysis. Annals of Nuclear Medicine. 202204; 36(4):340-350.

Shigemoto Y, Matsuda H, Kimura Y, Chiba E, Ohnishi M, Nakaya M, Maikusa N, Ogawa M, Mukai Y, Takahashi Y, Sako K, Toyama H, Inui Y, Taki Y, Nagayama H, Ono K, Kono A, Sekiguchi K, Hirano S, Sato N. Voxel-based analysis of age and gender effects on striatal [^{123}I] FP-CIT binding in healthy Japanese adults. Annals of Nuclear Medicine. 202203; 36(5):460-467.

Matsuda H, Okita K, Motoi Y, Mizuno T, Ikeda M, Sanjo N, Murakami K, Kambe T, Takayama T, Yamada K, Suehiro T, Matsunaga K, Yokota T, Tateishi U, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Kawashima T, Tomo Y, Tachimori H, Kimura Y, Sato N. Clinical impact of amyloid PET using 18F-florbetapir in patients with cognitive impairment and suspected Alzheimer's disease: a multicenter study. Annals of Nuclear Medicine. 202212; 36(12):1039-1049.

Matsuda H, Yamao T. Software development for quantitative analysis of brain amyloid PET. Brain and Behavior. 202203; 12(3):e2499.

Beheshti I, Maikusa N, Matsuda H. The accuracy of T1-weighted voxel-wise and region-wise metrics for brain age estimation. Computer Methods and Programs in Biomedicine. 202202; 214:106585.

Sone D, Sato N, Shigemoto Y, Kimura Y, Matsuda H. Upper cerebellar glucose hypermetabolism in patients with temporal lobe epilepsy and interictal psychosis. Epilepsia Open. 202212; 7(4):657-664.

Okita K, Matsumoto T, Funada D, Murakami M, Kato K, Shigemoto Y, Sato N, Matsuda H. Potential treat-to-target approach for methamphetamine use disorder: a pilot study of adenosine 2A receptor antagonist with positron emission tmography. Frontiers in Pharmacology. 202205; 13:820447.

Ota M, Sato N, Nakaya M, Shigemoto Y, Kimura Y, Chiba E, Yokoi Y, Tsukamoto T, Matsuda H. Relationships Between the Deposition of Amyloid-β and Tau Protein and Glymphatic System Activity in Alzheimer's Disease: Diffusion Tensor Image Study. Journal of Alzheimer's disease. 2022; 90(1):295-303.

Hama Y, Saitoh Y, Imabayashi E, Morimoto Y, Tsukamoto T, Sato K, Kitamoto T, Mizusawa H, Matsuda H, Takahashi Y. ^{18}F-THK5351 positron emission tomography imaging for Gerstmann-Sträussler-Scheinker disease. Journal of the Neurological Sciences. 202210; 441:120379.

Saitoh Y, Imabayashi E, Mizutani M, Tsukamoto T, Hasegawa M, Saito Y, Matsuda H, Takahashi Y. ^{18}F-THK5351 PET for visualizing predominant lesions of pathologically confirmed corticobasal degeneration presenting with frontal behavioral-spatial syndrome. Journal of Neurology. 202209; 269(9):5157-5161.

Maikusa N, Shigemoto Y, Chiba E, Kimura Y, Matsuda H, Sato N. Harmonized Z-Scores Calculated from a Large-Scale Normal MRI Database to Evaluate Brain Atrophy in Neurodegenerative Disorders. Journal of Personalized Medicine. 202209; 12(10):1555.

Ishibashi K, Miura Y, Wagatsuma K, Toyohara J, Ishiwata K, Ishii K. Adenosine A_{2A} receptor occupancy by caffeine after coffee intake in Parkinson's disease. Movement Disorders. 202204; 37(4):853-857.

Fujishima M, Matsuda H. Non-standard pipeline without MRI has replicability in computation of Centiloid scale values for PiB and ^{18}F-labeled amyloid PET tracers. Neuroimage. Reports. 202209; 2(3):100101.

Sultana N, Sarkar AK, Matsuda H, Ihsan MA, Haq SA, Arefin MS, Islam SN. Relationship Between Vitamin D Status and Brain Perfusion in Neuropsychiatric Lupus. Nuclear Medicine and Molecular Imaging. 202206; 56(3):158-168.

Nishikawa N, Murata M, Hatano T, Mukai Y, Saitoh Y, Sakamoto T, Hanakawa T, Kamei Y, Tachimori H, Hatano K, Matsuda H, Taruno Y, Sawamoto N, Kajiyama Y, Ikenaka K, Kawabata K, Nakamura T, Iwaki H, Kadotani H, Sumi Y, Inoue Y, Hayashi T, Ikeuchi T, Shimo Y, Mochizuki H, Watanabe H, Hattori N, Takahashi Y, Takahashi R; Japan Parkinson's Progression Markers Initiative (J-PPMI) study group. Idiopathic rapid eye movement sleep behavior disorder in Japan: An observational study. Parkinsonism & Related Disorders. 202210; 103:129-135.

Tamura T, Sugihara G, Okita K, Mukai Y, Matsuda H, Shiwaku H, Takagi S, Daisaki H, Tateishi U, Takahashi H. Dopamine dysfunction in depression: application of texture analysis to dopamine transporter single-photon emission computed tomography imaging. Translational Psychiatry. 202208; 12(1):309.

〔総説等〕

重本蓉子，**松田博史**．特集・認知症の画像診断アップデート　脳内ネットワーク解析. Medical Imaging Technology. 202205; 40(3):103-107.

松田博史．【最新臨床脳卒中学（第２版）上ー最新の診断と治療ー】画像診断　SPECT. 日本臨床. 202201; 80(増刊):480-486.

松田博史，**曽根大地**，**重本蓉子**，**佐藤典子**. MRI による NODDI、構造ネットワーク、脳年齢. Dementia Japan. 202209; 36(3):416-422.

松田博史. easy Z-score Imaging System(eZIS)と Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Disease(VSRAD)開発の経緯. 臨床放射線. 202209; 67(9):973-981.

書籍等出版物

松田博史. 統計的脳画像解析. In: 大西英雄, 本村信篤, 松友紀和 共編. 核医学検査技術学　改訂４版（放射線技術学シリーズ）. 東京: オーム社; 202203. p.268-271.

松田博史. 画像診断. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.45-56.

松田博史. Alzheimer 病. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.62-66.

松田博史. 正常圧水頭症. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.167-170.

松田博史. 慢性硬膜下血腫. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.174-177.

松田博史. アルコール性認知症. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.252-256.

松田博史. うつ病. In: 松田博史, 朝田隆. こう読む　認知症原因診断のための脳画像ー内科系と脳外科の診断流儀ー　改訂第２版. 東京: ぱーそん書房; 202211. p.303-306.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Matsuda H, Hanyu H, Kaneko C. Centiloid scale measure of amyloid PET by CT-guided anatomic standardization. Alzheimer's Association International Conference 2022; 20220731; SanDiego, USA/Web.

窪田和雄，鷺野谷利幸，中里龍彦，宗近宏次，石渡喜一. コロナワクチン接種による腋窩リンパ節、三角筋のFDG 集積：多変量解析でわかったこと. 第 96 回日本核医学会関東甲信越地方会; 20220129; Web.

松田博史，羽生春夫. 18F-NAV4694 と 18F-MK6240 PET の認知症における初期経験. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220909-11; 京都.

松田博史，羽生春夫，金子知香子. CT を用いたアミロイド PET のセンチロイドスケール測定. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220909-11; 京都.

松田博史，羽生春夫，金子知香子. 認知症における 18F-NAV4694 と 18 F-MK6240 PET の有用性. 第 41 回日本認知症学会学術集会; 20221125; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

松田博史. シンポジウム 2　認知症、頭部 MRI による認知症診断 Update　3 次元 T1 強調画像により測定したスモールワールド性の認知症予防における意義. 第 31 回日本脳ドック学会総会; 20220623; 大磯町.

〔特別講演〕

松田博史. アミロイド PET の読影と定量. PET サマーセミナー2022 in 甲府; 20220729; 甲府.

〔招待講演〕

Matsuda H. New Trends in Amyloid and Tau PET in Alzheimer's disease. International symposium on Neuro-Nuclear Medicine; 20220527; Web.

Matsuda H. Amyloid and Tau PET in Alzheimer's disease. Joint Symposium on Nuclear Cardiology and Neurology Taiwan Society of Nuclear Medicine 2022; 20220618; Web.

Matsuda H, Hanyu H. Early experience of 18F-NAV4694 and 18F-MK6240 for amyloid and tau PET in dementia. 5th Cognitive Impairment Symposium; 20220906; Kyoto.

〔その他〕

小倉正人. 午後の学校＜薬剤＞みんなで語ろう！院内製造 FDG. PET サマーセミナー2022 in 甲府; 20220730; 甲府.

松田博史. 脳 SPECT 最近の進歩. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220909-11; 京都.

松田博史. 知っておきたい認知症診療のエッセンス. 第 41 回日本認知症学会学術集会; 20221125-27; 東京.

多発性硬化症治療学講座

論　文

〔原　著〕

Iwamoto S, Itokazu T, Sasaki A, Kataoka H, Tanaka S, Hirata T, Miwa K, Suenaga T, Takai Y, Misu T, Fujihara K, Yamashita T. RGMa signal in macrophages induces neutrophil-related astrocytopathy in NMO. Annals of Neurology. 202204; 91(4):532-547.

Al-Diwani A, Theorell J, Damato V, Bull J, McGlashan N, Green E, Kienzler AK, Harrison R, Hassanali T, Campo L, Browne M, Easton A, Soleymani Majd H, Tenaka K, Iorio R, Dale RC, Harrison P, Geddes J, Quested D, Sharp D, Lee ST, Nauen DW, Makuch M, Lennox B, Fowler D, Sheerin F, Waters P, Leite MI. Cervical lymph nodes and ovarian teratomas as germinal centres in NMDA receptor-antibody encephalitis. Brain. 202208; 145(8):2742-2754.

Tanaka M, Fujihara K. Difference of anti-viral immunity induced by two mRNA vaccines: Implications in MS patients treated with anti-CD20-depleting therapy. Clinical and Experimental Neuroimmunology. 202202; 13(1):5-6.

Menjo K, Ashida S, Murata S, Tanaka E, Fujii C, Tanaka M, Tanaka K, Kanbayashi T, Mizuno T. MOG-antibody-associated disorder with hypothalamic lesions associated with hypersomnia and decrease of orexin in CSF: A case report. Clinical and Experimental Neuroimmunology. 202211; 13(4):251-255.

Tanaka K, Tani T, Ogawa K, Kinoshita M, Tanaka M. Trial of cytotoxic T cell induction in mice as an ex vivo model of paraneoplastic neurologic syndrome with anti - Hu antibodies. Clinical and Experimental Neuroimmunology. 202211; 13(4):316-322.

Akaishi T, Himori N, Takeshita T, Misu T, Takahashi T, Takai Y, Nishiyama S, Kaneko K, Fujimori J, Ishii T, Aoki M, Fujihara K, Nakazawa T, Nakashima I. Follow-up of retinal thickness and optic MRI after optic neuritis in anti-MOG antibody-associated disease and anti-AQP4 antibody-positive NMOSD. Journal of the Neurological Sciences. 202206; 437:120269.

Akaishi T, Misu T, Fujihara K, Takahashi T, Takai Y, Nishiyama S, Kaneko K, Fujimori J, Ishii T, aoki M, Nakashima I. Relapse activity in the chronic phase of anti-myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease. Journal of Neurology. 202206; 269(6):3136-3146.

Pittock SJ, Fujihara K, Palace J, Berthele A, Kim HJ, Oreja-Guevara C, Nakashima I, Levy M, Shang S, Yountz M, Miller L, Armstrong R, Wingerchuk DM; PREVENT Study Group. Eculizumab monotherapy for NMOSD: Data from PREVENT and its open-label extension. Multiple Sclerosis. 202203; 28(3):480-486.

Marignier R, Pittock SJ, Paul F, Kim HJ, Bennett JL, Weinshenker BG, Wingerchuk DM, Green AJ, Fujihara K, Cutter G, Aktas O, Hartung HP, Drappa J, Ratchford JN, She D, Smith M, Rees W, Cimbora D, Katz E, Cree BAC; N-MOmentum study investigators. AQP4-IgG seronegative patient outcomes in the N-MOmentum trial of inebilizumab in neuromyelitis optica spectrum disorder. Multiple Sclerosis and Related Disorders. 202201; 57:103356.

Yamamura T, Araki M, Fujihara K, Okuno T, Misu T, Guo YC, Hemingway C, Matsushima J, Sugaya N, Yamashita M, von Büdingen HC, Miyamoto K. Exploring steroid tapering in patients with neuromyelitis optica spectrum disorder treated with satralizumab in SAkuraSky: a case series. Multiple Sclerosis and Related Disorders. 202205; 61:103772.

Tanaka K, Nagaishi A, Matsui M. Autoimmunity to ion channels in neurological diseases–Autoimmunity to aquaporin water channels. Neurology and Clinical Neuroscience. 20220628; doi: 10.1111/ncn3.12653.

Wingerchuk DM, Zhang I, Kielhorn A, Royston M, Levy M, Fujihara K, Nakashima I, Tanvir I, Paul F, Pittock SJ. Network Meta-analysis of Food and Drug Administration-approved Treatment Options for Adults with Aquaporin-4 Immunoglobulin G-positive Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder. Neurology and Therapy. 202205; 11(1):123-135.

Kissani N, Ouadika RJB, Kishk NA, Chaymae O, Ibrahim EAA, Maiga Y, Paul R, Daniel GM, Hamid A, Assogba K, Gaye NM, Hor JY, Tegueu CK, Marignier R, Palace J, Weinshenker BG, Ragab AH, Fujiharaa K. Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders in Africa (A Narrative Review of 622 Cases). Open Access Library Journal. 202212; 9(12):e9649.

Okamoto S, Takaki M, Hinotsu K, Kawai H, Sakamoto S, Okahisa Y, Takao S, Tsutsui K, Kanbayashi T, Tanaka K, Yamada N. Impairment of early neuronal maturation in anti-NMDA-receptor encephalitis. Psychopharmacology. 202202; 239(2):525-531.

Hinotsu K, Miyaji C, Yada Y, Kawai H, Sakamoto S, Okahisa Y, Tsutsui K, Kanbayashi T, Tanaka K, Takao S, Kishi Y, Takaki M, Yamada N. The validity of atypical psychosis diagnostic criteria to detect anti-NMDA receptor encephalitis with psychiatric symptoms. Schizophrenia Research. 202210; 248:292-299.

〔総説等〕

Bennett JL, Aktas O, Rees WA, Smith MA, Gunsior M, Yan L, She D, Cimbora D, Pittock SJ, Weinshenker BG, Paul F, Marignier R, Wingerchuk D, Cutter G, Green A, Hartung HP, Kim HJ, Fujihara K, Levy M, Katz E, Cree BAC; N-MOmentum study investigators. Association between B-cell depletion and attack risk in neuromyelitis optica spectrum disorder: An exploratory analysis from N-MOmentum, a double-blind, randomised, placebo-controlled, multicentre phase 2/3 trial. EBioMedicine. 202212; 86:104321.

Petzold A, Fraser CL, Abegg M, Alroughani R, Alshowaeir D, Alvarenga R, Andris C, Asgari N, Barnett Y, Battistella R, Behbehani R, Berger T, Bikbov MM, Biotti D, Biousse V, Boschi A, Brazdil M, Brezhnev A, Calabresi PA, Cordonnier M, Costello F, Cruz FM, Cunha LP, Daoudi S, Deschamps R, de Seze J, Diem R, Etemadifar M, Flores-Rivera J, Fonseca P, Frederiksen J, Frohman E, Frohman T, Tilikete CF, Fujihara K, Gálvez A, Gouider R, Gracia F, Grigoriadis N, Guajardo JM, Habek M, Hawlina M, Martínez-Lapiscina EH, Hooker J, Hor JY, Howlett W, Huang-Link Y, Idrissova Z, Illes Z, Jancic J, Jindahra P, Karussis D, Kerty E, Kim HJ, Lagrèze W, Leocani L, Levin N, Liskova P, Liu Y, Maiga Y, Marignier R, McGuigan C, Meira D, Merle H, Monteiro MLR, Moodley A, Moura F, Muñoz S, Mustafa S, Nakashima I, Noval S, Oehninger C, Ogun O, Omoti A, Pandit L, Paul F, Rebolleda G, Reddel S, Rejdak K, Rejdak R, Rodriguez-Morales AJ, Rougier MB, Sa MJ, Sanchez-Dalmau B, Saylor D, Shatriah I, Siva A, Stiebel-Kalish H, Szatmary G, Ta L, Tenembaum S, Tran H, Trufanov Y, van Pesch V, Wang AG, Wattjes MP, Willoughby E, Zakaria M, Zvornicanin J, Balcer L, Plant GT. Diagnosis and classification of optic neuritis. Lancet Neurology. 202212; 21(12):1120-1134.

Kleiter I, Traboulsee A, Palace J, Yamamura T, Fujihara K, Saiz A, Javed A, Mayes D, von Büdingen HC, Klingelschmitt G, Stokmaier D, Bennett JL. Long-term efficacy of satralizumab in AQP4-IgG-seropositive neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD) from SAkuraSky and SAkuraStar. Neurology® Neuroimmunology & Neuroinflammation. 202212; 10(1):e200071.

Joen MY, Seok JM, Fujihara K, Kim BJ. Autoantibodies in central nervous system and neuromuscular autoimmune disorders A narrative review. Precision and Future Medicine. 202206; 6(2):105-116.

田中惠子. 抗 NMDA 受容体脳炎. 炎症と免疫. 202206; 30(4):349-353.

田中惠子. 【免疫性神経疾患（第 2 版）－基礎・臨床の最新知見－】内科疾患や腫瘍に伴う神経免疫疾患　傍腫瘍性神経症候群. 日本臨床. 202205; 80(増刊 5):513-519.

田中惠子. 傍腫瘍性神経症候群における抗神経抗体と神経症候. 脳神経内科. 202203; 96(3):262-267.

田中惠子. 【治せる認知症・認知症様状態を見逃さないために】日常臨床で遭遇する治療可能な認知症・認知症様状態　自己免疫性脳炎. 臨床と研究. 202211; 99(11):27-31.

〔その他〕

筒井幸，**神林崇**，**加藤倫紀**，**嵯峨佑史**，**三島和夫**，**清水徹男**，**加藤征夫**，**田中惠子**. 抗体介在性自己免疫性脳炎と精神医学 抗体介在性自己免疫性脳炎と精神症状. 精神神経学雑誌. 202204; 124(4 付録):S-448.

書籍等出版物

田中惠子. 第 20 章　悪性腫瘍に伴うニューロパチー. In: 神田隆. 末梢神経障害：解剖生理から診断，治療，リハビリテーションまで. 東京: 医学書院; 202210. p.340-349.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

田中惠子. アイザックス症候群・スティッフパーソン症候群：疫学調査. 神経免疫班　班会議; 20220113-14; 東京.

田中惠子. 広がり続ける自己免疫性脳炎スペクトラム. 大日本住友製薬セミナーin 秋田; 20220218; 秋田.

田中惠子. 自己免疫性脳炎・脳症の広がりとその背景要因に関する考察. 第 118 回日本精神神経学会学術総会; 20220616-18; 福岡/Web.

田中惠子. 辺縁系脳炎と自己抗体. 金沢医大神経内科医局セミナー; 20220701; 金沢.

田中惠子. 自己抗体が介在する中枢神経自己免疫疾患ー抗体の標的と運動異常症ー. 第 16 回パーキンソン病・運動障害疾患コングレス; 20220721-23; 東京/Web.

田中惠子. 自己免疫性脳炎と認知症. ハッピーフェースセミナー茨城 2022; 20220805; つくば/Web.

田中惠子. 自己免疫性脳炎における発作性症状. 第 15 回アルツハイマー病とてんかんを考える会; 20220912; 京都.

田中惠子. 自己免疫性脳炎と自己抗体　Up-to-date（イブニングセミナー）. 第 34 回日本神経免疫学会学術集会; 20221020-21; 長崎.

田中惠子. 抗 MOG 抗体陽性疾患の臨床スペクトラム（モーニングセミナー）. 第 40 回日本神経治療学会学術集会; 20221102-04; 郡山.

田中惠子. 自己免疫性中枢神経炎症性疾患　自己抗体が関連する疾患群（マラソンレクチャー）. 第 40 回日本神経治療学会学術集会; 20221102-04; 郡山.

田中惠子. 傍腫瘍性神経症候群　Up-to-date（シンポジウム）. 第 40 回日本神経治療学会学術集会; 20221102-04; 郡山.

田中惠子. 見逃されやすい自己免疫性脳炎. 西北五地区精神科医会; 20221130; 青森.

〔招待講演〕

Fujihara K. Case 1: A 44yo man who had aphasia 5 years after brainstem encephalitis, Case 2: A 28yo woman who had weakness and hearing impairment. 3rd Annual Congress of Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS); 20220129; Colombo, Sri Lanka/Web.

Fujihara K. CNS Demyelination: recent advances and challenges, Therapeutic advances in NMOSD. 3rd

Annual Congress of Sri Lankan Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS); 20220129; Colombo, Sri Lanka/Web.

Fujihara K. Autoantibody assay methods and their interpretation. Pan-Asian Course for Training in MS And Neuroimmunology (PACTMAN); 20220224; Web.

Fujihara K. SESSION 6 - Special session on NMOSD and other IIDMD of the CNS: NMOSD 2022 - an update. Istanbul MS Days VII; 20220309-11; Cappadocia, Turkey/Web.

Fujihara K. When, how and which patient to assess AQP4-IgG and/or MOG-IgG: practical considerations. 2nd Latin American Virtual Symposium "NMOSD and MOGAD in LATAM: improving patient care"; 20220610; Web.

Fujihara K. Geographic considerations- Asian region. Virtual meeting of International Advisory Committee on Clinical Trials in MS; 20220615-16; Web.

Fujihara K. CTRIMS Session: PACTRIMS and research of MS and related diseases in Asia. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS). 23rd Annual Meeting; 20220616; Web.

Fujihara K. NMOSD Session: What comes next to double seronegative NMOSD? Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS). 23rd Annual Meeting; 20220617; Web.

Fujihara K. A tumefactive cerebellar lesion followed by medullocervical inflammation 1.5 years later. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS). ECHO Project; 20220920; Web.

Fujihara K. Selecting first line treatment. BIR MS Medical Education 2022. Evolving Paradigm in Early Management of Multiple Sclerosis; 20220924; Web.

Fujihara K. Pathology of MOGAD. MOG Therapeutic Roundtable; 20220929-30; Cambridge, USA.

Fujihara K. Educational Session 14: Treating NMOSD and MOGAD: How and when to treat AQP4-IgG-positive NMOSD. 38th European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS); 20221028; Amsterdam, Netherland.

低侵襲腫瘍制御学講座

論　　文

〔原　著〕

Honda M, Wannous M, Yamamoto K, Yoshida A. A feasibility study for smartphone application to evaluate dietary realities after gastrointestinal surgery. Annals of Cancer Research and Therapy. 202201; 30(1):33-37.

Kawamura H, Miyakawa T, Tsujimoto Y, Yamamoto R, Watanabe N, Honda M. The clinical effect of total mesorectal excision with lateral lymph node dissection for lower rectal cancer: A systematic review and meta-analysis. Annals of Cancer Research and Therapy. 202207; 30(2):106-114.

Koyanagi R, Honda M, Kawamura H, Hamada K, Horikawa Y, Shiwa Y, Techigawara K, Nagahashi T, Miyakawa T, Konno S. Clinical Benefit of Polypectomy With Cutting Current for Colorectal Polyps: A Randomized Controlled Trial. Anticancer Research. 202207; 42(7):3613-3619.

Kawamura H, Honda M, Takano Y, Kinuta S, Kamiga T, Saji S, Kono K. Prognostic Role of Carcinoembryonic Antigen and Carbohydrate Antigen 19-9 in Stage IV Colorectal Cancer. Anticancer Research. 202208; 42(8):3921-3928.

Takagawa Y, Izumi S, Kita M. Laminaria tent insertion in preplanning MRI for CT-based cervical cancer brachytherapy. Brachytherapy. 202203; 21(2):170-176.

Ishikawa Y, Morita K, Yamaguchi H, Kato T, Suzuki M, Seto I, Machida M, Takayama K, Tominaga T, Takagawa Y, Nakajima M, Teranishi Y, Kikuchi Y, Murakami M. Proton Beam Therapy With Space-Making Surgery (Omental Plombage) for Oligorecurrent Liver Metastasis of Esophageal Adenocarcinoma. Cureus. 202211; 14(11):e31656.

Shimada T, Hatta W, Takahashi S, Koike T, Ohira T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Nakamura J, Matsumoto T, Iijima K, Fukuda S, Masamune A, Ito K; Tohoku GI Endoscopy Group. Combined assessment of clinical and pathological prognostic factors for deciding treatment strategies for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa after endoscopic submucosal dissection. Digestive Endoscopy. 202211; 34(7):1382-1391.

Miyakawa T, Michihata N, Morita K, Matsui H, Honda M, Yasunaga H. Ambient temperature and hospital admissions for acute cholecystitis: a nationwide inpatient database study in Japan. HPB. 202203; 24(3):398-403.

Takagawa Y, Tsuchiya K, Izumi S, Okano T, Takahashi E, Wakamatsu Y, Kamoshida K, Miyake Y, Kita M. A

novel intra pre-plan method of interstitial needle optimization for cervical cancer patients treated with Venezia applicator brachytherapy: a technical note. Journal of Contemporary Brachytherapy. 202206; 14(3):260-267.

Kobayashi H, Honda M, Kawamura H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Hori S, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. Clinical impact of gastrectomy for gastric cancer patients with positive lavage cytology without gross peritoneal dissemination. Journal of Surgical Oncology. 202203; 125(4):615-620.

Miyakawa T, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Kinuta S, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Impact of histological subtype on prognosis in stage IV colorectal cancer: A population-based cohort study. PLOS ONE. 202203; 17(3):e0264652.

Sato M, Osawa T, Abe T, Honda M, Higuchi M, Yamada S, Furumido J, Kikuchi H, Matsumoto R, Sato Y, Sasaki Y, Harabayashi T, Maruyama S, Takada N, Minami K, Tanaka H, Morita K, Kashiwagi A, Murai S, Ito YM, Ogasawara K, Shinohara N. Validation of the Japanese version of the Body Image Scale for bladder cancer patients. Scientific Reports. 202212; 12(1):21544.

Sakurai Y, Honda M, Kawamura H, Kobayashi H, Toshiyama S, Yamamoto R, Nakao E, Yue C, Takano M, Hayao K, Konno S. Relationship between physical activity and bone mineral density loss after gastrectomy in gastric cancer patients. Supportive Care in Cancer. 202212; 31(1):19.

Hamada K, Kawano K, Nishida S, Shiwa Y, Horikawa Y, Techigawara K, Fukushima D, Noriyuki N, Honda M. Endoscopic detachable snare ligation therapy for colonic diverticular hemorrhage improves procedure time compared to endoscopic band ligation. Turkish Journal of Gastroenterology. 202205; 33(5):443-448.

中尾詠一，本多通孝，宮川哲平，小林拓史，髙野祥直. 高齢者膿瘍形成性虫垂炎における Interval Appendectomy の有用性と安全性の検討. 日本腹部救急医学会雑誌. 202201; 42(1):23-27.

佐藤孝洋，本多通孝，小鹿山陽介，外舘幸敏，髙野祥直，寺西寧. 逆行性に空腸が Y 脚へ重積した胃全摘術後腸重積の 1 例. 臨床外科. 202204; 77(4):480-482.

過年業績

Kawamura H, Ogawa Y, Yamazaki H, Honda M, Kono K, Konno S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Impact of Primary Tumor Resection on Mortality in Patients with Stage IV Colorectal Cancer with Unresectable Metastases: A Multicenter Retrospective Cohort Study. World Journal of Surgery. 202110; 45(10):3230-3239.

〔総説等〕

本多通孝. 【Academic surgeon を目指そう！】市中病院における academic surgeon 育成. 消化器外科. 202211; 45(11):1191-1197.

〔症例報告〕

Takagawa Y, Itami J. SpaceOAR hydrogel spacer in interstitial brachytherapy for intrapelvic recurrent endometrial cancer. BJR Case Reports. 202203; 8(3):20210220.

Takagawa Y, Murakami N, Igaki H, Okamoto H, Itami J. High-dose-rate interstitial brachytherapy as a suitable option for metastatic extraskeletal myxoid chondrosarcoma – a case report. Journal of Contemporary Brachytherapy. 202204; 14(2):198-204.

書籍等出版物

本多通孝. 外科レジデント＆周術期管理に関わる医療者のための外科周術期　掟と理論　総論編. 京都: 金芳堂; 202203.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Takagawa Y, Suzuki M, Yamaguchi H, Seto I, Machida M, Takayama K, Tominaga T, Murakami M. Retrospective Analysis of Proton Beam Therapy for Postoperative Locally Recurrent Rectal Cancer. ASTRO Annual Meeting 2022; 20221023-26; San Antonio, USA/Web.

Yamaguchi H, Suzuki M, Takagawa Y, Machida M, Tominaga T, Takayama K, Seto I, Kikuchi Y, Murakami M. The effectiveness of proton beam therapy for liver metastatic lesions in colorectal concer patients. ASTRO Annual Meeting 2022; 20221023-26; San Antonio, USA/Web.

Kawamura H, Ugai T, Takashima Y, Okazome K, Shimizu T, Mima K, Akimoto N, Haruki K, Arima K, Kahaki SMM, Zhao M, Väyrynen JP, Zhang X, Ng K, Nowak JA, Meyerhardt JA, Giovannucci EL, Giannakis M, Chan AT, Huttenhower C, Garrett WS, Song M, Ogino S. History of Appendectomy and Colorectal Cancer Incidence, Overall and by Intratumoral Fusobacterium nucleatum Status. Cancer Grand Challenges Future Leaders Conference 2022; 20221102-04; Barcelona, Spain.

Hamada K, Horikawa Y, Shiwa Y. Gastric endoscopic submucosal dissection using a multibending endoscope. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220302-04; 横浜/Web.

Honda M, Takano Y, Hori S, Waragai M, Kobayashi H, Yamamoto R, Hamada K, Miyakawa T, Suzuki N, Teranishi Y. Long-term prognosis over 10 years for patients who underwent radical gastrectomy. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220302-04; 横浜/Web.

小林拓史，**本多通孝**，**堀創史**，**藁谷暢**. 肉眼的腹膜播種を伴わない腹腔洗浄細胞診陽性胃癌に対する原発切除の意義. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220302-04; 横浜/Web.

堀創史，**本多通孝**，**俊山聖史**，**山本竜也**，**小林拓史**，**中尾詠一**，**宮川哲平**，**外舘幸敏**，**中山祐次郎**，**髙野祥直**，**寺西寧**. 高齢者 Stage IV 胃癌の診療実態と予後. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220302-04; 横浜/Web.

中尾詠一，本多通孝，堀創史，宮川哲平，小林拓史，外舘幸敏，高野祥直．高齢者における複雑性虫垂炎に対する腹腔鏡下手術の有用性の検討．第 58 回日本腹部救急医学会総会; 20220324-25; 東京.

河村英恭，宮川哲平，山本竜也，本多通孝，中尾詠一，外舘幸敏，高野祥直．進行下部直腸癌に対する側方リンパ節郭清の有効性：系統的レビューおよびメタアナリシス．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

小林拓史，本多通孝，堀創史，藁谷暢，俊山聖史，山本竜也，宮川哲平，鈴木伸康，高野祥直，寺西寧．胃癌術前後の筋量・筋力・歩行速度の変化とサルコペニアの発生－前向きコホート研究－．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

俊山聖史，本多通孝，堀創史，木下敬弘，秋本瑛吾，布部創也，會澤雅樹，李基成．胃切除術後の Roux-en-Y 再建における空腸挙上経路別の術後合併症および予後の比較．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

外舘幸敏，本多通孝，中尾詠一，宮川哲平，河村英恭，中山祐次郎，小林拓史，堀創史，阿左見亜矢佳，藁谷暢，鈴木伸康，佐藤直，高野祥直，阿部幹，寺西寧．大腸癌リンパ節転移の診断特性に関する前向きコホート研究（画像・手術・病理所見を対応させたリンパ節レベルの検討）．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

中尾詠一，本多通孝，俊山聖史，堀創史，小林拓史，宮川哲平，中山祐次郎，外舘幸敏，高野祥直．高齢者膿瘍形成性虫垂炎における interval appen- dectomy の有用性と安全性の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

堀創史，本多通孝，俊山聖史，山本竜也，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，中山祐次郎，高野祥直，藁谷暢，寺西寧．胃癌転移の予後を予測する Grading System．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

本多通孝，布部創也，小川光一，會澤雅樹，山吹匠，幕内梨恵，山形幸徳，明石義正，堀創史，宮川哲平．腹腔鏡下胃切除術の合併症リスクとなる手術手技の同定．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

高川佳明，泉佐知子，喜多みどり．子宮頸癌腔内照射直前 MRI におけるラミナリア挿入による画像融合精度向上の試み．小線源治療部会第 24 回学術大会; 20220520; 東京.

本多通孝，藁谷暢，俊山聖史，山本竜也，宮川哲平，中尾詠一，外舘幸敏，鈴木伸康，阿部幹，高野祥直．高齢者胃癌手術の術後フレイル予防を目的とした低侵襲手術の意義．第 33 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20220521; 仙台/Web.

中尾詠一，本多通孝，堀創史，宮川哲平，小林拓史，河村英恭，外舘幸敏，鈴木伸康，阿部幹，高野祥直．下部直腸癌に対するロボット支援下手術後の排尿障害の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

堀創史，本多通孝，俊山聖史，山本竜也，中尾詠一，宮川哲平，小林拓史，藁谷暢，高野祥直．胃癌術後肝転移再発の再発時期と予後．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

本多通孝，堀創史，小林拓史，高野祥直，鈴木伸康，藁谷暢，宮川哲平，河村英恭，中尾詠一，山本竜也．上部消化管手術後にチームで行う栄養管理・運動療法プログラム．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

宮川哲平，道端伸明，俊山聖史，山本竜也，中尾詠一，堀創史，小林拓史，外舘幸敏，本多通孝，康永秀生．80 歳以上の高齢大腸患者に対する腹腔鏡下大腸癌手術の安全性評価－DPC データを用いた術後短期成績の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

高川佳明．直腸癌術後局所再発に対する陽子線治療成績と予後因子の解析．第 18 回日本粒子線治療臨床研究会; 20221015; 京都.

中尾詠一，本多通孝，山本竜也，俊山聖史，堀創史，宮川哲平，河村英恭，小林拓史，外舘幸敏，中山祐次郎，鈴木伸康，高野祥直．穿孔を合併した StageⅣ大腸癌患者の診療実態．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020-22; 神戸/Web.

宮川哲平，河村英恭，本多通孝，山本竜也，俊山聖史，堀創史，中尾詠一，小林拓史，外舘幸敏，高野祥直．組織型がステージⅣ大腸癌の予後に与える影響．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020-22; 神戸/Web.

山本竜也，本多通孝，俊山聖史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，高野祥直，寺西寧．L 領域の StageⅣ胃癌における減量手術に関する臨床的検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020-22; 神戸/Web.

高川佳明．乳癌 APBI（Accelerated Partial Breast Irradiation）について～最近の Topics と今後の展望について～．第 19 回福島県乳癌研究会; 20221029; 郡山/Web.

高川佳明，鈴木志恒，瀬戸一郎，山口久志，町田政憲，阿左見祐介，高山香名子，富永拓也，中里龍彦，菊池泰裕，村上昌雄．骨盤照射歴のある直腸癌術後局所再発症例に対する陽子線再照射の解析．日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島.

俊山聖史，本多通孝，益子隆太郎，山本竜也，堀創史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，高野祥直，寺西寧．胃癌術後の身体活動量と骨密度低下の関連．第 52 回胃外科・術後障害研究会; 20221118-19; 沼津.

本多通孝，俊山聖史，山本竜也，藁谷暢，高野祥直，吉田明子．胃癌術後の栄養指導コンセンサス会議の実施と結果．第 52 回胃外科・術後障害研究会; 20221118-19; 沼津.

俊山聖史，本多通孝，益子隆太郎，山本竜也，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，鈴木伸康，高野祥直，阿部幹，寺西寧．肝転移または傍大動脈リンパ節転移を有する胃癌に対する原発巣切除の意義．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124-26; 福岡.

中尾詠一，本多通孝，益子隆太郎，山本竜也，俊山聖史，宮川哲平，外舘幸敏，鈴木伸康，高野祥直．腸癌同時性肝転移に対する肝切除時期の予後への影響の検討．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124-26; 福岡.

益子隆太郎，本多通孝，山本竜也，鈴木優也，俊山聖史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，鈴木伸康，髙野祥直．当院での再発鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の治療成績．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124-26; 福岡.

山本竜也，本多通孝，益子隆太郎，俊山聖史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，髙野祥直，寺西寧. StageⅣ幽門狭窄胃癌に対する胃空腸バイパス術またはステント挿入術が化学療法実施に与える影響．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124-26; 福岡.

外舘幸敏，宮川哲平，中尾詠一，益子隆太郎，山本竜也，俊山聖史，藁谷暢，本多通孝，鈴木伸康，髙野祥直，阿部幹．進行大腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の定型化と治療成績の検討．第 35 回日本内視鏡外科学会; 20221208-10; 名古屋.

中尾詠一，本多通孝，益子隆太郎，山本竜也，俊山聖史，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，鈴木伸康，髙野祥直．横行結腸中心部の癌に対する腹腔鏡下横行結腸部分切除術の妥当性．第 35 回日本内視鏡外科学会; 20221208-10; 名古屋.

益子隆太郎，本多通孝，山本竜也，俊山聖史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，鈴木伸康，髙野祥直．鼠径ヘルニアに対する経腹的腹膜前到達法（transabdominal preperitoneal approach：TAPP）の短期成績．第 35 回日本内視鏡外科学会; 20221208-10; 名古屋.

山本竜也，本多通孝，益子隆太郎，俊山聖史，中尾詠一，宮川哲平，外舘幸敏，藁谷暢，鈴木伸康，髙野祥直．腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるラーニングカーブに到達するまでの成績と注意点．第 35 回日本内視鏡外科学会; 20221208-10; 名古屋.

〔シンポジウム〕

本多通孝，俊山聖史，宮川哲平，山本竜也，鈴木伸康，藁谷暢，益子隆太郎，中尾詠一，外舘幸敏，髙野祥直，河村英恭．低侵襲手術のガイドライン推奨が外科医の術式選択に与える影響・腹腔鏡下胃切除術における時系列分析．第 35 回日本内視鏡外科学会; 20221208-10; 名古屋.

〔その他〕

本多通孝，俊山聖史，山本竜也，宮川哲平，中尾詠一，益子隆太郎，髙野祥直，鈴木伸康，外舘幸敏，康永秀生．腹腔鏡下胃切除術の普及と手術成績の変化ー大型データベースによる時系列分析．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124-26; 福岡.

心臓調律制御医学講座

論　　文

〔原　著〕

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(2):357-364.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 8:807754.

Kamioka M, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Electrophysiological properties and involvement of anatomical factors for the prediction of intramural origin in patients with ventricular tachyarrhythmia arising from the left ventricular outflow tract. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 63(1):115-123.

Yoshihisa A, Kono S, Kaneshiro T, Ichijo Y, Misaka T, Yamada S, Oikawa M, Miura I, Yabe H, Takeishi Y. Impaired brain activity in patients with persistent atrial fibrillation assessed by near-infrared spectroscopy and its changes after catheter ablation. Scientific Reports. 2022; 12(1):7866.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Influence of power setting on superior vena cava potential during right pulmonary vein isolation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(1):25-31.

Amami K, Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Nehashi T, Takeishi Y. Predictive impacts of chronic kidney disease and cardiac sympathetic nervous activity on lethal arrhythmic events in chronic heart failure. Annals of Noninvasive Electrocardiology. 2022; 27(1):e12900.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Procedural characteristics of pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting ablation compared to conventional setting. BMC Cardiovascular Disorders. 2022; 22(1):14.

Ohara H, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 9:772466.

Amami K, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Yamada S, Nehashi T, Hijioka N, Nodera M, Kaneshiro T, Yokokawa T,

Misaka T, Takeishi Y. Utility of a novel wearable electrode embedded in an undershirt for electrocardiogram monitoring and detection of arrhythmias. PLOS ONE. 2022; 17(8):e0273541.

〔総説等〕

山田慎哉，金城貴士，竹石恭知．ランジオロールによる頻脈性不整脈治療．診断と治療. 2022; 110(10):1335-1339.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9881.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The distance from the right coronary artery to the cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11209.

和田健斗，三阪智史，横川哲朗，君島勇輔，金城貴士，及川雅啓，義久精臣，竹石恭知. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川沙代子，横川哲朗，三阪智史，金城貴士，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Watanabe K, Wada K, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Nodera M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

山田慎哉，金城貴士，根橋健，天海一明，野寺穣，竹石恭知. Clinical significance of the decreased coefficient of variance of R-R interval after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. 第 68 回日本不整脈

心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

Amami K, Yamada S, Nehashi T, Nodera M, Kaneshiro T, Takeishi Y. The association between abnormal cardiac sympathetic nervous activity and lethal arrhythmic events in chronic heart failure with chronic kidney disease. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寳槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal Venous Stasis Index は心不全患者における腎うっ血を反映する. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寳槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

根橋健，山田慎哉，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 2D 左室心筋長軸ストレイン解析による起源同定がアブレーションに有用であった右脚ブロック型・上方軸心室性期外収縮の 2 症例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2022; 20221124-26; 新潟.

天海一明，山田慎哉，義久精臣，根橋健，野寺穣，金城貴士，三阪智史，竹石恭知. 長時間心電図記録および不整脈検出におけるシャツ型電極の有用性. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. 心内シークエンスの明らかな変化なく、デルタ波の極性変化をきたした WPW 症候群の 1 例. 第 2 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20220716; 盛岡/Web.

大和田光司，山田慎哉，片平正隆，根橋健，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 右室同期左室ペーシングが有効だった間欠性左脚ブロックの一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

三宅真里世，星野弘尊，菅井義尚，玉川和亮，鶴谷善夫，金城貴士. 複数の頻脈性不整脈の経過を経て診断に至った特発性拡張型心筋症の一例. 第 8 回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. 心室期外収縮と持続性心房細動のアブレーションを一期的に行い、心機能の改善が得られた不整脈誘発性心筋症の一例. 第 19 回福島不整脈懇話会; 20220707; Web.

〔シンポジウム〕

金城貴士. Unknown Device（シンポジウム）. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

〔招待講演〕

金城貴士. 講演：WATCHMAN による左心耳閉鎖治療と非適応例への抗凝固療法. 心房細動治療 Up to date～超高齢化社会での新しい治療選択肢～; 20220415; Web.

金城貴士. 講演：1st-Pass CTI block 達成のポイント. ～極～Freezor MAX における検証と検討; 20220523; Web.

運動器骨代謝学講座

論　　文

〔原　著〕

Sonobe T, Hakozaki M, Kaneuchi Y, Yamada H, Hasegawa O, Yamada S, Konno S. Radiological and pathological characteristics of synovial hemangioma of the knee. Experimental and Therapeutic Medicine. 202211; 25(1):23.

金内洋一，箱崎道之，山田仁，紺野愼一. 私の考える骨・軟部腫瘍分野の魅力. 東日本整形災害外科学会雑誌. 202203; 34(1):53-55.

國島麻実子，山田仁，渡邉一男，荒文博，紺野愼一. 超高齢者に発症した脱分化型骨外性粘液性軟骨肉腫の 1 例. 臨床整形外科. 202208; 57(8):1033-1037.

過年業績

Higuchi M, Yamada H, Machino K, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Uramoto H, Yamada S, Hojo H, Suzuki H. Successful Multidisciplinary Treatment for Aggressive Primary Pulmonary Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma. Case Reports in Oncology. 202001; 13(1):385-391.

〔症例報告〕

Kaneuchi Y, Iwabuchi M, Hakozaki M, Yamada H, Konno S. Pregnancy and Lactation-Associated Osteoporosis Successfully Treated with Romosozumab: A Case Report. Medicina (Kaunas, Lithuania). 202212; 59(1):19.

書籍等出版物

山田仁（システマティックレビューチーム）. 原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン 2022. 日本整形外科学会監修. 東京: 南江堂; 202202.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

金内洋一，山田仁，紺野愼一，岩渕真澄. 妊娠授乳関連骨粗鬆症に対するロモソズマブの使用経験　1 例報告. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603; 仙台.

園部樹. 膝関節にロッキングを生じた鵞足部骨軟骨腫の一例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603; 仙台.

関敬大, **金内洋一**, **箱﨑道之**, **山田仁**, **平井亨**, **山田匠希**, **長谷川靖**, **紺野慎一**. 鼠径部に発生した富細胞型血管線維腫の 3 例. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220604; 仙台.

田地野崇宏, **山田仁**, **箱﨑道之**, **金内洋一**, **紺野慎一**. 福島県立医科大学で過去 30 年間に診療した高悪性度骨・軟部肉腫の罹患率と福島県内地域分布の経年的変化についての検討. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

渡邊孝祐, **荒文博**, **山田仁**, **金内洋一**, **紺野慎一**. 大腿骨骨巨細胞腫術後 27 年の経過で人工関節再置換術を施行した 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

山田仁, **箱﨑道之**, **金内洋一**, **田地野崇宏**, **渡辺慎哉**, **紺野慎一**. ドキソルビシン+イホスファミド療法で完全奏効を呈した軟部悪性腫瘍. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

箱﨑道之, **金内洋一**, **山田仁**, **紺野慎一**. 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

金内洋一, **箱﨑道之**, **山田仁**, **鈴木丈夫**, **紺野慎一**. 低悪性度と高悪性度の脱分化像が併存した脱分化型脂肪肉腫 : 1 例報告. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

鈴木丈夫, **箱﨑道之**, **山田仁**, **金内洋一**, **紺野慎一**. 神経線維腫症 1 型の高齢者に生じた多形型横紋筋肉腫の 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20220714; 東京.

金内洋一, **岩渕真澄**, **山田仁**, **紺野慎一**. 妊娠授乳関連骨粗鬆症に対しロモソズマブを投与した 1 例. 第 24 回日本骨粗鬆症学会; 20220903; 大阪.

金内洋一, **箱﨑道之**, **山田仁**, **紺野慎一**. 術後感染症に対する治療戦略　悪性骨軟部腫瘍手術における手術部位感染の対策と治療　福島県立医科大学附属病院での取り組み. 第 119 回東北整形災害外科学会; 20220604; 仙台.

過年業績

鈴木駿介, **山田仁**, **荒文博**, **紺野慎一**. 大腿骨顆部脆弱性粉砕骨折の 1 例. 第 117 回東北整形災害外科学会; 20200626-27; 山形. 東北整形災害外科学会雑誌. 64(1):145-146.

手外科・四肢機能再建学講座

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

利木成広，江尻荘一，長島智春，佐々木信幸，亀田拓哉，紺野愼一，川上亮一．豆状三角骨関節症による環小指屈筋腱皮下断裂の治療経験．第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉．日本手外科学会雑誌. 39(1):O17-1.

畑下智，古月顕宗，江尻荘一，川上亮一，佐藤俊介，川前恵史，千葉紀之. Sauve-Kapandji 法と Darrach 法における、尺骨近位断端の術後手関節 X 線所見の比較検討．第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉．日本手外科学会雑誌. 39(1):O39-1.

江尻荘一，利木成広，長島智春，紺野愼一，鈴木丈夫．母指 CM 関節症に対する Weilby 関節形成術の治療成績．第 65 回日本手外科学会学術集会; 20220414-15; 小倉．日本手外科学会雑誌. 39(1):56-1.

長島智春，江尻荘一，利木成広，鈴木丈夫．手関節部骨折後に生じた尺側手根伸筋腱断裂の 2 例．第 11 回光が丘会津会; 20220513; 会津若松.

利木成広，江尻荘一，川前恵史，紺野愼一. IgG4 関連疾患の滑膜炎による手指伸筋腱断裂の 1 例．第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台．プログラム・抄録集. 148.

長島智春，江尻荘一，利木成広，鈴木丈夫，紺野愼一．母指関節破壊に対して肋軟骨移植術を施行した慢性再発性多発性骨髄炎の 1 例．第 119 回東北整形災害外科学会; 20220603-04; 仙台．プログラム・抄録集. 103.

ヒト神経生理学講座

論　　文

〔原　著〕

Matsuda N, Kobayashi S, Hasegawa O, Yoshida K, Kubo H, Ugawa Y, Kanai K. Subclinical involvement of the trunk muscles in idiopathic inflammatory myopathies. Acta Radiologica Open. 202202; 11(2):20584601221075796.

Kimura I, Ugawa Y, Hayashi MJ, Amano K. Quadripulse stimulation: A replication study with a newly developed stimulator. Brain Stimulation. 202205; 15(3):579-581.

Wiratman W, Murakami T, Tiksnadi A, Kobayashi S, Hanajima R, Ugawa Y. Enhancement of LTD-like plasticity by associative pairing of quadripulse magnetic stimulation with peripheral nerve stimulation. Clinical Neurophysiology. 202206; 138:9-17.

Siebner HR, Funke K, Aberra AS, Antal A, Bestmann S, Chen R, Classen J, Davare M, Di Lazzaro V, Fox PT, Hallett M, Karabanov AN, Kesselheim J, Beck MM, Koch G, Liebetanz D, Meunier S, Miniussi C, Paulus W, Peterchev AV, Popa T, Ridding MC, Thielscher A, Ziemann U, Rothwell JC, Ugawa Y. Transcranial magnetic stimulation of the brain: What is stimulated? - A consensus and critical position paper. Clinical Neurophysiology. 202208; 140:59-97.

Giustiniani A, Vallesi A, Oliveri M, Tarantino V, Ambrosini E, Bortoletto M, Masina F, Busan P, Siebner HR, Fadiga L, Koch G, Leocani L, Lefaucheur JP, Rotenberg A, Zangen A, Violante IR, Moliadze V, Gamboa OL, Ugawa Y, Pascual-Leone A, Ziemann U, Miniussi C, Burgio F. A questionnaire to collect unintended effects of transcranial magnetic stimulation: A consensus based approach. Clinical Neurophysiology. 202209; 141:101-108.

Antal A, Luber B, Brem AK, Bikson M, Brunoni AR, Cohen Kadosh R, Dubljević V, Fecteau S, Ferreri F, Flöel A, Hallett M, Hamilton RH, Herrmann CS, Lavidor M, Loo C, Lustenberger C, Machado S, Miniussi C, Moliadze V, Nitsche MA, Rossi S, Rossini PM, Santarnecchi E, Seeck M, Thut G, Turi Z, Ugawa Y, Venkatasubramanian G, Wenderoth N, Wexler A, Ziemann U, Paulus W. Non-invasive brain stimulation and neuroenhancement. Clinical Neurophysiology Practice. 202205; 7:146-165.

Moriyasu S, Shimizu T, Honda M, Ugawa Y, Hanajima R. Motor cortical plasticity and its correlation with motor symptoms in Parkinson's disease. eNeurologicalSci. 202209; 29:100422.

Numata A, Terao Y, Owari N, Kakizaki C, Sugawara K, Ugawa Y, Furubayashi T. Temporal synchronization for in-phase and antiphase movements during bilateral finger- and foot-tapping tasks. Human Movement Science. 202208; 84:102967.

Yamaguchi N, Matsuda S, Matsumoto J, Ugawa Y, Shimizu J, Toda T, Sonoo M, Yoshizawa T. Rippling Muscle Disease with Irregular Toe Jerks and Anti-acetylcholine Receptor Antibodies: Remission after Extended Thymectomy. Internal Medicine. 202205; 61(9):1439-1442.

Tokimura R, Ito E, Sugiura Y, Ugawa Y. Nephrotic Syndrome and Atypical Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome in a Patient with Parkinson's Disease. Internal Medicine. 202207; 61(13):2061-2065.

Fukushima W, Hara M, Kitamura Y, Shibata M, Ugawa Y, Hirata K, Oka A, Miyamoto S, Kusunoki S, Kuwabara S, Hashimoto S, Sobue T. A Nationwide Epidemiological Survey of Adolescent Patients With Diverse Symptoms Similar to Those Following Human Papillomavirus Vaccination: Background Prevalence and Incidence for Considering Vaccine Safety in Japan. Journal of Epidemiology. 202201; 32(1):34-43.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High Correlation among Brain-Derived Major Protein Levels in Cerebrospinal Fluid: Implication for Amyloid-Beta and Tau Protein Changes in Alzheimer's Disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Tinazzi M, Geroin C, Bhidayasiri R, Bloem BR, Capato T, Djaldetti R, Doherty K, Fasano A, Tibar H, Lopiano L, Margraf NG, Merello M, Moreau C, Ugawa Y, Artusi CA; International Parkinson and Movement Disorders Society Task Force on Postural Abnormalities. Task Force Consensus on Nosology and Cut-Off Values for Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism. Movement Disorders Clinical Practice. 202205; 9(5):594-603.

Mooney RA, Ni Z, Shirota Y, Chen R, Ugawa Y, Celnik PA. Age-related strengthening of cerebello-cortical motor circuits. Neurobiology of Aging. 202210; 118:9-12.

望月仁志，宇川義一．【ノーベル賞の神経科学】Joseph Erlanger、Herbert Spencer Gasser(1944)　神経軸索活動電位の伝導速度と直径の関係. Clinical Neuroscience. 202208; 40(8):953-956.

代田悠一郎，宇川義一．【身体科と精神科の連携ー身体科に必要な精神疾患の基礎知識】てんかん．カレントテラピー. 202210; 40(10):952-956.

望月秀樹，青木正志，池中建介，井上治久，岩坪威，宇川義一，岡澤均，小野賢二郎，小野寺理，北川一夫，齊藤祐子，下畑享良，高橋良輔，戸田達史，中原仁，松本理器，水澤英洋，三井純，村山繁雄，勝野雅央，日本神経学会将来構想委員会．脳神経疾患克服に向けた研究推進の提言 2020、各論（方法論別）．臨床神経学. 202206; 62(6):429-442.

望月秀樹，青木正志，池中建介，井上治久，岩坪威，宇川義一，岡澤均，小野賢二郎，小野寺理，北川一夫，齊藤祐子，下畑享良，高橋良輔，戸田達史，中原仁，松本理器，水澤英洋，三井純，村山繁雄，勝野雅央，日本神経学会将来構想委員会．脳神経疾患克服に向けた研究推進の提言 2020、各論（疾患群別）．臨床神経学. 202206; 62(6):443-457.

服部香寿美，松田希，吉澤茉莉，宇川義一，金井数明．瞳孔異常を伴わない動眼神経麻痺を呈した悪性リンパ腫の 2 例．臨床神経学. 202207; 62(7):552-557.

花島律子，松本英之，出江紳一，宇川義一，緒方勝也，金子文成，鬼頭伸輔，小林正人，寺尾安生，中村元昭，西田圭一郎，野田賀大，細見晃一，日本臨床神経生理学会脳刺激法に関する小委員会．反復経頭蓋磁気刺激の安全性に関する提言（IFCN からのガイドラインを踏まえて）．臨床神経生理学. 202202; 50(1):39-43.

花島律子，松本英之，出江紳一，宇川義一，緒方勝也，金子文成，鬼頭伸輔，小林正人，寺尾安生，中村元昭，西田圭一郎，野田賀大，細見晃一，日本臨床神経生理学会脳刺激法に関する小委員会．反復脊髄神経磁気刺激の安全性に関する提言．臨床神経生理学. 202202; 50(1):44-47.

総合内科・臨床感染症学講座

論　　文

〔原　著〕

Yasuda I, Suzuki M, Maeda H, Terada M, Sando E, Ng CFS, Otomaru H, Yoshida LM, Morimoto K. Respiratory virus detection in the upper respiratory tract of asymptomatic, community-dwelling older people. BMC Infectious Diseases. 202204; 22(1):411.

Yamauchi M, Kanie N, Takahashi K, Katoh S. Case of organising pneumonia in HIV infection. BMJ Case Reports. 202211; 15(11):e250544.

Maeda H, Saito N, Igarashi A, Ishida M, Suami K, Yagiuchi A, Kimura Y, Komino M, Arai H, Morikawa T, Motohashi I, Miyazawa R, Moriyama T, Kamura H, Terada M, Kuwamitsu O, Hayakawa T, Sando E, Ohara Y, Teshigahara O, Suzuki M, Morimoto K. Effectiveness of mRNA COVID-19 vaccines against symptomatic SARS-CoV-2 infections during the Delta variant epidemic in Japan: Vaccine Effectiveness Real-time Surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS). Clinical Infectious Diseases. 202211; 75(11):1971-1979.

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Kanbe T, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with casirivimab-imdevimab among patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Delta variant pandemic. International Journal of Medical Sciences. 202205; 19(5):834-841.

Imamura T, Ko YK, Furuse Y, Imamura T, Jindai K, Miyahara R, Sando E, Yasuda I, Tsuchiya N, Saito M, Suzuki M, Oshitani H. Epidemiological Factors Associated with COVID-19 Clusters in Medical and Social Welfare Facilities. Japanese Journal of Infectious Diseases. 202205; 75(3):281-287.

Shimizu K, Maeda H, Sando E, Fujita A, Tashiro M, Tanaka T, Izumikawa K, Motomura K, Morimoto K. Epidemiology of SARS-CoV-2 infection in nursing facilities and the impact of their clusters in a Japanese core city. Journal of Infection and Chemotherapy. 202207; 28(7):955-961.

Ishimaru N, Kanzawa Y, Nakajima T, Okamura K, Sando E, Ito I, Kinami S, Ohnishi H. Specific antibody deficiency to pneumococcal polysaccharide in a young adult with recurrent respiratory infections: a case report. Monaldi Archives for Chest Disease. 202211; 93(3):2454.

Saito N, Solante RM, Guzman FD, Telan EO, Umipig DV, Calayo JP, Frayco CH, Lazaro JC, Ribo MR,

Dimapilis AQ, Dimapilis VO, Villanueva AM, Mauhay JL, Suzuki M, Yasunami M, Koizumi N, Kitashoji E, Sakashita K, Yasuda I, Nishiyama A, Smith C, Ariyoshi K, Parry CM. A prospective observational study of community-acquired bacterial bloodstream infections in Metro Manila, the Philippines. PLOS Neglected Tropical Diseases. 202205; 16(5):e0010414.

Dhoubhadel BG, Suzuki M, Ishifuji T, Yaegashi M, Asoh N, Ishida M, Hamaguchi S, Aoshima M, Yasunami M, Ariyoshi K, Morimoto K, Abe M, Chikamori M, Furumoto A, Hamashige N, Hosokawa N, Ito H, Kakiuchi S, Kaneko N, Katoh S, Katsurada N, Kitashoji E, Matsuki K, Nakaoka H, Nakashima K, Otsuka Y, Sando E, Shibui K, Shimazaki T, Suzuki D, Takaki M, Tanaka K, Tochitani K, Tsuchihashi Y, Wakabayashi T, Watanabe K, Yoshida LM. High prevalence of multiple serotypes of pneumococci in patients with pneumonia and their associated risk factors. Thorax. 202211; 77(11):1121-1130.

Maeda H, Gopal Dhoubhadel B, Sando E, Suzuki M, Furumoto A, Asoh N, Yaegashi M, Aoshima M, Ishida M, Hamaguchi S, Otsuka Y, Morimoto K. Long-term impact of pneumococcal conjugate vaccines for children on adult pneumococcal pneumonia in Japan: Two multicenter observational studies from 2011 to 2020. Vaccine. 202209; 40(37):5504-5512.

Ashizawa H, Yamamoto K, Ashizawa N, Takeda K, Iwanaga N, Takazono T, Sakamoto N, Sumiyoshi M, Ide S, Umemura A, Yoshida M, Fukuda Y, Kobayashi T, Tashiro M, Tanaka T, Katoh S, Morimoto K, Ariyoshi K, Morimoto S, Tun MMN, Inoue S, Morita K, Kurihara S, Izumikawa K, Yanagihara K, Mukae H. Associations between Chest CT Abnormalities and Clinical Features in Patients with the Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome. Viruses. 202201; 14(2):279.

Nakada N, Yamamoto K, Tanaka M, Ashizawa H, Yoshida M, Umemura A, Fukuda Y, Katoh S, Sumiyoshi M, Mihara S, Kobayashi T, Ito Y, Ashizawa N, Takeda K, Ide S, Iwanaga N, Takazono T, Tashiro M, Tanaka T, Nakamichi S, Morimoto K, Ariyoshi K, Morita K, Kurihara S, Yanagihara K, Furumoto A, Izumikawa K, Mukae H. Clinical Differentiation of Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome from Japanese Spotted Fever. Viruses. 202208; 14(8):1807.

山藤栄一郎．つつが虫病の臨床的特徴と，類似疾患との比較. IASR. 202208; 43(8):186-188.

前田遥，齊藤信夫，石田正之，寺田真由美，山藤栄一郎，森本浩之輔，鈴木基．日本における新型コロナワクチンの発症予防における有効性に関する研究　多施設共同症例対照研究. 感染症学雑誌. 202203; 96(臨増):105.

〔総説等〕

山藤栄一郎．【腎臓症候群（第３版）ーその他の腎臓疾患を含めてー】日本におけるリケッチア症（つつが虫病と日本紅斑熱）．別冊日本臨床　領域別症候群シリーズ. 202210; No.24:334-338.

〔その他〕

山藤栄一郎．感染症専門医からのメッセージ．伊達市政だより　新型コロナウイルス感染症対策特別号. 202204; 15:1.

大西真生，田中雄紀，吉田紗衣子，川崎和佳子，高村聡人，長田薫，梶原秀喜，山藤栄一郎，上田研．日本紅斑熱に中毒性表皮壊死症を合併した 1 例．日本内科学会関東地方会. 202203; 676:49.

山藤栄一郎．近況報告．山梨医科大学山梨大学医学部同窓会誌. 2022; 28:35.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Aita T, Kurita N, Katoh S, Hamaguchi S, Sando E. Non-negligible seroprevalence of murine typhus and its predictors in Japan: A large-scale seroepidemiological study. ACP Internal Medicine Meeting; 20220428-30; Chicago, USA/Web.

大須賀穂高，中本洋平，加藤隼悟，山藤栄一郎，濱口杉大．嚥下時のつかえを主症状とした IgG4 関連疾患の 1 例．日本内科学会第 225 回東北地方会; 20220219; Web.

山藤栄一郎．野生動物とともに拡がるマダニ媒介感染症の脅威とワンヘルスアプローチ．日本哺乳類学会 2022 年度大会; 20220829; Web.

前田遥，齊藤信夫，石田正之，寺田真由美，山藤栄一郎，本橋伊織，早川友一郎，井村春樹，井上弘貴，森本浩之輔．日本における新型コロナワクチンの発症予防における有効性に関する研究～VERSUS Study～．第 92 回日本感染症学会西日本地方会学術集会; 20221105; 長崎.

〔招待講演〕

山藤栄一郎．新型コロナ対策をアップデートする．令和 4 年度一般財団法人宮城県公衆衛生協会研修会; 20221206; Web.

地域包括的癌診療研究講座

論　　文

〔総説等〕

Shibata M, Kono K, Takenoshita S. Inhibiting VEGF in cancer immunotherapy. Clinical Immunology Communications. 202212; 2:12-16.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N,

Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 202212; 5(1):134-144.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

書籍等出版物

柴田昌彦. 基礎編２章　がん微小環境　2. MDSC（骨髄由来抑制細胞）. In: 吉村清. がん免疫ペディア：腫瘍免疫学・がん免疫療法の全てをまるごと理解！ 東京: 羊土社; 202203. p.134-135.

先端地域生活習慣病治療学講座

論　　文

〔原　著〕

Hibino M, Otaki Y, Kobeissi E, Pan H, Hibino H, Taddese H, Majeed A, Verma S, Konta T, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Asahi K, Watanabe T, Watanabe T, Watanabe M, Aune D. Blood Pressure, Hypertension, and the Risk of Aortic Dissection Incidence and Mortality: Results From the J-SCH Study, the UK Biobank Study, and a Meta-Analysis of Cohort Studies. Circulation. 202203; 145(9):633-644.

Oda A, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Watanabe S, Kimura H, Kazama S, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama J. Association between Serum Inorganic Phosphorus Levels and Adverse Outcomes in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort Study. Internal Medicine. 202206; 61(11):1653-1662.

Wakasugi M, Narita I, Iseki K, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Moriyama T, Konta T, Tsuruya K, Kasahara M, Shibagaki Y, Kondo M, Watanabe T. Healthy Lifestyle and Incident Hypertension and Diabetes in Participants with and without Chronic Kidney Disease: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study. Internal Medicine. 202210; 61(19):2841-2851.

Otaki Y, Watanabe T, Konta T, Watanabe M, Fujimoto S, Sato Y, Asahi K, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T. A Body Shape Index and Aortic Disease-Related Mortality in Japanese General Population. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202307; 30(7):754-766.

Kawano K, Otaki Y, Suzuki N, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Asahi K, Watanabe T, Konta T. Prediction of mortality risk of health checkup participants using machine learning-based models: the J-SHC study. Scientific Reports. 202208; 12(1):14154.

Kimura H, Asahi K, Tanaka K, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Watanabe T, Kazama JJ. Health-related behavioral changes and incidence of chronic kidney disease: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study. Scientific Reports. 202209; 12(1):16319.

風間咲美，佐藤敦也，田中健一，風間順一郎. 福島県内維持血液透析施設における COVID-19 感染とその対策の現状－第一報. 福島県医師会報. 202210; 84(10):957-963.

風間咲美，佐藤敦也，田中健一，風間順一郎. 福島県内維持血液透析施設における COVID-19 感染とその対策の現状－第二報. 福島県医師会報. 202211; 84(11):1038-1043.

書籍等出版物

風間咲美. 防煙教育は面白くなくてはならない－小・中学生を対象とした効果的な防煙教室の流れ. In: 風間咲美, 風間順一郎. 禁煙で日本を元気に！受動喫煙のない社会を目指して. 東京: 西村書店; 202208. p.60-77.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

木村浩，田中健一，齋藤浩孝，岩崎剛史，小田朗，渡辺秀平，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎. Polypharmacy が CKD 発症に及ぼす影響に関する検討. 第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220611; 神戸.

風間咲美，佐藤敦也，田中健一，風間順一郎. 第 5 波・第 6 波ピーク時における福島県内の透析施設における COVID-19 感染状況. 第 48 回東北腎不全研究会; 20220820; 山形.

〔特別講演〕

木村浩. これまでの腎性貧血治療と今後の展望. 透析と腎性貧血の病診連携を考える会; 20220901; 国見町/Web.

周産期間葉系幹細胞研究講座

論　　文

〔原　著〕

Imai R, Mizuno K, Omiya Y, Mizoguchi K, Maejima Y, Shimomura K. The effects of ninjin'yoeito on the electrophysiological properties of dopamine neurons in the ventral tegmental area/substantia nigra pars compacta and medium spiny neurons in the nucleus accumbens. Aging. 202206; 14(11):4634-4652.

Fujiwara M, Shimizu M, Maejima Y, Shimomura K. Efficacy of SGLT2 inhibitors as additional treatment in Japanese type 2 diabetic patients: second or third choice? BMC Research Notes. 202203; 15(1):120.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. T-cell replete haploidentical stem cell transplantation with low dose anti-thymocyte globulin for relapsed/refractory Ewing sarcoma family tumors. Cancer Reports. 202207; 5(7):e1519.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Ono Y, Saito M, Sakamoto K, Maejima Y, Misaka S, Shimomura K, Nakanishi N, Inoue S, Kotani J. C188-9, a specific inhibitor of STAT3 signaling, prevents thermal burn-induced skeletal muscle wasting in mice. Frontiers in Pharmacology. 202212; 13:1031906.

Kobayashi T, Maeda M, Nakayama C, Takebayashi Y, Sato H, Setou N, Momoi M, Horikoshi N, Yasumura S, Ohto H. Disaster Resilience Reduces Radiation-Related Anxiety Among Affected People 10 Years After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Frontiers in Public Health. 202207; 10:839442.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Sun Z, Imano H, Eguchi E, Hayashi F, Ohira T, Cui R, Yasumura S, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Iso H. The Associations between Evacuation Status and Lifestyle-Related Diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(9):5661.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Kobayashi S, Sano H, Mochizuki K, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effects of second transplantation with T-cell-replete haploidentical graft using low-dose anti-thymocyte globulin on long-term overall survival in pediatric patients with relapse of leukemia after first allogeneic transplantation. International Journal of Hematology. 202203; 115(3):414-423.

Shikano H, Ikeda A, Maejima Y, Kobayashi S, Terauchi T, Yokoyama J, Shimomura K, Taira S. Optimization of the use of Py–Tag for next generation derivatization reagents in imaging mass spectrometry. Journal of Bioscience and Bioengineering. 202209; 134(3):264-268.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimmoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship between risk of hyper- low-density lipoprotein cholesterolemia and evacuation after the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Yasuda Uemura M, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H, Kamiya K. Association between lifestyle habits and the prevalence of abdominal obesity after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202211; 32(11):496-501.

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S3-S10.

Ishikawa T, Yasumura S, Akahane K, Yonai S, Sakai A, Kurihara O, Hosoya M, Sakata R, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. External Doses Available for Epidemiological Studies Related to the Fukushima Health Management Survey: First 4-month Individual Doses and Municipality-average Doses for the First Year. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S11-S22.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K;Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S23-S35.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 3(Suppl_XII):S47-S56.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on Perinatal Outcomes: Results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S57-S63.

Nakaya T, Takahashi K, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Shimura H, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Revisiting the Geographical Distribution of Thyroid Cancer Incidence in Fukushima Prefecture: Analysis of Data From the Second- and Third-round Thyroid Ultrasound Examination. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S76-S83.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S84.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S104-S114.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Yamachi M, Shimizu M, Ono T, Yu Z, Tomita H, Shimomura K. Surface translocation of Kir2.1 channel induces IL-1β secretion in microglia. Molecular and Cellular Neurosciences. 202205; 120:103734.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and

New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Go H, Ono J, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Kume Y, Maeda H, Chishiki M, Haneda K, Ichikawa H, Kashiwabara N, Kanai Y, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Nunomura S, Izuhara K, Hosoya M. Can serum periostin predict bronchopulmonary dysplasia in premature infants? Pediatric Research. 202210; 92(4):1108-1114.

Maejima Y, Yokota S, Ono T, Yu Z, Yamachi M, Hidema S, Nollet KE, Nishimori K, Tomita H, Yaginuma H, Shimomura K. Identification of oxytocin expression in human and murine microglia. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry. 202212; 119:110600.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

Ikeda K, Minakawa K, Yamahara K, Yamada-Fujiwara M, Okuyama Y, Fujiwara SI, Yamazaki R, Kanamori H, Iseki T, Nagamura-Inoue T, Kameda K, Nagai K, Fujii N, Ashida T, Hirose A, Takahashi T, Ohto H, Ueda K, Tanosaki R. Comparison of cryoprotectants in hematopoietic cell infusion-related adverse events. Transfusion. 202206; 62(6):1280-1288.

Nollet KE, Ngoma AM, Ohto H. Transfusion-associated graft-versus-host disease, transfusion-associated hyperkalemia, and potassium filtration: advancing safety and sufficiency of the blood supply. Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103408.

〔総説等〕

Ohto H, Uchikawa M, Ito S, Wada I, Nollet KE, Omae Y, Ogasawara K, Tokunaga K. The KANNO blood group system. Immunohematology. 202212; 38(4):119-122.

Sawano T, Tsubokura M, Ohto H, Kamiya K, Takenoshita S. An attack on a nuclear power plant during a war is indiscriminate terrorism. Lancet. 202204; 399(10333):1379.

Ohto H, Flegel WA, Safic Stanic H. When should RhD-negative recipients be spared the transfusion of DEL red cells to avoid anti-D alloimmunization? Transfusion. 202211; 62(11):2405-2408.

Ohto H. Guest Editorial: Two hits and four factors affecting the development of, or resistance to, transfusion-associated graft-versus-host disease. Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103401.

〔その他〕

Ohto H. Brief biography. Transfusion and Apheresis Science. 202206; 61(3):103468.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishii K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.81-98.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.99-121.

菊田敦，小林正悟. 感染予防と治療　標準感染予防. In: 日本小児血液・がん学会 編集. 小児血液・腫瘍学　改訂第 2 版. 東京: 診断と治療社. 202206. p.254-256.

室井一男，大戸斉. 学会認定アフェレーシスナース制度テキストの発刊にあたって. In: 学会認定・アフェレーシスナース制度カリキュラム委員会. 学会認定・アフェレーシスナース制度指定カリキュラム. 東京: 日本輸血・細胞治療学会; 202207. p.3-4.

大戸斉. 学会認定・臨床輸血看護師制度導入の趣旨. In: 学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会. 看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第 3 版. 東京: 中外医学社; 202208. p.1-2.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

伊藤正一，大戸斉，萩山佳子，入野美千代，面川進，柴崎至，小笠原健一，内川誠, Nollet KE, Flegel WA. DEL 型赤血球輸血による同種抗 D 産生を回避する予防策. 第 120 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220305; 仙台. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(3):462-463.

日出間志寿，前島裕子，下村健寿，水野景太，西森克彦. 加味帰脾湯はオキシトシン欠損マウスが示す向社会

性行動異常を改善する. 第 99 回日本生理学会大会; 20220316-18; 仙台/Web.

皆川敬治，上田航希，山原研一，奥山美樹，藤原慎一郎，長村登紀子，大戸斉，田野崎隆二，池田和彦. 凍害防止剤 CP-1 の輸注による造血細胞輸注関連有害事象への影響とラットに及ぼす毒性の検討. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220528; 名古屋. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):313.

伊藤正一，大戸斉，萩山佳子，入野美千代，面川進，柴崎至，小笠原健一，内川誠, Nollet KE, Flegel WA. DEL 型赤血球輸血による抗 D 同種抗体産生を回避する効果的な予防策. 第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20220529; 名古屋. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(2):267.

萩山佳子，伊藤正一，阿蘇秀樹，柴崎至，當瀬ちひろ，桂木真司，大戸斉. 抗 Jra による胎児水腫のため胎児輸血した児の経過観察に FCM 解析が有用だった 1 症例. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20220910; 山形/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(6):572.

清水裕史，南洋輔，大原喜裕，佐野秀樹，菊田敦，田中秀明. 肝ラブドイド腫瘍の一例. 第 17 回福島県小児血液・腫瘍研究会; 20220910; 福島.

癌集学的治療地域支援講座

論　　文

〔原　著〕

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202201; 71(9):2293-2300.

Kaneta A, Nakajima S, Okayama H, Matsumoto T, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Ito M, Mimura K, Kanke Y, Saito M, Saze Z, Fujita S, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Ohki S, Kono K. Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202204; 71(11):2765-2776.

Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, Saito K, Katagata M, Okayama H, Saito M, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Tada T, Sakamoto W, Momma T, Ohira H, Kono K. Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics. 202211; 115(4):957-971.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI-H 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 癌と

化学療法. 202210; 49(10):1130-1132.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

坂本渉，中嶋正太郎，渡辺洋平，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 当科における働き方改革への対応と医学博士・内視鏡外科技術認定医「量産」への取り組み. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本/Web.

川又崇弘，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. 術前化学療法が食道扁平上皮癌の腫瘍随伴マクロファージおよび腫瘍微小環境に及ぼす影響. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本/Web.

岩田亜弓，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 抗 VEGFR2 抗体を用いた M2 腫瘍関連マクロファージ制御の可能性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本/Web.

北堀有希，三村耕作，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントレセプターとリガンドの発現について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本/Web.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. CD163 陽性 M2 腫瘍関連マクロファージと PD-1 を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本/Web.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，山田玲央，仲野宏，松本拓朗，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，齋藤元伸，佐瀬善一郎，三村耕作，門馬智之，大木進司，橋本優子，河野浩二. 食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現は予後に関連する. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

齋藤元伸，仲野宏，加瀬晃志，中嶋正太郎，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 胃癌サブタイプにおける PD-L1 発現の比較検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

仲野宏，齋藤元伸，中嶋正太郎，齋藤勝治，伊藤美郷，金田晃尚，北堀有希，片方雅紀，佐藤孝洋，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，後藤明輝，河野浩二. EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現は 2 つの異なる機序により引き起こされる. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 術前補助化学療

法が食道扁平上皮癌腫瘍微小環境に及ぼす影響. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二. 進行食道扁平上皮癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発. 第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

三村耕作，中嶋正太郎，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二. 進行食道扁平上皮癌症例における複合がん免疫療法の開発. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜/Web.

上野未来，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤機序について. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web.

大竹廉正，中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における STING 高発現は CD8 陽性 T 細胞の高浸潤に寄与する. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

岡山洋和，松本拓朗，片方雅紀，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，坂本渉，中嶋正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 大腸癌の腫瘍免疫抑制機構. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

東倉賢治郎，三村耕作，中嶋正太郎，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二. 大腸癌における免疫チェックポイントリガンドの発現状況について. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸/Web.

佐藤孝洋，齋藤元伸，片方雅紀，深井智司，岡山洋和，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

片方雅紀，岡山洋和，中嶋正太郎，遠藤英成，叶多諒，深井智司，佐久間芽衣，圓谷秀哲，佐藤孝洋，金田晃尚，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. 癌間質における TGF-β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

深井智司，中嶋正太郎，片方雅紀，佐久間芽衣，佐藤孝洋，岡山洋和，齋藤元伸，三村耕作，河野浩二. HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

〔シンポジウム〕

中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，松本拓朗，菊池智宏，遠藤英成，伊藤美郷，三村耕作，菅家康之，齋藤元伸，佐藤孝洋，片方雅紀，藤田正太郎，坂本渉，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，佐藤孝洋，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，坂本渉，楡井東，菊池智宏，

多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

三村耕作，中嶋正太郎，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，河野浩二．上部消化管癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

岡山洋和，片方雅紀，松本拓朗，遠藤英成，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

〔その他〕

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸/Web.

エピゲノム分子医学研究講座

論　　文

〔原　著〕

Sawada T, Kanemoto Y, Amano R, Hayakawa A, Kurokawa T, Mori J, Kato S. Antagonistic action of a synthetic androgen ligand mediated by chromatin remodeling in a human prostate cancer cell line. Biochemical and Biophysical Research Communications. 202207; 612:110-118.

Mori J, Sawada T, Baba T, Hayakawa A, Kanemoto Y, Nishimura K, Amano R, Siril YJ, Okada M, Kurokawa T, Kato S. Identification of cell cycle-associated and -unassociated regulators for expression of a hepatocellular carcinoma oncogene cyclin-dependent kinase inhibitor 3. Biochemical and Biophysical Research Communications. 202210; 625:46-52.

Kanemoto Y, Nishimura K, Hayakawa A, Sawada T, Amano R, Mori J, Kurokawa T, Murakami Y, Kato S. A long non-coding RNA as a direct vitamin D target transcribed from the antisense strand of the human HSD17B2 locus. Bioscience Reports. 202205; 42(5):BSR20220321.

Kaneda Y, Hori A, Kotera Y, Wada M, Sawano T, Kanemoto Y, Kurokawa T, Tsubokura M, Tanimoto T, Ejiri

T, Kanzaki N, Ozaki A. Why only me? A case report of a breast cancer patient with unresolved trauma from a past disaster experience developing a mental disorder. Clinical Case Reports. 202212; 10(12):e6680.

Sawano T, Kurokawa T, Kanzaki N. Jejunal ectopic pancreas in serosal surface. Gastro Hep Advances. 2022; 1(6):920-921.

Hayakawa A, Kurokawa T, Kanemoto Y, Sawada T, Mori J, Kato S. Skeletal and gene-regulatory functions of nuclear sex steroid hormone receptors. Journal of Bone and Mineral Metabolism. 202205; 40(3):361-374.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

澤田崇広，西村耕一，金本義明，森甚一，加藤茂明. KLK3(PSA)遺伝子座 super enhancer へのアンドロゲン受容体(AR)の標的 DNA 配列非依存的な会合. 第 95 回日本内分泌学会学術総会; 20220602; 別府/Web.

金本義明，西村耕一，澤田崇広，早川哲，黒川友博，沢津橋俊，森甚一，加藤茂明. 新規ヒトビタミン D 標的 non-coding RNA 遺伝子群の同定. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会; 20220610-12; 神戸/西宮.

金本義明，早川哲，澤田崇広，沢津橋俊，福本誠二，森甚一，加藤茂明. カルシウム代謝調整因子群による CYP24A1 転写制御. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会; 20220610-12; 神戸/西宮.

金本義明，西村耕一，澤田崇広，早川哲，黒川友博，沢津橋俊，森甚一，加藤茂明. 新規ヒトビタミン D 標的 non-coding RNA 遺伝子群の同定. 第 40 回日本骨代謝学会学術集会; 20220722-23; 岐阜.

金本義明，西村耕一，早川哲，澤田崇広，森甚一，黒川友博，加藤茂明. 新規ヒトビタミン D 標的 non-coding RNA 遺伝子群の同定. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋.

澤田崇広，金本義明，黒川友博，森甚一，加藤茂明. ヒト前立腺癌細胞株におけるクロマチンリモデリングを介した男性ホルモンアンタゴニストの拮抗作用. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋.

澤田崇広，西村耕一，金本義明，森甚一，加藤茂明. KLK3(PSA)遺伝子座 super enhancer へのアンドロゲン受容体(AR)の標的 DNA 配列非依存的な会合. 第 95 回日本生化学会大会; 20221109-11; 名古屋.

アスタチン核種治療研究講座

論　　文

〔原　著〕

Ota N, Yoshimoto Y, Darwis NDM, Sato H, Ando K, Oike T, Ohno T. High tumor mutational burden predicts worse prognosis for cervical cancer treated with radiotherapy. Japanese Journal of Radiology. 202205; 40(5):534-541.

Yoshimoto Y, Murata K, Irie D, Ando K, Adachi A, Aoki H, Hirakawa T, Noda SE, Nakano T, Ohno T. A retrospective study of small-pelvis radiotherapy plus image-guided brachytherapy in stage I-II non-bulky cervical squamous cell carcinoma. Journal of Radiation Research. 202203; 63(2):290-295.

甲状腺治療学講座

論　　文

〔原　著〕

鈴木眞一. 福島での超音波検査の立ち上げについて. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):6-10.

鈴木眞一. 福島で発見された小児若年性甲状腺癌について. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):17-22.

書籍等出版物

鈴木眞一. MEN1. In: 平沢晃. 遺伝性腫瘍の基礎知識. 大阪: メディカルドゥ; 202201. p.150-156.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

鈴木眞一（座長）, **福田直樹**. 特別講演　甲状腺分化癌のレンバチニブ治療～長期投与のための工夫～. TC Expert Meeting in 福島; 20220127; Web.

鈴木眞一（座長），坂本穆彦．甲状腺癌の病理診断：細胞診と組織診．第 23 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20220218; 福島.

鈴木眞一（座長），山谷幸恵．甲状腺細胞診による遺伝子診断．第 23 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20220218; 福島.

鈴木眞一，赤羽根武弘（座長）．第 41 回講習会「甲状腺結節における超音波診断の進歩」．日本超音波医学会第 63 回東北地方会学術集会; 20220306; Web.

志村浩己（座長），金子裕眠，高橋智里，山谷幸恵，岩舘学，松本佳子，鈴木眞一．甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み．第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

中島範昭（座長），松本佳子，鈴木眞一，塩功貴，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩舘学，水沼廣，菅原茂耕，志賀哲，織内昇．進行甲状腺乳頭癌への非根治手術後の外照射・内照射併用療法について．第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

松本佳子（座長），塩功貴，鈴木眞一，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩舘学，水沼廣．小児甲状腺癌術後の長期にわたる治療経過を経験した 1 例について．第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

松本佳子（座長），鈴木眞一，山谷幸恵，塩功貴，立谷陽介，尾崎章彦，鈴木聡，中野恵一，岩舘学，水沼廣．福島での小児若年者甲状腺癌の再発について．第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

岩瀬弘敬（司会），鈴木眞一．映像による私の手術手技（4）内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）について．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

菊森豊根（司会），松本佳子，塩功貴，岩舘学，鈴木聡，中野恵一，水沼廣，鈴木眞一．サージカルフォーラム 127　「甲状腺」完全内視鏡である腋窩乳輪アプローチによる内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），大場崇旦，森川大樹，網谷正統，清水忠史，大野晃一，伊藤勅子，金井敏晴，前野一真．当科における中リスク甲状腺乳頭癌患者の治療成績と原病死リスク因子の検討ー術前好中球リンパ球比高値はリスク因子となりうるか？ー．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），菊森豊根，杉野加世子，添田郁美，一川貴洋，岩瀬まどか，稲石貴弘，柴田雅央，高野悠子，武内大，角田伸行．中リスク甲状腺乳頭癌に対する外科治療の de-escalation に対する検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），田村温美，筒井英光，伊藤純子，小原亮爾，星雅恵，久保田光博，矢野由紀子，池田徳彦．中リスク甲状腺乳頭癌の治療戦略．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木眞一（司会），伊藤研一（司会），高見博（特別発言），正木千恵，杉野公則，松津賢一，大桑恵子，

北川亘，長濱充二，伊藤公一．中リスク甲状腺乳頭癌の risk-adopted management．第 122 回日本外科学会定期学術集会　; 20220414-16; 熊本(ハイブリッド開催).

志村浩己（座長），鈴木眞一（座長），中野賢英，福成信博，佐々木栄司，坂上聡志，國井葉，福島光浩，亀山香織．甲状腺結節診断における血流評価の役割．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):66.

鈴木眞一（座長），志村浩己，松本佳子，岩舘学，中野賢英，國井葉，福島光浩，天野高志，北川亘，福成信博，村上司，宮川めぐみ，貴田岡正史．甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性に関する Feasibility Study．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):67.

志村浩己（座長），鈴木眞一（座長），塩功貴，松本佳子，鈴木聡. SMI による甲状腺結節の血流と CD31 およびαSMA による解析．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):68.

鈴木眞一．甲状腺結節に対する血流評価の今後の展開．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):69.

塩功貴，松本佳子，鈴木聡，岩舘学，鈴木眞一．甲状腺リンパ腫の超音波像 3 例．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):141.

亀田亘（座長），橋本重厚，長谷川浩司，松本佳子，岩舘学，鈴木眞一．血糖コントロール悪化が診断の端緒となったパラガングリオーマの一例．第 30 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会／第 42 回日本内分泌学会東北地方会; 20220430; Web.

塩功貴，松本佳子，岩舘学，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，鈴木眞一. SMI による甲状腺結節の血流についての検討．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一. Overview: 本専門医コーディネーター制度について．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一．診断基準改訂に向けて，オーバービューと改訂案．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

松本佳子，塩功貴，岩舘学，鈴木聡，中野恵一，鈴木眞一，水沼廣，中村泉．家族性，特に MEN1 の副甲状腺疾患の超音波診断．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):74.

塩功貴，松本佳子，鈴木聡，岩舘学，鈴木眞一．甲状腺扁平上皮癌の超音波像 4 例．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220522; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):142.

鈴木やすよ（座長），塩功貴，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一．一般ポスター3：甲状腺乳頭癌リンパ節転移再発の甲状腺扁平上皮癌の 1 例．第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220623; つくば/Web.

杉谷厳，鈴木眞一（座長），加藤弘．臨床応用を目指した甲状腺未分化癌患者における免疫担当細胞プロファイ

ルの解析. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷厳, 鈴木眞一（座長）, 東山卓也. 甲状腺低分化癌（乳頭癌タイプ）術後 11 年で肺転移が未分化転化した一例. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷厳, 鈴木眞一（座長）, 山﨑春彦. StageIVC 症例における局所切除の意義と死亡原因について. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

杉谷厳, 鈴木眞一（座長）, 山﨑春彦. 甲状腺未分化癌における oligometastasis の治療方針. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

鈴木眞一（座長）, 杉田厳. 甲状腺未分化癌に対するレンバチニブの有効性及び安全性に関する第 2 相試験（HOPE 試験）: 最終報告. 第 34 回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

塩功貴, 松本佳子, 岩舘学, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一, 古屋文彦. 副甲状腺癌の超音波像 3 例. 第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web.

塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 鈴木眞一, 古屋文彦. 甲状腺扁平上皮癌に対しペムブロリズマブを使用し irAE 腸炎に至りインフリキシマブを要した 1 例. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

鈴木聡, 岩舘学, 古屋文彦, 鈴木眞一, 横谷進, 鈴木悟, 志村浩己. 小児若年者における男女別甲状腺機能の変化について. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

〔シンポジウム〕

志村浩己（座長）, 鈴木眞一（座長）. 福島県県民健康調査甲状腺検査－震災後 10 年を過ぎて－. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木聡, 長嶺夏希, 関野瑞希, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺内異所性胸腺の超音波所見と発見率. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木眞一. 小児・若年性甲状腺がん症例の超音波所見. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(増刊):72.

鈴木眞一. 多発性内分泌腫瘍症の病態生理と病理について. 第 95 回日本内分泌学会学術集会; 20220603; 別府/Web. 日本内分泌外科学会雑誌. 98(1):178.

鈴木眞一, Malkin D. リフラウメニ症候群、内分泌腫瘍症 1/2 型－サーベイランスを極める－. 第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20220617; 岡山/Web.

〔特別講演〕

鈴木眞一（座長）, 山本陽一朗. 医療画像と AI～形態情報の可能性に挑む～. 第 30 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会／第 42 回日本内分泌学会東北地方会; 20220430; Web.

〔その他〕

鈴木眞一（座長），佐々木栄司（座長）．甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格について．日本超音波医学会第95回学術集会; 20220520; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一（座長），福成信博（座長）．甲状腺結節（腫瘤）超音波診断基準の改訂に向けて．日本超音波医学会第95回学術集会; 20220522; 名古屋．超音波医学. 49(増刊):73.

鈴木眞一（座長），奥川喜永．地方国立大学病院のがんゲノム医療普及への挑戦．第28回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20220617; 岡山/Web.

鈴木眞一（座長）．甲状腺がんに対するゲノム医療を含めた最新薬物療法．第34回日本内分泌外科学会総会; 20220623; つくば/Web.

杉谷厳，鈴木眞一（座長）．甲状腺未分化癌研究コンソーシアム（ATCCJ）．第34回日本内分泌外科学会総会; 20220624; つくば/Web.

尾本きよか，鈴木眞一（座長）．非腫瘤性病変乳腺疾患ガイドラインとその活用法．日本超音波医学会東北地方会第42回講習会（第64回学術集会併設）; 20220911; 福島.

救急・生体侵襲制御学講座

論　　文

〔原　著〕

Sugiyama T, Hashimoto K, Usuki R, Mori Y, Ishida T, Tameta T, Kobayashi H, Shinohara K. Transcatheter Arterial Embolization for Blunt Hepatic Trauma in a Preschooler. Endovascular Resuscitation and Trauma Management. 202209; 6(2):106-109.

地域婦人科腫瘍学講座

論　　文

〔原　著〕

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202212; 68(3):191-195.

Watanabe T, Soeda S, Endo Y, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Kojima M, Furukawa S, Nishigori H, Takahashi T, Fujimori K. Rare Hereditary Gynecological Cancer Syndromes. International Journal of Molecular Sciences. 202201; 23(3):1563.

Endo Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Kobayashi Y, Kojima M, Furukawa S, Soeda S, Watanabe T, Higashi AY, Higashi T, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Claudin-9 is a novel prognostic biomarker for endometrial cancer. International Journal of Oncology. 202211; 61(5):135.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with *TPM3-NTRK1* gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

渡邉健史，小島学，岡部慈子，佐藤哲，植田牧子，加茂矩士，遠藤雄大，古川茂宜，添田周，渡邉尚大，藤森敬也．初回手術から 1 年後に肺転移で再発した卵巣粘液性境界悪性腫瘍の 1 例．福島医学雑誌. 202204; 72(1):37-42.

地域支援視機能再建学講座

論　　文

〔原　著〕

Saito M, Kobori H, Nozuki N, Kogawa S, Kudo A. A case of intraocular inflammation after intravitreal brolucizumab injection monitored by laser flare-cell photometer. American Journal of Ophthalmology Case Reports. 2022; 28:101727.

Oshima Y, Shinojima A, Sawa M, Mori R, Sekiryu T, Kato A, Hara C, Saito M, Sugano Y, Hirano Y, Asato H, Nakamura M, Kimura E, Yuzawa M, Ishibashi T, Ogura Y, Iida T, Gomi F, Yasukawa T. Progression of age-related macular degeneration in eyes with abnormal fundus autofluorescence in a Japanese population: JFAM study report 3. PLOS ONE. 2022; 17(2):e0264703.

深津有佳里，関向秀樹，今村拓未，前田駿介，則川晃希，田中啓一郎，菅野幸紀，石龍鉄樹. 3 次元モデルによる網脈絡混変性疾患の脈絡膜血管形態の評価. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:61-67.

今村拓未，深津有佳里，関向秀樹，佐藤千尋，前田駿介，田中啓一郎，笠井彩香，新田美和，菅野幸紀，森隆史，石龍鉄樹. 治療用眼鏡装用児のアトロピン点眼による調節麻痺下での脈絡膜血管形態の変化. 日本視能訓練士協会誌. 2022; 52:69-74.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

田中啓一郎. 滲出型加齢黄斑変性における前房水 Properdin 濃度と ARMS2 遺伝子. 第 76 回日本臨床眼科学会; 20221013-16; 東京.

田中啓一郎. Pachydrusen と前房水中補体活性化産物. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会; 20221202-04; 大阪.

〔その他〕

齋藤昌晃. 治療を見据えた加齢黄斑変性の診断～カラー眼底写真と OCTB スキャンでどこまでいけるか～. いわき市眼科医の集い; 20220721; いわき.

齋藤昌晃. 網膜疾患の診断と治療【AMD/mCNV】. STEP; 20220904; 東京.

齋藤昌晃. 硝子体注射の実践. STEP; 20220904; 東京.

齋藤昌晃. 虎の巻“AMD における Fluid Control”. 第 61 回日本網膜硝子体学会モーニングセミナー; 20221204; 大阪.

総合科学部門　言語学分野

論　　文

〔原　著〕

中山仁. 文頭の非制限的関係詞 which の指示特性に関する機能的・語用論的考察. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202203; 24:1-11.

総合科学部門　行動科学分野（心理学）

論　　文

〔その他〕

大川貴子, **三澤文紀**, **木島祐子**, **矢野絵梨佳**, **矢原隆行**. ZOOM を使っての遠隔セミナー「リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討」を開催して：学術活動. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202203; 24:17-20.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大川貴子, **矢原隆行**, **三澤文紀**, **木島祐子**, **金澤幸恵**. メンタルヘルスにおけるリフレクティング・プロセスの可能性　ノルウェーでのメディケーションフリー・トリートメント&福島・熊本での実践研究. 2021 年度遠隔セミナー; 20220130; Web.

総合科学部門　行動科学分野（社会学）

論　　文

〔原　著〕

立柳聡. 隣保組と本分家集団はなぜ共伴できるのか　多摩源流域　山村の社会構造. 東洋大学大学院紀要社会学研究科. 202203; 58:1-17.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

立柳聡. 松澤の契約講ー今日的な構造と機能ー. 房総史料調査会研究会; 20220713; 旭.

〔シンポジウム〕

立柳聡. 社会福祉協議会がめざす“人づくりから地域づくり”への「福祉の学び」とボランティア学習の姿を共有する. 第 25 回日本ボランティア学習学会島根大会; 20221127; 松江.

〔招待講演〕

立柳聡. 子どもの学ぶ権利・生きる権利　学校づくりと地域を通して. 第 71 次東京教研集会「学校づくりと地域」分科会; 20220213; 東京.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

立柳聡. 東京都八丈町八丈小島第 1 次社会調査. 20220123-24. フィールドワーク. 東京都八丈町全域.

立柳聡. 東京都八丈町八丈小島第 2 次社会調査・民俗（族制）調査. 20220129-0202. フィールドワーク. 東京都八丈町全域.

立柳聡. 山梨県大月市鳥澤民俗（伝統食）調査. 20220320. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切民俗調査予備調査. 20220329. フィールドワーク.

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（神幸祭）調査. 20220619. フィールドワーク.

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（神幸祭）調査. 20220724. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切世帯調査予備調査. 20220820-21. フィールドワーク.

立柳聡. 東京都新島村民俗調査予備調査. 20220826-28. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切世帯調査. 20220902-03. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切世帯・民俗（敬老会）調査. 20220918-19. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切世帯調査. 20221008-09. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県長野市小田切世帯調査. 20221106. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県駒ケ根市民俗（伊那谷ぴんころ神社健康長寿祈願）調査. 20221119. フィールドワーク.

総合科学部門　保健情報学・疫学分野

論　　文

〔原　著〕

Honda K, Murakami M, Takebayashi Y, Sakuma J, Goto A. Uncertainty among families of patients with cerebrovascular diseases in Japan: association with quality of life and background characteristics. Aging Clinical and Experimental Research. 202212; 34(12):3097-3105.

Hoshi H, Iwasa H, Goto A, Yasumura S. Effects of working environments with minimum night lighting on night-shift nurses' fatigue and sleep, and patient safety. BMJ Open Quality. 202206; 11(1):e001638.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Kovalevsky D, Rusalenko M, Savasteeva I, Goto A, Yokokawa H, Kumagai A, Takahashi J. Barriers to prevention and treatment of type 2 diabetes mellitus among outpatients in Belarus. Frontiers in Clinical Diabetes and Healthcare. 202201; 2:797857.

Tri MT, Khue NT, Khoa VT, Goto A. Patient views on quality of life and hospital care: results from a

qualitative study among Vietnamese patients with diabetes. Frontiers in Communication. 2022; 7:894435.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202201; 67:102694.

Machida M, Murakami M, Goto A. Differences in data trustworthiness and risk perception between bar graphs and pictograms. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202204; 19(8):4690.

Goto A, Lloyd Williams A, Okabe S, Koyama Y, Koriyama C, Murakami M, Yui Y, Nollet KE. Empowering children as agents of change to foster resilience in Community: Implementing "Creative Health" in primary schools after the Fukushima nuclear disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3417.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on perinatal outcomes: results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum mental health of mothers in Fukushima: insights from the Fukushima Health Management Survey (FHMS) 8-year trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S64-S75.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of external radiation exposure on perinatal outcomes in pregnant women after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S104-S114.

Mori M, Ishii K, Goto A, Nakano H, Suzuki K, Ota M, Yasumura S, Fujimori K. Factors associated with smoking relapse among women in Japan from pregnancy to early parenthood. Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing. 202207; 51(4):428-440.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High Correlation among brain-derived major protein levels in cerebrospinal fluid: implication for amyloid-beta and tau protein changes in Alzheimer's disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Takahashi Y, Kanai Y, Chishiki M, Goto A, Imamura T. Neonatal reticulocytes among preterm infants of small for gestational age. Pediatrics and Neonatology. 202209; 63(5):462-467.

Yoshida K, Nakamura K, Hoshi G, Kanke S, Goto A, Kassai R. Primary health care practitioners' perception of patient loneliness in Japanese older adults: a cross-sectional study. Social Science & Medicine – Population Health. 202206; 19:101143.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an application for sustainable support of returning residents displaced by the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202206; 290:1074-1075.

今泉光雅，鈴木俊彦，池田雅一，松塚崇，後藤あや，大森孝一. Secondary Publication　高齢者施設において調査票でスクリーニングした嚥下障害例に対する嚥下内視鏡評価. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 202201; 125(1):78-79.

佐藤博子，後藤あや，村上道夫，川端康浩. 乳幼児の母親による「乳幼児スキンチェック」と生活の質(QOL)の関連　一施設横断調査. 日本小児皮膚科学会雑誌. 202202; 41(1):43-50.

〔総説等〕

村上道夫，大沼進，柴田侑秀，高田モモ，小林智之，後藤あや，保高徹生. 対象者の協力を必要とする調査に関する注意事項と対応方法について. リスク学研究. 202203; 32(3):243-249.

後藤あや. グローバルヘルスの現場力(Vol.5)母と子の声に応えて　自分のいる場とグローバルの場の重なり. 医学のあゆみ. 202209; 282(13):1159-1162.

後藤あや. ヘルスリテラシー：健康に関する情報を使う力・伝える力. 小児禁煙研究会雑誌. 202210; 12(2):33-37.

書籍等出版物

Lloyd Williams A, Goto A. Chapter 12 Theatres of Resilience: Children as Actors in Community Development in Fukushima. In: Abeysinghe S, Leppold C, Ozaki A, Lloyd Williams A. Health, Wellbeing and Community Recovery in Fukushima. Abingdon, UK: Routledge; 202206. p.155-170.

Goto A, Suzuki K, Koriyama C. Chapter 18 A mother's work is to worry: accepting maternal concerns during a health crisis. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M editor. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London, UK: Academic Press; 2022. p.319-329.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐藤博子，渡邊美恵子，武村雪絵，後藤あや. 看護師の職務継続意思と全般的職務満足度との関連　一病院における横断研究. 福島医学会学術研究集会; 20220526; 福島.

〔シンポジウム〕

Goto A. Beyond radiation anxiety and country borders: applying health literacy in the field after the

Fukushima nuclear accident. ICRP 2021+1 6th International Symposium on the System of Radiological Protection; 20221109; Vancouver, Canada/Web.

Goto A. Applying the two pillars of health literacy after the Fukushima nuclear accident. IAEA Technical Meeting "The importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society"; 20221103; Mol, Belgium/Web.

Goto A. Applying health literacy in the field and at school after the Fukushima nuclear accident. IAEA Consultancy Meeting "The importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society"; 20220622; Fukushima/Web.

Goto A. 世界と日本：コロナに係る子どもの倫理的問題への解決策　母親のレジリエンス　住民参画の倫理 (Ethical challenges and solutions of COVID-19 for children in Japan and around the world A mother's work is to worry: The ethics of engagement). 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220417; 福島. 日本小児科学会雑誌. 126(2):186.

藤森敬也，経塚標，安田俊，村田強志，後藤あや，安村誠司. 県民健康調査　11 年の総括　県民健康調査「妊産婦に関する調査」ならびに自然流産・人工妊娠中絶率の変化. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220417; 福島. 日本小児科学会雑誌. 126(2):203.

後藤あや. 成育基本法の推進ツールとしてのロジックモデル. 第 69 回日本小児保健協会学術集会; 20220624-26; 津/Web.

〔特別講演〕

後藤あや. ヘルスリテラシー　健康情報を使う力、伝える力. 第 11 回日本小児禁煙研究会学術集会; 20220313; 名古屋. 日本小児禁煙研究会雑誌,12(1):13.

生命科学部門

論　　文

〔原　著〕

Mori T, Kawamura T, Ikeda D, Goyama S, Haeno H, Ikeda K, Adachi K, Saito Y, Horisawa T, Suzuki J, Takenoshita S. Influential Force: from Higgs to the novel immune checkpoint KYNU. Jxiv. 202209; https://doi.org/10.51094/jxiv.156.

Kume Y, Go H, Maeda R, Suyama K, Mori T, Kawasaki Y, Hashimoto K, Hosoya M. Gene expression profile

and injury sites in mice treated with Shiga toxin 2 and lipopolysaccharide as a Shiga toxin-associated hemolytic uremic syndrome model. Physiological genomics. 202205; 54(5):153-165.

〔その他〕

森努. NIRF 研究会報告「情報生物学への招待」. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202203; 24:21-28.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

今津陽子，風間郁子，村松真実，笠谷美保，中信利恵子，菅野久美，菅原よしえ，岸田さな江，山田希，加賀美千津，岩永和代，三浦浅子，天野薫，佐藤大介，村上富由子. 【SIG 災害がん看護企画】被災後に治療継続が困難になったがん患者さんへのサポートを考える　被災したがん患者さんを助けるお金とくらしの話. 第 36 回日本がん看護学会学術集会; 20220220; 横浜/Web.

名古屋祐子，松岡真里，竹之内直子，平田美佳，有田直子，川勝和子，古橋知子，石浦光世，中谷扶美. 小児緩和ケアに関する看護師の認識と実践に対する全国調査. 第 32 回日本小児看護学会学術集会; 20220710; 福岡. 第 32 回日本小児看護学会学術集会抄録集. 142.

太田昌一郎，齋藤恵里子，太田沙良，澤田琢磨，渡邉明美，野崎万里子，渡邉陽一郎. 製造業における交代勤務労働者の健診データの検討と今後の課題について. 第 32 回日本産業衛生学会全国協議会; 20220929-1001; 札幌.

三浦浅子，高瀬佳苗，富澤あゆみ，斎藤智子，重野朋子. 治療後　長期生存がんサバイバーシップケアサロンの開催について　宮城県、山形県での広域サロン開催の振り返り. 日本緩和医療学会 第 3 回東北支部学術大会; 20221001; 福島/Web. Palliative Care Research. 17(Suppl.Tohoku):S639.

菅野晴夫，多田武志，佐藤薫，大森あゆみ，齋藤慎也，古川寿美江，菱田純大，大内虹輝，木村静華，三浦浅子. 予後予測を行ったことで、本人の希望に沿ったケアが行えていたのかを考察する. 日本緩和医療学会第 3 回東北支部学術大会; 20221001; 福島/Web.

森努. *Ab initio* 遺伝子軌道法による新規免疫チェックポイント *KYNU* / kynureninase の発見. 第 500 回福島医学会学術研究集会; 20221027; 福島. 福島医学雑誌. 73(2):51.

〔シンポジウム〕

加藤郁子，青木純子. 東日本大震災からコロナへ～語り継ぎたい真実と想い～　こころのつらさを支える　災害やコロナの支援活動を通して. 日本緩和医療学会 第 3 回東北支部学術大会; 202210; 福島/Web. Palliative Care Research. 17(Suppl.Tohoku):S635.

基礎看護学部門

論　　文

〔原　著〕

佐藤博子，後藤あや，村上道夫，川端康浩．乳幼児の母親による「乳幼児スキンチェック」と生活の質(QOL)の関連　一施設横断調査．日本小児皮膚科学会雑誌. 202202; 41(1):43-50.

林紋美，横田素美．コントロール不良な糖尿病患者に抱く看護師の思い．日本農村医学会雑誌. 202207; 71(2):122-132.

〔総説等〕

Shinohara H, Mikami Y, Kuroda R, Asaeda M, Kawasaki T, Kouda K, Nishimura Y, Ohkawa H, Uenishi H, Shimokawa T, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. Rehabilitation in the long-term care insurance domain: a scoping review. Health Economics Review. 202212; 12(1):59.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

徳本弘子，田村玉美，上松恵子，五月女ひろみ，黒田るみ．障害者スポーツを継続するための自己健康管理への支援に関する調査ー視覚障がい者柔道選手の自己健康管理の基礎調査ー．第 4 回日本障がい者スポーツ健康科学看護学会; 20220624; 大阪/Web.

佐藤（蓬田）美保，田中啓子，高瀬佳苗．スコーピングレビューを参考にした成人期の口唇裂口蓋裂者に関する心理的な研究の文献検討．福島医学会第 500 回学術研究集会; 20221027; 福島.

高瀬佳苗，川島理恵，丸谷美紀，稲毛映子，佐藤（蓬田）美保．災害時に長期間にわたり避難した経験をもつ高齢者の健康管理行動の特徴．第 42 回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島/Web.

丸山育子，黒田るみ．福島県のコロナ禍における看護師のメンタルヘルスの実態．第 42 回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島/Web.

〔特別講演〕

黒田るみ．新しい時代に求められる看護の本質　フローレンス・ナイチンゲール看護理論を通して．令和 4 年度福島県看護学会; 20221124; 郡山.

〔その他〕

報告者：徳本弘子　司会・企画：黒田るみ．ラウンドテーブル「パラスポーツの支援を考える」．第4回日本障がい者スポーツ健康科学看護学会; 20220624; 大阪/WEB.

成人・老年看護学部門

論　　文

〔原　著〕

Takahashi C, Sato F, Yoshida S. Development of the quality of life of family caregivers of advanced cancer patients scale in Japan: Psychometric properties. Asia-Pacific Journal of Oncology Nursing. 202208; 9(8):100077.

Yoshida S, Sato F, Tagami K, Sasaki R, Takahashi C, Sasaki K, Takahashi S. Development of the opioid self-management scale for advanced Cancer patients with pain and examination of its validity and reliability. BMC Palliative Care. 202206; 21(1):102.

Yoshida S, Sato F, Tagami K, Takahashi S. Clinical Trial Protocol: Randomized Controlled Trial of Cancer Pain Monitoring System (CAPAMOS) in Patients with Advanced Cancer. Open Journal of Nursing. 202202; 12(02):113-124.

Satoh M, Sato N, Fujimura A. Relationship between personality traits and health behavior among working women in Japan. Preventive Medicine Reports. 202202; 25:101691.

藤村真瑚，佐藤冨美子，吉田詩織，島田宋昭，徳永英樹，青木洋子，新堀哲也，津幡真理．遺伝性乳がん卵巣がん症候群と診断された家族をもつ未発症女性の遺伝学的検査受検および診断後の体験．がん看護. 202201; 27(1):95-100.

照井みのり，佐藤菜保子，村椿智彦，佐藤章子，石田孝宣，福土審．子育て中の乳がん患者の不安および抑うつに影響する要因の検討．心身医学. 202204; 62(3):248-262.

〔総説等〕

今津陽子，菅野久美，中山祐紀子，長谷川久巳，荒尾晴惠．第36回日本がん看護学会学術集会災害対策委員会主催研修会報告　COVID-19対策　その先に．日本がん看護学会誌. 202206; 36:98-100.

〔その他〕

今津陽子，菅野久美，中山祐紀子，荒尾晴惠. 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴うがん治療・看護への長期的な影響と支援ニーズに関する調査. 日本がん看護学会ホームページ　COVID-19 関連情報特設ページ. 202212; Available from: https://jscn.or.jp/covid-19/doc/covid-19_questionnaire2022_report.pdf

書籍等出版物

菅野久美(災害対策委員). In: 日本がん看護学会災害対策委員会, COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に伴う外来がん薬物療法を受ける患者への情報提供の手引き 2.0 版作成ワーキンググループ. COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に伴う外来がん薬物療法を受ける患者・家族への看護実践の手引き(第 2.0 版). 大阪: 一般社団法人日本がん看護学会; 202212; Available from: https://jscn.or.jp/covid-19/doc/JSCN_covid-19_guidance_2.0.pdf

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yoshida S, Sato F, Sasaki K, Sasaki R. Decision making support for cancer patient's treatment strategy during the COVID-19 pandemic in Japan (COVID-19 パンデミック時のがん患者の治療方針決定支援). 2022 ASCO Annual Meeting Chicago, IL Online; 20220603-07; Web/Chicago, USA.

今津陽子，風間郁子，村松真実，笠谷美保，中信利恵子，菅野久美，菅原よしえ，岸田さな江，山田希，加賀美千津，岩永和代，三浦浅子，天野薫，佐藤大介，村上富由子. 【SIG 災害がん看護企画】被災後に治療継続が困難になったがん患者さんへのサポートを考える　被災したがん患者さんを助けるお金とくらしの話. 第 36 回日本がん看護学会学術集会; 20220219-20; 横浜/Web.

菅野久美，今津陽子. がん薬物療法における災害看護シミュレーション教材の評価に関する文献検討. 第 36 回日本がん看護学会学術集会; 20220219-20; 横浜/Web.

佐藤冨美子，吉田詩織，佐々木理衣，佐々木康之輔. 乳がん体験者の生活の再構築を促進する包括的な長期リハビリケアプログラムの術後 1 年までの効果. 第 36 回日本がん看護学会学術集会; 20220219-20; 横浜/Web. 抄録集. 36 回:194.

佐々木康之輔，桜澤邦男，板垣皓大，大谷将之，武富龍一，吉田詩織，前田恵，松尾諭志，伊藤校輝，鈴木佑輔，鈴木智之，片平晋太郎，髙橋悟朗，熊谷紀一郎，佐藤冨美子，伏見清秀，藤森研司，齋木佳克. 本邦における急性 uncomplicated B 型大動脈解離発症高齢患者の DPC データベースに基づいた早期成績と退院時 ADL の実態. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

赤松夏季，佐々木康之輔，吉田詩織，佐藤冨美子. 外科的手術施行前の不安と術後せん妄発症との関連性:系統的レビュー. 第 18 回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20220611-12; 北九州/Web.

佐々木康之輔，吉田詩織，佐藤冨美子. 心臓血管外科手術施行患者を対象とした術前の自律神経活動評価による術後せん妄発症予測. 第 18 回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20220611-12; 北九州.

野口明日香，佐藤冨美子，吉田詩織，佐々木康之輔．胃がん術後患者の身体症状とセルフケア能力の関連．第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会; 20220611-12; 北九州/Web.

星野瑞季，吉田詩織，佐々木康之輔，佐藤冨美子．訪問看護師のがん疼痛緩和に関する知識・困難感とがん疼痛セルフケア実践の関連．第27回日本緩和医療学会学術集会; 20220701-02; 神戸/Web. Palliative Care Research. 17(Suppl.):S249.

吉田美香子，北島由菜，金澤麻衣子，石田孝宣，佐治重衡，大竹徹，小島祥敬，佐藤冨美子，川尻舞衣子，武石陽子，中村康香，吉沢豊予子．乳がん内分泌療法中の女性における閉経関連尿路生殖器症候群の実態．第24回日本女性骨盤底医学会; 20220702-03; さいたま/Web. プログラム・抄録集. 60.

菅野康子，坂本祐子，菅野久美. ICU看護師の看護実践卓越性に影響する要因．日本看護研究学会第48回学術集会; 20220827-28; 松山/Web. 日本看護研究学会雑誌. 45(3):546.

李民純，坂本祐子．外来通院中の慢性心不全がある高齢者の心不全増悪予防のためのセルフケアの実態と主観的幸福感の関連．第19回日本循環器看護学会学術集会; 20221001-02; 大阪.

佐藤菜保子，元井冬彦，伊関雅裕，片寄友，海野倫明．膵癌切除患者における12ヶ月間のHRQOLの変化-高年齢者の特徴に着目した年代間比較．第60回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

杉本幸子，齋藤史子，佐々木千佳，阿部久美，坂本祐子．臨地実習の代替方法としてWeb会議システムを用いた遠隔訪問看護実習の試み．第12回日本在宅看護学会学術集会; 20221119-20; 東京.

佐々木千佳，堀内容子．本邦と海外の比較から見えた靴（履物）の選択と履き方教育に関する現状と課題．第3回日本フットケア・足病医学会東北地方会学術集会; 20221126; 山形.

坂本祐子，山手美和，大崎瑞恵．訪問看護師の心不全緩和ケアに対する困難感．日本看護科学学会第42回学術集会; 20221203-04; 広島.

佐藤冨美子，服部千恵子，吉田詩織，佐々木康之輔．がん免疫療法看護の質評価指標の妥当性・重要性・実行可能性の検討- がん看護スペシャリストへの質問紙調査．第42回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島.

吉田詩織，佐々木康之輔，佐藤冨美子．都道府県がん診療連携病院においてCOVID-19がもたらしたがん看護実践への影響．第42回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島.

小児・精神看護学部門

論　　文

〔原　著〕

高田昭，大川貴子．糖尿病を合併している統合失調症患者の糖尿病自己管理の実施に向けた個別的な支援の検討．日本精神保健看護学会誌．202211; 31(2):58-64.

〔その他〕

大川貴子，三澤文紀，木島祐子，矢野絵梨佳，矢原隆行．ZOOM を使っての遠隔セミナー「リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討」を開催して：学術活動．福島県立医科大学看護学部紀要．202203; 24:17-20.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大川貴子，矢原隆行，三澤文紀，木島祐子，金澤幸恵．メンタルヘルスにおけるリフレクティング・プロセスの可能性　ノルウェーでのメディケーションフリー・トリートメント＆福島・熊本での実践研究．2021 年度遠隔セミナー; 20220130; Web.

地域・公衆衛生看護学部門

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

秦暁子，各務竹康，日高友郎，三浦利恵子，宗像ゆかり，多治見公高，髙橋香子，福島哲仁．新型コロナウイルス感染症流行に伴う年代別学校教員の残業時間の変化．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 山梨

佐藤美保，田中啓子，高瀬佳苗．スコーピングレビューを参考にした成人期の口唇口蓋裂者に関する心理的な研究の文献検索.福島医学会第 500 回学術研究集会; 20221027; 福島.

高崎千聡，髙橋香子．市町村新任期保健師の仕事意欲を高めた先輩保健師のかかわり．第 42 回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島.

高瀬佳苗，川島理恵，丸谷美紀，稲毛映子，佐藤美保．災害時に長期間にわたり避難した経験をもつ高齢者の健康管理行動の特徴．第 42 回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島.

本田あゆみ，髙橋香子．新任期保健師が自己の成長を感じることができた経験．第 42 回日本看護科学学会学術集会; 20221203-04; 広島.

母性看護・助産学部門

論　　文

〔原　著〕

Nishigori T, Obara T, Metoki H, Sakurai K, Mori M, Suzuki T, Ishikuro M, Tatsuta N, Saito M, Sugawara J, Arima T, Nakai K, Kuriyama S, Yaegashi N, Nishigori H. Validation of the Mother-to-Infant Bonding Scale for Infant Maltreatment by Mothers at One Month Postpartum: An Adjunct Study of the Japan Environment and Children's Study. JMA Journal. 202207; 5(3):366-369.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Developmental Origins of Health and Disease. 202207; 14(1):1-7.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on perinatal outcomes: results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum mental health of mothers in Fukushima: insights from the Fukushima Health Management Survey (FHMS) 8-year trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S64-S75.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of external radiation exposure on perinatal outcomes in pregnant women after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima

Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S104-S114.

Mori M, Ishii K, Goto A, Nakano H, Suzuki K, Ota M, Yasumura S, Fujimori K. Factors Associated with Smoking Relapse Among Women in Japan From Pregnancy to Early Parenthood. Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing : JOGNN. 202207; 51(4):428-440.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

篠原好江. 性同一性障害当事者の看護に関する研究の動向. GID(性同一性障害)学会雑誌. 202212; 15(1):69-77.

柴田愛，**藤田愛**，**山口咲奈枝**，**吉村桃果**. COVID-19 感染拡大時期を過ごした妊娠中期の妊婦の口腔衛生行動と歯周病自覚症状. 日本助産学会誌. 202206; 36(1):129-136.

渡邉まどか. 母親が母子健康手帳に抱く思い. 日本母子看護学会誌. 202202; 15(2):56-66.

森美由紀. 母親が自覚する母乳育児継続の力. 日本母子看護学会誌. 202202; 15(2):102-112.

藤田愛，**山口咲奈枝**. Food Behavior Checklist 日本語版の作成の試み　表面妥当性の検証. 母性衛生. 202204; 63(1):243-249.

山口咲奈枝，**藤田愛**，**佐藤幸子**，**遠藤由美子**. 新型コロナウイルス感染症拡大下における父親の保健指導参加状況と父親が医療者に求める保健指導の実態. 母性衛生. 202204; 63(1):72-80.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishii K, Yasuda S, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K, Kyozuka H, Murata T. Chapter 5 Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M editor. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London, UK: Academic Press; 2022. p.81-98.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Shibata A, Fujita M, Yamaguchi S. Factors that influence the increase of Prevotella Intermedia and Porphyromonas Gingivalis in the Saliva of pregnant women. 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference; 20220421-22; Hsinchu, Taiwan.

森美由紀，西郡俊絵，小原拓，櫻井香澄，鈴木妙子，石黒真美，龍田希，齋藤昌利，菅原準一，有馬隆博，仲井邦彦，目時弘仁，栗山進一，八重樫伸生，西郡秀和. 赤ちゃんに対する気持ち質問票を用いた、母親の乳児へのマルトリートメントに対するスクリーニングの有用性. 第 18 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会; 20221022-23; Web.

篠原好江. 性同一性障害当事者の看護に関する研究の動向. GID 学会第 23 回研究大会; 20220312-13; Web.

理学療法学科

論　　文

〔原　著〕

Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Kojima S, Qin W, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Perceived Exertion Correlates with Multiple Physiological Parameters During Cardiopulmonary Exercise Testing. Advances in Experimental Medicine and Biology. 202212; 1395:423-427.

Imamura K, Kamide N, Ando M, Sato H, Sakamoto M, Shiba Y. Social isolation is associated with future decline of physical performance in community-dwelling older adults: a 1-year longitudinal study. Aging Clinical and Experimental Research. 202201; 34(6):1391-1398.

Nolan J, Jacques A, Godecke E, Abe H, Babyar S, Bergmann J, Birnbaum M, Dai S, Danells C, Edwards TG, Gandolfi M, Jahn K, Koter R, Mansfield A, Nakamura J, Pardo V, Perennou D, Piscicelli C, Punt D, Romick-Sheldon D, Saeys W, Smania N, Vaes N, Vaes N, Whitt AL, Singer B, Singer B. Post-stroke lateropulsion terminology: pushing for agreement amongst experts. Annals of Physical and Rehabilitation Medicine. 202211; 65(6):101684.

Funakubo N, Eguchi E, Hayashi R, Hirosaki M, Shirai K, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Omata J, Imano H, Iso H, Ohira T. Effects of a laughter program on body weight and mental health among Japanese people with metabolic syndrome risk factors: a randomized controlled trial. BMC Geriatrics. 202204; 22(1):361.

Yokozuka M, Okazaki K, Hoshi M, Shiine A, Fukumoto T. Effects of self-management exercise group participation in community-dwelling older adults. BMC Geriatrics. 202210; 22(1):814.

Iwase D, Metoki Y, Kusumoto Y, Aikawa J, Takano S, Mukai M, Uchida K, Inoue G, Takaso M. Using allogenous structural bone graft for uncontained tibial bone defects ≥ 10 mm in depth in primary total knee arthroplasty. BMC Musculoskeletal Disorders. 202206; 23(1):528.

Yokozuka M, Okazaki K, Hoshi M. Relationship between foot morphology, muscle strength, and physical performance test in women aged 65 years and older: a cross-sectional study. BMC Musculoskeletal Disorders. 202211; 23(1):995.

Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Narita I. Dysfunction in dynamic, but not static balance is associated with risk of accidental falls in hemodialysis patients: a prospective cohort study. BMC Nephrology. 202207; 23(1):237.

Okura K, Iwakura M, Kawagoshi A, Sugawara K, Takahashi H, Shioya T. Objective physical activity level is associated with rectus femoris muscle echo-intensity in patients with chronic obstructive pulmonary disease. Clinical Respiratory Journal. 202208; 16(8):572-580.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Usui N, Tsubaki A. Temporal changes in cortical oxygenation in the motor-related areas and bilateral prefrontal cortex based on exercise intensity and respiratory metabolism during incremental exercise in male subjects: A near-Infrared spectroscopy study. Frontiers in Physiology. 202208; 13:794473.

Yabuki S, Takatsuki K, Ouchi K. Psychologic distress and QOL in medical staff after a disaster: A longitudinal 4- year study. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):25-35.

Abe H, Koyanagi S, Kusumoto Y, Himuro N. Intra-rater and inter-rater reliability, minimal detectable change, and construct validity of the Edinburgh Visual Gait Score in children with cerebral palsy. Gait & Posture. 202205; 94:119-123.

Sato T, Morishita S, Ono M, Funami Y, Hayao K, Kusano D, Kohzuki M. Peak exercise oxygen uptake and changes in renal function in patients after acute myocardial infarction. Heart & Lung. 202210; 57:277.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Morishita S, Kasahara R, Yamamoto Y, Jinbo R, Takano A, Yasuda M, Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Tsuji T. Differences in the Relationships Between Muscle Strength, Muscle Mass, Balance Function, and Quality of Life for Middle-Aged and Older Breast Cancer Survivors. Integrative Cancer Therapies. 202212; 21:15347354221138574.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M,

Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Ando M, Kamide N, Sakamoto M, Shiba Y, Sato H, Kawamura A, Watanabe S. The Effects of Neighborhood Environment on Physical Function among Japanese Community-Dwelling Older Adults: A One-Year Longitudinal Study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202206; 19(13):7999.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Nakanowatari T, Sasaki R, Nakane Y, Yamaguchi T, Nagase T, Kanzaki H, Kiyoshige Y. The effect of a shoe lift on tensor fasciae latae length during standing with an artificial functional leg length discrepancy: An ultrasonic shear wave elastography study. Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation. 202205; 35(3):531-537.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Characteristics of patients who dropped out after multidisciplinary pain management in Japan: A prospective cohort study. Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation. 202207; 35(4):793-802.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S36-S46.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S84-S94.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S95-S103.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Supplement_XII):S104-S114.

Iwase D, Fukushima K, Kusumoto Y, Metoki Y, Aikawa J, Kenmoku T, Minato S, Matsuo A, Takaso M. Femoral varus derotational osteotomy without pelvic osteotomy in nonambulatory children with cerebral palsy: Minimum 5 years follow-up. Medicine. 202201; 101(3):e28604.

Shirai N, Inoue T, Ogawa M, Okamura M, Morishita S, Suguru Y, Tsubaki A. Relationship between Nutrition-Related Problems and Falls in Hemodialysis Patients: A Narrative Review. Nutrients. 202208; 14(15):3225.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Kasahara S, Takahashi N, Matsudaira K, Oka H, Takatsuki K, Yabuki S. Psychometric Properties of the Multidimensional Pain Inventory: Japanese Language Version (MPI-J). Pain Physician. 202201; 25(1):E105-E112.

Kusumoto Y, Higo R, Ohno K. Differences in college students' occupational dysfunction and mental health considering trait and state anxiety during the COVID-19 pandemic. Peer J. 202205; 10:e13443.

Kawagoshi A, Iwakura M, Furukawa Y, Sugawara K, Takahashi H, Shioya T. Prediction of Low-intensity Physical Activity in Stable Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. Physical Therapy Research. 202212; 25(3):143-149.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Osaki K, Morishita S, Takami S, Sakai Y, Kamimura A, Shindo A, Kawata E. Quality of life of patients with hematological malignancies and factors affecting health state utility values. Supportive Care in Cancer. 202206; 30(6):5319-5327.

肥後梨恵子，楠本泰士，楠元洋子，土屋順子，大西咲子. 医療保健専攻学生におけるノートテイキングに関する指導歴と重要認識項目の関連性. リハビリテーション教育研究. 202207; 28:169-174.

松田雅弘，新田收，米津亮，楠本泰士，松浦孝明，阿部広和，西川康博，大島浩幸，酒井日出子. 子どもの歩行障がい者に対する屋外移動・スポーツ活動を目的に製作した歩行器の検証. 支援工学理学療法学会誌. 202203; 1(1):31-38.

板垣莉央，阿部浩明，大木宗人. 脳卒中後の Pusher behavior の改善効率および初期の重症度を加味した指標である“臨床的重症度”に関連する因子. 神経理学療法学. 202206; 1(1):1-11.

高木健志，新田收，楠本泰士. 運動機能制限を抱える児童における日本語版 Participation and environment measure for children and youth の信頼性と妥当性の検討. 日本保健科学学会誌. 202203; 24(4):263-269.

本幸枝，谷本真実，冨永桂子，高槻梢，恩田啓，笠原諭，髙橋直人，矢吹省司. 慢性疼痛診療における看護師の役割【チーム医療における看護師の役割】. 慢性疼痛. 202212; 41(1):61-68.

金子賢人，石坂正大，千葉康平，山下智幸，乃美証，田中清和，高橋仁美，久保晃. 重症 COVID-19 肺炎患者が退院時に自立歩行が可能となる特徴. 理学療法科学. 202212; 37(6):537-542.

楠本泰士，加藤真希，藤井香菜子，廣澤匠，松田雅弘，高木健志. 痙直型脳性麻痺児者の Manual Ability Classification System と年齢を考慮した上肢機能とセルフケアの違い. 理学療法学. 202202; 49(1):25-33.

宮本清隆，楠本泰士，山際陽子，小野知子，川田恵祐. 集中的な電動車いす操作練習により心身機能の向上した 14 歳の重症心身障害児の 1 症例. 理学療法学. 202206; 49(3):227-233.

〔総説等〕

柴喜崇. 多職種協働の時代にふさわしいリーダーシップを考えるーPM 理論ー. 精神科治療学. 202204; 37(4):351-355.

高橋仁美. 理学療法士・作業療法士によるリハビリテーションと実施時の注意点についてー薬剤師との接点を探るー. 日本病院薬剤師会雑誌. 202207; 58(7):725-729.

中野渡達哉. 【理学療法における代償運動の捉え方ー抑制と活用の観点から】股関節疾患患者の理学療法における代償運動の捉え方. 理学療法. 202208; 39(8):730-739.

〔症例報告〕

Nogami C, Hanada K, Yokoi K, Nakanowatari T, Tasa K, Sakamoto K, Saito Y, Takemura S, Hirayama K. A

Patient with a Unilateral Insular Lesion Showing Bilaterally Reduced Perception of Noxious Stimulation. Internal Medicine. 202202; 61(4):541-546.

Hosokawa K, Sakamoto K, Hirayama K, Nakanowatari T. A Case of Supernumerary Phantom Limb and Suspected Posterior Alien Hand Syndrome After Pontine Hemorrhage. Neurology India. 202201; 70(1) 443-445.

門脇敬，阿部浩明. 運動麻痺と感覚障害を伴い病巣と対側に姿勢傾斜が出現した橋出血例に対する理学療法とその経過. 神経理学療法学. 202203; 1(1):12-19.

〔その他〕

柴喜崇. コロナと老年学　ポストコロナ時代の老年学. ジェロントロジー通信 No.37. 202211.

楠本泰士，高木健志，加藤愛理，松田雅弘，新田收. 痙直型脳性麻痺患者における Trunk Impairment Scale と日常生活活動との関係ー利き足，非利き足を配慮した静的座位バランスの検証ー. 理学療法ジャーナル. 202202; 56(2):243-249.

書籍等出版物

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 202201. p.99-121.

阿部浩明. 垂直認知の障害と脳卒中理学療法. In: 渡辺学. 運動学・神経学エビデンスと結ぶ脳卒中理学療法. 東京: 中外医学社; 202203. p.259-271.

楠本泰士. Lecture6　痙直型脳性麻痺（3）学童期～成人期. In: 奥田憲一, 松田雅弘, 三浦利彦. 小児理学療法学. 東京: 中山書店; 202201. p.61-70.

阿部浩明. Ⅳ理論と理学療法 姿勢定位と空間認知の障害と理学療法. In: 原寛美, 吉尾雅春 編集. 脳卒中理学療法の理論と技術　第 4 版. 東京: メジカルビュー社; 202203. p.424-442.

楠本泰士. 【小児系疾患】脳性麻痺. In: 畠昌史, 藤野雄次, 松田雅弘, 田屋雅信 編集. PT 臨床評価ガイド. 東京: 医学書院; 202201. p.538-554.

本橋隆子，柴喜崇. Lecture2. 予防理学療法と施策（1）行政と経済的側面. In: 木村雅彦. 予防理学療法学－15 レクチャーシリーズ　理学療法テキストー. 東京: 中山書店; 202205. p.11-22.

安齋紗保理，柴喜崇. Lecture3. 予防理学療法と施策（2）健康増進事業. In: 木村雅彦. 予防理学療法学－15 レクチャーシリーズ　理学療法テキストー. 東京: 中山書店; 202205. p.23-34.

柴喜崇. Lecture5. 老年医学と予防理学療法（1）老年症候群. In: 木村雅彦. 予防理学療法学－15 レクチャーシリーズ　理学療法テキストー. 東京: 中山書店; 202205. p.45-54.

阿部浩明. 中枢神経系の構造と脳画像. In: 森岡周, 阿部浩明. 標準理学療法学神経理学療法学　第 3 版. 東京: 医学書院. 202212. p.4-31.

阿部浩明. 脳卒中の病態とリスク管理. In: 森岡周, 阿部浩明. 標準理学療法学神経理学療法学　第 3 版. 東京: 医学書院. 202212. p.80-95.

阿部浩明. 姿勢定位障害. In: 森岡周, 阿部浩明. 標準理学療法学神経理学療法学　第 3 版. 東京: 医学書院. 202212. p.174-184.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

岡崎可奈子，安田俊，石井佳世子，中野裕紀，大平哲也，藤森敬也，石川徹夫，安村誠司，大戸斉，神谷研二. 東日本大震災後の福島第一原発事故による外部被ばく線量の周産期転帰への影響：福島県「県民健康調査」. 第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126; 浦安/Web.

Kondo T, Iseki C, Hoshi M, Nagahashi I, Shindo M, Koshita H, Fukami T, Aoyagi Y, Yamada S, Ohta Y. Takahata study 2021, Part 1: Gait analysis of elderly residents assessed by iOS applications. 第 63 回日本神経学会学術大会; 20220521; 東京/Web. 臨床神経学. 62(別冊):S246.

星真行，伊関千書，長橋育恵，新藤柾，小下弘嗣，近藤敏行，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. Takahata study 2021, Part 2：身体的フレイルを Hacaro iTUG で評価する. 第 63 回日本神経学会学術大会; 20220521; 東京/Web. 臨床神経学. 62(別冊):S408.

新藤柾，星真行，長橋育恵，伊関千書，小下弘嗣，近藤敏行，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. Takahata study 2021 より Part 3：高齢住民の認知的フレイルの検出. 第 63 回日本神経学会学術大会; 20220521; 東京/Web. 臨床神経学. 62(別冊):S408.

江口依里，大平哲也，中野裕紀，林史和，岡崎可奈子，舟久保徳美，前田正治，安村誠司，矢部博興，神谷研二. 東日本大震災後の避難の有無別に見た笑いの頻度と生活習慣病との関連. 第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220611; Web.

近藤敏行，伊関千書，星真行，深見忠典，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. iPhone アプリ TDP walk を用いた高齢者の歩行解析. 第 22 回日本抗加齢医学会総会; 20220618; 大阪/Web. プログラム・抄録集. 229.

近藤敏行，伊関千書，星真行，川原光瑠，鈴木佑弥，猪狩龍佑，佐藤裕康，小山信吾，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. iPhone アプリによりタップテスト前後の歩行を評価した iNPH の 1 例. 第 23 回日本正常圧水頭症学会; 20220618; 千葉. プログラム・抄録集. 56.

吉田円香，石山大介，秦若菜，大森圭貢，柴喜崇．パーキンソン病者の通いの場における情報交換の満足度と時間および人数設定との関係活動後アンケートを通して．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都.

高橋仁美．これからの呼吸理学療法を詠む　呼吸理学療法の変遷．第 8 回日本呼吸理学療法学会学術大会; 20220923; Web．呼吸理学療法学. 8th.Meeting:np37.

金子賢人，千葉康平，石坂正大，山下智幸，久保晃，田中清和，出雲雄大，高橋仁美．重症 COVID-19 肺炎患者の歩行自立に関わる因子は呼吸機能ではなく年齢および挿管期間．第 8 回日本呼吸理学療法学会学術大会; 20220923; Web．呼吸理学療法学. 2(Supplement):O-03-03.

伊関千書，新藤柾，長橋育恵，星真行，小下弘嗣，青柳幸彦，山田茂樹，近藤敏行，太田康之．高齢住民における認知的フレイルの検出：山形県高畠町の住民調査より．第 11 回日本認知症予防学会学術集会; 20220923; 福岡/Web.

近藤敏行，伊関千書，星真行，深見忠典，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. iOS アプリを用いた高齢者の認知機能と歩行の関連性の検討．第 11 回日本認知症予防学会学術集会; 20220923; 福岡/Web.

岡崎可奈子，長尾匡則，島袋充生，大平哲也，中野裕紀，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後のやせの新規発生と生活習慣・精神的健康との関連：福島県県民健康調査．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007; 甲府/Web.

阿部浩明，大鹿糠徹，辻本直秀，関崇志．長下肢装具を必要とする脳卒中片麻痺者における発症 1 ヶ月後の短下肢装具への移行を予測する因子の検討ー麻痺側下肢支持性指標は予測因子となり得るか？ー．第 21 回福島県理学療法学術大会; 20221009; いわき/Web.

岡崎可奈子，横塚美恵子，星真行．郡山市のがん検診受診者におけるがん罹患の有無と生活習慣・生活習慣病との関連（横断研究）．第 21 回福島県理学療法学術大会; 20221009; いわき/Web.

佐藤秀夏，中野渡達哉，石屋俊輔，神先秀人．インソール型荷重システムを用いたフィードバックによる部分荷重の学習効果．第 21 回福島県理学療法学術大会; 20221009; いわき/Web.

楠本泰士，阿部広和，脇遼太朗，佐藤圭汰，小俣純一，星真行. Edinburgh Visual Gait Score を用いた脳性麻痺患者の異常歩行に影響する歩行時の要因と基準値．第 20 回日本神経理学療法学会学術大会; 20221016; 大阪.

脇遼太朗，楠本泰士，加藤愛理．歩行可能な脳性麻痺患者における選択的股関節筋解離術後の年齢別の歩行パターンの変化ーPilot studyー．第 20 回日本神経理学療法学会学術大会; 20221016; 大阪.

近藤敏行，伊関千書，星真行，深見忠典，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之. iPhone アプリ TDP walk（マーカーレス 3D モーションキャプチャー）を用いた加齢と歩行速度、膝関節角度との関連性の検討．日本転倒予防学会第 9 回学術集会; 20221016; 横浜/Web．日本転倒予防学会誌. 9(suppl):94.

近藤敏行，伊関千書，星真行，青柳幸彦，山田茂樹，太田康之．高齢住民における歩行機能と VSRAD での脳萎縮との関連性の検討．第 65 回日本脳循環代謝学会学術集会; 20221028; 甲府/Web．脳循環代謝. 34(1):103.

岡崎可奈子，横塚美恵子，星真行，七海満，佐久間順子．郡山市の健康診査受診者において新規に身体的フレイル状態に至ったリスク要因の検討．第 9 回日本サルコペニア・フレイル学会大会; 20221029; 草津/Web.

楠本泰士，肥後梨恵子，大野勘太，土屋順子，大西咲子，高木健志．COVID-19 パンデミック時の特性不安と状態不安を考慮した大学生の作業機能障害とメンタルヘルスの違い．第 11 回日本理学療法教育学会学術大会; 20221106; Web.

古川大，岩倉正浩，川越厚良，照井佳乃，菅原慶勇，高橋仁美，佐竹將宏，塩谷隆信．呼吸リハビリテーション維持プログラムを継続した慢性閉塞性肺疾患患者の身体活動量の長期的な変化．第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20221111-12; 千葉．日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 32(Suppl.):162s.

村上桃恵，原田路子，大橋琴絵，山口愛由美，柳沼靖子，高橋仁美，渡邉菜摘，柴田陽光．ペーシングの指導が ADL の改善につながった患者への関わり．第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20221111-12; 千葉．日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 32(Suppl.):207s.

畠山浩太郎，植田拓也，鹿内誠也，土屋彰吾，前田悠紀人，柴喜崇．運動習慣のある地域在住高齢者における高次の日常生活動作の実施状況（Frenchay Activities Index）の 9 年間の変化．第 17 回日本応用老年学会大会; 20221112-13; 福岡.

楠本泰士，西部寿人，樋室伸顕，木元稔，宮本清隆．小児リハビリテーションでの目標設定における共同意思決定の現状と目標設定の課題．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221112; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):41.

加藤愛理，楠本泰士，脇遼太朗．痙直型脳性麻痺患者における下腿三頭筋の筋輝度の評価-Modified Heckmatt Scale を用いた試験的な試み-．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221112; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):48.

脇遼太朗，楠本泰士，加藤愛理．成人脳性麻痺患者における就労状況による理学療法目標の特徴．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221112; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):53.

佐々木優太，中島卓也，依田奈緒美，楠本泰士，真野英寿．発達障害児・発達遅滞児の足部側面レントゲン画像の特徴．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221112; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):72.

楠本泰士，佐々木優太，中島卓也，樋室伸顕，加藤愛理，高木健志．発達支援の必要な児の保護者の状態不安の高低に関連する要因．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221113; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):61.

佐々木優太，中島卓也，依田奈緒美，楠本泰士，真野英寿．乳幼児発達スケール(KIDS)と子どもの強さと困難さアンケート（SDQ）の関係性．第 9 回日本小児理学療法学会学術大会; 20221112; Web. 小児理学療法学. 1(Supplement_2):113.

髙橋直人，高槻梢，笠原諭，矢吹省司．ICD-11J 分類別にみた運動器慢性疼痛に対する外来での集学的痛み治療の効果．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web. 日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S40.

恩田啓，高槻梢，髙橋直人，本幸枝，谷本真実，二瓶健司，笠原諭，矢吹省司．慢性疼痛患者に対する集学的診療の治療効果ーQOL の変化に着目してー．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web．日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S45.

春山祐樹，髙橋直人，二瓶健司，荒瀬洋子，山口歩，本幸枝，谷本真実，福地朋子，笠原諭，矢吹省司．入院型集学的痛み治療が有効であった高度脊柱側彎変形を伴った慢性腰痛の 1 例．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web．日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S46.

松平浩，笠原諭，酒井美枝，井上真輔，鉄永倫子，高橋紀代，高槻梢，二瓶健司，矢吹省司，髙橋直人．慢性疼痛に対する新たな心理社会的フラッグシステム開発．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web．日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S48.

二瓶健司，髙橋直人，松平浩，春山祐樹，岩﨑稔，矢吹省司．運動器慢性痛患者の Phase angle（位相角）に関連する因子の検討．第 15 回日本運動器疼痛学会; 20221119; 足利/Web．日本運動器疼痛学会誌. 14(4):S62.

前田拓也，上出直人，安藤雅峻，坂本美喜，柴喜崇，佐藤春彦．地域在住自立高齢者の社会的孤立は呼吸機能と関係する．第 9 回日本予防理学療法学会学術大会; 20221119; 東京．プログラム・抄録集. 23.

代田武大，安藤雅峻，坂本美喜，上出直人，佐藤春彦，柴喜崇．整備された近隣の自転車レーンは、痩せに該当する高齢者の筋肉量低下予防に貢献する．第 9 回日本予防理学療法学会学術大会; 20221119-20; 東京．プログラム・抄録集. 104.

髙橋直人，高槻梢，笠原諭，矢吹省司．3 つの病態別にみた運動器慢性疼痛に対する集学的痛み治療の効果．第 44 回日本疼痛学会・第 2 回日本術後痛学会; 20221202; 岐阜/Web.

〔シンポジウム〕

本幸枝，谷本真実，恩田啓，笠原諭，矢吹省司．慢性疼痛治療における看護師の役割ーチーム医療における看護師の役割ー．第 51 回日本慢性疼痛学会; 20220225; Web．プログラム・抄録集. 66.

阿部浩明．臨床のフィールドで進める研究についての提言．第 30 回愛知県理学療法学術大会; 20220424; 名古屋/Web.

柴喜崇．大学院における『学際的』な老年学教育の評価．日本老年社会科学会第 64 回大会; 20220702; 東京.

柴喜崇．健康なまちづくりを科学するーアクションリサーチの活用ー．第 9 回日本予防理学療法学会学術大会; 20221119; 東京.

〔特別講演〕

柴喜崇．相双地域における「通いの場」の在り方を考える．令和 3 年度相双地域地ハビリテーション従事者等研修会; 20220118; Web.

阿部浩明．歩行リハビリテーションの理論的背景と下肢装具を用いた急性期からの取り組み. pacific supply 主催

オンラインセミナー; 20220122; Web.

阿部浩明. 脳卒中後の姿勢定位障害に対するリハビリテーションの理論と実践－各種姿勢定位障害の相違, Lateropulsion に対するリハビリテーション－. リハオンデマンド主催 zoom セミナー; 20220130; Web.

阿部浩明. 脳卒中後の姿勢定位障害に対するリハビリテーションの理論と実践－pusher 現象に対するリハビリテーション～その定義、評価方法、出現率と回復特性－. リハオンデマンド主催 zoom セミナー; 20220206; Web.

阿部浩明. 脳卒中後の姿勢定位障害に対するリハビリテーションの理論と実践－pusher 現象に対するリハビリテーション～メカニズム、病巣、治療戦略－. リハオンデマンド主催 zoom セミナー; 20220213; Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺者の歩行再建. 福島県理学療法士会県北支部学術研修大会; 20220220; 福島/Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺例の歩行再建. 第 111 回新潟県理学療法士会 Web 研修会; 20220320; Web.

阿部浩明. 理学療法士としての志～自分の考えをデータで示して発言できる臨床家を志して～. 第 73 回北海道理学療法学術大会; 20220625; 旭川/Web.

柴喜崇. 人生 100 年時代における生活機能の考え方. 令和 4 年度福島県国保地域医療学会; 20220709; 福島.

中野渡達哉. 「人工股関節全置換術後の脚長差」からみた臨床研究の世界. 第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会; 20220923; Web. 運動器理学療法学. 3(Supplement):S80.

阿部浩明. 歩行障害に関連する脳領域の画像形態. 第 20 回日本神経理学療法学会学術大会; 20221015; 大阪.

柴喜崇. 地域で生活される当事者とパートナーのサードプレイスについて考える. 令和 4 年度福島県難病相談会・交流会支援事業「患者と家族の交流会」; 20221016; 福島.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺者の歩行再建. 福島県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会主催勉強会; 20221019; Web.

高橋仁美. 呼吸器疾患の理学療法とリハビリテーション「これまで」と「これから」. 第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20221111; 千葉.

阿部浩明. 理学療法のための脳画像評価. 北海道理学療法士会後志支部令和 4 年度第 2 回研修会; 20221210; Web.

〔招待講演〕

阿部浩明. 脳卒中リハビリテーションにおける画像評価の臨床応用－脳画像解析の実際・臨床応用－. 新潟医療福祉大学 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー; 20220709; Web.

星真行. よりよい在宅療養生活を送るために～リハビリ・福祉用具の選定方法など～. 令和 4 年度難病医療相談会・交流会; 20220907; Web.

星真行. 筋萎縮性側索硬化症とともに生きた 30 年～理学療法士からの視点、家族としての視点～. 令和 4 年度相双地域リハビリテーション従事者研修会; 20221027; Web.

星真行. よりよい在宅療養支援のために（ALS、多系統萎縮症等の神経難病の疾患の理解と在宅療養支援について）. 令和 4 年度福島県県南保健福祉事務所「難病患者支援者研修会」; 20221215; 白河.

〔その他〕

楠本泰士. 発達障害児者への栄養評価と取り組み. 2021 年度日本小児理学療法学会サテライトカンファレンス; 20220205; Web.

楠本泰士. どの施設でも行える小児の理学療法評価. 令和 3 年度福島県理学療法士研修会; 20220213; Web.

楠本泰士. 小児疾患の乳児期から成人期までの診方と考え方のコツ. 2021 年度福島県理学療法士会県北支部学術研修大会; 20220220; Web.

阿部浩明. 脳卒中患者に見られる”傾く”“押す”“抗う”をあなたはどう考え、どう治療しますか？ 動きと痛み Lab 主催研修会セミナー; 20220522; Web.

楠本泰士. ゲーミフィケーション×リハビリの最新動向. 株式会社デジリハ　一歩先の臨床をつくるオンラインセミナー; 20220804; Web.

岡崎可奈子. 知っておきたい!!在宅で役立つフレイルの知識～フレイルと栄養、心理面との関連について～. 滋賀生活環境支援系理学療法研究会研修会; 20220821; Web.

楠本泰士. 痙性治療のメリット・デメリット、観血的治療前後に必要な評価と運動療法. 第 7 回小児理学療法講習会（応用編）; 20220918-19; Web.

阿部浩明. 脳画像に基づく病態解釈と理学療法での活用. 広島県理学療法士会主催呉支部研修会; 20221002; Web.

柴喜崇. 市区町村健康増進計画のアクションリサーチ的策定と展開. 第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007; 甲府.

石川朗，植木純，神津玲，安藤守秀，桂秀樹，黒澤一，佐野恵美香，佐野裕子，高橋仁美，玉木彰，津田徹，竹川幸恵，髻谷満，樋野恵子. COVID-19 に対する呼吸リハビリテーションに関する調査報告. 第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20221111-12; 千葉. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 32(Suppl.):90s.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

髙橋直人，矢吹省司. 多職種連携集学的痛み治療－長引く痛みをよくするために－. 日本いたみ財団 web　アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹，髙橋直人，二瓶健司，矢吹省司．痛みを長引かせないカラダの動かし方について－理学療法士の立場から－．日本いたみ財団 web　アーカイブコンテンツ. 202012-.

楠本泰士．子どものADL（日常生活活動）を評価する視点．リハテックチャンネル. 20220311.

作業療法学科

論　　文

〔原　著〕

Nakaya N, Nakaya K, Tsuchiya N, Sone T, Kogure M, Hatanaka R, Kanno I, Metoki H, Obara T, Ishikuro M, Hozawa A, Kuriyama S. Similarities in cardiometabolic risk factors among random male-female pairs: a large observational study in Japan. BMC Public Health. 202210; 22(1):1978.

Asao A, Nomura T, Shibuya K. Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation through Hand Splint Materials on Induced Movement and Corticospinal Excitability in Healthy Participants. Brain Sciences. 202202; 12(2):280.

Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Shibuya Y, Morioka D, Ohba M, Yoshioka M, Sakamoto K, Kanoto M, Otani K. Comparing Medial Temporal Atrophy Between Early-Onset Semantic Dementia and Early-Onset Alzheimer's Disease Using Voxel-Based Morphometry: A Multicenter MRI Study. Current Alzheimer Research. 202209; 19(7):503-510.

Lu Y, Matsuyama S, Sugawara Y, Sone T, Tsuji I. Dairy intake and incident functional disability among older Japanese adults: the Ohsaki Cohort 2006 Study. European Journal of Nutrition. 202208; 61(5):2627-2637.

Ito A, Yoshida K, Aoki R, Fujii T, Kawasaki I, Hayashi A, Ueno A, Sakai S, Mugikura S, Takahashi S, Mori E. The role of the ventromedial prefrontal cortex in preferential decisions for own- and other-age faces. Frontiers in Psychology. 202203; 13:822234.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Hayashi H, Morioka D, Hara N, Ikeuchi T, Otani K. Focal striatal amyloid deposition in Alzheimer's disease caused by APP p.V717I mutation: Longitudinal positron emission tomography study. Geriatrics & Gerontology International. 202204; 22(4):360-362.

Tsuchiya K, Saito M, Okonogi N, Takai S, Jingu Y, Tanaka K, Hirao K, Fujita T, Tanaka Y. Performing One-Session Cognitive Stimulation to Interact with Patients with Dementia in a Hospital for Mood Improvement: A Retrospective Single-Arm Cohort Study. International Journal of Environmental Research and Public health. 202201; 19(3):1431.

Yokokawa Y, Sone T, Matsuyama S, Lu Y, Sugawara Y, Fukao A, Tsuji I. How long would you like to live? A 25-year prospective observation of the association between desired longevity and mortality. Journal of Epidemiology. 202205; JE20210493.

Togashi Y, Fujita T, Ohashi T, Jinbo R, Kasaraha R. Effect of life-space mobility on subjective well-being in aged home-based rehabilitation users with different levels of independence in activities of daily living. Journal of Physical Therapy Science. 202201; 34(1):18-21.

Kakinuma T, Fujita T, Iwamoto T, Mizushiri T, Yazawa Y. Effects of tissue plasminogen activator on medium-term functional independence: A propensity score-matched analysis. Medicine. 202210; 101(41):e31108.

Asao A, Wada K, Nomura T, Shibuya K. Time course changes in corticospinal excitability during repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery. Neuroscience Letters. 202202; 771:136427.

Shigemune Y, Kawasaki I, Baba T, Takeda A, Abe N. Decreased sensitivity to loss of options in patients with Parkinson's disease. Neuropsychologia. 202209; 174:108322.

Tsuchiya K, Shimoda K, Mitsui S, Yamaya N, Kikuchi S, Fujita T, Tozato F. Hemodynamic changes in the right ventrolateral prefrontal cortex relate to the psychological mood profile. Neuroscience Letters. 202205; 780:136653.

Ohashi T, Fujita T, Togashi Y, Ohashi Y, Kisara Y, Jinbo R, Kasahara R, Yamamoto Y. Relationship between Activities of Daily Living of Home-Based Rehabilitation Users and Caregiver Burden-Induced Depression: A Retrospective Study. Occupational Therapy International. 202206; 2022:4524985.

Nakaoka K, Tanba H, Yuri T, Tateyama K, Kurasawa S. Convergent validity of the Autism Spectrum Disorder Mealtime Behavior Questionnaire (ASD-MBQ) for children with autism spectrum disorder. PLOS ONE. 202204; 17(4):e0267181.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Morioka D, Hayashi H, Utsunomiya A, Kabasawa T, Otani K. Limbic-predominant age-related TDP-43 encephalopathy characterised by frontotemporal dementia-like behavioural symptoms. Psychogeriatrics. 202207; 22(4):574-579.

Morioka D, Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Suzuki A. Clonazepam-induced misidentification in prodromal dementia with Lewy bodies. Psychogeriatrics. 202209; 22(5):767-769.

Ito K, Tomata Y, Obuchi S, Kawai H, Zhang S, Sone T, Sugawara Y, Tsuji I. Time spent walking and disability-free survival in older Japanese: The Ohsaki Cohort 2006 Study. Scandinavian Journal of Medicine & Science in Sports. 202207; 32(7):1153-1160.

小池祐士，澄川幸志，大橋幸子．腰痛者に対する腰部ベルトの使用効果の検証．作業療法ジャーナル. 202203; 56(3):273-279.

木村夏実．【こんなときどうする？運動器の作業療法ナビ】（第 5 章）合併症としての運動器の問題　運動器疾患を呈した方の「その人らしさ」を支える認知症ケア．作業療法ジャーナル. 202207; 56(8):900-904.

阿志賀大和，**田中善信**，**栗原トヨ子**，**山村千絵**．神経心理検査実施時のストレスに関する検討　コース立方体組み合わせテストを用いて．日本早期認知症学会誌. 202203; 14(3):2-11.

松本幸樹，**加藤拓彦**，**澄川幸志**，**田中真**．急性期病院入院脳梗塞患者における意識障害の程度とリハビリテーションの実施状況を考慮した自宅退院関連因子の検討．保健科学研究. 202209; 13(1):1-8.

〔研究報告書〕

川又寛徳，**五百川和明**，**三橋佑平**，**田中善信**．労働者のヘルスリテラシーと作業参加の関係．（公財）福島県労働保健センター　令和 2 年度事業年報. 202201; (19):68-70.

〔その他〕

川又寛徳．ノーベル経済学賞から考える日本の作業療法研究．作業療法. 202204; 41(2):143.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

藤田貴昭，**山本優一**，**栗田恵**，**曽根稔雅**，**五百川和明**. XGBoost は回復期リハ病棟脳卒中患者の自宅退院の予測精度をどこまで高めることができるか．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web．抄録集. 128.

小豆嶋晃一，**井口敦弘**，**澄川幸志**．不安・抑うつを伴う劇症型心筋炎に対する作業療法．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 150.

三浦裕幸，**加藤拓彦**，**田中真**，**澄川幸志**，**津田英一**．頭頸部癌喉頭摘出者における QOL に影響を及ぼす因子の検討．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web．抄録集. 220.

川西陽之，**津内口浩基**，**田中真**，**澄川幸志**，**加藤拓彦**．統合失調症患者の社会認知機能と社会生活能力との関連．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web．抄録集. 230.

渡部雄太，**井口知也**，**川又寛徳**，**宮本礼子**．人間作業モデルスクリーニングツールによる軽度認知障害のリバートに影響する概念の検討．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 268.

木村優斗，**加藤拓彦**，**田中真**，**澄川幸志**．回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した認知機能低下高齢者の特徴と主介護者の介護負担要因の検討．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web．抄録集. 302.

五百川和明，**藤田貴昭**，**吉田静**，**茂木由香**，**笠原龍一**．悪性リンパ腫患者における化学療法開始後早期の手の知覚および機能の変化．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 670.

澄川幸志，工藤洋子．介護老人保健施設における日常生活活動の改善要因の検討．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 806.

木村夏実，小林法一．色カルタを用いた集団活動中に見られる参加者同士の会話の特徴．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web．抄録集. 870.

川又寛徳，五百川和明，澄川幸志，藤田貴昭．福島県作業療法士会によるコロナ禍における県民の作業、健康支援の取り組み．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 915.

石川陽子．災害復興期における地域で実践される集団活動についてのスコーピングレビュー．第 56 回日本作業療法学会; 20220916; 京都/Web．抄録集. 939.

川勝忍，林博史，志賀哲也，小林良太．光トポグラフィー検査 NIRS による認知症のアパシーの客観的評価の試み．第 27 回日本神経精神医学会; 20221014; Web.

小林良太，川勝忍，森岡大智，林博史，鈴木昭仁．前頭側頭型認知症様の行動異常を呈した大脳辺縁系優位型加齢性 TDP-43 脳症（LATE）の 1 例．第 27 回日本神経精神医学会; 20221014; Web.

三浦裕幸，加藤拓彦，西村信哉，田中真，澄川幸志，工藤直美，津田英一．高齢頭頸部癌喉頭摘出者における指輪っかテストとリハビリテーション評価との関連性．第 9 回日本サルコペニア・フレイル学会大会; 20221029-30; 草津/Web．日本サルコペニア・フレイル学会雑誌. 6(Suppl.):151.

小林良太，川勝忍，林博史，原範和，池内健，鈴木昭仁. APP 変異を持つアルツハイマー病の線条体限局性アミロイド沈着：アミロイド PET 縦断研究．第 41 回日本認知症学会; 20221126; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

川又寛徳，中山奈保子，近藤吉輝．生活に寄り添う災害作業療法．第 56 回日本作業療法学会; 20220917; 京都/Web.

川又寛徳．災害経験を踏まえて作業療法士の役割を考える．災害リハビリテーション研修会; 20221112; Web.

〔その他〕

木村夏実．認知症ケア　認知症の方の声をつなげる色カルタ．第 23 回千葉県作業療法士学会; 20220306-13; Web.

診療放射線科学科

論　　文

〔原　著〕

Kato R, Kato T, Narita Y, Sasaki S, Takayama K, Murakami M. Identification of Induced Radionuclides Produced from Dental Metals in Proton Beam Therapy for Head and Neck Cancer. Advances in Radiation Oncology. 202212; 8(4):101153.

Nakaya M, Sato N, Matsuda H, Maikusa N, Shigemoto Y, Sone D, Yamao T, Ogawa M, Kimura Y, Chiba E, Ohnishi M, Kato K, Okita K, Tsukamoto T, Yokoi Y, Sakata M, Abe O. Free water derived by multi-shell diffusion MRI reflects tau/neuroinflammatory pathology in Alzheimer's disease. Alzheimer's & Dementia. 202210; 8(1):e12356.

Kato R, Hirose K, Kato T, Motoyanagi T, Arai K, Harada T, Takeuchi A, Yamazaki Y, Narita Y, Komori S, Sato M, Takai Y. Dosimetric effects of the ipsilateral shoulder position variations in the sitting-positioned boron neutron capture therapy for lower neck tumor. Applied Radiation and Isotopes. 202210; 188:110397.

Matsuda H, Yamao T. Software development for quantitative analysis of brain amyloid PET. Brain and Behavior. 202203; 12(3):e2499.

Ishikawa Y, Morita K, Yamaguchi H, Kato T, Suzuki M, Seto I, Machida M, Takayama K, Tominaga T, Takagawa Y, Nakajima M, Teranishi Y, Kikuchi Y, Murakami M. Proton Beam Therapy With Space-Making Surgery (Omental Plombage) for Oligorecurrent Liver Metastasis of Esophageal Adenocarcinoma. Cure¯us. 202211; 14(11):e31656.

Yoshino S, Shimotsukasa T, Oshio A, Hashimoto Y, Ueno Y, Mieda T, Migiwa I, Sato T, Kawamoto S, Soto CJ, John OP. A validation of the Japanese adaptation of the Big Five Inventory-2. Frontiers in Psychology. 202210; 13:924351.

Kobayashi T, Maeda M, Nakayama C, Takebayashi Y, Sato H, Setou N, Momoi M, Horikoshi N, Yasumura S, Ohto H. Disaster Resilience Reduces Radiation-Related Anxiety Among Affected People 10 Years After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Frontiers in Public Health. 202207; 10:839442.

Tamori H, Yamashina H, Mukai M, Morii Y, Suzuki T, Ogasawara K. Acceptance of the Use of Artificial Intelligence in Medicine Among Japan's Doctors and the Public: A Questionnaire Survey. JMIR Human Factors. 202203; 9(1):e24680.

Anetai Y, Sumida I, Kumazaki Y, Kito S, Kurooka M, Ueda Y, Otani Y, Narita Y, Kawamorita R, Akita K, Kato T, Nakamura M. Assessment of using a gamma index analysis for patient-specific quality assurance in

Japan. Journal of Applied Clinical Medical Physics. 202210; 23(10):e13745.

Fukuda A, Ichikawa N, Hayashi T, Lin PP, Matsubara K. Reducing stray radiation with a novel detachable lead arm support in percutaneous coronary intervention. Journal of Applied Clinical Medical Physics. 202210; 23(10):e13763.

Saotome K, Matsushita A, Eto F, Shimizu Y, Kubota S, Kadone H, Ikumi A, Marushima A, Masumoto T, Koda M, Takahashi H, Miura K, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M. Functional magnetic resonance imaging of brain activity during hybrid assistive limb intervention in a chronic spinal cord injury patient with C4 quadriplegia. Journal of Clinical Neuroscience. 202205; 99:17-21.

Takanami K, Oti T, Kobayashi Y, Hasegawa K, Ito T, Tsutsui N, Ueda Y, Carstens E, Sakamoto T, Sakamoto H. Characterization of the expression of gastrin-releasing peptide and its receptor in the trigeminal and spinal somatosensory systems of Japanese macaque monkeys: Insight into humans. Journal of Comparative Neurology. 202211; 530(16):2804-2819.

Kato T, Kato M, Takemasa K, Murakami M. Dosimetric Effects of the Supine and Prone Positions in Proton Therapy for Prostate Cancer. Journal of Medical Physics. 202210; 47(4):331-335.

Ikeda M, Suzuki M, Matsuzuka T, Ishii S, Sato H, Murono S. Neoadjuvant Superselective Intra-Arterial Cisplatin Chemoradiotherapy Combined With Surgery in Patients With T4 Squamous Cell Carcinoma of the Maxillary Sinus. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery. 202208; 80(8):1445-1450.

Hirose K, Sato M, Kato T, Takayama K, Suzuki M, Yamaguchi H, Seto I, Kikuchi Y, Murakami M, Takai Y. Profile analysis of adverse events after boron neutron capture therapy for head and neck cancer: a sub-analysis of the JHN002 study. Journal of Radiation Research. 202205; 63(3):393-401.

Hirose K, Kato T, Harada T, Motoyanagi T, Tanaka H, Takeuchi A, Kato R, Komori S, Yamazaki Y, Arai K, Kadoya N, Sato M, Takai Y. Determining a methodology of dosimetric quality assurance for commercially available accelerator-based boron neutron capture therapy system. Journal of Radiation Research. 202207; 63(4):620-635.

Komori S, Hirose K, Sato M, Takeuchi A, Kato R, Motoyanagi T, Harada T, Yamazaki Y, Harada M, Narita Y, Kato T, Takai Y. Dosimetric effect of set-up error in accelerator-based boron neutron capture therapy for head and neck cancer. Journal of Radiation Research. 202207; 63(4):684-695.

Suzuki G, Ishikawa T, Ohba T, Hasegawa A, Nagai H, Miyatake H, Yoshizawa N. Estimation of children's thyroid equivalent doses in 16 municipalities after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. Journal of Radiation Research. 202212; 63(6):769-804.

Sato M, Kondo Y, Takahashi N, Ohmura T, Takahashi N. Development of an automatic multiplanar reconstruction processing method for head computed tomography. Journal of X-ray Science and Technology. 202208; 30(4):777-788.

Kato T, Ono T, Narita Y, Komori S, Murakami M. Dose-volume comparison of intensity modulated proton therapy and volumetric modulated arc therapy for cervical esophageal cancer. Medical Dosimetry. 202203; 47(3):216-221.

Wagatsuma K, Miwa K, Kamitaka Y, Koike E, Yamao T, Yoshii T, Kobayashi R, Nezu S, Sugamata Y, Miyaji N, Imabayashi E, Ishibashi K, Toyohara J, Ishii K. Determination of optimal regularization factor in Bayesian penalized likelihood reconstruction of brain PET images using [^{18}F]FDG and [^{11}C]PiB. Medical Physics. 202205; 49(5):2995-3005.

Matsuyama E, Watababe H, Takahashi N. Explainable Analysis of Deep Learning Models for Coronavirus Disease (COVID-19) Classification with Chest X-Ray Images: Towards Practical Applications. Open Journal of Medical Imaging. 202207; 12(3):83-102.

Miwa K, Nemoto R, Masuko H, Yamao T, Kobayashi R, Miyaji N, Inoue K, Onodera H. Evaluation of quantitative accuracy among different scatter corrections for quantitative bone SPECT/CT imaging. PLOS ONE. 202206; 17(6):e0269542.

Iyama K, Sato Y, Ohba T, Hasegawa A. Objective stress values during radiation emergency medicine for future human resources: Findings from a survey of nurses. PLOS ONE. 202209; 17(9):e0274482.

Yamamoto S, Ukon N, Washiyama K, Hasegawa K, Kamada K, Yoshino M, Yoshikawa A. Development of a phoswich detector composed of ZnS(Ag) and YAP(Ce) for astatine-211 imaging. Radiation Measurements. 202204; 153:106734.

Wagatsuma K, Ishibashi K, Kameyama M, Sakata M, Miwa K, Kamitaka Y, Ishii K. Decreased imaging time of amyloid PET using [^{18}F]florbetapir can maintain quantitative accuracy. Radiological Physics and Technology. 202206; 15(2):116-124.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an Application for Sustainable Support of Returning Residents Displaced by the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202206; 290:1074-1075.

山尾天翔，山國遼，高橋規之，石井士朗，伊藤浩. SPECT 深層学習を用いたドーパミントランスポーターSPECT における異常判別システムの開発. 核医学. 202208; 59(Suppl.):S479.

五月女康作，上田克彦，富田博信. 特集　新春対談『ラジエーションハウス』医療監修 五月女康作氏を迎えて. JART=日本診療放射線技師会誌. 202201; 69(1):48-54.

髙井良尋，廣瀬勝己，佐藤まり子，加藤貴弘. ホウ素中性子捕捉療法：世界初病院併設加速器 BNCT センター－保険診療 1 年の現状－. JASTRO NEWSLETTER. 202203; 143:17-20.

田代雅実. 【オートプシー・イメージング 2022　CLINICAL REPORT】Ai 認定診療放射線技師からみた救急医療 Ai の課題. Rad Fan. 202202; 20(3):47-50.

三輪建太，山尾天翔，上高祐人．放射線技術学におけるファントムスタディ　核医学編　1．核医学用ファントムの概要．日本放射線技術学会雑誌. 202202; 78(2):207-212.

大葉隆，真船浩一，菅野修一，長谷川有史．診療放射線技師の個人的背景に基づいた原子力災害への人材育成研修プログラム最適化の提案ー福島第一原子力発電所事故の経験を生かしてー．日本放射線技術学会雑誌. 202211; 78(11):1282-1294.

宮司典明，三輪建太，飯森隆志．核医学領域における水晶体被ばくのモニタリング．日本放射線技術学会雑誌. 202211; 78(11):1367-1375.

森井康博，原林透，大澤崇宏，谷川琢海，山品博子，篠原信雄，小笠原克彦. DPC(Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System)データを用いた腹腔鏡下膀胱全摘除術における周術期合併症治療費用の分析．泌尿器外科. 202206; 35(6):516-521.

〔研究報告書〕

竹井泰孝，江口佳孝，川浦稚代，鈴木昇一，廣瀬悦子，廣藤喜章，本元強，宮嵜治，五十嵐隆元，島田義也，松原孝祐．わが国の小児股関節撮影における生殖腺防護の継続中止に関する報告．日本放射線技術学会雑誌. 202212; 78(12):1495-1510.

〔その他〕

赤松剛，山尾天翔．アミロイドイメージング　アミロイドPETの画像解析技術．核医学技術. 202208; 42(予稿集):323.

福田翔平，三輪建太，藥師寺優，我妻慧，山尾天翔，上高祐人，西川祝子. 18F-flutemetamolアミロイドPETにおけるTOF-BPL法の罰則項内の最適化．日本放射線技術学会総会学術大会予稿集. 202203; 78:158.

大葉隆．世界の放射線防護関連論文紹介①．放射線防護部会誌. 202204; 22(1):32-38.

大葉隆．世界の放射線防護関連論文紹介②．放射線防護部会誌. 202210; 22(2):38-43.

書籍等出版物

五月女康作，佐藤英介．第3章　MRI装置. In: 福士政広．診療画像機器学　診療放射線技師スリム・ベーシック．東京: メジカルビュー社; 202203. p.238-281.

大葉隆，吉田篤史，小野欽也．第5章　医療機関医おける放射線管理　5-1　放射線管理. In: 量子科学技術研究開発機構 編集．被ばく医療診療手引き．千葉: 量子科学技術研究開発機構; 202203. p.46-57.

廣藤喜章，永井良明，清水秀雄．第6章　放射線取り扱い施設の管理. In: 磯辺智範，清水秀雄，南一幸，鈴木昇一，西谷源展 共編．放射線安全管理学（改訂3版）放射線技術学シリーズ．東京: オーム社; 202203. p.106-126.

三輪建太. 第 8 章　放射性廃棄物の処理. In: 磯辺智範, 清水秀雄, 南一幸, 鈴木昇一, 西谷源展 共編. 放射線安全管理学（改訂 3 版）放射線技術学シリーズ. 東京: オーム社; 202203. p.155-183.

廣藤喜章. 第 10 章　医療被ばく　10・5 診断参考レベル（DRLs）. In: 磯辺智範, 清水秀雄, 南一幸, 鈴木昇一, 西谷源展 共編. 放射線安全管理学（改訂 3 版）放射線技術学シリーズ. 東京: オーム社; 202203. p.242-254.

廣藤喜章. 第 10 章　医療被ばく　10・6 線量管理システム. In: 磯辺智範, 清水秀雄, 南一幸, 鈴木昇一, 西谷源展 共編. 放射線安全管理学（改訂 3 版）放射線技術学シリーズ. 東京: オーム社; 202203. p.255-270.

大葉隆. 第 11 章　放射線事故・放射線災害、原子力災害と対策. In: 磯辺智範, 清水秀雄, 南一幸, 鈴木昇一, 西谷源展 共編. 放射線安全管理学（改訂 3 版）放射線技術学シリーズ. 東京: オーム社; 202203. p.271-294.

五月女康作. 第 2 章　診療画像機器学. In: 診療放射線技師国家試験合格！My テキスト：過去問データベース＋模擬問題付　2023 年版. 東京: オーム社; 202205. p.29-100.

三枝高大 訳. 3 章　HEXACO パーソナリティの六つの次元. In: Lee K, Ashton MCB 著, 小塩真司 監訳, 三枝高大, 橋本泰央, 下司忠大, 吉野伸哉 訳. パーソナリティの H ファクター：自己中心的で, 欺瞞的で, 貪欲な人たち. 京都: 北大路書房; 202207. p.19-40.

三枝高大 訳. 8 章　宗教. In: Lee K, Ashton MCB 著, 小塩真司 監訳, 三枝高大, 橋本泰央, 下司忠大, 吉野伸哉 訳. パーソナリティの H ファクター：自己中心的で, 欺瞞的で, 貪欲な人たち. 京都: 北大路書房; 202207. p.129-142.

三枝高大 訳. 10 章　H 因子の低い人たちの見分け方　そして付き合い方. In: Lee K, Ashton MCB 著, 小塩真司 監訳, 三枝高大, 橋本泰央, 下司忠大, 吉野伸哉 訳. パーソナリティの H ファクター：自己中心的で, 欺瞞的で, 貪欲な人たち. 京都: 北大路書房; 202207. p.165-178.

三枝高大 訳. 3 章　潜在変数. In: Borsboom D 著, 仲嶺真 監訳, 下司忠大, 三枝高大, 須藤竜之介, 武藤拓之 訳. 心を測る：現代の心理測定における諸問題. 東京: 金子書房; 202212. p.59-101.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Takeuchi A, Hirose K, Motoyanagi T, Harada T, Kato R, Komori S, Yamazaki Y, Sato M, Kato T, Takai Y. Fundamental performance evaluation of treatment planning system for boron neutron capture therapy. 123rd scientific meeting of the Japan Society of Medical Physics; 20220414-17; Yokohama.

Chumak V, Fattibene P, Monaca DS, Angelis DC, Nuccetelli C, Bottollier-Depois FJ, Trompier F, Ohba T, Tanigawa K, Liutsko L, Cardis E. Individual monitoring of the public after radiological emergency: evolution over the last three decades. International Conference on Individual Monitoring of Ionising Radiation (IM2022) and Neutron and Ion Dosimetry Symposium (NEUDOS-14); 20220425-29; Kraków, Poland.

Ohba T, Goto A, Koyama Y, Honda K, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Yumiya Y, Yoshida K, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. Evaluation of the "Mimamoru Health App" for radiation protection and health promotion, through a pilot study with Fukushima citizens. IAEA Technical meeting: The importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society; 20220621-22; Web.

Liutsko L, Fattibene P, Monaca SD, Ohba T, Goto A, Oughton D, Tomkiv Y, Laurier D, Charron S, Schneider T, Croüail P, Chumak V, Barquinero JF, Novikava N, Tanigawa K, Lyamzina Y, Sarukhan A, Cardis E. Radiation & health monitoring with involvement of relevant stakeholders after a nuclear accident. European Radiation Protection Week 2022; 20221009-14; Estoril, Portugal.

Murakami M, Kato T, Yamaguchi H, Seto I, Takayama K, Tominaga T, Takagawa Y, Suzuki M, Machida M, Kikuchi Y. Proton Beam Re-Irradiation for In-Field Recurrent Non-Small Cell Lung Cancer After Radiotherapy. 64th American Society for Radiation Oncology Annual Meeting; 20221023-25; San Antonio, USA.

Yamaguchi H, Kato T, Machida M, Seto I, Takayama K, Tominaga T, Takagawa Y, Suzuki M, Murakami M, Kikuchi Y. The effectiveness of proton beam therapy for liver metastatic lesions in colorectal cancer patients. 64th American Society for Radiation Oncology Annual Meeting; 20221023-25; San Antonio, USA.

Akita Y, Mihara T, Araki T, Kayo H, Saito S, Yamashina H. Influence on Observer Performance by using Blue-light Reducing Eye Glasses. The 22nd International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress; 20221215; Bangkok, Thailand.

Yamashina H, Sakai T, Akatsu T, Takatsu Y, Okuda Y. Current Status on Medical Radiation Safety Management in Asia: A Questionnaire Survey. The 22nd International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress; 20221216; Bangkok, Thailand.

五月女康作. ラジエーションハウスが私たちに教えてくれたこと～映画化までのキセキ～. 岡山県診療放射線技師会創立 70 周年特別講演・記念式典; 20220205; 岡山.

五月女康作. ラジエーションハウスが私たちに教えてくれたこと. 令和 3 年度チューリップの会学術研修会; 20220211; 富山/Web.

五月女康作. 「正しい放射線の理解」を広めるためにできること. 令和 4 年度ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟（ラジエーション議連）設立総会; 20220214; 東京.

五月女康作. 差別と偏見をなくすために. 環境省ぐぐるプロジェクトフォーラム; 20220228; 東京/Web.

五月女康作. ラジエーションハウス～はじまりから劇場版までのキセキ～. 2021 年度医用画像システム部会成果報告会; 20220303; Web.

五月女康作. リスクと付き合う戦略～行動経済学から意思決定を科学する～. 日経シンポジウム; 20220304; Web.

島田二郎，長谷川有史，箱崎貴大，小針健大，藁谷暢，小早川義貴，小賀坂奈美，佐藤めぐみ，塚本宇史，田代雅実，塚田泰彦．危機こそ人材育成のチャンス．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220305; 広島/Web．日本災害医学会雑誌. 26(Supplement):320.

小針健大，島田二郎，箱崎貴大，藁谷暢，小早川義貴，佐藤めぐみ，田代雅実．福島県における COVID-19 感染拡大時の県内 DMAT の対応について．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220305; 広島/Web．日本災害医学会雑誌. 26(Supplement):334.

三浦有樹，田代雅実，金成由美子．新型コロナウイルス感染症対策支援チームにおける Google Workspace の利用．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220305; 広島/Web．日本災害医学会雑誌. 26(Supplement):347.

箱崎貴大，小針健大，藁谷暢，佐藤めぐみ，田代雅実，小早川義貴，島田二郎．福島県における COVID-19 病院クラスター対応．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220304; 広島/Web．日本災害医学会雑誌. 26(Supplement):386.

田代雅実，稲葉洋平，島田二郎．テキストマイニングを用いた DMAT 調整本部のクロノロジー分析－東日本大震災における福島県と岩手県の比較－．第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220304; 広島/Web．日本災害医学会雑誌. 26(Supplement):392.

五月女康作．ラジエーションハウス誕生から映画化まで～ここだけの制作裏話～．第 35 回埼玉県診療放射線技師学術大会; 20220320; Web.

福本晴菜，安東友繁，小林数也，赤路健一，服部恭尚，長谷川功紀．上皮成長因子受容体（EGFR）を標的とした細胞溶解薬剤の開発．日本薬学会第 142 年会; 20220328; Web.

五月女康作．ラジエーションハウスと脳脊髄液漏出症．第 1 回日本脳脊髄液漏出症学術集会; 20220416; 姫路.

山品博子，奥田保男，梁川範幸，小寺吉衛．ミャンマーの診療放射線技師に対する教育支援～政変とコロナ禍の遠隔支援展開～．日本国際保健医療学会第 36 回東日本地方会; 20220514; Web.

五月女康作．ラジエーションハウスが教えてくれたこと．第 26 回静岡県放射線技師学術大会; 20220529; 浜松/Web.

五月女康作．ラジエーションハウスが教えてくれたこと～誕生から映画化までのキセキ～．第 8 回福岡県診療放射線技師会学術大会; 20220619; 福岡.

廣藤喜章，原田崇臣，五月女康作，山品博子，久保均．高校物理教科書における放射線関連分野の詳細．第 16 回日本診療放射線学教育学会学術集会; 20220827; 東京/Web．診療放射線学教育学. 10:61.

山品博子，広藤喜章，久保均，田代雅実，原田崇臣. OSCE 導入に向けた標準模擬患者の育成と動画学習素材の試作．第 16 回日本診療放射線学教育学会学術集会; 20220827; 東京/Web．診療放射線学教育学. 10:72.

廣藤喜章．医療人が作り上げた遠隔読影の運用事例．令和 4 年度日本医用画像管理学会セミナー; 20220828; Web.

廣藤喜章. 基礎から学ぶ医療被ばくー患者様と信頼関係を築くリスクコミュニケーションー. 宮城県診療放射線技師会令和 4 年度フレッシャーズセミナー; 20220903; 仙台.

山尾天翔, **山國遼**, **高橋規之**, **石井士朗**, **伊藤浩**. Automated scheme based deep learning to identify abnormality in dopamine transporter SPECT. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都.

鈴木千絵, **原奈保美**, **笹田裕美**, **森下亜希**, **廣藤喜章**, **横山恵太**. デジタルマンモグラフィ拡大撮影における撮影条件の検討ーファントムによる基礎的検討ー. 第 76 回国立病院総合医学会; 20221007-08; 熊本.

小森慎也, **廣瀬勝己**, **竹内瑛彦**, **加藤亮平**, **本柳智章**, **山崎雄平**, **佐藤まり子**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. 加速器 BNCT システムにおける異なる形状を持つコリメータの特性評価と有用性. 第 18 回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20221029-30; つくば.

竹内瑛彦, **廣瀬勝己**, **加藤亮平**, **小森慎也**, **本柳智章**, **山崎雄平**, **佐藤まり子**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. ホウ素中性子捕捉療法専用治療計画システムの基礎的性能評価. 第 18 回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20221029-30; つくば.

佐藤まり子, **廣瀬勝己**, **小森慎也**, **本柳智章**, **山崎雄平**, **竹内瑛彦**, **加藤亮平**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. 局所領域再発頭頸部扁平上皮癌に対する BNCT の治療効果の実際. 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島. 報文集. 211.

廣瀬勝己, **佐藤まり子**, **加藤亮平**, **竹内瑛彦**, **小森慎也**, **山崎雄平**, **本柳智章**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. 局所再発頭頸部扁平上皮癌に対する BNCT における新たな処方線量プロトコルの安全性試験. 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島. 報文集. 293.

小森慎也, **廣瀬勝己**, **佐藤まり子**, **竹内瑛彦**, **加藤亮平**, **本柳智章**, **山崎雄平**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. 頭頸部癌に対するホウ素中性子捕捉療法における延長コリメータの有用性. 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島. 報文集. 294.

廣瀬勝己, **佐藤まり子**, **加藤亮平**, **小森慎也**, **竹内瑛彦**, **山崎雄平**, **本柳智章**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. 臨床的根拠に基づく新たな頭頸部癌 BPA-BNCT の線量処方プロトコルの確立. 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会; 20221110-12; 広島. 報文集. 362.

加藤雅人, **遠藤浩光**, **小森慎也**, **廣垣智也**, **辻眞也**, **工藤真也**, **上野達也**, **田沼雅崇**, **加藤貴弘**. 呼吸同期 VMAT における照射野形状の複雑さと gate level が線量分布に及ぼす影響. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

加藤亮平, **小山翔**, **成田優輝**, **武政公大**, **池田知広**, **佐藤啓樹**, **加藤雅人**, **鳴海克希**, **加藤貴弘**. 陽子線治療計画の独立検証用モンテカルロ計算環境の構築. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

小森慎也, **廣瀬勝己**, **竹内瑛彦**, **加藤亮平**, **本柳智章**, **山崎雄平**, **佐藤まり子**, **加藤貴弘**, **髙井良尋**. モンテカルロ粒子輸送計算コードを用いた新たな BNCT 用コリメータの物理特性評価. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

成田優輝，鳴海克希，佐藤啓樹，坂上久記，武政公大，松本拓也，小山翔，鈴木正樹，横田克次，齋藤二央，加藤貴弘．前立腺癌寡分割陽子線治療における膀胱体積に関する基礎検討．第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

山崎雄平，小森慎也，本柳智章，竹内瑛彦，加藤亮平，成田優輝，加藤貴弘，廣瀬勝己，佐藤まり子，高井良尋．座位による頭頸部 BNCT における照射位置精度の解析．第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

〔シンポジウム〕

廣藤喜章．小児股関節撮影における生殖腺防護に関する検討班報告書の詳細．第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20220416; 横浜.

中野裕紀，後藤あや，大葉隆，吉田和樹，ケネスノレット，村上道夫，大平哲也，熊谷敦史，谷川攻一．災害地域のニーズ調査を基に IT ツールを開発、調査を展開している事例．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221008; 甲府.

田代雅実．技師の世界へ羽ばたけ．第 8 回福島血管撮影技術セミナー（FANTA）; 20221015; 福島/Web.

田代雅実．福島県感染症対策支援チームとしての活動について．令和 4 年度福島県診療放射線技師学術大会; 20221030; 福島/Web.

廣藤喜章．マンモグラフィの被ばく線量はどのように考えていくべきか．第 32 回日本乳癌検診学会学術総会; 20221112; 浜松.

〔特別講演〕

Yamashina H. Simulated patient training toward OSCE (Objective Structured Clinical Examination) in Japan. 22nd International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress; 20221217; Bangkok, Thailand.

廣藤喜章．低線量被ばくの基礎の基礎－IGRT 線量管理に必要な知識とは－．令和 3 年度 JSRT 中部支部放射線治療研究会 Web セミナー; 20220115; Web.

廣藤喜章．生殖腺遮蔽は不必要となるのか－防護の歴史と今後－．第 33 回公益社団法人愛知県診療放射線技師会学術大会; 20220306; Web.

廣藤喜章. NCRP の勧告を受けての一般撮影における生殖腺防護の考え方．令和 3 年度宮城県放射線技師会　放射線管理士・放射線機器管理士「ZA！談会」; 20220327; Web.

廣藤喜章．生殖腺（性腺）防護の考え方－不要の背景と伝えることの重要性－．広島県診療放射線技師会第 1 回研修会; 20220625; 広島/Web.

廣藤喜章．医療被ばくの実際とリスクコミュニケーション．第 1 回“伝わる”医療被ばく相談実践セミナー;

20220731; Web.

廣藤喜章. 性腺防護シールド不要に至る背景ー何を心配し何を許容すべきかー. 令和 4 年度山形県放射線技師会秋季セミナー; 20221224; 山形.

〔招待講演〕

Fukuda A. Radiation Dose in Percutaneous Coronary Intervention. 22nd Asia-Oceania Congress on Medical Physics; 20221210; Taipei, Taiwan.

廣藤喜章. これからの線量管理について. 令和 3 年度独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ　診療放射線技師研修会; 20220114; 名古屋/Web.

〔その他〕

廣藤喜章. 生殖腺防護不要の考え方ー被ばく影響を歴史から紐解くー. 筑波大学令和 3 年度医学セミナー; 20220107; つくば/Web.

高橋規之. ニッチな研究ー発案から科研費取得ー. 令和 4 年度若手研究者向け講演会; 20220608; 福島.

山品博子. 国際交流ってとにかく楽しい～これからのアジアを考える～. 日本放射線技術学会東京支部国際交流 WEB カンファレンス; 20221218; Web.

過年業績

大葉隆. 放射線事故災害における日本放射線技術学会および診療放射線技師の役割：われわれは何をなすべきか. 第 77 回総会学術大会「合同市民公開講座」; 20210418; 横浜. 日本放射線技術学会雑誌. 78(3):289-290.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

五月女康作. 医療監修：漫画「ラジエーションハウス（1～14 巻）」（集英社　ヤングジャンプ・コミックス GJ）. 20151021-.

田代雅実. 新型コロナウイルス感染症対策本部医療対策班での活動（福島県）. 20200407-.

五月女康作, **山品博子**, **田巻倫明**.「ラジエーションはいすく～る」～教えて！ひな壇先生（福島中央テレビ）. 20220225.

五月女康作. スーパーバイザー：劇場版「ラジエーションハウス」（東宝）. 20220429-.

福田篤志. 半導体検出器 AGMS 用アダプタの開発（許諾書締結）. 20221024.

福田篤志. CT 用 HVL 測定器具の開発（許諾書締結）. 20221206.

臨床検査学科

論　　文

〔原　著〕

Amami K, Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Nehashi T, Takeishi Y. Predictive impacts of chronic kidney disease and cardiac sympathetic nervous activity on lethal arrhythmic events in chronic heart failure. Annals of Noninvasive Electrocardiology. 202201; 27(1):e12900.

Haga F, Oikawa M, Akama J, Kiko T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. ATTR Amyloidosis Concomitant with Parkinsonism and Cardiac Sympathetic Neuropathy. Annals of Nuclear Cardiology. 202208; 8(1):117-119.

Ishimine N, Wu S, Ota R, Takahashi K, Takiwaki M, Sugano M, Tozuka M, Uehara T. Development of free 25-hydroxyvitamin D3 assay method using liquid chromatography-tandem mass spectrometry. Bioscience Reports. 202210; 42(10):BSR20221326.

Anzai F, Yoshihisa A, Takeishi R, Hotsuki Y, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Acute myocardial infarction caused by Kawasaki disease requires more intensive therapy: Insights from the Japanese registry of All Cardiac and Vascular Diseases-Diagnosis Procedure combination. Catheterization and Cardiovascular Interventions. 202212; 100(7):1173-1181.

Takeishi R, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Temporal Trends in the Practice Pattern for Sleep-Disordered Breathing in Patients With Cardiovascular Diseases in Japan - Insights From the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases - Diagnosis Procedure Combination. Circulation Journal. 202208; 86(9):1428-1436.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Anzai F, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic Effects of Changes in Right Ventricular Fractional Area Change in Patients With Heart Failure. Circulation Journal. 202211; 86(12):1982-1989.

Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese Bleeding Risk Criteria in Patients After Percutaneous Coronary Intervention and Comparison With Contemporary Bleeding Risk Criteria. Circulation Reports. 202204; 4(5):230-238.

Matsuda M, Komiyama Y, Suzuki T, Moriyama M. Effect of Rapid Centrifugation Using High Centrifugal Force on Procoagulant Activity in Plasma Samples. Clinical Laboratory. 202211; 68(11):2422-2427.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y,

Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decreases in hepatokine Fetuin-A levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict cardiac outcomes in patients with heart failure. Clinical Research in Cardiology. 202210; 111(10):1104-1112.

Vergaro G, Gentile F, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, de Boer RA, Meems LMG, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Cohn JN, Ueland T, Gullestad L, Aukrust P, Brunner-La Rocca HP, Bayes-Genis A, Lupón J, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Ling LH, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Devlin G, Lund M, Giannoni A, Passino C, Emdin M. Circulating levels and prognostic cut-offs of sST2, hs-cTnT, and NT-proBNP in women vs. men with chronic heart failure. ESC Heart Failure. 202208; 9(4):2084-2095.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-Dimer Is a Predictive Factor of Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction in Patients Treated With Cardiotoxic Chemotherapy. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 202201; 8:807754.

Ohara H, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal Venous Stasis Index Reflects Renal Congestion and Predicts Adverse Outcomes in Patients With Heart Failure. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 202203; 9:772466.

Sasaguri H, Hashimoto S, Watamura N, Sato K, Takamura R, Nagata K, Tsubuki S, Ohshima T, Yoshiki A, Sato K, Kumita W, Sasaki E, Kitazume S, Nilsson P, Winblad B, Saito T, Iwata N, Saido TC. Recent Advances in the Modeling of Alzheimer's Disease. Frontiers in Neuroscience. 202203; 16:807473.

Hoshide S, Yoshihisa A, Tsuchida F, Mizuno H, Teragawa H, Kasai T, Koito H, Ando S, Watanabe Y, Takeishi Y, Kario K. Pulse transit time-estimated blood pressure: a comparison of beat-to-beat and intermittent measurement. Hypertension Research. 202206; 45(6):1001-1007.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic Value of the Pattern of Non-Adherence to Anti-Platelet Regimen in Stented Patients (PARIS) Bleeding Risk Score for Long-Term Mortality After Percutaneous Coronary Intervention. International Heart Journal. 202201; 63(1):15-22.

Kurosawa Y, Shimizu T, Ando T, Akama J, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The Prognostic Impact of D-Dimer on Long-Term Mortality in Patients with Coronary Artery Disease after Percutaneous Coronary Intervention. International Heart Journal. 202211; 63(6):1070-1077.

Nagai K, Fujii M, Kitazume S. Protein Tyrosine Phosphatase Receptor Type Z in Central Nervous System Disease. International Journal of Molecular Sciences. 202204; 23(8):4414.

Takeishi R, Misaka T, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Yoshihisa A, Takeishi Y. Increases in Hepatokine Selenoprotein P Levels Are Associated With Hepatic Hypoperfusion and

Predict Adverse Prognosis in Patients With Heart Failure. Journal of the American Heart Association. 202206; 11(11):e024901.

Tachida Y, Miura S, Muto Y, Takuwa H, Sahara N, Shindo A, Matsuba Y, Saito T, Taniguchi N, Kawaguchi Y, Tomimoto H, Saido T, Kitazume S. Endothelial expression of human amyloid precursor protein leads to amyloid β in the blood and induces cerebral amyloid angiopathy in knock-in mice. Journal of Biological Chemistry. 202206; 298(6):101880.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with the occurrence of bleeding events in heart failure patients with a history of coronary artery disease. Journal of Cardiology. 202207; 80(1):88-93.

Vergaro G, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Ueland T, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Gustafsson I, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Emdin M, Passino C. Cardiac biomarkers retain prognostic significance in patients with heart failure and chronic obstructive pulmonary disease. Journal of Cardiovascular Medicine. 202201; 23(1):28-36.

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 202211; 65(2):357-364.

Tanno D, Saito K, Ohashi K, Toyokawa M, Yamadera Y, Shimura H. Matrix-Assisted Laser Desorption Ionization-Time-of-Flight Mass Spectrometry with Time-of-Flight Peak Analysis for Rapid and Accurate Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women. Microbiology Spectrum. 202206; 10(3):e0173221.

Amami K, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Yamada S, Nehashi T, Hijioka N, Nodera M, Kaneshiro T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Utility of a novel wearable electrode embedded in an undershirt for electrocardiogram monitoring and detection of arrhythmias. PLOS ONE. 202208; 17(8):e0273541.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical usefulness of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) thrombotic risk score to predict long-term all-cause mortality and heart failure hospitalization after percutaneous coronary intervention. PLOS ONE. 202209; 17(9):e0274287.

Yoshihisa A, Kono S, Kaneshiro T, Ichijo Y, Misaka T, Yamada S, Oikawa M, Miura I, Yabe H, Takeishi Y. Impaired brain activity in patients with persistent atrial fibrillation assessed by near-infrared spectroscopy and its changes after catheter ablation. Scientific Reports. 202205; 12(1):7866.

廣瀬靖華，松田将門，成田一衛．定量限界に着目した 7 種の市販クレアチニン測定試薬の評価．医療検査と自動化. 202202; 47(1):9-19.

酒多穂波，松田将門，伊藤浩介．心理学実験における事象関連電位記録の基本とコツ．基礎心理学研究. 202203;

40(2):234-246.

上原剛，宇佐美陽子，菅野光俊．特集 IgG4 関連疾患大全－自己免疫性膵炎と IgG4 関連硬化性胆管炎を中心に－I.IgG4 関連疾患の概要　IgG4 関連疾患と血中 IgG4 値．胆と膵. 202210; 43(臨時増刊特大):1075-1080.

菅野光俊，松本剛，橋口照人．ウィズコロナ社会における臨床検査医学教育の重要性　SARS-CoV-2 検査室の最前線から求める医学教育への期待．日本臨床検査医学会誌. 202202; 70(2):159-164.

梅澤敬，瀬戸口知里，林榮一，山村信一，高橋慎治，熊谷二朗．液状化細胞診による腟断端細胞診で肉腫様成分の再発を認めた肉腫様変化を伴う子宮頸部腺扁平上皮癌の 1 例．日本臨床細胞学会雑誌. 202201; 61(1):36-41.

仲村究，柏崎潤，丹野大樹，油井優，北畠光希，小針朱子，齋藤菜々子，原靖果，金光敬二．進化する手指衛生（第 3 回）オゾン水を用いた手洗いの効果と利点．保団連. 202209; (1380):34-40.

〔総説等〕

松田将門，伊藤浩介．神経科学の素朴な疑問　Q&A　Question　絶対音感とはなんですか，どのような機序で獲得できるのですか？ Clinical Neuroscience. 202209; 40(9):1178-1179.

松田将門．【DIC・関連疾患・COVID-19 と臨床検査】DIC を理解するための Lecture（Part1）DIC と臨床検査凝固線溶検査のピットフォール. Land-Mark in Thrombosis & Haemostasis. 202206; (2):44-48.

小松方，藤田拓，中村竜也，中村彰宏，大瀧博文，西功，幸福知己，山本剛，豊川真弘，口広智一，笠原敬．腸管感染症検査ガイドライン第 2 版改訂のポイント．日本臨床微生物学会雑誌. 202206; 32(3):141-144.

松田将門. WITH コロナにおける検査室の感染対策　採血室における感染対策．臨床検査. 202203; 66(3):312-317.

小宮山豊，松田将門．【検査血液学レッスン　検査結果の乖離をどう判断するか】（4 章）凝固　不適切な遠心処理による血漿中残存血小板が凝固検査,特に LA 検査に及ぼす影響．臨床検査. 202210; 66(10):1260-1263.

〔研究報告書〕

Tajika Y, Nakajima Y, Orita M, Kobayashi K, Tida M, Suzuki H. Adenosine triphosphate as a useful measure of the hygiene status in a pathological laboratory. International Journal of Analytical Bio-Science. 202203; 10(1):8-13.

〔その他〕

堀江重郎，天野俊康，石井智弘，井手久満，伊藤直樹，岩月正一郎，上芝元，大山力，小川純人，蔭山和則，方波見卓行，川戸佳，菅野潤子，功刀浩，重原一慶，周東孝浩，白石晃司，白川智也，鈴木和浩，高岡正和，高橋裕，竹石恭知，立花修，田邉真紀人，辻村晃，鳥居俊，西岡宏，長谷川奉延，畠山真吾，濱島崇，濱野逸人，福井道明，福岡秀規，松井克之，松下一仁，溝上敦，村元啓仁，八木弘子，安井孝周，柳瀬敏彦，義久精臣．男性の性腺機能低下症ガイドライン 2022．日本内分泌学会雑誌. 202207; 98(Suppl):np1-140.

書籍等出版物

義久精臣，竹石恭知．II心不全　1急性心不全. In: 伊藤浩, 山下武志 編集. 循環器疾患最新の治療　2022-2023. 東京: 南江堂; 202201. p.57-62.

義久精臣，市村祥平，竹石恭知．VI合併症とその治療戦略：睡眠呼吸障害へのアプローチ up to date. In: 伊藤浩 編集. 令和の心不全治療ガイド. 東京: 文光堂; 202203. p.205-208.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Toyokawa M, Ohana N, Tanno D, Imai M, Honda M, Takano Y, Ohashi K, Yamashita T, Saito K, Shimura H. In vitro activity of tedizolid against Nocardia spp. isolated in Japan. 32nd European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases; 20220423-26; Lisbon, Portugal.

Kitazume S. Non-classical glycosylation determines intracellular trafficking of APP. Sialoglyco2022; 20220907; Nagoya.

Tajika Y, Nakajima Y, Orita M, Suzuki H, Hirabayashi K. Hygiene Control during Pathological Examination Using Adenosine Triphosphate. 35th World Congress of International Federation of Biomedical Laboratory Science; 20221007; Suwon, Korea.

Ishii N, Carmines PK, Kurosaki Y, Imoto A, Takahashi H, Suzuki H, Sugase T, Yokoba M, Ichikawa T, Takenaka T. Protection of renal function by inducing mitophagy in the proximal tubule during the normoalbuminuric stage of diabetes mellitus.17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine; 20221009; Kobe. Program & Abstract Book. 88.

Suzuki H, Kobayashi K, Kosuge Y, Imoto A, Kurosaki Y, Kitazume S, Ishii N, Ogawa K, Shimura H. Comparison of HSP72 and anti-HSP70 antibodies with thrombosis markers in patients with thrombosis. 17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine; 20221009; Kobe. Program & Abstract Book. 119.

Matsuda M, Emmi M, Hoshiyama Y, Terai S, Ogawa K, Moriyama M. Effective strategy for lupus anticoagulant diagnosis using mixing test and one-stage assay. 17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine; 20221009; Kobe.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9789.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9792.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9881.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10222.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is an important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10593.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of calcium volume measurement determined by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10744.

Muto Y, Sato A, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11363.

Kurosawa Y, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes undergoing intracoronary imaging-guided percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11766.

Kurosawa Y, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of living alone on long-term cardiac mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11777.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer

mortality in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11852.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Watanabe K, Wada K, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Anzai F, Sato A, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac mortality in chronicheart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with bleeding event in heart failure patients with a history of coronary artery disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predict bleeding events in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Shimizu T, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk criteria. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure with preserved left-ventricular ejection fraction. 第 86 回日

本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Anzai F, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decrease in hepatokine fetuin-A is associated with hepatic hypoperfusion in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

阿部諭史，義久精臣，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Calcium-phosphorus (Ca-P) product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川沙代子，横川哲朗，三阪智史，金城貴士，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，佐藤悠，君島勇輔，三阪智史，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

和田健斗，三阪智史，横川哲朗，君島勇輔，金城貴士，及川雅啓，義久精臣，竹石恭知. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

宇月美和，谷内真司，佐藤孝，石田欣二，柴田祐二，三浦弘守，野田裕，岡輝明，亀井敏昭，澤井高志. 連続切片 SEM 法による胸水中の中皮細胞の三次元超微形態解析. 第 111 回日本病理学会総会; 20220414-16; 神戸/Web. 日本病理学会会誌. 111(1):242.

三阪智史，義久精臣，石橋伸治，堀越裕子，松田美津子，山寺幸雄，菅原由紀子，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. 心不全患者における脾臓の超音波エラストグラフィの臨床的意義. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 49(Suppl):S670.

三浦里織，豊川真弘，義久精臣，小川一英，北爪しのぶ. 新しい血小板活性化バイオマーカーとしてのアミロイドβ前駆体タンパク質 770 の可能性. 第 71 回日本医学検査学会; 20220521-22; 大阪/Web.

天海一明，山田慎哉，義久精臣，根橋健，野寺穣，金城貴士，三阪智史，竹石恭知. 長時間心電図記録および不整脈検出におけるシャツ型電極の有用性. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; Web.

熊谷二朗，山村信一，林榮一，梅澤敬. 市中病院における婦人科細胞診への BD CytoRich 法の導入経験とその効果. 第 63 回日本臨床細胞学会総会・春期大会; 20220611; 東京/Web. 日本臨床細胞学会雑誌. 61(補冊 1):108.

土屋幸子，梅澤敬，廣岡信一，三宅美佐代，鷹橋浩幸，佐藤峻，津田明奈，山田恭輔，上田和，岡本愛光. オーセレックスブラシと BD シュアパス法を用いた腟断端細胞診 6,260 例の評価－当施設での運用－. 第 63 回日本臨床細胞学会総会・春期大会; 20220611; 東京/Web. 日本臨床細胞学会雑誌. 61(補冊 1):108.

澤井高志，佐々木信人，鎌滝章央，宇月美和，黒瀬顕，遠藤真弓，村上一宏，菅野祐幸，一迫玲，加藤光保，三上芳喜，渡邉みか，西間木友衛，藤島史善，城田祐子，三友紀男．膠原病にみられる肺高血圧症の病理病態解析ー始まりは剖検肺組織の観察からー．第 7 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会／第 28 回日本小児肺循環研究会; 20220702-03; 東京．プログラム・抄録集. 57.

桝谷亮太，松田将門，小宮山豊，久保田芽里，大坂直文．関西圏を中心とした凝固検査検体取扱いに関するアンケート調査．第 23 回日本検査血液学会学術集会; 20220730-31; 東京.

松田将門，小宮山豊，家子正裕，橋口照人．希釈ラッセル蛇毒時間測定における直接経口抗凝固薬の影響とその除去方法．第 23 回日本検査血液学会学術集会; 20220730-31; 東京.

井本明美，黒崎祥史，西村由香里，古田玲子，川島麗，鈴木英明，石井直仁．グルコースとアルブミン負荷は近位尿細管上皮細胞内にミトコンドリア DNA を蓄積させる．第 6 回日本ワンヘルスサイエンス学会年次学術集会; 20220902; 東京．講演抄録集. 28.

石井直仁，黒崎祥史，井本明美，高橋博之，菅生太朗，土筆智晶，鈴木英明，横場正典，市川尊文，竹中恒夫，片桐真人．腎症発症前糖尿病ラットにおけるマイトファジー誘導による腎機能保護について．第 6 回日本ワンヘルスサイエンス学会年次学術集会; 20220902; 東京．講演抄録集. 38.

八重樫大輝，及川雅啓，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．Nutrition risk index（NRI）によるがん治療関連心機能障害の予測．第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる．第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 202220918; Web.

阿部諭史，義久精臣，一條靖洋，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Lower calcium-phosphorus product predicts adverse prognosis in patients with heart failure and chronic kidney disease．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寶槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal Venous Stasis Index は心不全患者における腎うっ血を反映する．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知．左室駆出率の低下した慢性心不全患者における安静時エネルギー消費量測定の意義．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知．簡易版 ARC-HBR 評価基準は心不全患者の出血イベントを予測する．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

北爪しのぶ．グリオーマの診断・治療の鍵となる糖鎖修飾．第 41 回日本糖質学会; 20220930; 大阪.

鈴木英明，小林浩二，小菅優子，黒崎祥史，井本明美，土筆智晶，北爪しのぶ，石井直仁，小川一英，志村浩己. 播種性血管内凝固症候群のスコア分類別による血中 HSP72 および抗 HSP70 抗体濃度の変化. 第 62 回日本臨床化学会年次学術集会; 20220930-1002; 富山. 臨床化学. 51(Supp.1):213.

黒崎祥史, Nielsen R, Mollet G，大内基司，森田亜州華，井本明美，鈴木英明，市川尊文，横場正典，片桐真人，竹中恒夫，石井直仁. タンパク尿によるアルブミン負荷は近位尿細管における細胞増殖および細胞老化を促進する. 第 62 回日本臨床化学会年次学術集会; 20220930-1002; 富山. 臨床化学. 51(Supp.1):220.

井本明美，黒崎祥史，鈴木英明，竹中恒夫，片桐真人，石井直仁. 近位尿細管上皮細胞の上皮性低下にはエピジェネティックな制御および酸化ストレスが関与する. 第 62 回日本臨床化学会年次学術集会; 20220930-1002; 富山. 臨床化学. 51(Supp.1):221.

後藤若奈，松田将門，星山良樹. 溶血の検査値への影響を検討する際の溶血検体の調製手順の方法間差. 日本医療検査科学会第 54 回大会; 20221007; 神戸.

飯島順子，立田由里子，高橋一人，鈴木英明，木塚康彦，山口芳樹，田中克典，中ノ三弥子，高倉大輔，川崎ナナ，齊藤祐子，萬谷博，遠藤玉夫，北爪しのぶ. 非古典的な糖鎖修飾が APP の細胞内輸送と Aβの産生を決定する. 第 16 回東北糖鎖研究会; 20221015; 福島.

北爪しのぶ. 血管内皮型アミロイドβ前駆体タンパク質:糖鎖修飾と病態における役割. 第 16 回東北糖鎖研究会; 20221015; 福島.

高橋一人，兼清健志，金井数明，松田希，井口正寛，竹林浩秀，柿田明美，北爪しのぶ. 中枢神経白質病変における活性化アストロサイトの役割. 第 16 回東北糖鎖研究会; 20221015; 福島.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良/Web.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寳槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良/Web.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac outcomes in heart failure with reduced ejection fraction. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良/Web.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts adverse prognosis in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良/Web.

北爪しのぶ. 血管内皮型アミロイド前駆体タンパク質の糖鎖修飾とアルツハイマー病態に果たす役割. 第 95 回日本生化学会大会; 20221111; 名古屋.

石井直仁, **黒崎祥史**, **井本明美**, **土筆智晶**, **鈴木英明**, **小林浩二**, **横場正典**, **市川尊文**, **片桐真人**. 腎症発症前糖尿病ラットにおける腎皮質のミトコンドリア品質管理メカニズムと脂肪酸代謝. 第 69 回日本臨床検査医学会学術集会; 20221118; 宇都宮. 日本臨床検査医学会誌. 70(補冊):147.

松田将門, **森田祐貴**, **星山良樹**, **寺井崇二**. 採血予約制の導入の効果. 第 69 回日本臨床検査医学会学術集会; 20221118; 宇都宮. 日本臨床検査医学会誌. 70(補冊):167.

北爪しのぶ. 新しい視点で切り込む脳アミロイド血管症の研究. 第 40 回日本認知症学会学術集会; 20221125; 東京.

Yaegashi D, Ishida T, Kikuta A, Oikawa M, Yokokawa T, Yoshihisa A, Waragai T, Sano H, Tashiro S, Takeishi Y. Significance of DNA Damage Quantification in Childhood Cancer Survivors. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20221125; 東京. 日本小児血液・がん学会雑誌. 59(4):213.

小河原崚, **三阪智史**, **市村祥平**, **冨田湧介**, **佐藤悠**, **三浦俊輔**, **横川哲朗**, **阿部諭史**, **佐藤崇匡**, **及川雅啓**, **小林淳**, **義久精臣**, **八巻尚洋**, **中里和彦**, **石田隆史**, **竹石恭知**. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義：心筋生検検体を用いたアプローチ. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

西浦司人, **及川雅啓**, **佐藤悠**, **横川哲朗**, **佐藤彰彦**, **小林淳**, **義久精臣**, **八巻尚洋**, **中里和彦**, **石田隆史**, **竹石恭知**. 低流量低圧較差重症 AS による繰り返すうっ血性心不全に TAVI が著効した一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

〔シンポジウム〕

丹野大樹. 東北から発信する微生物検査関連情報「妊産婦 GBS スクリーニング検査の適正化」. 第 33 回日本臨床微生物学会; 20220128-30; 仙台.

丹野大樹. 私たちは「臨床」微生物検査技師へと進化できたか「グラム染色情報を活かすーこれだけは伝えておこうー」. 第 33 回日本臨床微生物学会; 20220128-30; 仙台.

三浦里織. 臨床検査技師学校養成所カリキュラムの変更点と認知症検査教育. 令和 3 年度日臨技北日本支部研修会臨床検査総合部門研修会; 20220205; 福島/Web.

小宮山豊, **松田将門**. 外注検査のピットフォール. 第 16 回日本血栓止血学会学術標準化委員会（SSC）シンポジウム; 20220219; Web.

松田将門. 凝固検査における精度管理. 第 71 回日本医学検査学会シンポジウム; 20220522; 大阪/Web.

義久精臣, **君島勇輔**, **竹石恭知**. 心不全患者における心血管イベント予測に関する Soluble Fibrin Monomer Complex の有用性. 第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220625; 仙台/Web.

義久精臣，**三阪智史**，**竹石恭知**．心不全の睡眠呼吸障害に対するASV．日本睡眠学会第47回定期学術集会; 20220701; 京都/Web.

松田将門．各種抗凝固薬の希釈ラッセル蛇毒時間（dRVVT）に対する影響．第23回日本検査血液学会学術集会; 20220731; 東京/Web.

丹野大樹，**斎藤恭一**，**大橋一孝**，**豊川真弘**，**山寺幸雄**，**志村浩己**．質量分析装置を用いた新たな妊婦GBSスクリーニング検査法．第54回日本臨床検査医学会東北支部総会・第33回日本臨床化学会東北支部総会　合同支部総会; 20220806; 仙台/Web.

及川雅啓，**八重樫大輝**，**大原妃美佳**，**阿部諭史**，**三阪智史**，**小林淳**，**義久精臣**，**中里和彦**，**石田隆史**，**竹石恭知**．アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる．第70回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

松田将門．クロスミキシングテストの実例を交えたコメントの書き方．日本医療検査科学会 第54回大会血液検査機器技術セミナー; 20221007; 神戸.

菅野光俊．日本臨床化学会「ピットフォール研究専門委員会」の活動紹介．第69回日本臨床検査医学会学術集会; 20221119; 宇都宮．日本臨床検査医学会誌. 70(補冊):43.

黒崎祥史, Nielsen R, Mollet G，**井本明美**，**鈴木英明**，**横場正典**，**片桐真人**，**市川尊文**，**石井直仁**．Megalin/cubilinを介した近位尿細管の過剰なタンパク質再吸収は細胞増殖および細胞老化を促進する．第69回日本臨床検査医学会学術集会; 20221119; 宇都宮．日本臨床検査医学会誌. 70(補冊):280.

〔特別講演〕

梅澤敬. Liquid-based cytologyを用いた細胞診検査の品質・精度向上－これまでの臨床データ解析を中心に－．令和3年度福島県生活習慣病検診等従事者指導講習会; 20220305; Web.

梅澤敬. Liquid-based cytologyを用いた細胞診の品質・精度向上－これまでの論文報告と臨床データを中心に－．第40回埼玉県臨床細胞学会・埼玉県臨床細胞医会学術集会; 20220319; さいたま/Web.

菅野光俊．臨床化学領域の人材育成～若手技師・技師学生に対する取り組み～．第10回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112; 函館.

宇月美和．福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科の紹介．第41回福島県臨床細胞学会学術大会; 20221211; Web.

〔招待講演〕

Toyokawa M. The current status of laboratory methods for the detection of antimicrobial resistant in Japan. 59th Founding Anniversary Trinity Research & Idea International Congress; 20220407; Manila, Philippines /Web.

丹野大樹，金光敬二．清掃を科学するーワイプ製剤による環境清掃ー．ビルメンヒューマンフェア＆クリーンEXPO2022; 20221026; 東京.

〔その他〕

梅澤敬，館川夏那，山本容子，山村信一，林榮一，熊谷二朗. LBCによる細胞診と生検組織診を組み合わせた高リスクHPV遺伝子型判定の意義と検出率. 第63回日本臨床細胞学会総会・春期大会; 20220611; 東京/Web. 日本臨床細胞学会雑誌. 61(補冊1):99.

山本容子，館川夏那，林榮一，山村信一，高橋慎治，瀬戸口知里，梅澤敬，木村あずさ，大石愛奈，熊谷二朗. 子宮頸部細胞診で推定が困難であった子宮頸部原発明細胞癌の1例. 第63回日本臨床細胞学会総会・春期大会; 20220611; 東京/Web. 日本臨床細胞学会雑誌. 61(補冊1):235.

梅澤敬. 非婦人科材料（穿刺吸引細胞診）におけるBDサイトリッチ™標本の細胞像と応用. 細胞診従事者講習会ワークショップ; 20220910; 大分.

高橋一人，梅澤敬，宇月美和. 細胞検査士養成大学における指定規則・カリキュラム改訂への対応 福島県立医科大学における細胞検査士養成課程認定と新カリキュラム対応. 第61回日本臨床細胞学会秋期大会; 20221105; 仙台. 日本臨床細胞学会. 61(Suppl.2):451.

梅澤敬. Liquid-based FNAによる細胞診の技術革新. 第41回福島県臨床細胞学会総会; 20221211; Web.

総合科学

論　　文

〔原　著〕

Nihei K, Tokita S, Yamashiro H, Ting VGS, Nakayama R, Fujishima Y, Kino Y, Shimizu Y, Shinoda H, Ariyoshi K, Kasai K, Abe Y, Fukumoto M, Nakata A, Miura T. Evaluation of sperm fertilization capacity of large Japanese field mice (Apodemus speciosus) exposed to chronic low dose-rate radiation after the Fukushima accident. Journal of Radiation Research and Applied Sciences. 202209; 15(3):186-190.

〔総説等〕

小泉利恵，髙木修一，久保田恵佑．高校における「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価. 英語教育. 202208; 71(6):26-32.

〔研究報告書〕

Fujishima Y, Abe Y, Ting VGS, Nakayama R, Takebayashi K, Nakata A, Ariyoshi K, Thanh MT, Kasai K, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 1. Blood Collection and Its Management. Radiation Environment and Medicine. 202202; 11(1):25-33.

Kasai K, Abe Y, Ting VGS, Thanh MT, Fujishima Y, Nakayama R, Takebayashi K, Nakata A, Ariyoshi K, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 2. Biosafety and Chemical Safety in Biodosimetry Laboratory. Radiation Environment and Medicine. 202202; 11(1):34-39.

Nakata A, Ariyoshi K, Abe Y, Fujishima Y, Ting VGS, Nakayama R, Takebayashi K, Thanh MT, Kasai K, Yoshida MA, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 3. The Basics of Chromosomes for Biodosimetry. Radiation Environment and Medicine. 202208; 11(2):82-90.

Nakayama R, Abe Y, Ting VGS, Takebayashi K, Thanh MT, Fujishima Y, Nakata A, Ariyoshi K, Kasai K, Anderson D, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 4. Overview of Cytogenetic Biodosimetry. Radiation Environment and Medicine. 202208; 11(2):91-103.

〔その他〕

Kubota K, Yokouchi Y, Koizumi R. “Assessment Research for the Benefit of Humanity”: An Interview with Randy Thrasher and Yoshinori Watanabe. Language Assessment Quarterly. 2022; 19(3):314-334.

書籍等出版物

本多創史. 近代日本の優生学　〈他者〉像の成立をめぐって. 東京: 明石書店; 202201.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yasuta T. Teaching speaking skills asynchronously: a manga-based approach in EFL classroom. 7th IAFOR International Conference on Education in Hawaii; 20220106-09; Honolulu, USA/Web.

Yasuta T. Virtual conversation in EFL classroom: A Manga-based approach during the pandemic. 3rd Asian Conference on Language; 20220325-27; Tokyo/Web.

Yasuta T. Manga-based approaches in EFL: For young adult learners in Japan. 3rd Kyoto Conference on Arts, Media & Culture; 20221017-20; Kyoto/Web.

有吉健太郎，藤嶋洋平，葛西宏介，三浦富智，中田章史，吉田光明. Induction of Myc Overexpression and

Genomic Instability in Artificial Human Aneuploid Cells. 日本放射線影響学会第 65 回大会; 20220915-17; 大阪.

Sasaki M, Takeda K. A New Type of Abnormal Michael Reaction: Formation of Cyclopentenecarboxylate by the Reaction of 7-Bis(alkoxycarbonyl)-2-heptenoate with a Base. 令和 4 年度化学系学協会東北大会; 20220917-18; 盛岡.

柴田恭子, **安達隆**. いきいき百歳体操による身体機能改善効果に関する一考察. 日本体操学会第 22 回学会大会; 20221112-13; 東京.

附属病院長

論　　文

〔原　著〕

Kubo T, Amano M, Takashio S, Okumura T, Yamamoto S, Nabeta T, Oikawa M, Kurisu S, Ochi Y, Sugiura K, Baba Y, Kuroiwa H, Hirota T, Yamasaki N, Ishii S, Nochioka K, Takeishi Y, Yasuda S, Tsujita K, Izumi C, Kitaoka H. A retrospective investigation to establish new screening approach for the detection of patients at high risk of Fabry disease in male left ventricular hypertrophy patients. Journal of Cardiology. 2022; 80(4):325-331.

Anzai F, Yoshihisa A, Takeishi R, Hotsuki Y, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Acute myocardial infarction caused by Kawasaki disease requires more intensive therapy: Insights from the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases - Diagnosis Procedure Combination. Catheterization and Cardiovascular Interventions. 2022; 100(7):1173-1181.

Ohwada T, Sakamoto T, Suzuki S, Sugawara Y, Sakamoto K, Ikeda A, Haga F, Sato T, Nakazato K, Takeishi Y, Watanabe K. Apolipoprotein C3 and necrotic core volume are correlated but also associated with future cardiovascular events. Scientific Reports. 2022; 12(1):14554.

Haga F, Oikawa M, Akama J, Kiko T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. ATTR amyloidosis concomitant with parkinsonism and cardiac sympathetic neuropathy. Annals of Nuclear Cardiology. 2022; 8(1):117-119.

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(2):357-364.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T,

Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with the occurrence of bleeding events in heart failure patients with a history of coronary artery disease. Journal of Cardiology. 2022; 80(1):88-93.

Vergaro G, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Ueland T, Rocca HB, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Gustafsson I, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Emdin M, Passino C. Cardiac biomarkers retain prognostic significance in patients with heart failure and chronic obstructive pulmonary disease. Journal of Cardiovascular Medicine. 2022; 23(1):28-36.

Vergaro G, Gentile F, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, de Boer RA, Meems LMG, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Cohn JN, Ueland T, Gullestad L, Aukrust P, Brunner-La Rocca HP, Bayes-Genis A, Lupón J, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Ling LH, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Devlin G, Lund M, Giannoni A, Passino C, Emdin M. Circulating levels and prognostic cut-offs of sST2, hs-cTnT, and NT-proBNP in women vs. men with chronic heart failure. ESC Heart Failure. 2022; 9(4):2084-2095.

Tamura Y, Tamura Y, Taniguchi Y, Tsujino I, Inami T, Matsubara H, Shigeta A, Sugiyama Y, Adachi S, Abe K, Baba Y, Hatano M, Ikeda S, Kusunose K, Sugimura K, Usui S, Takeishi Y, Dohi K, Hasegawa-Tamba S, Horimoto K, Kikuchi N, Kumamaru H, Tatsumi K; Japan Pulmonary Hypertension Registry Network. Clinical management and outcomes of patients with portopulmonary hypertension enrolled in the Japanese Multicenter Registry. Circulation Reports. 2022; 4(11):542-549.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical usefulness of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) thrombotic risk score to predict long-term all-cause mortality and heart failure hospitalization after percutaneous coronary intervention. PLOS ONE. 2022; 17(9):e0274287.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 8:807754.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decreases in hepatokine Fetuin-A levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict cardiac outcomes in patients with heart failure. Clinical Research in Cardiology. 2022; 111(10):1104-1112.

Jin Y, Yaegashi D, Shi L, Ishida M, Sakai C, Yokokawa T, Abe Y, Sakai A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Hijioka N, Awai K, Tashiro S, Takeishi Y, Ishida T. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. International Heart Journal. 2022; 63(3):466-475.

Kamioka M, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Electrophysiological properties and involvement of anatomical factors for the prediction of intramural origin in patients with ventricular tachyarrhythmia arising from the left ventricular outflow tract. Journal of Interventional Cardiac

Electrophysiology. 2022; 63(1):115-123.

Kanaoka K, Onoue K, Terasaki S, Nakano T, Nakai M, Sumita Y, Hatakeyama K, Terasaki F, Kawakami R, Iwanaga Y, Miyamoto Y, Saito Y; Japanese Registry of Fulminant Myocarditis Investigators (Takeishi Y, Oikawa M, Suzuki S). Features and outcomes of histologically proven myocarditis with fulminant presentation. Circulation. 2022; 146(19):1425-1433.

Yoshihisa A, Kono S, Kaneshiro T, Ichijo Y, Misaka T, Yamada S, Oikawa M, Miura I, Yabe H, Takeishi Y. Impaired brain activity in patients with persistent atrial fibrillation assessed by near-infrared spectroscopy and its changes after catheter ablation. Scientific Reports. 2022; 12(1):7866.

Takeishi R, Misaka T, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Yoshihisa A, Takeishi Y. Increases in hepatokine selenoprotein P levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict adverse prognosis in patients with heart failure. Journal of the American Heart Association. 2022; 11(11):e024901.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Influence of power setting on superior vena cava potential during right pulmonary vein isolation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 2022; 65(1):25-31.

Kinugasa Y, Nakamura K, Kamitani H, Hirai M, Yanagihara K, Kato M, Nagai T, Yoshikawa T, Saito Y, Takeishi Y, Yamamoto K, Anzai T. Left ventricular mass index-to-QRS-voltage ratio predicts outcomes in heart failure with preserved ejection fraction. ESC Heart Failure. 2022; 9(2):1098-1106.

Sugawara Y, Kobayashi A, Muto Y, Igarashi T, Takeishi Y. Perforation of the membranous atrioventricular septum caused by infective endocarditis in a patient with a unicuspid aortic valve. Journal of Medical Ultrasonics. 2022; 49(2):311-312.

Amami K, Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Hijioka N, Nodera M, Nehashi T, Takeishi Y. Predictive impacts of chronic kidney disease and cardiac sympathetic nervous activity on lethal arrhythmic events in chronic heart failure. Annals of Noninvasive Electrocardiology. 2022; 27(1):e12900.

Hijioka N, Kaneshiro T, Nehashi T, Amami K, Nodera M, Yamada S, Kamioka M, Ishida T, Takeishi Y. Procedural characteristics of pulmonary vein isolation with high-power short-duration setting ablation compared to conventional setting. BMC Cardiovascular Disorders. 2022; 22(1):14.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Anzai F, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic effects of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. Circulation Journal. 2022; 86(12):1982-1989.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. International Heart

Journal. 2022; 63(6):1063-1069.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) bleeding risk score for long-term mortality after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(1):15-22.

Hoshide S, Yoshihisa A, Tsuchida F, Mizuno H, Teragawa H, Kasai T, Koito H, Ando S, Watanabe Y, Takeishi Y, Kario K. Pulse transit time-estimated blood pressure: a comparison of beat-to-beat and intermittent measurement. Hypertension Research. 2022; 45(6):1001-1007.

Ohara H, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 9:772466.

Takahashi H, Mori H, Fukatsu M, Sano T, Harada K, Oikawa M, Takeishi Y, Kimura S, Ohkawara H, Shichishima T, Ikezoe T. Successful management of unstable angina in a ravulizumab-treated patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):175-178.

Takeishi R, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Sumita Y, Nakai M, Misaka T, Takeishi Y. Temporal trends in the practice pattern for sleep-disordered breathing in patients with cardiovascular diseases in Japan - Insights from the Japanese registry of all cardiac and vascular diseases - diagnosis procedure combination. Circulation Journal. 2022; 86(9):1428-1436.

Kurosawa Y, Shimizu T, Ando T, Akama J, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of D-dimer on long-term mortality in patients with coronary artery disease after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(6):1070-1077.

Amami K, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Yamada S, Nehashi T, Hijioka N, Nodera M, Kaneshiro T, Yokokawa T, Misaka T, Takeishi Y. Utility of a novel wearable electrode embedded in an undershirt for electrocardiogram monitoring and detection of arrhythmias. PLOS ONE. 2022; 17(8):e0273541.

Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese bleeding risk criteria in patients after percutaneous coronary intervention and comparison with contemporary bleeding risk criteria. Circulation Reports. 2022; 4(5):230-238.

〔総説等〕

三阪智史，竹石恭知．クローン性造血と心血管疾患ー新しい治療ターゲットー．循環器内科. 2022; 91(6):784-790.

三阪智史，竹石恭知．クローン性造血と肺高血圧症ー新しい個別化医療のターゲットー．循環器内科. 2022;

92(4):463-469.

山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. ランジオロールによる頻脈性不整脈治療. 診断と治療. 2022; 110(10):1335-1339.

〔研究報告書〕

田代聡，岡田守人，工藤崇，竹石恭知，石田隆史. 医療放射線被ばくの人体影響評価. 2021 年度　共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト　研究成果報告集. 2022; 224-233.

東幸仁，竹石恭知，石田隆史，李桃生. 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 2021 年度　共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト　研究成果報告集. 2022; 301-311.

〔その他〕

竹石恭知. 25 年間　ありがとうございます！ パンダハウス News Letter. 2022; 15:2.

竹石恭知. 我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言－卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指して－. 全国医学部長病院長会議　提言. 2022; 1-58.

竹石恭知. 学会開催・学会賞報告　第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会　報告. 日本心臓核医学会誌. 2022; 24(1):22.

竹石恭知. 公立大学法人 福島県立医科大学　病院長メッセージ. 福島県臨床研修病院ガイドブック 2022. 2022; 9-10.

竹石恭知. 高い能力持つ医療人育成　福島医大新病院長　竹石恭知氏. 福島民友. 20220408; 3.

竹石恭知，星北斗. 心不全を引き起こす大動脈弁狭窄症. 福島民友. 20220528; 26.

竹石恭知. 新任挨拶. 福島医大病院ニュースレター. 2022; 58:1.

竹石恭知. 先端医療で地域貢献　福島医大付属病院長に就いた竹石恭知氏に聞く. 福島民報. 20220408; 2.

竹石恭知. 創薬医療分野　貢献へ　福島医大「近代医学教育 150 年シンポ」. 福島民友. 20220612; 2.

竹石恭知. 対談「心不全診療のアンメット・ニーズと新規治療薬ベリキューボ」. ベリキューボ錠製品情報サイト医師対談記事. 2022; 1-5.

竹石恭知. 代表理事に竹石氏. 福島民報. 20221013; 3.

堀江重郎，天野俊康，石井智弘，井手久満，伊藤直樹，岩月正一郎，上芝元，大山力，小川純人，蔭山和則，方波見卓行，川戸佳，菅野潤子，功刀浩，重原一慶，周東孝浩，白石晃司，白川智也，鈴木和浩，高岡正和，高橋裕，竹石恭知，立花修，田邉真紀人，辻村晃，鳥居俊，西岡宏，長谷川奉延，畠山真吾，濱島崇，濱野

逸人，福井道明，福岡秀規，松井克之，松下一仁，溝上敦，村元啓仁，八木弘子，安井孝周，柳瀬敏彦，義久精臣．男性の性腺機能低下症ガイドライン 2022．日本内分泌学会雑誌. 2022; 98(Suppl):1-140.

竹石恭知．竹石氏代表理事に．福島民友. 20221014; 3.

竹石恭知．白衣式で 131 人医師への一歩．福島民友. 20221013; 4.

竹石恭知．福医大シンポ　近代医学教育 150 年たどる．福島民報. 20220612; 2.

竹石恭知．福島県立医科大学附属病院長に就任して．福島県立医科大学　大学医師会会報. 2022; 161:1.

竹石恭知．臨床実習へ心構え新た　福島医大白衣式．福島民報. 20221013; 21.

書籍等出版物

竹石恭知. 6.　循環器疾患　大動脈弁輪拡張症（マルファン症候群含む）. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針　2022 年版．東京: 医学書院. 2022. p.436-437.

義久精臣，竹石恭知．II　心不全　1　急性心不全. In: 伊藤浩, 山下武志 編集．循環器疾患最新の治療　2022-2023．東京: 南江堂. 2022. p.57-62.

義久精臣，市村祥平，竹石恭知．VI　合併症とその治療戦略：睡眠呼吸障害へのアプローチ up to date. In: 伊藤浩 編集．令和の心不全治療ガイド．東京: 文光堂. 2022. p.205-208.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yamakuni R, Endo K, Kiko T, Ishii S, Yamaki T, Kikori K, Ukon N, Ito H, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic significance of simultaneous analysis with global myocardial flow reserve and myocardial strain under vasodilator stress using cardiac PETMR. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Vancouver, Canada/Web.

Fukushima K, Endo K, Yamakuni R, Kiko T, Sekino H, Kikori K, Ukon N, Ishii S, Yamaki T, Ito H, Takeishi Y. Simultaneous assessment of myocardial mechanical dyssynchrony using integrated PETMR system -Direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking-. SNMMI 2022 Annual Meeting; 20220611-14; Vancouver, Canada/Web.

Ishida T, Jin Y, Yaegashi D, Ishida M, Sakai C, Yamaki T, Nakazato K, Tashiro S, Takeishi Y. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. ESC Congress 2022; 20220826-29; Barcelona, Spain/Web. European Heart Journal. 43(Supplement_2):3015.

Tomita Y, Misaka T, Anzai F, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Takeishi Y. Cardiomyocyte N-myristoylation plays an essential role during the development of heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10039.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Sato Y, Yokokawa T, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9881.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9789.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10222.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11852.

Kurosawa Y, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes undergoing intracoronary imaging-guided percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11766.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a axis plays a pivotal role in breast cancer progression after myocardial infarction. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10584.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9792.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of calcium volume measurement determined by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. American Heart

Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10744.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9916.

Muto Y, Sato A, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11363.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is an important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10593.

Kiko T, Endo K, Fukushima K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular strain during vasodilator stress measured by ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9764.

Nodera M, Nehashi T, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The distance from the right coronary artery to the cavotricuspid isthmus is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus by cryoablation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11209.

Kurosawa Y, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of living alone on long-term cardiac mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11777.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with bleeding event in heart failure patients with a history of coronary artery disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

和田健斗，三阪智史，横川哲朗，君島勇輔，金城貴士，及川雅啓，義久精臣，竹石恭知. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

阿部諭史，義久精臣，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Calcium-phosphorus (Ca-P) product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会;

20220311-13; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川沙代子，横川哲朗，三阪智史，金城貴士，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Anzai F, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decrease in hepatokine fetuin-A is associated with hepatic hypoperfusion in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Ohara H, Sugawara Y, Tomita Y, Tani T, Ichimura S, Watanabe K, Wada K, Abe S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Effects of CPAP on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing determined by pulse-transit-time-based blood pressure measurements. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Anzai F, Sato A, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

杉本浩一，及川雅啓，小林淳，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. MT1-MMP may be a new biomarker to predict pulmonary artery hypertention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor is associated with breast cancer progression after myocardial infarction. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure with preserved left-ventricular ejection fraction. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，佐藤悠，君島勇輔，三阪智史，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predict bleeding events in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Nodera M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Shimizu T, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk criteria. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

三阪智史，義久精臣，石橋伸治，堀越裕子，松田美津子，山寺幸雄，菅原由紀子，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. 心不全患者における脾臓の超音波エラストグラフィの臨床的意義. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋. Japanese Journal of Medical Ultrasonics. 49(Suppl):S670.

山田慎哉，金城貴士，根橋健，天海一明，野寺穣，竹石恭知. Clinical significance of the decreased coefficient of variance of R-R interval after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

Amami K, Yamada S, Nehashi T, Nodera M, Kaneshiro T, Takeishi Y. The association between abnormal cardiac sympathetic nervous activity and lethal arrhythmic events in chronic heart failure with chronic kidney disease. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

野寺穣，天海一明，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. 第 68 回日本不整脈心電学会学術大会; 20220608-11; 横浜.

遠藤圭一郎，福島賢慈，喜古崇豊，山國遼，八巻尚洋，伊藤浩，竹石恭知. ^{13}N-アンモニア PET/MRI を用いた心筋血流予備能と右室ストレイン解析による予後の検討. 第 32 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20220624-25; 東京/Web. 心臓核医学. 24(2):23.

武藤雄紀，菅原由紀子，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，國井浩行，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. ガイドワイヤーによる左室穿孔を来した TAVI の 1 例. 第 12 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会;

20220701-02; 仙台.

武藤雄紀，佐藤栄奈，大橋尚人，佐久間裕也，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，國井浩行，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. TAVI 中にガイドワイヤーによる左室穿孔を来たした一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

佐藤彰彦，武藤雄紀，清水竹史，及川雅啓，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 右冠動脈起始異常を有する患者に対し TAVR を施行した一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

大原妃美佳，清水竹史，佐藤栄奈，池田彩乃，佐久間裕也，根橋健，遠藤圭一郎，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 金属アレルギー患者に対し DCA および DCB によりステントレスで PCI を施行し得た一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し PCI を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

八重樫大輝，及川雅啓，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Nutrition risk index（NRI）によるがん治療関連心機能障害の予測. 第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる. 第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

谷哲矢，及川雅啓，三阪智史，石田隆史，竹石恭知. 心筋梗塞による Nerve Growth Factor の増加は NGF/TrkA 経路を介して乳がんを進行させる. 第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

阿部諭史，義久精臣，一條靖洋，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Lower calcium-phosphorus product predicts adverse prognosis in patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寶槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal Venous Stasis Index は心不全患者における腎うっ血を反映する. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐久間裕也，清水竹史，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. びまん性冠動脈狭窄および冠動脈瘤を呈した線維筋性異形成の一例. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. 簡易版 ARC-HBR 評価基準は心不全患者の出血イ

ベントを予測する. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知. 左室駆出率の低下した慢性心不全患者における安静時エネルギー消費量測定の意義. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

冨田湧介，三阪智史，安齋文弥，市村祥平，和田健斗，君島勇輔，竹石恭知. Cardiomyocyte N-myristoylation plays an essential role during the development of heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

大原妃美佳，義久精臣，菅原由紀子，一條靖洋，渡邊孝一郎，寶槻優，佐藤悠，三阪智史，金城貴士，及川雅啓，小林淳，竹石恭知. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

佐藤崇匡，義久精臣，石田隆史，竹石恭知. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac outcomes in heart failure with reduced ejection fraction. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts adverse prognosis in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

八重樫大輝，佐藤崇匡，池田彩乃，黒沢雄太，安齋文弥，清水竹史，竹石恭知. Successful treatment with angiotensin-receptor neprilysin-inhibitor in a patient with advanced heart failure after left ventricular assist device implantation. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

根橋健，山田慎哉，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 2D 左室心筋長軸ストレイン解析による起源同定がアブレーションに有用であった右脚ブロック型・上方軸心室性期外収縮の 2 症例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2022; 20221124-26; 新潟.

Yaegashi D, Ishida T, Kikuta A, Oikawa M, Yokokawa T, Yoshihisa A, Waragai T, Sano H, Tashiro S, Takeishi Y. Significance of DNA damage quantification in childhood cancer survivrs. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20221125-27; 東京. 日本小児血液・がん学会誌. 59(4):213.

Tomita Y, Anzai F, Misaka T, Ogawara R, Ichimura S, Wada K, Kimishima Y, Yokokawa T, Takeishi Y. Targeting N-myristoylation prevents cardiac hypertrophy and heart failure. CVMW2022 心血管代謝週間：第 39 回国際心臓研究学会 日本部会; 20221216-17; 東京.

Tani T, Oikawa M, Misaka T, Ishida T, Takeishi Y. Nerve growth factor/tropomyosin receptor kinase a signaling pathway plays a vital role in breast cancer progression after myocardial infarction. CVMW2022 心血

管代謝週間：第 6 回日本循環器学会 基礎研究フォーラム（BCVR）; 20221216-17; 東京.

武藤雄紀，國井浩行，佐藤栄奈，大橋尚人，佐久間裕也，菅原由紀子，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，中里和彦，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. ガイドワイヤーによる左室穿孔を来した TAVI の 1 例. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

清水竹史，遠藤圭一郎，安藤卓也，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 冠動脈バイパス術後の右冠動脈入口部の慢性完全閉塞に対し、両方向性アプローチにより経皮的冠動脈形成術に成功した一例. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

市村祥平，及川雅啓，池田彩乃，遠藤圭一郎，武藤雄紀，赤間浄，八巻尚洋，中里和彦，佐藤雅彦，石田隆史，竹石恭知. ワクチン未接種者に発症した SARS-CoV-2 オミクロン株（BA.2 型）による COVID-19 関連劇症型心筋炎の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

西浦司人，阿部諭史，佐久間裕也，菅原由紀子，清水竹史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 緩徐な経過を辿った Abiotrophia defectiva による感染性心内膜炎の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

草野亮太，清水竹史，佐久間裕也，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し経皮的冠動脈形成術を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

天海一明，山田慎哉，義久精臣，根橋健，野寺穣，金城貴士，三阪智史，竹石恭知. 長時間心電図記録および不整脈検出におけるシャツ型電極の有用性. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知. 心内シークエンスの明らかな変化なく、デルタ波の極性変化をきたした WPW 症候群の 1 例. 第 2 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20220716; 盛岡/Web.

草野亮太，武藤雄紀，遠藤圭一郎，黒沢雄太，佐藤彰彦，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知，藤宮剛，高瀬信弥，横山斉. 右冠動脈起始異常を有する患者に対し TAVI を施行した一例. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

片平正隆，清水竹史，黒沢雄太，喜古崇豊，佐藤彰彦，小林淳，新城宏治，藤宮剛，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 左主幹部高度石灰化病変を責任病変とする非 ST 上昇型心筋梗塞に対し、左腋窩動脈より Impella 挿入下に PCI を施行した Leriche 症候群の一例. 第 51 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会;

20220730; 山形.

大原妃美佳，片平正隆，武藤雄紀，三浦俊輔，小林淳，竹石恭知. オシメルチニブによる CTRTD（がん治療関連心機能障害）を発症した 1 例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

磯松大介，佐藤崇匡，上田捷太，岡部亮斗，鈴木喜敬，廣坂諒，池田彩乃，大橋尚人，大原妃美佳，黒沢雄太，和田健斗，君島勇輔，佐藤彰彦，清水竹史，藤宮剛，横山斉，竹石恭知. ヘパリン起因性血小板減少症を合併し長期 IMPELLA®管理後に植込型補助人工心臓移植術を行った重症心不全の 1 例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

大和田光司，山田慎哉，片平正隆，根橋健，野寺穣，金城貴士，竹石恭知. 右室同期左室ペーシングが有効だった間欠性左脚ブロックの一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

小河原崚，三阪智史，市村祥平，冨田湧介，佐藤悠，三浦俊輔，横川哲朗，阿部諭史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義：心筋生検検体を用いたアプローチ. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

佐久間裕也，阿部諭史，小河原崚，遠藤圭一郎，清水竹史，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を契機とした好酸球性心筋炎の一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

西浦司人，及川雅啓，佐藤悠，横川哲朗，佐藤彰彦，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 低流量低圧較差重症 AS による繰り返すうっ血性心不全に TAVI が著効した一例. 第 175 回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

大橋尚人，及川雅啓，佐藤栄奈，佐久間裕也，武藤雄紀，阿部諭史，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 閉塞性肥大型心筋症に合併した全身性アミロイドーシスの一例. 第 8 回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

武藤雄紀，草野亮太，小河原崚，三浦俊輔，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，石田圭一，藤宮剛，高瀬信弥，横山斉，竹石恭知. TAVI 後に左室流出路狭窄による重症僧帽弁閉鎖不全症を認めた一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション 2022; 20220909-10; 岡山.

及川雅啓，佐久間裕也，佐藤栄奈，大橋尚人，武藤雄紀，小林淳，杉本浩一，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効した G6PD 欠損症の一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション 2022; 20220909-10; 岡山.

冨田湧介，安齋文弥，三阪智史，小河原崚，市村祥平，和田健斗，君島勇輔，横川哲朗，竹石恭知. 心不全における N-ミリストイル化を介した蛋白質翻訳後修飾の役割と心不全の新規治療開発. 第 10 回 Heart Science Club; 20221001; Web.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し PCI を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 56 回 Cardiovascular Intervention Conference (CIC)；20220319; Web.

若松大樹，佐戸川弘之，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉，中里和彦，竹石恭知．高度肺高血圧をともなう未加療の成人期部分肺静脈還流異常症への統合的治療．第 42 回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

佐藤崇匡，藤宮剛，横山斉，竹石恭知．福島県立医科大学附属病院における植込型補助人工心臓治療の現況．第 42 回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

野寺穣，根橋健，山田慎哉，金城貴士，竹石恭知．心室期外収縮と持続性心房細動のアブレーションを一期的に行い、心機能の改善が得られた不整脈誘発性心筋症の一例．第 19 回福島不整脈懇話会; 20220707; Web.

〔シンポジウム〕

竹石恭知．循環器領域における高齢化と先進医療：高齢者心不全の治療戦略．福島県近代医学教育 150 年顕彰記念シンポジウム; 20220611; 福島/Web.

竹石恭知. JAK2V617F 変異クローン性造血と肺高血圧症（シンポジウム）．第 22 回日本抗加齢医学会総会; 20220617-19; 大阪/Web.

義久精臣，君島勇輔，竹石恭知．心不全患者における心血管イベント予測に関する Soluble Fibrin Monomer Complex の有用性（シンポジウム）．第 44 回日本血栓止血学会学術集会; 20220623-25; 仙台/Web. 日本血栓止血学会誌. 33(2):190.

義久精臣，三阪智史，竹石恭知．心不全の睡眠呼吸障害に対する ASV（ワークショップ）．日本睡眠学会第 47 回定期学術集会; 20220630-0701; 京都.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる（シンポジウム）．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

〔特別講演〕

竹石恭知．特別講演：Onco-Cardiology への取り組み～CAT 領域に対する抗凝固療法～. Onco-Cardiology Web Seminar; 20220421; Web.

竹石恭知．特別講演：薬剤性心筋症－Onco-Cardiology への取り組み－．第 72 回新潟心不全研究会; 20220729; 新潟/Web.

竹石恭知．特別講演：心不全パンデミックにおける高齢者心不全の治療戦略. WEB カンファレンス; 20221130; Web.

〔その他〕

竹石恭知．併存疾患を踏まえた心不全治療戦略の必要性とベリキューボへの期待. m3.com　MR 君（ベリキューボ Vol.15）; 20220701; Web.

医療安全管理部

論　　文

〔原　著〕

Endo M, Yamamoto M, Ohtsuka M, Yamamoto T. Bullous Sweet syndrome with a unique photodistributed pattern. Anais Brasileiros de Dermatologia. 202203; 97(2):266-268.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

医療情報部

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

森山信彰，中山千尋，深澤舞子，井高貴之，安村誠司．労働者におけるヘルスリテラシーと健康づくりに関して信頼できる情報源の関連. Health Communication Week 2022; 20221001-02; 名古屋/Web.

森山信彰，中山千尋，深澤舞子，井高貴之，安村誠司．ウィズコロナ時代の労働者における伝達的・批判的ヘルスリテラシーと精神的健康状態の関連. 令和 4 年度福島県保健衛生学会（第 50 回）; 20221013; 福島.

患者サポートセンター

論　　文

〔原　著〕

Yamada L, Saito M, Suzuki H, Mochizuki S, Endo E, Kase K, Ito M, Nakano H, Yamauchi N, Matsumoto T, Kaneta A, Kanke Y, Onozawa H, Hanayama H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Watanabe Y, Hayase S, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Incidence of upper extremity deep vein thrombosis in the retrosternal reconstruction after esophagectomy. BMC Surgery. 202203; 22(1):91.

Ito M, Mimura K, Nakajima S, Saito K, Min AKT, Okayama H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohtsuka M, Yamamoto T, Kono K. Immune escape mechanism behind resistance to anti-PD-1 therapy in gastrointestinal tract metastasis in malignant melanoma patients with multiple metastases. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202209; 71(9):2293-2300.

Kaneta A, Nakajima S, Okayama H, Matsumoto T, Saito K, Kikuchi T, Endo E, Ito M, Mimura K, Kanke Y, Saito M, Saze Z, Fujita S, Sakamoto W, Onozawa H, Momma T, Ohki S, Kono K. Role of the cGAS-STING pathway in regulating the tumor-immune microenvironment in dMMR/MSI colorectal cancer. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202211; 71(11):2765-2776.

Sakamoto W, Kanke Y, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Short-term outcomes of neoadjuvant chemotherapy with capecitabine plus oxaliplatin for patients with locally advanced rectal cancer followed by total or tumor-specific mesorectal excision with or without lateral pelvic lymph node dissection. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):89-95.

Hanayama H, Katagata M, Sato T, Nakano H, Matsumoto T, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Momma T, Kato T, Hashimoto M, Nakamura J, Hikichi T, Saze Z, Kono K. Clinical outcomes of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric gastrointestinal stromal tumor. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):169-174.

Takao M, Yamaguchi T, Eguchi H, Yamada T, Okazaki Y, Tomita N, Nomizu T, Momma T, Takayama T, Tanakaya K, Akagi K, Ishida H. Correction to: APC germline variant analysis in the adenomatous polyposis phenotype in Japanese patients. International Journal of Clinical Oncology. 202202; 27(2):456.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13(1):1273-1285.

岩田亜弓，深井智司，菅家康之，藤田正太郎，門馬智之，河野浩二．小腸原発髄外性形質細胞腫の１例．日本臨床外科学会雑誌. 202207; 83(7):1296-1300.

〔その他〕

門馬智之. 第 494 回福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録　消化器がんに対するロボット手術　総論. 福島医学会雑誌. 202208; 72(2):100.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

佐野秀樹，**菊田敦**，**赤間孝典**，**門馬智之**，**渡邊尚文**，**寺下友佳代**，**杉山未奈子**，**真部淳**. SMARCB1 変異を有する Rhabdoid tumor predisposition syndrome の 1 例. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

片方雅紀，**早瀬傑**，**佐藤孝洋**，**仲野宏**，**松本拓朗**，**多田武志**，**花山寛之**，**渡辺洋平**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**河野浩二**. 食道癌術後再建胃管癌の検討. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220304; 横浜/Web.

佐瀬善一郎，**片方雅紀**，**佐藤孝洋**，**仲野宏**，**松本拓朗**，**多田武志**，**花山寛之**，**渡辺洋平**，**早瀬傑**，**門馬智之**，**河野浩二**. 噴門側胃切除術上川法再建におけるロボット支援下手術の有用性とピットフォール. 第 94 回日本胃癌学会総会; 20220304; 横浜/Web.

坂本渉，**中嶋正太郎**，**渡辺洋平**，**岡山洋和**，**齋藤元伸**，**三村耕作**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**河野浩二**. 当科における働き方改革への対応と医学博士・内視鏡外科技術認定医「量産」への取り組み. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; 熊本.

長谷川誠，**坂本渉**，**鈴木理**，**山田玲央**，**深井智司**，**菊池智宏**，**菅家康之**，**小野澤寿志**，**岡山洋和**，**遠藤久仁**，**藤田正太郎**，**齋藤元伸**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**大木進司**，**河野浩二**. 左側大腸癌における下腸間膜動脈血管鞘内のリンパ節の有無とリンパ管増生の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220415; 熊本.

岩田亜弓，**三村耕作**，**中嶋正太郎**，**小野澤寿志**，**岡山洋和**，**藤田正太郎**，**坂本渉**，**齋藤元伸**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**河野浩二**. 抗 VEGFR2 抗体を用いた M2 腫瘍関連マクロファージ制御の可能性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

岡山洋和，**松本拓朗**，**遠藤英成**，**金田晃尚**，**伊藤美郷**，**深井智司**，**菅家康之**，**小野澤寿志**，**藤田正太郎**，**坂本渉**，**齋藤元伸**，**佐瀬善一郎**，**門馬智之**，**三村耕作**，**河野浩二**. Combination immunotherapy for colorectal cancer. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

北堀有希，**三村耕作**，**中嶋正太郎**，**小野澤寿志**，**岡山洋和**，**藤田正太郎**，**坂本渉**，**齋藤元伸**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**河野浩二**. 大腸癌腫瘍微小環境における免疫チェックポイントレセプターとリガンドの発現について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

三村耕作，**伊藤美郷**，**中嶋正太郎**，**岡山洋和**，**齋藤元伸**，**門馬智之**，**佐瀬善一郎**，**河野浩二**. CD163 陽性 M2 腫瘍関連マクロファージと PD-1 を標的とした複合がん免疫療法の開発. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220416; 熊本.

小野澤寿志，深井智司，伊藤美郷，菅家康之，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

片方雅紀，早瀬傑，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．CY1, P0 胃癌症例に対する外科切除の意義の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，山田玲央，仲野宏，松本拓朗，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，齋藤元伸，佐瀬善一郎，三村耕作，門馬智之，大木進司，橋本優子，河野浩二．食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現は予後に関連する．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

齋藤元伸，仲野宏，加瀬晃志，中嶋正太郎，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．胃癌サブタイプにおける PD-L1 発現の比較検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

佐瀬善一郎，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二．ひとり立ちまでを目標とする内視鏡外科技術認定医（胃）取得に向けた手技指導．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

多田武志，片方雅紀，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，楡井東，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一，三村耕作，河野浩二．特発性食道破裂 16 例に対する手術症例の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

仲野宏，齋藤元伸，中嶋正太郎，齋藤勝治，伊藤美郷，金田晃尚，北堀有希，片方雅紀，佐藤孝洋，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，岡山洋和，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，後藤明輝，河野浩二．EBV 関連胃癌における PD-L1 高発現は 2 つの異なる機序により引き起こされる．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．経仙骨アプローチによる低位骨盤内手術ー直腸 GIST2 例に対する手術例の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

藤田正太郎，門馬智之，深井智司，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．BRAF 変異陽性大腸癌に Encorafenib+Cetuximab 療法を施行した 1 例．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

門馬智之，藤田正太郎，長谷川誠，北堀有希，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．実臨床における進行再発大腸癌におけるラムシルマブ／FOLFIRI 治療の検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

渡辺洋平，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，伊藤美郷，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，坂本渉，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．切除不能・進行再発胃癌に対する Nivolumab 投与時の NLR の有用性．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．術前補助化学療法が食道扁平上皮癌腫瘍微小環境に及ぼす影響．第 43 回癌免疫外科研究会; 20220527; 京都.

佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，楡井東，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. Zenker 憩室に対し，手術した 1 例．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

森友輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．腹腔鏡下手術における蛍光尿管カテーテルの有用性．第 8 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20220528; Web.

佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当院における特発性食道破裂 22 例の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜.

楡井東，佐久間芽衣，深井智司，佐藤孝洋，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．食道術後乳糜胸に対するリピオドールリンパ管造影の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720; 横浜.

上野未来，伊藤美郷，中嶋正太郎，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，三村耕作，河野浩二．大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤機序について．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，金田晃尚，伊藤美郷，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

小野澤寿志，片方雅紀，伊藤美郷，松本拓朗，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．局所進行直腸癌に対する治療戦略．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

片方雅紀，坂本渉，山口大輝，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．直腸 GIST を後方アプローチで摘出した 3 例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

齋藤元伸，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．胃癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

坂本渉，片方雅紀，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科におけるロボット支援下側方郭清導入－腹腔鏡下時代と比較した神経因性膀胱の発生状況の比較－．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

門馬智之，片方雅紀，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．直

腸 NEN 手術症例の検討. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜.

佐瀬善一郎, 佐久間芽衣, 深井智司, 金田晃尚, 楡井東, 多田武志, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 内視鏡外科技術認定医取得に向けた手技指導～ひとり立ちを目標として. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220722; 横浜.

氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. S 状結腸脂肪腫による腸重積症の 1 例. 第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

小野澤寿志, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する治療戦略. 第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20221014; 千葉.

氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における BRAF 変異陽性大腸癌の検討. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸.

小野澤寿志, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy（TNT）の治療成績. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸.

菊池智宏, 滝口千晶, 叶多諒, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科における十二指腸腫瘍の外科治療戦略. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221020; 神戸.

大竹廉正, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 岡山洋和, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. dMMR/MSI 大腸癌における STING 高発現は CD8 陽性 T 細胞の高浸潤に寄与する. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

岡山洋和, 松本拓朗, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 深井智司, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 坂本渉, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌の腫瘍免疫抑制機構. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

片方雅紀, 坂本渉, 佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

坂本渉, 佐久間芽衣, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 低位直腸癌に対する側方リンパ節郭清後のドレーン排液量の比較－ロボット vs 腹腔鏡－. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

佐久間芽衣, 氏家大輔, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 尿管近傍の転移巣に対するロボット支援直腸手術で蛍光尿管カテーテルを使用した一例. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

佐瀬善一郎, 叶多諒, 滝口千晶, 圓谷秀哲, 金田晃尚, 菊池智宏, 楡井東, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平,

門馬智之，河野浩二．食道癌外科治療におけるチーム医療の現状と課題．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

東倉賢治郎，三村耕作，中嶋正太郎，伊藤美郷，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．大腸癌における免疫チェックポイントリガンドの発現状況について．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

藤田正太郎，門馬智之，片方雅紀，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．ロボット支援下直腸手術中に炭酸ガス血症のため，開腹移行した 1 例．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221021; 神戸.

門馬智之，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，河野浩二．当院での大腸がんの補助療法実施状況についての検討．第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

佐瀬善一郎，滝口千晶，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，門馬智之，河野浩二．食道癌外科治療周術期におけるチーム医療の取り組み．第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221125; 福岡.

氏家大輔，藤田正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，佐久間芽衣，坂本渉，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．S 状結腸癌術後再発に対し，既存の化学療法に抵抗性を生じるも，pembrolizumab が適応となり長期生存を得た 1 例．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

菊池智宏，三村耕作，松石彬，鈴木博也，丸山裕也，佐久間芽衣，圓谷秀哲，深井智司，金田晃尚，氏家大輔，千田峻，楡井東，多田武志，花山寛之，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

佐久間芽衣，叶多諒，圓谷秀哲，金田晃尚，菊池智宏，楡井東，多田武志，花山寛之，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．切除不能進行・再発食道癌に対する Pembrolizumab＋CDDP/5-FU 療法の 12 例の検討．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

東倉賢治郎，坂本渉，圓谷秀哲，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．再発大腸癌に対する late line での示唆に富むレゴラフェニブ使用経験．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

片方雅紀，岡山洋和，中嶋正太郎，遠藤英成，叶多諒，深井智司，佐久間芽衣，圓谷秀哲，佐藤孝洋，金田晃尚，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．癌間質における TGF-β と腫瘍浸潤免疫細胞での TIM3 の発現との関連について．第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

小野澤寿志，佐久間芽衣，氏家大輔，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．ロボット支援下直腸切断術後に左大腿神経麻痺を来した 1 例．第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

深井智司，遠藤英成，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. U-40 から発信する，地方大学医局におけるビデオクリニックの取り組み. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208; 名古屋.

〔シンポジウム〕

門馬智之，河野浩二. 直腸癌ロボット支援下手術導入により見えてきた外科医教育の課題. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会／第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台/Web.

氏家大輔，三村耕作，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二. 術前化学療法が誘導する IL-34 が食道扁平上皮癌微小環境に及ぼす影響. 第 76 回日本食道学会学術集会; 20220925; 東京.

中嶋正太郎，金田晃尚，岡山洋和，松本拓朗，菊池智宏，遠藤英成，伊藤美郷，三村耕作，菅家康之，齋藤元伸，佐藤孝洋，片方雅紀，藤田正太郎，坂本渉，小野澤寿志，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

中嶋正太郎，三村耕作，金田晃尚，佐藤孝洋，片方雅紀，岡山洋和，齋藤元伸，坂本渉，楡井東，菊池智宏，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二. 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221201; 福島.

岡山洋和，片方雅紀，松本拓朗，遠藤英成，佐藤孝洋，深井智司，佐久間芽衣，氏家大輔，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二. Targeting the tumor immune microenvironment in colorectal cancer. 第 35 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会; 20221202; 福島.

〔その他〕

佐瀬善一郎，深井智司，佐久間芽衣，佐藤孝洋，楡井東，多田武志，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，河野浩二. ロボット支援胸腔鏡下食道亜全摘術導入期における安全性の評価. 第 76 回日本食道学会学術集会; 20220926; 東京.

三村耕作，伊藤美郷，中嶋正太郎，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における M2 腫瘍関連マクロファージの浸潤頻度増加機序について. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

ふたば救急総合医療支援センター

論　　文

〔原　著〕

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno SI. Development of a Novel Diagnostic Support Tool for Degenerative Cervical Myelopathy Combining 10-s Grip and Release Test and Grip Strength: A Pilot Study. Diagnostics. 202208; 12(9):2108.

Fukatsu M, Ohkawara H, Wang X, Alkebsi L, Furukawa M, Mori H, Fukami M, Fukami S, Sano T, Takahashi H, Harada-Shirado K, Kimura S, Sugimoto K, Ogawa K, Ikezoe T. The suppressive effects of Mer inhibition on inflammatory responses in the pathogenesis of LPS-induced ALI/ARDS. Science Signaling. 2022; 15(724):eabd2533.

Takemura T, Kataoka Y, Ashi N, Shirakawa C, Okazaki K, Sakurai A, Imakita T, Ikegaki S, Matsumoto H, Saito E, Takata H, Kaku S, Wada N, Shinomiya M, Otoshi T, Shimada M, Nikaido J, Iki R, Hirano K, Hirai T, Endo K, Hirabayashi M, Naganuma T. Influence of social isolation and loneliness on the prognosis of advanced lung cancer patients: a prospective cohort study. Supportive Care in Cancer. 202207; 30(7):6045-6053.

過年業績

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Yabuki S, Konno SI. Grip Strength as a Screening Index for Severe Degenerative Cervical Myelopathy in Primary Care: Development of Cutoff Values Using Receiver Operating Curve Analysis. International Journal of General Medicine. 202112; 14:9863-9872.

〔総説等〕

渡邉和之．【患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬】非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）．整形外科看護. 202209; 27(9):872-875.

渡邉和之，**紺野愼一**．【Failed back surgery syndrome へのアプローチー診断と対処法】総論　FBSS の病態. 脊椎脊髄ジャーナル. 202202; 34(8):466-472.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Handa J, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Sagittal imbalance and need for future long-term care in elderly adults. Locomotive

Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). 48th International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS) Annuall Meeting; 20220509-13; Boston, USA/Web.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

杉本浩一，及川雅啓，小林淳，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. MT1-MMP may be a new biomarker to predict pulmonary artery hypertention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

渡邉和之，大谷晃司，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，小林良浩，富永亮司，関口美穂，矢吹省司，紺野愼一. 成人脊柱変形における代償性変化とうつと関連　Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study (LOHAS). 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜.

渡邉和之，大谷晃司，関口美穂，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，富永亮司，小林良浩，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 地域住民における脊椎骨盤パラメーターと新規要介護との関連　LOHAS. 第 95 回日本整形外科学会学術集会; 20220519-22; 神戸/Web.

及川雅啓，佐久間裕也，佐藤栄奈，大橋尚人，武藤雄紀，小林淳，杉本浩一，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効した G6PD 欠損症の一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション 2022; 20220909-10; 岡山.

渡邉和之，大谷晃司，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，小林良浩，矢吹省司，紺野愼一. 腰部脊柱管狭窄患者における認知機能障害. 第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡.

過年業績

渡邉和之，大谷晃司，関口美穂，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，富永亮司，小林良浩，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 脊柱矢状面バランス不良と要介護との関連. 第 55 回日本側彎症学会学術集会; 20211105-06; 浜松/Web.

〔シンポジウム〕

渡邉和之，紺野愼一. スポーツと腰痛ー種目特性と pitfall. JOSKAS-JOSSM2022（第 48 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会）; 20220616-18; 札幌.

〔招待講演〕

杉本浩一. 講演：肺高血圧症の早期発見と治療の実際について. 肺高血圧症 WEB セミナー in いわき; 20220204; Web.

杉本浩一. 講演：検査技師に知ってほしい肺高血圧症の病態と検査所見. 令和 4 年度岩臨技第 1 回生理機能部門研修会; 20220627; Web.

杉本浩一. 講演：検査技師に知ってほしい肺高血圧症の血行動態. 肺高血圧症スクリーニングセミナー～検査所見に潜む Check Point～; 20221117; Web.

杉本浩一. 講演：当院における膠原病性肺高血圧症診療の現状. 福島県肺高血圧症診療連携 Web セミナー; 20221122; 福島/Web.

杉本浩一. 講演：肺高血圧症の診断と治療. PH Medical Treatment Lecture 2022; 20221209; Web.

総合内科

論　文

〔原　著〕

Matsuo Y, Aita T, Yamada Y, Miyata J, Yoshioka T. Importance of internal and external validity in clinical research: Comment on the Article by Fatima et al. Arthritis & Rheumatology. 202201; 74(1):175-176.

Nakagawa H, Asakura T, Hamaguchi S. Obturator hernia. CMAJ. 202201; 194(2):E50.

Sasaki R, Aita T, Nagano H, Maehara J, Okuda S, Mizota T, Yoshioka T. Bringing Hidden Biases Into Light: Comments on an Observational Study on the Use of Antifibrinolytics for Pediatric Patients With Life-Threatening Hemorrhage. Critical Care Medicine. 202204; 50(4):e407-e408.

Suzuki R, Takada T, Takeshima T, Hayashi M, Miyashita J, Azuma T, Usui M, Hamaguchi S, Fukuma S, Maehara K, Fukuhara S. Usefulness of a mobile phone application for respiratory rate measurement in adult patients. Japan Journal of Nursing Science. 202207; 19(3):e12481.

Takemura T, Kataoka Y, Ashi N, Shirakawa C, Okazaki K, Sakurai A, Imakita T, Ikegaki S, Matsumoto H, Saito E, Takata H, Kaku S, Wada N, Shinomiya M, Otoshi T, Shimada M, Nikaido J, Iki R, Hirano K, Hirai T, Endo K, Hirabayashi M, Naganuma T. Influence of social isolation and loneliness on the prognosis of advanced lung cancer patients: a prospective cohort study. Supportive Care in Cancer. 202207; 30(7):6045-6053.

Dhoubhadel BG, Suzuki M, Ishifuji T, Yaegashi M, Asoh N, Ishida M, Hamaguchi S, Aoshima M, Yasunami M, Ariyoshi K, Morimoto K; Adult Pneumonia Study Group-Japan (APSG-J). High prevalence of multiple serotypes of pneumococci in patients with pneumonia and their associated risk factors. Thorax. 202204; 77(11):1121-1130.

Matsumoto H, Ohashi H, Fujita Y, Yoshida S, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Shinden Y, Kusano K, Sonobe T, Nakamoto Y, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Migita K.

Total Hip Joint Replacement in a Patient with Colchicine-Resistant Familial Mediterranean Fever under Canakinumab Treatment. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202202; 256(2):169-174.

Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Yokose K, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Suzuki E, Yago T, Yaguchi T, Aita T, Kusano M, Yamamoto T, Watanabe H, Migita K. Anti-Mi-2 and Anti-TIF1-γ Double-Positive Juvenile Dermatomyositis Treated under Diagnosis of Chronic Eczema: A Case Report. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202204; 256(4):303-308.

Maeda H, Gopal Dhoubhadel B, Sando E, Suzuki M, Furumoto A, Asoh N, Yaegashi M, Aoshima M, Ishida M, Hamaguchi S, Otsuka Y, Morimoto K. Long-term impact of pneumococcal conjugate vaccines for children on adult pneumococcal pneumonia in Japan: Two multicenter observational studies from 2011 to 2020. Vaccine. 202209; 40(37):5504-5512.

濱口杉大. もう騙されない！外来に現れるミミック疾患（File04）　咽頭痛と頸椎前面の炎症. 日本医事新報. 202206; (5122):12-13.

〔症例報告〕

Nakagawa H, Kato C, Miyata Y. Necrosis secondary to cold agglutinin disease. Canadian Medical Association Journal. 202204; 194(14):E528.

Nakagawa H, Miyata Y. Abdominal pain caused by epiploic appendagitis. Canadian Medical Association Journal. 202207; 194(27):E942.

Nakagawa H, Miyata Y. Pain on Lying in the Supine Position Due to Fitz-Hugh-Curtis Syndrome. Internal Medicine. 202210; 61(20):3151.

Nakagawa H, Miyata Y. Bilateral Ruptured Baker's Cysts Mimicking Deep Vein Thrombosis. Internal Medicine. 202210; 61(20):3153-3154.

〔その他〕

栗田宜明，會田哲朗，小黒奈緒，河原崎宏雄，鈴木智，西脇宏樹，長沼透，高橋世，川口崇. 臨床現場を楽しく科学する！実例から学ぶコミュニケーションの臨床研究と実践（シーズン 2）. ACP(米国内科学会)日本支部年次総会プログラム集. 202206; 2022:41-43.

本田優希，會田哲朗，明保洋之，天野雅之，小野雅敬，工藤仁隆，合田建，小杉俊介，酒井達也，長谷部圭亮，原田愛子，平松由布季，平山果歩，松本朋樹. 若手医師部門病院総合医チーム キャリア支援、生涯学習支援、情報発信に力を入れた 2 年間の活動. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 202206; (13):AR-92.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Aita T, Sando E, Katoh S, Hamaguchi S, Fujita H, Kurita N. Non-negligible seroprevalence of murine typhus and its predictors in Japan: a large-scale seroepidemiological study. ACP Internal Medicine Meeting 2022; 20220428; Chicago, USA/Web.

内藤翔太郎，甲斐龍幸，木村秀夫，濱口杉大. メトトレキサートによる無顆粒球症をきたした高齢女性の 1 例. 第 33 回老年医学会東北地方会; 20221112; Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

會田哲朗. The Cutting Edge on Improving Diagnosis in Medicine; 第 24 回日本病院総合診療医学会学術総会. 20220226. (Web Service)

會田哲朗. Let's go a step beyond "letters to the editor"!; 日本臨床疫学会第 5 回年次学術大会. 20221105. (Web Service)

小児外科

論　　文

〔総説等〕

Tanaka H, Oshio T. A new concept for the origin of gastrochisis. Pediatric Surgery International. 202212; 38(12):2059-2063.

〔症例報告〕

石綿翔，田中秀明，細矢薫子，望月いづみ，石橋直尚，鈴木重雄. 巨大臍ヘルニアに対する圧迫療法の工夫. 小児科臨床. 202212; 75(6):1007-1012.

清水裕史，滝口和暁，角田圭一，町野翔，尾形誠弥，三森浩太郎，南洋輔，山下方俊，大塩猛人，田中秀明. 臍帯ヘルニアに対する創傷被覆剤（アクアセル Ag）を用いた保存療法と待機的根治術. 小児外科. 202212; 54(12):1180-1185.

長井健一郎，佐久間潤，山ノ井優，根本未緒，蛭田亮，佐藤祐介, Bakhit MS，後藤悠大，清水裕史，田中秀明，齋藤清. VP シャント後に再発を繰り返した腹腔内髄液仮性嚢胞の 1 小児例：症例提示と文献レビュー. 小児の脳神経. 202202; 47(1):59-66.

町野翔，近藤公男，大澤義弘．回腸若年性ポリープによる乳児腸重積症の 1 例．日本小児外科学会雑誌. 202206; 58(4):758-762.

〔その他〕

田中秀明．子どもと女性の健康相談室～臍ヘルニア～．福島民報. 20220919; 9.

書籍等出版物

田中秀明．第 14 章小腸・大腸　A：胎便性閉塞性疾患. In: 上野滋 監修, 仁尾正記, 奥山宏臣, 田尻達郎 編集. 標準小児外科学　第 8 版. 東京: 医学書院; 202203. p.175-176.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Minami Y, Takiguchi K, Shimizu H, Tanaka. H. Factors associated with cholestasis after surgery for congenital duodenal atresia. 35th International Symposium on Pediatric Surgical Research; 20221021-23; 大阪.

尾形誠弥，佐野信行，神山隆道．短頚・喉頭低位に対し輪状軟骨切開（開窓）術を行なった 1 例．第 33 回福島県小児外科研究会; 20220205; Web.

清水裕史，二見徹，滝口和暁，角田圭一，町野翔，尾形誠弥，三森浩太郎，南洋輔，田中秀明．重症染色体異常を有する先天食道閉鎖症．第 33 回福島県小児外科研究会; 20220205; Web.

町野翔，近藤公男，大澤義弘．当科における慢性便秘症治療の現状．第 33 回福島県小児外科研究会; 20220205; Web.

南洋輔，角田圭一，清水裕史，田中秀明．呑気により顕在化した胃軸捻転症に対する腹腔鏡下胃固定術が奏功した 1 小児例．第 32 回東北小児消化器病研究会; 20220319; Web.

尾形誠弥，佐野信行，神山隆道．短頚・喉頭低位に対し輪状軟骨切開（開窓）術を行なった 1 例．第 59 回日本小児外科学会学術集会; 20220519-21; 東京.

清水裕史，二見徹，滝口和暁，角田圭一，町野翔，尾形誠弥，三森浩太郎，南洋輔，山下方俊，田中秀明．意識改革による小児外科地位向上：地方大学病院の場合．第 59 回日本小児外科学会学術集会; 20220519-21; 東京.

角田圭一，南洋輔，清水裕史，田中秀明．胎児機能不全を伴った胎児小腸軸捻転の 3 例．第 59 回日本小児外科学会学術集会; 20220519-21; 東京.

町野翔，近藤公男，大澤義弘．当科における移動性精巣手術例の検討．第 59 回日本小児外科学会学術集会; 20220519-21; 東京.

南洋輔，角田圭一，清水裕史，田中秀明．先天性十二指腸閉鎖症術後に閉塞性黄疸の遷延を認めた 9 例の検討．第 59 回日本小児外科学会学術集会; 20220519-21；東京．

田中秀明．小児肝移植患者における PCR 法を用いた human herpes virus 6 のモニタリング．第 5 回福島こどもの感染症研究会; 20220611；福島．

清水裕史，二見徹，滝口和暁，角田圭一，町野翔，尾形誠弥，三森浩太郎，南洋輔，田中秀明．遠隔期に再手術を要した右結腸パッチ術後全結腸型 Hirschsprung 病の 2 例．第 34 回日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会; 20220702；札幌．

南洋輔，滝口和暁，清水裕史，田中秀明．全結腸型ヒルシュスプルング病に対する結腸パッチ術後に晩期合併症として吻合部潰瘍を来した 1 小児例．日本外科代謝栄養学会第 59 回学術集会; 20220707-09；つくば/Web．

町野翔，今村孝，近藤公男，中津秀幸，佐藤賢一，大澤義弘．生後 2 ヶ月で絞扼性イレウスを発症した極低出生体重児．第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20220710-12；横浜．

清水裕史，矢内俊裕，田中秀明．重複子宮・一側腟閉鎖を伴う総排泄腔遺残の一例．第 31 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20220720-22；東京．

清水裕史，南洋輔，大原喜裕，佐野秀樹，菊田敦，田中秀明．肝ラブドイド腫瘍の一例．第 17 回福島県小児血液・腫瘍研究会; 20220910；福島．

南洋輔，滝口和暁，清水裕史，田中秀明．当院における先天性十二指腸閉鎖症術後の胆汁鬱滞に関する検討．第 45 回関東小児外科症例検討会; 20220923; Web．

角田圭一，近藤公男，大澤義弘．開腹歴のない腸閉塞症の 3 例．第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924；郡山/Web．

滝口和暁，南洋輔，清水裕史，鈴木弘行，田中秀明．当科における小児先天性嚢胞性肺疾患に対する胸腔鏡補助下肺葉切除の経験．第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924；郡山/Web．

町野翔，佐野信行，神山隆道．鉛筆による臀部刺杭創の男児例．第 97 回日本小児外科学会東北地方会; 20220924；郡山/Web．

田中秀明，滝口和暁，南洋輔，清水裕史，西間木淳，佐藤直哉，丸橋繁．肝移植後の創離開に対し PICO®7 創傷治療システムが有効であった一小児例．第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15；名古屋．

滝口和暁，南洋輔，清水裕史，田中秀明，中村純，引地拓人．先天性十二指腸狭窄に対して内視鏡下狭窄部切開術が有効であった 1 例．第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム／第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20221027-28；岡山/Web．

南洋輔，滝口和暁，清水裕史，郷勇人，佐藤真紀，鈴木弘行，田中秀明．心房中隔欠損症を合併した先天性肺気道奇形に対する新生児期手術後に肺高血圧を呈した 1 例．第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム／第 32 回

日本小児呼吸器外科研究会; 20221027-28; 岡山/Web.

角田圭一，近藤公男，大澤義弘. 腹部膨満が遷延している極低出生体重児の 1 例. 第 10 回福島県新生児懇話会; 20221202; Web.

清水裕史，滝口和暁，南洋輔，田中秀明. 胆道閉鎖症術後に挙上空腸出血を来した一成人例. 第 49 回日本胆道閉鎖症研究会; 20221203; 東京.

滝口和暁，南洋輔，清水裕史，田中秀明. 恥骨上小切開創からアプローチする単孔式腹腔鏡下尿膜管摘除術. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋.

町野翔，佐野信行，神山隆道. 早産低出生体重児における鼠径ヘルニア修復術の手術時期の検討. 第 11 回福島県新生児懇話会; 20221212; Web.

〔シンポジウム〕

田中秀明. 福島県立医科大学への子ども療養支援士・チャイルド・ライフ・スペシャリスト導入へ向けての試み. 第 9 回日本子ども療養支援研究会; 20220611-12; Web.

〔特別講演〕

田中秀明. Recent advances in pediatric liver transplantation. 35th International Symposium on Pediatric Surgical Research; 20221021-23; 大阪.

田中秀明. よくある小児外科疾患への診療～そのエビデンスは？～. 第 57 回福島県小児科医会総会学術講演会; 20220703; 郡山.

小児腫瘍内科

論　　文

〔原　著〕

Yamamoto M, Sato M, Onishi Y, Sasahara Y, Sano H, Masuko M, Nakamae H, Matsuoka KI, Ara T, Washio K, Onizuka M, Watanabe K, Takahashi Y, Hirakawa T, Nishio M, Sakashita C, Kobayashi T, Sawada A, Ichinohe T, Fukuda T, Hashii Y, Atsuta Y, Arai A. Registry data analysis of hematopoietic stem cell transplantation on systemic chronic active Epstein-Barr virus infection patients in Japan. American Journal of Hematology. 202206; 97(6):780-790.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. T-cell replete haploidentical stem cell transplantation with low dose anti-thymocyte globulin for relapsed/refractory Ewing sarcoma family tumors. Cancer Reports. 202207; 5(7):e1519.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Honda Y, Muramatsu H, Nanjo Y, Hirabayashi S, Meguro T, Yoshida N, Kakuda H, Ozono S, Wakamatsu M, Moritake H, Yasui M, Sano H, Manabe A, Sakashita K. A retrospective analysis of azacitidine treatment for juvenile myelomonocytic leukemia. International Journal of Hematology. 202202; 115(2):263-268.

Kobayashi S, Sano H, Mochizuki K, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effects of second transplantation with T-cell-replete haploidentical graft using low-dose anti-thymocyte globulin on long-term overall survival in pediatric patients with relapse of leukemia after first allogeneic transplantation. International Journal of Hematology. 202203; 115(3):414-423.

Endo Y, Watanabe T, Saito M, Saito K, Suzuki R, Sano H, Natori Y, Sasaki E, Ueda M, Kamo N, Furukawa S, Soeda S, Kono K, Saji S, Fujimori K. A rare case of recurrent ovarian cancer with *TPM3-NTRK1* gene rearrangement: A case report. Molecular and Clinical Oncology. 202204; 16(4):90.

Minakawa K, Ono S, Watanabe M, Sato Y, Suzuki S, Odawara S, Kawabata K, Ueda K, Nollet KE, Sano H, Ikezoe T, Kikuta A, Ikeda K. Evaluation of a quantitative PCR-based method for chimerism analysis of Japanese donor/recipient pairs. Scientific Reports. 202212; 12(1):21328.

村上美紀，鈴木詩子，井上稜太，高橋智子，野地成子，渡部智恵子，松村勇輝，佐野秀樹，斎藤純平. 福島県立医科大学附属病院における特定臨床研究の現状　アンケート調査より. 薬理と治療. 202212; 50(Suppl.2):s166-s171.

歯科口腔外科

論　　文

〔原　著〕

Kaneko T, Kanno C, Yamazaki M, Kitabatake T, Yaginuma S, Kanaya Y, Watanabe Y, Kojima M, Hasegawa H, Kano M. Neoadjuvant intra-arterial chemotherapy to avoid reconstructive surgery for oral

cancer patients aged ≥80 years. Annals of Cancer Research and Therapy. 202207; 30(2):115-120.

Akimoto T, Hasegawa H, Kudo K, Ishida D, Kaneko T, Kanno C, Endo M, Yamazaki M, Kitabatake T, Yaginuma S, Honma H, Ishihata H. Alveolar bone augmentation with a newly designed microperforated pure titanium membrane: A clinical case series. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology. 202207; 34(4):389-394.

Kitabatake T, Kanno C, Kaneko T, Endo M, Yamazaki M, Yaginuma S, Akimoto T, Hasegawa H. A case of melanoma of the mandibular gingiva with long-term survival: Effect of nivolumab therapy and immuno-radiotherapy for cervical recurrence and nasal metastasis. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology. 202209; 34(5):637-642.

Furukawa E, Kanno C, Yanagawa Y, Katagiri S, Nagano M. Relationship between the timing of insemination based on estrus detected by the automatic activity monitoring system and conception rates using sex-sorted semen in Holstein dairy cattle. Journal of Reproduction and Development. 202208; 68(4):295-298.

〔症例報告〕

藤石ひかり，手塚悠，本田良輔，小島百代，金谷佳明，柳沼貞之進，北畠健裕，山﨑森里生，佐久間知子，菅野千敬，金子哲治．急速な経過を辿り、腐骨形成、分離を認めた壊死性潰瘍性歯肉炎の１例．みちのく歯学会雑誌. 202212; 53(1-2):18-19.

渡部雄貴，手塚悠，本田良輔，小島百代，金谷佳明，柳沼貞之進，北畠健裕，山﨑森里生，菅野千敬，佐久間知子，金子哲治，遠藤学．難治性口腔扁平苔癬に対してタクロリムス軟膏が著効した１例．みちのく歯学会雑誌. 202212; 53(1-2):20-22.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

金子哲治，北畠健裕，菅野千敬，遠藤学，長谷川博．局所進行口腔癌に対して導入動注化学療法を行った症例の再発転移についての検討．第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20220214-0313; Web.

菅野千敬，金子哲治，長谷川博，北畠健裕，遠藤学．椎間孔より脊柱管内に進展し下肢麻痺を呈した舌癌多発転移の１例．第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会; 20220214-0313; Web.

金子哲治，菅野千敬，山﨑森里生，長谷川博．側頭下窩に浸潤した下顎歯肉癌に対して術前動注化学療法が奏功し安全域の確保に有効であった１例．第 46 回日本頭頸部癌学会; 20220617-18; 奈良/Web.

菅野千敬，金子哲治，北畠健裕，遠藤学，長谷川博．椎間孔より脊柱管に進展し対麻痺を呈した舌癌多発転移の１例．第 46 回日本頭頸部癌学会; 20220617-18; 奈良/Web.

伏見千宙，多田雄一郎，増淵達夫，羽生健治，田中慈久，櫛橋幸民，山内麻由，杉山聡美，山﨑森里生，三

浦弘規. 舌癌におけるコンパートメント手術の有用性. 第46回日本頭頸部癌学会; 20220617-18; 奈良/Web.

金谷佳明, **本田良輔**, **小島百代**, **柳沼貞之進**, **北畠健裕**, **山﨑森里生**, **菅野千敬**, **金子哲治**, **長谷川博**. 脳膿瘍、頭蓋底骨欠損をきたした長期生存薬剤関連顎骨壊死の1例. 第60回日本口腔科学会北日本地方部会／第48回日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20220709-10; 札幌.

小島百代, **菅野千敬**, **本田良輔**, **金谷佳明**, **柳沼貞之進**, **北畠健裕**, **山﨑森里生**, **金子哲治**, **佐久間知子**, **長谷川博**. 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死における発症リスク因子の検討. 第60回日本口腔科学会北日本地方部会／第48回日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20220709-10; 札幌.

本田良輔, **北畠健裕**, **小島百代**, **金谷佳明**, **柳沼貞之進**, **山﨑森里生**, **菅野千敬**, **金子哲治**. 下顎歯肉に発生した神経鞘腫の1例. 第60回日本口腔科学会北日本地方部会／第48回日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20220709-10; 札幌.

金谷佳明, **本田良輔**, **小島百代**, **柳沼貞之進**, **北畠健裕**, **山﨑森里生**, **菅野千敬**, **金子哲治**. 脳膿瘍、頭蓋底骨欠損をきたした長期生存薬剤関連顎骨壊死の一例. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会; 20221104-06; 千葉/Web.

菅野千敬, **金子哲治**, **山﨑森里生**, **北畠健裕**, **長谷川博**. Ｔ３舌癌に対する術前動注化学療法の有用性の検討. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会; 20221104-06; 千葉/Web.

小島百代, **菅野千敬**, **手塚悠**, **本田良輔**, **柳沼貞之進**, **北畠健裕**, **山﨑森里生**, **佐久間知子**, **金子哲治**. 骨修飾薬開始前の抜歯が薬剤性顎骨壊死の発症に与える影響の検討. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会; 20221104-06; 千葉/Web.

山﨑森里生, **菅野千敬**, **伏見千宙**, **北畠健裕**, **柳沼貞之進**, **櫛橋幸民**, **杉山聡美**, **青木礼央**, **金子哲治**. 上顎歯肉扁平上皮癌に対する根治的シスプラチン動注併用化学放射線療法の検討. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会; 20221104-06; 千葉/Web.

検査部

論　　文

〔原　著〕

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decreases in hepatokine Fetuin-A levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict cardiac outcomes in patients with heart failure. Clinical Research in Cardiology. 202210; 111(10):1104-1112.

Ohara H, Yoshihisa A, Horikoshi Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal Venous Stasis Index Reflects Renal Congestion and Predicts Adverse Outcomes in Patients With Heart Failure. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 202203; 9:772466.

Takeishi R, Misaka T, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Yoshihisa A, Takeishi Y. Increases in Hepatokine Selenoprotein P Levels Are Associated With Hepatic Hypoperfusion and Predict Adverse Prognosis in Patients With Heart Failure. Journal of the American Heart Association. 202206; 11(11):e024901.

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 202211; 65(2):357-364.

Tanno D, Saito K, Ohashi K, Toyokawa M, Yamadera Y, Shimura H. Matrix-Assisted Laser Desorption Ionization-Time-of-Flight Mass Spectrometry with Time-of-Flight Peak Analysis for Rapid and Accurate Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women. Microbiology Spectrum. 202206; 10(3):e0173221.

松田美津子. 【臨床症例画像報告集（画論 29th The Best Image より）】小腸静脈瘤. 日本放射線技術学会雑誌. 202204; 78(4 付録):42.

山寺幸雄. 【臨床検査技師によるタスク・シフト／シェア】「臨床検査技師等に関する法律」の一部改正の内容と厚生労働大臣指定講習会. 臨床検査. 202207; 66(7):796-803.

〔総説等〕

大沼秀知. 心臓超音波検査　伝わるレポートの作成と伝達方法. 検査と技術. 202206; 50(6):612-619.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

今井美菜子，高野由喜子，原田莉衣，庄司龍弥，坂本有子，本田睦子，大橋一孝，斎藤恭一. 質量分析装置を用いた非結核性抗酸菌同定検査導入に向けた検討. 第 33 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 20220129; 仙台. 日本臨床微生物学会雑誌. 32(Suppl.1):282.

相原理恵子，黒﨑幸子，保田智香，土田正孝，小板橋好江，髙久田美江，山寺幸雄. Electroneurography による末梢性顔面神経麻痺患者の予後予測～口輪筋・鼻筋・眼輪筋を用いた検討～. 第 71 回日本医学検査学会; 20220521-22; 大阪/Web.

鈴木崇斗，松田美津子，佐藤ゆかり，堀越由紀子，山寺幸雄，志村浩己. CAVI が肥満患者において過小評価

となる要因の検討. 第 71 回日本医学検査学会; 20220521-22; 大阪/Web.

石橋伸治，幕田倫子，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 肝臓における超音波減衰量に関する検討. 第 54 回日本臨床検査医学会東北支部総会; 20220806; 仙台/Web.

石橋伸治，岡崎綾奈，結城莉沙，大橋ゆかり，幕田倫子，大沼秀知，松田美津子，山寺幸雄，阿部和道，志村浩己. 肝臓における shear wave elastography および shear wave dispersion の臨床検査データとの関連性の解析. 日本超音波医学会第 64 回東北地方会学術集会; 20220911; Web.

大橋ゆかり，幕田倫子，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 超音波検査にて胃病変との鑑別に苦慮した肝腫瘤の一例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

小松真司，金内あかね，高田佳奈，丹治麻衣子，相原理恵子，小室和子，黒﨑幸子，山寺幸雄. 僧帽弁輪の石灰化部位に感染性心内膜炎を合併し弁輪部穿孔を来した 1 症例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

早川莉沙，幕田倫子，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 胆嚢癌の浸潤評価に超音波検査が有用であった一例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

引地美由紀，堀越由紀子，佐藤ゆかり，松田美津子，山寺幸雄，山田慎哉，志村浩己. ベプリジル抗不整脈薬により Torsades de Pointes が誘発された 1 例. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

松尾卓，髙久田美江，本多敦美，須藤詩乃，西浦健太，土田正孝，黒﨑幸子，山寺幸雄. 不整脈の検出率と出現時期から見た長時間ホルター心電図検査の有用性. 第 53 回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

兼田享子，黒﨑幸子，菊地歩，渡邊千晶，櫻井尚子，山寺幸雄. 当院における CPAP 遠隔モニタリングを活用した患者指導の有効性. 第 3 回日本睡眠検査学会学術集会; 20221112; Web.

遠藤武尊，渡辺洋子，菅野喜久子，只野光彦，嶋田有里，佐々木義和，山寺幸雄，志村浩己. 血液検査の効率化に向けた取り組みとその効果. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

大沼秀知，金子亜矢，佐藤ゆかり，藤田叔恵，高橋智世，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己. 感染性心内膜炎精査の際に発見された成人先天性心疾患の一例. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

幕田倫子，松田美津子，結城莉沙，岡崎綾奈，大橋ゆかり，石橋伸治，山寺幸雄，志村浩己. 急性白血病治療中に超音波検査で観察し得た真菌性肝膿瘍の 1 例. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

渡部さゆり，黒﨑幸子，石橋美里，田尻三千代，慶徳克美，西浦健太，渡邊千晶，山寺幸雄. Shear Wave Elastography にて肝線維化を否定し得た乳児の 1 例. 第 10 回日臨技北日本支部医学検査学会; 20221112-13; 函館.

石橋伸治，松田美津子，幕田倫子，林学，山寺幸雄，志村浩己. 嚢胞性腫瘤から充実性腫瘤へと変化した肝血管肉腫の 1 例. 日本超音波検査学会第 34 回東北地方会学術集会; 20221211; 仙台/Web.

〔招待講演〕

大沼秀知. ソノグラファーが知っておくべきSHD診療　MitraClip前後の評価ポイント. 第47回日本超音波検査学会学術集会; 20220527-29; 東京.

松田美津子, **山寺幸雄**. 一歩先行く超音波減衰法. 第47回日本超音波検査学会学術集会; 20220527-29; 東京.

大沼秀知. 生理機能検査室の標準化について～そろそろ始めてみませんか　生理検査の標準化～. 第53回福島医学検査学会; 20221029-30; 福島.

松田美津子, **山寺幸雄**. 肝臓領域における超音波トータルマネージメントー私のびまん性肝疾患USイズムー. 日本超音波検査学会第34回東北地方会学術集会; 20221211; 仙台/Web.

放射線部

論　　文

〔原　著〕

Tachibana H, Watanabe Y, Kurokawa S, Maeyama T, Hiroki T, Ikoma H, Hirashima H, Kojima H, Shiinoki T, Tanimoto Y, Shimizu H, Shishido H, Oka Y, Hirose TA, Kinjo M, Morozumi T, Kurooka M, Suzuki H, Saito T, Fujita K, Shirata R, Inada R, Yada R, Yamashita M, Kondo K, Hanada T, Takenaka T, Usui K, Okamoto H, Asakura H, Notake R, Kojima T, Kumazaki Y, Hatanaka S, Kikumura R, Nakajima M, Nakada R, Suzuki R, Mizuno H, Kawamura S, Nakamura M, Akimoto T. Multi-Institutional Study of End-to-End Dose Delivery Quality Assurance Testing for Image-Guided Brachytherapy Using a Gel Dosimeter. Brachytherapy. 202211; 21(6):956-967.

Yamakuni R, Ishikawa H, Hasegawa O, Sekino H, Ishii S, Otani K, Ito H. Cauda equina movement during the Valsalva maneuver in two patients with Lumbar spinal canal stenosis. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(2):135-141.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

岡善隆. 改めて、VMATプラン検証の“至適”許容値について再考してみた. 第45回福島県放射線治療技術研究会; 20220312; Web.

長澤陽介. 3D-IGBTの計画時間短縮への挑戦～アプリケータ再構成の自動化～. 第45回福島県放射線治療技術研

究会; 20220312; Web.

宮岡裕一. 治療用ビームの散乱線における被ばく線量測定. 第 45 回福島県放射線治療技術研究会; 20220312; Web.

岡善隆. 放射線治療あすなろ会 治療計画セミナー　電子線の基礎的な話. 放射線治療あすなろ会第 1 回放射線治療計画セミナー; 20220806; Web.

岡善隆. ガラス線量計を用いた外部出力線量評価@福島県の取り組み事例. 都道府県・地区相談者連絡講習会; 20220808; Web.

石川寛延, **五月女康作**, **髙橋悠馬**, **清野真也**, **樵勝幸**, **丹治一**. 拡散時間, 細胞間隙の推定を目的とした制限拡散ファントムの開発. 第 50 回日本磁気共鳴医学会大会; 20220909; 名古屋/Web.

矢部重徳. ルテチウムオキソドレオチド治療患者における撮像条件の基礎検討. 日本核医学技術学会第 27 回東北地方会; 20220917; 山形.

長澤陽介. 前立腺癌に対する寡分割照射において前立腺の位置変位が投与線量に与える影響. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221120; 新潟.

岡善隆. MLC 開口部ベースの複雑性評価法を用いた VMAT 事前検証法の有用性の検討. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221119-20; 新潟.

宮岡裕一, **岡善隆**, **長澤陽介**. 板ファントムを用いた CBCT の条件最適化の検討. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会; 20221120-21; 新潟.

〔招待講演〕

竹原由佳, **岡善隆**. 比べてみよう放射線治療計画！～コツとポイント～. Radiation Oncology skill up seminar with TPS in 南東北; 20220201; Web.

〔その他〕

宮岡裕一. 当院における線量分布検証について. IMRT を始めよう基礎講習; 20220618-19; 福島.

宮岡裕一. kV, MV 照合の IGRT による被ばく線量評価方法について. 日本放射線技術学会放射線治療部会第 58 回放射線治療セミナー; 20220827; Web.

宮岡裕一. 当院における線量分布検証について. IMRT を始めよう基礎講習; 20221126-27; 福島.

宮岡裕一. 研究デザインの構築. 第 15 回研究デザイン研究会; 20221201; Web.

岡善隆. 放射線生物. 日本放射線治療専門放射線技師認定機構主催 2022 年度統一講習会; 20221201-25; Web.

岡善隆．地震後、放射線治療法別の対応．日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定 2022 年度東北 2 地区講習会; 20221210; 福島.

長澤陽介．前立腺癌の放射線治療（3D-CRT・IMRT）．放射線治療あすなろ会第 2 回放射線治療計画セミナー; 20221217; Web.

手術部

論　　文

〔原　著〕

Matsumoto Y, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. The effects of chest drainage on pressure-controlled ventilation. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):78.

薬師寺たつみ，小原伸樹．【実践にすぐ生かせる！「いつ？」「なぜ？」「なに？」がわかる！麻酔薬の投与順と使い分け NAVI】（2 章）全身麻酔に使用する薬剤の使い分けを完全マスター！使い分けをマルッと理解！鎮痛薬. オペナーシング. 202211; 37(11):1055-1061.

小原伸樹．全静脈麻酔（TIVA）、鎮静（MAC）．麻酔科学レビュー. 202206; 2022:159-163.

〔総説等〕

Obara S. Simulation of residual sedation effect of remimazolam: pharmacokinetic-pharmacodynamic simulation can be an additional standard anesthesia monitoring method. Journal of Anesthesia. 202204; 36(2):167-170.

〔症例報告〕

Honda J, Kuwana K, Kase S, Obara S, Inoue S. Respiration and circulation affected by gas leakage into the abdominal cavity during endoscopic esophageal submucosal dissection after gastrostomy: a case report. JA Clinical Reports. 202201; 8(1):3.

Shiraishi T, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. A case requiring re-thoracotomy due to a significant reduction of tidal volume after commencement of chest tube drainage under pressure control ventilation following lower lobectomy. JA Clinical Reports. 202205; 8(1):36.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Kurosawa S, Inoue S. Anterior knee pain post-multiple surgeries for tibia fracture effectively managed with infrapatellar fat pad injection: a case report. JA Clinical Reports. 202210;

8(1):82.

本田潤，井石雄三，大石理江子，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己. 外傷による急性A型大動脈解離術後に人工心肺離脱困難に陥りLVADを装着し救命した1例. 日本臨床麻酔学会誌. 202201; 42(1):21-25.

遠藤千麻，大石理江子，中野裕子，黒澤伸，小原伸樹，村川雅洋. 特発性前骨間神経麻痺の一例. ペインクリニック. 202201; 43(1):59-62.

小原伸樹，大石理江子，中野裕子，井上聡己. 上腕の帯状疱疹の治療中に後頭神経痛を発症した一例. ペインクリニック. 202207; 43(7):776-778.

〔その他〕

鈴木朋子，小原伸樹. 画像読み取りアプリケーションWebPlotDigitizerと汎用プログラム言語Pythonを用いた薬物動態解析およびシミュレーションの紹介. 麻酔. 202209; 71(9):1037-1047.

書籍等出版物

小原伸樹. Q5. レミマゾラムの薬物動態について教えてください. In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラムQ&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.17-20.

小原伸樹. Q6. 薬物動態に影響を与える因子に、どのようなものがありますか？ In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラムQ&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.21-23.

小原伸樹. Q14. シリンジポンプを用いた導入法でよい方法は？ A. 全静脈麻酔の場合：麻酔科医がよく使うシリンジポンプを用いる方法. In: 稲垣喜三, 山蔭道明, 中島芳樹 編集. レミマゾラムQ&A：明日からの臨床麻酔が広がる. 東京: 克誠堂出版; 202205. p.61-63.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小原伸樹，大石理江子，中野裕子，佐藤薫，黒澤伸，井上聡己. ギランバレー症候群後遺症によるしびれ感に対しミロガバリンが有効だった一例. 日本ペインクリニック学会第2回東北支部学術集会; 20220205; Web(秋田). プログラム・抄録集. 17.

大石理江子，中野裕子，小原伸樹，佐藤薫，黒澤伸，井上聡己. 18年間継続していたケタミン静脈注射による治療を中止できた一例. 日本ペインクリニック学会第2回東北支部学術集会; 20220205; Web(秋田). プログラム・抄録集. 18.

白石太一，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，小原伸樹，五十洲剛，井上聡己. 胸腔ドレーン吸引により換気量が激減しリークを疑い再開胸した一例. 第49回日本集中治療医学会学術集会; 20220320; Web(仙台).

小原伸樹，大石理江子，三部徳恵，黒澤伸，井上聡己．脛骨骨折修復術後の膝痛に対し膝蓋骨下脂肪体への注射が有効であった一例．日本区域麻酔学会第 9 回学術集会; 20220415-16; 宜野湾/Web．プログラム・抄録集. 146.

大石理江子，吉田圭佑，小原伸樹，黒澤伸，井上聡己. cadaver を用いた 2 つの方法での星状神経節ブロックの薬液の広がりの比較．日本区域麻酔学会第 9 回学術集会; 20220415-16; 宜野湾/Web．プログラム・抄録集. 183.

松岡智恵，荒木英治，小原伸樹，黒澤伸．麻酔導入期における反応消失時のプロポフォール効果部位濃度と麻酔維持期の麻酔薬の必要量との関係．日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

本田潤，吉田圭佑，田中詩織，長谷川貴之，小原伸樹，井上聡己．僧帽弁置換術後にくも膜下出血をきたし抗凝固薬を拮抗したことで術後機械弁の一部が機能不全を起こした症例．日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):239.

長谷川貴之，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己．左内頚静脈から穿刺した透析用カテーテルが後胸腺静脈に迷入した一例．日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):267.

小原伸樹，渡部友来，花山千恵，細野敦之，井上聡己．麻酔科医を対象とした静脈麻酔試験の試み．第 29 回日本静脈麻酔学会; 20221126; 豊中．プログラム・抄録集. 30.

渡部友来，小原伸樹，井上聡己．レミマゾラムとプロポフォールを併用した全静脈麻酔法の 4 例．第 29 回日本静脈麻酔学会; 20221126; 豊中．プログラム・抄録集. 35.

〔その他〕

小原伸樹．共催セミナー　TIVA 実践に役立つ基礎知識．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

小原伸樹．麻酔科領域講習（リフレッシャー）・ベーシック　薬物体内動態の基礎．日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220617; 神戸/Web.

集中治療部

論　　文

〔原　著〕

Hatakeyama J, Inoue S, Liu K, Yamakawa K, Nishida T, Ohshimo S, Hashimoto S, Kanda N, Maruyama

S, Ogata Y, Kawakami D, Shimizu H, Hayakawa K, Tanaka A, Oshima T, Fuchigami T, Yawata H, Oe K, Kawauchi A, Yamagata H, Harada M, Sato Y, Nakamura T, Sugiki K, Hakozaki T, Beppu S, Anraku M, Kato N, Iwashita T, Kamijo H, Kitagawa Y, Nagashima M, Nishimaki H, Tokuda K, Nishida O, Nakamura K. Prevalence and Risk Factor Analysis of Post-Intensive Care Syndrome in Patients with COVID-19 Requiring Mechanical Ventilation: A Multicenter Prospective Observational Study. Journal of Clinical Medicine. 202209; 11(19):5758.

Matsumoto Y, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. The effects of chest drainage on pressure-controlled ventilation. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):78.

Yoshida K, Kuwana K, Honda J, Inoue S. Administration of sodium bicarbonate in pediatric liver transplantation can also confirm intravenous position of catheters. Pediatric Anesthesia. 202212; 32(12):1374-1375.

〔総説等〕

吉田圭佑，田中詩織，加瀬彩織，晴山到，井石雄三，井上聡己．集中治療領域における POCUS（Point-of-care Ultrasound）の基本．大原記念財団年報. 202208; 58:16-22.

〔症例報告〕

Honda J, Kuwana K, Kase S, Obara S, Inoue S. Respiration and circulation affected by gas leakage into the abdominal cavity during endoscopic esophageal submucosal dissection after gastrostomy: a case report. JA Clinical Reports. 202201; 8(1):3.

Shiraishi T, Obara S, Hakozaki T, Isosu T, Inoue S. A case requiring re-thoracotomy due to a significant reduction of tidal volume after commencement of chest tube drainage under pressure control ventilation following lower lobectomy. JA Clinical Reports. 202205; 8(1):36.

Honda J, Yamazaki Y, Yakushiji T, Hirata H, Inoue S. Failed spinal anesthesia due to accidental dural puncture: a case report. JA Clinical Reports. 202210; 8(1):89.

本田潤，井石雄三，大石理江子，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己．外傷による急性 A 型大動脈解離術後に人工心肺離脱困難に陥り LVAD を装着し救命した 1 例．日本臨床麻酔学会誌. 202201; 42(1):21-25.

本田潤，佐藤優紀，小林慶，佐瀬ひろの，青木健一，武藤ひろみ．術中の偶発的ロクロニウム血管外漏出により術後呼吸抑制を来した症例．麻酔. 202207; 71(7):784-785.

本田潤，細野敦之，井上聡己．褐色細胞腫摘出後早期に繰り返す高度血糖値を認めた症例．臨床麻酔. 202208; 46(8):1087-1089.

〔その他〕

本田潤，オズミンスキー真理，松岡智恵，白石太一，松本木綿子，長谷川貴之，吉田圭佑，井上聡己．誌上

抄読会　地球温暖化と麻酔について. 臨床麻酔. 202201; 46(1):61-64.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

箱崎貴大，小針健大，藁谷満，佐藤めぐみ，田代雅実，小早川義貴，島田二郎. 福島県における COVID-19 病院クラスター対応. 第 27 回日本災害医学会総会・学術集会; 20220304; 広島/Web. プログラム・抄録集.

長谷川貴之，井上聡己，吉田圭佑，箱崎貴大. 開胸管理中の小児の肺障害における腹臥位療法の実施経験. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220319; Web(仙台).

白石太一，吉田圭佑，本田潤，箱崎貴大，小原伸樹，五十洲剛，井上聡己. 胸腔ドレーン吸引により換気量が激減しリークを疑い再開胸した一例. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会; 20220320; Web(仙台).

江花英朗，田中詩織，吉田圭佑，本田潤，黒澤伸，井上聡己. 低用量デキサメタゾン投与が免疫細胞機能に与える影響の解析. 日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616;

細野敦之，オズミンスキー真理，薬師寺たつみ，瀬田川裕紀子，五十洲剛，井上聡己. ラットにおける CB1 受容体の mRNA 転写産物量に対する長期プロポフォール投与の影響. 日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

松本木綿子，白石太一，長谷川貴之，井石雄三，箱崎貴大，井上聡己. 陽圧人工呼吸における胸腔内吸引の影響の検討. 日本麻酔科学会第 69 回学術集会; 20220616; 神戸/Web.

薬師寺たつみ，吉田圭佑，長谷川貴之，箱崎貴大，五十洲剛，井上聡己. 気管の血流障害から気管粘膜にびらんを生じ、脱落した痂疲により気管支の閉塞をきたした症例. 日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会; 20220702; Web(仙台). プログラム・抄録集. 29.

長谷川貴之，薬師寺たつみ，吉田圭佑，本田潤，箱崎貴大，五十洲剛，井上聡己. 片肺患者の ARDS に対して、ステロイド投与が著効した一例. 日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会; 20220702; Web(仙台). プログラム・抄録集. 31.

遠藤秀時，オズミンスキー真理，大石理江子，五十洲剛. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症が原因で麻酔導入後に開口制限を来した 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小川琢也，松本木綿子，井石雄三，三部徳恵. 誤嚥により義歯が声門上に嵌頓し、回収に難渋した 1 例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

小野直人，桑名圭祐，本田潤，箱崎貴大. 心拍動下冠動脈バイパス手術中にブロアーからの空気が原因の冠動脈塞栓が疑われた症例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

白石太一，板倉佑弥，井石雄三，井上聡己. 心アミロイドーシス患者の経皮的大動脈弁置換術中に発症した心停

止に対し人工心肺使用し救命できた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

髙月沙織，松岡智恵，中野裕子，五十洲剛. 腹臥位の麻酔管理中に意図せず抜管し再挿管した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

山崎由貴，田中詩織，小川美穂，箱﨑貴大，長谷川貴之，井上聡己. 麻酔科医も小児内視鏡治療で使用するデバイスや送気量に気をつけるべきである. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 12 回学術集会; 20220902-1003; Web(札幌).

鈴木健悟，吉田圭佑，田中詩織，長谷川貴之，箱﨑貴大，井上聡己. 状況に応じた体外循環戦略により救命できた肺胞出血と下壁梗塞を合併した急性 A 型大動脈解離の一例. 日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):171.

本田潤，吉田圭佑，田中詩織，長谷川貴之，小原伸樹，井上聡己. 僧帽弁置換術後にくも膜下出血をきたし抗凝固薬を拮抗したことで術後機械弁の一部が機能不全を起こした症例. 日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):239.

長谷川貴之，吉田圭佑，本田潤，箱﨑貴大，小原伸樹，井上聡己. 左内頚静脈から穿刺した透析用カテーテルが後胸腺静脈に迷入した一例. 日本心臓血管麻酔学会第 27 回学術大会; 20220917-18; 京都/Web. Cardiovascular Anesthesia. 26(Suppl.):267.

本田潤，五十洲剛，村川雅洋，井上聡己. 術中の大量出血に対して 2 つの病院の複数診療科が連携して救命できた症例. 日本蘇生学会第 41 回大会; 20221104-05; 熊本. 日本蘇生学会雑誌. 41(3):194.

総合周産期母子医療センター

論　　文

〔原　著〕

Imamura T, Kanai Y, Yamaguchi S, Namai Y. New Roles for Albumin/Globulin Ratio in the Early-Onset Hyperbilirubinemia among Infants Born Weighing 1,000 to 2,499 Grams. American Journal of Perinatology. 20220525; doi: 10.1055/s-0042-1749387.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Toba N, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Kanno T, Migita K, Fujimori K. Maternal disease activity and serological activity as predictors of adverse pregnancy outcomes in women with systemic lupus erythematosus: a retrospective chart review. Archives of Gynecology and Obstetrics. 202205; 305(5):1177-1183.

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth. 202207; 22(1):542.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Go H, Hashimoto K, Kyozuka H, Maeda H, Nishigori H, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal hemoglobin levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal medicine. 202212; 35(26):10472-10480.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Kanno A, Yamaguchi A, Jimbo M, Nishigori H, Fujimori K. Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202205; 42(4):563-568.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Kyozuka H, Jin T, Fujimori M, Matsuno M, Nomura S, Suzuki D, Fukuda T, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Association of placenta previa with placental size in Japanese women: A study from a single tertiary referral center. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202202; 48(2):379-384.

Kyozuka H, Jin T, Fujimori M, Nomura S, Suzuki D, Fukuda T, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Nomura Y, Fujimori K. Effect of gestational weight gain on preeclampsia among underweight women: A single tertiary referral center study in Japanese women. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202205; 48(5):1141-1148.

Kume Y, Hashimoto K, Iida K, Maeda H, Miyazaki K, Ono T, Chishiki M, Suzuki Y, Go H, Suyama K, Hosoya M. Diagnostic Reference Value of Antibody Levels Measured Using Enzyme Immunoassay for Subacute Sclerosing Panencephalitis. Microbiology and Immunology. 202206; 66(9):418-425.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Go H, Ono J, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Kume Y, Maeda H, Chishiki M, Haneda K, Ichikawa H, Kashiwabara N, Kanai Y, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Nunomura S, Izuhara K, Hosoya M. Can serum periostin predict bronchopulmonary dysplasia in premature infants? Pediatric Research. 202210; 92(4):1108-1114.

Takahashi Y, Kanai Y, Chishiki M, Goto A, Imamura T. Neonatal reticulocytes among preterm infants of small for gestational age. Pediatrics and Neonatology. 202209; 63(5):462-467.

Kume Y, Go H, Maeda R, Suyama K, Mori T, Kawasaki Y, Hashimoto K, Hosoya M. Gene expression profile and injury sites in mice treated with Shiga toxin 2 and lipopolysaccharide as a Shiga toxin-associated hemolytic uremic syndrome model. Physiological Genomics. 202205; 54(5):153-165.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's

Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

Maeda H, Yao H, Go H, Huntington KE, De Paepe ME, Dennery PA. Involvement of miRNA-34a regulated Krüppel-like factor 4 expression in hyperoxia-induced senescence in lung epithelial cells. Respiratory Research. 202212; 23(1):340.

高橋俊文，三浦秀樹，大越千弘，山口明子，神保正利，菅沼亮太．【多嚢胞性卵巣症候群の最新知見ー生涯にわたる健康管理を見据えてー】多嚢胞性卵巣症候群と若年者の月経異常．産婦人科の実際. 202209; 71(9):961-965.

蛭田俊，有賀裕道，市川弘隆，山元みいる，木下英俊，福田豊，藤木伴男，長澤克俊. B 群連鎖球菌による新生児尿路感染症の 1 例．日本新生児成育医学会雑誌. 202202; 34(1):101-105.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

片寄菜生，市川弘隆，蛭田俊，知識美奈，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 先天性食道閉鎖症に広範囲の気管軟化症を合併した男児例．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(2):252.

知識美奈，錫谷達夫，市川弘隆，蛭田俊，岡部永生，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮，大戸斉．新規乾式母乳低温殺菌装置の殺菌効果の検討．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(2):300.

蛭田俊，小笠原啓，市川弘隆，知識美奈，金井祐二，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮．極低出生体重児における亜鉛製剤投与による血清亜鉛値の推移に関する検討．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(5):842.

小笠原啓．極低出生体重児における出生後後期の症候性動脈管開存症に影響する因子に関する検討．第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20220710-12; 横浜.

蛭田俊．極低出生体重児における出生時血清亜鉛値に関する検討．第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20220710-12; 横浜.

赤間太郎，金井祐二，佐久間一理，蛭田俊，市川弘隆，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，細矢光亮. 呼吸障害および哺乳障害を伴う先天性後鼻孔閉鎖症に対して 2 度の開窓術を行った CHARGE 症候群の 1 例．第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

湯田優衣，蛭田俊，佐久間一理，市川弘隆，金井祐二，小笠原啓，郷勇人，佐藤真紀，桃井伸緒，田中秀明，細矢光亮．食道穿孔と鑑別を要した梨状窩穿孔の超低出生体重児例．第 73 回北日本小児科学会; 20220909-10; Web.

市川弘隆. NICU 入院管理中に RSV 肺炎に罹患した早産極低出生体重の女児例. 第 66 回日本新生児成育医学会・学術集会; 20221124-26; 横浜.

〔その他〕

山口明子. 妊娠と医薬品についての考え方.日本女性薬剤師会　2022 年度薬剤師継続学習通信教育講座; 20220220; 東京/Web.

病理部

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

遠藤美涼，**一條あゆみ**，**菅野寿也**，**村越政仁**，**山口千里**，**川名聡**，**喜古雄一郎**，**橋本優子**. HE 染色+EM 染色の代替としてビクトリア青 HE 染色の検討ー甲状腺濾胞性腫瘍における静脈侵襲の判定ー. 第 53 回福島医学検査学会; 20221030; 福島. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 60:51.

内視鏡診療部

論　　文

〔原　著〕

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Ishizaki Y, Akatsuka H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Marubashi S, Hikihi T, Ohira H. Efficacy of a novel large-cell Niti-S stent with a slim delivery system for hilar biliary obstraction: a preliminary study. Annals of Medical Research. 202212; 54(1):953-961.

Suzuki R, Okubo Y, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. The Complement C3a-C3a Receptor Axis Regulates Epithelial-to-Mesenchymal Transition by Activating the ERK Pathway in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. Anticancer Research. 202203; 42(3):1207-1215.

Sugimoto M, Suzuki R, Nozawa Y, Takagi T, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Suzuki O, Hashimoto Y, Hikichi T, Ohira H. Clinical usefulness and acceleratory effect of macrophage inhibitory cytokine-1 on biliary tract cancer: an experimental biomarker analysis. Cancer Cell International. 202208; 22(1):250.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Oka Y, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Association between Submucosal Fibrosis and Endoscopic Submucosal Dissection of Recurrent Esophageal Squamous Cell Cancers after Chemoradiotherapy. Cancers. 202209; 14(19):4685.

Hikichi T, Nakamura J, Hamada K, Nemoto D. A Novel Endoscopic Mouthpiece for COVID-19 Prevention. Clinical Endoscopy. 202201; 55(1):160-162.

Murakami M, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic Submucosal Dissection in Patients with Early Gastric Cancer in the Remnant Stomach. Diagnostics. 202210; 12(10):2480.

Odagiri H, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Kikuchi D, Tsuji S, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Fujishiro M, Masamune A, Hoteya S. Bleeding following Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer in Surgically Altered Stomach. Digestion. 2022; 103(6):428-437.

Matsuhashi T, Fukuda S, Mikami T, Tatsuta T, Hikichi T, Nakamura J, Abe Y, Onozato Y, Hatta W, Masamune A, Ohyauchi M, Ito H, Hanabata N, Araki Y, Yanagita T, Imamura H, Tsuji T, Sugawara K, Horikawa Y, Ohara S, Kondo Y, Dohmen T, Iijima K, Iijima K. Effects of anti-thrombotic drugs on all-cause mortality after upper gastrointestinal bleeding in Japan: A multicenter study with 2205 cases. Digestive Endoscopy. 202201; 34(1):113-122.

Ominami M, Sato H, Fujiyoshi Y, Abe H, Shiwaku H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Fujiwara Y, Inoue H. Impact of the COVID-19 pandemic on high-resolution manometry and peroral endoscopic myotomy for esophageal motility disorder in Japan. Digestive Endoscopy. 202205; 34(4):769-777.

Sato H, Nishikawa Y, Abe H, Shiwaku H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Terai S, Inoue H. Esophageal carcinoma in achalasia patients managed with endoscopic submucosal dissection and peroral endoscopic myotomy: Japan Achalasia Multicenter Study. Digestive Endoscopy. 202207; 34(5):965-973.

Nagami Y, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Kakushima N, Hoteya S, Tsuji S, Fukunaga S, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Yoshida H, Fujishiro M, Masamune A, Fujiwara Y. Antithrombotics increase bleeding after endoscopic submucosal dissection for gastric cancer:

Nationwide propensity score analysis. Digestive Endoscopy. 202207; 34(5):974-983.

Matsuhashi T, Fukuda S, Abe Y, Mikami T, Tatsuta T, Hikichi T, Nakamura J, Onozato Y, Hatta W, Masamune A, Ohyauchi M, Ito H, Hanabata N, Araki Y, Yanagita T, Imamura H, Tsuji T, Sugawara K, Horikawa Y, Ohara S, Kondo Y, Dohmen T, Iijima K. Nature and treatment outcomes of bleeding post-bulbar duodenal ulcers. Digestive Endoscopy. 202207; 34(5):984-993.

Shimada T, Hatta W, Takahashi S, Koike T, Ohira T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Nakamura J, Matsumoto T, Iijima K, Fukuda S, Masamune A, Ito K, Tohoku GI Endoscopy Group. Combined assessment of clinical and pathological prognostic factors for deciding treatment strategies for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa after endoscopic submucosal dissection. Digestive Endoscopy. 202211; 34(7):1382-1391.

Nakamura J, Sato H, Onimaru M, Abe H, Shiwaku H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Takuto H, Inoue H. Efficacy of peroral endoscopic myotomy for esophageal motility disorders after gastric surgery: Japan Achalasia Multicenter Study. Digestive Endoscopy. 202211; 34(7):1394-1402.

Shiwaku H, Sato H, Shimamura Y, Abe H, Shiota J, Sato C, Ominami M, Sakae H, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Hasegawa S, Inoue H. Risk factors and long-term course of gastroesophageal reflux disease after peroral endoscopic myotomy: A large-scale multicenter cohort study in Japan. Endoscopy. 202209; 54(9):839-847.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Drug treatment for chemotherapy-induced peripheral neuropathy in patients with pancreatic cancer. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):1-10.

Hanayama H, Katagata M, Sato T, Nakano H, Matsumoto T, Tada T, Watanabe Y, Hayase S, Okayama H, Momma T, Kato T, Hashimoto M, Nakamura J, Hikichi T, Saze Z, Kono K. Clinical outcomes of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric gastrointestinal stromal tumor. Fukushima Journal of Medical Science. 2022; 68(3):169-174.

Fukuda H, Sato H, Fujiyoshi Y, Abe H, Okada H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Yamamoto H, Inoue H. Risks of refractory chest pain after peroral endoscopic myotomy in achalasia-related esophageal motility disorders: short-term results from a multicenter study in Japan. Gastrointestinal Endoscopy. 202210; 96(4):620-629.e4.

Hayashi Y, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Hoteya S, Tsuji S, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Miyake A, Fujishiro M, Masamune A, Takehara T. The degree of mucosal atrophy is associated with post-endoscopic submucosal dissection bleeding in early gastric cancer. Journal of Gastroenterology and Hepatology. 202205; 37(5):870-877.

Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Horikoshi Y, Yamadera Y, Hikihi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Autonomic cardiogastric neural interaction after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology. 202211; 65(2):357-364.

Tatsuta T, Sato H, Fujiyoshi Y, Abe H, Shiwaku A, Shiota J, Sato C, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Fukuda S, Inoue H. Subtype of Achalasia and Integrated Relaxation Pressure Measured Using the Starlet High-resolution Manometry System: A Multicenter Study in Japan. Journal of Neurogastroenterology and Motility. 202210; 28(4):562-571.

Sato H, Fujiyoshi Y, Abe H, Shiwaku H, Shiota J, Sato C, Sakae H, Ominami M, Hata Y, Fukuda H, Ogawa R, Nakamura J, Tatsuta T, Ikebuchi Y, Yokomichi H, Terai S, Inoue H. Development of Dilated Esophagus, Sigmoid Esophagus, and Esophageal Diverticulum in Patients With Achalasia: Japan Achalasia Multicenter Study. Journal of Neurogastroenterology and Motility. 202204; 28(2):222-230.

Yabuuchi Y, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Kakushima N, Hoteya S, Doyama H, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Fujishiro M, Masamune A, Ono H. Influence of hospital volume on bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in Japan: a multicenter propensity score-matched analysis. Surgical endoscopy. 202206; 36(6):4004-4013.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Waragai Y, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Hikichi T, Ohira H. Factors Associated with Successful Fistula Dilation in Endoscopic Ultrasound-guided Biliary Drainage. Techniques and Innovations in Gastrointestinal Endoscopy. 2022; 24(4):316-323.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hikichi T, Ohira H. Biliary metal stents should be placed near the hilar duct in distal malignant biliary stricture patients. World Journal of Gastroenterology. 202205; 28(17):1860-1870.

Takagi T, Sugimoto M, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. Screening for hilar biliary invasion in ampullary cancer patients. World Journal of Gastrointestinal Endoscopy. 202209; 14(9):536-546.

橋本陽，八田和久，辻陽介，由雄敏之，籔内洋平，布袋屋修，土山寿志，永見康明，引地拓人，小林雅邦，森田圭紀，住吉徹哉，井口幹崇，富田英臣，井上拓也，三上達也，波佐谷兼慶，西川潤，松村倫明，根引浩子，中松大，大仁田賢，鈴木晴久，上山浩也，林義人，杉本光繁，藤城光弘，正宗淳，大平弘正．早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の再出血. Gastroenterological Endoscopy. 202211; 64(11):2421-2433,np1-np3.

〔総説等〕

Hikichi T, Nakamura J, Kato T, Hashimoto M, Kobashi R. Endoscopic injection sclerotherapy under red dichromatic imaging for esophageal varices. Digestive Endoscopy. 202203; 34(3):477-479.

引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，入江大樹，柳田拓実. EVL・EIS. 消化器ナーシング. 202208; 27(8):712-719.

引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，高木忠之，大平弘正. 消化器内視鏡診療時の鎮静に関連した有害事象とその対策. 消化器内視鏡. 202204; 34(4):504-518.

引地拓人，中村純，渡辺晃. 肝硬変患者における胃 ESD. 消化器内視鏡. 202207; 34(7):1292-1296.

川島一公，引地拓人，鬼澤道夫，郡司直彦，大平弘正. Non-lifting sign を呈する LST-NG (PD type). 消化器内視鏡. 202210; 34(10):1699-1704.

中村純，引地拓人，加藤恒孝. 胃静脈瘤. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):146-147.

入江大樹，引地拓人，小原勝敏. 胃サイトメガロウイルス感染症. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):200-201.

引地拓人，中村純，髙住美香. 早期残胃癌（吻合部病変）. 消化器内視鏡. 202210; 34(増刊):314-315.

引地拓人，中村純，加藤恒孝. 食道胃静脈瘤の診断と治療. 診断と治療. 202203; 110(Suppl.):75-82.

引地拓人. With コロナ時代の消化器内視鏡診療における感染対策～今できることはか？～. 日本臨床内科医会会誌. 202212; 35(1):282-289.

引地拓人，加藤恒孝，高木忠之，中村純，橋本陽，小橋亮一郎. 食道・胃静脈瘤治療. 臨床消化器内科. 202212; 38(1):7-16.

〔症例報告〕

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Gunji N, Takeda Y, Mochimaru T, Ishizaki Y, Murakami M, Kobayashi R, Shioya Y, Suzuki O, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Colonic Endoscopic Submucosal Dissection for a Granular Cell Tumor with Insufficient Endoscopic Manipulation in the Hepatic Flexure. Case Reports in Gastroenterology. 202203; 16(1):216-222.

Hikichi T, Kato T, Kobashi R, Hashimoto M, Nakamura J. Aerosol extractor for COVID-2019 prevention during endoscopic procedure. Clinical Endoscopy. 202211; 55(6):815-818.

Takeda Y, Hikichi T, Hashimoto M, Hayashi M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Murakami M, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Esophageal achalasia with severe malnutrition and liver enzyme elevation. Clinical Journal of Gastroenterology. 202204; 15(2):345-350.

Sato H, Hikichi T, Kato T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takasumi M, Kobayakawa M,

Ohira H. Combination of photodynamic therapy and endoscopic mucosal resection for recurrent esophageal squamous cell carcinoma after chemoradiotherapy. Clinical Journal of Gastroenterology. 202212; 15(6):1035-1040.

Shimizu H, Suzuki R, Sato Y, Takagi T, Abe N, Irie H, Sugimoto M, Yanagita T, Kobashi R, Hashimoto M, Kato T, Takasumi M, Nakamura J, Hikichi T, Ohira H. Transjejunal endoscopic ultrasound-guided pancreatic drainage for pancreatic jejunostomy stricture using a forward-viewing echoendoscope in a patient with altered anatomy. DEN Open. 202204; 2(1):e114.

Mochumaru T, Hikihi T, Hashimoto M, Nakamura J, Takasumi M, Kato t, Kobashi R, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for superficial squamous cell carcinoma in patients with cirrhosis and esophageal varices. DEN Open. 202205; 3(1):e117.

Ishizaki Y, Kawashima K, Gunji N, Onizawa M, Hikichi T, Hasegawa M, Ohira H. Trichuris trichiura Incidentally Detected by Colonoscopy and Identified by a Genetic Analysis. Internal Medicine. 202203; 61(6):821-825.

Kawashima K, Hikihi T, Gunji N, Onizawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection with the combination of a scissor-type knife and novel traction method for colonic neoplasm involving a diverticulum. VideoGIE. 202209; 8(1):38-41.

〔その他〕

引地拓人. 書評 Book Review　食道・胃・十二指腸 ESD の基本とコツ. 消化器内視鏡. 2022; 34(9):1539.

書籍等出版物

引地拓人. 食道静脈瘤の内視鏡治療. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成. 今日の治療指針　2022 版（Vol.64）. 東京: 医学書院; 202201. p.468-469.

引地拓人, **林智之**. 前処置　a.　上部消化管内視鏡検査. In: 内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会. 消化器内視鏡検査・周術期管理の標準化ハンドブック. 東京: 日本メディカルセンター; 202206. p.103-105.

引地拓人. 7.　内視鏡検査　1.　消化管内視鏡 esophagogastroduodenoscopy (EGD) and colonoscopy (CS). In: 日本門脈圧亢進症学会. 門脈圧亢進症取扱い規約　第 4 版. 東京: 金原出版; 202209. p.84-88.

引地拓人. 7.　内視鏡検査　2.　バルーン内視鏡 balloon endoscopy (BE). In: 日本門脈圧亢進症学会. 門脈圧亢進症取扱い規約　第 4 版. 東京: 金原出版; 202209. p.88.

引地拓人. 7.　内視鏡検査　3.　カプセル内視鏡 capsule endoscopy (CE). In: 日本門脈圧亢進症学会. 門脈圧亢進症取扱い規約　第 4 版. 東京: 金原出版; 202209. p.88.

引地拓人. 8.　治療　3.　内視鏡治療 endoscopic therapy. In: 日本門脈圧亢進症学会. 門脈圧亢進症取扱い規約　第

4 版. 東京: 金原出版; 202209. p.124-126.

引地拓人，加藤恒孝. 食道・胃静脈瘤. In: 山本博徳, 瀬戸泰之, 吉治仁志. 消化器疾患最新の治療　2023-2024. 東京: 南江堂; 202212. p.87-90.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

根本大樹. 大腸 ESD における局注の Tips. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台.

橋本陽，中村純，引地拓人. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する UEMR の現状. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 101.

濱田晃一，引地拓人，中村純. 福島県にける生体ブタを使用したハンズオンセミナー. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 107.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純. 消化器内視鏡診療における飛沫感染対策～COVID-19 患者に対する緊急内視鏡の報告を含めて～. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 114.

清水広，佐藤雄紀，阿部直人，入江大樹，杉本充，鈴木玲，高木忠之，柳田拓実，小橋亮一郎，橋本陽，加藤恒孝，中村純，引地拓人，大平弘正. 術後膵管空腸閉塞に対して経挙上空腸超音波内視鏡下膵管ドレナージを施行した一例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 134.

佐藤秀紀，郡司直彦，引地拓人，加藤恒孝，中村純，鬼澤道夫，髙住美香，川島一公，橋本陽，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. COVID-19 患者に生じた急性出血性直腸潰瘍に Histoacry l 局注による止血術が有効であった 1 例. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 136.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，佐藤雄紀，入江大樹，髙住美香，鈴木玲，杉本充，高木忠之，大平弘正. 食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後の再発予測～血小板数/脾臓長径比～. 第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 153.

髙住美香，橋本陽，中村純，引地拓人，大平弘正. 子育て中の女性消化器内科医の働き方. 日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 117.

小林玲子，引地拓人，加藤恒孝，中村純，髙住美香，橋本陽，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，鈴木エリ奈，橋本優子，大平弘正. 粘膜下層深部浸潤とリンパ管侵襲を伴った胃底腺粘膜型腺癌 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台. プログラム・抄録集. 139.

岡川泰，吉住徹哉，林義人，八田和久，辻陽介，由雄敏之，角嶋直美，布袋屋修，土山寿志，永見康明，引地拓人，小林雅邦，森田圭紀，井口幹崇，富田英臣，井上拓也，三上達也，浦岡俊夫，藤城光弘，近藤仁. 胃粘膜萎縮の程度は早期がんに対する ESD 後出血の発生に関与する. 第 18 回日本消化管学会総会学術総会;

20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):87.

髙住美香，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，大久保義徳，入江大樹，大平弘正. 胃粘膜下病変に対するEUS-FNA/Bにおける Fork-tip 針の有用性. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):134.

加藤恒孝，引地拓人，高木忠之，鈴木玲，中村純，杉本充，髙住美香，佐藤雄紀，橋本陽，入江大樹，小橋亮一郎，柳田拓実，大平弘正. 悪性食道狭窄に対する逸脱予防を考慮した金属ステント留置術. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):154.

中村純，引地拓人，橋本陽，加藤恒孝，髙住美香，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 食道アカラシアに対するPOEMの長期成績. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):161.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，橋本陽，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，池田和彦，大平弘正. PGAシートとフィブリン糊被覆による胃ESD後出血予防法. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):167.

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対するUEMRの現状と手技の工夫. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.1):172.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，橋本優子，大平弘正. ESDを施行された49歳以下の胃癌症例の検討. 第18回日本消化管学会総会学術総会; 20220211-13; 東京. 日本消化管学会雑誌. 6(Suppl.):203.

柳田拓実，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大平弘正. 食道・胃静脈瘤出血例に対する内視鏡治療. 第58回日本腹部救急医学会総会; 20220324-25; 東京. 抄録集. 244.

中村純，引地拓人，大平弘正. 小児食道静脈瘤対する内視鏡的静脈瘤硬化療法の現状と課題. 第103回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513-15; 京都. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):729.

橋本陽，中村純，引地拓人，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，大塚充，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対するLECSの困難因子の解析. 第103回日本消化器内視鏡学会総会; 20220513-14; 東京. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):739.

引地拓人. EL-1の1例. JCOG1902症例検討会; 20220608; Web.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，上田健太，高木忠之，大平弘正. 中・下咽頭がんに対する消化器内視鏡と耳鼻咽喉科の合同手術. 日本消化器病学会東北支部第213回例会; 20220701; 山形/Web. 抄録集. 66.

中村純，引地拓人，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高

木忠之，田中秀明，大平弘正．食道狭窄症を合併した先天性十二指腸膜様狭窄症に対して内視鏡的な放射状切開法とバルーン拡張術が有効であった小児の 1 例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web．抄録集. 107.

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，上田健太，高木忠之，大平弘正. POEM で治療した esophagogastric junction outflow obstruction の 3 例．第 168 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220702; 山形/Web．抄録集. 117.

引地拓人. Endoscopic treatment of esophageal and gastric varices. APASL Oncology 2022; 20220901-03; 高松.

柳田拓実，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，入江大樹，小橋亮一郎，髙住美香，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，上田健太，高木忠之，大平弘正．食道静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後の形態再発における血小板数/脾臓長径比の関連．第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20220908-09; 大阪/Web.

上田健太，引地拓人，中村純，加藤恒孝，橋本陽，入江大樹，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，渡邊早百合，高木忠之，大平弘正．小児の食道静脈瘤に対する内視鏡治療．第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20220908-09; 大阪/Web．日本門脈圧亢進症学会雑誌. 28(3):123.

加藤恒孝，引地拓人，中村純，橋本陽，小橋亮一郎，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，髙住美香，上田健太，高木忠之，大平弘正．内視鏡治療を施行された食道静脈瘤と門脈血栓を合併した肝硬変症例．第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20220908-09; 大阪/Web．日本門脈圧亢進症学会雑誌. 28(3):95.

中村純，引地拓人，大平弘正．小児の食道静脈瘤症例に対する内視鏡治療の現状と今後の展望．第 64 回日本消化器病学会大会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.2):2011.

鈴木玲，高木忠之，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，中村純，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，柳田拓実，引地拓人，大平弘正．切除不能癌に対する nal-IRI+5-FU/LV の治療成績の後方視的検討．第 64 回日本消化器病学会大会; 20221027-30; 福岡.

柳田拓実，引地拓人，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大平弘正．携帯型吸引装置 Free-100 Next によるエアロゾル吸引効果．第 104 回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2088.

入江大樹，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，中村純，髙住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，引地拓人，大平弘正．特殊な術後消化管症例における ERCP に関する検討，または ERCP in patients with rare surgically anatomy．第 104 回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2142.

佐藤雄紀，高木忠之，入江大樹，杉本充，鈴木玲，小林玲子，柳田拓実，小橋亮一郎，加藤恒孝，橋本陽，髙住美香，中村純，引地拓人，大平弘正．術後再建腸管における腹腔内腫瘤性病変に対する経小腸的 EUS-FNA の席積．第 104 回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2129.

小橋亮一郎，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，橋本陽，柳田拓実，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入

江大樹，高木忠之，橋本優子，大平弘正．バレット食道癌に対するESDの治療成績と予後．第104回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2065.

加藤恒孝，引地拓人，高木忠之，鈴木玲，中村純，杉本充，髙住美香，佐藤雄紀，橋本陽，入江大樹，小橋亮一郎，柳田拓実，大平弘正．食道静脈瘤と門脈血栓を合併した肝硬変症例の治療方針の検討．第104回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2064.

橋本陽，引地拓人，中村純，髙住美香，加藤恒孝，小橋亮一郎，柳田拓実，大塚充，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，高木忠之，大平弘正．バルーン拡張術歴を有する食道アカラシア関連疾患に対するPOEM．第104回日本消化器内視鏡学会総会; 20221027-30; 福岡. Gastroenterological Endoscopy. 64(suppl.2):2066.

引地拓人．消化管疾患を中心としたEUS-FNA/Bの現状（臨床から）．第61回日本臨床細胞学会秋期大会; 20221105; 仙台.

〔特別講演〕

引地拓人．高齢者に対する消化器内視鏡診療の現状と今後の展望．第124回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会・第130回日本消化器病学会北海道支部例会; 20220306; 札幌.

引地拓人．中高年労働者の上部消化管疾患に対する治療のトピックス．相馬郡医師会学術講演会～日本医師会認定産業医学研修会～; 20220316; 南相馬.

引地拓人．早期胃癌に対するESDの最近の話題．第8回京都広小路ライブセミナー; 20220319; 京都.

引地拓人．ピロリ感染状態や組織型に基づく早期胃癌の内視鏡診断．田村医師会胃がん検診勉強会; 20220328; Web.

引地拓人. Gel immersion endoscopyのちょっとしたコツ．第2回大阪内視鏡懇話会; 20220609; 大阪.

引地拓人．上部消化管内視鏡治療の最前線. Endoscopic Treatment Up To Date Web Seminar; 20220623; 郡山/Web.

引地拓人．消化器内視鏡治療におけるGel immersion endoscopy．東北内視鏡治療オンラインセミナー; 20221006; 山形/Web.

引地拓人．消化器内視鏡診療における医療安全への取り組み．釜座消化器WEBセミナー～消化器疾患チーム医療を考える～; 20221013; 京都/Web.

引地拓人．消化器内視鏡診療における多職種連携の重要性と課題．第89回日本消化器内視鏡技師学会; 20221029; 福岡.

引地拓人．上部消化管腫瘍に対する内視鏡的切除術および光線力学療法～抗血栓療法患者への対応を中心に～．消化管疾患トータルケアセミナー; 20221118; 仙台.

臨床腫瘍センター

論　　文

〔原　著〕

Yamamoto Y, Fukuyama K, Kanai M, Kondo T, Yoshioka M, Kou T, Nguyen Quy P, Kimura-Tsuchiya R, Yamada T, Matsumoto S, Kosugi S, Muto M. Prevalence of pathogenic germline variants in the circulating tumor DNA testing. International Journal of Clinical Oncology. 202210; 27(10):1554-1561.

赤間孝典. 【遺伝性腫瘍学入門　遺伝性腫瘍の基礎知識】診療各論　がんの臨床で役立つ家系図. 遺伝子医学. 202201; 別冊:236-240.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

吉岡正博，近藤知大, Quy PN，**木村礼子，福山啓太，金井雅史，中島健，山田崇弘，松本繁巳，武藤学**. A proposal of efficient operation of expert panel for genomic medicine by pre-review meeting (pre-EP). 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2022）; 20220217; 京都/Web.

細貝太亮，野村基雄，玉置将司，三谷洋介，廣橋研志郎，吉岡正博，船越太郎，横山顕礼，松原淳一，森由希子，山田敦，金井雅史，木村礼子，松本繁巳，武藤学. ニボルマブ 480mg　4 週ごとにおける安全性の検討. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2022）; 20220219; 京都/Web.

木村礼子，金井雅史，近藤知大，福山啓太，三谷洋介，廣橋研志郎，玉置将司，吉岡正博，船越太郎，野村基雄，菊池理，横山顕礼,松原淳一，森由希子，山田敦，南口早智子，山田崇弘，中島健，松本繁巳，武藤学. Comprehensive genomic profiling using a liquid biopsy in patients with advanced solid tumors. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2022）; 20220217-19; 京都/Web.

名取穣，佐々木栄作，徳田恵美，阿左見祐介，須賀淳子，木村礼子，佐治重衡. HLA 遺伝子型を用いた免疫関連有害事象のナルコレプシー発症のリスク評価. 第 119 回日本内科学会総会; 20220417; 京都/Web.

山本佳宏，福山啓太，金井雅史，近藤知大，吉岡正博，高忠之，グェン・クィーファム，木村礼子，山田崇弘，松本繁巳，小杉眞司，武藤学. 腫瘍組織検査とリキッドバイオプシーにおける生殖細胞系列バリアントの検証シーケンス. 第 60 回日本癌治療学会学術集会; 20221022; 神戸.

臨床工学センター

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔シンポジウム〕

福原之博．当施設における人工心肺中の輸血・輸液管理～維持透析患者症例に対する工夫～．第 8 回北海道・東北臨床工学会; 20221015; 秋田.

〔特別講演〕

佐々木紀尚，**荒宏樹**，**福原之博**，**出羽仁**．当院の ECMO. ADATARA LIVE DEMONSTRATION2022; 20220603; Web.

〔招待講演〕

佐々木紀尚．電気メスの基礎～臨床使用の実際～．東北 Web セミナー第 12 回; 20220913; Web.

〔その他〕

福原之博，**仙石麻衣**，**仙石貴文**，**今野秀胤**，**佐々木紀尚**，**荒宏樹**，**福原真喜**，**佐藤梓**，**佐藤貴美絵**，**出羽仁**．人工心肺中の FFP 投与についての一考察．第 47 回日本体外循環技術医学会大会; 20221119; 福岡.

臨床研究教育推進部

論　　文

〔原　著〕

Sahker E, Onishi A, Ostinelli EG, Tsutsumi Y, Omae K, Furukawa TA. Substance use disorder treatment success: assessing patient-reported use improvement and provider-evaluated treatment completion. Addiction Research & Theory. 2022; 30(3):199-206.

Salanti G, Peter N, Tonia T, Holloway A, White IR, Darwish L, Low N, Egger M, Haas AD, Fazel S, Kessler RC, Herrman H, Kieling C, De Quervain DJF, Vigod SN, Patel V, Li T, Cuijpers P, Cipriani A, Furukawa TA, Leucht S, MHCOVID Crowd Investigators, Sambo AU, Onishi A, Sato A, Rodolico A, Oliveira Solis AC,

Antoniou A, Kapfhammer A, Ceraso A, O'Mahony A, Lasserre AM, Ipekci AM, Concerto C, Zangani C, Igwesi-Chidobe C, Diehm C, Demir DD, Wang D, Ostinelli EG, Sahker E, Beraldi GH, Erzin G, Nelson H, Elkis H, Imai H, Wu H, Kamitsis I, Filis I, Michopoulos I, Bighelli I, Hong JSW, Ballesteros J, Smith KA, Yoshida K, Omae K, Trivella M, Tada M, Reinhard MA, Ostacher MJ, Müller M, Jaramillo NG, Ferentinos PP, Toyomoto R, Cortese S, Kishimoto S, Covarrubias-Castillo SA, Siafis S, Thompson T, Karageorgiou V, Chiocchia V, Zhu Y, Honda Y; MHCOVID Crowd Investigators. The Impact of the COVID-19 Pandemic and Associated Control Measures on the Mental Health of the General Population: A Systematic Review and Dose-Response Meta-analysis. Annals of Internal Medicine. 202211; 175(11):1560-1571.

Katayama K, Kurita N, Takada T, Miyashita J, Azuma T, Fukuhara S, Takeshima T. Door-to-Oral Time and In-hospital Outcomes in Older Adults with Aspiration Pneumonia Undergoing Dysphagia Rehabilitation. Clinical Nutrition. 202210; 41(10):2219-2225.

Nishiwaki H, Niihata K, Kinoshita M, Fujimura M, Kurosawa K, Sakuramachi Y, Takano K, Matsunaga S, Okamura S, Kitatani M, Tsujii S, Hayashino Y, Kurita N; Diabetes Distress Care Registry at Tenri Study Group. Urinary C-megalin as a novel biomarker of progression to microalbuminuria: A cohort study based on the diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 22). Diabetes Research and Clinical Practice. 202204; 186:109810.

Omae K, Onishi A, Sahker E, Furukawa TA. US Food and Drug Administration Accelerated Approval Program for Nononcology Drug Indications Between 1992 and 2018. JAMA Network Open. 202209; 5(9):e2230973.

Wada A, Omae K, Yoshida K, Kondo T, Tanabe K, Takagi T. Comparison of surgical outcomes after robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy between patients continuing and discontinuing aspirin therapy: a Japanese single-centre study. Japanese Journal of Clinical Oncology. 202205; 52(5):499-505.

Tachibana H, Omae K, Ishihara H, Fukuda H, Yoshida K, Iizuka J, Tanabe K, Kondo T, Takagi T. Validation of a Predictive Model for New Baseline Renal Function After Radical Nephrectomy or Robot-Assisted Partial Nephrectomy in Japanese Patients. Journal of Endourology. 202206; 36(6):745-751.

Kimachi M, Omae K, Kamitani T, Fukuma S. Primary care physicians' perceptions concerning engagement in cancer survivor care. Journal of General and Family Medicine. 202205; 23(3):149-157.

Sada K, Kurita N, Noma H, Matsuki T, Quasny H, Levy A, Jones-Leone R, Gairy K, Yajima N. MOONLIGHT study: The design of a comparative study of the effectiveness of belimumab in patients with a history of lupus nephritis from the post-Marketed effectiveness of belimumab cOhOrt and JapaN Lupus natIonwide reGistry (LUNA) coHorT. Lupus Science & Medicine. 202207; 9(1):e000746.

Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Konno S. Diagnostic accuracy of the lumbar spinal stenosis-diagnosis support tool and the lumbar spinal stenosis-self-administered, self-reported history questionnaire. PLOS ONE. 202205; 17(5):e0267892.

Tokumoto M, Tokunaga S, Asada S, Endo Y, Kurita N, Fukagawa M, Akizawa T. Predictive factors requiring

high-dose evocalcet in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. PLOS ONE. 202212; 17(12):e0279078.

近藤千紘，石倉健司，一岡聡子，大前憲史，奥田雄介，小板橋賢一郎，佐々木彰，陶山浩一，谷澤雅彦，水上拓郎，柴垣有吾，平田純生，安藤雄一，古市賢吾，西山博之，松原雄，星野純一，柳田素子．【がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022 版のポイント】がんサバイバーにおける慢性腎臓病のマネジメント．癌と化学療法. 202211; 49(11):1200-1204.

栗田宜明．【腎疾患における臨床研究の進歩】臨床研究の最新手法　周辺構造モデル．腎と透析. 202209; 93(3):335-340.

栗田宜明，河原崎宏雄，石橋由孝，柴垣有吾．【腎代替療法のすべて】（第 3 章）腎代替療法の現状と問題点、求められるケア　世界の腎代替療法の現状と問題点　新しい予後指標　PRO(patient-reported outcome)．腎と透析. 202206; 92(増刊):93-98.

柴垣有吾，栗田宜明. CKD（透析）患者の Patient Reported Outcome を考える．日本透析医会雑誌. 202212; 37(3):366-372.

大前憲史．【フレイル・サルコペニアと排尿障害】疫学的知見から考えるフレイル・サルコペニアと下部尿路機能障害の関連性．排尿障害プラクティス. 202212; 30(2):102-107.

〔その他〕

栗田宜明，脇田貴文，藤本志乃，柳麻衣，小板橋賢一郎，谷澤雅彦，鈴木智，河原崎宏雄，柴垣有吾，石橋由孝．進行期 CKD・透析における健康関連ホープは水分・食事制限の負担感の悪化を予防する．日本腎臓学会誌. 202210; 64(6-E):554.

書籍等出版物

大前憲史．論文の書き方～査読者の視点から. In: 片岡裕貴，青木拓也．実例から学ぶ！臨床研究は「できない」が「できる！」に変わる本．東京: 羊土社; 202201. p.105-114.

大前憲史．成人がんサバイバーにおける CKD の有病率. In: 日本腎臓学会 他．がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022．東京: ライフサイエンス出版; 202211. p.120-121.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Aita T, Kurita N, Katoh S, Hamaguchi S, Sando E. Non-negligible seroprevalence of murine typhus and its predictors in Japan: a large-scale seroepidemiological study. ACP Internal Medicine Meeting 2022; 20220428; Chicago, USA/Web.

Sada K, Miyawaki Y, Shidahara K, Nawachi S, Katayama Y, Asano Y, Hayashi K, Ohashi K, Katsuyama E, Katsuyama T, Narazaki M, Matsumoto Y, Oguro N, Ishikawa Y, Sakurai N, Hidekawa C, Yoshimi R, Ichikawa T, Kishida D, Shimojima Y, Kurita N, Yajima N. Association between treatment goal achievement and grit personality characteristics of attending physician in patients with systemic lupus erythematosus: a multicenter cross-sectional study. EULAR 2022 Congress; 20220601; Web.

Ichikawa T, Shimojima Y, Kishida D, Yajima N, Yoshimi R, Sada K, Miyawaki Y, Oguro N, Sakurai N, Hidekawa C, Hayashi K, Shidahara K, Ishikawa Y, Sekijima Y, Kurita N. Shared decision making and internet use for gathering health information in patients with systemic lupus erythematosus: a multicenter cross-sectional study. EULAR 2022 Congress; 20220601; Web.

小黒奈緒，矢嶋宣幸，柳井亮，井上良，林智樹，三浦瑶子，羽多野美香，磯島咲子，三輪裕介，宮脇義亜，吉見竜介，下島恭弘，佐田憲映，栗田宜明．ワークショップ　全身性エリテマトーデス患者のヘルスリテラシーが医師への信頼に与える影響：TRUMP2-SLE 研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web．プログラム・抄録集. 364.

矢嶋宣幸，小黒奈緒，柳井亮，井上良，林智樹，羽多野美香，三浦瑶子，磯島咲子，三輪裕介，佐田憲映，吉見竜介，下島恭弘，宮脇義亜，栗田宜明. SLE 患者において主治医への信頼は治療費の日常生活への負担感（経済毒性）へ影響するか：TRUMP2-SLE 研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web．プログラム・抄録集. 647.

Katayama Y, Miyawaki Y, Shidahara K, Nawachi S, Asano Y, Ohashi K, Katsuyama E, Katsuyama T, Narazaki M, Matsumoto Y, Sada K, Oguro N, Yajima N, Yoshimi R, Shimojima Y, Wada J, Kurita N. Workshop (international)　The Association of the visits to substitute physicians and trust in one's physician in SLE patients: a cross-sectional TRUMP2-SLE study. 第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web.

栗田宜明，小黒奈緒，宮脇義亜，吉見竜介，下島恭弘，佐田憲映，矢嶋宣幸．ワークショップ　全身性エリテマトーデス患者のホープ・主治医への信頼が服薬アドヒアランスに与える影響：TRUMP2-SLE 研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web.

佐田憲映，矢嶋宣幸，栗田宜明，野間久史, Holly Q, Roger AL, Angela RJ-L, Kerry G, **松木大造**．活動性ループス腎炎寛解導入後におけるベリムマブの有効性を評価する MOONLIGHT Study：多施設共同 SLE レジストリ"LUNA"とベリムマブコホートを統合した研究プロトコル．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web.

吉見竜介，秀川智春，櫻井菜月，矢嶋宣幸，吉岡裕二，岸本大河，麹谷典子，杉山裕美子，國下洋輔，水野広輝，東谷佳奈，佐藤雄一郎，安達総一郎，飯塚友紀，前田彩花，平原理紗，小宮孝章，副島裕太郎，濱田直樹，永井秀人，土田奈緒美，峯岸薫，桐野洋平，栗田宜明，小黒奈緒，宮脇義亜，佐田憲映，下島恭弘，大野滋，中島秀明．ワークショップ　全身性エリテマトーデス診療における医師への信頼度に対して共同意思決定が与える影響：TRUMP2-SLE 研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220425; 横浜/Web.

宮脇義亜，佐田憲映，志田原健太，縄稚翔一，浅野洋介，片山祐，大橋敬司，勝山恵理，勝山隆行，楢崎真

理子，松本佳則，小黒奈緒，矢嶋宣幸，吉見竜介，下島恭弘，和田淳，栗田宜明．ワークショップ　大学病院に勤務する膠原病・リウマチ内科医のバーンアウト（燃え尽き症候群）とグリットとの関連：TRUMP2-SLE 研究．第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20220427; 横浜/Web.

佐々木彰，中屋来哉，石本卓嗣，清水さやか，栗田宜明，和田健彦．抗 PLA2R 抗体の測定実態と関連因子ー腎臓専門医アンケート調査ー．第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610; 神戸/Web.

宮岡良卓，栗田宜明，清水さやか，祖父江理，石本卓嗣，佐々木彰，和田健彦．膜性腎症におけるリツキシマブの使用実態と差し控えの理由ー腎臓専門医アンケート調査ー．第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610; 神戸/Web.

和田健彦，栗田宜明，清水さやか，佐々木彰，石本卓嗣，古市賢吾，岡田浩一．一次性ネフローゼ症候群の診療実態ー腎臓専門医アンケート調査ー．第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220610; 神戸/Web.

石本卓嗣，栗田宜明，清水さやか，佐々木彰，小泉賢洋，和田健彦．成人微小変化型ネフローゼ症候群におけるリツキシマブの使用実態ー腎臓専門医アンケート調査ー．第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220611; 神戸/Web.

栗田宜明，河原崎宏雄，祖父江理，柴垣有吾．ワークショップ　腎代替療法選択における共同意思決定に必要な構成要素・アウトカムと本邦での実態に関する臨床疫学的検討．第 65 回日本腎臓学会学術総会; 20220611; 神戸/Web.

栗田宜明，川口崇，小黒奈緒，會田哲朗，河原崎宏雄，鈴木智，長沼透．ワークショップ　臨床現場を楽しく科学する！実例から学ぶコミュニケーションの臨床研究と実践（シーズン 2）. ACP（米国内科学会）日本支部年次総会・講演会 2022; 20220625; Web. プログラム集. 41-43.

栗田宜明．学会・委員会企画　前向きコホート研究の自験例から考える JRDR の活用法．第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220702; 横浜.

栗田宜明．シンポジウム　透析導入のベストタイミングを調べる RQ から学ぶ臨床研究のデザイン．第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220702; 横浜.

栗田宜明（座長）．一般演題　ESA/HIF-PH 阻害薬-2．第 67 回日本透析医学会学術集会・総会; 20220703; 横浜.

大前憲史．量的研究論文、私はこう書く. PCR Connect 第 4 回年次集会; 20221211; Web.

〔特別講演〕

大前憲史．カンサツしてギモンを持つ．相馬看護専門学校特別講演; 20220114; 相馬.

大前憲史．高齢者の下部尿路機能障害とフレイル・サルコペニア．第 11 回高齢者医療・老年薬学勉強会 in 二本松; 20221208; Web.

〔招待講演〕

大前憲史. Frailty and Overactive Bladder in Community-Dwelling Older Adults in Japan. 37th Annual European Association of Urology Congress in 2022; 20220701; Amsterdam, Netherlands.

大前憲史. 福島で探る泌尿器科医としての新たなバリュー. 第 8 回會津藩校日新館「臨床研究デザイン塾™」; 20220213; Web.

大前憲史. 効果的な論文査読を行うために知っておきたい重要な視点. 日本老年看護学会第 27 回学術集会; 20220625; Web.

大前憲史. 研究論文のどのパートが最も重要なのか? Introduction, Methods, Results, Discussion. 日本臨床疫学会第 5 回年次学術大会; 20221112; 東京.

性差医療センター

論　文

〔原　著〕

Shiraiwa A, Takahashi T, Okoshi C, Wada M, Ota K, Suganuma R, Jimbo M, Soeda S, Watanabe T, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Successful pregnancy and delivery after a vitrified-warmed embryo transfer in a woman with Kallmann syndrome: A case report and literature review. Fukushima Journal of Medical Science. 202204; 68(1):49-55.

Yasuda S, Fukuda T, Toba N, Kamo N, Imaizumi K, Yokochi M, Okawara T, Takano S, Yoshida H, Kobayashi N, Kudo S, Miyazaki K, Hosoya M, Sato K, Takano K, Kanno A, Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Ito F, Oda S, Momoi N, Hosoya M, Fujimori K. Risk factors for discontinuation of exclusive breast feeding within 1month: a retrospective cohort study in Japan. International Breastfeeding Journal. 202203; 17(1):20.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202201; 67:102694.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum Mental Health of Mothers in Fukushima: Insights From the Fukushima Health Management Survey's 8-year Trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S64-S75.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Kanno A, Yamaguchi A, Jimbo M, Nishigori H, Fujimori K.

Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202205; 42(4):563-568.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

薬剤部

論　　文

〔原　著〕

黒田純子. 患者さんのケアのポイントが満載！整形外科ならではの鎮痛薬　薬剤一覧表. 整形外科看護. 202209; 27(9):886-887.

野村久祥，伊與田友和，本田雅志. みんなはどうしてる？患者と病院に何を伝えればいいの？教えて！がん患者フォローアップ術（第５回）オキサリプラチンによる末梢神経障害. 調剤と情報. 202201; 28(1):98-107.

野村久祥，伊與田友和，本田泰斗. みんなはどうしてる？患者と病院に何を伝えればいいの？教えて！がん患者フォローアップ術（第８回）パニツムマブによるざ瘡様皮疹への対応. 調剤と情報. 202204; 28(5):733-742.

野村久祥，伊與田友和，江淵愛．みんなはどうしてる？患者と病院に何を伝えればいいの？教えて！がん患者フォローアップ術（第 11 回）セツキシマブによる爪囲炎への対応．調剤と情報. 202208; 28(11):1996-2004.

伊與田友和．【お薬立ち BOOK2022　解剖生理・病態生理から薬学管理へ】病態生理を踏まえた薬物治療・薬学管理へ　皮膚・粘膜障害　薬理と薬学管理上の注意点．薬局. 202203; 73(4):1536-1539.

村上美紀，鈴木詩子，井上稜太，高橋智子，野地成子，渡部智恵子，松村勇輝，佐野秀樹，斎藤純平．福島県立医科大学附属病院における特定臨床研究の現状ーアンケート調査よりー．薬理と治療. 202212; 50(Suppl.2):s166-s171.

書籍等出版物

伊與田友和，他．第 4 章　疾患. In: 日本臨床腫瘍薬学会 編集．臨床腫瘍薬学　第 2 版．東京: じほう; 202209. p.273-574.

伊與田友和，他．第 5 章　支持療法. In: 日本臨床腫瘍薬学会 編集．臨床腫瘍薬学　第 2 版．東京: じほう; 202209. p.700-770.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

井上稜太，鈴木詩子，高橋智子，野地成子，村上美紀，松村勇輝，斎藤純平．当院における特定臨床研究の現状ー前年のアンケート調査との比較ー．日本臨床試験学会第 13 回学術集会総会; 20220204-05; 東京/Web.

鈴木悠平，三浦至，板垣俊太郎，刑部有祐，長岡敦子，戸田亘，佐久間春菜，野崎啓子，渡辺研弥，矢部博興．クロザピンの血中濃度測定が有用と考えられた治療抵抗性統合失調症の 2 例．第 33 回福島県精神医学会学術大会; 20220220; Web.

陣野大輔，嶋崎翔，菅野奈緒美，鈴木優佳，須藤孝浩，黒田純子．核医学検査の適正実施における薬剤師介入の有用性について．日本病院薬剤師会東北ブロック第 11 回学術大会合同開催：第 76 回医薬品相互作用研究会シンポジウム; 20220625; 山形/Web.

永島久義，穴澤知也，油井優，石井重亮，吉田裕美，黒田純子. COVID-19 入院患者に対するオンライン服薬指導システムを用いたインスリン自己注射指導．日本病院薬剤師会東北ブロック第 11 回学術大会合同開催：第 76 回医薬品相互作用研究会シンポジウム; 20220625-26; 山形/Web.

大堀裕太，古内容子，佐野秀樹，大江敬太郎，黒田純子，菅原茂耕，志賀哲，織内昇，稲野彰洋．ヨウ素 131-RdioImmunoTherapy における甲状腺ブロックの小児に対する経験．第 5 回日本臨床薬理学会北海道・東北地方会; 20220709; 旭川/Web.

青砥孝道，陣野大輔，小久保博子，大塚幹夫，黒田純子．ヘパリンNa製剤の過量投与によるインシデント再発防止への取り組み．第32会日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

大江敬太郎，古内容子，大堀裕太，織内昇，志賀哲，菅原茂耕，佐野秀樹，稲野彰洋，黒田純子．ヨウ素131-radioimmunotherapy治療における小児甲状腺ブロック～ヨウ素製剤の検討．第32回日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

黒田純子，伊與田友和，大江敬太郎，渡邉美保，佐々木栄作，金沢賢也，鈴木弘行，佐治重衡. irAEに対する適応外医薬品使用の体制とICI適正使用チームの連携について．第32回日本医療薬学会年会; 20220923-25; 高崎.

宍戸玲太，渡邉美保，野地紘子，宍戸琴美，菅野奈緒美，須藤孝浩，黒田純子，佐藤薫．メサドンと抗結核薬リファブチンとの薬物間相互作用が疑われた1例．第3回日本緩和医療学会東北支部学術大会; 20221001; 福島/Web.

大内虹輝，石井重亮，吉田裕美，黒田純子．持参薬確認業務の検証～医療安全推進に向けた取り組み～．第26回福島県薬剤師学術大会; 20221030; Web.

高橋智子．福島臨床薬学研究会27年間の歩みとその評価．日本薬史学会2022年会; 20221105; 仙台.

古内容子，大堀裕太，佐野秀樹，大江敬太郎，黒田純子，菅原茂耕，志賀哲，織内昇，稲野彰洋．ヨウ素131-Radioimmunotherapyにおける甲状腺ブロックとしてヨウ化カリウムとリオチロニンナトリウムを使用した経験．第43回日本臨床薬理学会学術総会; 20221130-1203; 横浜.

〔その他〕

菅野奈緒美．緩和薬物療法における服薬指導のポイント．令和3年度薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20220222; Web.

山本ちひろ．泌尿器系のがん治療について．令和3年度薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20220303; Web.

助産師養成課程設置準備室

論　　文

〔原　著〕

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H. Maternal

folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Nishigori T, Obara T, Metoki H, Sakurai K, Mori M, Suzuki T, Ishikuro M, Tatsuta N, Saito M, Sugawara J, Arima T, Nakai K, Kuriyama S, Yaegashi N, Nishigori H. Validation of the Mother-to-Infant Bonding Scale for Infant Maltreatment by Mothers at One Month Postpartum: An Adjunct Study of the Japan Environment and Children's Study. JMA Journal. 202207; 5(3):366-369.

Nishigori T, Hashimoto K, Mori M, Suzuki T, Watanabe M, Imaizumi K, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Shinoki K, Yasumura S, Fujimori K, Nishigori H, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study Group. Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Developmental Origins of Health and Disease. 202207; 14(1):1-7.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on perinatal outcomes: results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey (【福島特集号　東日本大震災後の 10 年】東日本大震災の周産期予後に及ぼす影響　福島県県民健康調査における妊産婦に関する調査の結果). Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S57-S63.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of external radiation exposure on perinatal outcomes in pregnant women after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey (【福島特集号　東日本大震災後の 10 年】福島第一原子力発電所事故後の外部被ばくが妊婦における周産期予後に及ぼす影響　福島県県民健康調査). Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S104-S114.

Mori M, Ishii K, Goto A, Nakano H, Suzuki K, Ota M, Yasumura S, Fujimori K. Factors associated with smoking relapse among women in Japan from pregnancy to early parenthood. Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing : JOGNN. 202207; 51(4):428-440.

鈴木妙子，西郡秀和. 【成育基本法と医療的ケア児等支援法に基づく育児支援】成育基本法と妊産婦・子育て支援　父親の育児参加による児へのプラスの影響とその促進策. 周産期医学. 202211; 52(11):1520-1523.

清水川由美子. 緊急帝王切開の決定に関わる夫の分娩体験. 日本母子看護学会誌. 202202; 15(2):80-91.

書籍等出版物

Fujimori K, Ishii K, Yasuda S, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K, Kyozuka H, Murata T. Chapter 5 Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M editor. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London,

UK: Academic Press; 2022. p.81-98.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

森美由紀，西郡俊絵，小原拓，櫻井香澄，鈴木妙子，石黒真美，龍田希，齋藤昌利，菅原準一，有馬隆博，仲井邦彦，目時弘仁，栗山進一，八重樫伸生，西郡秀和．赤ちゃんに対する気持ち質問票を用いた、母親の乳児へのマルトリートメントに対するスクリーニングの有用性．第 18 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会; 20221022-23; Web.

〔シンポジウム〕

鈴木妙子．シンポジウム 1　今の時代に求められている、あるいは、発揮される父性のちから　2.“父性のちから”の発揮に繋がる周産期メンタルヘルスケア．第 18 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会; 20221022-23; Web.

大学健康管理センター

論　　文

〔原　著〕

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro M, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T, Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S95-S103.

本田教一，星野仁彦，板垣俊太郎．コロナ禍における東北各県の子どものメンタルヘルスを取り巻く現状　福島県の報告　コロナ禍が影響した児童思春期症例と教育場面での取り組みについて．松村総合病院医学雑誌. 202203; 36(1):8-16.

〔その他〕

板垣俊太郎．第 62 回日本児童青年精神医学会総会印象記．児童青年精神医学とその近接領域. 202206; 63(3):283-285.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

板垣俊太郎，佐々木太士，佐藤亜希子，一瀬瑞絵，佐藤彩，島村美帆，丹治良，千代田高明，三浦至，矢部博興．トゥレット症候群の改善に伴う抗精神病薬治療終結後に統合失調症を発症した一例．第 23 回東北児童青年精神医学会; 20220710; Web.

板垣俊太郎，島村美帆，千代田高明，赤間孝洋，和田知紘，横倉俊也，佐藤亜希子，松本貴智，増子博文，矢部博興．初発の双極性感情障害を発症した青年期症例を通じてコロナ禍による行動制限が 青少年に与えた影響を考察する．第 63 回日本児童青年精神医学会総会; 20221110-12; 松本/Web.

〔シンポジウム〕

板垣俊太郎．福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちの支援ー県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」よりー．第 127 回日本小児精神神経学会; 20220625; 白河.

板垣俊太郎．シンポジウム 15　発達障害と事象関連電位　大人の発達障害の事象関連電位．日本臨床神経生理学会第 52 回学術大会; 20221124-26; 京都.

〔特別講演〕

板垣俊太郎．成人期 ADHD の適切な診断と治療対応. Janssen Pro web セミナー; 20220729; Web.

板垣俊太郎．児童思春期における ADHD 診療について　ADHD 薬物治療を再考する. Tohoku ADHD Web カンファレンス; 20220831; Web.

〔招待講演〕

板垣俊太郎. 県民健康調査「ここから調査（こころの健康度・生活習慣に関する調査）」から見えてきた震災後の子どものメンタルヘルス. 令和 4 年度福島学院大学大学院附属心理臨床相談センター公開講座; 20220720; Web.

甲状腺検査室

論　　文

〔原　著〕

関野瑞希, **永田智子**. Readiness for Hospital Discharge Scale 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 日本健康学会誌. 202201; 88(1):24-35.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

志村浩己, **金子裕眠**, **高橋智里**, **山谷幸恵**, **岩舘学**, **松本佳子**, **鈴木眞一**. 甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

松本佳子, **鈴木眞一**, **山谷幸恵**, **塩功貴**, **立谷陽介**, **尾崎章彦**, **鈴木聡**, **中野恵一**, **岩舘学**, **水沼廣**. 福島での小児若年者甲状腺癌の再発について. 第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

〔シンポジウム〕

鈴木聡, **長嶺夏希**, **関野瑞希**, **鈴木悟**, **鈴木眞一**, **志村浩己**. 甲状腺内異所性胸腺の超音波所見と発見率. 日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520; 名古屋. 超音波医学. 49(Suppl.):S430.

山谷幸恵, **橋本優子**, **鈴木眞一**. 甲状腺領域の細胞診検体を用いた免疫染色. 第 63 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）; 20220610-12; 東京.

総合科学教育研究センター　人文社会科学系領域

論　　文

〔原　著〕

立柳聡. 隣保組と本分家集団はなぜ共伴できるのか　多摩源流域　山村の社会構造. 東洋大学大学院紀要社会学研究科. 202203; 58:1-17.

〔総説等〕

小泉利恵, **髙木修一**, **久保田恵佑**. 高校における「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価. 英語教育. 202208; 71(6):26-32.

〔その他〕

Kubota K, Yokouchi Y, Koizumi R. “Assessment Research for the Benefit of Humanity”: An Interview with Randy Thrasher and Yoshinori Watanabe. Language Assessment Quarterly. 2022; 19(3):314-334.

大川貴子, **三澤文紀**, **木島祐子**, **矢野絵梨佳**, **矢原隆行**. ZOOM を使っての遠隔セミナー「リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討」を開催して：学術活動. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202203; 24:17-20.

書籍等出版物

本多創史. 近代日本の優生学　〈他者〉像の成立をめぐって. 東京: 明石書店; 202201.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Yasuta T. Teaching speaking skills asynchronously: a manga-based approach in EFL classroom. 7th IAFOR International Conference on Education in Hawaii; 20220106-09; Honolulu, USA/Web.

Yasuta T. Virtual conversation in EFL classroom: A Manga-based approach during the pandemic. 3rd Asian Conference on Language; 20220325-27; Tokyo/Web.

Yasuta T. Manga-based approaches in EFL: For young adult learners in Japan. 3rd Kyoto Conference on Arts, Media & Culture; 20221017-20; Kyoto/Web.

大川貴子，矢原隆行，三澤文紀，木島祐子，金澤幸恵．メンタルヘルスにおけるリフレクティング・プロセスの可能性　ノルウェーでのメディケーションフリー・トリートメント&福島・熊本での実践研究. 2021 年度遠隔セミナー; 20220130; Web.

立柳聡．松澤の契約講ー今日的な構造と機能ー．房総史料調査会研究会; 20220713; 旭.

〔シンポジウム〕

立柳聡．社会福祉協議会がめざす“人づくりから地域づくり”への「福祉の学び」とボランティア学習の姿を共有する．第 25 回日本ボランティア学習学会島根大会; 20221127; 松江.

〔招待講演〕

立柳聡．子どもの学ぶ権利・生きる権利　学校づくりと地域を通して．第 71 次東京教研集会「学校づくりと地域」分科会; 20220213; 東京.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

立柳聡．東京都八丈町八丈小島第 1 次社会調査. 20220123-24. フィールドワーク．東京都八丈町全域.

立柳聡．東京都八丈町八丈小島第 2 次社会調査・民俗（族制）調査. 20220129-0202. フィールドワーク．東京都八丈町全域.

立柳聡．山梨県大月市鳥澤民俗（伝統食）調査. 20220320. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切民俗調査予備調査. 20220329. フィールドワーク.

立柳聡．千葉県旭市清和乙民俗（神幸祭）調査. 20220619. フィールドワーク.

立柳聡．千葉県旭市清和乙民俗（神幸祭）調査. 20220724. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切世帯調査予備調査. 20220820-21. フィールドワーク.

立柳聡．東京都新島村民俗調査予備調査. 20220826-28. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切世帯調査. 20220902-03. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切世帯・民俗（敬老会）調査. 20220918-19. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切世帯調査. 20221008-09. フィールドワーク.

立柳聡．長野県長野市小田切世帯調査. 20221106. フィールドワーク.

立柳聡. 長野県駒ケ根市民俗（伊那谷ぴんころ神社健康長寿祈願）調査. 20221119. フィールドワーク.

総合科学教育研究センター　自然科学系領域

論　　文

〔原　著〕

Honda K, Murakami M, Takebayashi Y, Sakuma J, Goto A. Uncertainty among families of patients with cerebrovascular diseases in Japan: association with quality of life and background characteristics. Aging Clinical and Experimental Research. 202212; 34(12):3097-3105.

Hoshi H, Iwasa H, Goto A, Yasumura S. Effects of working environments with minimum night lighting on night-shift nurses' fatigue and sleep, and patient safety. BMJ Open Quality. 202206; 11(1):e001638.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sanpei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Koizumi H, Tanabe M, Kambe T, Imaoka T, Chun W, Yamamoto K. Copper-bismuth Binary Oxide Clusters: An Efficient Catalyst for Selective Styrene Bisperoxidation. Chemistry Letters. 202203; 51(3):317-320.

Sachkouskaya A, Sharshakova T, Kovalevsky D, Rusalenko M, Savasteeva I, Goto A, Yokokawa H, Kumagai A, Takahashi J. Barriers to prevention and treatment of type 2 diabetes mellitus among outpatients in Belarus. Frontiers in Clinical Diabetes and Healthcare. 202201; 2:797857.

Tri MT, Khue NT, Khoa VT, Goto A. Patient views on quality of life and hospital care: results from a qualitative study among Vietnamese patients with diabetes. Frontiers in Communication. 2022; 7:894435.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. International Journal of Disaster Risk Reduction. 202201; 67:102694.

Machida M, Murakami M, Goto A. Differences in data trustworthiness and risk perception between bar graphs and pictograms. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202204; 19(8):4690.

Goto A, Lloyd Williams A, Okabe S, Koyama Y, Koriyama C, Murakami M, Yui Y, Nollet KE. Empowering children as agents of change to foster resilience in Community: Implementing "Creative Health" in primary schools after the Fukushima nuclear disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3417.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on perinatal outcomes: results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum mental health of mothers in Fukushima: insights from the Fukushima Health Management Survey (FHMS) 8-year trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S64-S75.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of external radiation exposure on perinatal outcomes in pregnant women after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S104-S114.

Kato T, Nakamura N, Yasui K. The simple type conjecture for mod 2 Seiberg–Witten invariants. Journal of European Mathematical Society. 202211; 25(12):4869-4877.

Mori M, Ishii K, Goto A, Nakano H, Suzuki K, Ota M, Yasumura S, Fujimori K. Factors associated with smoking relapse among women in Japan from pregnancy to early parenthood. Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing. 202207; 51(4):428-440.

Nihei K, Tokita S, Yamashiro H, Ting VGS, Nakayama R, Fujishima Y, Kino Y, Shimizu Y, Shinoda H, Ariyoshi K, Kasai K, Abe Y, Fukumoto M, Nakata A, Miura T. Evaluation of sperm fertilization capacity of large Japanese field mice (Apodemus speciosus) exposed to chronic low dose-rate radiation after the Fukushima accident. Journal of Radiation Research and Applied Sciences. 202209; 15(3):186-190.

Hoshi K, Kanno M, Abe M, Murakami T, Ugawa Y, Goto A, Honda T, Saito T, Saido TC, Yamaguchi Y, Miyajima M, Furukawa K, Arai H, Hashimoto Y. High Correlation among brain-derived major protein levels in cerebrospinal fluid: implication for amyloid-beta and tau protein changes in Alzheimer's disease. Metabolites. 202204; 12(4):355.

Tanabe M, Nakamura Y, Niwa T, Sakai M, Kaneko A, Toi H, Okuma K, Tsuchido Y, Koizumi T, Osakada K, Ide T. Di- and Trinuclear Complexes of Pd(0) and Pt(0) with Bridging Silylene Ligands: Structures with a Coordinatively Unsaturated Metal Center and Their Reactions with Alkynes. Organometallics. 202211; 41(22):3301-3312

Takahashi Y, Kanai Y, Chishiki M, Goto A, Imamura T. Neonatal reticulocytes among preterm infants of small for gestational age. Pediatrics and Neonatology. 202209; 63(5):462-467.

Yoshida K, Kamijo T, Ono T, Dairaku T, Takahashi S, Kashiwagi Y, Sato K. Electrical Stimuli-Responsive Decomposition of Layer-by-Layer Films Composed of Polycations and TEMPO-Modified Poly(acrylic acid). Polymers. 202212; 14(24):5349.

Yoshida K, Nakamura K, Hoshi G, Kanke S, Goto A, Kassai R. Primary health care practitioners' perception of patient loneliness in Japanese older adults: a cross-sectional study. Social Science & Medicine – Population Health. 202206; 19:101143.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an application for sustainable support of returning residents displaced by the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202206; 290:1074-1075.

今泉光雅，鈴木俊彦，池田雅一，松塚崇，後藤あや，大森孝一. Secondary Publication　高齢者施設において調査票でスクリーニングした嚥下障害例に対する嚥下内視鏡評価. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 202201; 125(1):78-79.

佐藤博子，後藤あや，村上道夫，川端康浩. 乳幼児の母親による「乳幼児スキンチェック」と生活の質(QOL)の関連　一施設横断調査. 日本小児皮膚科学会雑誌. 202202; 41(1):43-50.

佐藤勝彦，熊野征行，杉山恭子，小松祥子，渡邉一弘，今橋良太，小野哲也，吉田健太郎，大樂武範，藤村務，柏木良友. フェノール側鎖を有するニトロキシルラジカル前駆体の水溶液中での電気化学的重合とその電気化学的分析への応用. 分析化学. 202203; 71(3):191-196.

〔総説等〕

神戸徹也，田辺真，葛目陽義，山元公寿. 主要族元素を含むサブナノおよびナノ構造体の精密合成と機能. Bulletin of Japan Society of Coordination Chemistry. 202212; 80:68-71.

田辺真. 多元素合金ナノ粒子の合成と触媒への展開. Organometallics News. 202205; 2:53.

村上道夫，大沼進，柴田侑秀，高田モモ，小林智之，後藤あや，保高徹生. 対象者の協力を必要とする調査に関する注意事項と対応方法について. リスク学研究. 202203; 32(3):243-249.

後藤あや. グローバルヘルスの現場力（Vol.5）母と子の声に応えて　自分のいる場とグローバルの場の重なり. 医学のあゆみ. 202209; 282(13):1159-1162.

田辺真. 医学部における化学教育の取り組み. 化学と工業. 202210; 75(10):755.

後藤あや. ヘルスリテラシー：健康に関する情報を使う力・伝える力. 小児禁煙研究会雑誌. 202210; 12(2):33-37.

田辺真，山元公寿. 精密多元素合金サブナノ粒子の合成と触媒への展開. 触媒. 202204; 64(2):66-72.

開康一. NMR 概論. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 202212; 11:1-8.

〔研究報告書〕

Fujishima Y, Abe Y, Ting VGS, Nakayama R, Takebayashi K, Nakata A, Ariyoshi K, Thanh MT, Kasai K, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 1. Blood Collection and Its Management. Radiation Environment and Medicine. 202202; 11(1):25-33.

Kasai K, Abe Y, Ting VGS, Thanh MT, Fujishima Y, Nakayama R, Takebayashi K, Nakata A, Ariyoshi K, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 2. Biosafety and Chemical Safety in Biodosimetry Laboratory. Radiation Environment and Medicine. 202202; 11(1):34-39.

Nakata A, Ariyoshi K, Abe Y, Fujishima Y, Ting VGS, Nakayama R, Takebayashi K, Thanh MT, Kasai K, Yoshida MA, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 3. The Basics of Chromosomes for Biodosimetry. Radiation Environment and Medicine. 202208; 11(2):82-90.

Nakayama R, Abe Y, Ting VGS, Takebayashi K, Thanh MT, Fujishima Y, Nakata A, Ariyoshi K, Kasai K, Anderson D, Hanada H, Yoshida MA, Ito K, Miura T. Cytogenetic Biodosimetry in Radiation Emergency Medicine: 4. Overview of Cytogenetic Biodosimetry. Radiation Environment and Medicine. 202208; 11(2):91-103.

書籍等出版物

Lloyd Williams A, Goto A. Chapter 12 Theatres of Resilience: Children as Actors in Community Development in Fukushima. In: Abeysinghe S, Leppold C, Ozaki A, Lloyd Williams A. Health, Wellbeing and Community Recovery in Fukushima. Abingdon, UK: Routledge; 202206. p.155-170.

Goto A, Suzuki K, Koriyama C. Chapter 18 A mother's work is to worry: accepting maternal concerns during a health crisis. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M editor. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London, UK: Academic Press; 2022. p.319-329.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

飯島隆輔，フダミフタフル，田辺真，山元公寿．三元素サブナノ合金粒子を基盤とした酸化触媒の開発．日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

入内嶋貴洋，園部量崇，田辺真，山元公寿．銅-貴金属合金サブナノ粒子の触媒機能評価．日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

森合達也，塚本孝政，田辺真，神戸徹也，今岡享稔，山元公寿．ニッケルサブナノ粒子の精密合成と温室効果

ガス変換反応触媒への応用. 日本化学会第 102 春季年会; 20220323; Web.

森合達也, **塚本孝政**, **田辺真**, **神戸徹也**, **今岡享稔**, **山元公寿**. Ni クラスター触媒による温室効果ガス変換反応. ナノ学会第 20 回大会; 20220520; Web.

佐藤博子, **渡邊美恵子**, **武村雪絵**, **後藤あや**. 看護師の職務継続意思と全般的職務満足度との関連　一病院における横断研究. 福島医学会学術研究集会; 20220526; 福島.

有吉健太郎, **藤嶋洋平**, **葛西宏介**, **三浦富智**, **中田章史**, **吉田光明**. Induction of Myc Overexpression and Genomic Instability in Artificial Human Aneuploid Cells. 日本放射線影響学会第 65 回大会; 20220915-17; 大阪.

飯島隆輔, **田辺真**, **山元公寿**. デンドリマーを多元素集積鋳型とするサブナノ粒子の精密合成と高活性酸化 触媒の開発. 令和 4 年度化学系学協会東北大会; 20220917; 盛岡.

Sasaki M, Takeda K. A New Type of Abnormal Michael Reaction: Formation of Cyclopentenecarboxylate by the Reaction of 7-Bis(alkoxycarbonyl)-2-heptenoate with a Base. 令和 4 年度化学系学協会東北大会; 20220917-18; 盛岡.

田辺真, **小坂田耕太郎**. ケイ素橋架け多核金属錯体の合成と触媒への応用. 第 26 回ケイ素化学協会シンポジウム; 20221111; 静岡/Web.

柴田恭子, **安達隆**. いきいき百歳体操による身体機能改善効果に関する一考察. 日本体操学会第 22 回学会大会; 20221112-13; 東京.

〔シンポジウム〕

Goto A. Beyond radiation anxiety and country borders: applying health literacy in the field after the Fukushima nuclear accident. ICRP 2021+1 6th International Symposium on the System of Radiological Protection; 20221109; Vancouver, Canada/Web.

Goto A. Applying the two pillars of health literacy after the Fukushima nuclear accident. IAEA Technical Meeting “The importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society”; 20221103; Mol, Belgium/Web.

Goto A. Applying health literacy in the field and at school after the Fukushima nuclear accident. IAEA Consultancy Meeting “The importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society”; 20220622; Fukushima/Web.

開康一. 1 次元物質 HMTSF-TCNQ の（異常）反磁性と CDW. 日本物理学会第 77 回年次大会; 20220315-19; Web.

Goto A. 世界と日本：コロナに係る子どもの倫理的問題への解決策　母親のレジリエンス　住民参画の倫理（Ethical challenges and solutions of COVID-19 for children in Japan and around the world A mother's work is to worry: The ethics of engagement）. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220417; 福島. 日本小児科学会雑誌.

126(2):186.

藤森敬也，経塚標，安田俊，村田強志，後藤あや，安村誠司. 県民健康調査　11 年の総括　県民健康調査「妊産婦に関する調査」ならびに自然流産・人工妊娠中絶率の変化. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220417; 福島. 日本小児科学会雑誌. 126(2):203.

後藤あや. 成育基本法の推進ツールとしてのロジックモデル. 第 69 回日本小児保健協会学術集会; 20220624-26; 津/Web.

〔特別講演〕

後藤あや. ヘルスリテラシー　健康情報を使う力、伝える力. 第 11 回日本小児禁煙研究会学術集会; 20220313; 名古屋. 日本小児禁煙研究会雑誌,12(1):13.

〔招待講演〕

田辺真. 反応性金属クラスターの合成と触媒開発へのアプローチ. 第 39 回無機・分析化学コロキウム; 20220528; 仙台/Web.

大樂武範. メタロ塩基対の構造・物性・応用. 令和 4 年度日本薬学会東北支部主催　第 10 回物理・分析系若手研究者セミナー; 20221119; Web.

医療人育成・支援センター

論　　文

〔原　著〕

Yasui K, Stanyon M, Moroi Y, Aoki S, Yasuda M, Otani K, Shikama Y. Deconstructing barriers to support Japanese students in group discussion. Asia Pacific Scholar. 202210; 7(4):73-75.

Horiuchi S, Iwano S, Aoki S, Sakano Y. Unwinding on the Weekend from Work-Related Stress: Moderating Effect of Weekday Psychological Stress on the Relationship between Increased Recovery Experience and Reduction of Psychological Stress on the Weekend. Behavioral Sciences. 202205; 12(6):163.

Oikawa S, Iida J, Ito Y, Nishigori H. Cultivating cultural awareness among medical educators by integrating cultural anthropology in faculty development: an action research study. BMC Medical Education. 202203; 22(1):196.

Aoki S, Shikama Y, Yasui K, Moroi Y, Sakamoto N, Suenaga H, Tang Z, Yasuda M, Chiba Y, Stanyon M, Otani K. Optimizing simulated interviews and feedback to maximize medical students' self-efficacy in real time. BMC Medical Education. 202206; 22(1):438.

Hijikata Y, Kamitani T, Sekiguchi M, Otani K, Konno S, Takegami M, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association of kyphotic posture with loss of independence and mortality in a community-based prospective cohort study: the Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS). BMJ Open. 202205; 12(3):e052421.

Deng K, Tsuda A, Horiuchi S, Aoki S. Processes of change, pros, cons, and self-efficacy as variables associated with stage transitions for effective stress management over a month: a longitudinal study. BMC Psychology. 202205; 10(1):122.

Jujo S, I Sakka B, J Lee-Jayaram J, Kataoka A, Izumo M, Kusunose K, Nakahira A, Oikawa S, Kataoka Y, W, Berg B. Medical Student Medium-Term Skill Retention Following Cardiac Point-of-Care Ultrasound Training Based on the American Society of Echocardiography Curriculum Framework. Cardiovascular Ultrasound. 202210; 20(1):26.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Development of a Novel Diagnostic Support Tool for Degenerative Cervical Myelopathy Combining 10-s Grip and Release Test and Grip Strength: A Pilot Study. Diagnostics. 202208; 12(9):2108.

Ito N, Yoshida S, Sato M, Yasui K, Sonoda Y, Tsubokura M. COVID-19 Vaccination in a Former Fukushima Nuclear Accident Evacuation Area: COVID-19 Vaccination for Former Evacuees. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202212; 17:e321.

Toyomoto R, Sakata M, Yoshida K, Luo Y, Nakagami Y, Iwami T, Aoki S, Irie T, Sakano Y, Suga H, Sumi M, Ichikawa H, Watanabe T, Tajika A, Uwatoko T, Sahker E, Furukawa TA. Validation of the Japanese Big Five Scale Short Form in a University Student Sample. Frontiers in Psychology. 202206; 13:862646.

Watanabe T, Otani K, Sekiguchi M, Konno S. Relationship between lumbar disc degeneration on MRI and low back pain: A cross-sectional community study. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):97-107.

Yamakuni R, Ishikawa H, Hasegawa O, Sekino H, Ishii S, Otani K, Ito H. Cauda equina movement during the Valsalva maneuver in two patients with Lumbar spinal canal stenosis. Fukushima Journal of Medical Science. 202208; 68(2):135-141.

Handa J, Otani K, Nikaido T, Kikuchi S, Konno S. Nocturnal Leg Cramps and Lumbar Spinal Stenosis: A Cross-Sectional Study in the Community. International Journal of General Medicine. 202211; 15:7985-7993.

Oikawa S, Stanyon M, Aoki S, Moroi Y, Yasui K, Yasuda M, Kawai T, Shikama Y, Otani K. Breaking barriers: widening participation for cross-cultural faculty development in Japan. International Journal of Medical Education. 202206; 13:154-157.

Hiratsuka Y, Ono K, Takesue A, Sadamatsu Y, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Fukuhara S, Murakami A. The prevalence of uncorrected refractive error in Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. Japanese Journal of Ophthalmology. 202203; 66(2):199-204.

Morimoto T, Kobayashi T, Hirata H, Otani K, Sugimoto M, Tsukamoto M, Yoshihara T, Ueno M, Mawatari M. XR (Extended Reality: Virtual Reality, Augmented Reality, Mixed Reality) Technology in Spine Medicine: Status Quo and Quo Vadis. Journal of Clinical Medicine. 202201; 11(2):470.

Kobayashi T, Morimoto T, Otani K, Mawatari M. Locomotive Syndrome and Lumbar Spine Disease: A Systematic Review. Journal of Clinical Medicine. 202202; 11(5):1304.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Takahashi S, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Hirai T, Yoshii T, Okawa A. Factors Contributing to Residual Low Back Pain after Osteoporotic Vertebral Fractures. Journal of Clinical Medicine. 202203; 11(6):1566.

Morimoto T, Hirata H, Otani K, Nakamura E, Miyakoshi N, Terashima Y, Wada K, Kobayashi T, Murayama M, Tsukamoto M, Mawatari M. Vertebral Osteomyelitis and Infective Endocarditis Co-Infection. Journal of Clinical Medicine. 202204; 11(8):2266.

Otani K, Kikuchi S, Nikaido T, Konno S. Magnitude of Dural Tube Compression Still Does Not Show a Predictive Value for Symptomatic Lumbar Spinal Stenosis for Six-Year Follow-Up: A Longitudinal Observation Study in the Community. Journal of Clinical Medicine. 202206; 11(13):3668.

Igari T, Otani K, Sekiguchi M, Konno S. Epidemiological Study of Lumbar Spinal Stenosis Symptoms: 10-Year Follow-Up in the Community. Journal of Clinical Medicine. 202210; 11(19):5911.

Iwano S, Kambara K, Aoki S. Psychological Interventions for Well-Being in Healthy Older Adults: Systematic Review and Meta-Analysis. Journal of Happiness Studies. 202206; 23(5):2389-2403.

Oikawa S, Donkers J. Assessment of teamwork in interprofessional education. Journal of Interprofessional Care. 202207; 36(4):574-581.

Yokota T, Otani K, Handa J, Nikaido T, Kojima T, Sato N, Konno S. Bow hunter's syndrome: temporary obstruction of blood flow in the affected vertebral artery during posterior occipitocervical fusion. Illustrative case. Journal of Neurosurgery. 202212; 4(24):CASE22428.

Kobayashi T, Morimoto T, Otani K. Comment on Yamada et al.: Reference values for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20–89 years: A cross-sectional nationwide study in Japan. Journal of Orthopaedic Science. 202209; 27(5):1164-1165.

Morimoto T, Hirata H, Ueno M, Fukumori N, Sakai T, Sugimoto M, Kobayashi T, Tsukamoto M, Yoshihara T, Toda Y, Oda Y, Otani K. Digital Transformation Will Change Medical Education and Rehabilitation in

Spine Surgery. Medicina. 202204; 58(4):508.

Yoshida Y, Ono K, Tano T, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A. Corneal Eccentricity in a Rural Japanese Population: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). Ophthalmic Epidemiology. 202210; 29(5):531-536.

Tsukamoto M, Morimoto T, Kobayashi T, Muranaka K, Yoshihara T, Maeda K, Sonohata M, Kasai Y, Otani K, Mawatari M. The relationship between traction spurs, Modic change, vacuum phenomenon, and segmental instability of the lumbar spine. Scientific Reports. 202212; 12(1):9939.

Ono R, Takegami M, Yamamoto Y, Yamazaki S, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. Impact of lumbar spinal stenosis on metabolic syndrome incidence in community-dwelling adults in Aizu cohort study (LOHAS). Scientific Reports. 202207; 12(1):11246.

唐尊一，坂本信雄，色摩弥生，大谷晃司. 臨床実習における学生の目標到達度新評価システム　利用状況とユーザー教員から見た導入の効果. 福島医学雑誌. 202204; 72(1):11-21.

過年業績

Nakamura M, Otani K, Kaneko Y, Sekiguchi M, Konno S. The Relationship between Exercise-Induced Low Back Pain, the Fat Infiltration Rate of Paraspinal Muscles, and Lumbar Sagittal Balance. Spine Surgery and Related Research. 202111; 6(3):261-270.

〔総説等〕

兼子陽太，二階堂琢也，大谷晃司，紺野愼一. 【整形外科画像診断・評価の進歩】X 線検査　腰痛と X 線学的指標. 整形外科. 202205; 73(6):502-507.

〔その他〕

染谷真紀，松井智子，錦織宏，及川沙耶佳. 小児集中治療に携わる医師に求められる能力とその評価ーThe American Board of Pediatrics による小児集中治療医 EPA の日本語翻訳ー. 医学教育. 202202; 53(1):110-111.

及川沙耶佳，木村武司，錦織宏. 「医学教育研究室の抄読会から」（第 13 回）「メディアリテラシーを学ぶ」. 医学教育. 202206; 53(3):270-273.

武田裕子，日高優，三苫博，安川康介，里光やよい，春田淳志，宮田靖志，諸井陽子，石川和信. J-STAGE ダウンロード数年間トップ 20（2021 年 9 月～2022 年 8 月）掲載. 医学教育. 202212; 53(6):538-555.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Eto Y, Sato E, Oikawa S, Ouchi G, Berg BW. COVID Adaptation of an Established International Faculty Development Course. 22nd International Meeting on Simulation in Healthcare (IMSH 2022); 20220115-19; Los Angeles, USA.

Sato E, Eto Y, Oikawa S, Luthe SK, Ouchi G, Nakahira A, Naka T, Berg BW. PEARLS-J. Promoting Excellence and Reflective Learning in Simulation Debriefing Tool; bilingual translator vs DeepL® machine back-translation discrepancies in translation and cultural adaptation for Japan from a focus group interview. 22nd International Meeting on Simulation in Healthcare (IMSH 2022); 20220115-19; Los Angeles, USA.

Kaneko Y, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Nakamura M, Kobayashi K, Konno S. Radiographic parameters for the lumbar spine of L1 axis sacral distance and sacral slope angle are associated with low back pain. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi Y, Yabuki S, Konno S. Multidimensional evaluation of the effects of psychosocial factors on postoperative lumbar spinal stenosis -A 3-year retrospective cohort study using the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ). ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Facet joint degeneration preceding the intervertebral disc: an epidemiological study in the community. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Facet joint osteoarthritis and low back pain: an epidemiological study in the community. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Kobayashi K, Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Watanabe T, Konno S. Prevalence of facet joint degeneration preceding the intervertebral disc: an epidemiological study in community. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Kobayashi Y, Sekiguchi M, Otani K, Yabuki S, Konno S. Mid-term clinical results of spinal endoscopic decompression for lumbar degenerative spondylolisthesis with spinal stenosis: Does facet joint orientation affect the postoperative results? ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Otani K, Sekiguchi M, Tominaga R, Konno S. Can Wall-Occiput distance and Rib-Pelvis distance be used to assess sagittal spinal alignment? ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Watanabe K, Otani K, Sekiguchi M, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Tominaga R, Konayashi Y, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Sagittal imbalance and need for future care in elderly adults: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Watanabe T, Otani K, Kobayashi K, Sekiguchi M, Konno S. Natural history of the lumbar facet joint angle

and onset of spondylolisthesis over 10 years. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Yokota T, Kato K, Otani K, Sekiguchi M, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Tominaga R, Konno S. Associations between treatment and health-related quality of life in patients with symptomatic lumbar spinal stenosis: a retrospective propensity score-matched analysis in the Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study (LOHAS) database. ISSLS Annual Meeting 2022; 20220509-13; Boston, USA.

Stanyon M, Shikama Y, Moula Z, Horsburgh J, Parekh R, Oikawa S, Yasuda M, Otani K. The culturally constructed face of professionalism: International Japan-UK Q-method study update. An International association for Health Professions Education (AMEE) 2022; 20220831; Lyon, France/Web.

Oikawa S, Stanyon M, Aoki S, Moroi Y, Yasui K, Yasuda M, Kawai T, Shikama Y, Otani K. Breaking language and cultural barriers for participation - cross-cultural Faculty Development for the recognition of unprofessional behavior in Japan -. An International association for Health Professions Education (AMEE) 2022; 20220830; Lyon, France/Web.

小林良浩，渡邉和之，小林洋，加藤欽志，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一．脊髄クモ膜下麻酔下手術後に馬尾障害の悪化が認められた腰部脊柱管狭窄の１例．第 32 回東北脊椎外科研究会; 20220122; Web．東北整形災害外科学会雑誌. 65(1):256.

中野優，渡邉和之，小林良浩，小林洋，加藤欽志，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一．ムコ多糖症に合併した腰部脊柱管狭窄の治療経験　一例報告．第 32 回東北脊椎外科研究会; 20220122; Web．東北整形災害外科学会雑誌. 65(1):256.

大槻紀亜良，渡邉和之，小林良浩，小林洋，加藤欽志，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一．大動脈解離を合併したびまん性特発性骨増殖症に伴う胸椎骨折の治療経験　１例報告．第 32 回東北脊椎外科研究会; 20220122; Web．東北整形災害外科学会雑誌. 65(1):267-268.

小林良浩，渡邉和之，小林洋，加藤欽志，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一．脊髄クモ膜下麻酔下手術後に馬尾障害の悪化が認められた腰部脊柱管狭窄症の１例．第 44 回福島脊椎脊髄疾患研究会; 20220326; Web.

中野優，渡邉和之，小林良浩，小林洋，加藤欽志，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一．ムコ多糖症に合併した腰部脊柱管狭窄症の治療経験－１例報告－．第 44 回福島脊椎脊髄疾患研究会; 20220326; Web.

渡邉和之，大谷晃司，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，小林良浩，富永亮司，関口美穂，矢吹省司，紺野慎一．成人脊柱変形における代償性変化とうつと関連　Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study(LOHAS)．第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):236.

兼子陽太，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，小林賢司，中村正隆，紺野慎一．腰椎 X 線学的指標である L1 軸仙椎間距離と仙骨傾斜角は腰痛と関係する　南会津スタディ．第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):242.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，渡邉剛広，紺野慎一．腰椎椎間板に先行した椎間関節変性に関連

する背景因子の検討　南会津スタディ. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):319.

小林洋，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林良浩，矢吹省司，紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄は認知症発症のリスク因子である　運動器検診と介護保険シ ステムのデータを用いた前向きコホート研究　LOHAS study. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):399.

大谷晃司，菊地臣一，関口美穂，紺野慎一. 一般住民における腰部脊柱管狭窄症と腰痛との関係（第 2 報）. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):508.

富永亮司，栗田宜明，二階堂琢也，関口美穂，大谷晃司，岩渕真澄，白土修，福原俊一，紺野慎一. 脊柱矢状面アライメントと腰痛特異的 QOL との用量反応関係. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):520.

大谷晃司，関口美穂，富永亮司，紺野慎一. 壁－後頭距離（Wall-Occiput distance）や肋骨－骨盤距離（Rib-Pelvis distance）は、矢状面脊柱アライメント評価に使用可能か？ 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜. Journal of Spine Research. 13(3):521.

小林孝巨，森本忠嗣，島ノ江千里，小野玲，大谷晃司，馬渡正明. 併存疾患はロコモ 25 スコアとロコモの診断率を増加させる. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(2):S118.

小林洋，大谷晃司，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林良浩，矢吹省司，紺野慎一. 頸椎内視鏡下椎弓切除術による QOL の改善効果 頸椎症性脊髄症における選択 的後方除圧術との比較. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(2):S228.

吉原智仁，森本忠嗣，塚本正紹，大谷晃司，園畑素樹，馬渡正明. ロコモティブシンドロームとメタボリックシンドロームの相互関係についての探索的検討. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(2):S299.

大谷晃司，紺野慎一，関口美穂，小野玲，村田峻輔，内田一彰. ロコモティブシンドロームにおける BMI の意義 地域在住住民 2735 名に対する検討. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(2):S299.

渡邉和之，大谷晃司，関口美穂，二階堂琢也，加藤欽志，小林洋，富永亮司，小林良浩，矢吹省司，菊地臣一，紺野慎一. 地域住民における脊椎骨盤パラメーターと新規要介護との関連　LOHAS. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(3):S581.

小林孝巨，森本忠嗣，小野玲，大谷晃司，馬渡正明. 握力はロコモティブ症候群の予測に役立つのか. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(3):S910.

大谷晃司，菊地臣一，関口美穂，紺野慎一. 壁－後頭距離（Wall-occiput distance）や助骨－骨盤距離（rib-pelvis distance）は、骨粗鬆症検診に使用可能か. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸. 日本整形外科学会雑誌. 96(3):S917.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，富永亮司，渡邉剛広，紺野愼一．腰椎椎間板に先行した椎間板変性と腰痛との関連の検討　南会津スタディ．第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519-22; 神戸．日本整形外科学会雑誌. 96(3):S1065.

Stanyon M，及川沙耶佳，色摩弥生，諸井陽子，安田恵，青木俊太朗，安井清孝，Tang Z，川井巧，中村光毅，大谷晃司. A LINE-based medical escape room to facilitate team skills in English during COVID-19. 第 54 回日本医学教育学会大会; 20220806; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):127.

Stanyon M，色摩弥生，Moula Z, Horsburgh J, Parekh R，及川沙耶佳，安田恵，大谷晃司. The culturally constructed face of professionalism: International Japan-UK Q-method study update. 第 54 回日本医学教育学会大会; 20220805-06; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):134.

安田恵，色摩弥生，川井巧，青木俊太郎，及川沙耶佳，中村光輝，大谷晃司．ドキュメンタリー動画を取り入れたコロナ禍での地域体験実習代替授業. 第 54 回日本医学教育学会大会; 20220805-06; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):150.

色摩弥生，青木俊太郎，諸井陽子，大谷晃司．授業時間内に学習者の思考を把握し対応したオンライン“基礎臨床統合ー反転授業”．第 54 回日本医学教育学会大会; 20220805-06; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):182.

青木俊太郎，竹林由武，色摩弥生，大谷晃司．コミュニケーション講義が医学生のコミュニケーションを行う自信に与える影響の性差. 第 54 回日本医学教育学会大会; 20220805-06; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):189.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，紺野愼一．地域住民の腰椎椎間関節変性発生のリスク因子の検討　11 年フォローアップ　南会津スタディ．第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013-14; 宮崎．日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1581.

小林賢司，大谷晃司，関口美穂，兼子陽太，紺野愼一．一般住民における腰椎椎間関節変性と腰椎単純 X 線アライメント評価項目と の関連　南会津スタディ．第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013-14; 宮崎．日本整形外科学会雑誌. 96(8):S1848.

横田武尊，加藤欽志，富永亮司，関口美穂，二階堂琢也，大谷晃司，栗田宣明，福原俊一，紺野愼一．腰部脊柱管狭窄に対する保存療法と自然経過との比較 Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study (LOHAS). 第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 14(4):S51.

横田武尊，加藤欽志，富永亮司，関口美穂，二階堂琢也，大谷晃司，栗田宣明，福原俊一，紺野愼一．腰部脊柱管狭窄に対する保存療法が健康関連 QOL に与える効果についての検討　Locomotive syndrome and health outcome in Aizu cohort study(LOHAS). 第 44 回日本疼痛学会; 20221202-03; 岐阜. PAIN RESEARCH. 37(4):241.

〔シンポジウム〕

Chandratilake MN, Charnetski M, Oikawa S. EID in Simulation-Based Education. 15th International

Medical Education Conference; 20221015; Kuala Lumpur, Malaysia.

Ashokka B, Oikawa S, Narendiran K. Cultural considerations for optimizing outcomes of interprofessional simulations. 5th Saudi Health Simulation Conference; 20221108; Riyadh, Saudi Arabia.

諸井陽子. 医療系学生・医療系専門職が引き起こしたSNSモラルハザード事例. 第54回日本医学教育学会大会; 20220805-06; 高崎. 医学教育. 53(Suppl.):72.

〔特別講演〕

大谷晃司. 運動器難治性疼痛治療の実際ー神経障害性疼痛を含むー. 福島整形外科ミーティング; 20220702; 郡山.

大谷晃司. 私の運動器難治性疼痛治療ー神経障害性疼痛を含むー. 痛み・シビレを考える; 20220920; 盛岡.

大谷晃司. 難治性腰痛の病態と治療. 脊椎疾患と痛みを考えるWebセミナー; 20221031; 郡山.

看護師特定行為研修センター

論　文

〔総説等〕

國分希美，岡田良，西間木淳，月田茂之，武藤亮，鈴志野聖子，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 肝移植後に橋中心髄鞘崩壊症を発症した患者に対する包括的ケアにおけるレシピエントコーディネーターの役割. 移植. 202205; 57(1):119-124.

西間木淳，佐藤直哉，武藤亮，木村隆，見城明，丸橋繁. 鏡視下に切除した胆嚢管原発神経鞘腫の1例. 日本内視鏡外科学会雑誌. 202203; 27(2):78-84.

岡田良，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，渡邊淳一郎，武藤亮，鈴志野聖子，月田茂之，西間木淳，東孝泰，小鹿山陽介，土佐太朗，木村隆，見城明，丸橋繁. 腹腔鏡補助下膵切除により完全切除できた若年性多発膵インスリノーマの1例. 福島医学雑誌. 202204; 72(1):23-29.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Nishimagi A, Sato N, Tsukida S, Muto M, Haga J, Kofunato Y, Ishigame T, Kimura T, Kenjo A, Marubashi

S. Metachronous Double De Novo Malignancy After Living Donor Liver Transplantation: A Case Report. Transplantation ScienceSymposium Asian Regional Meeting 2022; 20221125-26; Kyoto.

Sato N, Nishimagi A, Kenjo A, Kofunato Y, Kofunato T, Haga J, Muto M, Tsukida S, Marubashi S. Central Pontine Myelinolysis After Liver Transplantation; A Case Report. Transplantation ScienceSymposium Asian Regional Meeting 2022; 20221125-26; Kyoto.

土佐太朗，石亀輝英，小鹿山陽介，西間木淳，月田茂之，小林拓史，渡邊淳一郎，阿左見亜矢佳，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，鈴木伸康，木村隆，佐藤値，見城明，阿部幹，寺西寧，丸橋繁．膵 Solid-pseudopapillary neoplasm の２例．第 56 回東北膵臓研究会; 20220204; Web.

石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．肝胆膵移植外科における若手医師育成の課題と当講座の取り組み．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

大関篤，岡田良，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁．膵 ACTHoma の一切除例．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

見城明，岡田良，石亀輝英，小船戸康英，木村隆，丸橋繁．医師の働き方改革：消化器領域における特定看護師との協働の可能性について．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

土佐太朗，石亀輝英，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．大腸癌肝転移の染色パターンを呈した肝内胆管粘液癌の一例．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

森友輔，佐藤直哉，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．出血制御を目的とした術前動脈塞栓を用いて安全に切除し得た巨大小腸 GIST の 1 例切除．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

見城明，丸橋繁，遠藤俊吾，鈴木弘行．特定行為研修修了者に関する医師・看護師を対象とした院内意識調査ータスク・シフトの促進にむけた課題と対応策の検討ー．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

佐藤直哉，鈴志野聖子，岡田良，石亀輝英，小船戸康英，渡邊淳一郎，月田茂之，西間木淳，木村隆，見城明，丸橋繁．解剖学的肝切除における術中残肝 ICG クリアランス測定を用いた術後肝不全予測．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

月田茂之，岡田良，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁．膵癌に対する膵頭十二指腸切除術後の胆管炎発症リスクの検討．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

渡邊淳一郎，西間木淳，月田茂之，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．切除可能・切除可能境界膵癌に対する術前治療における治療前 CA19-9 の意義．第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

山口大輝，佐藤直哉，土佐太朗，西間木淳，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．脾転移を伴った肝細胞癌の切除例．第 58 回日本肝癌研究会; 20220512-13; 東京/Web.

石亀輝英，武藤亮，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．悪性褐色細胞腫肝転移に対し水圧式ナイフを用いて安全に肝切除を行った 1 例．第 76 回手術手技研究会; 20220520-21; 佐賀/Web.

土佐太朗，小船戸康英，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．1cm 以下の非機能性 NET の治療方針．第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

西間木淳，小船戸康英，渡邊淳一郎，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．転移性胆膵腫瘍に対する外科的切除の有用性．第 8 回日本臨床外科学会　福島支部学術集会; 20220528; Web.

渡邊淳一郎，西間木淳，月田茂之，武藤亮，佐藤直哉，小船戸康英，芳賀淳一郎，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁．再発肝癌に対して腹腔鏡下再肝切除術を行った 4 例．福島肝胆膵外科セミナー; 20220604; Web.

Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. The relationship between perioperative nutritional indicators and prognosis in pancreatic head region cancer. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukita S, Muto M, Suzushino S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. An institutional experience of simultaneous pancreas-kidney transplantation. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine neoplasms in pancreas: A report of two cases. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Kusama D, Ishigame T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Intracholecystic papillary neoplasm with pancreaticobiliary maljunction: a case report. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Nishimagi A, Kenjo A, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. Peripheral intrahepatic cholangiocarcinoma with biliary tumor thrombus extending into the common bile duct; a case report. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Sato N, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Construction of tissue-engineered islet cell sheet supplemented with adipose-derived stem cells. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

Watanabe J, Tosa T, Nishimagi A, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Evaluation of adjuvant chemotherapy after curative resection for extrahepatic bile duct cancer. 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20220610-11; 松山.

芳賀淳一郎，見城明，木村隆，石亀輝英，小船戸康英，佐藤佳宏，渡邊淳一郎，武藤亮，月田茂之，西間木淳．腹腔鏡下手術を施行した未破裂脾動脈瘤の 2 例．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会; 20220701; 山形/Web.

佐藤直哉，見城明，西間木淳，石亀輝英，小船戸康英，渡辺淳一郎，武藤亮，月田茂之，木村隆，丸橋繁．MR elastography を用いた移植肝グラフトの線維化診断．第 40 回日本肝移植学会学術集会; 20220707-08; 東京/Web.

西間木淳，佐藤直哉，見城明，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，丸橋繁．生体肝移植術後 de novo 上皮内有棘細胞癌の 1 例．第 40 回日本肝移植学会学術集会; 20220707-08; 東京/Web.

佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，土佐太郎，木村隆，見城明，丸橋繁．1 型糖尿病に対する膵島移植 update～実施に向けた福島医大の取り組み～．福島糖尿病 UPDATE セミナー; 20220715; Web.

石亀輝英，西間木淳，月田茂之，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．膵癌における脈管侵襲度（Vessel Invasion Severity）評価の有用性の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

岡田良，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，土佐太朗，木村隆，見城明，丸橋繁．膵体尾部神経内分泌腫瘍に対する低侵襲手術の有用性．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

見城明，西間木淳，鈴志野聖子，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，丸橋繁．膵頭十二指腸切除後の合併症の発症及び重症化予測因子の解析．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

小船戸康英，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．肝内胆管癌における術後補助化学療法の意義．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

佐藤直哉，渡邊淳一郎，西間木淳，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，土佐太郎，木村隆，見城明，丸橋繁．当科における切除可能/切除境界膵癌に対する術前化学放射線治療の成績．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

西間木淳，佐藤直哉，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．腹腔鏡下再肝切除の短期成績．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

渡邊淳一郎，土佐太朗，西間木淳，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．当科における十二指腸乳頭部癌 R0 切除症例の検討．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

菅原良太，佐藤直哉，西間木淳，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．当院における外傷性膵損傷 6 例の検討．第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

森友輔，佐藤直哉，西間木淳，月田茂之，武藤亮，芳賀淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，

丸橋繁. 腫瘍出血で Oncologic emergency を呈し、術前動脈塞栓を行い切除した巨大小腸 GIST の 1 例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

山口大輝, **佐藤直哉**, **要知輝**, **土佐太朗**, **西間木淳**, **渡邊淳一郎**, **小船戸康英**, **石亀輝英**, **岡田良**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 脾転移を伴った再発肝細胞癌の 1 切除例. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 郡山/Web.

武藤亮, **石亀輝英**, **西間木淳**, **月田茂之**, **渡邊淳一郎**, **佐藤直哉**, **芳賀淳一郎**, **小船戸康英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 胆管癌における microRNA-X による腫瘍増殖抑制と UHRF1 発現変化の解析. 第 81 回日本癌学会学術総会; 20220929-1001; 横浜.

石亀輝英, **西間木淳**, **月田茂之**, **武藤亮**, **渡邊淳一郎**, **佐藤直哉**, **芳賀淳一郎**, **小船戸康英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 胆管切離断端に組織的癌遺残（R1）を認めた症例における術前検査の後方視的検討. 第 58 回日本胆道学会学術集会; 20221013-14; 横浜.

見城明, **西間木淳**, **月田茂之**, **鈴志野聖子**, **武藤亮**, **渡邊淳一郎**, **佐藤直哉**, **小船戸康英**, **芳賀淳一郎**, **石亀輝英**, **岡田良**, **木村隆**, **丸橋繁**. 成人生体肝移植における術後胆管狭窄に関する検討ー胆道再建法変更による効果ー. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

佐藤直哉, **見城明**, **西間木淳**, **小船戸康英**, **石亀輝英**, **渡邊淳一郎**, **武藤亮**, **月田茂之**, **芳賀淳一郎**, **木村隆**, **丸橋繁**. 脂肪由来幹細胞（ADSC）を付加は、膵島細胞シートの移植効率を改善する. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

鈴志野聖子, **佐藤直哉**, **武藤亮**, **渡邊淳一郎**, **小船戸康英**, **石亀輝英**, **岡田良**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 脂肪由来幹細胞と肝細胞の二層化における細胞間接着の検討. 第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

鈴志野聖子, **佐藤直哉**, **武藤亮**, **小船戸康英**, **芳賀淳一郎**, **石亀輝英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 脂肪由来幹細胞と肝細胞の二層化における細胞間接着の効果. 第 48 回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20221104-05; 広島.

石亀輝英, **西間木淳**, **月田茂之**, **武藤亮**, **佐藤直哉**, **芳賀淳一郎**, **小船戸康英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 成人発症の肝間葉性過誤腫が疑われる肝腫瘍の 1 切除例. 第 26 回日本外科病理学会学術集会; 20221118-19; 富山.

小船戸康英, **西間木淳**, **月田茂之**, **武藤亮**, **佐藤直哉**, **石亀輝英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 導入時期におけるロボット支援下膵体尾部切除術の短期成績. 第 14 回膵臓内視鏡外科研究会; 20221123; 福岡.

芳賀淳一郎, **石亀輝英**, **小船戸康英**, **佐藤直哉**, **武藤亮**, **月田茂之**, **西間木淳**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. ICG 蛍光法が有用であった再発巨大肝嚢胞の対する腹腔鏡下天蓋切除の一例. 第 16 回肝臓内視鏡外科研究会; 20221123; 福岡.

石亀輝英, **見城明**, **丸橋繁**. 高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌における外科治療の意義. 第 44 回日本肝臓学会東部会; 20221125-26; 仙台/Web.

月田茂之, **小船戸康英**, **西間木淳**, **武藤亮**, **渡邊淳一郎**, **佐藤直哉**, **芳賀淳一郎**, **石亀輝英**, **木村隆**, **見城明**, **丸橋繁**. 当科における腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の短期・中期成績. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221208-10; 名古屋.

〔シンポジウム〕

小船戸康英，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．当教室での腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除術．第 47 回日本外科系連合学会学術集会; 20220615-17; 盛岡.

月田茂之，佐藤直哉，木村隆，見城明，丸橋繁．当科における局所進行切除不能膵癌に対する Conversion Surgery の成績．日本消化器病学会東北支部第 213 回例会; 20220701; 山形/Web.

〔特別講演〕

小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．腹腔鏡下肝切除術の課題～安全性を重視した教育の面から～．日本消化器病学会東北支部第 212 回例会; 20220204-05; 仙台/Web.

〔招待講演〕

見城明．臓器移植とチーム医療．医療系出前講座　福島県立磐城高等学校; 20220916; いわき.

医療研究推進センター

論　　文

〔原　著〕

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Oka Y, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Association between Submucosal Fibrosis and Endoscopic Submucosal Dissection of Recurrent Esophageal Squamous Cell Cancers after Chemoradiotherapy. Cancers. 202209; 14(19):4685.

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Gunji N, Takeda Y, Mochimaru T, Ishizaki Y, Murakami M, Kobayashi R, Shioya Y, Suzuki O, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Colonic Endoscopic Submucosal Dissection for a Granular Cell Tumor with Insufficient Endoscopic Manipulation in the Hepatic Flexure. Case Reports in Gastroenterology. 202203; 16(1):216-222.

Takeda Y, Hikichi T, Hashimoto M, Hayashi M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Murakami M, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Esophageal achalasia with severe malnutrition and liver enzyme elevation. Clinical Journal of Gastroenterology. 202204; 15(2):345-350.

Sato H, Hikichi T, Kato T, Nakamura J, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takasumi M, Kobayakawa M, Ohira H. Combination of photodynamic therapy and endoscopic mucosal resection for recurrent esophageal squamous cell carcinoma after chemoradiotherapy. Clinical Journal of Gastroenterology. 202212; 15(6):1035-1040.

Mochimaru T, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma in patients with cirrhosis and esophageal varices. DEN Open. 202205; 3(1):e117.

Murakami M, Hikichi T, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takasumi M, Takagi T, Hashimoto Y, Kobayakawa M, Ohira H. Endoscopic Submucosal Dissection in Patients with Early Gastric Cancer in the Remnant Stomach. Diagnostics. 202210; 12(10):2480.

地域医療支援センター

論　　文

〔原　著〕

Ohwada T, Sakamoto T, Suzuki S, Sugawara Y, Sakamoto K, Ikeda A, Haga F, Sato T, Nakazato K, Takeishi Y, Watanabe K. Apolipoprotein C3 and necrotic core volume are correlated but also associated with future cardiovascular events. Scientific Reports. 2022; 12(1):14554.

Haga F, Oikawa M, Akama J, Kiko T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. ATTR amyloidosis concomitant with parkinsonism and cardiac sympathetic neuropathy. Annals of Nuclear Cardiology. 2022; 8(1):117-119.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with the occurrence of bleeding events in heart failure patients with a history of coronary artery disease. Journal of Cardiology. 2022; 80(1):88-93.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Clinical usefulness of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) thrombotic risk score to predict long-term all-cause mortality and heart failure hospitalization after percutaneous coronary intervention. PLOS ONE. 2022; 17(9):e0274287.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato

K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. Frontiers in Cardiovascular Medicine. 2022; 8:807754.

Jin Y, Yaegashi D, Shi L, Ishida M, Sakai C, Yokokawa T, Abe Y, Sakai A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Hijioka N, Awai K, Tashiro S, Takeishi Y, Ishida T. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. International Heart Journal. 2022; 63(3):466-475.

Takeishi R, Misaka T, Ichijo Y, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Yoshihisa A, Takeishi Y. Increases in hepatokine selenoprotein P levels are associated with hepatic hypoperfusion and predict adverse prognosis in patients with heart failure. Journal of the American Heart Association. 2022; 11(11):e024901.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Anzai F, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic effects of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. Circulation Journal. 2022; 86(12):1982-1989.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. International Heart Journal. 2022; 63(6):1063-1069.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the pattern of non-adherence to anti-platelet regimen in stented patients (PARIS) bleeding risk score for long-term mortality after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(1):15-22.

Kurosawa Y, Shimizu T, Ando T, Akama J, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of D-dimer on long-term mortality in patients with coronary artery disease after percutaneous coronary intervention. International Heart Journal. 2022; 63(6):1070-1077.

Shimizu T, Sakuma Y, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese bleeding risk criteria in patients after percutaneous coronary intervention and comparison with contemporary bleeding risk criteria. Circulation Reports. 2022; 4(5):230-238.

〔総説等〕

中里和彦. 特別な背景を有する状態　震災発生時に注意するべき緊急対応を要する循環器疾患. 内科. 2022; 129(3):411-413.

中里和彦. 肺高血圧発症メカニズムの多様性～クローン性造血の関与～. Precision Medicine. 2022; 5(5):483-487.

中里和彦. 肺動脈性肺高血圧症の重症度と治療戦略. 呼吸器内科. 2022; 41(6):559-566.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Ishida T, Jin Y, Yaegashi D, Ishida M, Sakai C, Yamaki T, Nakazato K, Tashiro S, Takeishi Y. DNA damage induced by radiation exposure from cardiac catheterization - an analysis in patients and operators. ESC Congress 2022; 20220826-29; Barcelona, Spain/Web. European Heart Journal. 43(Supplement_2):3015.

Sato Y, Yoshihisa A, Nozaki Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index predicts bleeding event in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9789.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10222.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of heart failure on new cancer diagnosis and cancer mortality in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11852.

Kurosawa Y, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of increasing stent length on long-term clinical outcomes undergoing intracoronary imaging-guided percutaneous coronary intervention with new-generation drug-eluting stents. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11766.

Nozaki Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ohara H, Sugawara Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Nakazato K, Takeishi Y. Persistent hypochloremia is associated with adverse prognosis in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9792.

Isomatsu D, Sato A, Muto Y, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Sekino H, Fukushima K, Ito H, Takeishi Y. Predictive value of calcium volume measurement determined by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A10744.

Endo K, Kiko T, Yamakuni R, Misaka T, Yamaki T, Nakazato K, Fukushima K, Takeishi Y. Prognostic value

of simultaneous analysis with myocardial flow reserve and right ventricular strain by hybrid ^{13}N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A9916.

Muto Y, Sato A, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Renal artery velocity time integral is a predictor of improvement in renal function after transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11363.

Kurosawa Y, Sato A, Shimizu T, Sakuma Y, Ohara H, Muto Y, Sato Y, Kiko T, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of living alone on long-term cardiac mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2022; 20221105-07; Chicago, USA/Web. Circulation. 146(Suppl_1):A11777.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. B-type natriuretic peptide is associated with bleeding event in heart failure patients with a history of coronary artery disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

阿部諭史，義久精臣，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Calcium-phosphorus (Ca-P) product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川沙代子，横川哲朗，三阪智史，金城貴士，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with ischemic heart disease who underwent percutaneous coronary intervention. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Anzai F, Sato A, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

杉本浩一，及川雅啓，小林淳，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. MT1-MMP may be a new biomarker to predict pulmonary artery hypertension. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure with preserved left-ventricular ejection fraction. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predict bleeding events in patients with heart failure. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

Shimizu T, Kurosawa Y, Muto Y, Sato A, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk criteria. 第 86 回日本循環器学会学術集会; 20220311-13; Web.

佐藤彰彦，武藤雄紀，清水竹史，及川雅啓，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 右冠動脈起始異常を有する患者に対し TAVR を施行した一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022）; 20220721-23; 横浜/Web.

大原妃美佳，清水竹史，佐藤栄奈，池田彩乃，佐久間裕也，根橋健，遠藤圭一郎，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 金属アレルギー患者に対し DCA および DCB によりステントレスで PCI を施行し得た一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022); 20220721-23; 横浜/Web.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，和田健斗，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し PCI を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 30 回日本心血管インターベンション治療学会（CVIT2022); 20220721-23; 横浜/Web.

八重樫大輝，及川雅啓，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Nutrition risk index（NRI）によるがん治療関連心機能障害の予測. 第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる. 第 5 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20220917-18; Web.

阿部諭史，義久精臣，一條靖洋，大原妃美佳，菅原由紀子，佐藤悠，渡邊孝一郎，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Lower calcium-phosphorus product predicts adverse prognosis in patients with heart failure and chronic kidney disease. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐久間裕也，清水竹史，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. びまん性冠動脈狭窄および冠動脈瘤を呈した線維筋性異形成の一例. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. 簡易版 ARC-HBR 評価基準は心不全患者の出血イベントを予測する. 第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寳槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts adverse prognosis in patients with heart failure. 第 26 回日本心不全学会学術集会; 20221021-23; 奈良.

武藤雄紀，國井浩行，佐藤栄奈，大橋尚人，佐久間裕也，菅原由紀子，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，中里和彦，藤宮剛，高瀬信弥，竹石恭知. ガイドワイヤーによる左室穿孔を来した TAVI の 1 例. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

清水竹史，遠藤圭一郎，安藤卓也，武藤雄紀，佐藤彰彦，阿部諭史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 冠動脈バイパス術後の右冠動脈入口部の慢性完全閉塞に対し、両方向性アプローチにより経皮的冠動脈形成術に成功した一例. 第 50 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220226; Web.

市村祥平，及川雅啓，池田彩乃，遠藤圭一郎，武藤雄紀，赤間浄，八巻尚洋，中里和彦，佐藤雅彦，石田隆史，竹石恭知. ワクチン未接種者に発症した SARS-CoV-2 オミクロン株（BA.2 型）による COVID-19 関連劇症型心筋炎の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

西浦司人，阿部諭史，佐久間裕也，菅原由紀子，清水竹史，及川雅啓，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 緩徐な経過を辿った Abiotrophia defectiva による感染性心内膜炎の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例. 第 174 回日本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

草野亮太，清水竹史，佐久間裕也，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対し経皮的冠動脈形成術を施行した腎血管性高血圧症の一例. 第 174 回日

本循環器学会東北地方会; 20220604; 秋田/Web.

草野亮太，武藤雄紀，遠藤圭一郎，黒沢雄太，佐藤彰彦，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知，藤宮剛，高瀬信弥，横山斉. 右冠動脈起始異常を有する患者に対しTAVIを施行した一例. 第51回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

笠原慎也，佐藤彰彦，上田捷太，大橋尚人，和田健斗，佐藤崇匡，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 高安動脈炎に合併した左冠動脈入口部を責任病変とする急性心筋梗塞の一例. 第51回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

片平正隆，清水竹史，黒沢雄太，喜古崇豊，佐藤彰彦，小林淳，新城宏治，藤宮剛，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 左主幹部高度石灰化病変を責任病変とする非ST上昇型心筋梗塞に対し、左腋窩動脈よりImpella挿入下にPCIを施行したLeriche症候群の一例. 第51回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20220730; 山形.

小河原崚，三阪智史，市村祥平，冨田湧介，佐藤悠，三浦俊輔，横川哲朗，阿部諭史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義：心筋生検検体を用いたアプローチ. 第175回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

佐久間裕也，阿部諭史，小河原崚，遠藤圭一郎，清水竹史，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を契機とした好酸球性心筋炎の一例. 第175回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

西浦司人，及川雅啓，佐藤悠，横川哲朗，佐藤彰彦，小林淳，義久精臣，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 低流量低圧較差重症ASによる繰り返すうっ血性心不全にTAVIが著効した一例. 第175回日本循環器学会東北地方会; 20221203; 仙台.

大橋尚人，及川雅啓，佐藤栄奈，佐久間裕也，武藤雄紀，阿部諭史，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，竹石恭知. 閉塞性肥大型心筋症に合併した全身性アミロイドーシスの一例. 第8回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

及川雅啓，佐久間裕也，佐藤栄奈，大橋尚人，武藤雄紀，小林淳，杉本浩一，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効したG6PD欠損症の一例. ストラクチャークラブ・ジャパン　ライブデモンストレーション2022; 20220909-10; 岡山.

佐久間裕也，清水竹史，池田彩乃，大原妃美佳，小林淳，八巻尚洋，中里和彦，石田隆史，竹石恭知. 線維筋性異形成による冠動脈高度狭窄病変に対しPCIを施行した腎血管性高血圧症の一例. 第56回Cardiovascular Intervention Conference (CIC); 20220319; Web.

若松大樹，佐戸川弘之，高瀬信弥，瀬戸夕輝，五十嵐崇，藤宮剛，新城宏治，石田圭一，横山斉，中里和彦，竹石恭知. 高度肺高血圧をともなう未加療の成人期部分肺静脈還流異常症への統合的治療. 第42回福島心疾患治療談話会; 20220521; Web.

〔シンポジウム〕

及川雅啓，八重樫大輝，大原妃美佳，阿部諭史，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知．アントラサイクリン治療関連心機能障害発症はがん予後悪化の予測因子となる（シンポジウム）．第 70 回日本心臓病学会学術集会; 20220923-25; 京都.

〔招待講演〕

中里和彦．講演：肺高血圧症診療の進歩と課題～この 20 年で何が変わったか～．肺高血圧症の診療連携を考える会 in 西北五; 20220225; Web.

中里和彦．講演：肺高血圧症診療における医療連携の重要性．安房肺高血圧症地域医療連携の会; 20220414; Web.

中里和彦．講演：肺高血圧症診療の進歩と課題～この 20 年で何が変わったか～．福島市・伊達・安達医師会 2022 循環器学術講演会; 20220714; 福島/Web.

中里和彦．講演：肺高血圧症診療の進歩と課題．第 632 回北上医師会医学集談会; 20220728; 北上/Web.

中里和彦．講演：肺高血圧発症メカニズムの多様性～クローン性造血の関与～. Re-PCR 2022; 20220908; Web.

ふくしま子ども・女性医療支援センター

論　文

〔原　著〕

Murata T, Endo Y, Fukuda T, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Association of preconception dysmenorrhea with obstetric complications: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy Childbirth. 202202; 22(1):125.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Imaizumi K, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Preconception vitamin D intake and obstetric outcomes in women using assisted reproductive technology: the Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy Childbirth. 202207; 22(1):542.

Suzuki T, Nishigori T, Obara T, Masumoto T, Mori M, Murata T, Kyozuka H, Ogata Y, Sato A, Sampei M, Takahashi T, Shinoki K, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Hashimoto K, Goto A, Nishigori H; Japan Environment and Children's Study Group. Maternal folic acid supplement use/dietary folate intake from preconception to early pregnancy and neurodevelopment in 2-year-old offspring: the Japan Environment and Children's Study. British Journal of Nutrition. 202212; 128(12):2480-2489.

Tajima K, Ishikawa T, Noda A, Matsuzaki F, Morishita K, Inoue R, Iwama N, Nishigori H, Sugawara J, Saito M, Obara T, Mano N. Development and validation of claims-based algorithms to identify pregnancy based on data from a university hospital in Japan. Current Medical Research and Opinion. 202209; 38(9):1651-1654.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. European Journal of Pediatrics. 202208; 181(8):3153-3162.

Hirai H, Okamoto S, Masuzaki H, Murata T, Ogata Y, Sato A, Horiuchi S, Shinohara R, Shinoki K, Nishigori H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Yamagata Z, Shimabukuro M; JECS Group. Maternal Urinary Cotinine Concentrations During Pregnancy Predict Infant BMI Trajectory After Birth: Analysis of 89617 Mother-Infant Pairs in the Japan Environment and Children's Study. Frontiers in Endocrinology. 202204; 13:850784.

Tajima K, Ishikawa T, Matsuzaki F, Noda A, Morishita K, Inoue R, Iwama N, Nishigori H, Sugawara J, Saito M, Obara T, Mano N. Validity of Administrative Data for Identifying Birth-Related Outcomes with the End Date of Pregnancy in a Japanese University Hospital. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202204; 19(8):4864.

Nishigori H, Obara T, Nishigori T, Ishikuro M, Tatsuta N, Sakurai K, Saito M, Sugawara J, Arima T, Nakai K, Mano N, Metoki H, Kuriyama S, Yaegashi N; Japan Environment and Children's Study Group. Prenatal folic acid supplementation and autism spectrum disorder in 3-year-old offspring: the Japan environment and children's study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 202212; 35(25):8919-8928.

Go H, Hashimoto K, Kyozuka H, Maeda H, Nishigori H, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Fujimori K, Yasumura S, Hosoya M; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal hemoglobin levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study. Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine. 202212; 35(26):10472-10480.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Kanno A, Yamaguchi A, Jimbo M, Nishigori H, Fujimori K. Effects of acute tocolysis using ritodrine hydrochloride on foetal heart rate patterns in intrauterine foetal resuscitation: a retrospective, single-centre observational study. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202205; 42(4):563-568.

Ota K, Sato K, Shiraishi S, Takahashi T. Ageing impairs restoration of endometrial blood flow impedance after laparoscopic myomectomy in infertile women with uterine fibroids. Journal of Obstetrics and Gynaecology. 202207; 42(5):1211-1216.

Kanno A, Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Suzuki D, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study Group. Age at menarche and risk of adverse obstetric outcomes during the first childbirth in

Japan: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202201; 48(1):103-112.

Nishigori T, Obara T, Metoki H, Sakurai K, Mori M, Suzuki T, Ishikuro M, Tatsuta N, Saito M, Sugawara J, Arima T, Nakai K, Kuriyama S, Yaegashi N, Nishigori H. Validation of the Mother-to-Infant Bonding Scale for Infant Maltreatment by Mothers at One Month Postpartum: An Adjunct Study of the Japan Environment and Children's Study. JMA Journal. 202207; 5(3):366-369.

Kyozuka H, Murata T, Isogami H, Imaizumi K, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment And Children's Study Jecs Group. Preconception Dietary Inflammatory Index and Risk of Gestational Diabetes Mellitus Based on Maternal Body Mass Index: Findings from a Japanese Birth Cohort Study. Nutrients. 202210; 14(19):4100.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Suzuki D, Takahashi T, Go H, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K, Nishigori H. Association between preconception dietary inflammatory index and neurodevelopment of offspring at 3 years of age: The Japan Environment and Children's Study. Nutrition. 202210; 102:111708.

Ishikawa T, Obara T, Akazawa M, Noda A, Oyanagi G, Morishita K, Miyakoda K, Nishigori H, Kawame H, Yaegashi N, Kuriyama S, Mano N. Risk of major congenital malformations associated with first-trimester exposure to propulsives: A health administrative database study in Japan. Pharmacoepidemiology and Drug Safety. 202202; 31(2):196-205.

Yasuda S, Kyozuka H, Endo Y, Kanno A, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Association of Chlamydia trachomatis infection with pregnancy outcomes among Japanese pregnant women: The Japan environment and children's study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0275573.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Yasuda S, Suzuki D, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study JECS Group. Preconception dietary inflammatory index and hypertension disorders of pregnancy: The Japan environment and children's study. Pregnancy Hypertension. 202206; 28:114-120.

Murata T, Yasuda S, Imaizumi K, Isogami H, Fukuda T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association of labour duration in spontaneous deliveries with low neonatal Apgar scores and foetal acidosis: the Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202212; 12(1):21519.

Mashiyama F, Hashimoto K, Norito S, Okabe H, Sato A, Kume Y, Maeda R, Sato M, Sato M, Kyozuka H, Fujimori K, Nishigori H, Shinoki K, Yasumura S, Sakuma H, Hosoya M. Neutralizing and Epitope-Specific Antibodies against Respiratory Syncytial Virus in Maternal and Cord Blood Paired Samples. Viruses. 202212; 14(12):2702.

神保正利．【191 の疑問に答える　周産期の栄養】産科編 Q&A　妊娠全期間（Question 51）　妊娠して便秘がひどくなりました。食生活のポイントを教えてください。 周産期医学. 202211; 52(増刊):117-118.

神保正利．【191 の疑問に答える　周産期の栄養】産科編 Q&A　妊娠全期間（Question 52）　妊娠して尿が近くなりました。水分を控えたほうがよいですか? 周産期医学. 202211; 52(増刊):119.

〔総説等〕

Watanabe T, Soeda S, Endo Y, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Kojima M, Furukawa S, Nishigori H, Takahashi T, Fujimori K. Rare Hereditary Gynecological Cancer Syndromes. International Journal of Molecular Sciences. 202201; 23(3):1563.

Yamada M, Ishikawa T, Iwasa T, Oishi H, Osuka S, Oka K, Ono S, Ono M, Orisaka M, Kanasaki H, Kawano Y, Kawamura K, Kishi H, Kimura F, Kuroda S, Kuwahara A, Kobayashi H, Komiya A, Saito H, Sato K, Sato S, Shiraishi K, Shirasawa H, Shirasawa H, Suzuki T, Takai Y, Takai Y, Takae S, Takahashi T, Takiuchi T, Tachibana M, Tamura I, Tamura H, Chik Jwa S, Baba T, Harada M, Hirata T, Fukui A, Fukuda Y, Fukuhara S, Maruyama T, Yumura Y, Yoshino O, Hirota Y, Tsujimura A, Kuji N, Osuga Y. Guidelines for Reproductive Medicine in Japan. Reproductive Medicine and Biology. 202208; 21(1):e12483.

太田邦明，**髙橋俊文**，**森田峰人**．【婦人科腹腔鏡下手術 TLH/LM/LC の基本とコツ】腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術（LC）、腹腔鏡補助下卵巣嚢腫摘出術（LAC）　腹腔鏡下卵巣奇形腫摘出術の基本とコツ．産科と婦人科. 202204; 89(4):422-428.

髙橋俊文，**三浦秀樹**，**大越千弘**，**山口明子**，**神保正利**，**菅沼亮太**．【多嚢胞性卵巣症候群の最新知見ー生涯にわたる健康管理を見据えてー】多嚢胞性卵巣症候群と若年者の月経異常．産婦人科の実際. 202209; 71(9):961-965.

髙橋俊文．【不妊と薬の知識　患者に寄り添う薬剤師になる！】妊娠の基礎知識と不妊症の治療戦略．調剤と情報. 202210; 28(13):2204-2209.

髙橋俊文. pre-conception care、受胎前に我々はどうサポートすべきか　不妊治療を受ける前の心構えー患者と医療者に知っておいて欲しいことー．日本遺伝カウンセリング学会誌. 202203; 42(4):415-418.

髙橋俊文．【不妊とくすりの現在　ここが変わった！治療法・治療薬から保険制度まで】女性不妊における薬物治療の実践　アロマターゼ阻害薬（レトロゾール）．薬局. 202209; 73(10):2528-2534.

髙橋俊文，**太田邦明**，**神保正利**．【最新の不妊診療がわかる！ー生殖補助医療を中心とした新たな治療体系】（第 1 章）生殖補助医療の適応と意義　どんな患者さんが体外受精・顕微授精を受けるのか　生殖補助医療の成功率を規定する因子．臨床婦人科産科. 202204; 76(4):14-17.

髙橋俊文．【子宮内膜症の最新知識ーこの 1 冊で重要ポイントを網羅する】不妊を主訴とする場合ーART が先か手術が先か，子宮腺筋症の場合は？子宮内膜症性不妊症の治療戦略ーガイドラインとリアルワールドのギャップを考える．臨床婦人科産科. 202207; 76(7):637-642.

髙橋俊文，**大越千弘**，**神保正利**．【女性医学から読み解くメタボリック症候群ー専門医のための必須知識】疾

患・分野別編　PCOS とメタボリック症候群. 臨床婦人科産科. 202210; 76(10):987-992.

〔症例報告〕

Ota K, Takahashi T, Mitsui J, Kuroda K, Hiraoka K, Kawai K. A case of discrepancy between three ERA tests in a woman with repeated implantation failure complicated by chronic endometritis. BMC Pregnancy Childbirth. 202212; 22(1):891.

Ota K, Katagiri Y, Katakura M, Mukai T, Nakaoka K, Maemura T, Takahashi T, Morita M. Trocar-site hernia following laparoscopic salpingo-oophorectomy in a middle-aged Japanese woman: an initial case report after 40 years of experience at a single center and a brief literature review. BMC Womens Health. 202201; 22(1):8.

Fujimori M, Takahashi T, Furukawa Y, Takanashi A, Iizawa Y, Jimbo M, Soeda S, Fujimori K, Takeichi K. Synchronous bilateral primary ovarian cancer with right endometroid carcinoma and left high-grade serous carcinoma: a case report and literature review. BMC Womens Health. 202204; 22(1):103.

Shiraiwa A, Takahashi T, Okoshi C, Wada M, Ota K, Suganuma R, Jimbo M, Soeda S, Watanabe T, Yoshida-Komiya H, Fujimori K. Successful pregnancy and delivery after a vitrified-warmed embryo transfer in a woman with Kallmann syndrome: A case report and literature review. Fukushima journal of medical science. 202204; 68(1):49-55.

Ota Y, Ota K, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Shiota M. Robotic-assisted Total Hysterectomy with Low Pneumoperitoneal Pressure (6 mmHg) and Use of Surgical Plume Evacuator System to Minimize Potential Airborne Particles According to the Joint Statement on Minimally Invasive Gynecologic Surgery during the COVID-19 Pandemic: A Case Report from Japan. Gynecology and Minimally Invasive Therapy. 202205; 11(2):127-130.

Ota Y, Ota K, Takahashi T, Morimoto Y, Suzuki S, Sano R, Shiota M. Laparoscopic Adenomyomectomy under Real-Time Intraoperative Ultrasound Elastography Guidance: A Case Series and Feasibility Study. Journal of Clinical Medicine. 202211; 11(22):6707.

Ota K, Katagiri Y, Katakura M, Maemura T, Takahashi T, Morita M. Porous diaphragm syndrome presenting as hemothorax secondary to hemoperitoneum after laparoscopic myomectomy: A case report and literature review. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202204; 48(4):1039-1045.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

大越千弘，菅沼亮太，髙橋俊文，藤森敬也．当院における凍結胚を使用した 2 段階胚移植の治療成績について．第 74 回日本産科婦人科学会学術講演会; 20220805-07; 福岡.

髙橋俊文，福原理恵，横山良仁，馬場長，寺田幸弘，永瀬智，八重樫伸生，藤森敬也，東北生殖医療研究会.

妊孕性温存目的に精子凍結保存を実施した悪性腫瘍患者 271 名の転帰. 第 74 回日本産科婦人科学会学術講演会; 20220805-07; 福岡.

加藤麻美, **小島学**, **佐藤哲**, **加茂矩士**, **古川茂宜**, **髙橋俊文**, **添田周**, **渡辺尚文**, **藤森敬也**. ウンドリトラクターとスパイラルカットで大きい子宮を安全に経腟回収. 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 20220908-10; 横浜.

髙橋俊文, **福原理恵**, **横山良仁**, **馬場長**, **寺田幸弘**, **永瀬智**, **八重樫伸生**, **藤森敬也**, **東北生殖医療研究会**. 妊孕性温存目的に精子凍結保存を実施した悪性腫瘍患者 271 名の長期予後. 第 59 回東北生殖医学会総会・学術講演会; 20221008; 山形.

〔シンポジウム〕

髙橋俊文. 胚培養士のススメ＜シンポジウム：胚培養士の教育と育成＞. 第 63 回日本卵子学会学術集会; 20220528; 京都.

髙橋俊文. 小児・AYA がんサバイバー女性のヘルスケア（オンコウィメンズヘルス）＜クリニカルアワー：小児がん経験者（CCS）フォローアップガイド＞. 第 95 回日本内分泌学会学術総会; 20220603; 別府/Web.

髙橋俊文. 生殖医療リスクマネージメントシステム構築に関する小委員会＜生殖・内分泌委員会企画　生殖医学にいま必要な情報と皆さまと考えたいこと＞. 第 74 回日本産科婦人科学会学術講演会; 20220806; 福岡.

髙橋俊文. 遺伝性疾患としての性分化疾患－出生前診断と中心に－＜シンポジウム：染色体異常と性分化疾患＞. 第 8 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会; 20221030; 新潟.

〔その他〕

髙橋俊文. 小児・AYA がん患者における妊孕性温存－がん生殖医療の実際－. 会津中央病院がん治療センター院内講演会; 20221109; 会津若松.

髙橋俊文. 子宮内膜症の診断と治療－最新のガイドラインから考える－. あすか製薬勉強会; 20221213; 福島.

髙橋俊文. 子宮鏡検査と子宮鏡下手術の基本事項. テルモ株式会社 Web 講演会; 20221213; Web.

放射線医学県民健康管理センター

論　　文

〔原　著〕

Funakubo N, Eguchi E, Hayashi R, Hirosaki M, Shirai K, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Omata J, Imano H, Iso H, Ohira T. Effects of a laughter program on body weight and mental health among Japanese people with metabolic syndrome risk factors: a randomized controlled trial. BMC Geriatrics. 202204; 22(1):361.

Horikoshi N, Maeda M, Iwasa H, Momoi M, Oikawa Y, Ueda Y, Kashiwazaki Y, Onji M, Harigane M, Yabe H, Yasumura S. The Usefulness of Brief Telephonic Intervention After a Nuclear Crisis: Long-Term Community-Based Support for Fukushima Evacuees. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202202; 16(1):123-131.

Hirai H, Nagao M, Ohira T, Maeda M, Okazaki K, Nakano H, Hayashi F, Harigane M, Suzuki Y, Takahashi A, Sakai A, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Psychological burden predicts new-onset diabetes in men: A longitudinal observational study in the Fukushima Health Management Survey after the Great East Japan earthquake. Frontiers in Endocrinology. 202212; 13:1008109.

Kobayashi T, Maeda M, Nakayama C, Takebayashi Y, Sato H, Setou N, Momoi M, Horikoshi N, Yasumura S, Ohto H. Disaster Resilience Reduces Radiation-Related Anxiety Among Affected People 10 Years After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident. Frontiers in Public Health. 202207; 10:839442.

Kobari E, Tanaka K, Nagao M, Okazaki K, Hayashi F, Kazama S, Ohira T, Yasumura S, Shimabukuro M, Maeda M, Sakai A, Yabe H, Hosoya M, Takahashi A, Harigane M, Ohto H, Kamiya K, Kazama JJ. Impact of lifestyle and psychosocial factors on the onset of hypertension after the Great East Japan earthquake: a 7-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey. Hypertension Research. 202210; 45(10):1609-1621.

Ohto H, Uchikawa M, Ito S, Wada I, Nollet KE, Omae Y, Ogasawara K, Tokunaga K. The KANNO blood group system. Immunohematology. 202212; 38(4):119-122.

Hirokawa K, Ohira T, Nagao M, Nagayoshi M, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H. Associations Between Occupational Status, Support at Work, and Salivary Cortisol Levels. International Journal of Behavioral Medicine. 202206; 29(3):299-307.

Mizuki R, Maeda M, Kobayashi T, Horikoshi N, Harigane M, Itagaki S, Nakano H, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. The Association between Parenting Confidence and Later Child Mental Health in the Area Affected by the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. International

Journal of Environmental Research and Public Health. 202201; 19(1):476.

Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Shimabukuro M, Kazama JJ, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle Factors Associated with Undernutrition in Older People after the Great East Japan Earthquake: A Prospective Study in the Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3399.

Sun Z, Imano H, Eguchi E, Hayashi F, Ohira T, Cui R, Yasumura S, Sakai A, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K, Iso H. The Associations between Evacuation Status and Lifestyle-Related Diseases in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202205; 19(9):5661.

Eguchi E, Funakubo N, Nakano H, Tsuboi S, Kinuta M, Imano H, Iso H, Ohira T. Impact of Evacuation on the Long-Term Trend of Metabolic Syndrome after the Great East Japan Earthquake. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202208; 19(15):9492.

Hayashi F, Ohira T, Sato S, Nakano H, Okazaki K, Nagao M, Shimabukuro M, Sakai A, James Kazama J, Hosoya M, Takahashi A, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Association between Dietary Diversity and Sociopsychological Factors and the Onset of Dyslipidemia after the Great East Japan Earthquake: Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14636.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Fukasawa M, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Worry about Radiation and Its Risk Factors Five to Ten Years after the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 19(24):16943.

Ueda Y, Hayashi F, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Shimabukuro M, Nakano H, Kamiya K, Yabe H. A Six-Year Prospective Study on Problem Drinking among Evacuees of the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):319.

Nakajima S, Eguchi E, Funakubo N, Hayashi F, Iwai-Takano M, Ohira T. Trends and Regional Differences in the Prevalence of Dyslipidemia before and after the Great East Japan Earthquake: A Population-Based 10-Year Study Using the National Database in Japan. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 20(1):560.

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama JJ, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation

After the Great East Japan Earthquake. Journal of Epidemiology. 202206; 32(6):277-282.

Uemura MY, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H, Kamiya K. Association between lifestyle habits and the prevalence of abdominal obesity after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202211; 32(11):496-501.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K; Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S23-S35.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S36-S46.

Maeda M, Harigane M, Horikoshi N, Takebayashi Y, Sato H, Takahashi A, Momoi M, Goto S, Oikawa Y, Mizuki R, Miura I, Itagaki S, Yabe H, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Long-Term, Community-based Approach for Affected People Having Problems With Mental Health and Lifestyle Issues After the 2011 Fukushima Disaster: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S47-S56.

Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Ishii K, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. The Effects of the Great East Japan Earthquake on Perinatal Outcomes: Results of the Pregnancy and Birth Survey in the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S57-S63.

Ishii K, Goto A, Yoshida-Komiya H, Ohira T, Fujimori K. Postpartum Mental Health of Mothers in Fukushima: Insights From the Fukushima Health Management Survey's 8-year Trends. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S64-S75.

Nakaya T, Takahashi K, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Shimura H, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Revisiting the Geographical Distribution of Thyroid Cancer Incidence in Fukushima Prefecture: Analysis of Data From the Second- and Third-round Thyroid Ultrasound Examination. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S76-S83.

Sakai A, Nagao M, Nakano H, Ohira T, Ishikawa T, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Okazaki K, Hayashi F, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure Resulting From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident on the Health of Residents in the Evacuation Zones: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S84-S94.

Miura I, Nagao M, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Harigane M, Itagaki S, Yabe H, Maeda M, Ohira T,

Ishikawa T, Yasumura S, Kamiya K. Associations Between External Radiation Doses and the Risk of Psychological Distress or Post-traumatic Stress After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S95-S103.

Yasuda S, Okazaki K, Nakano H, Ishii K, Kyozuka H, Murata T, Fujimori K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Effects of External Radiation Exposure on Perinatal Outcomes in Pregnant Women After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S104-S114.

Sugimoto S, Kume Y, Suwa R, Kawase M, Kakizaki M, Egawa K, Ono T, Chishiki M, Okabe H, Norito S, Sato M, Sakuma H, Suzuki S, Hosoya M, Takeda M, Hashimoto K, Shirato K. Ten Nearly Complete Genome Sequences of Human Orthorubulavirus 4 Isolated from Pediatric Inpatients in Fukushima, Japan. Microbiology Resource Announcements. 202207; 11(7):e0041122.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

Go H, Ono J, Ohto H, E Nollet K, Sato K, Kume Y, Maeda H, Chishiki M, Haneda K, Ichikawa H, Kashiwabara N, Kanai Y, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Nunomura S, Izuhara K, Hosoya M. Can serum periostin predict bronchopulmonary dysplasia in premature infants? Pediatric Research. 202210; 92(4):1108-1114.

Ukai T, Tabuchi T, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Takahashi A, Yasumura S, Iso H, Kamiya K. Associations between the perception of risk in radiation exposure and changes in smoking and drinking status after a disaster: The Fukushima Health Management Survey. Preventive Medicine Reports. 202212; 30:102054.

Maejima Y, Yokota S, Ono T, Yu Z, Yamachi M, Hidema S, E Nollet K, Nishimori K, Tomita H, Yaginuma H, Shimomura K. Identification of oxytocin expression in human and murine microglia. Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry. 202212; 119:110600.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Takemoto Y, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Kitamura T, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Changes in the proportion of anemia among young women after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima health management survey. Scientific Reports. 202206; 12(1):10805.

Yamamoto K, Takita M, Kami M, Tani Y, Yamamoto C, Zhao T, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Sakai A, Hosoya M, Okazaki K, Yabe H, Tsubokura M, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Loss of participation among evacuees aged 20-37 years in the disaster cohort study after the Great East Japan Earthquake. Scientific Reports. 202211; 12(1):19600.

Minakawa K, Ono S, Watanabe M, Sato Y, Suzuki S, Odawara S, Kawabata K, Ueda K, Nollet KE, Sano

H, Ikezoe T, Kikuta A, Ikeda K. Evaluation of a quantitative PCR-based method for chimerism analysis of Japanese donor/recipient pairs. Scientific Reports. 202212; 12(1):21328.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an Application for Sustainable Support of Returning Residents Displaced by the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202206; 290:1074-1075.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

Nollet KE, Ngoma AM, Ohto H. Transfusion-associated graft-versus-host disease, transfusion-associated hyperkalemia, and potassium filtration: advancing safety and sufficiency of the blood supply. Transfusion and Apheresis Science. 202204; 61(2):103408.

〔総説等〕

Yasumura S, Ohira T, Ishikawa T, Shimura H, Sakai A, Maeda M, Miura I, Fujimori K, Ohto H, Kamiya K. Achievements and Current Status of the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S3-S10.

志村浩己. 知っておきたい甲状腺腫瘍の最近の話題　福島県県民健康調査「甲状腺検査」. Medical Practice. 202201; 39(1):97-102.

志村浩己. 「技術講座　生理」甲状腺超音波検査. 検査と技術. 202202; 50(2):126-133.

志村浩己. 日本における成人の甲状腺（微小）結節の診断について（簡潔表題：（微小）甲状腺結節の診断）. 日本甲状腺学会雑誌. 202204; 13(1):5-10.

志村浩己. 福島での甲状腺検査の進捗状況について. 日本内分泌外科学会雑誌. 202203; 39(1):11-16.

〔研究報告書〕

Goto A, Lloyd Williams A, Okabe S, Koyama Y, Koriyama C, Murakami M, Yui Y, Nollet KE. Empowering Children as Agents of Change to Foster Resilience in Community: Implementing “Creative Health” in Primary Schools after the Fukushima Nuclear Disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202203; 19(6):3417.

書籍等出版物

Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Setou N, Yokoya S, Shimura H. Thyroid ultrasound examination program to address health concerns of Fukushima residents after the nuclear accidents. In:

Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health effects of the Fukushima nuclear disaster. London: Academic Press. 2022. p69-80.

Fujimori K, Ishii K, Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Goto A, Yasumura S, Ota M, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Ohira T, Ohto H, Kamiya K. Trends in pregnancy and birth after the Great East Japan earthquake and Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in the Fukushima prefecture: A 7-year survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health effects of the Fukushima nuclear disaster. London: Academic Press. 2022. p.81-98.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. Lifestyle-related diseases caused by evacuation: Results of the comprehensive health check in the Fukushima health management survey. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.99-121.

Harigane M, Yasumura S. Disaster-related health issues among older adults. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.217-230.

Setou N, Suzuki S, Shimura H. Psychosocial support for anxiety related to thyroid cancer: A team approach duriing the secondary confirmatory examination in thyroid ultrasound examination. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health effects of the Fukushima nuclear disaster. London: Academic Press; 2022. p.231-246.

Horikoshi N, Maeda M, Momoi M. Telephone support. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health effects of the Fukushima nuclear disaster. London: Academic Press. 2022. p.331-346.

志村浩己. 第３章　各論２：各臨床検査値の見方と次の対応　107　甲状腺関連ホルモン（TSH, FT4, FT3）. In: 小川純人, 武藤真祐, 山田俊幸 編. 高齢者診療のための臨床検査ガイド. 東京: 診断と治療社; 202205. p.272-273.

志村浩己. 第３章　各論２：各臨床検査値の見方と次の対応　108　甲状腺関連自己抗体. In: 小川純人, 武藤真祐, 山田俊幸 編. 高齢者診療のための臨床検査ガイド. 東京: 診断と治療社; 202205. p.274-275.

室井一男, **大戸斉**. 学会認定アフェレーシスナース制度テキストの発刊にあたって. In: 学会認定・アフェレーシスナース制度カリキュラム委員会. 学会認定・アフェレーシスナース制度指定カリキュラム. 東京: 日本輸血・細胞治療学会. 202207. p.3-4.

大戸斉. 学会認定・臨床輸血看護師制度導入の趣旨. In: 学会認定・臨床輸血看護師制度カリキュラム委員会. 看護師のための臨床輸血：学会認定・臨床輸血看護師テキスト　第３版. 東京: 中外医学社. 202208. p.1-2.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Fujimori Y, Funakubo N, Eguchi E, Nagao M, Takada M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Yamagishi K, Imano H, Muraki I, Iso H, Ohira T. Associations of tongue cleaning and morning tooth brushing habits with blood pressure and diabetes among Japanese men and women. 29th Scientific Meeting of the International

Society of Hypertension; 20221013; Kyoto/Web.

Eguchi E, Satou H, Funakubo N, Nakano H, Imano H, Iso H, Ohira T. Impact of evacuation on the long-term trend of Hypertension after the Great East Japan Earthquake. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221014; Kyoto/Web.

長尾匡則，三浦至，中野裕紀，岡崎可奈子，林史和，針金まゆみ，板垣俊太郎，矢部博興，前田正治，大平哲也，石川徹夫，安村誠司，神谷研二．福島第一原子力発電所事故後の外部被ばく線量と心理的苦痛及びトラウマ反応疑いの関連　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web. Journal of Epidemiology. 32(Suppl.1):159.

石井なつみ，江口依里，林史和，前田正治，針金まゆみ，安村誠司，矢部博興，高橋敦史，高瀬佳苗，神谷研二，大平哲也．東日本大震災後の福島県における果物摂取頻度と糖尿病との関連　県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web. 32(Suppl.1):163.

岡崎可奈子，安田俊，石井佳世子，中野裕紀，大平哲也，藤森敬也，石川徹夫，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後の福島第一原発事故による外部被ばく線量の周産期転帰への影響　福島県「県民健康調査」．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

林史和，大平哲也，中野裕紀，長尾匡則，岡崎可奈子，島袋充生，坂井晃，高橋敦史，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災避難区域等住民の好中球・リンパ球比と精神的・身体的健康状態との関連　福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220128; Web.

中野裕紀，坂井晃，長尾匡則，大平哲也，石川徹夫，細矢光亮，島袋充生，高橋敦史，風間順一郎，岡崎可奈子，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくが避難区域住民の健康に及ぼす影響：福島県県民健康調査．第 32 回日本疫学会学術総会; 20220126-28; Web.

金子裕眠，高橋智里，山谷幸恵，岩舘学，松本佳子，鈴木眞一，志村浩己．甲状腺結節細胞診検体作成後の穿刺針洗浄液を用いた変異遺伝子同定の試み．第 33 回東北甲状腺談話会; 20220312; 仙台.

志村浩己，松本佳子，岩舘学，中野賢英，國井葉，福島光浩，天野高志，北川亘，福成信博，村上司，宮川めぐみ，貴田岡正史，鈴木眞一．甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性に関する Feasibility Study．第 48 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20220423-24; 名古屋/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(2):67.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，坂井晃，中野裕紀，林史和，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，大平弘正，風間順一郎，細矢光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールは心理的負担と相関する：福島県県民健康調査．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20220512; 神戸/Web．糖尿病. 65(Suppl.1):S234.

青木鐘子，山岸良匡，丸山広達，池田愛，長尾匡則，野田博之，梅澤光政，羽山実奈，村木功，岡田知佳，田中麻里，岸田里恵，木原朋未，大平哲也，今野弘規，山海知子，岡田武夫，谷川武，北村明彦，木山昌彦，磯博康．きのこ類の摂取と要介護認知症リスク：CIRCS 研究．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

江口依里，大平哲也，中野裕紀，林史和，岡崎可奈子，舟久保徳美，前田正治，安村誠司，矢部博興，神谷研二．東日本大震災後の避難の有無別にみた笑いの頻度と生活習慣病との関連．第 58 回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

平井裕之，岡崎可奈子，大平哲也，前田正治，長尾匡則，針金まゆみ，高橋敦史，風間順一郎，細谷光亮，矢部博興，鈴木友理子，安村誠司，大戸斉，神谷研二，島袋充生．東日本大震災後の血糖コントロールと精神的健康障害との関係：福島県県民健康調査．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会; 20220723; 久留米.

水木理恵．原子力災害が与える子どもの暮らしへの影響．第 21 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20220724; 東京.

長尾匡則，小針英理，田中健一，林史和，大平哲也，安村誠司，島袋充生，前田正治，坂井晃，矢部博興，細矢光亮，高橋敦史，大戸斉，神谷研二，風間順一郎．東日本大震災後の高血圧新規発症に対するリスク 要因の検討：福島県「県民健康調査」．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221008; 甲府/Web.

佐藤愛咲子，江口依里，林史和，本田瑛子，清水悠路，岡田武夫，木山昌彦，大平哲也．生活習慣とうつ発症との関連についての前向き研究．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221009; 甲府/Web.

岡崎可奈子，長尾匡則，島袋充生，大平哲也，中野裕紀，林史和，安村誠司，大戸斉，神谷研二．東日本大震災後のやせの新規発生と生活習慣・精神的健康との関連：福島県県民健康調査．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府/Web.

中野裕紀，林史和，吉田知克，梅澤光政，小橋元，大平哲也．福島県脳卒中発症登録に関する報告：2013 年、2018 年遡り調査の比較．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府/Web.

堀越直子，前田正治，水木理恵，村上道夫，安村誠司．避難者における相談できる家族の存在と心理的ストレスの影響　福島県「県民健康調査」．第 81 回日本公衆衛生学会総会; 20221007-09; 甲府/Web.

江尻遥香，鈴木悟，浅野眞比呂，中野那奈，鈴木聡，佐藤綾子，長嶺夏希，高橋智里，山谷幸恵，岩舘学，松塚崇，大平哲也，安村誠司，古谷文彦，志村浩己，鈴木眞一，横谷進，神谷研二．小児・青年期の甲状腺の横幅と厚さから算出された甲状腺面積の各性別、年齢、体表面積あたりの基準値について．第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):143.

高橋智里，江尻遥香，中畑那奈，浅野眞比呂 長嶺夏希，佐藤綾子，鈴木聡，鈴木悟 鈴木眞一，志村浩己．超音波画像の定量化によるファントム間差の検討と精度管理に及ぼす影響．第 49 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web．乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):124.

江口依里，舟久保徳美，中野裕紀，大平哲也．東日本大震災前後の福島県内のメタボリックシンドロームの長期動向 NDB 特定健診データを用いた検討．福島医学会第 491 回学術集会; 20221028; 福島．福島医学雑誌. 72(2):85-86.

鈴木聡，岩舘学，古屋文彦，鈴木眞一，横谷進，鈴木悟，志村浩己．小児若年者における男女別甲状腺機能の変化について．第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

水木理恵，藤原武男．思春期児童における、虐待の種類とトラウマ症状の関連．日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会; 20221210; 福岡.

水木理恵．思春期前期 HOME 評価尺度児童養護施設版による調査の実施．日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会; 20221210-11; 福岡.

水木理恵，給前麻実子，西澤哲，森茂起．児童養護施設職員の要因と思春期の子どものメンタルヘルスの関連．日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会; 20221210-11; 福岡.

〔シンポジウム〕

Shimura H. Addressing health concerns of Fukushima residents after the nuclear accidents in the Thiroid Ultrasound Examination program. IAEA Consultancy Meeting on the importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society; 20220621-22; Web.

Shimura H. Communication with Fukushima residentas in the Thyroid Ulutrasound Examination program. IAEA Technical Meeting on the importance of communicating scientific facts: addressing radiation concerns in societies - the role of science technology and society; 20221102-04; Web.

Shimura H. Current status of Thyroid Ultrasound Examination program and findings on the effects of radiation exposure on the thyroid gland in Fukushima. Radiation Research Society 68th Annual International Meeting; 20221016-19; Waikoloa Village, USA.

志村浩己．県民健康調査でわかったこと－甲状腺がんのリスク. 2022 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20220305; 福島.

藤森敬也，経塚標，安田俊，村田強志，後藤あや，安村誠司，太田操，幡研一，石井佳世子，鈴木孝太，中章人，後藤紗織，岡崎可奈子，中野裕紀，大平哲也，大戸斉，神谷研二．県民健康調査「妊産婦に関する調査」ならびに自然流産・人工妊娠中絶率の変化．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山/Web.

志村浩己．福島県県民健康調査「甲状腺検査」の震災後 10 年の歩みとこれまで明らかになった小児甲状腺への影響．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415-17; 郡山/Web．日本小児科学会雑誌. 126(2):203.

志村浩己．超音波所見評価による細胞診適応判断．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

志村浩己. JABTS の精査基準と ATA ガイドラインとの比較．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

瀬藤乃理子，鈴木悟，志村浩己．甲状腺検査二次検査における受診者・家族への心理社会的サポート～10 年のあゆみ～．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

志村浩己．甲状腺検査の 10 年の歩みと今後の課題．日本超音波医学会第 95 回学術集会; 20220520-22; 名古屋.

中野裕紀，後藤あや，大葉隆，吉田和樹，ケネスノレット，村上道夫，大平哲也，熊谷敦史，谷川攻一．災

害地域のニーズ調査を基にITツールを開発、調査を展開している事例. 第81回日本公衆衛生学会総会; 20221008; 甲府/Web.

志村浩己 福島光浩，滝克己，佐々木英司，太田寿，尾本きよか，鈴木眞一，中野恵一，中野賢英，松本佳子，福成信博，村上司，宮川めぐみ，貴田岡正史. 甲状腺穿刺吸引細胞診における検査前説明に関するアンケート調査結果. 第49回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20221008-09; 米子/Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(4):46.

〔特別講演〕

志村浩己. 体表領域『一歩進んだ甲状腺超音波検査のための超音波画像の判定方法とピットフォール』. 第47回日本超音波検査学会学術集会; 20220527-29; 東京/Web.

志村浩己. 東日本大震災から10年を経過した福島県の現状と「福島県県民健康調査」甲状腺検査のこれまでとこれから. 第51回愛媛内分泌代謝疾患懇話会; 20220909; 松山/Web.

〔招待講演〕

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの歩みとこれからの挑戦. 第23回ホルモンと癌研究会; 20220617; Web.

〔その他〕

Nollet KE. Creative Health - BODY: Online Training of Trainers. テレコン発表 for インドネシア共和国; 20220905; Web.

Nollet KE. Creative Health - BODY: Online Training of Trainers. テレコン発表 for ルワンダ共和国; 20221006; Web.

林史和，大平哲也，中野裕紀，島袋充生，坂井晃，前田正治，矢部博興，安村誠司，大戸斉，神谷研二. 東日本大震災後の食品摂取多様性と高中性脂肪血症の発生との関連：福島県県民健康調査. 第58回日本循環器病予防学会学術集会; 20220612; Web.

Goto A, Nollet KE. 小学生向け「キャリアチャット」、血液型実習を含む. 児童向けワークショップ; 20221115; 伊達.

Goto A, Nollet KE. 小学生向け「キャリアチャット」、血液型実習を含む. 児童向けワークショップ; 20221214; 伊達.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

Nollet KE. 放射線医学県民健康管理センター「県民健康調査」検討委員会 県民健康調査実施状況・結果 英訳公開. 20130401-継続中. Available from: https://fhms.jp/en/fhms/

健康増進センター

論　　文

〔原　著〕

Mammoto T, Taguchi N, Takei S, Imoo Y, Ma E. Effects of zolpidem administration on postoperative pain in patients after total knee arthroplasty: Study protocol for a randomized controlled trial. Archives of Clinical Trials. 2022; 2(2). doi: 10.33425/2768-4598.1020.

Ma E, Shimazu T, Song M, Charvat H, Sawada N, Yamaji T, Inoue M, Camargo MC, Kemp TJ, Pfeiffer RM, Pinto LA, Rabkin CS, Tsugane S. Circulating Inflammation Markers and Pancreatic Cancer Risk: A Prospective Case-cohort Study in Japan. Cancer Epidemiology, Biomarkers & Prevention. 202201; 31(1):236-241.

Fukasawa M, Miyake M, Kikkawa T, Sueyasu T. Development of the Japanese version of Staff Attitude to Coercion Scale. Frontiers in Psychiatry. 202210; 13:1026676.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Hosoya M, Miyazaki M, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Eguchi E, Funakubo N, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Development of a Japanese Healthy Diet Index: The Fukushima Health Management Survey 2011. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202211; 19(22):14858.

Fukasawa M, Umeda M, Akiyama T, Horikoshi N, Yasumura S, Yabe H, Suzuki Y, Bromet EJ, Kawakami N. Worry about Radiation and Its Risk Factors Five to Ten Years after the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202212; 19(24):16943.

Ma E, Ohira T, Hirai H, Okazaki K, Nagao M, Hayashi F, Nakano H, Suzuki Y, Sakai A, Takahashi A, Kazama JJ, Yabe H, Maeda M, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Dietary Patterns and New-Onset Type 2 Diabetes Mellitus in Evacuees after the Great East Japan Earthquake: A 7-Year Longitudinal Analysis in the Fukushima Health Management Survey. Nutrients. 202211; 14(22):4872.

甲状腺・内分泌センター

論　　文

〔原　著〕

Morisaki N, Yoshii K, Ogawa Y, Monoi T, Kato N, Yokoya S. Preschool-children's height, trend, and causes: Japanese national surveys 1990-2010. Clinical Pediatric Endocrinology. 202201; 31(1):10-17.

Isojima T, Hasegawa T, Yokoya S, Tanaka T. Demographic characteristics of children with growth hormone deficiency from 1996 to 2015 in Japan: 20 years of data from the foundation for growth science in Japan. Endocrine Journal. 202208; 69(8):927-939.

Shimura H, Suzuki S, Yokoya S, Iwadate M, Suzuki S, Matsuzuka T, Setou N, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K; Thyroid Ultrasound Examination Group. A Comprehensive Review of the Progress and Evaluation of the Thyroid Ultrasound Examination Program, the Fukushima Health Management Survey. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S23-S35.

Nakaya T, Takahashi K, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Shimura H, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Revisiting the Geographical Distribution of Thyroid Cancer Incidence in Fukushima Prefecture: Analysis of Data From the Second- and Third-round Thyroid Ultrasound Examination. Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl_XII):S76-S83.

Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Furuya F, Suzuki S, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Possible Association Between Thyroid Nodule Formation and Developmental Alterations in the Pituitary-Thyroid Hormone Axis in Children and Adolescents: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202211; 32(11):1316-1327.

御前隆，南谷幹史，溝上哲也，荒田尚子，伊藤順庸，猪股弘明，内野眞也，大江秀美，鬼形和道，佐藤浩一，杉原茂孝，長崎啓祐，鳴海覚志，長谷川奉延，長谷川行洋，原田正平，深田修司，久門真子，横谷進，吉村弘，日本甲状腺学会小児甲状腺疾患診療委員会．小児 Basedow 病に対する放射性ヨウ素内用療法に関するアンケート調査結果．日本甲状腺学会雑誌. 202212; 13(2):112-117.

中林洋介，遠藤明史，儘田光和，石崎優子，稲毛英介，大野拓郎，阪下和美，武田充人，戸谷剛，奈倉道明，水野美穂子，村上潤，森伸生，柳町昌克，大山昇一，奥村秀定，楠田聡，高木英行，横谷進，道端伸明，杉浦至郎，江原朗，上原里程，岡本健太郎，神谷太郎，北野尚美，佐々木隆司，楢林敦，本荘哲，清澤伸幸，西田俊彦，森崎菜穂，水野克己，楠原浩一，窪田満，森岡一朗．新型コロナウイルス感染症に伴う小児医療機関の保険診療上の課題に関する調査　二次調査報告．日本小児科学会雑誌. 202201; 126(1):123-133.

奈倉道明，儘田光和，遠藤明史，大野拓郎，中林洋介，石崎優子，稲毛英介，阪下和美，武田充人，戸谷剛，水野美穂子，村上潤，森伸生，柳町昌克，大山昇一，奥村秀定，楠田聡，高木英行，横谷進，楠原浩一，窪

田満，森岡一朗，日本小児科学会社会保険委員会．急性期後のリハビリテーションを要する小児患者の受け入れ実態調査報告書．日本小児科学会雑誌. 202211; 126(11):1581-1586.

伊藤善也，水流聡子，安井清一，西岡桃子，村田光範，田中敏章，神崎晋，加藤則子，横谷進，大薗恵一，長谷川奉延，日本学校保健会，日本小児内分泌学会，日本成長学会．提言　学校健康診断における年齢、身体計測値や体格に関する指標の表記法．日本成長学会雑誌. 202205; 28(1):7-10.

〔研究報告書〕

大野拓郎，遠藤明史，中林洋介，石崎優子，稲毛英介，阪下和美，武田充人，戸谷剛，奈倉道明，儘田光和，水野美穂子，村上潤，森伸生，柳町昌克，大山昇一，奥村秀定，楠田聡，高木英行，横谷進，楠原浩一，窪田満，森岡一朗．病院小児科における小児入院医療管理料に対する意識調査．日本小児科学会雑誌. 202204; 126(4):747-757.

〔その他〕

横谷進．あなたの質問にお答えします　成長曲線から受診を勧めるかどうかをどう判定すればよいですか？ 健. 202205; 52(2):57-61.

書籍等出版物

Matsuzuka T, Suzuki S, Suzuki S, Iwadate M, Yokoya S, Setou N, Shimura H. Thyroid ultrasound examination program to address health concerns of Fukushima residents after the nuclear accidents. In: Kamiya K, Ohto H, Maeda M. Health Effects of the Fukushima Nuclear Disaster. London: Academic Press; 2022. p.69-80.

横谷進．第 4 章　水・電解質代謝異常　A. 水・電解質代謝の生理学. In: 日本小児内分泌学会. 小児内分泌学　改訂第 3 版. 東京: 診断と治療社; 202202. p.247-252.

遠藤明史，横谷進．Ⅰ総論　1 わが国の社会保障と健康保険制度. In: 日本小児科学会社会保険委員会. 保健診療・社会保障テキスト　改訂第 2 版. 東京: 診断と治療社; 202205. p.2-4.

大野拓郎，大山昇一，横谷進．Ⅱ各論　3 入院診療の評価. In: 日本小児科学会社会保険委員会. 保険診療・社会保障テキスト　改訂第 2 版. 東京: 診断と治療社; 202205. p.157-175.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

松本恵，稲毛英介，中林洋介，遠藤明史，横谷進，岩間達，清水俊明．登録事故症例を用いた小児の深鎮静における事故症例の実態と経済的変化の解析．第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山/Web. 日本小児科

学会雑誌. 126(2):366.

鈴木聡，岩舘学，古屋文彦，鈴木眞一，横谷進，鈴木悟，志村浩己. 小児若年者における男女別甲状腺機能の変化について. 第 65 回日本甲状腺学会学術集会; 20221101-03; 大阪.

〔シンポジウム〕

横谷進. もっと社会に目をむけよう. 第 55 回日本小児内分泌学会学術集会; 20221103; 横浜/Web.

〔招待講演〕

横谷進. 福島第一原子力発電所事故と甲状腺がん. 第 125 回日本小児科学会学術集会; 20220415; 郡山/Web. 日本小児科学会雑誌. 126(2):171.

横谷進. 診療報酬の改善のために　学会保険委員会の役割. 日本小児内分泌学会社会保険委員会; 20220426; 福島/Web.

〔その他〕

横谷進. 福島における甲状腺への放射線の影響と過剰診断・過剰治療について考える. 令和 4 年度山梨大学社会環境医学実習　放射線災害対策と福島県県民健康調査; 20220406; Web.

先端臨床研究センター

論　　文

〔原　著〕

Ukon N, Higashi T, Hosono M, Kinuya S, Yamada T, Yanagida S, Namba M, Nakamura Y. Manual on the proper use of meta-[^{211}At] astato-benzylguanidine ([^{211}At] MABG) injections in clinical trials for targeted alpha therapy (1st edition). Annals of Nuclear Medicine. 202208; 36(8):695-709.

Aikawa M, Sakaguchi M, Ukon N, Komori Y, Haba H, Otuka N, Takács S. Production cross sections of samarium-153 and -145 via alpha-particle-induced reactions on natural neodymium. Applied Radiation and Isotopes. 202209; 187:110345.

Ishii S, Sugawara S, Yamakuni R, Sekino H, Ito H. Hypertrophic Pachymeningitis Demonstrated by Whole-Body 67Ga Scintigraphy. Clinical Nuclear Medicine. 202202; 47(2):e149-e151.

Yamamoto S, Ukon N, Washiyama K, Hasegawa K, Kamada K, Yoshino M, Yoshikawa A. Development of a phoswich detector composed of ZnS(Ag) and YAP(Ce) for astatine-211 imaging. Radiation Measurements. 202204; 153:106734.

宮司典明，前田貴雅，右近直之，米山寛人，山下康輔，花岡宏平，飯森隆志. 核医学治療の医療利用　これまでの展開と放射線技術の役割. 保健物理. 202212; 57(4):172-180.

〔総説等〕

Oriuchi N, Endoh H, Kaira K. Monitoring of Current Cancer Therapy by Positron Emission Tomography and Possible Role of Radiomics Assessment. International Journal of Molecular Sciences. 202208; 23(16):9394.

織内昇. PET による Theranostics と 177Lu および 225Ac 標識 PSMA リガンドによる核医学治療の臨床成績と今後の展望. 泌尿器外科. 202201; 35(1):45-51.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Washiyama K, Sugiyama A, Tatsumi T, Zhao S, Aoki M, Yamatsugu K, Ukon N, Shimoyama S, Nishijima K, Joho T, Shiga T, Inano A, Oriuchi N, Kanai M, Takahashi K, Kodama T. Synthesis and evaluation of 211At-labeled bis-iminobiotin for pretargeted alpha radioimmunotherapy. SNMMI2022 Annual Meeting; 20220612; Vancouver, Canada/Web. Journal of Nuclear Medicine. 63(supplement 2):2359.

Zhao S, Aoki M, Ukon N, Shimoyama S, Nishijima KI, Joho T, Washiyama K, Washino K, Shiga T, Oriuchi N, Takahashi K, Higashi T, Ito H. Effects of single and repeated 211At-MABG treatments on tumor growth suppression in a pheochromocytoma xenograft. SNMMI2022 Annual Meeting; 20220614; Vancouver, Canada. Journal of Nuclear Medicine. 63(supplement 2):4010.

Washiyama K, Sasaki S, Nagatsu K, Minai Y, Takahashi K. Experimental consideration of ^{68}Ge manufacturing using an α beam at beam dump for an education tool of a low-level radioactive ^{68}Ge/^{68}Ga generator. 18th Workshop on Targetry and Target Chemistry; 20200824; Whistler, Canada.

Suzuki Y. Integrated Radiation Therapy including At-211 alpha Nuclear Medicine Therapy. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology (WFNMB2022); 20220909; Kyoto/Web.

Takahashi K. Synthesis of At-211 MABG. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology (WFNMB2022); 20220909; Kyoto/Web.

Washiyama K. Manufacturing of At-211 using Cyclotron. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology (WFNMB2022); 20220909; Kyoto/Web.

Yamashita S. The progress of development of At-211 targeted alpha particle therapy at Fukushima Medical

University and possibilities of combined therapy with external-beam radiation and immunotherapy. 13th Congress of the World Federation of Nuclear Medicine and Biology (WFNMB2022); 20220909; Kyoto/Web.

Ukon N, Zhao S, Washiyama K, Nishijima K, Shimoyama S, Joho T, Oriuchi N, Shiga T, Takahashi K, Ito H. Similarities and differences of dosimetry between meta-[211At]astatobenzylguanidine (211At-MABG) and meta-[123I]iodobenzylguanidine (123I-MIBG) as companion diagnostic drug in PC12 pheochromocytoma model mice. EANM'22 - 35th Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine; 20221018; Barcelona, Spain.

荒野真結，鷲山幸信，高橋和弘, Hinze W, **高貝慶隆**. 固相界面におけるアスタチン-211 ラベル化反応と簡易精製システムへの応用. 日本化学会第 102 回春季年会(2002); 20220326; Web.

小高理沙子，大湯和彦，白川浩二，山尾天翔，右近直之，三輪建太，高橋康幸. PET-MRI 複合装置のための性能評価ファントムの開発. 第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20220414; 横浜.

Jodo E, Nakazono T, Takahashi K, Suzuki Y, Hoshino KY, Ukon N, Zhao S, Eifuku S. Imaging of 5-HT2A receptors in rats with semi-chronic administration of phencyclidine. NEURO 2022; 20220702; 宜野湾/Web.

Joho T, Nishijima KI, Aoki M, Washiyama K, Hiroshi T, Takahashi K. A novel synthesis of 1-(3-(astato-211At)benzyl)guanidine (MABG). 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都.

伊藤浩，茨木正信，山國遼，末永博紀，菅原茂耕，石井士朗，福島賢慈，久保均，右近直之，西嶋剣一，高橋和弘. O-15 標識ガス定常吸入法を用いた脳循環代謝諸量の無採血定量法の開発　理論とシミュレーション. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都.

右近直之，趙松吉，鷲山幸信，西嶋剣一，下山彩希，城寶大輝，志賀哲，織内昇，高橋和弘，伊藤浩. 悪性褐色細胞腫 PC12 移植マウスにおける 123I-MIBG イメージングと ex-vivo 体内動態及び線量評価の比較. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都.

鷲山幸信，巽俊文，杉山暁，趙松吉，粟生木美穂，山次健三，西嶋剣一，右近直之，下山彩希，城寶大輝，織内昇，金井求，高橋和弘，児玉龍彦. Synthesis of an 211At labeled bis-iminobiotin derivative with enhanced plasm a stability. 第 62 回日本核医学会学術総会; 20220910; 京都.

樵勝幸，福島賢慈，右近直之，根本彩香，久保均，山國遼，伊藤浩. 心筋血流アンモニア PET/MR における MR 吸収補正プロトコールの比較検討. 第 42 回日本核医学技術会学術総会学術大会; 20220910; 京都.

品田光洋，吉本光喜，吉井幸恵，松本博樹，高橋正，五十嵐千佳，檜原扶紀子，立花知子，東達也，藤井博史，鷲山幸信. 標的α線治療における遊離 225Ac 除去に関する錯体化学的検討. 日本放射化学会第 66 回討論会(2022); 20220916; 東京.

巽俊文，山次健三，杉山暁，趙松吉，粟生木美穂，西嶋剣一，右近直之，下山彩希，譚成博，城寶大輝，織内昇，高橋和弘，清水洋平，高橋和希，安藝翔，児玉龍彦，鷲山幸信，金井求. 低免疫原性ストレプトアビジン変異体と改変ビオチンを用いるプレターゲティングシステムの開発. 日本放射線化学会第 66 回討論会(2022); 20220916; 東京.

鷲山幸信，佐々木茂範，永津弘太郎，薬袋佳孝，高橋和弘．ビーム調整時間を利用した ^{68}Ge の製造と教育用 ^{68}Ge/^{68}Ga ジェネレータへの応用．日本放射化学会第 66 回討論会(2022)；20220916；東京．

古内容子，大堀裕太，佐野秀樹，大江敬太郎，黒田純子，菅原茂耕，志賀哲，織内昇，稲野彰洋．ヨウ素 131-Radioimmunotherapy における甲状腺ブロックとしてヨウ化カリウムと リオチロニンナトリウムを使用した経験．第 43 回日本臨床薬理学会学術総会；20221130；横浜．

〔シンポジウム〕

Washiyama K. Astatine-211: situation in Japan. 1st open meeting of the COST Action CA19114; 20220509; Gothenburg, Sweden.

Washiyama K. R&D Status of Astatine-211 in Japan and at Fukushima Medical University. 66th IAEA General Conference Side Event. The Development of Alpha–emitting radiopharmaceuticals and the Supply of the Isotopes: 211At and the possible role of the international organization; 20220927; Vienna, Austria.

趙松吉，粟生木美穂，趙景敏，右近直之，下山彩希，西嶋剣一，鷲山幸信，高橋和弘，伊藤浩，織内昇，池添隆之．急性骨髄性白血病における 211At 標識抗 CD82 抗体の治療効果．第 3 回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ；20220208；Web．

鷲山幸信．新試験研究炉へ向けて RI 製造（開発）の重要性．「もんじゅサイトを活用した新たな試験研究炉の概念設計及び運営の在り方検討」WG2（幅広い利用運営に関する検討）第 4 回会合；20220224；Web．

鷲山幸信．核医学治療用 β-放射体 177Lu の原子炉製造．京大複合研専門研究会「アクチノイドの物性化学と応用」；20220303；Web．

鷲山幸信．ハンズオンセミナー「標的アイソトープ治療の線量評価」最新の核医学治療の動向．第 123 回日本医学物理学会学術大会；20220414；横浜．

右近直之．ハンズオンセミナー「標的アイソトープ治療の線量評価」核医学イメージングからの線量評価の実践．第 123 回日本医学物理学会学術大会；20220414；横浜．

高橋和弘．今、そこにある新薬 2（腫瘍）　PSMA 製剤合成の実際．日本核医学会 PET サマーセミナー2022 in 甲府；20220730；甲府．

〔特別講演〕

織内昇．核医学によるがん標的治療　国内の現状と新規治療開発．関西医科大学 RI 講習会；20220908；大阪．

〔招待講演〕

右近直之．これからの核医学治療に必要な放射線技術．第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会；20220416；横浜．

右近直之. 核医学における線量計算の HOW TO. 日本放射線技術学会第 268 回東京支部技術フォーラム; 20220708; Web.

右近直之. 核医学治療と線量評価のこれからの課題. 日本放射線技術学会第 69 回関東支部研究発表大会; 20221204; つくば.

高橋和弘. 211At-MABG 開発、医師主導治験に至るまでの福島医大の経験. 日本核医学会第 26 回核医学治験企業懇談会; 20221208; Web.

〔その他〕

織内昇. JSNMT 卒後教育プログラム　核医学治療の現状と将来展望. 第 42 回日本核医学技術学会総会学術大会; 20220911; 京都.

鷲山幸信. 加速器による RI 製造について. 第 3 回ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟; 20221031; 東京.

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

土橋悠, **小澤和典**, **片平清昭**, **渡辺慎哉**. 患者由来腫瘍移植（PDX）モデル作製のための凍結腫瘍組織データベースの紹介. 第 69 回日本実験動物学会総会; 20220518-20; 仙台. 抄録集. 95.

小澤和典, **橋本良子**, **山本裕子**, **江崎淳二**, **片平清昭**. 3 系統のマウスにおけるＸ線全身照射の急性障害、晩発性影響および低線量繰り返し被曝の影響. 第 69 回日本実験動物学会; 20220518-20; 仙台. 抄録集. 112.

小澤和典, **山本裕子**, **長谷川久美子**, **関口美穂**, **片平清昭**. ラットポリオーマウイルス 2（RatPyV2）の感染性に関する検討（3）. 第 8 回実験動物技術研究交流大会; 20220521; 仙台. 講演要旨集. 8.

山本裕子, **土橋悠**, **片平清昭**. SPF 動物施設におけるニワトリ飼育室の設置. 日本実験動物技術者協会第 8 回実験動物技術研究交流大会; 20220521; 仙台. 講演要旨集. 15-16.

多村博澄, **星裕孝**, **渡辺慎哉**. 患者由来肺がんオルガノイドを用いた扁平上皮癌の角化モデルの開発. 第 81 回日本癌学会学術総会; 20220929-1001; 横浜. 抄録集. 183.

片平清昭，**土橋悠**．マウスおよびラット用ダブルデッキ式ケージの考案．第 56 回日本実験動物技術者協会総会; 20221013-15; 松本．講演要旨集. 110.

土橋悠，**津谷優子**，**中山隆幸**，**市橋愛**，**片平清昭**．ダブルデッキ式ケージを用いたマウスの飼育について．第 56 回日本実験動物技術者協会総会; 20221013-15; 松本．講演要旨集. 110.

〔シンポジウム〕

高木基樹．福島医薬品関連産業支援拠点化事業の進捗と今後. JBIC プロジェクト研究成果報告会 2022; 20220222; Web.

高木基樹．新型コロナウイルス抗体を活用したオープンイノベーションの試み．ニューノーマル研究部会第 8 回会合; 20220528; Web.

高木基樹．新型コロナウイルス抗体を活用したオープンイノベーションの試み．国際知的財産研究所知的財産研究会; 20221005; Web.

高木基樹. Fukushima patient derived tumor xenograft(F-PDX®)のご紹介．第 14 回 In vivo 実験医学シンポジウム; 20221124; 東京.

高木基樹. TR センター事業概要及び浜通りでの展開．第 2 回浜通りバイオ産業推進フォーラム; 20221215; 南相馬.

臨床研究イノベーションセンター

論　文

〔原　著〕

Takayama A, Takeshima T, Yamazaki H, Kamitani T, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Resting respiration rate predicts all-cause mortality in older outpatients. Aging Clinical and Experimental Research. 202207; 34(7):1697-1705.

Kimura M, Nakagawa H, Niwa JI, Wakita Y, Miyata Y, Maekawa M, Doyu M. A 47-Year-Old Japanese Woman with Symptoms of Increased Salty and Reduced Sweet Taste Perception Preceding a Diagnosis of Thymoma-Associated Myasthenia Gravis. American Journal of Case Reports. 202205; 23:e936000.

Abe K, Ishikawa Y, Kita Y, Yajima N, Inoue E, Sada KE, Miyawaki Y, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M. Association of low-dose glucocorticoid use and infection

occurrence in systemic lupus erythematosus patients: a prospective cohort study. Arthritis Research & Therapy. 202207; 24(1):179.

Matsuo Y, Yamada Y, Miyata J, Aita T, Yoshioka T. Importance of internal and external validity in clinical research: comment on the article by Fatima et al. Arthritis & Rheumatology. 202201; 74(1):175-176.

Oide S, Wang Q, Miyata J, Yoshioka T. Re: Postpartum haemorrhage requiring transfusion and risk of cardiovascular disease later in life: a retrospective cohort study. BJOG. 202203; 129(4):672-673.

Yajima N, Kawaguchi T, Takahashi R, Nishiwaki H, Toyoshima Y, Oh K, Odai T, Kanai T, Morisky DE, Yamaguchi T, Kasama T. Adherence to methotrexate and associated factors considering social desirability in patients with rheumatoid arthritis: a multicenter cross-sectional study. BMC Rheumatology. 202212; 6(1):75.

Koide Y, Kataoka Y, Hasegawa T, Ota E, Noma H. Effect of systemic bisphosphonate administration on patients with periodontal disease: a systematic review and meta-analysis protocol. BMJ Open. 202203; 12(3):e057768.

Hijikata Y, Kamitani T, Nakahara M, Kumamoto S, Sakai T, Itaya T, Yamazaki H, Ogawa Y, Kusumegi A, Inoue T, Yoshida T, Furue N, Fukuhara SI, Yamamoto Y; AVA Score Research Group. Development and internal validation of a clinical prediction model for acute adjacent vertebral fracture after vertebral augmentation: the AVA score. Bone & Joint Journal. 202201; 104-B(1):97-102.

Takayama A, Takeshima T, Nagamine T. Factors associated with the frequency of respiratory rate measurement by hospital nurses: a multicentre cross-sectional study. British Journal of Nursing. 202205; 31(9):495-501.

Hagiya H, Aoki A, Matsuo T, Ishikane M, Nakagawa H, Yoshioka T. The Illusionary Correlation in Antibiotic Prescriptions: It May Exist but Requires Further Elucidation With Rigorous Methodology. Clinical Infectious Diseases. 202208; 75(1):176.

Katayama K, Kurita N, Takada T, Miyashita J, Azuma T, Fukuhara S, Takeshima T. Door-to-oral time and in-hospital outcomes in older adults with aspiration pneumonia undergoing dysphagia rehabilitation. Clinical Nutrition. 202210; 41(10):2219-2225.

Nakagawa H, Asakura T, Hamaguchi S. Obturator hernia. CMAJ. 202201; 194(2):E50.

Nakagawa H, Kato C, Miyata Y. Necrosis secondary to cold agglutinin disease. CMAJ. 202204; 194(14):E528.

Nakagawa H, Miyata Y. Abdominal pain caused by epiploic appendagitis. CMAJ. 202207; 194(27):E942.

Sasaki R, Aita T, Nagano H, Maehara J, Okuda S, Mizota T, Yoshioka T. Bringing Hidden Biases Into Light: Comments on an Observational Study on the Use of Antifibrinolytics for Pediatric Patients With Life-Threatening Hemorrhage. Critical Care Medicine. 202204; 50(4):e407-e408.

Nishiwaki H, Niihata K, Kinoshita M, Fujimura M, Kurosawa K, Sakuramachi Y, Takano K, Matsunaga S, Okamura S, Kitatani M, Tsujii S, Hayashino Y, Kurita N; Diabetes Distress Care Registry at Tenri Study Group. Urinary C-megalin as a novel biomarker of progression to microalbuminuria: A cohort study based on the diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 22). Diabetes Research and Clinical Practice. 202204; 186:109810.

Nakagawa H, Miyata Y. Pain on Lying in the Supine Position Due to Fitz-Hugh-Curtis Syndrome. Internal Medicine. 202210; 61(20):3151.

Nakagawa H, Miyata Y. Bilateral Ruptured Baker's Cysts Mimicking Deep Vein Thrombosis. Internal Medicine. 202210; 61(20):3153-3154.

Funada S, Luo Y, Yoshioka T, Setoh K, Tabara Y, Negoro H, Yoshimura K, Matsuda F, Efthimiou O, Ogawa O, Furukawa TA, Kobayashi T, Akamatsu S. Development and validation of prediction model for incident overactive bladder: The Nagahama study. International Journal of Urology. 202207; 29(7):748-756.

Omae K, Onishi A, Sahker E, Furukawa TA. US Food and Drug Administration Accelerated Approval Program for Nononcology Drug Indications Between 1992 and 2018. JAMA Network Open. 202209; 1(5):e2230973.

Suzuki R, Takada T, Takeshima T, Hayashi M, Miyashita J, Azuma T, Usui M, Hamaguchi S, Fukuma S, Maehara K, Fukuhara S. Usefulness of a mobile phone application for respiratory rate measurement in adult patients. Japan Journal of Nursing Science. 202207; 19(3):e12481.

Maeda Y, Yoshioka T, Hayama M, Inohara H. A limitation regarding the association between intranasal corticosteroid use and better COVID-19 outcomes: Nasal symptoms matter. Journal of Allergy and Clinical Immunology in Practice. 202201; 10(1):355.

Yoshioka T, Takayama A, Nakagawa H, Ozaka A, Takeshima T. Comment on: How physicians evaluate patients with dementia who present with shortness of breath. Journal of the American Geriatrics Society. 202203; 70(3):908-909.

Ikeda-Sakai Y, Kubo K, Wada M, Seki R, Hijikata Y, Yoshioka T, Takahashi Y, Nakayama T. Effectiveness and safety of a program for appropriate urinary catheter use in stroke care: A multicenter prospective study. Journal of Evaluation in Clinical Practice. 202208; 28(4):542-549.

Suzuki R, Yajima N, Sakurai K, Oguro N, Wakita T, Thom DH, Kurita N. Association of Patients' Past Misdiagnosis Experiences with Trust in Their Current Physician Among Japanese Adults. Journal of General Internal Medicine. 202204; 37(5):1115-1121.

Makiyama J, Momosaki R, Yodoshi T, Fujieda T, Ozaka A, Takayama A, Yoshioka T. RE: Progression of Frailty in Survivors of Childhood Cancer: A St. Jude Lifetime Cohort Report. Journal of the National Cancer Institute. 202206; 114(6):914-915.

Kurita N, Kinoshita M, Fujimura M, Kurosawa K, Sakuramachi Y, Takano K, Okamura S, Kitatani M, Tsujii S, Norton EC, Hayashino Y; Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group. Association of urinary C-megalin with albuminuria and renal function in diabetes: a cross-sectional study (Diabetes Distress and Care Registry at Tenri [DDCRT 21]). Journal of Nephrology. 202201; 35(1):201-210.

Yoshioka T. COVID-19 vaccine hesitancy and media channel use in Japan: could media campaigns be a possible solution? Lancet Regional Health Western Pacific. 202201; 18:100357.

Sada K, Kurita N, Noma H, Matsuki T, Quasny H, Levy RA, Jones-Leone AR, Gairy K, Yajima N. MOONLIGHT study: the design of a comparative study of the effectiveness of belimumab in patients with a history of lupus nephritis from the post-Marketed effectiveness of belimumab cOhOrt and JapaN Lupus NatIonwide reGistry (LUNA) coHorT. Lupus Science & Medicine. 202209; 9(1):e000746.

Sada KE, Katayama Y, Asano Y, Hayashi K, Miyawaki Y, Ohashi K, Katsuyama E, Katsuyama T, Takano-Narazaki M, Matsumoto Y, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M, Yajima N. Association of one-point glucocorticoid-free status with chronic damage and disease duration in systemic lupus erythematosus: a cross-sectional study. Lupus Science & Medicine. 202209; 9(1):e000772.

Honda S, Sakai R, Inoue E, Majima M, Konda N, Takada H, Kihara M, Yajima N, Nanki T, Yamamoto K, Takeuchi T, Harigai M. Association of methotrexate use and lymphoproliferative disorder in patients with rheumatoid arthritis: Results from a Japanese multi-institutional retrospective study. Modern Rheumatology. 202201; 32(1):16-23.

Hasegawa T, Noma H, Hamano T, Abe M, Wada A, Honda H, Ito Y, Masakane I, Nitta K. Association between the use of exchange devices for peritoneal dialysis fluids and peritonitis incidence: A nationwide cohort study. Peritoneal Dialysis International. 202203; 42(2):177-184.

Tominaga R, Kurita N, Sekiguchi M, Yonemoto K, Kakuma T, Konno SI. Diagnostic accuracy of the lumbar spinal stenosis-diagnosis support tool and the lumbar spinal stenosis-self-administered, self-reported history questionnaire. PLOS ONE. 202205; 17(5):e0267892.

Hayashi K, Sada KE, Asano Y, Katayama Y, Ohashi K, Morishita M, Miyawaki Y, Watanabe H, Katsuyama T, Narazaki M, Matsumoto Y, Yajima N, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M, Wada J. Real-world data on vitamin D supplementation and its impacts in systemic lupus erythematosus: Cross-sectional analysis of a lupus registry of nationwide institutions (LUNA). PLOS ONE. 202207; 17(6):e0270569.

Ono R, Takegami M, Yamamoto Y, Yamazaki S, Otani K, Sekiguchi M, Konno SI, Kikuchi SI, Fukuhara S. Impact of lumbar spinal stenosis on metabolic syndrome incidence in community-dwelling adults in Aizu cohort study (LOHAS). Scientific Reports. 202207; 12(1):11246.

会津医療センター　総合内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Kamata K, Thein KN, Di Ja L, Win NC, Win SMK, Suzuki Y, Ito A, Osada H, Chon I, Phyu WW, Aizawa Y, Ikuse T, Ota T, Kyaw Y, Tin HH, Shobugawa Y, Watanabe H, Saito R, Saitoh A. Clinical manifestations and outcome of viral acute lower respiratory infection in hospitalised children in Myanmar. BMC Infectious Diseases. 202204; 22(1):350.

Kurihara M, Kamata K, Tokuda Y. Impact of the hospitalist system on inpatient mortality and length of hospital stay in a teaching hospital in Japan: a retrospective observational study. BMJ Open. 202204; 12(4):e054246.

Houchens N, Saint S, Petrilli C, Kuhn L, Ratz D, De lott L, Zollinger M, Sax H, Kamata K, Kuriyama A, Tokuda Y, Fumagalli C, Virgili G, Fumagalli S, Chopra V. International patient preferences for physician attire: results from cross-sectional studies in four countries across three continents. BMJ Open. 202210; 12(10):e061092.

鵜山保典. 【身体診察】頸静脈の診察　内頸静脈の拍動はさまざまなことに活用できる. Hospitalist. 202209; 10(1):21-27.

山中克郎. 【身体診察】末梢動脈の診察　動脈疾患の範囲と重症度を正確に知ることができる. Hospitalist. 202209; 10(1):29-31.

鵜山保典. 【身体診察】歩行の評価　歩行の異常から想起できる病変. Hospitalist. 202209; 10(1):164-170.

山中克郎, **岸田直樹**, **山本舜悟**. 【with コロナ　かぜ診療の心得アップデート】エキスパートが語る！with コロナ時代の「かぜ診療」. 総合診療. 202202; 32(2):148-157.

宗像慧太, **山中克郎**. 【with コロナ　かぜ診療の心得アップデート】患者特性に応じたかぜ診療　高齢者のかぜ. 総合診療. 202202; 32(2):198-202.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度”検定&深読み解説（第 11 回）“当たり”の医者『19 番目のカルテ　徳重晃の問診』第 11 話より. 総合診療. 202202; 32(2):233-235.

山中克郎. 【レクチャーの達人　とっておきの生ライブ付き！】（第Ⅰ章）カリスマ達のレクチャーの極意　医師編　レクチャーの極意. 総合診療. 202212; 32(12):1444-1445.

柏木久美子, **鎌田一宏**, **山中克郎**. 【コロナ禍を踏まえた入退院支援・地域連携業務の見直し&改善】日本トッ

プクラスの過疎・高齢・豪雪地域での在宅医療の展開. 地域連携入退院と在宅支援. 202203; 15(1):42-47.

遠藤麻衣，鈴木重行，鵜山保典，北條洋，角田三郎. 右下肢に蜂巣炎様の臨床像を呈した diffuse large B cell lymphoma の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌. 202201; 132(1):106-106.

押部郁朗，鎌田一宏，斉藤有佳，今野一美，柏木久美子，乳井恵子，管麻理恵，栗城康一，阿部和彦，小山田睦美，山中克郎. 奥会津 4 町村における新型コロナウイルスワクチン接種支援. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):73-83.

小野正博，山中克郎. 【身体診察いざ、「型」から「実践」へ　頭から爪先まで、現場の診察手技と所見の意味を知って実臨床に活かす！】腹部の身体診察. レジデントノート. 202204; 24(1):51-59.

〔総説等〕

鎌田一宏. 【フィジカル大全　読んで，見て，聴いて，身体診察を完全マスター】（第 1 章）全身　血圧の異常，ショック. Medicina. 202204; 59(4):10-16.

坂本壮，髙橋宏瑞，鎌田一宏. 【レクチャーの達人とっておきの生ライブ付き！】（第 II 章）My Best レクチャー講義録「7 人の“My Best レクチャー”15 分 1 本勝負！」総論　レクチャー概論. 総合診療. 202212; 32(12):1456-1461.

〔症例報告〕

上野孝治，池谷伸一，池田智之，高橋成一，川口信哉. 重症急性膵炎に併発した難治性膵嚢胞に五苓散が奏効したと思われる 1 例. いわき市医療センター医報. 202209; 43(1):4-13.

〔研究報告書〕

Jindai K, Saito H, Horii S, Kamata K. 1349. Lesson Learned from Investigators of Clinical Trials to Identify Therapeutics for COVID-19: Qualitative Study. Open Forum Infectious Diseases. 202212; 9(2):ofac492.

書籍等出版物

山中克郎 監修. 若手医師のあなたへ　診断力爆アゲ症例集. 東京: 日本医事新報社; 202203.

山中克郎. 医療の最初の窓口として存在感を増す総合診療医. In: アクセンチュア 監修. 日経 MOOK　ヘルスケアの進化. 東京: 日本経済新聞出版; 202205. p.64-65

鎌田一宏，東光久 編集. ジェネラリスト教育コンソーシアム　vol.16　再生地域医療 in Fukushima. さいたま: カイ書林; 202202.

徳田安春，阿部智一，鎌田一宏，山中克郎. 新時代の地域医療　会津の在宅医療. In: 鎌田一宏, 東光久 編. ジェネラリスト教育コンソーシアム vol.16 再生地域医療 in Fukushima. さいたま: カイ書林; 202202. p.37-52.

山中克郎. 憩室炎、Fitz-Hugh-Cutis 症候群、糖尿病性ケトアシドーシス. In: 中野弘康 編著. 消化器疾患のゲシュタルト. 京都: 金芳堂; 202204. p.136-153.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

金子彰，秋葉秀一郎，畝田一司，上野孝治，三潴忠道. 陰虚証を疑ったが茯苓飲合半夏厚朴湯が奏功した食欲不振の一例. 令和 4 年度日本東洋医学会福島県部会総会; 20220710; Web.

金子彰，秋葉秀一郎，畝田一司，上野孝治，三潴忠道. 潜証を疑い通脈四逆湯が奏功した機能性高体温症の一例. 令和 4 年度第 38 回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20221010; Web.

〔シンポジウム〕

一原直昭，今野哲，渡邊祐介，佐藤典宏，藤谷茂樹，齋藤浩輝，木庭茂，神代和明，飯田康，宮本恭兵，鎌田一宏，吉田英樹，下平奈保，小谷祐樹，大山裕美子. アダプティブ・プラットフォーム試験(APT)を活用した臨床試験の継続的改善に ARO が果たす役割:本邦における REMAP-CAP の実施. ARO 協議会第 9 回学術集会; 20220916-17; 柏.

〔特別講演〕

山中克郎. ランチョンセミナー1　攻める問診&フィジカルアセスメント関節リウマチと他疾患の鑑別. 第 3 回日本リウマチ看護学会学術集会; 20220604; 会津若松.

山中克郎. パーキンソン病などふらつき患者における攻める問診&診察実演. 上越プライマリケア講演会 2022; 20220622; 会津若松.

〔その他〕

山中克郎. 教育カンファレンス、教育回診、教育講演. 山中克郎先生に学ぶ in 済生会病院 2022; 20220115; 松山.

山中克郎. オンライン講演による研修医へのレクチャー. 水戸済生会総合病院研修医教育; 20220120; Web.

山中克郎. オンライン講演による研修医へのレクチャー. 水戸済生会総合病院研修医教育; 20220519; Web.

山中克郎. 研修医向け講習会. 公立陶生病院研修医教育; 20220616; Web.

山中克郎. 若手医師のための実力アップセミナー. 第 61 回若手医師のための実力アップセミナー; 20220617; Web.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20220801; 郡山.

山中克郎. 初期臨床研修医向け講義. 令和 4 年度第 1 回臨床研修セミナーin 高山; 20220806; 高山.

山中克郎. 認定医・指導医指定演題　3 :「病歴・身体診察」. 第 25 回日本病院総合診療医学会学術総会; 20220819-20; Web.

山中克郎. 患者と向き合う医療. GIM Intensive Review 2022 WEB; 20220826; Web.

山中克郎. 臨床研修医ワークショップ. 第 10 回臨床研修医ワークショップ; 20220826; Web.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20220909; 郡山.

山中克郎. 研修医を対象とした勉強会. 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院研修医教育; 20220916; 名古屋.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20220929; 郡山.

山中克郎. 外来を愉しむ　攻める問診. 第 36 回 K's カンファレンス; 20220929; Web.

山中克郎. 研修医および内科専攻医に対する講演. 研修医教育講座ならびに内科専門研修プログラム; 20220930; 小牧.

山中克郎. めまい、ふらつき患者に出会ったら～診察実演つき～. 熊本中央病院教育講演会; 20221008; 熊本.

山中克郎. 「プロフェッショナリズム」についての勉強会. 令和 4 年度第 7 回レジデントデイ; 20221028; Web.

山中克郎, **鎌田一宏**. 病歴・身体診察. 第 25 回日本病院総合診療医学会学術総会; 20221117; Web.

山中克郎. 研修医向け講習会. 公立陶生病院研修医教育; 20221117; Web.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20221125; 郡山.

山中克郎. 研修医に対する教育的講義. 総合南東北病院研修医教育; 20221223; 郡山.

会津医療センター　漢方医学講座

論　　文

〔原　著〕

Amitani M, Amitani H, Suzuki H, Kawazu S, Mizuma K, Yamaguchi K, Oki T, Nitta H, Sonoda T, Kawano K, Tanaka Y, Uto N, Ibusuki R, Arita R, Takayama S, Mitsuma T, Takezaki T, Asakawa A, Owaki T. Application of objective structured clinical examination (OSCE) for the evaluation of Kampo medicine training. BMC Medical Education. 202203; 22(1):202.

Tsukamoto S, Okami N, Yamada T, Azushima K, Yamaji T, Kinguchi S, Uneda K, Kanaoka T, Wakui H, Tamura K. Prevention of kidney function decline using uric acid-lowering therapy in chronic kidney disease patients: a systematic review and network meta-analysis. Clinical Rheumatology. 202203; 41(3):911-919.

Kawai Y, Uneda K, Yamada T, Kinguchi S, Kobayashi K, Azushima K, Kanaoka T, Toya Y, Wakui H, Tamura K. Comparison of effects of SGLT-2 inhibitors and GLP-1 receptor agonists on cardiovascular and renal outcomes in type 2 diabetes mellitus patients with/without albuminuria: A systematic review and network meta-analysis. Diabetes Research and Clinical Practice. 202201; 183:109146.

Tsukamoto S, Morita R, Yamada T, Urate S, Azushima K, Uneda K, Kobayashi R, Kanaoka T, Wakui H, Tamura K. Cardiovascular and kidney outcomes of combination therapy with sodium-glucose cotransporter-2 inhibitors and mineralocorticoid receptor antagonists in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease: A systematic review and network meta-analysis. Diabetes Research and Clinical Practice. 202211; 194:110161.

Shimada T, Hatta W, Takahashi S, Koike T, Ohira T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Nakamura J, Matsumoto T, Iijima K, Fukuda S, Masamune A, Ito K; Tohoku GI Endoscopy Group. A combined assessment of clinical and pathological prognostic factors for deciding treatment strategies for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa after endoscopic submucosal dissection. Digestive Endoscopy. 202206; 34(7):1382-1391.

Yakubo S, Baba M, Odaguchi H, Wakasugi A, Hanawa T, Mitsuma T, Namiki T, Arai M, Muramatsu S, Shimada Y, Shibahara N. Kampo Formula-Pattern Models: The Development of 13 New Clinically Useful Standard Abdominal Pattern Models in the Fukushin Simulator. Frontiers in Pharmacology. 202204; 13:688074.

Tsukamoto S, Urate S, Yamada T, Azushima K, Yamaji T, Kinguchi S, Uneda K, Kanaoka T, Wakui H, Tamura K. Comparative Efficacy of Pharmacological Treatments for Adults with Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease: A Systematic Review and Network Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials.

Frontiers in Pharmacology. 202205; 13:885457.

Kawai Y, Waki K, Yamaguchi S, Shibuta T, Miyake K, Kimura S, Toyooka T, Nakajima R, Uneda K, Wakui H, Tamura K, Nangaku M, Ohe K. The Use of Information and Communication Technology-Based Self-management System DialBeticsLite in Treating Abdominal Obesity in Japanese Office Workers: Prospective Single-Arm Pilot Intervention Study. JMIR Diabetes. 202211; 7(4):e40366.

Haruhara K, Suzuki T, Wakui H, Azushima K, Kurotaki D, Kawase W, Uneda K, Kobayashi R, Ohki K, Kinguchi S, Yamaji T, Kato I, Ohashi K, Yamashita A, Tamura T, Tsuboi N, Yokoo T, Tamura K. Deficiency of the kidney tubular angiotensin II type1 receptor-associated protein ATRAP exacerbates streptozotocin-induced diabetic glomerular injury via reducing protective macrophage polarization. Kidney International. 202205; 101(5):912-928.

Kanai D, Wakui H, Haze T, Azushima K, Kinguchi S, Kanaoka T, Toya Y, Hirawa N, Kato H, Uneda K, Watanabe F, Hanaoka K, Hanaoka M, Mitsuhashi H, Yamaguchi S, Ohnishi T, Tamura K. Improved Immune Response to the Third COVID-19 mRNA Vaccine Dose in Hemodialysis Patients. Kidney International Reports. 202212; 7(12):2718-2721.

Uneda K, Kawai Y, Yamada T, Kaneko A, Saito R, Chen L, Ishigami T, Namiki T, Mitsuma T. Japanese traditional Kampo medicine bofutsushosan improves body mass index in participants with obesity: A systematic review and meta-analysis. PLOS ONE. 202204; 17(4):e0266917.

Kayo T, Suzuki M, Kato R, Ishizaki N, Mitsuma T, Fukuda F. Association between subjective health status and frequency of visits to acupuncture clinic: A cross-sectional study. PLOS ONE. 202211; 17(11):e0277686.

福井基成，鈴木雅雄．【呼吸器疾患の緩和ケアを考える】緩和ケアとしてのその他非薬物療法．呼吸器内科．202208; 42(2):158-164.

大上尚仁，浦手進吾，鈴木徹，春原浩太郎，山地孝拡，金口翔，畝田一司，小豆島健護，涌井広道，田村功一．受容体結合蛋白 ATRAP の近位尿細管特異的高発現マウスの作製．日本腎臓学会誌. 202205; 64(3):270.

畝田一司，金子彰，齋藤龍史，石上友章，並木隆雄，三潴忠道．防風通聖散は肥満者の BMI を改善する システマティックレビューとメタ解析．日本東洋医学雑誌. 202205; 73(別冊):147.

鈴木雅雄．わかりやすい鍼灸実習　福島県立医科大学における鍼灸の講義・演習・実習について．日本東洋医学雑誌. 202207; 73(3):273-276.

〔総説等〕

三潴忠道．【身体科と精神科の連携　身体科に必要な精神疾患の基礎知識】精神疾患の漢方治療．カレントテラピー. 202210; 40(10):990-996.

高山真，松田隆秀，矢数芳英，新井信，並木隆雄，小川恵子，佐藤寿一，石上友章，伊藤剛，三潴忠道．第71 回日本東洋医学会学術総会　特別企画 1「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」2　漢方共通模擬講義．日本東

洋医学雑誌. 202207; 73(3):247-262.

小田口浩，砂川正隆，秋葉秀一郎，伊藤剛，鈴木雅雄，高山真，三潴忠道. 第 71 回日本東洋医学会学術総会特別企画 1「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」5　漢方実習. 日本東洋医学雑誌. 202207; 73(3):263-278.

鈴木雅雄. 「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」5　漢方実習.　わかりやすい鍼灸実習　福島県立医科大学における鍼灸の講義・演習・実習について. 日本東洋医学雑誌. 202207; 73(3):273-276.

蓮沼直子，柿木保明，川添和義，塩田敦子，喜多敏明，杉山清，高山真，三潴忠道. 第 71 回日本東洋医学会学術総会　特別企画 I 「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」1　シンポジウム　医歯薬看におけるモデル・コア・カリキュラムと漢方教育の立ち位置. 日本東洋医学雑誌. 202210; 73(4):434-447.

有田龍太郎，神久和，草野源次郎，秋葉秀一郎，渡辺均，高山真，三谷和男，三潴忠道. 東北地方での薬用植物栽培と生薬生産の歴史と現況. 日本東洋医学雑誌. 202210; 73(4):463-474.

三潴忠道. 特集　CKD 診療における漢方と補完代替療法　3.漢方医学の基礎. 臨床透析. 202206; 38(6):573-579.

鈴木雅雄. 高齢者における鍼灸治療の有用性. 老年科. 202208; 6(2):128-134.

鈴木雅雄. 高齢者における鍼灸治療の有用性. 老年科. 202210; 6(4):304-310.

〔その他〕

Ishigami T, Ito H, Nakada Y, Uneda K. Kampo medicine in modern cardiology “1st International Symposium on Kampo Medicine”. Traditional & Kampo Medicine. 202212; 9(3):204-206.

三潴忠道. 新年にあたり　漢方の新たな展開を求めて. 漢方の臨床. 202201; 69(1):69.

三潴忠道. 年頭にあたって. 広報ふくしんかい. 202201; 94:2.

三潴忠道，野上達也. 東洋医学・統合医学　医療用漢方エキス製剤ではなく生薬を用いた漢方治療について　エキス製剤の起源である生薬診療は,処方の自在性や有効性から必要である. 日本医事新報. 202211; 5141:50-51.

三谷和男，三潴忠道. 舌診の漢方臨床における位置づけと要点は？　舌診は現状把握の有効な手段。「色と形」→「望診」への展開がポイント. 日本医事新報. 202212; 5149:54-55.

書籍等出版物

三潴忠道，畝田一司. 3 章 診断と治療　C. 治療学概論　1. 治療のプロセス. In: 一般社団法人日本東洋医学会漢方医学書籍編纂委員会. 漢方医学大全. 東京: 静風社; 202211. p.121-123.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

和田淳，鈴木雅雄，澁川悟朗．消化管内視鏡の診断・治療の最前線～咽頭・食道・胃～　早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術における鍼治療の上部消化管蠕動運動抑制効果の検討．第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204; 仙台．プログラム・抄録集. 90.

和田淳，鈴木雅雄，澁川悟朗．早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術における鍼治療の上部消化管蠕動運動抑制効果の検討．第 103 回日本消化器内視鏡学会総会; 20220512-15; 京都. Gastroenterological Endoscopy. 64(Suppl.1):844.

渡邉萌音，和田一真，大用凌太郎，佐々木拓哉，富田潤，本望寛人，畝田一司，久島達也．生薬の香りが心理状態と計算力に与える影響の検討：アロマセラピーを例に．第 72 回日本東洋医学会学術総会; 20220527-29; Web. 日本東洋医学雑誌. 73(別冊):46.

小泉洋太，秋山和範，佐橋佳郎，白畑辰弥，小林義典，小田口浩．北里大学東洋医学総合研究所における煎じパックを用いた煎じ代行業務について．第 72 回日本東洋医学会学術総会; 20220527-29; Web. 日本東洋医学雑誌. 73(別冊):123.

畝田一司，金子彰，齋藤龍史，石上友章，並木隆雄，三潴忠道．防風通聖散は肥満者の BMI を改善する：システマティックレビューとメタ解析．第 72 回日本東洋医学会学術総会; 20220527-29; Web. 日本東洋医学雑誌. 73(別冊):147.

加用拓己，鈴木雅雄，三潴忠道，福田文彦．鍼治療による COPD 患者の運動耐容能改善における媒介因子　下肢疲労感と呼吸困難感の寄与の検討．第 71 回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会東京大会; 20220603-05; 東京. 全日本鍼灸学会雑誌. 72(別冊・抄録集):176.

上村真以，津田恭輔，佐藤駿，加用拓己，鈴木雅雄，三潴忠道．終末期肺癌患者の疼痛に鍼灸治療が有効であった 1 症例．第 71 回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会東京大会; 20220603-05; 東京. 全日本鍼灸学会雑誌. 72(別冊・抄録集):195.

津田恭輔，佐藤駿，加用拓己，鈴木雅雄，三潴忠道．原発性肺肉腫患者の呼吸困難に対して鍼治療が有効であった 1 症例．第 71 回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会東京大会; 20220603-05; 東京. 全日本鍼灸学会雑誌. 72(別冊・抄録集):196.

鈴木雅雄．呼吸器疾患に用いる東洋医学（漢方・鍼灸）慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する鍼灸治療．第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20220611-12; 横浜.

鈴木雅雄．リハビリテーション領域における鍼灸の役割とエビデンス　COPD の呼吸困難に対する鍼治療．第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20220623-25; 横浜. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 59(特別):S340.

金子彰，秋葉秀一郎，畝田一司，上野孝治，三潴忠道．陰虚証を疑ったが茯苓飲合半夏厚朴湯が奏効した食欲不振の一例．令和 4 年度日本東洋医学会福島県部会総会; 20220710; Web.

鈴木雅雄. 伝統医学を科学する　その成果と方法論. 第 12 回日本中医薬学会学術総会; 20221008; Web.

金子彰, **秋葉秀一郎**, **畝田一司**, **上野孝治**, **三潴忠道**. 潜証を疑い通脈四逆湯が奏功した機能性高体温症の一例. 令和 4 年度第 38 回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20221010; Web.

根本雄飛, **長谷川浩司**, **遠藤明里**, **本田和也**, **畝田一司**, **橋本重厚**. 反応性低血糖を契機に異常インスリン血症が示唆された 1 例. 第 60 回日本糖尿病学会東北地方会; 20221105; 仙台.

宮田紫緒里, **津田恭輔**, **上村真以**, **加用拓己**, **鈴木雅雄**. 鍼治療を用いたアルコール渇望感のコントロールを実施した 1 症例. 全日本鍼灸学会東北支部会第 38 回学術集会; 20221120; 仙台.

鈴木雅雄. 日々の臨床を評価しよう！臨床研究の初めの一歩. 第 17 回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会; 20221203-04; 名古屋.

〔シンポジウム〕

Uneda K, Ishigami T, Mitsuma T. Potential Efficacy of Kampo Medicine for Cardiorenal Interactions. 1st International Symposium on Kampo Medicine; 20220826; Web.

鈴木雅雄. 呼吸器疾患に用いる東洋医学(漢方・鍼灸)　慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する鍼灸治療. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 13 回; 20220611-12; 横浜/Web.

鈴木雅雄. リハビリテーション領域における鍼灸の役割とエビデンス　COPD の呼吸困難に対する鍼治療. 第 59 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20220623-25; 横浜. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 59(特別):s340.

小川浩正, **吉澤孝之**, **北島尚昌**, **金﨑雅史**, **鈴木雅雄**, **竹川幸恵**. 呼吸困難のトータルマネージメント「鍼治療によるアプローチ」. 第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20221111; 千葉.

鈴木雅雄. 呼吸器疾患への東洋医学からのアプローチ. 第 38 回公益社団法人全日本鍼灸学会東北支部学術集会; 20221120; 仙台/Web.

鈴木雅雄, **鳥海春樹**, **中村聡**. 病鍼連携について. 第 17 回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会; 20221203; 名古屋.

〔特別講演〕

鈴木雅雄. 医療鍼灸の可能性とはり師・きゅう師. 群馬県鍼灸師会令和 3 年度 2 回学術講習会; 20220128; Web.

畝田一司. 漢方医学が腎臓病診療に果たす役割と可能性. 第 46 回千葉東洋医学シンポジウム; 20220305; 千葉/Web.

鈴木雅雄. プレゼンティズムと東洋医学. 会津経済研究会; 20220421; 会津若松.

鈴木雅雄. 福島から発信する鍼灸のエビデンス. 令和 4 年度福島県鍼灸師会春季学術講習会; 20220424; 郡山.

鈴木雅雄. 化学療法（抗癌剤）の副作用に対する鍼灸治療　Physical assessment. 令和 4 年度病院鍼灸連携協議会学術集会; 20220716; Web.

鈴木雅雄. 皆で考えよう　なぜその治療なのか？～すぐ使える、めまい診療～. 令和 4 年度福島県鍼灸師会夏季学術講習会; 20220724; 郡山.

畝田一司. 腎臓病診療における漢方医学の可能性. 第 82 回会津漢方研究会; 20221027; 会津若松/Web.

畝田一司. 腎臓内科領域における漢方診療の実際. 第 26 回会津薬薬連携講習会; 20221129; 会津若松/Web.

〔その他〕

鈴木雅雄, **津田恭輔**, **宮田紫緒里**. 東洋医学を用いた養生について. 家族介護健康教室; 20221116; 会津若松.

会津医療センター　循環器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

阿部有司, **山田善康**, **宮下知優**, **谷澤健**, **濱知佳**, **小椋康志**, **北條真利**, **菅井義尚**, **星野弘尊**, **玉川和亮**, **鶴谷善夫**. 当院の遠隔モニタリングシステム(RMS)の運用と有用であった症例について. Therapeutic Research. 202203; 43(3):196-198.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

星野弘尊. 心サルコイドーシスに合併する不整脈. 第 8 回日本心筋症研究会; 20220514; 高知.

鶴谷善夫. 心血管疾患発症とアルドステロンの関わる高血圧～標的治療で予後を改善する～. 会津医学会学術講演会～高血圧症を再考する～; 20220628; 会津若松.

菅井義尚. Maze 術後心房頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した 2 症例. 第 2 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20220716; 盛岡.

菅井義尚. 頻拍性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の実際と相槌木野病病・病診連携. 会津医学会学術講演会～不整脈 Up to Date～; 20221101; 会津若松.

〔その他〕

星野弘尊. β遮断薬の使い方について. トーアエイヨー株式会社 Web 社内研修会; 20220616; 会津若松.

鶴谷善夫. 社内講演. 興和株式会社スキルアップ研修; 20220729; 会津若松.

会津医療センター　血液内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Suzuki M, Koyama D, Ikeda S, Sukegawa M, Teshirogi M, Misawa K, Tsunoda S. Serum IgG and lymphocyte counts are useful for the early detection of infection in patients receiving bendamustine-rituximab therapy. Journal of Clinical and Experimental Hematopathology. 202202; 62(2):91-98.

池田翔平，手代木麻友美，鈴木学，助川真純，角田三郎，大田雅嗣. 【発熱と血液疾患】高齢の造血器腫瘍患者の管理上特に留意すべき発熱の原因. 血液内科. 202211; 85(5):719-724.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

照井広大，角田三郎，助川真純，池田翔平，大田雅嗣. minor BCR/ABL 遺伝子異常を認めた慢性骨髄性白血病(CML)の急性転化の 1 例. 第 227 回東北地方会プログラム; 20220903; 山形/Web.

池田翔平，角田三郎. 高齢者 AML の治療：ベネトクラクス併用療法の使用経験. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014-16; 福岡/Web.

鈴木学，角田三郎. 80 歳以上の多発性骨髄腫患者に対する bortezomib-dexamethasone. 第 84 回日本血液学会学術集会; 20221014-16; 福岡/Web.

〔その他〕

角田三郎. 悪性リンパ腫関連. 中外製薬株式会社社内研修会; 20220729; Web.

池田翔平. 血液腫瘍学について. Novartis MPN Web Seminar; 20220824; Web.

角田三郎. DLBCL 治療の変遷. ポライビー適応拡大講演会 DLBCL～Now and Future～; 20220922; Web.

池田翔平. DLBCL の治療について. 中外製薬社内研修; 20221026; Web.

池田翔平. CLL/MCL の臨床経験. ヤンセンファーマ株式会社社内勉強会; 20221116; Web.

池田翔平. 高齢者 AML の診断・治療. AML target therapy WEB Symposium; 20221219; Web.

会津医療センター　消化器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Nemoto D, Nakajima Y, Takahata Y, Suzuki K, Aizawa M, Lefor AK, Togashi K. A novel polypectomy technique: the "ropeway method" for resection of large pedunculated polyps. Endoscopy. 202209; 54(9):E534-E535.

〔総説等〕

中島勇貴，**歌野健一**，**根本大樹**，**愛澤正人**，**冨樫一智**. 小腸疾患－診断・治療の最新動向－. 日本臨床. 202207; 80(7):344-347.

〔症例報告〕

Utano K, Isohata N, Nemoto D, Aizawa M, Nakajima Y, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Rectal cancer eradication by proton beam therapy complicated by radiation proctitis: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202206; 15:746-749.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

愛澤正人，**鈴木康平**，**中島勇貴**，**根本大樹**，**歌野健一**，**冨樫一智**. チオプリン製剤代謝に影響を与える炎症性

腸疾患治療薬の検討（第 3 報）. 第 108 回日本消化器病学会総会; 20220421-23; 東京. 抄録集. A306.

愛澤正人，鈴木康平，中島勇貴，根本大樹，歌野健一，冨樫一智. 抗生剤投与が増悪の契機となった小腸大腸型クローン病の 1 例. 第 35 回福島県炎症性腸疾患研究会; 20221008; 郡山.

中島勇貴. 大腸 p-T1 癌のリンパ節転移・遠隔転移の危険因子：一定の病理基準による単施設での検討. 第 77 回日本大腸肛門病学会総会; 20221015; 千葉.

愛澤正人，鈴木康平，中島勇貴，根本大樹，歌野健一，冨樫一智. タクロリムスでの寛解導入後に維持療法として生物学的製剤を用いた重症潰瘍性大腸炎症例の検討. 第 13 回日本炎症性腸疾患学会学術集会; 20221125-26; 大阪. 抄録集. P-126.

〔シンポジウム〕

中島勇貴，根本大樹，鈴木康平，愛澤正人，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，北條洋，冨樫一智. 大腸 p-T1 癌の転移・再発の危険因子の検討. 第 40 回大腸検査法学会総会; 20221104; 東京. プログラム・抄録集. 79.

会津医療センター　糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Satoh H, Okazaki K, Ohira T, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Hashimoto K, Ohtsuru A, Takahashi A, Watanabe K, Shimabukuro M, Kazama J, Hashimoto S, Kobashi G, Ohira H, Ohto H, Kamiya K. Relationship Between Risk of Hyper-Low-density Lipoprotein Cholesterolemia and Evacuation After the Great East Japan Earthquake(東日本大震災後の高 LDL-コレステロール血症リスクと避難との関連). Journal of Epidemiology. 202206; 32(5-6):277-282.

Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Hayashi F, Nagao M, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama JJ, Hashimoto S, Kawasaki Y, Satoh H, Kobashi G, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K. 【Fukushima: A Decade After the Great East Japan Earthquake】Trends in Lifestyle-related Diseases and Their Risk Factors After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of the Comprehensive Health Check in the Fukushima Health Management Survey(福島特集号　東日本大震災後の 10 年　福島第一原子力発電所事故後の生活習慣病の推移とその危険因子　福島県県民健康調査における総合健診の結果). Journal of Epidemiology. 202212; 32(Suppl.12):S36-S46.

橋本重厚. 【COVID-19 感染拡大状況における各科・部門での医療安全】外来診療における COVID-19 感染対策. 安全医学. 202205; 18(1-2):55-62.

齋藤拓朗，星ひかり，大井川百合，橋本重厚，歌野健一，歌野有香．【チェックリストの作り方、使い方】実践報告　福島県立医科大学会津医療センター(福島県会津若松市)　画像検査結果確認チェックリストの作成・運用による画像診断報告書見落とし防止．患者安全推進ジャーナル. 202206; 68:25-29.

中村伸理子，坂本哲也，橋本重厚，中島勧，岩瀬博太郎，米村滋人，櫻井淳，三木保，吉田謙一，大嶽浩司，小林弘幸，後藤隆久，大磯義一郎，中島和江，水谷渉，有賀徹，全国医学部長病院長会議患者安全推進委員会．大学病院の医療事故調査制度への対応　大学病院の支援実績．日本医師会雑誌. 202208; 151(5):819-822.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Inomata R, Hashimoto S. Comparison of a salt check sheet with estimated urinary salt excretion measurement in hypertensives of Aizu region in Tohoku area. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221026; 京都.

Nemoto Y, Hasegawa K, Hashimoto S. A mother and her daughter cases of primary aldosteronism. 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension; 20221026; 京都.

本田和也. PD（腹膜透析）療法について. TERUMO PD Nurse Seminar I ; 20220521; Web.

本田和也．当科におけるADPKD診療について～うちはこうやって診療してます！～．若手医師のための多発性嚢胞腎勉強会; 20220524; Web.

本田和也．腎性貧血の治療意義～どういう患者さんに使えばいいの？～．糖尿病・腎臓病セミナー in 会津; 20220525; 会津若松.

橋本重厚．多嚢胞性卵巣症候群を伴う筋強直性ジストロフィーにGLP1受容体作動薬を投与し、正常月経周期を回復した1例．第95回日本内分泌学会学術総会; 20220602; 大分.

橋本重厚．心・腎・貧血の悪循環を断ち切って予後を改善する．第116回会津循環器病懇話会; 20220603; 会津若松.

橋本重厚．リフィル処方への対応～無症状の生活習慣病患者（特に糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症）の3か月無診察の条件とは～．会津医学会; 20220619; 会津若松.

橋本重厚．糖尿病合併高血圧治療におけるARNIの基礎と臨牀．高血圧×糖尿病セミナー; 20220708; 福島.

橋本重厚. CKD病診連携のための具体策の提案と福島医大腎臓高血圧内科CKD紹介状の紹介．会津医学会学術講演会; 20220802; 会津若松.

本田和也．会津地域におけるCKD重症化予防．会津医学会学術講演会; 20220802; 会津若松.

栗村純弥，根本雄飛，遠藤明里，本田和也，畝田一司，長谷川浩司，橋本重厚．血糖コントロール良好な 2 型糖尿病に中枢性尿崩症を合併した 1 例．日本内科学会東北支部主催第 227 回東北地方会; 20220903; 山形.

橋本重厚．ツイミーグの使用経験. DUAL Seminar in 福島　会津医学会学術講演会; 20220906; 会津若松.

長谷川浩司，根本雄飛，遠藤明里，本田和也，橋本重厚．診断後の自己流の食事制限が誘因と思われる、正常血糖ケトアシドーシスの 1 例．日本糖尿病学会第 60 回東北地方会; 20221105; 仙台.

根本雄飛，長谷川浩司，遠藤明里，本田和也，畝田一司，橋本重厚．反応性低血糖を契機に異常インスリン血糖が示唆された一例．日本糖尿病学会第 60 回東北地方会; 20221105; 仙台.

齋藤拓朗，橋本重厚，添田暢俊，鈴志野聖子，星ひかり，安部裕，小野寺健士．中心静脈カテーテルの穿刺・挿入・留置・感染防止における総合的安全対策とその効果．第 17 回医療の質・安全学会学術集会; 20221126; 神戸.

橋本重厚．統合的糖尿病治療における GLP-1 受容体作動薬の重要性．会津 GLP-1 講演会; 20221130; 会津若松.

〔特別講演〕

本田和也. CKD（慢性腎臓病）の基本とこれからの腎性貧血治療．南会津郡医師会生涯教育講演会; 20220712; 南会津町.

〔その他〕

本田和也．腎疾患について．協和キリン株式会社 社員研修会; 20220411; Web.

橋本重厚．慢性腎臓病における高カリウム血症の管理. LOKELMA Online Symposium; 20220610; Web.

本田和也. HIF-PH 阻害薬の使用経験．鳥居薬品株式会社社内勉強会; 20220614; 会津若松.

橋本重厚．糖尿病診療におけるオンライン診療の役割．大正製薬株式会社学術センター勉強会; 20220712; 会津若松.

橋本重厚．社内研修．住友ファーマ株式会社福島営業所社内研修; 20220920; Web.

橋本重厚. Personal Health Record について．サノフィ株式会社社員向けレクチャー; 20221206; Web.

会津医療センター　感染症・呼吸器内科学講座

論　　文

〔原　著〕

Suzuki Y, Shibata Y, Minemura H, Nikaido T, Tanino Y, Fukuhara A, Kanno R, Saito H, Suzuki S, Ishii T, Inokoshi Y, Sando E, Sakuma H, Kobayashi T, Kume H, Kamimoto M, Aoki H, Takama A, Kamiyama T, Nakayama M, Saito K, Tanigawa K, Sato M, Sato M, Kanbe T, Kanzaki N, Kanzaki N, Azuma T, Sakamoto K, Nakamura Y, Ohtani H, Waragai M, Maeda S, Ishida T, Sugino K, Tsukada Y, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Morimoto J, Togawa R, Sato Y, Saito J, Kanazawa K, Iseki K. Real-world clinical outcomes of treatment with casirivimab-imdevimab among patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Delta variant pandemic. International Journal of Medical Sciences. 202205; 19(5):834-841.

Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Sato Y, Togawa R, Watanabe N, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Suzuki Y, Tsukada Y, Nakamura K, Kanemitsu K, Iseki K, Shibata Y. Clinical effect of early administration of tocilizumab following the initiation of corticosteroid therapy for patients with COVID-19. Journal of Infection and Chemotherapy. 202208; 28(12):1639-1644.

〔症例報告〕

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Sato R, Yamada R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Yamada S, Hashimoto Y, Shibata Y. Development of dermatomyositis after anti-transcriptional intermediary factor 1-γ antibody seroconversion during treatment for small cell lung cancer. BMC Pulmonary Medicine. 202205; 22(1):191.

〔研究報告書〕

久米裕昭，冨田ひかる，福原敦朗．日本酒醸造の従事者に生じた麹菌(Aspergillus oryzae)が原因と考えられる気管支喘息の１例．アレルギー. 202206; 71(4):321-327.

書籍等出版物

Kume H, Yamada R, Sato Y. New Perspectives in Pharmacological Therapy for COPD: Phenotype Classification and Corticosteroids with Bronchodilators. In: Ong KC editor. A Compendium of Chronic Obstructive Pulmonary Disease. London, UK: IntechOpen; 2022.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Kawamata T, Watanabe N, Fukuhara N, Lee T, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Sato J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical Significance of Sleep Apnea Syndrome in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis. 26th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology (APSR2022); 20221119; Seoul, Korea.

鈴木康仁，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，渡邉菜摘，梅田隆志，河俣貴也，力丸真美，森本樹里亜，東川隆一，佐藤佑樹，平井健一郎，峯村浩之，二階堂雄文，福原敦朗，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光．会長特別企画　カシリビマブ／イムデビマブの効果　デルタ株流行期のリアルワールドデータ．第 114 回日本呼吸器学会東北地方会; 20220305; Web.

玉澤歌菜，山田龍輝，佐藤佑樹，久米裕昭．喘息の診断に気道過敏性試験が有用であった 1 例．日本内科学会東北支部主催第 227 回東北地方会; 20220903; 山形.

森本樹里亜，鈴木康仁，小林靖幸，東川隆一，河俣貴也，渡邊菜摘，山田龍輝，李智祥，佐藤理子，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，梅田隆志，力丸真美，佐藤佑樹，峯村浩之，二階堂雄文，福原敦朗，佐藤俊，金沢賢也，斎藤純平，谷野功典，橋本優子，柴田陽光．重症喘息患者に対する Dupilumab 投与中に発症した好酸球性肺炎の一例．第 115 回日本呼吸器学会東北地方会／第 145 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会; 20220910; Web.

鈴木康仁，斎藤純平，力丸真美，福原敦朗，佐藤俊，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光．気管支喘息，ACO，COPD における血清 YKL-40 濃度と呼吸機能経過との関連についての検討．第 71 回日本アレルギー学会学術大会; 20221009; 東京.

鈴木康仁，峯村浩之，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，森本樹里亜，李智祥，佐藤理子，山田龍輝，大沼巧，冨田ひかる，齋藤美加子，渡邉菜摘，梅田隆志，河俣貴也，力丸真美，福原敦朗，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，柴田陽光．＜福島県 COVID-19 コホート研究＞重症化予測スコアの確立とデルタ株蔓延期におけるカシリビマブ／イムデビマブの有効性の検討．第 31 回 Pneumo Forum; 20221021; 東京.

会津医療センター　精神医学講座

論　　文

〔原　著〕

Morioka D, Kobayashi R, Kawakatsu S, Suzuki A. Cotard syndrome during the withdrawal of high-dose antiparkinsonian drugs in a patient with Parkinson's disease. Asian Journal of Psychiatry. 202212; 78:103286.

Kobayashi R, Naruse H, Kawakatsu S, Iseki C, Suzuki Y, Koyama S, Morioka D, Ishiura H, Mitsui J, Ohta Y, Tsuji S, Toda T, Otani K. Valosin-containing protein Asp395Gly mutation in a patient with frontotemporal dementia: a case report. BMC Neurology. 202212; 22(1):406.

Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Shibuya Y, Morioka D, Ohba M, Yoshioka M, Sakamoto K, Kanoto M, Otani K. Comparing Medial Temporal Atrophy Between Early-Onset Semantic Dementia and Early-Onset Alzheimer's Disease Using Voxel-Based Mor-phometry: A Multicenter MRI Study. Current Alzheimer Research. 202206; 19(7):503-510.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Ohba M, Morioka D, Kanoto M, Otani K. Dopamine Transporter Imaging for Frontotemporal Lobar Degeneration with Motor Neuron Disease. Frontiers in Neuroscience. 202202; 16:755211.

Oba H, Kobayashi R, Kawakatsu S, Suzuki K, Otani K, Ihara K. Non-pharmacological Approaches to Apathy and Depression: A Scoping Review of Mild Cognitive Impairment and Dementia. Frontiers in Psychology. 202202; 13:815913.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Hayashi H, Morioka D, Hara N, Ikeuchi T, Otani K. Focal striatal amyloid deposition in Alzheimer's disease caused by APP p.V717I mutation: Longitudinal positron emission tomography study. Geriatrics and Gerontology International. 202204; 22(4):360-362.

Sakamoto K, Kobayashi R, Yokoi K, Otaka M, Okada O, Hosokawa K, Kimura M, Kawakatsu S, Otani K, Hirayama K. Trimodal hallucination and delusion after right thalamomesencephalic infarction. Psychogeriatrics. 202201; 22(1):149-155.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Morioka D, Hayashi H, Utsunomiya A, Kabasawa T, Otani K. Limbic-predominant age-related TDP-43 encephalopathy characterised by frontotemporal dementia-like behavioural symptoms. Psychogeriatrics. 202207; 22(4):574-579.

Morioka D, Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Suzuki A. Clonazepam-induced misidentification in prodromal dementia with Lewy bodies. Psychogeriatrics. 202201; 22(5):767-769.

Kobayashi R, Kawakatsu S, Morioka D, Suzuki A. Diversity of dopamine transporter images in frontotemporal lobar degeneration-motor neuron disease. Psychogeriatrics. 202201; 22(5):771.

川勝忍，小林良太，森岡大智，大谷浩一. 神経病理と神経心理　意味性認知症の神経心理と神経病理. 神経心理学. 202206; 38(2):86-95.

川勝忍. 【精神疾患診療】目でみる精神疾患　認知症の脳画像. 日本医師会雑誌. 202210; 151(特別 2):S9.

森岡大智，小林良太，鈴木昭仁，川勝忍，大谷浩一. 老年期うつ病に生じたミルタザピン誘発性頸部ジストニア症例報告と文献レビュー. 老年精神医学雑誌. 202201; 33(1):73-78.

小林良太，森岡大智，川勝忍．【認知症のバイオマーカーはどこに向かうのか】レビー小体型認知症のバイオマーカー．老年精神医学雑誌. 202207; 33(7):679-686.

川勝忍，小林良太，森岡大智，澁谷譲，林博史．【症候学と脳内局在性の視点から認知症を考える】嗜銀顆粒病(嗜銀顆粒性認知症)の臨床画像病理学的特徴．老年精神医学雑誌. 202209; 33(9):883-892.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

森岡大智，小林良太，川勝忍，坂本和貴，鈴木昭仁．意味型原発性進行性失語を発症した華道家における生け花作品の変化．第 46 回日本神経心理学会学術集会; 20220908; 札幌.

川勝忍，志賀哲也，林博史，小林良太．光トポグラフィー検査 NIRS による認知症のアパシーの客観的評価の試み．第 27 回日本神経精神医学会学術集会; 20221014; 仙台.

小林良太，川勝忍，森岡大智，林博史，鈴木昭仁．前頭側頭型認知症様症状を呈した大脳辺縁系優位型加齢性 TDP-43 脳症の 1 例．第 27 回日本神経精神医学会学術集会; 20221014; 仙台.

森岡大智，小林良太，川勝忍，坂本和貴，鈴木昭仁．高用量抗パーキンソン病薬の減量中にコタール症候群を呈したパーキンソン病患者の一例．第 27 回日本神経精神医学会学術集会; 20221014; 仙台.

小林良太，川勝忍，林博史，原範和，池内健，鈴木昭仁. APP 変異を持つアルツハイマー病の線条体限局性アミロイド沈着：アミロイド PET 縦断研究．第 41 回日本認知症学会学術集会; 20221126; 東京.

〔シンポジウム〕

Shiga T. Mismatch negativity as an indicator of synaptic plasticity in　psychiatric medication and neuromodulation. 9th Mismatch Negativity Conference(MMN 2022); 20220921-23; Fukushima.

川勝忍．教育コース 01　Mimics の神経病理　AD と Admimics．第 63 回日本神経学会総会学術大会; 20220518; 東京.

志賀哲也，丹治良，千代田高明，河本竜太，荒川英香，平山緑香，羽金裕也，錫谷研，佐藤彩，森湧平，髙橋雄一，戸田亘，和田知紘，落合晴香，星野大，刑部有祐，堀越翔，伊藤典和，上田由佳，松本貴智，菅野和子，大島洋和，野崎途也，疋田雅之，板垣俊太郎，三浦至，松岡貴志，矢部博興．統合失調症治療とミスマッチ陰性電位．第 118 回日本精神神経学会学術総会; 20220616-18; 福岡．精神神経学雑誌. 124(特別):S-316.

〔特別講演〕

川勝忍．アルツハイマー型認知症と関連疾患の臨床病理学的多様性とアミロイド PET を含む画像バイオマーカーの意義．筑後エリア認知症講演会; 20220328; 久留米.

川勝忍. セミナー4　神経変性疾患における高次脳機能障害と画像・病理. 第 46 回日本高次脳機能障害学会学術総会; 20221203; 山形.

〔招待講演〕

志賀哲也. ミスマッチ陰性電位によるシナプス可塑性の定量的観察と臨床治療評価. 第 52 回日本臨床神経性理学会学術大会; 20221124-26; 京都. 臨床神経生理学. 50(5):271.

〔その他〕

志賀哲也. 統合失調症の薬物療法～アセナピン舌下錠の役割～. 第 17 回東北 CNS 倶楽部; 20220525; Web.

志賀哲也. 不眠症の薬物療法について. 持田製薬株式会社社員教育; 20220831; 会津若松.

志賀哲也. 統合失調症治療に有用な生物学的マーカーの開発を目指して. 第 18 回会津地域統合失調症研究会; 20221012; 会津若松.

会津医療センター　小腸・大腸・肛門科学講座

論　　文

〔原　著〕

Yamada K, Saiki Y, Komori K, Shiomi A, Ueno M, Ito M, Hida K, Yamamoto S, Shiozawa M, Ishihara S, Kanemitsu Y, Ueno H, Kinjo T, Maeda K, Kawamura J, Fujita F, Takahashi K, Mizushima T, Shimada Y, Sasaki S, Sunami E, Ishida F, Hirata K, Ohnuma S, Funahashi K, Watanabe J, Kinugasa Y, Yamaguchi S, Hashiguchi Y, Ikeda M, Sudo T, Komatsu Y, Koda K, Sakamoto K, Okajima M, Ishida H, Hisamatsu Y, Masuda T, Mori S, Minami K, Hasegawa S, Endo S, Iwashita A, Hamada M, Ajioka Y, Usuku K, Ikeda T, Sugihara K. Characteristics of anal cancer in Japan. Cancer Medicine. 202202; 11(14):2735-2743.

Turan AS, Pohl H, Matsumoto M, Lee BS, Aizawa M, Desideri F, Albéniz E, Raju GS, Luba D, Barret M, Gurudu SR, Ramirez FC, Lin WR, Atsma F, Siersema PD, van Geenen EJM; Prophylactic Clipping Collaborative Group. The Role of Clips in Preventing Delayed Bleeding After Colorectal Polyp Resection: An Individual Patient Data Meta-Analysis. Clinical Gastroenterology and Hepatology. 202202; 20(2):362-371.e23.

Utano K, Isohata N, Nemoto D, Aizawa M, Nakajima Y, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Rectal cancer eradication by proton beam therapy complicated by radiation proctitis: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202208; 15(4):746-749.

Aizawa M, Utano K, Nemoto D, Isohata N, Endo S, Tanaka N, Hewett DG, Togashi K. Risk of Delayed Bleeding after Cold Snare Polypectomy in Patients with Antithrombotic Therapy. Digestive Diseases and Sciences. 202205; 67(5):1869-1878.

Nemoto D, Nakajima Y, Takahata Y, Suzuki K, Aizawa M, Lefor AK, Togashi K. A novel polypectomy technique: the "ropeway method" for resection of large pedunculated polyps. Endoscopy. 202209; 54(9):E534-E535.

Zwager LW, Bastiaansen BAJ, Montazeri NSM, Hompes R, Barresi V, Ichimasa K, Kawachi H, Machado I, Masaki T, Sheng W, Tanaka S, Togashi K, Yasue C, Fockens P, Moons LMG, Dekker E. Deep Submucosal Invasion Is Not an Independent Risk Factor for Lymph Node Metastasis in T1 Colorectal Cancer: A Meta-Analysis. Gastroenterology. 202206; 163(1):174-189.

Nemoto D, Guo Z, Peng B, Zhang R, Nakajima Y, Hayashi Y, Yamashina T, Aizawa M, Utano K, Lefor AK, Zhu X, Togashi K. Computer-aided diagnosis of serrated colorectal lesions using non-magnified white-light endoscopic images. International Journal of Colorectal Disease. 202208; 37(8):1875-1884.

Utano K, Nagata K, Honda T, Kato T, Lefor AK, Togashi K. Bowel habits and gender correlate with colon length measured by CT colonography. Japanese Journal of Radiology. 202203; 40(3):298-307.

Yasuda T, Honda T, Utano K, Kato T, Togashi K, Yamaguchi S, Yasaka T. Diagnostic accuracy of ultra-low-dose CT colonography for the detection of colorectal polyps: a feasibility study. Japanese Journal of Radiology. 202208; 40(8):831-839.

Sekiguchi M, Hotta K, Takeuchi Y, Tanaka S, Yamamoto H, Shinmura K, Harada K, Uraoka T, Hisabe T, Sano Y, Kondo H, Horimatsu T, Kikuchi H, Kawamura T, Nagata S, Yamamoto K, Tajika M, Tsuji S, Kusaka T, Okuyama Y, Yoshida N, Moriyama T, Hasebe A, So S, Kobara H, Kashida H, Miyanaga R, Kato S, Hayashi Y, Sada M, Fukuzawa M, Kato H, Takayama T, Konishi J, Matsushita HO, Narasaka T, Ohata K, Togashi K, Nakamura H, Moriichi K, Oda Y, Kanda N, Kuwai T, Terai S, Sanomura M, Kitamura S, Miyamoto H, Kiriyama S, Mizuno C, Saito Y, Sekine S, Ito S, Nakahira H, Oka S, Hayashi Y, Yoshimura K, Ishikawa H, Matsuda T; C-NET STUDY Group. Characteristics of colorectal neuroendocrine tumors in patients prospectively enrolled in a Japanese multicenter study: a first report from the C-NET STUDY. Journal of Gastroenterology. 202208; 57(8):547-558.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. Journal of Surgery and Research. 202201; 5(1):134-144.

Endo S, Isohata N, Kojima K, Kadono Y, Amano K, Otsuka H, Fujimoto T, Egashira H, Saida Y, Japan Colonic Stent Safe Procedure Research Group. Prognostic factors of patients with left-sided obstructive colorectal cancer: post hoc analysis of a retrospective multicenter study by the Japan Colonic Stent Safe Procedure Research Group. World Journal of Surgical Oncology. 202201; 20(1):24.

齋藤拓朗，星ひかり，大井川百合，橋本重厚，歌野健一，歌野有香．【チェックリストの作り方、使い方】実

践報告　福島県立医科大学会津医療センター(福島県会津若松市)　画像検査結果確認チェックリストの作成・運用による画像診断報告書見落とし防止. 患者安全推進ジャーナル. 202206; 68:25-29.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 局所進行直腸癌に対する術前化学療法の成績. 癌と化学療法. 202212; 49(13):1399-1401.

〔総説等〕

Togashi K. Superficially serrated adenoma: Novel precursor in the serrated pathway. Digestive Endoscopy. 202201; 34(1):77-78.

Togashi K, Utano K, Lefor AK. In reply(Letter to the Editor: 40(4):439-440). Japanese Journal of Radiology. 202204; 40(4):441-442.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki T, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. Oncotarget. 202211; 13:1273-1285.

根本大樹，五十畑則之，冨樫一智. 【こんなときどうする】大腸　診断　大腸癌による狭窄のためそれより口側にスコープを挿入できない. 消化器内視鏡. 202203; 34(3):424-425.

永田浩一，木島茂喜，松岡正樹，五十畑則之，大平弘正. 大腸がん検診. 消化器内視鏡. 202204; 34(4):688-691.

根本大樹，中島勇貴，愛澤正人，鈴木康平，歌野健一，冨樫一智. 【大腸鋸歯状病変のすべて】治療　大腸鋸歯状病変の切除方法とコツ. 消化器内視鏡. 202205; 34(5):987-993.

中島勇貴，歌野健一，冨樫一智. 治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　虚血性腸管障害（虚血性大腸炎を除く）. 日本医事新報. 202206; 5120:41-42.

斎藤博，樋渡信夫，野崎良一，鈴木康元，小林望，関口正宇，只野敏浩，永田浩一，西田博，松田尚久，松本啓志，村上晴彦，山口和也，歌野健一，遠藤俊吾，角川康夫，金岡繁，雑賀公美子，馬嶋健一郎，町井涼子，松浦邦彦，松田一夫，日本消化器がん検診学会大腸がん検診精度管理委員会. 大腸がん検診マニュアル 2021 年度改訂版. 日本消化器がん検診学会雑誌. 202205; 60(3):385-536.

中島勇貴，歌野健一，根本大樹，愛澤正人，冨樫一智. 小腸疾患　診断・治療の最新動向　腸閉塞　絞扼性腸閉塞. 日本臨床. 202207; 80(7):344-347.

歌野健一，根本大樹，愛澤正人，五十畑則之，遠藤俊吾，冨樫一智. 消化管画像診断（CT、MRI、PET）　現状と課題　(1)大腸 CT 検査（CT colonography）　がん検診、がん術前検査での展開. 臨床消化器内科. 202204; 37(4):411-418.

書籍等出版物

冨樫一智，歌野健一. 17. カプセル内視鏡を用いた消化管健診の可能性. In: 西崎泰弘 総編集. 検診・人間ドックハンドブック改訂 7 版. 東京: 中外医学社; 202202. p.224.

冨樫一智，根本大樹，朱欣. 事例編　下部 AI　Chapter13　ポリープ検出. In: 藤田広志 監修. 医療 AI とディープラーニングシリーズ　内視鏡画像 AI. 東京: オーム社; 202211. p.129-134.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

五十畑則之，遠藤俊吾，根本鉄太郎，佐久間芽衣，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 大腸癌手術時の DST 吻合における縫合不全リスク因子・予測因子の検討、第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; Web. 抄録集. SF-043.

見城明，丸橋繁，遠藤俊吾，鈴木弘行. 特定行為研修修了者に関する医師・看護師を対象とした院内意識調査タスクシフトの促進にむけた課題と対応策の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414; Web. 抄録集. SF-056.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之. COVID19 ワクチン接種を契機に発症した IgG4 関連疾患で横行結腸狭窄を呈した 1 例. 第 33 回内視鏡外科フォーラム in 仙台; 20220521; 仙台. プログラム・抄録集. 31.

遠藤俊吾，榎本俊行，小泉浩一，天野邦彦，牛込充則，門野義弘，大木岳彦，齋藤修治，斉田芳久. 左側閉塞性大腸癌に対する Bridge to surgery を目的とした減圧療法. 第 97 回大腸癌研究会; 20220708; 東京/Web. 抄録集. 29.

鈴木康平，歌野健一，中島勇貴，根本大樹，愛澤正人，五十畑則之，遠藤俊吾，冨樫一智. 腹部 CT 検査により進行大腸癌を発見できるか？Multi-detector CT 機器における super-expert の診断能.第 97 回大腸癌研究会; 20220708; 東京/Web. 抄録集 38.

小嶋幸一郎，遠藤俊吾，天野邦彦，藤本竜也，白鳥俊康，河村卓二，加藤博之，渡邉典子，岡村修，斉田芳久. 左側閉塞性大腸癌の予後因子に関する検討. 第 97 回大腸癌研究会; 20220708; 東京/Web. 抄録集. 78.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智. 当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針と成績. 第 97 回大腸癌研究会; 20220708; 東京/Web. 抄録集. 81.

五十畑則之，遠藤俊吾，遠藤英成，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法の成績. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web. 抄録集. P137-2.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 当科における高齢者大腸癌患者の在院日数短縮に向けた取り組み. 第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web. 抄録集. P119-1.

愛澤正人，鈴木康平，中島勇貴，根本大樹，歌野健一，冨樫一智. 抗生剤投与が増悪の契機となった小腸大腸

型クローン病の 1 例. 第 35 回福島県炎症性腸疾患研究会; 20221008; 郡山.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，遠藤英成，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智. 当科における人工肛門造設術の手技と合併症対策.第 77 回日本大腸肛門病学会総会; 20221014; 千葉. 日本大腸肛門病学会誌. 75(抄録):A67.

古屋信二，園田寛道，鳥越貴行，松田明久，松橋延壽，市川大輔，石原聡一郎，衛藤謙，湯川寛夫，横山康行，長谷川傑，伊藤慎吾，坂本一博，幸田圭史，榎本正統，遠藤俊吾，石丸啓，片岡幸三，石田秀行，山田岳史. インターシードを使用した腹腔鏡補助下大腸癌手術後の腸閉塞発症率―多施設共同前向き観察研究. 第 77 回日本大腸肛門病学会総会; 20221014; 千葉. 日本大腸肛門病学会誌. 75(抄録):A73.

根本大樹，中島勇貴，愛澤正人，鈴木康平，五十畑則之，遠藤俊吾，冨樫一智. 大腸 ESD の工夫と TED 法による標本回収. 第 77 回日本大腸肛門病学会総会; 20221014; 千葉. 日本大腸肛門病学会誌. 75(抄録):A156.

中島勇貴，根本大樹，鈴木康平，愛澤正人，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，北條洋，冨樫一智. 大腸 p-T1 癌のリンパ節転移・遠隔転移の危険因子：一定の病理基準による単施設での検討.第 77 回日本大腸肛門病学会総会; 20221015; 千葉. 日本大腸肛門病学会誌. 75(抄録):A146.

芦澤舞，遠藤俊吾，五十畑則之. BTS 目的の大腸ステント留置が無効であった柿の種による閉塞性下行結腸癌の１例. 第 10 回大腸ステント安全手技研究会; 20221028; 福岡. プログラム:6.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，芦澤舞，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 大腸癌手術症例において吻合法別の早期合併症と炎症反応推移の検討. JDDW 2022（消化器外科学会）; 20221028; 福岡. 抄録集. 外 P-272.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智. 閉塞性大腸癌の術前口側結腸の評価.第 40 回大腸検査法学会総会; 20221105; 東京. プログラム・抄録集. 94.

遠藤俊吾，小嶋幸一郎，天野邦彦，牛込充則，榎本俊行，大木岳志，加藤博之，齊藤修治，神山篤史，斉田芳久. 閉塞性大腸癌に対する治療方針　多施設共同研究の post-hoc 解析による左側閉塞性大腸癌の予後因子. 第 84 回日本臨床外科学会総会; 20221124; 福岡.

愛澤正人，鈴木康平，中島勇貴，根本大樹，歌野健一，冨樫一智. タクロリムスでの寛解導入後に維持療法として生物学的製剤を用いた重症潰瘍性大腸炎症例の検討. 第 13 回日本炎症性腸疾患学会学術集会; 20221125-26; 大阪. 抄録集. P-126.

芦澤　舞，遠藤俊吾，五十畑則之，根本鉄太郎. 腹腔鏡補助下結腸切除術の術後在院日数短縮の取り組み.第 35 回日本内視鏡外科学会総会; 20221209; 名古屋. 抄録集. MO98-6.

〔シンポジウム〕

中島勇貴，根本大樹，鈴木康平，愛澤正人，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，北條洋，冨樫一智. 大腸 p-T1 癌の転移・再発の危険因子の検討. 第 40 回大腸検査法学会総会; 20221104; 東京.

〔特別講演〕

遠藤俊吾. 左側閉塞性大腸癌に対する治療・大腸癌治療の late line を考える. 第 474 回八戸外科集談会; 20220526; Web.

〔その他〕

愛澤正人. 潰瘍性大腸炎の治療　顆粒球除去療法の治療成績を含めて. 第 7 回会津 IBD 講演会; 20220610; 会津若松.

愛澤正人. 抗生剤投与が増悪の契機となった小腸大腸型クローン病の 1 例. 第 2 回 IBD カンファレンス in 会津; 20220618; 会津若松.

愛澤正人. 潰瘍性大腸炎、外来における初期治療のポイント. 第 346 回会津地区消化器病研究会; 20220623; 会津若松.

愛澤正人. UC における長期寛解維持を目指したウステキヌマブにおける有用性の検討. Ulcerative Colitis Web Seminar in 東北; 20220725; Web.

愛澤正人. 炎症性腸疾患診療における病診連携　会津モデルについて考える. 会津医学会学術講演会～医療連携を見据えて IBD 治療を考える～; 20220907; 会津若松.

愛澤正人. UC における長期寛解維持を目指したウステキヌマブによる有用性の検討. 会津若松 IBD カンファレンス; 20220926; Web.

遠藤俊吾. 大腸がんの疫学・治療法の進歩. 大腸がん検診のすべて. 検診従事者講習会; 20221203; 会津若松.

会津医療センター　外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Sato T, Takagi K, Higuchi M, Abe H, Kojimahara M, Sagawa M, Tanaki M, Miki Y, Suzuki T, Hojo H. Immunolocalization of CD80 and CD86 in Non-Small Cell Lung Carcinoma: CD80 as a Potent Prognostic Factor. Acta Histochemica et Cytochemica. 202202; 55(1):25-35.

Fukuhara M, Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. The

clinical significance of tertiary lymphoid structure and its relationship with peripheral blood characteristics in patients with surgically resected non-small cell lung cancer: a single-center, retrospective study. Cancer Immunology, Immunotherapy. 202205; 71(5):1129-1137.

Takagi H, Matsumura Y, Fukuhara M, Inomata S, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Saito H, Tanabe H, Shimabukuro M, Suzuki H. Ectopic adrenocorticotropic hormone-secreting carcinoid with solitary cryptococcosis in the lungs. Cancer Reports. 202211; 5(11):e1731.

Inomata S, Matsumura Y, Kobayashi Y, Yamaguchi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. Lung adenocarcinoma coexisting with diffuse idiopathic pulmonary neuroendocrine cell hyperplasia manifesting as multiple pulmonary nodules: A case report. Thoracic Cancer. 202211; 13(21):3076-3079.

國分希美，岡田良，西間木淳，月田茂之，武藤亮，鈴志野聖子，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 肝移植後に橋中心髄鞘崩壊症を発症した患者に対する包括的ケアにおけるレシピエントコーディネーターの役割. 移植. 202205; 57(1):119-124.

齋藤拓朗，星ひかり，大井川百合，橋本重厚，歌野健一，歌野有香. 【チェックリストの作り方、使い方】実践報告　画像検査結果確認チェックリストの作成・運用による画像診断報告書見落とし防止. 患者安全推進ジャーナル. 202206; 68:25-29.

武藤哲史，猪俣頌，山口光，峯勇人，高木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，井上卓哉，山浦匠，福原光朗，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳，塩豊，鈴木弘行. 【複合がん免疫療法】肺癌におけるβ-Catenin に注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服. 癌と化学療法. 202209; 49(9):928-931.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 局所進行直腸癌に対する術前化学療法の成績. 癌と化学療法. 202212; 49(13):1399-1401.

高木玄教，武藤哲史，福原光朗，猪俣頌，山口光，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 術中に使用したソフト凝固が原因と考えられた遅発性の気管支穿孔の 1 例. 気管支学. 202201; 44(1):44-49.

樋口光徳，小泉達彦，鈴木朋子，斎藤美和子，押部郁朗，添田暢俊，齋藤拓朗，新妻一直，鈴木弘行. 肺癌術後の気管支瘻による呼吸不全に対して、片側を閉鎖した Dumon stent を用いることで回復し得た 1 例. 気管支学. 202205; 44(3):221-227.

鈴木弘行，猪俣頌，山口光，峯勇人，高木玄教，尾崎有紀，渡部晶之，井上卓哉，福原光朗，山浦匠，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，長谷川剛生，大杉純，星野実加，樋口光徳，塩豊. 《外科学再興特別企画》癌に対する免疫治療 New Era　癌に対する複合免疫療法の新展開　外科医でなければできないこと. 日本外科学会雑誌. 202201; 123(1):95-97.

樋口光徳，鈴木弘行. 【最新臨床肺癌学　診断・治療の最新動向】進化する肺癌臨床　肺癌検診への AI 活用. 日本臨床. 202212; 80(増刊 8):66-70.

山口光，武藤哲史，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行. 経気管支生検のの

ち自然消退したが、4ヵ月後に再増大を認めた肺扁平上皮癌の1例. 肺癌. 202204; 62(2):103-106.

岡田良，石亀輝英，小船戸康英，佐藤直哉，渡邊淳一郎，武藤亮，鈴志野聖子，月田茂之，西間木淳，東孝泰，小鹿山陽介，土佐太朗，木村隆，見城明，丸橋繁. 腹腔鏡補助下膵切除により完全切除できた若年性多発膵インスリノーマの1例. 福島医学雑誌. 202204; 72(1):23-29.

押部郁朗，鎌田一宏，斉藤有佳，今野一美，柏木久美子，乳井恵子，管麻理恵，栗城康一，阿部和彦，小山田睦美，山中克郎. 奥会津4町村における新型コロナウイルスワクチン接種支援. 福島医学雑誌. 202208; 72(2):73-83.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

土佐太朗，石亀輝英，小鹿山陽介，西間木淳，月田茂之，小林拓史，渡邊淳一郎，阿左見亜矢佳，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，鈴木伸康，木村隆，佐藤値，見城明，阿部幹，寺西寧，丸橋繁. 膵Solid-pseudopapillary neoplasmの2例. 第56回東北膵臓研究会; 20220204; Web.

土佐太朗，石亀輝英，西間木淳，渡邊淳一郎，佐藤直哉，小船戸康英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁. 大腸癌肝転移の染色パターンを呈した肝内胆管粘液癌の一例. 第212回日本消化器病学会東北支部例会・第167回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台/Web. プログラム・抄録集. 176.

鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. ワーファリン内服中にプロトロンビン複合製剤を用いて緊急手術を施行した胆嚢捻転症の一例. 第212回日本消化器病学会東北支部例会・第167回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台/Web.

本庄統，横内浩，西原広史，原田敏之，天野虎次，菊池創，大泉聡史，浦本秀隆，田中文啓，原田真雄，菅谷文子，藤田結花，高村圭，小島哲弥，樋口光徳，南幸範，西村正治，鈴木弘行，秋田弘俊，磯部宏. Prognostic significance of OX40+ lymphocytes in tumor stroma of surgically resected small-cell lung cancer. 第19回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220217-19; 京都/Web.

鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. ワーファリン内服中の胆嚢捻転症に対してプロトロンビン複合製剤を用いて緊急手術を施行した一例. 第58回日本腹部救急医学会総会; 20220324-25; 東京.

五十畑則之，遠藤俊吾，根本鉄太郎，佐久間芽衣，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗. 大腸癌手術時のDST吻合における縫合不全リスク因子・予測因子の検討、第122回日本外科学会定期学術集会; 20220414; Web. 抄録集. SF-043.

樋口光徳，横内浩，原田敏之，山崎成夫，浦本秀隆，菊池創，秋江研志，菅谷文子，藤田結花，高村圭，小島哲弥，本庄統，南幸範，渡部直己，大泉聡史，西村正治，鈴木弘行，秋田弘俊，磯部宏. 小細胞肺癌患者の予後予測因子としてのOX40陽性リンパ球の重要性. 第122回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

鈴木弘行，樋口光徳，塩豊，松村勇輝，岡部直行，武藤哲史，尾崎有紀，渡部晶之，猪俣頌．肺癌診療における AI の役割：画像診断支援を中心に．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web.

峯勇人，松村勇輝，猪俣頌，山口光，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，福原光朗，山浦匠，武藤哲史，岡部直行，長谷川剛生，樋口光徳，塩豊，鈴木弘行．がん免疫療法後に手術を施行した非小細胞肺癌における病理学的特徴．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web.

山口光，樋口光徳，鈴木弘行．オシメルチニブ投与後にサルベージ手術を行い、長期間の病勢コントロールが得られたⅣ期肺腺癌の 2 例．第 39 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20220520-21; 東京/Web.

鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．ワーファリン内服中でプロトロンビン複合製剤を用いて緊急手術を施行した胆嚢捻転症の一例．日本臨床外科学会第 8 回福島県支部学術集会; 20220528; 須賀川/Web.

土佐太朗，小船戸康英，西間木淳，月田茂之，鈴志野聖子，武藤亮，佐藤直哉，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．1cm 以下の非機能性 NET の治療方針．日本臨床外科学会第 8 回福島県支部学術集会; 20220528; 須賀川.

土佐太朗，石亀輝英，丸橋繁．大腸癌肝転移の染色パターンを呈した肝内胆管粘液癌の一例．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220720-22; 横浜/Web.

松村勇輝，猪俣頌，山口光，峯勇人，髙木玄教，渡部晶之，尾崎有紀，福原光朗，武藤哲史，岡部直行，塩豊，樋口光徳，鈴木弘行．三次リンパ様構造はがん免疫療法後の非小細胞肺癌における特有の病理学的所見である．第 31 回日本癌病態治療研究会; 20220623-24; 鳴門/Web.

五十畑則之，遠藤俊吾，遠藤英成，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．当科における局所進行結腸癌に対する術前化学療法の成績．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web. 抄録集. P137-2.

土佐太朗，添田暢俊，川又崇弘，鈴志野聖子，齋藤拓朗．膨潤 TAPP 法による腹膜前腔へのメッシュ留置により修復した白線ヘルニアの 1 例．第 182 回東北外科集談会; 20220924; 横浜/Web.

牧歩，添田暢俊，川又崇弘，土佐太朗，鈴志野聖子，齋藤拓朗．鼠径ヘルニア偽還納の 1 例．第 182 回東北外科集談会; 20220924; Web.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．当科における高齢者大腸癌患者の在院日数短縮に向けた取り組み．第 77 回日本消化器外科学会総会; 20220721; 横浜/Web. 抄録集. P119-1.

鈴志野聖子，佐藤直哉，武藤亮，渡邊淳一郎，小船戸康英，石亀輝英，岡田良，木村隆，見城明，丸橋繁．脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化における細胞間接着の検討．第 58 回日本移植学会総会; 20221013-15; 名古屋.

遠藤英成，遠藤俊吾，五十畑則之，芦澤舞，根本鉄太郎，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．大腸癌手術症例において吻合法別の早期合併症と炎症反応推移の検討. JDDW 2022（消化器外科学会）; 20221028; 福岡. 抄録集. 外 P-272.

鈴志野聖子，佐藤直哉，武藤亮，小船戸康英，芳賀淳一郎，石亀輝英，木村隆，見城明，丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞の二層化シートにおける細胞間接着の効果. 第 48 回日本臓器保存生物医学会学術集会; 20221104-05; 広島.

齋藤拓朗，橋本重厚，添田暢俊，鈴志野聖子，星ひかり，安部裕，小野寺健士. 中心静脈カテーテルの穿刺・挿入・留置・感染防止における総合的安全対策とその効果. 第 17 回医療の質・安全学会学術集会; 20221126; 神戸.

樋口光徳，山口光，鈴木弘行. 進行非小細胞肺癌に対する化学療法後のサルベージ手術施行例の臨床像と成績. 第 63 回日本肺癌学会学術集会; 20221201-03; 福岡/Web.

添田暢俊. 女性鼠径部ヘルニア TAPP 手術における閉鎖孔開大頻度に関する検討. 第 35 回日本内視鏡外科楽器総会; 20221209; 名古屋/Web.

〔その他〕

鈴志野聖子. 当院におけるレンバチニブの使用経験. LENVIMA-HCC Seminar ～Conversion Surgery Meeting～; 20220225; 会津若松.

鈴志野聖子. 肝細胞と脂肪由来幹細胞による積層化シートの開発. 第 39 回福島移植フォーラム; 20220219; 福島/Web.

樋口光徳. クロージングリマークス. Lung Cancer Conference 2022 in 会津; 20220601; 会津若松/Web.

樋口光徳. AI がもたらす新たな肺癌診療. 中外 DX セミナー; 20220929; Web.

会津医療センター　整形外科・脊椎外科学講座

論　　文

〔原　著〕

Sato K, Tominaga R, Endo T, Miura T, Iwabuchi M, Ito T, Shirado O. Hip Extensor Strength Influences Dynamic Postural Changes during Gait in Patients with Adult Spinal Deformity: A Cross-Sectional Study Using Three-Dimensional Motion Analysis. Asian Spine Journal. 202202; 16(5):643-650.

Miura T, Tominaga R, Sato K, Endo T, Iwabuchi M, Ito T, Shirado O. Relationship between Lower Limb Pain Intensity and Dynamic Lumbopelvic-Hip Alignment in Patients with Degenerative Lumbar Spinal Canal Stenosis: A Cross-Sectional Study. Asian Spine Journal. 202205; 16(6):918-926.

Shirado O, Arai Y, Iguchi T, Imagama S, Kawakami M, Nikaido T, Ogata T, Orita S, Sakai D, Sato K, Takahata M, Takeshita K, Tsuji T, Ando K, Endo T, Fukuda H, Goto M, Hashidume H, Hino M, Ide Y, Inoue H, Inoue T, Ishimoto Y, Ito K, Ito S, Iwabuchi M, Iwahashi S, Iwasaki H, Kagotani R, Kanbara S, Kato K, Kimura A, Kitagawa T, Kobayashi H, Kobayashi K, Komatsu J, Koshimizu H, Machino M, Matsubara T, Matsukura Y, Minamide A, Minetama M, Mizokami K, Morino T, Morozumi M, Nagata K, Nakae I, Nakagawa M, Nakagawa Y, Ota K, Sakai K, Saruwatari R, Sasaki S, Shimazaki T, Shiraishi Y, Takami M, Tanaka S, Teraguchi M, Tominaga R, Tomori M, Torigoe I, Tsushima M, Tsutsui S, Watanabe K, Yamada H, Yamada K, Yamaguchi H, Yokosuka K, Yoshida T, Yoshida T, Yuasa M, Yugawa Y. Formulation of Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guideline for the management of low back pain- the revised 2019 edition. Journal of Orthopaedic Science. 202201; 27(1):3-30.

Kaneuchi Y, Iwabuchi M, Hakozaki M, Yamada H, Konno SI. Pregnancy and Lactation-Associated Osteoporosis Successfully Treated with Romosozumab: A Case Report. Medicina (Kaunas, Lithuania). 202212; 59:19.

Endo T, Shirado O, Tominaga R, Sato K, Miura T, Iwabuchi M, Ito T. Maximum gait speed and lumbar spinal mobility can affect quality of life in elderly women with lumbar kyphosis. North American Spine Society Journal. 202203; 9:100100.

Sato K, Tominaga R, Endo T, Miura T, Iwabuchi M, Ito T, Shirado O. The association of dynamic spinal alignment on gait endurance of patients with adult spinal deformity: a cross-sectional study. Spine Deformity. 202210; 11(2):463-469.

岩渕真澄. Personal View　「エビデンス」という言葉の持つ危うさ. 整形・災害外科. 202207; 65(8):963-963.

白土修. なんでも健康相談. きょうの健康. 202202; 2022(2):100.

書籍等出版物

白土修. 腰痛患者の診療指針. In: 岡元和文 編著. 救急・集中治療最新ガイドライン　2022-'23. 東京: 総合医学社; 202203. p.77-79.

白土修. 頸椎、胸椎から腰椎に至る全ての脊椎・脊髄疾患の外科的治療. In: 医療新聞社. 名医のいる病院 2023 整形外科編. 東京: 医療新聞社; 202206. p.60.

岩渕真澄, **富永亮司**, **白土修**. 腰痛診療ガイドライン　日本整形外科学会／日本腰痛学会. In: 森本昌宏, 橋爪圭司, 山口忍. 腰痛・腰下肢痛診療のキーポイント. 東京: 克誠堂出版; 202203. p.52-57.

白土修. III リハビリテーション医学疾患各論　I. 脊椎疾患. In: 出江紳一, 加賀谷斉 編. リハビリテーション医学テキスト　改訂第5版. 東京: 南江堂; 202201. p.275-293.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Endo T, Shirado O, Iwabuchi M, Tominaga R, Sato K, Ito T. Multidimensional analysis on residual pain following posterior fusion surgery for lumbar degenerative disorders A minimum 2-year follow-up. ISSLS 2022 48th Annual Meeting; 20220509; Boston, USA.

Miura T, Shirado O, Sato K, Endo T, Tominaga R, Iwabuchi M, Ito T. Dynamic Spinopelvic Alignment on Walking is Associated with Quality of Life in Patients with Degenerative Lumbar Spinal Canal Stenosis; Kinematic study using three-dimensional motion analysis. ISSLS 2022 48th Annual Meeting; 20220509; Boston, USA.

Sato K, Shirado O, Iwabuchi M, Tominaga R, Endo T, Miura T, Ito T. Preoperative dysfunction of hip joint can be a risk factor for rod fracture after posterior corrective surgery in the patients with adult spinal deformity; a retrospective cohort study. ISSLS 2022 48th Annual Meeting; 20220509; Boston, USA.

佐久間洋太，白土修，岩渕真澄，富永亮司，波入雄大，田口浩子．多発性骨髄腫による軸水病的骨折に対する椎体形成術．第 9 回会津脊椎脊髄疾患研究会; 20220112; 会津若松.

遠藤達矢，白土修，佐藤圭汰，富永亮司，岩渕真澄，伊藤俊一．成人脊柱変形に対する術前からの運動療法介入は術後成績に影響を及ぼす　AMEC exercise for ASD の効果．第 12 回日本成人脊柱変形学会; 20220305; 和歌山.

佐久間洋太，白土修，岩渕真澄，富永亮司，波入雄大，田口浩子．脊椎変形術後ロッド損傷は、重篤な合併症の誘因となりうる；ロッド折損高位で発生した L5/S 化膿性椎間板炎．第 12 回日本成人脊柱変形学会; 20220305; 和歌山.

佐藤圭汰，遠藤達矢，富永亮司，岩渕真澄，伊藤俊一，白土修．成人脊柱変形に対する運動療法の QOL 改善に影響する要因と基準値　決定木分を用いた機械学習による検討．第 12 回日本成人脊柱変形学会; 20220305; 和歌山.

遠藤達矢，白土修，岩渕真澄，富永亮司，佐久間洋太，波入雄大，伊藤俊一．腰椎変性疾患に対する後方固定術後の遺残痛に関する検討　JOABPEQ を用いた術後 2 年成績．第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421-23; 横浜.

佐藤圭汰，白土修，岩渕真澄，富永亮司，佐久間洋太，波入雄大，遠藤達矢，三浦拓也，伊藤俊一．頸部伸展筋力は、頸椎椎弓形成術後の後弯発生危険因子である．第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421; 横浜.

佐久間洋太，岩渕真澄，白土修．頸椎黄色靭帯嚢腫の治療経験．第 11 回光が丘会津会; 20220513; 会津若松.

佐久間洋太，岩渕真澄，白土修．小児頸椎椎間板石灰化の一例．会津整形外科医会; 20220608; 会津若松.

佐藤圭汰，岩渕真澄，遠藤達矢，白土修．骨粗鬆症性椎体骨折患者の累積移動能力カスコアと在宅復帰の関連性．第 5 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20220610; 会津若松.

半谷智辰，遠藤達矢，岩渕真澄，白土修．肩こり有訴者に対するストレッチングの効果～剪断波エラストグラフィーを用い筋弾性立の変化．第 33 回日本運動器学会; 20220709; 札幌.

半谷智辰，遠藤達矢，岩渕真澄，白土修．主成分分析を用いた肩こり有訴者のパターン化．第 56 回日本作業療法学会; 20220916-18; 京都.

庄司亮平，伊藤俊一，遠藤達矢，佐藤圭汰，半谷智辰，岩渕真澄，白土修．腰椎椎間板ヘルニア患者における坐骨神経硬度の術前後変化　剪断波エラストグラフィーを使用した調査．第 10 回日本運動器理学療法学会; 20220924-25; Web.

川本光郁，伊藤俊一，遠藤達矢，波多野麻里子，佐藤志保，永峯朱莉，羽入田泰彦，白土修．徒手筋力検査における頭部伸展と頚部伸展時の筋電図学的検討．第 21 回福島県理学療法学術集会; 20221009; 福島.

渡邊剛広．変形すべり症による椎間関節角の 10 年以上の変化　南会津スタディ．第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡.

遠藤達矢，白土修，佐藤圭汰，岩渕真澄，佐久間洋太，波入雄大，伊藤俊一．腰椎変性疾患に対する後方固定術後の残存腰痛が術後 QOL に及ぼす影響　術後最短 2 年の経過観察研究．第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡.

佐藤圭汰，伊藤俊一，遠藤達矢，三浦拓也，岩渕真澄，白土修．骨粗鬆症椎体骨折患者の累積移動能力スコアは早期在宅復帰を予測可能である．第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡.

庄司亮平，伊藤俊一，遠藤達矢，佐藤圭汰，岩渕真澄，白土修．腰椎椎間板ヘルニア患者における坐骨神経硬度の術前後変化と下肢痛との関連　剪断波エラストグラフィーを用いた定量的検討．第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡.

三浦拓也，伊藤俊一，佐藤圭汰，遠藤達矢，岩渕真澄，白土修．腰部脊椎管狭窄症患者の術前身体機能は、術後 1 年の QOL 改善を予測可能できる；DMI の MCID を用いた後ろ向きコホート研究．第 30 回日本腰痛学会; 20221021-22; 盛岡.

遠藤達矢，白土修．成人脊柱変形患者に対する運動療法の治療効果;MCID(Minimal clinically important difference)を用いた検討．第 56 回日本側彎症学会学術集会; 20221104; 浦安.

佐久間洋太，富永亮司，波入雄大，岩渕真澄，白土修．思春期突発性側弯症 Lenke type5C に対する前方固定術;S-line は術後近位 decompensation を予測可能か？ 第 56 回日本側彎症学会学術集会; 20221104; 浦安.

波入雄大，白土修，岩渕真澄，佐久間洋太．出生時 Pierre Robin 症候群と診断された症候性側弯症の治療経験．第 56 回日本側彎症学会学術集会; 20221104; 浦安.

波入雄大，白土修，岩渕真澄，渡邊剛広，佐久間洋太，佐藤俊樹，田口浩子. Surgical experience of a

symptomatic scoliosis patient who was diagnosed with Pierre-Robin syndrome at birth. 第 56 回日本側彎症学会; 20221104; 浦安.

平田海，白土修，鈴木信正，飯田尚裕，井上雅俊，片柳順也，鈴木和之，稲毛一秀，二階堂琢也，阿部真典，木川卓也，遠藤達矢. 思春期突発性側弯症に対する新しい装具の中期治療成績;多施設共同研究. 第 56 回日本側彎症学会学術集会; 20221104; 浦安.

平田海，白土修，遠藤達矢，阿部真典. 思春期特発性側弯症に対する新しい装具が椎体に及ぼす力学的効果. 第 49 回日本臨床バイオメカニクス学会; 20221105; 弘前.

佐藤圭汰，伊藤俊一，遠藤達矢，三浦拓也，岩渕真澄，白土修. 骨粗鬆症椎体骨折患者の累積移動能力スコアは早期在宅復帰を予測可能である. 第 60 回全国自治体病院学会; 20221110-11; 那覇.

佐藤俊樹，岩渕真澄，白土修. 非定型大腿骨骨折の 3 例. 会津医学会学術講演会／会津医科歯科連携の会; 20221125; 会津若松.

佐久間洋太，白土修，遠藤達矢，富永亮司，岩渕真澄. 腰椎変性疾患に対する新しい脊椎固定器具の術後最短 2 年成績. KOSA と従来 system の比較検討. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会; 20221125-26; 大阪.

〔シンポジウム〕

遠藤達矢，伊藤俊一，白土修. ロコモと成人脊柱変形. 第 33 回日本運動器学会; 20220709; 札幌.

〔特別講演〕

岩渕真澄. テリパラチド酢酸塩投与が奏効した腰部脊柱管狭窄症の 1 例. 第 11 回光が丘会津会; 20220513; 会津若松.

岩渕真澄. 座長　特別講演　聖隷佐倉市民病院の OLS/FLS におけるマネージャーの役割と実際. 第 5 回骨粗鬆症連携フォーラム; 20220610; 会津若松.

白土修. ガイドラインから考える次世代の慢性腰痛に対する包括的診療. 第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡.

〔招待講演〕

白土修. 腰痛に対する包括的アプローチ整形外科学的洞察を中心に. 第 71 回全日本鍼灸学会学術大会; 20220605; Web.

岩渕真澄. 会津地域における骨粗鬆症診　12 年の取り組み. 第 16 回秋田県運動器疾患セミナー; 20220907; Web.

岩渕真澄. 会津地域医における骨粗鬆症診療　12 年の取り組み. 第 94 回会津糖尿病懇談会; 20221130; 会津若松.

〔その他〕

岩渕真澄. 骨粗鬆症治療に対する診断と医療に関する知識習得. 旭化成ファーマ株式会社社内教育講演; 20220304; 会津若松.

白土修. 座長　一般口演 53　腰椎疾患病態・保存治療. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20220421; 横浜.

岩渕真澄. 座長　一般演題ポスター 脊椎:脊髄画像. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519; 神戸.

白土修. 座長　教育研修講演 69. 第 95 回日本整形外科学会学術総会; 20220519; 神戸.

佐久間洋太. コメンテーター　Fix and treat！～ix version～. 会津若手整形外科セミナー; 20220713; 会津若松.

岩渕真澄. コメンテーター　骨粗鬆症の診断学の向上と治療学の確立. 福島 FLS meeting; 20220728; Web.

岩渕真澄. 骨粗鬆症 臨床セミナー2. アステラス製薬(株)社内研修会; 20220729; 会津若松.

岩渕真澄. 座長　一般演題(口演)20 QOL 評価. 日本腰痛学会; 20220914; Web.

岩渕真澄. 座長　当院における骨粗鬆症の治療と今後の課題. 会津若松市骨粗鬆症 seminar; 20220914; Web.

遠藤達矢, **伊藤俊一**. 知っておきたい腰痛、脊柱のリハビリテーション. リハビリテーション・ケア合同研究大会【苫小牧 2022】; 20220930; 苫小牧.

白土修. 座長　一般演題　口演 30：脊髄：病態. 第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20221013; 宮崎.

岩渕真澄. 座長　一般演題（口演）20. 第 30 回日本腰痛学会; 20221021; 盛岡.

岩渕真澄. 腰痛に対する診断と治療. 久光製薬(株)社内研修会; 20221028; 会津若松.

白土修. 座長　ポスター：固定術後長期成績. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会; 20221125; 大阪.

岩渕真澄. 座長　最新の骨粗鬆症治療戦略. 会津医学会学術講演会; 20221125; 会津若松.

白土修. 座長　コンドリアーゼによる腰椎椎間板ヘルニアの治療. 第 9 回会津脊椎脊髄疾患研究会; 20220112; 会津若松.

白土修. 座長　シンポジウム 1：ロコモを極める　ロコモと運動器疾患. 第 33 日本運動器科学会; 20220709; 札幌.

白土修. 座長　一般演題 1：運動療法・教訓的症例. 第 12 回日本成人脊柱変形学会; 20220305; 和歌山.

白土修. 座長　一般演題 3：頸部・頸椎. 第 33 日本運動器科学会; 20220709; 札幌.

白土修. 座長　早期変形性膝関節症　病態に則した治療の実現を目指した現状と展望. 会津整形外科医会;

20220608; 会津若松.

白土修. 腰の曲がり　あきらめない（インタビュー記事）. 読売新聞　全国版; 20220324; 18 面.

会津医療センター　耳鼻咽喉科学講座

論　　文

〔原　著〕

Suzuki T, Imaizumi M, Kikuchi D, Sato K, Murono S. Using the larynx as a last resort for oral intake in a hypopharyngeal cancer patient. Auris, nasus, larynx. 202208; 49(4):717-720.

野本美香, **佐藤廣仁**, **鈴木俊彦**. 【知っておきたいみみ・はな・のどの感染症　診断・治療の実際】緊急の・難治の、忘れた頃の「はな」の感染症. ENTONI. 202201; (266):39-47.

小川洋. 【ウイルス感染症】難聴とウイルス　サイトメガロウイルス. 耳鼻咽喉科. 202201; 1(1):26-32.

小川洋. 【頭蓋底病変へのアプローチ】側頭骨外傷. 耳鼻咽喉科. 202210; 2(4):470-475.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

小川洋. 先天性高度一側難聴患者が 17 歳時に両側高度感音難聴となり外リンパ液からサイトメガロウイルス(CMV)が検出された 1 例. 第 2 回 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会; 20220416; 弘前.

小川洋, **鈴木俊彦**, **小針健大**. Baha Power の使用が聴覚補償に効果的であった両側耳硬化症手術症例. 第 84 回耳科咽喉科臨床学会総会・学術講演会; 20220708; 広島.

会津医療センター　臨床医学部門

論　　文

〔原　著〕

Utano K, Isohata N, Nemoto D, Aizawa M, Nakajima Y, Endo S, Lefor AK, Togashi K. Rectal cancer eradication by proton beam therapy complicated by radiation proctitis: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202208; 15(4):746-749.

Aizawa M, Utano K, Nemoto D, Isohata N, Endo S, Tanaka N, Hewett DG, Togashi K. Risk of Delayed Bleeding after Cold Snare Polypectomy in Patients with Antithrombotic Therapy. Digestive Diseases and Sciences. 202205; 67(5):1869-1878.

Nemoto D, Guo Z, Peng B, Zhang R, Nakajima Y, Hayashi Y, Yamashina T, Aizawa M, Utano K, Lefor AK, Zhu X, Togashi K. Computer-aided diagnosis of serrated colorectal lesions using non-magnified white-light endoscopic images. International Journal of Colorectal Disease. 202208; 37(8):1875-1884.

Utano K, Nagata K, Honda T, Kato T, Lefor AK, Togashi K. Bowel habits and gender correlate with colon length measured by CT colonography. Japanese Journal of Radiology. 202203; 40(3):298-307.

Togashi K, Utano K, Lefor AK. In reply(Letter to the Editor: 40(4):439-440). Japanese Journal of Radiology. 202204; 40(4):441-442.

Yasuda T, Honda T, Utano K, Kato T, Togashi K, Yamaguchi S, Yasaka T. Diagnostic accuracy of ultra-low-dose CT colonography for the detection of colorectal polyps: a feasibility study. Japanese Journal of Radiology. 202208; 40(8):831-839.

齋藤拓朗，星ひかり，大井川百合，橋本重厚，歌野健一，歌野有香．【チェックリストの作り方、使い方】実践報告　福島県立医科大学会津医療センター(福島県会津若松市)　画像検査結果確認チェックリストの作成・運用による画像診断報告書見落とし防止．患者安全推進ジャーナル. 202206; 68:25-29.

五十畑則之，遠藤俊吾，芦澤舞，根本鉄太郎，根本大樹，愛澤正人，歌野健一，冨樫一智，鈴志野聖子，添田暢俊，齋藤拓朗．局所進行直腸癌に対する術前化学療法の成績．癌と化学療法. 202212; 49(13):1399-1401.

根本大樹，中島勇貴，愛澤正人，鈴木康平，歌野健一，冨樫一智．【大腸鋸歯状病変のすべて】治療　大腸鋸歯状病変の切除方法とコツ．消化器内視鏡. 202205; 34(5):987-993.

中島勇貴，歌野健一，冨樫一智．治療法の再整理とアップデートのために　専門家による私の治療　虚血性腸管障害（虚血性大腸炎を除く）．日本医事新報. 202206; 5120:41-42.

斎藤博，樋渡信夫，野崎良一，鈴木康元，小林望，関口正宇，只野敏浩，永田浩一，西田博，松田尚久，松本啓志，村上晴彦，山口和也，歌野健一，遠藤俊吾，角川康夫，金岡繁，雑賀公美子，馬嶋健一郎，町井涼子，松浦邦彦，松田一夫，日本消化器がん検診学会大腸がん検診精度管理委員会. 大腸がん検診マニュアル 2021 年度改訂版. 日本消化器がん検診学会雑誌. 202205; 60(3):385-536.

〔総説等〕

中島勇貴，歌野健一，根本大樹，愛澤正人，冨樫一智. 小腸疾患　診断・治療の最新動向　腸閉塞　絞扼性腸閉塞. 日本臨床. 202207; 80(7):344-347.

歌野健一，根本大樹，愛澤正人，五十畑則之，遠藤俊吾，冨樫一智. 消化管画像診断（CT、MRI、PET）　現状と課題　(1)大腸 CT 検査（CT colonography）　がん検診、がん術前検査での展開. 臨床消化器内科. 202204; 37(4):411-418.

書籍等出版物

冨樫一智，歌野健一. 17. カプセル内視鏡を用いた消化管健診の可能性. In: 西崎泰弘 総編集. 検診・人間ドックハンドブック改訂 7 版. 東京: 中外医学社; 202202. p.224.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

畝田一司，金子彰，齋藤龍史，石上友章，並木隆雄，三潴忠道. 防風通聖散は肥満者の BMI を改善する：システマティックレビューとメタ解析. 第 72 回日本東洋医学会学術総会; 20220527-29; Web. 日本東洋医学雑誌. 73(別冊):147.

〔シンポジウム〕

中島勇貴，根本大樹，鈴木康平，愛澤正人，歌野健一，五十畑則之，遠藤俊吾，北條洋，冨樫一智. 大腸 p-T1 癌の転移・再発の危険因子の検討. 第 40 回大腸検査法学会総会; 20221104; 東京.

〔その他〕

歌野健一. 精密検査、大腸 CT 検査を中心に. 大腸がん検診のすべて. 検診従事者講習会; 20221203; 会津若松.

Ⅱ　受賞一覧

基礎病理学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	福島医学会	学術奨励賞	新しい核内受容体の転写活性調節機能の解明と病理学への展開	杉本幸太郎

衛生学・予防医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本居住福祉学会	2022年度日本居住福祉学会学術賞（論文部門）	被災地住民の復興作業への継続的関与による「ふるさと感」の発見と再活性化－除染作業員への福島原発事故後の5年間にわたるエスノグラフィック・インタビュー	日高友郎，春日秀朗，各務竹康，福島哲仁

疫学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	ISH2022 Kyoto（第29回国際高血圧学会）	Best Poster Presentation Award	Impact of evacuation on the long-term trend of Hypertension after the Great East Japan Earthquake	江口依里

循環器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	第39回国際心臓研究学会日本部会	第39回国際心臓研究学会日本部会　Young Investigator Award（YIA）　優秀賞	Targeting N-myristoylation prevents cardiac hypertrophy and heart failure	冨田湧介
2022	第86回日本循環器学会学術集会	第86回日本循環器学会学術集会 International Young Investigator Award Basic Research部門　優秀賞	Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1	君島勇輔
2022	第174回日本循環器学会東北地方会	第174回日本循環器学会東北地方会　Young Investigator's Award（YIA）　症例発表部門優秀賞	ワクチン未接種者に発症したSARS-CoV-2オミクロン株（BA.2型）によるCOVID-19関連劇症型心筋炎の一例	市村祥平

2022	第175回日本循環器学会東北地方会	第175回日本循環器学会東北地方会　Young Investigator's Award（YIA）　症例発表部門最優秀賞	ヘパリン起因性血小板減少症を合併し長期IMPELLA®管理後に植込型補助人工心臓移植術を行った重症心不全の1例	磯松大介
2022	第175回日本循環器学会東北地方会	第175回日本循環器学会東北地方会　Young Investigator's Award（YIA）　研究発表部門最優秀賞	拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義：心筋生検検体を用いたアプローチ	小河原崚
2022	第2回日本不整脈心電学会東北支部地方会	第2回日本不整脈心電学会東北支部地方会　ベストアブストラクト賞　優秀演題賞	心内シークエンスの明らかな変化なく、デルタ波の極性変化をきたしたWPW症候群の1例	野寺穣
2022	2022年日本心臓核医学会	2022年　日本心臓核医学会　優秀論文賞	Myocardial viability with chronic total occlusion assessed by hybrid positron emission tomography/magnetic resonance imaging	喜古崇豊
2022	第32回日本心臓核医学会総会・学術大会	第32回日本心臓核医学会総会・学術大会　第22回若手研究者奨励賞審査講演　優秀賞	^{13}N-アンモニア PET/MRI を用いた心筋血流予備能と右室ストレイン解析による予後の検討	遠藤圭一郎
2022	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会　若手研究奨励賞（臨床）　優秀演題賞	Nutrition risk index（NRI）によるがん治療関連心機能障害の予測	八重樫大輝
2022	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会　若手研究奨励賞（基礎）　最優秀演題賞	心筋梗塞によるNerve Growth Factorの増加はNGF/TrkA経路を介して乳がんを進行させる	谷哲矢
2022	第26回日本心不全学会学術集会	第26回日本心不全学会学術集会　優秀演題賞	Renal Venous Stasis Indexは心不全患者における腎うっ血を反映する	大原妃美佳
2022	第26回日本心不全学会学術集会	第26回日本心不全学会学術集会　優秀演題賞	簡易版ARC-HBR基準は心不全患者の不良な予後を予測する	佐藤悠

血液内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	福島県立医科大学附属病院	令和4年度福島県立医科大学附属病院治験実施者表彰		深津真彦

消化器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本消化器内視鏡学会東北支部	第1回日本消化器内視鏡学会東北支部学術奨励賞	Trichuris trichiura Incidentally Detected by Colonoscopy and Identified by a Genetic Analysis	Ishizaki Y
2022	日本消化器内視鏡学会東北支部	第1回日本消化器内視鏡学会東北支部学術奨励賞	Transjejunal endoscopic ultrasound-guided pancreatic drainage for pancreatic jejunostomy stricture using a forward-viewing echoendoscope in a patient with altered anatomy	Shimizu H
2022	日本消化器内視鏡学会東北支部	第1回日本消化器内視鏡学会東北支部学術奨励賞	Esophagobronchial fistula complicated by esophageal achalasia treated by per-oral endoscopic myotomy	Sugaya T

呼吸器内科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	Asian Pacific Society of Respirology	26th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology Assembly Educational Award	Importance of clinical history of antigen exposure and anti-Trichosporon asahii antibody evaluation for diagnosis of summer-type hypersensitivity pneumonitis in patients with chronic interstitial lung diseases	Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Watanabe N, Fukuhara N, Lee T, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y

2022	Asian Pacific Society of Respirology	26th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology Assembly Educational Award	Peripheral blood monocyte count as a prognostic biomarker in idiopathic interstitial pneumonia other than idiopathic pulmonary fibrosis	Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Watanabe N, Fukuhara N, Tomoyoshi L, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Rikimaru M, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y

消化管外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	癌免疫外科研究会	第43回癌免疫外科研究会 奨励賞	dMMR/MSI大腸癌におけるcGAS-STING経路の発現	金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二

肝胆膵・移植外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本肝移植学会	第40回日本肝移植学会　優秀演題賞	MR elastographyを用いた移植肝グラフトの線維化診断	佐藤直哉，見城明，西間木淳，石亀輝英，小船戸康英，渡辺淳一郎，武藤亮，月田茂之，木村隆，丸橋繁

呼吸器外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第107回日本胸部外科学会東北地方会　学生奨励賞	左房粘液腫手術待機中に急激に増大し，先行して手術を施行した肺多形癌の一例	鈴木智大，松村勇輝，藤宮剛，石田圭一，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，塩豊，横山斉，鈴木弘行

2022	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第107回日本胸部外科学会東北地方会　学生奨励賞	高エネルギー外傷によるBTシャント断裂で大量血胸を発症した1例	安藤光毅，渡部晶之，猪俣頌，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，塚田泰彦，鈴木弘行
2022	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第108回日本胸部外科学会東北地方会　学生奨励賞	悪性リンパ腫に合併した肺硝子化肉芽腫症の1例	川島萌，峯勇人，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，鈴木弘行
2022	東北肺癌研究談話会	第38回東北肺癌研究談話会　優秀演題賞	外科的切除を施行した胸腺癌における腫瘍免疫関連因子の検討	岡部直行，猪俣頌，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行

乳腺外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	福島県立医科大学附属病院	令和3年度治験実施者表彰		村上祐子

外科研修支援担当

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本肝移植学会	第40回日本肝移植学会　優秀演題賞	MR elastographyを用いた移植肝グラフトの線維化診断	佐藤直哉，見城明，西間木淳，石亀輝英，小船戸康英，渡辺淳一郎，武藤亮，月田茂之，木村隆，丸橋繁

整形外科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本脊椎脊髄病学会	JSSR English presentation award (Silver medal)	Age-related differences in lower extremity muscle tightness and low back pain in young baseball players: a cross sectional study of 1228 players aged 6 to 16	加藤欽志，大歳憲一，富永亮司，加賀孝弘，猪狩貴弘，佐藤亮平，兼子陽太，紺野愼一

2022	東北MISt研究会	Best Presentation Award	DISHを伴う椎体骨折における、Mayfield3点固定器を用いた体位の工夫：前方開大予防、整復の試み	小林洋，渡邉和之，二階堂琢也，加藤欽志，小林良浩大谷晃司，矢吹省司，紺野慎一
2022	東北整形災害外科学会	優秀演題賞	膝関節にロッキングを生じた鵞足部骨軟骨腫の1例	園部樹

皮膚科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本皮膚科学会	第121回日本皮膚科学会総会　優秀演題賞	当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚irAE114例の臨床的検討	入江絹子，高田満喜，遠藤麻衣，伊藤崇，石川真郷，本多晧，山本俊幸
2022	日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会	第41回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会　優秀演題賞	Nivolumab投与後に生じたcutaneous sarcoid/sarcoid-like lesionの1例	本多晧，石川真郷，山本俊幸

泌尿器科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本泌尿器科学会	第80回一般社団法人日本泌尿器科学会　坂口賞	Morphological change and characteristics of myofibroblasts during the growth process of benign prostatic hyperplasia	秦淳也
2022	日本泌尿器科学会	第16回一般社団法人日本泌尿器科学会　ヤングリサーチグラント	過活動膀胱における利尿適応性の中枢神経制御機構の解明と新規治療開発に向けた基礎的研究	松岡香菜子
2022	日本小児泌尿器科学会	第31回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会学会賞	鞘膜外捻転と鞘膜内捻転を同時に認め片側精巣を救済しえた新生児両側精巣捻転の1例	桐花悠介，佐藤雄一，長谷川暁久，吉田祐樹，今井仁美，本田瑠璃子，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，小川総一郎，小島祥敬

2022	日本泌尿医科学会東北地方会	第264回日本泌尿器科学会東北地方会　優秀演題賞	HTLV-1関連脊髄症に起因する下部尿路機能障害の1例	粂川知之，赤井畑秀則，桐花悠介，夏谷広樹，箱﨑佑輔，吉岡駿佑，今井仁美，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，片岡政雄，小島祥敬
2022	日本泌尿器科学会東北地方会	第265回日本泌尿器科学会東北地方会　優秀演題賞	BRCA2生殖細胞変異にFANCA体細胞変異を合併した去勢抵抗性前立腺癌の一例	針金佑樹，　星誠二，　粂川知之，　遠藤侑，八木沼恵，今井仁美，松岡優太，小名木彰史，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，佐藤雄一，赤井畑秀則，片岡政雄，小島祥敬
2022	福島県医師会	令和4年度福島県医師会　医学奨励賞	Upregulation of glucocorticoid receptor-mediated glucose transporter 4 in enzalutamide-resistant prostate cancer	星誠二
2022	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会	第12回福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会賞（原著部門）	Morphological change and characteristics of myofibroblasts during the growth process of benign prostatic hyperplasia	秦淳也
2022	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会	第12回福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会賞（症例部門）	Congenital lipoid adrenal hyperplasia: Immunohistochemical study of testosterone synthesis in Leydig cells	松岡香菜子

放射線医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本心臓核医学会	2022年日本心臓核医学会　優秀論文賞	慢性完全閉塞病変の心筋生存能評価に関するPET/MRI の有用性	喜古崇豊，片平正隆，遠藤圭一郎，福島賢慈，竹石恭知
2022	日本心臓核医学会	第22回日本心臓核医学会　若手研究者奨励賞	^{13}N-ammonia PET/MRI を用いた心筋血流予備能と右室ストレイン解析による予後の検討	遠藤圭一郎，福島賢慈，喜古崇豊，山國遼，八巻尚洋，　伊藤浩，竹石恭知

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	癌免疫外科研究会	第43回癌免疫外科研究会 奨励賞	dMMR/MSI大腸癌におけるcGAS-STING経路の発現	金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二
2022	日本白血病研究基金	一般研究賞	前白血病病変から急性白血病への進行に関わるnon-geneticな因子の検索	植田航希
2022	福島医学会	研究奨励賞	急性白血病の多段階発症モデル～白血病の発症予防を目指して～	植田航希

災害こころの医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本認知・行動療法学会	日本認知・行動療法学会第47回大会　ポスター発表最優秀研究報告賞	日本語版Covid Stress Scale（CSS）の作成と信頼性・妥当性の検討	高階光梨，佐藤秀樹，青木俊太郎，牟田季純，秋山直美，横光健吾，竹林由武
2022	日本サイコオンコロジー学会	教育功労賞		瀬藤乃理子

放射線腫瘍学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本放射線腫瘍学会	日本放射線腫瘍学会第35回学術大会　優秀教育発表奨励賞	全身性多発転移胃癌に対し，姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行った症例	梅宮和真

癌集学的治療地域支援講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	癌免疫外科研究会	第43回癌免疫外科研究会 奨励賞	dMMR/MSI大腸癌におけるcGAS-STING経路の発現	金田晃尚，中嶋正太郎，三村耕作，河野浩二

保健科学部

理学療法学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	福島県理学療法士会	第21回福島県理学療法士会学術集会　学会奨励賞	長下肢装具を必要とする脳卒中片麻痺者における発症1ヶ月後の短下肢装具への移行を予測する因子の検討－麻痺側下肢支持性指標は予測因子となり得るか？－	阿部浩明，大鹿糠徹，辻本直秀，関崇志

作業療法学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	保健医療学学会	2021年度保健医療学雑誌　優秀論文賞	Relationship between post stroke duration and balance function necessary for performing activities of daily living independently in stroke patients on the convalescence	Fujita T, Kisara Y, Iokawa K, Sone T, Yamane K, Yamamoto Y, Ohira Y, Otsuki K

診療放射線科学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本放射線技術学会	第76回日本放射線技術学会東京支部学術大会学術奨励賞	骨SPECT/CTにおける骨転移診断のためのZ-score算出ソフトウェアの精度検証	薬師寺優，三輪建太，福田翔平，黒須虹太，山尾天翔，宮司典明，我妻慧，西川祝子
2022	日本放射線技術学会	第78回日本放射線技術学会総会学術大会　学生賞優秀賞	18F-flutemetamolアミロイドPETにおけるTOF-BPL法の罰則項内の最適化	福田翔平，三輪建太，薬師寺優，我妻慧，山尾天翔，上高祐人，西川祝子

臨床検査学科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本心不全学会	第26回日本心不全学会学術集会　優秀演題賞	簡易版ARC-HBR基準は心不全患者の不良な予後を予測する	佐藤悠，義久精臣，竹石遼平，大原妃美佳，菅原由紀子，一條靖洋，寶槻優，渡邊孝一郎，阿部諭史，三阪智史，佐藤崇匡，及川雅啓，小林淳，中里和彦，竹石恭知
2022	日本腫瘍循環器学会	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会　若手研究奨励賞（臨床）優秀演題賞	Nutrition risk index(NRI)によるがん治療関連心機能障害の予測	八重樫大輝，及川雅啓，横川哲朗，三阪智史，小林淳，義久精臣，中里和彦，石田隆史，竹石恭知
2022	福島県臨床検査技師会	学術論文賞	GBSスクリーニング検査における新規GBS増菌培地の基礎的検討とラテックス凝集法併用の有用性	丹野大樹，庄司龍弥，坂本有子，髙野由喜子，大橋一孝，豊川真弘，山寺幸雄，志村浩己
2022	福島県臨床検査技師会	学術論文賞	抗がん剤感受性試験(CD-DST)による大腸がんの予後および治療効果予測の有用性	高橋一人，齋藤泰智，小笠原愛美，中河知里，森川知世，佐藤多嘉之，下山則彦

総合内科

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	米国内科学会日本支部	Virtual Doctor’s Dilemma Competition 2022 優勝		松崎史弥，藤巻光

検査部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	一般社団法人福島県臨床検査技師会	学術奨励賞		鈴木崇斗

内視鏡診療部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本消化器内視鏡学会	Best reviewers award for Digestive Endoscopy 2021		引地拓人
2022	日本消化器内視鏡学会	Best reviewers award for DEN Open 2021		引地拓人

臨床研究教育推進部

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	一般社団法人日本理学療法学会連合	大会長賞	整形外科疾患患者におけるサルコペニアの診断サポートツールU-TESTの開発と検証	紙谷司，脇田貴文，和田治，水野清典，栗田宜明

看護師特定行為研修センター

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本肝移植学会	第40回日本肝移植学会　優秀演題賞	MR elastographyを用いた移植肝グラフトの線維化診断	佐藤直哉，見城明，西間木淳，石亀輝英，小船戸康英，渡辺淳一郎，武藤亮，月田茂之，木村隆，丸橋繁

会津医療センター　漢方医学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	一般社団法人日本東洋医学会	大塚敬節記念東洋医学賞	東洋医学の発展のために寄与	三潴忠道

会津医療センター　小腸・大腸・肛門科学講座

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本消化管学会	2021年度日本消化管学会最優秀賞（臨床）	2センチ以上の大腸平坦型腫瘍に対する、大腸カプセル内視鏡と大腸CT検査の診断能の比較試験	歌野健一，勝木伸一，松田知己，満崎克彦，藤田朋紀，根本大樹，永田浩一，アランレフォー，冨樫一智

会津医療センター　臨床医学部門

受賞年	授与機関	賞名	タイトル	受賞者（グループ）
2022	日本消化管学会	2021年度日本消化管学会最優秀賞（臨床）	2センチ以上の大腸平坦型腫瘍に対する、大腸カプセル内視鏡と大腸CT検査の診断能の比較試験	歌野健一，勝木伸一，松田知己，満崎克彦，藤田朋紀，根本大樹，永田浩一，アランレフォー，冨樫一智

Ⅲ　共同研究・競争的資金等の研究課題一覧

令和４年度共同研究・競争的資金等の研究課題一覧

医学部

神経解剖・発生学講座.....643
解剖・組織学講座.....643
細胞統合生理学講座.....643
システム神経科学講座.....644
生化学講座.....644
免疫学講座.....645
病態制御薬理医学講座.....645
微生物学講座.....646
基礎病理学講座.....646
衛生学・予防医学講座.....647
公衆衛生学講座.....648
法医学講座.....650
放射線生命科学講座.....650
疫学講座.....651
健康リスクコミュニケーション学講座.....655
循環器内科学講座.....656
血液内科学講座.....658
消化器内科学講座.....659
リウマチ膠原病内科学講座.....660
腎臓高血圧内科学講座.....661
糖尿病内分泌代謝内科学講座.....661
呼吸器内科学講座.....662
消化管外科学講座.....665
肝胆膵・移植外科学講座.....666
呼吸器外科学講座.....668
心臓血管外科学講座.....670
外科研修支援担当.....670
脳神経外科学講座.....671
整形外科学講座.....672
形成外科学講座.....673
産科婦人科学講座.....673
小児科学講座.....674
眼科学講座.....675
皮膚科学講座.....675
泌尿器科学講座.....675
耳鼻咽喉科学講座.....677
神経精神医学講座.....677
放射線医学講座.....678
麻酔科学講座.....679
救急医療学講座.....679
病理病態診断学講座.....679
臨床検査医学講座.....680
感染制御学講座.....680
輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....680
地域・家庭医療学講座.....682
放射線健康管理学講座.....682
甲状腺内分泌学講座.....683
災害こころの医学講座.....683
放射線腫瘍学講座.....684
腫瘍内科学講座.....684
放射線災害医療学講座.....685
人間科学講座　生命倫理学分野.....685
自然科学講座　数理情報学分野.....685
自然科学講座　先端化学分野.....685
自然科学講座　数理物質科学分野.....686
附属生体情報伝達研究所　生体物質研究部門...686
附属生体情報伝達研究所　細胞科学研究部門...686
附属生体情報伝達研究所　生体機能研究部門...687
放射性同位元素研究施設.....688
実験動物研究施設.....688
国際被ばく保健看護学講座.....689
周産期・小児地域医療支援講座.....689
災害医療支援講座.....690

地域産婦人科支援講座.....690
白河総合診療アカデミー.....690
東白川整形外科アカデミー.....691
疼痛医学講座.....691
生体機能イメージング講座.....691
多発性硬化症治療学講座.....691
低侵襲腫瘍制御学講座.....691
心臓調律制御医学講座.....692
ヒト神経生理学講座.....692
総合内科・臨床感染症学講座.....692
周産期間葉系幹細胞研究講座.....692
癌集学的治療地域支援講座.....693
アスタチン核種治療研究講座.....693
甲状腺治療学講座.....694
救急・生体侵襲制御学講座.....694
地域婦人科腫瘍学講座.....694

看護学部

総合科学部門　言語学分野.....695
総合科学部門　行動科学分野（心理学）.....695
総合科学部門　行動科学分野（社会学）.....695
総合科学部門　保健情報学・疫学分野.....695
生命科学部門.....696
基礎看護学部門.....697
成人・老年看護学部門.....697
小児・精神看護学部門.....698
地域・公衆衛生看護学部門.....699
母性看護・助産学部門.....699

保健科学部

理学療法学科.....700
作業療法学科.....702
診療放射線科学科.....704
臨床検査学科.....707
総合科学.....709

附属病院，他

附属病院長.....710
患者サポートセンター.....710
ふたば救急総合医療支援センター.....710
総合内科.....711
小児外科.....711
小児腫瘍内科.....711
歯科口腔外科.....711
集中治療部.....712
総合周産期母子医療センター.....712
生殖医療センター.....713
臨床研究教育推進部.....713
性差医療センター.....714
大学健康管理センター.....714
総合科学教育研究センター　人文社会科学系領域.....715
総合科学教育研究センター　自然科学系領域.....715
医療人育成・支援センター.....717
看護師特定行為研修センター.....719
地域医療支援センター.....719
ふくしま子ども・女性医療支援センター.....719
放射線医学県民健康管理センター.....720
健康増進センター.....721
先端臨床研究センター.....721

会津医療センター

漢方医学講座.....723
精神医学講座.....724
小腸・大腸・肛門科学講座.....724
外科学講座.....725
整形外科・脊椎外科学講座.....725
耳鼻咽喉科学講座.....725

神経解剖・発生学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	無意識の視覚の解剖発生学的な成立機序	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉裕二
令和4	補助・助成	神経細胞の誕生日を構築する分子メカニズムの解明	令和4年度研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	橋本光広
令和4	補助・助成	鳥類の非筋性横隔膜の発生	令和4年度研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	向笠勝貴

解剖・組織学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	選択的オートファジーによる細胞制御	科学研究費助成事業／新学術領域研究(研究領域提案型)	日本学術振興会	小松雅明，和栗聡，杉浦悠毅，李賢哲
令和4	補助・助成	p62変異による液－液相分離異常の微細形態とその分子基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	和栗聡，田村直輝
令和4	補助・助成	ピースミールマイトファジーにおける膜構造変換プロセスの3次元モデル解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	荒井律子
令和4	補助・助成	エンドソーム上でEGFRの分解・リサイクルを決定する新規分子基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	植村武文
令和4	補助・助成	非膜性オルガネラの多面的な形態学解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田村直輝

細胞統合生理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	代表研究者
令和4	補助・助成	セシウムのケロイド治療薬としての可能性を探る。－線維芽細胞増殖抑制効果の機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小山明彦，小林大輔，永峰恵介
令和4	補助・助成	膜電位測定技術を用いた凍結卵・加齢卵評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅将生

令和4	補助・助成	気道上皮膜輸送体とiPS細胞から明らかにする喘息気道における杯細胞化生の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉江進
令和4	国内共同研究	御種人参を主とした医薬農連携による生薬地産地消プログラム		農研機構　東北農業研究センター福島研究拠点	三潴忠道，鈴木雅雄，鈴木朋子，佐橋佳郎，挾間章博，信濃卓郎，松波寿弥，久保堅司
令和4	国内共同研究	宇宙飛行が尾部組織に与える影響		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	三宅将生，山﨑将生，勝田新一郎，清水強，挾間章博
令和4	国内共同研究	宇宙飛行が管腔構造に与える影響の種間・週齢比較		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	三宅将生，山﨑将生，勝田新一郎，吉江進，清水強，挾間章博
令和4	学内共同研究	ヒトiPS細胞とたばこ煙を利用した杯細胞過形成機構の解明に関する研究	若手研究助成	公益財団法人喫煙科学研究財団	吉江進

システム神経科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	社会的推論に関する知識構造の定量的理解と脳内表現の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡本正博
令和4	補助・助成	記憶の記銘と想起を司るラット海馬の神経メカニズム	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中園智晶

生化学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	代表研究者
令和4	補助・助成	リン酸化で再定義するオステオポンチンによる癌悪性化機構と創薬への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	苅谷慶喜
令和4	補助・助成	一次繊毛先端部におけるアンテナ機能制御と繊毛病発症の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永井友朗
令和4	補助・助成	ゴルジ体微小管の構築制御に基づく癌細胞の集団的浸潤機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西田満

令和4	補助・助成	Wntシグナルに基づく新たな直腸癌化学放射線免疫複合療法の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古出隆大，西田満，松田武，掛地吉弘，山下公大
令和4	補助・助成	癌細胞遊走におけるRif低分子量Gタンパク質の活性制御機構と機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	星京香
令和4	補助・助成	KIF1Cモータータンパク質を介した浸潤突起伸長の分子機構解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	佐事武

免疫学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄
令和4	補助・助成	滲出型加齢黄斑変性の病態形成に補体レクチン経路が関与する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大森智子，石龍鉄樹，関根英治
令和4	補助・助成	Serpinによる補体第二経路D因子の新規な制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関根英治，町田豪
令和4	補助・助成	補体因子MASP-3を活性化する血中プロテアーゼの同定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	町田豪，関根英治

病態制御薬理医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	PIP2によるKATPチャネル・インスリン分泌制御ならびに糖尿病治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	下村健寿
令和4	補助・助成	オキシトシンによるアルコール依存障害の減弱メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日出間志寿

微生物学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄
令和4	補助・助成	胎内環境下におけるサイトメガロウイルスの新たな垂直感染機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	生田和史，石岡賢
令和4	補助・助成	新規要因としての先天性CMV感染による精子形成障害の機序解明と予防的治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川総一郎，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，胡口智之，小島祥敬，赤井畑秀則
令和4	補助・助成	機能性食品による抗酸化、免疫賦活化作用を介した聴覚障害予防の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川洋，錫谷達夫
令和4	補助・助成	食餌成分による加齢関連疾患の予防効果とその抗加齢メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	宮崎希
令和4	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫

基礎病理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	生検組織を用いたリン酸化シグナル解析によるがん多様性機序の解明と精密医療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	朝長毅，足立淳，朴成和，長山聡，佐藤友美
令和4	補助・助成	新規抗CLDN10モノクローナル抗体を活用した腎癌悪性形質制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小名木彰史，杉本幸太郎，星誠二，胡口智之，片岡政雄，小島祥敬
令和4	補助・助成	口腔扁平上皮癌における肝X受容体異常リン酸化の診断治療標的としての可能性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金子哲治，杉本幸太郎
令和4	補助・助成	順遺伝学的手法を用いた，がん細胞におけるビタミンDシグナル調節因子の網羅的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本幸太郎，小林信

令和4	補助・助成	肝癌と膵癌における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西間木淳，杉本幸太郎，小船戸康英，石亀輝英，丸橋繁
令和4	補助・助成	プロテアーゼによる密着結合の恒常性維持機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	東智仁
令和4	補助・助成	幹細胞ニッチシグナルを利用した組織再生新戦略	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	千葉英樹，杉本幸太郎
令和4	補助・助成	細胞表面タンパク質の網羅的解析を基盤とした卵巣がん新規診断・治療標的の同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林信
令和4	補助・助成	リン酸化プロテオミクスを活用した体内循環がん細胞塊の遠隔転移確立機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤友美

衛生学・予防医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	辻内琢也，扇原淳，桂川泰典，金智慧，多賀努，増田和高，岩垣穂大，平田修三，日高友郎，小島隆矢，明戸隆浩，根ケ山光一
令和4	補助・助成	労働現場における中軽症熱中症の要因と経路のパターン解明による特異的予防策の立案	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	各務竹康，伊藤央奈，日高友郎，遠藤翔太
令和4	補助・助成	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木下美佐子，堀内輝子，阿部夏樹
令和4	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子，堀内輝子，木下美佐子，高橋香子，片桐和子，山田智惠里
令和4	補助・助成	健康の社会的決定要因に対する医療系学生の理解・活用能力：尺度構成と関連要因の探求	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅原亜紀子，春日秀朗，小林元，石川和信

令和4	補助・助成	日米共通の基準を用いた、病院の経営危機予測モデルの開発と国際比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坪井聡
令和4	補助・助成	COVID-19による労働環境変化が学校教員の健康状態や健康関連行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秦暁子，各務竹康，日高友郎，高橋香子
令和4	補助・助成	天災・人災複合による故郷喪失者への心理支援モデル開発：縦断的混合研究法アプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日高友郎，鈴木祐子
令和4	補助・助成	中小規模事業場の個別性に応じた職場環境改善手法の開発：項目自己生成式尺度の活用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤翔太
令和4	補助・助成	親の期待に対する子の意味づけと適応の変容プロセス：混合研究法を用いた国際比較研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	春日秀朗
令和4	補助・助成	介護未経験の中途介護施設入職者の孤立化予防と職場適応のための個別支援モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤勢
令和4	補助・助成	福島県の吃音問題の解決に向けたアクションリサーチ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	森弥生
令和4	企業からの受託研究	ウェアラブルバイタルセンサーを用いた熱中症予防及び労働安全・衛生管理の向上に関する研究	受託研究	鹿島建設株式会社	各務竹康

公衆衛生学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	震災後の避難地域の介護予防対策推進のための介護実態プロファイルの開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊東尚美，坪倉正治，佐藤美佳，森山信彰
令和4	補助・助成	東日本大震災被災地における肥満者増加の要因－中食利用行動を中心とした検証－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野道子，石川みどり，安村誠司
令和4	補助・助成	高齢者における抑うつと炎症の関連に及ぼす運動、身体機能の影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉田祐子，岩佐一

令和4	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸斉，安村誠司，前田正治，桃井真帆，瀬藤乃理子，竹林唯，堀越直子，佐藤秀樹，後藤紗織
令和4	補助・助成	避難行動要支援者の個別避難計画作成に関する理学療法士の職能向上に向けた調査研究	2022年度　理学療法にかかわる研究助成	日本理学療法学会連合	森山信彰
令和4	国内共同研究	福島原発事故による高齢者への健康影響評価－長崎原爆被爆の高齢者との比較－	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司
令和4	国内共同研究	放射線災害に関するメディア情報による福島県民の健康影響不安の実態と放射線情報リテラシーの向上	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司
令和4	国内共同研究	マスメディア報道と放射線リスクコミュニケーションのあり方に関する研究	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	青柳みどり，安村誠司
令和4	国内共同研究	放射線被爆と背景因子が腎疾患発症に与える影響についての検討	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	今田恒夫，安村誠司
令和4	国内共同研究	福島原発作業員に対するリスクコミュニケーションを含めた教育講習会実行のための不安調査	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	岡崎龍史，安村誠司
令和4	国内共同研究	放射線災害後の健康被害測定指標の提言に関する研究	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	越智小枝，安村誠司
令和4	国内共同研究	避難者における糖尿病発症リスクに精神的苦痛が与える影響の解明及び個別化されたリスクプロファイリング：10年追跡研究	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	川崎良，安村誠司
令和4	国内共同研究	東日本大震災が高齢者の身体・認知機能に及ぼした影響に関する検討	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	祖父江友孝，安村誠司
令和4	国内共同研究	福島第一原子力発電所事故後の避難区域およびその周辺地域における公衆衛生学的活動についての事例研究	令和4年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	西川佳孝，安村誠司

令和4	出資金による受託研究	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	子どもの健康と環境に関する全国調査　福島ユニットセンター	環境省	橋本浩一，安村誠司
令和4	その他	福島市民の健康と生活習慣に関する状況、および東日本大震災・新型コ ロナウイルス感染症の流行による市民の健康への影響に関する調査	福島市民の健康と生活習慣調査	福島市	安村誠司，岩佐一，森山信彰，中山千尋，山田秀彦

法医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	死体血HbA1c値測定におけるPOCT（臨床現場即時検査）機器の誤差要因	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤菜穂

放射線生命科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	多発性骨髄腫細胞の起源となる異常Bリンパ球はどのような機序で生じるか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂井晃，阿部悠，津山尚宏
令和4	補助・助成	標的ゲノム編集/系統的ノックダウンによる染色体転座頻度を増加させる因子の探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	津山尚宏，阿部悠，工藤健一，坂井晃
令和4	補助・助成	デザインされた誘発Dicによる微小核/クロモトリプシス形成過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	津山尚宏，阿部悠，柳亜希，坂井晃
令和4	補助・助成	乳腺オルガノイドでヒトと実験動物の放射線影響研究をつなぐ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	工藤健一
令和4	補助・助成	乳腺オルガノイドをモデルとした放射線応答/発がんにおけるΔNp63αの核心的役割	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	工藤健一
令和4	国内共同研究	ヒト乳腺オルガノイドを用いた放射線応答におけるp63タンパク質の役割の解明	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	工藤健一
令和4	国内共同研究	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の発生機序の解明	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	坂井晃，神谷研二，笹谷めぐみ

令和4	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	坂井晃，松浦伸也，宮本達雄
令和4	国内共同研究	染色体異常誘発過程への低線量放射線影響の解析	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	津山尚宏，林田直美
令和4	国内共同研究	1分子超解像技術を応用した放射線誘発DNA損傷イメージング法の確立	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	渡邉朋信，工藤健一
令和4	国内共同研究	人工多能性幹細胞と光計測技術を用いた放射線被ばく影響の個人差評価プラットフォームの確立	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	渡邉朋信，津山尚宏

疫学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	動脈硬化症の極早期診断を目指した血管壁の粘弾性特性の計測法に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	荒川元孝，金井浩，森翔平，高野真澄
令和4	補助・助成	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大平哲也，木山昌彦，山岸良匡，岡田武夫，今野弘規
令和4	補助・助成	ポジティブ心理健康資源と認知症発症の関連とメカニズム解明に関する観察・介入研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	白井こころ，権藤恭之，磯博康，大平哲也，武田朱公
令和4	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里，中野裕紀，大平哲也
令和4	補助・助成	脳－腸－脂肪連関における腸内細菌叢の測定意義についての疫学研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	大平哲也，木山昌彦，今野弘規
令和4	補助・助成	コロナ禍の心身の健康維持に影響する腸内細菌叢及び関連要因についての疫学研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	大平哲也，木山昌彦，今野弘規
令和4	補助・助成	震災後避難住民における栄養状況の経年的な推移と糖尿病発症に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	章ぶん

令和4	補助・助成	笑いプログラムがフレイル対策・予防に及ぼす効果についての前向きコホート・介入研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	舟久保徳美
令和4	補助・助成	Social Determinants of Dementia, Healthy Aging and Well-being: Examining positive Health Assets and Resilience of the Society	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	白井こころ，磯博康，大平哲也，斎藤民，辻大士，劉克洋，坂庭嶺人
令和4	補助・助成	生活習慣病予防のための行動変容を評価する包括的な社会心理行動指標に関する研究	予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業（ヘルスケア社会実装基盤整備事業）	日本医療研究開発機構（AMED）	大平哲也，山岸良匡，清水悠路，村木功，岡村智教，野田愛，齊藤功
令和4	補助・助成	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連要因とそのメカニズムについての疫学研究	放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	大平哲也
令和4	補助・助成	ストレス関連疾患に寄与する身体的心理社会因子についての疫学研究	日本フルハップ調査研究	公益財団法人日本中小企業福祉事業財団	大平哲也，江口依里，舟久保徳美，岡田武夫
令和4	補助・助成	大規模災害後の重度ストレスに対する笑いの生活習慣病への効果に関する疫学及び介入研究	パブリックヘルス科学研究助成金　ストレス科学分野	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	江口依里
令和4	補助・助成	口腔清掃習慣（舌清掃・歯磨きのタイミング）と全身疾患との関連について：アーユルヴェーダ的考察	助成研究	一般社団法人日本アーユルヴェーダ学会	舟久保徳美
令和4	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	松浦伸也，坂井晃，石川徹夫，大平哲也，細矢光亮
令和4	国内共同研究	東日本大震災後4年間の腹部肥満の推移と生活習慣との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	上村真由，大平哲也
令和4	国内共同研究	放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	江口依里，大平哲也
令和4	国内共同研究	放射線災害が福島県小児の肥満に及ぼす影響についての要因分析	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	菖蒲川由郷，大平哲也
令和4	国内共同研究	東日本大震災後の避難及び帰還住民の疾患発症・死亡とその分布状況に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	孫智超，大平哲也

令和4	国内共同研究	小学児童における睡眠状態とメンタルヘルスとの関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	谷川武，大平哲也
令和4	国内共同研究	健康行動に影響する身体・心理・社会的健康リスク要因変化の評価研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	田淵貴大，大平哲也
令和4	国内共同研究	福島県内の避難区域住民におけるトラウマ反応及び精神的不調と循環器疾患との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	手塚一秀，大平哲也
令和4	国内共同研究	主観的健康感の長期的な推移：県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	永井雅人，大平哲也
令和4	国内共同研究	震災後のこころの健康に影響を及ぼす地域のつながりに関するマルチレベル分析	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	長澤真衣子，大平哲也
令和4	国内共同研究	震災前後における生活・経済状況の変化と循環器疾患との関連：福島県県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	野田愛，大平哲也
令和4	国内共同研究	震災後の喫煙状況の変化とそれに影響を与える要因の検討	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	村上理紗，大平哲也
令和4	国内共同研究	出産経験と震災後のストレス耐性との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	安川純代，大平哲也
令和4	国内共同研究	震災後の生活習慣が健診所見とその後の変化に及ぼす影響：小児～青年期における検討	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	山岸良匡，大平哲也
令和4	国内共同研究	放射線災害後の食事パターンと将来の精神的苦痛との関連：福島県県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	吉田純子，大平哲也

過年業績

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和3	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	松浦伸也，宮本達雄，坂井晃，石川徹夫，大平哲也，細矢光亮
令和3	国内共同研究	東日本大震災後4年間の肥満の推移と生活習慣との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	上村真由，大平哲也

令和3	国内共同研究	放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	江口依里，大平哲也
令和3	国内共同研究	放射線災害後の生活習慣や心理社会的因子とその後の循環器疾患発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	佐能俊紀，大平哲也
令和3	国内共同研究	放射線災害が福島県小児の肥満に及ぼす影響についての要因分析	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	菖蒲川由郷，大平哲也
令和3	国内共同研究	東日本大震災後の避難及び帰還住民の疾患発症・死亡とその分布状況に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	孫智超，大平哲也
令和3	国内共同研究	小学児童における睡眠状態とメンタルヘルスとの関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	谷川武，大平哲也
令和3	国内共同研究	健康行動に影響する身体・心理・社会的健康リスク要因変化の評価研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	田淵貴大，大平哲也
令和3	国内共同研究	福島県内の避難区域住民におけるトラウマ反応及び精神的不調と循環器疾患との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	手塚一秀，大平哲也
令和3	国内共同研究	体格とPTSD症状およびうつ症状との関連：県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	永井雅人，大平哲也
令和3	国内共同研究	震災後のこころの健康に影響を及ぼす地域のつながりに関するマルチレベル分析	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	長澤真衣子，大平哲也
令和3	国内共同研究	震災前後における生活・経済状況の変化と循環器疾患との関連：福島県県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	野田愛，大平哲也
令和3	国内共同研究	出産経験と震災後のストレス耐性との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	安川純代，大平哲也
令和3	国内共同研究	震災後の生活習慣が健診所見とその後の変化に及ぼす影響：小児～青年期における検討	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	山岸良匡，大平哲也
令和3	国内共同研究	放射線災害後の食事パターンと将来の精神的苦痛との関連：福島県県民健康調査	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	吉田純子，大平哲也

健康リスクコミュニケーション学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	総括班：デジタル－人間融合による精神の超高精細ケア	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	伊藤正哉，竹林由武，樫原潤，西村拓一，中島俊
令和4	補助・助成	自然言語に対する人工知能技術適用による心理療法支援システムの開発	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	竹林由武，青木俊太郎，中島俊
令和4	補助・助成	遷延性悲嘆障害の多層的治療技法の開発と効果検証および生物学的基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中島聡美，白井明美，竹林由武，伊藤正哉，須賀楓介，小西聖子，吉池卓也
令和4	補助・助成	不眠症に対する遠隔心理療法の有効性と社会実装、AIを用いた作用機序及び病態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中島俊，大井瞳，竹林由武，村中誠司，實吉綾子，重松潤，宋龍平，元村祐貴，坂田昌嗣，中村菜々子，伊藤正哉
令和4	補助・助成	幸福余命の算出と環境及び災害関連健康リスク評価への適用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	村上道夫，竹林由武，野村周平，坪倉正治，小野恭子
令和4	補助・助成	強迫症に対する予後改善パッケージプログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林由季，竹林由武，堀越勝
令和4	補助・助成	膵癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和4	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田真永，加藤真吾，熊崎祐，中野隆史，鈴木義行，平井隆太，猪狩光紳，田巻倫明
令和4	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプシー開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉，尾池貴洋，田巻倫明，鈴木義行，三村耕作
令和4	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	中島俊，藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和4	補助・助成	小規模な臨床試験に適用可能な患者報告式アウトカムの反応シフトの検出手法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	竹林由武

循環器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	心房細動における"epicardial connection"の病態的意義の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金城貴士
令和4	補助・助成	肺動脈性肺高血圧症の内皮間葉分化転換におけるDNA損傷応答とTGF-βの役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一
令和4	補助・助成	心不全によるがん進行・転移促進の機序の解明:交感神経による免疫寛容制御の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	谷哲矢
令和4	補助・助成	N-ミリストイル化を介したオートファジー制御機構の解明と新しい心不全治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	冨田湧介
令和4	補助・助成	ヒストンセロトニン化による新規エピジェネティック制御を介した心不全の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三阪智史
令和4	補助・助成	リンパ系に着目した肺高血圧症の新たな分子機構の解明と治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川哲朗
令和4	補助・助成	心不全におけるFKBP5のエピジェネティクスを基軸とした炎症制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	和田健斗
令和4	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	君島勇輔
令和4	補助・助成	大動脈弁狭窄症の発症メカニズムにおけるDNA損傷・細胞老化の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石田隆史
令和4	補助・助成	心不全病態におけるがん進行機序の解明－脳・心・腫瘍連関への治療介入－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	及川雅啓
令和4	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦
令和4	補助・助成	心不全における腹部臓器血流と腸内細菌叢に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣

令和4	補助・助成	骨代謝による心制御システムの可能性 低カルボキシル化オステオカルシンと心不全予後	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部諭史
令和4	補助・助成	大動脈弁狭窄症の進行における Calciprotein particleの役割	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	安齋文弥
令和4	補助・助成	心不全血行動態における腹部エコーと動脈硬化指標の重要性の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤悠
令和4	補助・助成	Pentraxin 3を介した大動脈瘤形成メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	清水竹史
令和4	補助・助成	T細胞Hexokinaseのミトコンドリアからの脱結合は圧負荷心不全を抑制するか	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三浦俊輔
令和4	補助・助成	DNA損傷からみた小児がん治療関連心機能障害発症のメカニズム探索と予知の試み	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	八重樫大輝
令和4	補助・助成	^{18}F-NaF PET/MRIを用いた不安定プラークの検出	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	喜古崇豊
令和4	補助・助成	左室駆出率が保たれた心不全における心臓骨髄関連の意義と新規ドライバー因子の探索	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	市村祥平
令和4	補助・助成	アンモニアPET/MRIを用いた肥大型心筋症での微小循環障害の評価と予後との関連	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	遠藤圭一郎
令和4	補助・助成	薬剤塗布性バルーンを用いた冠動脈形成術後の慢性期血管拡張反応の機序の解明	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	佐藤彰彦
令和4	補助・助成	重症心不全に対する標準的栄養管理療法の確立	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	佐藤崇匡
令和4	補助・助成	心臓ー骨髄関連と細胞間クロストークを基軸とした心不全の分子機構	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	竹石恭知
令和4	補助・助成	加齢に伴う心房線維化の進行と心房細動発生におけるカルシトニンシグナルの役割の解明	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	山田慎哉

令和4	補助・助成	特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省	竹石恭知
令和4	補助・助成	循環器病対策推進基本計画に基づいた都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	厚生労働省循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	厚生労働省	竹石恭知
令和4	補助・助成	慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	難治性疾患実用化研究事業	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	竹石恭知
令和4	補助・助成	緊急被ばくに対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点　トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点	石田隆史，竹石恭知
令和4	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点　トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点	竹石恭知，石田隆史
令和4	補助・助成	マクロファージの炎症制御機構に着目した肺高血圧症の新規メカニズムの解明	循環医学分野　一般研究助成	公益財団法人　先進医薬研究振興財団	横川哲朗

血液内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	がん幹細胞をターゲットとしたα線放出核種を用いた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	趙松吉，池添隆之，西嶋剣一，高橋和弘，鷲山幸信，杉山暁，右近直之，織内昇，粟生木美穂
令和4	補助・助成	造血細胞移植後VOD/SOSに対する新たな治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大河原浩，深津真彦，池添隆之
令和4	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とバイオマーカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英，大河原浩，深津真彦，池添隆之
令和4	補助・助成	白血病における細胞内代謝制御機構の構造的基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小山大輔

令和4	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之
令和4	補助・助成	Gas6/Merシグナルを標的とした新型コロナウイルスによる血栓症対策	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古川未希，池添隆之
令和4	補助・助成	急性放射線障害に対するトロンボモジュリン分子の臨床応用	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	池添隆之
令和4	補助・助成	造血細胞移植時の生着に及ぼすGas6-Merの役割	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	深津真彦
令和4	補助・助成	造血器腫瘍治療における敗血症性ARDS/ALIの新たな治療戦略とバイオマーカー	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	古川未希
令和4	補助・助成	原発性眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤による医師主導による第II相二重盲検比較試験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	田岡和城，池添隆之
令和4	補助・助成	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2 医師主導治験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	中田潤，池添隆之
令和4 (令和3-)	補助・助成	白血病の根治を目指した新規放射免疫療法の開発	研究助成	公益財団法人上原記念生命科学財団	池添隆之
令和4 (令和2-)	補助・助成	白血病幹細胞形成の新たなメカニズムの解明-LSD1による代謝リプログラミング	医学研究助成	公益財団法人武田科学振興財団	小山大輔
令和4	補助・助成	α線放出核種アスタチン標識CD82ヒトキメラ抗体によるB-ALLを根絶する治療法の開発	2022年度日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池添隆之

消化器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	口腔・腸内細菌と濾胞性ヘルパーT細胞を標的とした自己免疫性肝炎の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	阿部和道，高橋敦史，林学，大平弘正

令和4	補助・助成	腸管と脾臓のクロストーク～全身性疾患としての炎症性腸疾患～	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川島一公，松岡克善，大平弘正，鬼澤道夫
令和4	補助・助成	Fli-1によるケモカインを介したSLEの病態解明と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤秀三，鬼澤道夫，渡辺浩志，右田清志
令和4	補助・助成	非アルコール性脂肪性肝疾患における「うつ」と運動療法の新展開	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋敦史
令和4	補助・助成	膵癌における抗体医薬耐性機序の解明－補体制御蛋白に着目して－	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木玲
令和4	補助・助成	胃癌と補体　～抗補体薬は胃癌治療の次の一手になり得るか～	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	髙住美香
令和4	補助・助成	非アルコール性脂肪肝疾患の腸肝軸へ対する補体活性化因子MASP-3の機能解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林学
令和4	補助・助成	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	田中篤，大平弘正
令和4	補助・助成	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	仁尾正記，大平弘正
令和4	補助・助成	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベース活用による医療向上を目指す研究	行政推進調査事業費補助金	厚生労働省	矢吹省司，大平弘正

リウマチ膠原病内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子調節分子群の包括的同定	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	増本純也，吉浦孝一郎，竹田浩之，澤崎達也，右田清志，堀内浩幸，川上純，古賀智裕
令和4	補助・助成	自己炎症のメカニズムに立脚した成人スチル病の分子病態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	浅野智之，右田清志，古賀智裕

令和4	補助・助成	Fli-1によるケモカインを介したSLEの病態解明と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤秀三，鬼澤道夫，渡辺浩志，右田清志
令和4	補助・助成	Fli-1によるCCL20-CCR6 axisを介したSLEの病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松岡直紀，佐藤秀三，渡辺浩志，右田清志
令和4	補助・助成	パイリンインフラマソーム活性化メカニズムの解明とその制御法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	右田清志，浦野健，古賀智裕
令和4	補助・助成	成人発症スチル病（AOSD）に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩／クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA HCL/SFC）投与の医師主導治験	受託研究費助成事業/AMED分担（長崎大学）	日本医療研究開発機構（AMED）	川上純，右田清志
令和4	補助・助成	MEFV遺伝子の網羅的なVUS機能的アノテーションと新規Ex vivo assayを用いた患者細胞機能評価・詳細な遺伝子型解析の統合による家族性地中海熱の病態及びパイリンインフラマソーム活性化機構解明	受託研究費助成事業/AMED分担（京都大学）	日本医療研究開発機構（AMED）	本田吉孝，右田清志

腎臓高血圧内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	傷害特異的糖鎖修飾に着目した新規糸球体傷害マーカーの開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	岩崎剛史

過年業績

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和3	補助・助成	ポドサイト障害スコアリングシステムの開発	令和3年度研究助成	公益財団法人日本透析医会	東淳子

糖尿病内分泌代謝内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	新規糖尿病サブクラスの病態解明：遺伝基盤を背景にした食行動・身体活動性変容の機序	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	島袋充生

呼吸器内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	咳の自動監視・計測・サービスシステムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	MARKOV K，松井知子，齋藤純平
令和4	補助・助成	COPD治療薬の応用を目指したSCGB3A2ペプチド薬の創製と有効性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒谷玲子，阿部宏之，今野博行，柴田陽光
令和4	補助・助成	呼気硫化水素を用いた気管支喘息の難治化および増悪予測の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤純平
令和4	補助・助成	喘息におけるneurturinの臨床的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤俊，鈴木康仁
令和4	補助・助成	全県的データベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光，大前憲史，伊関憲，栗田宜明
令和4	補助・助成	ホモシステイン誘導小胞体ストレスは慢性閉塞性肺疾患の病態に関与しているか？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光，黒谷玲子，井上純人
令和4	補助・助成	薬剤性及び放射線肺障害の新規バイオマーカー探索による肺がん個別化治療の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	谷野功典，海老名雅仁，二階堂雄文，柴田陽光
令和4	補助・助成	Type2/Non-type2の両指標による喘息，COPD，ACOの増悪予測検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木康仁
令和4	補助・助成	胸部X線動態撮影による特発性間質性肺炎患者の肺局所換気血流の評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	二階堂雄文
令和4	補助・助成	動態X線による呼吸器疾患合併肺癌患者の病態評価と術後ADL/QOL予測の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	峯村浩之
令和4	補助・助成	統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺疾患の個別化医療基盤の構築	ゲノム・データ基盤プロジェクト／難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	桑名正隆，谷野功典
令和4	国際共同研究	肺サルコイドーシス患者を対象としたefzofitimod静脈内投与の有効性及び安全性を評価する第III相無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験	第III相	杏林製薬	柴田陽光

令和4	国際共同研究	進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)患者を対象にBI1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験(1305-0023)	第III相	ベーリンガーインゲルハイム	谷野功典
令和4	国際共同研究	特発性肺線維症(IPF)患者を対象にBI1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験(1305-0014)	第III相	ベーリンガーインゲルハイム	谷野功典
令和4	国際共同研究	コントロール不良の好酸球性重症喘息を有する成人及び青年期患者を対象としたGSK3511294併用療法の有効性及び安全性を評価する52週間の無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験	第Ⅲ相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平
令和4	国際共同研究	好酸球性重症喘息を有する成人及び青年期患者を対象としたGSK3511294投与後の増悪率及び喘息コントロールのその他の指標並びに安全性をメポリズマブ又はベンラリズマブ投与と比較して評価する、52 週間の無作為化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、多施設共同、非劣性試験	第Ⅲ相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平
令和4	国際共同研究	206713試験又は213744試験から移行した好酸球性重症喘息を有する成人及び青年期患者を対象としたGSK3511294（Depemokimab）の長期安全性を評価する多施設共同、単群、非盲検継続投与試験	第Ⅲ相試験	グラクソスミスクライン	斎藤純平
令和4	国内共同研究	ARCT-154（自己増幅型RNA COVID-19ワクチン）を成人被験者に追加免疫した時の安全性及び免疫原性を評価する第III相無作為化多施設共同二重盲検実薬対照比較試験	ARCT-154試験	MEIJI	小早川雅男，柴田陽光，斎藤純平，金沢賢也，谷野功典，佐藤佑樹，鈴木康仁，峯村浩之，二階堂雄文，松村勇輝，鈴木弘行，岡部直行，武藤哲史，渡部晶之
令和4	国内共同研究	表現型別の喘息増悪因子の同定と長期予後の解析－2020年コホート	コホート研究	環境再生保全機構	長瀬洋之，斎藤純平

令和4	国内共同研究	表現型別の喘息増悪因子の同定と長期予後の解析－2014年コホートの延長解析	コホート研究	環境再生保全機構	長瀬洋之，斎藤純平
令和4	国内共同研究	喘息患者における中用量吸入ステロイド/長時間作用性β2刺激薬（ICS/LABA）治療抵抗性の咳嗽に対する、中用量Indacaterol（LABA)/Glycopyrronium（長時間作用性抗コリン薬)/Mometasone（ICS）と高用量ICS/LABAの有用性の多施設共同無作為化非盲検並行群間比較試験	特定臨床研究	ノバルティスファーマ	斎藤純平
令和4	国内共同研究	再生誘導医薬に関する呼吸器疾患に対する評価		株式会社ステムリム	谷野功典，二階堂雄文，佐藤佑樹，東川隆一，河俣貴也，王新涛，菊地正美，柴田陽光
令和4	国内共同研究	自己免疫性肺胞蛋白症の遺伝素因に関する研究		愛知医科大学，他	山口悦郎，渡邉菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光
令和4	国内共同研究	血中抗GM-CSF抗体陰性の続発性肺胞蛋白症に関連する遺伝子の解析		杏林大学，他	石井晴之，渡邉菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光
令和4	国内共同研究	iPPFE(特発性胸膜肺実質線維弾性症)のelastin代謝に関連した病態解明とその制御		東京医科歯科大学，他	宮崎泰成，渡邉菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和4	国内共同研究	加湿器肺に関する全国実態調査		東邦大学，他	河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和4	国内共同研究	多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究		名古屋大学	橋本直純，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典，柴田陽光
令和4	国内共同研究	全肺洗浄術における体位の違いによる安全性の検討		新潟大学，他	中田光，河俣貴也，谷野功典
令和4	国内共同研究	自己免疫性肺胞蛋白症に対するSargramostim吸入法の特定臨床研究（PAGE II試験）		新潟大学，他	中田光，渡邉菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典

令和4	国内共同研究	間質性肺疾患および肺がん患者の苦痛緩和の実態およびQuality of Dying and Death (QODD) に関する研究：多施設横断研究		浜松医科大学，他	須田隆文，渡邉菜摘，河俣貴也，東川隆一，佐藤佑樹，二階堂雄文，谷野功典
令和4	学内共同研究	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の臨床的特徴の検討	多施設共同研究		柴田陽光，谷野功典，峯村浩之

消化管外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	河野浩二，松本拓朗，中嶋正太郎，三村耕作
令和4	補助・助成	大腸癌間質トランスクリプトミクスを応用した個別的微小環境戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大木進司，岡山洋和，遠藤英成
令和4	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和4	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	EBV関連胃癌におけるエピゲノム異常によるARID1A遺伝子の発現制御機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤元伸
令和4	補助・助成	dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本渉，岡山洋和
令和4	補助・助成	ARID1A変異胃癌に対する標的治療の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐瀬善一郎，齋藤元伸
令和4	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中嶋正太郎，河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	大腸癌におけるVEGF receptor 2を標的とした制御性T細胞の制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	花山寛之，河野浩二，三村耕作

令和4	補助・助成	MSS/CIN大腸癌における染色体不安定性（CIN）制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬傑，岡山洋和，坂本渉
令和4	補助・助成	染色体不安定性により生じる免疫制御遺伝子の不活化と免疫逃避機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎，岡山洋和，芦澤舞
令和4	補助・助成	胃癌腫瘍微小環境における免疫抑制機構の解明とその臨床応用について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作，花山寛之，河野浩二
令和4	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之，河野浩二，中嶋正太郎
令和4	補助・助成	バイオマーカーによるStage II大腸癌診療の個別化	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	氏家大輔
令和4	補助・助成	大腸癌の腫瘍免疫抑制細胞群プロファイルによる免疫療法の応用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤英成
令和4	補助・助成	食道癌間質における癌関連線維芽細胞由来分子による転移・浸潤促進機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	菅家康之
令和4	補助・助成	結腸・直腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの制御方法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	菊池智宏
令和4	補助・助成	科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究	厚生労働省科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業	厚生労働省	若尾文彦，河野浩二，下井辰徳，中島信久，田村和夫，藤也寸志，中山健夫，奥村晃子，早川雅代，大西丈二，高山智子，花出正美

肝胆膵・移植外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和4	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁

令和4	補助・助成	医療の質に及ぼすがん診療ガイドラインの実施状況と診療環境の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤満一，丸橋繁，宮田裕章
令和4	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤直哉，見城明
令和4	補助・助成	膵癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和4	補助・助成	肝癌と膵癌における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西間木淳，杉本幸太郎，小船戸康英，石亀輝英，丸橋繁
令和4	補助・助成	肝組織由来スフェロイド（LTOSs）を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丸橋繁，武藤亮，鈴志野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉
令和4	補助・助成	膵癌におけるクラスリンアダプターの発現解析と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤亮
令和4	補助・助成	癌と好中球～肝胆膵領域担癌患者好中球の腫瘍進展機序の解明～	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	渡邊淳一郎
令和4	補助・助成	ポリグリコール酸シートを用いた肝細胞移植の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	石亀輝英
令和4	補助・助成	膵癌における細胞内小胞輸送タンパクの発現解析と新規治療法の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	月田茂之
令和4	補助・助成	肝組織由来スフェロイドを用いた肝オルガノイドの開発とその微小環境分子機構の解明	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	丸橋繁
令和4	国内共同研究	行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究	厚生労働科学研究費補助金　移植医療基盤整備研究事業	厚生労働省	瓜生原葉子，渥美生弘，江川裕人，島田光生，丸橋繁
令和4	国内共同研究	看護職及び特定行為研修修了者による医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究	厚生労働科学研究費補助金　地域医療基板開発推進研究事業	厚生労働省	永井良三，村上礼子，川上勝，前原正明，見城明，飯室聡，釜萢敏，木澤晃代

令和4	国内共同研究	高齢者消化器がん手術における診療指針策定と、指針普及・人材育成を目指した協働型意思決定支援システムおよび病院評価プログラムの開発	厚生労働科学研究費補助金　がん対策推進総合研究事業	厚生労働省	丸橋繁，後藤満一，掛地吉弘，北川雄光，瀬戸泰之，楽木宏実，秋下雅弘，中島和江，宮田裕章，隈丸拓，高橋新
令和4	国内共同研究	心停止後臓器提供時のECMOによる臓器（肝臓・膵臓・腎臓）機能温存	移植医療技術開発研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	剣持敬，丸橋繁

呼吸器外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	PD-1発現細胞運命系譜腫瘍モデル解析に基づく新規免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	今井一博，海老原敬，南谷佳弘，鈴木弘行
令和4	補助・助成	非小細胞肺がんに対するNeo-antigenを標的とした新たな複合免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木弘行
令和4	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長谷川剛生，井上卓哉，鈴木弘行，塩豊，武藤哲史
令和4	補助・助成	MTAP遺伝子欠失をもつ大腸癌の癌微小環境における免疫細胞の活性化機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	濵田和幸，角田卓也，吉村清，和田聡
令和4	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳，鈴木弘行
令和4	補助・助成	コンピューターアシストを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野実加，鈴木弘行，塩豊
令和4	補助・助成	肺癌治療におけるferroptosisの意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	尾崎有紀
令和4	補助・助成	患者由来腫瘍組織移植モデルと腫瘍浸潤リンパ球を用いたテーラーメイドがん免疫療法	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	松村勇輝
令和4	補助・助成	がん免疫療法の効果を高める老化細胞除去療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤哲史

令和4	補助・助成	胸部悪性疾患における免疫状態の解明		ジョンソンエンドジョンソン株式会社メディカルカンパニー	鈴木弘行
令和4	補助・助成	細胞核内局在化分子による癌予後予測新規指標の開発	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	本間美和子，鈴木弘行，武藤哲史，橋本優子，喜古雄一郎
令和4	補助・助成	腫瘍浸潤リンパ球と三次リンパ様構造の機能解析に基づく新規個別化がん免疫療法の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	山浦匠
令和4	補助・助成	悪性胸膜中皮腫における腫瘍免疫関連因子の解析	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	渡部晶之
令和4	国内共同研究	ケアミックス型地域医療分野における呼吸器系総合医療化モデルの研究		済生会福島総合病院	鈴木弘行，尾崎有紀
令和4	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺がん患者に対するアファチニブの治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+CD62Llowエフェクターメモリー T細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行，武藤哲史，他
令和4	国内共同研究	肺癌検診におけるAI実用化に向けた研究		みずほ情報総研株式会社	鈴木弘行，樋口光徳，他
令和4	国内共同研究	肺癌病態におけるIRAK-Mの役割の解明		ファイメクス株式会社	鈴木弘行
令和4	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌（NSCLC）または進展型小細胞肺癌（ED-SCLC）患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究（J-TAIL-2）		イーピーエス株式会社	松村勇輝
令和4	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌（NSCLC）または進展型小細胞肺癌（ED-SCLC）患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究（J-TAIL-2)におけるバイオマーカー探索研究		イーピーエス株式会社	松村勇輝

令和4	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究（J-TAIL）		メビックス株式会社	塩豊
令和4	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究（J-TAIL)におけるバイオマーカー探索研究		メビックス株式会社	岡部直行
令和4	企業からの受託研究	未治療進行または再発非小細胞肺がんを対象としたニボルマブ＋イピリムマブ±化学療法併用療法の日本における治療実態および有効性と安全性に関する観察研究		メビックス株式会社	渡部晶之
令和4	企業からの受託研究	未治療進行非扁平上皮非小細胞肺がんに対するABCP（Atezolizumab+Bevacizumab+Carboplatin+Paclitaxel）療法の日本人における有効性、忍容性の検討及びMicrobiotaによるバイオマーカーの探索		学校法人昭和大学	鈴木弘行

心臓血管外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	横隔膜機能からみたfrailty評価の確立と新たな心臓手術リスクモデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	藤宮剛
令和4	補助・助成	様々な大規模データを用いた高齢者心臓手術の現状とリスクの可視化	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	齋木佳克，本村昇，高本真一，宮田裕章，横山斉，山本博之

外科研修支援担当

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	大腸癌間質トランスクリプトミクスを応用した個別的微小環境戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大木進司，岡山洋和，遠藤英成
令和4	補助・助成	TGFβが誘導する大腸癌微小環境を標的とした併用療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡山洋和

令和4	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和4	補助・助成	dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本渉，岡山洋和
令和4	補助・助成	MSS/CIN大腸癌における染色体不安定性（CIN）制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬傑，岡山洋和，坂本渉
令和4	補助・助成	染色体不安定性により生じる免疫制御遺伝子の不活化と免疫逃避機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎，岡山洋和，芦澤舞

脳神経外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ，小島隆生
令和4	補助・助成	手指動作における時空間ダイナミクスの特徴抽出と臨床応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林俊輔，津田一郎，藤井正純，寺尾安生，行木孝夫，愼重弼
令和4	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和4	補助・助成	脳腫瘍の神経伝導と硬さ因子の解明：機能温存と安全性の高い手術法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	岩楯兼尚
令和4	補助・助成	神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	厚生労働科学研究費補助金　難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	錦織千佳子，藤井正純，他
令和4	補助・助成	血栓化脳動脈瘤の病態解明と治療法の開発	日本神経放射線学会研究助成金制度	日本神経放射線学会	佐藤拓

整形外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和4	補助・助成	DEXA法による筋量検査を用いた、腰部脊柱管狭窄における術前評価の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林洋，大谷晃司，紺野愼一
令和4	補助・助成	中脳辺縁ドパミン神経系の鎮痛機序とその可塑性に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小幡英章，加藤孝一，須藤貴史，紺野愼一
令和4	補助・助成	膝関節音・バランス能力から運動器症候群を予知／予防するAI診療システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長尾光雄，紺野愼一，荊雷
令和4	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱﨑道之，紺野愼一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和4	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉和之，大谷晃司，紺野愼一
令和4	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野愼一，福原俊一
令和4	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野愼一，関口美穂
令和4	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野愼一
令和4	補助・助成	腱細胞・腱組織におけるTRPチャネルを介した慢性炎症の機序	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	亀田拓哉
令和4	補助・助成	マウス巨大骨欠損モデルを用いたMasquelet法の誘導膜での生物学的特性の解析と骨再生促進因子の検討	2022年度　交通事故医療一般研究助成	日本損害保険協会	園部樹，峰原宏昌，兼子陽太，関口美穂，亀田拓哉，松下隆，紺野愼一

令和4	企業からの受託研究	再生医療等製品「ステミラック注」製造販売後承認条件評価に係る使用成績比較調査における機能検査の実施	共同研究事業費	ニプロ株式会社	紺野愼一，二階堂琢也

形成外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	セシウムのケロイド治療薬としての可能性を探る。－線維芽細胞増殖抑制効果の機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小山明彦，小林大輔，永峰恵介

産科婦人科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	経塚標，山口明子，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅沼亮太，高橋俊文
令和4	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福田冬馬，村田強志，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデル子宮内感染下における低酸素刺激の影響－脳障害の予防に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤森敬也，安田俊，福田冬馬，経塚標，村田強志，平岩幹
令和4	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村田強志，福田冬馬，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデルを用いた炎症胎仔のメタボローム、酸化度解析による病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田俊，村田強志，福田冬馬，平岩幹，藤森敬也
令和4	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宜

小児科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	親子関係が子どもの情動調整発達に与える影響の縦断的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	尾形優香，橋本浩一
令和4	補助・助成	腎障害後の線維化に対する骨髄間葉系幹細胞移植による腎再生分子メカニズムの機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川崎幸彦，久米庸平，郷勇人，前田亮
令和4	補助・助成	酸化ストレスに着目した溶血性尿毒症症候群モデルマウスの腎障害進展機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久米庸平，郷勇人，前田亮，陶山和秀
令和4	補助・助成	体液エクソソームを用いた新生児慢性肺疾患の発症予測とmiR-21制御の治療効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷勇人，橋本浩一
令和4	補助・助成	子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフォームド・アセントに至るのか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶子，橋本浩一，本田純久
令和4	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生仔マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤真紀，郷勇人，桃井伸緒，橋本浩一，吉野大輔
令和4	補助・助成	小児における抗インフルエンザ薬低感受性ウイルス出現の監視と制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶論，橋本浩一，細矢光亮
令和4	補助・助成	早産児脳障害に対する骨髄間葉系幹細胞を用いた新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	寺田光次郎，川崎幸彦，佐々木祐典，福村忍，小林正樹，坂井拓朗，本望修，飯塚裕典
令和4	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本浩一，細矢光亮，郷勇人，佐藤晶論
令和4	補助・助成	血液脳関門組織培養モデルによるウイルス関連急性脳症病態解明と治療法開発の基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	細矢光亮，橋本浩一，佐藤晶論
令和4	補助・助成	同種免疫反応を起点とした抑制性がん微小環境の克服および抗腫瘍免疫誘導機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘，佐野秀樹，小林正悟，高橋信久，大原喜裕
令和4	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒，郷勇人，青柳良倫，金井祐二

令和4	補助・助成	新生児慢性肺疾患患児のRSV感染重症化機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	宮崎恭平
令和4	補助・助成	巣状糸球体硬化症におけるmiR-21の役割とその制御	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	山根景志

眼科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	滲出型加齢黄斑変性の病態形成に補体レクチン経路が関与する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大森智子，石龍鉄樹，関根英治
令和4	補助・助成	脈絡膜血管3次元構造解析によるパキコロイド疾患の脈絡膜新生血管発生機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石龍鉄樹，菅野幸紀，板垣可奈子

皮膚科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	好中球性皮膚症の分子生物学的病態解析と臨床症状との関連性に関わる包括的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山本俊幸

泌尿器科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	がん組織を用いたマルチオミックス解析による個別化医療開発プラットフォームの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	植村元秀，阿部雄一，加藤大悟，山口類，小島祥敬，洪陽子
令和4	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄
令和4	補助・助成	NOS uncouplingを標的とした新規過活動膀胱治療薬開発にむけた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	赤井畑秀則，秦淳也，小島祥敬，石橋啓
令和4	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史，福原俊一，小島祥敬，脇田貴文，栗田宜明

令和4	補助・助成	新規要因としての先天性CMV感染による精子形成障害の機序解明と予防的治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川総一郎，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，胡口智之，小島祥敬，赤井畑秀則
令和4	補助・助成	新規抗CLDN10モノクローナル抗体を活用した腎癌悪性形質制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小名木彰史，杉本幸太郎，星誠二，胡口智之，片岡政雄，小島祥敬
令和4	補助・助成	時空間内包型数理的解析手法によるがん細胞のクロナリティの新たな理解	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	植村元秀，井元清哉，片山琴絵，山口類
令和4	補助・助成	リゾリン脂質に着目した膀胱癌再発・進展メカニズムの解明と新規治療の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	片岡政雄
令和4	補助・助成	細胞内ミオイノシトール代謝を標的とした新規腎癌薬物療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	胡口智之
令和4	補助・助成	補体B因子ノックアウトラットを用いた自己免疫反応による前立腺肥大症増殖機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	秦淳也
令和4	補助・助成	三次リンパ組織に着目した前立腺肥大症における自己免疫性増殖機序の解明	2022年度研究助成	公益財団法人前立腺研究財団	秦淳也
令和4	補助・助成	過活動膀胱における利尿適応性の中枢神経制御機構の解明と新規治療開発に向けた基礎的研究	第16回一般社団法人日本泌尿器科学会ヤングリサーチグラント	一般社団法人日本泌尿器科学会	松岡香菜子
令和4	出資金による受託研究	福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査	令和4年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	小島祥敬
令和4	国内共同研究	転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究	受託研究	MSD株式会社	小島祥敬
令和4	学内共同研究	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験	受託研究	ヤンセンファーマ株式会社	小島祥敬，星誠二
令和4	学内共同研究	筋層非湿潤性膀胱癌の予後に関与する遺伝子群の同定及び新規尿中腫瘍マーカーの探索	育成研究	福島県立医科大学	加山恵美奈

令和4	学内共同研究	難治性過活動膀胱の新規治療法開発に向けた利尿適応障害に関する基礎的研究	育成研究	福島県立医科大学	松岡香菜子
令和4	学内共同研究	シークエンサーを用いたヒト前立腺内微生物同定と補体依存性前立腺肥大増殖の解明	育成研究	福島県立医科大学	滝浪瑠璃子

耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	東日本大震災の慢性期における高齢者の潜在的嚥下障害に対する実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	今泉光雅
令和4	補助・助成	予後不良HPV関連中咽頭癌の浸潤・転移機構を解明し新たな治療標的とする	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	室野重之
令和4	補助・助成	上咽頭癌発癌をEBウイルス癌蛋白LMP1発現細胞の細胞競合から解明する	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	池田雅一
令和4	補助・助成	頭頸部癌の上皮間葉移行におけるのイオン輸送・水輸送の役割の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	垣野内景
令和4	補助・助成	分子生物学的手法を用いた悪性唾液腺腫瘍への新たな診断法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木政博
令和4	補助・助成	神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	令和4年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	錦織千佳子，今泉光雅
令和4	補助・助成	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	令和4年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	松永達雄，今泉光雅

神経精神医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	誘導体化イメージングMSを軸とした抗うつ作用を示すテアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修，三浦至，前島裕子

令和4	補助・助成	東日本大震災から10年後の発達障害のある子どもの保護者の実態とその支援	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川島慶子，鈴木勝昭，内山登紀夫，矢部博興，安部郁子
令和4	補助・助成	統合失調症死後脳淡蒼球におけるストレス応答分子に着目した多階層的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日野瑞城，矢部博興，國井泰人
令和4	補助・助成	統合失調症死後脳におけるプロリン代謝経路のメタボローム解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長岡敦子
令和4	補助・助成	交代制勤務が無意識的聴覚認知に及ぼす影響：看護職での検討	科学研究費助成事業／奨励研究	日本学術振興会	菅野和子
令和4	補助・助成	脳ゲノム情報解析による精神疾患関連神経回路の同定と機能解明	脳科学研究の戦略的な推進／革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	日本医療研究開発機構(AMED)	岩本和也，國井泰人
令和4	補助・助成	先進的MRI技術に基づく統合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	脳科学研究の戦略的な推進／戦略的国際脳科学研究推進プログラム	日本医療研究開発機構(AMED)	花川隆，矢部博興

放射線医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和4	補助・助成	PETMRIを用いた心筋炎の活動性と心機能低下の予測に関する新規診断法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福島賢慈，伊藤浩，竹石恭知，石井士朗
令和4	補助・助成	F-18 低酸素イメージングPET製剤による心筋症の診断手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福島賢慈，山根登茂彦，長尾充展，久慈一英
令和4	補助・助成	アスリートを対象とした脳・骨格筋活動に関する MRS/PET代謝イメージング研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤本敏彦，久保均，田代学，伊藤浩

麻酔科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	スーパーオキサイドリッチ環境が脳虚血再還流に与える影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井上聡己，川口昌彦
令和4	補助・助成	血糖値が免疫細胞アポトーシス及びミトコンドリア膜電位に与える影響とその機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒澤伸
令和4	補助・助成	遷延性術後痛の発症リスクを術前に予測する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中野裕子
令和4	補助・助成	局所麻酔薬の複数同時使用時の中毒閾値に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	野地善恵
令和4	補助・助成	プロポフォールの鎮静作用に対する耐性形成へのカンナビノイド受容体の影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	細野敦之

救急医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸，関亦明子，伊関憲
令和4	補助・助成	中毒および外傷に起因する生体侵襲の基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊関憲，後藤薫
令和4	補助・助成	全県的データベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光，大前憲史，伊関憲，栗田宜明
令和4	補助・助成	肺炎球菌感染初期時の急性増悪を回避する自然抗体IgMへのIL13の役割解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木剛，山本夏男，伊関憲

病理病態診断学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之

令和4	補助・助成	悪性リンパ腫における糖鎖とイムノグロブリンシグナル伝達との関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木理

臨床検査医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一
令和4	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌（GBS）の検出－全自動遺伝子解析装置への応用－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦里織，豊川真弘，志村浩己
令和4	補助・助成	カルバペネマーゼ産生菌のスクリーニングに関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	斎藤恭一

感染制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	原発避難区域を含む福島県内全域のダニ媒介性感染症の調査と新たな診断手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金光敬二，門馬直太，仲村究，壁谷昌彦
令和4	補助・助成	肺炎球菌感染初期時の急性増悪を回避する自然抗体IgMへのIL13の役割解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木剛，山本夏男，伊関憲
令和4	企業からの受託研究	C.Difficile遺伝子検出試薬の臨床性能評価		株式会社ミズホメディー	

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	河野浩二，松本拓朗，中嶋正太郎，三村耕作
令和4	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍が急性白血病に転化する機序と予防的治療法の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	植田航希，池田和彦，三村耕作

令和4	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	君島勇輔，三阪智史，池田和彦
令和4	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	DNAメチル化を基軸とした炎症ストレスとクローン性造血の相互的役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤友香，植田航希，池田和彦
令和4	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法患者における腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行，吉本由哉，三村耕作
令和4	補助・助成	膵癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和4	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中嶋正太郎，河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	大腸癌におけるVEGF receptor 2を標的とした制御性T細胞の制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	花山寛之，河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	胃癌腫瘍微小環境における免疫抑制機構の解明とその臨床応用について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作，花山寛之，河野浩二
令和4	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプシー開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉，尾池貴洋，田巻倫明，鈴木義行，三村耕作
令和4	補助・助成	細胞間相互作用に着目した前白血病から急性白血病への進展予防法の開発	2021年度研究助成　がん領域若手研究者	公益財団法人MSD生命科学財団	植田航希，今泉友香，池田和彦，三村耕作
令和4	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍（MPN）の病態解明：合併症とAML進展への対策	日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池田和彦
令和4	補助・助成	細胞間相互作用に着目した、骨髄増殖性腫瘍やクローン性造血から急性白血病への進展予防法の開発	化血研若手研究奨励助成（2021年度）	一般財団法人化学及血清療法研究所	植田航希，池田和彦，三村耕作

令和4	補助・助成	大腸癌腫瘍微小環境におけるM2 tumor associated macrophagesの浸潤機序と免疫チェックポイント経路を介した免疫抑制機構の解明	日本イーライリリー株式会社奨学寄附金	日本イーライリリー株式会社	三村耕作
令和4	国内共同研究	日本の輸血医療における指針・ガイドラインの適切な運用方法の開発	令和4年度　医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	厚生労働省	松本雅則，北澤淳一
令和4	国内共同研究	輸血医療の安全性向上のためのデータ構築研究	令和4年度　医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	厚生労働省	松岡佐保子，北澤淳一

地域・家庭医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	不確実性下の医療：情報と合理的意思決定の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井伊雅子，葛西龍樹，原千秋
令和4	補助・助成	家庭医・総合診療専門医のケアは何がどう違うのか？：質評価のための指標探索研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	葛西龍樹，菅家智史

放射線健康管理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	幸福余命の算出と環境及び災害関連健康リスク評価への適用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	村上道夫，竹林由武，野村周平，坪倉正治，小野恭子
令和4	補助・助成	震災後の避難地域の介護予防対策推進のための介護実態プロファイルの開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊東尚美，坪倉正治，佐藤美佳，森山信彰
令和4	補助・助成	福島県の被災地域における医療者と高齢者の、ワクチン接種間隔と抗体保有率についてのコホート研究	ワクチン開発推進事業（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンの有効性、安全性等に関する研究）	日本医療研究開発機構（AMED）	坪倉正治，児玉龍彦，渋谷健司，瀧田盛仁，小橋友理江，島津勇三，澤野豊明，趙天辰，尾崎章彦，西川佳孝，小俣文弥，二瓶正彦，佐藤英夫，川村猛，中山綾，杉山暁，金子雄大，善里里織，岩見真吾，岩波翔也，Kim K，大澤幸生

甲状腺内分泌学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	遺伝子発現解析を用いた術前甲状腺濾胞癌診断の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩舘学，松本佳子，鈴木眞一
令和4	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一
令和4	補助・助成	血中ctDNAを用いた小児甲状腺癌再発マーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木眞一，岩舘学
令和4	補助・助成	コロナウィルス感染症パンデミックが医療生産性変化に与える影響に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中田善規，渡邉雄一，尾崎章彦

災害こころの医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸斉，安村誠司，前田正治，桃井真帆，瀬藤乃理子，竹林唯，堀越直子，佐藤秀樹，後藤紗織
令和4	補助・助成	認知症家族・離婚家族のもつあいまいな喪失における家族支援プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒川雅代子，青木聡，瀬藤乃理子
令和4	補助・助成	原発事故影響下で支援者として働く人たちの複合的なあいまいな喪失体験とレジリエンス	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	瀬藤乃理子，松井豊，前田正治，佐藤秀樹，小林智之
令和4	補助・助成	原発避難者と地域の融和に向けた介入方法：コミュニティ形成モデルの開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林智之
令和4	補助・助成	日常生活の反すうが抑うつを予測する認知行動プロセスの検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤秀樹
令和4	補助・助成	コロナ関連ストレスと全般性不安の双方向因果モデル：縦断調査による検討	研究活動助成	メンタルヘルス岡本記念財団	佐藤秀樹
令和4	国内共同研究	第1種健康診断特例区域等の検証における健康影響調査	委託研究	厚生労働省	坂本亘，高橋秀人，前田正治，高村昇

令和4	国内共同研究	原発事故被災地への移住・定住者に対するウエルビーイング形成の支援フレームワークに関する研究	放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	前田正治，田巻倫明，桃井真帆，堀越直子，村上道夫，吉成勇一朗，吉本雅世，髙橋了子，小林智之，瀬藤乃理子，竹林唯，佐藤秀樹，小林明美

放射線腫瘍学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法患者における腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行，吉本由哉，三村耕作
令和4	補助・助成	膵癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明，鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和4	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田真永，加藤真吾，熊崎祐，中野隆史，鈴木義行，平井隆太，猪狩光紳，田巻倫明
令和4	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプシー開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉，尾池貴洋，田巻倫明，鈴木義行，三村耕作

腫瘍内科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	乳癌におけるER分解制御因子NEDD4-1の生物学的機能と治療効果との相関性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐治重衡
令和4	補助・助成	細胞内シグナル伝達阻害薬が内分泌療法耐性乳癌の治療感受性を回復させる機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	徳田恵美
令和4	補助・助成	癌免疫療法により生じる免疫関連有害事象の発症予測マーカーの確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	名取穣
令和4	補助・助成	iPS細胞からの造血分化誘導系への照射実験による治療関連MDS発症機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿左見祐介

令和4	国内共同研究	低酸素下乳がんにおけるERBB制御と放射線応答	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	谷本圭司，佐治重衡

放射線災害医療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	岡崎龍史，松田尚樹，加藤尊秋，越智小枝，真船浩介，江口尚，長谷川有史，立石清一郎，林卓哉
令和4	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史，大葉隆，佐藤久志，佐藤健一，保田浩志，井山慶大
令和4	補助・助成	東日本大震災原子力災害を踏まえた原子力災害時における病院職員確保に関する調査研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永田高志，長谷川有史，安部猛，菊川誠
令和4	補助・助成	新開発シャツ型心電計の生理学的指標変動による原子力災害対応者の精神的負荷要因調査	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井山慶大

人間科学講座　生命倫理学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	植民地・占領地の環境適応と生活科学－京都帝国大学戸田衛生学教室を中心に－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永恵子

自然科学講座　数理情報学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	Pin(2)モノポール方程式と4次元トポロジー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中村信裕

自然科学講座　先端化学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	核酸－金属複合体の合成・構造・機能：DNA超分子錯体と蛍光性Agナノクラスター	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小野晶，近藤次郎，山田亮，藤原章司，田中好幸，鳥越秀峰，大樂武範

令和4	補助・助成	三元素ハイブリッド機能触媒を基盤とした高効率酸化変換の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田辺真
令和4	補助・助成	高規則化構造を目指した三元合金サブナノ磁石の創成	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井田由美
令和4	補助・助成	ポリマー保護サブナノ銅粒子による二酸化炭素還元触媒の高性能化	一般研究助成	公益財団法人小笠原敏晶記念財団	田辺真，山元公寿，梁天賜

自然科学講座　数理物質科学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開康一，松浦弘泰，石井康之

生体物質研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	反応性アストロサイト制御分子PAK2キナーゼの機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小椋正人
令和4	補助・助成	Casein kinase 2 (CK2)細胞内局在に着目した癌の予後予測マーカー	橋渡し研究プログラム／先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業	日本医療研究開発機構（AMED）	本間美和子
令和4	補助・助成	細胞核内局在化分子による癌予後予測新規指標の開発	令和4年度戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	本間美和子，橋本優子，鈴木弘之，武藤哲史

細胞科学研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	有性生殖における生命の始まりを制御する分子メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井上直和
令和4	補助・助成	プロテインホスファターゼPP2Cεが制御する小胞体ダイナミクスの機構解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	荒井斉祐

生体機能研究部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	先端モデル動物支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成)	日本学術振興会	武川睦寛，井上純一郎，中村卓郎，高田昌彦，清宮啓之，山田泰広，八尾良司，荒木喜美，阿部学，伊川正人，高橋智，真下知士，小林和人，小林憲太，井上謙一，豊國伸哉，二口充，神田浩明，上野正樹，宮崎龍彦，高松学，宮川剛，高雄啓三，池田和隆，新田淳美，尾藤晴彦，虫明元，旦慎吾，馬島哲夫，田代悦，堂前直，松本健，川田学，田原栄俊，掛谷秀昭，澤崎達也，松浦正明
令和4	補助・助成	神経回路センサスに基づく適応機能の構築と遷移バイオメカニズム	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(A)	日本学術振興会	礒村宜和，堀江健生，下郡智美，藤山文乃，佐々木拓哉，小林和人，郷康広，島崎秀昭
令和4	補助・助成	環境に応答した行動変容を司る遺伝子・細胞機能ダイナミクス	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(A)	日本学術振興会	小林和人，松下夏樹，瀬戸川将
令和4	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄
令和4	補助・助成	ケミカルジェネティクスによる神経障害性疼痛モデルの島皮質異常興奮の制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林真之，藤田智史，山本清文，中谷有香，加藤成樹
令和4	補助・助成	視床線条体ネットワークの構造・機能マッピングと認知行動機能における役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤成樹
令和4	補助・助成	両手間転移からニューロリハビリテーションへの新たなアプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	深掘良二
令和4	補助・助成	視床下部室傍核の摂食抑制CRFニューロンの同定とその機能の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀尾修平，加藤成樹，山形聡

令和4	補助・助成	新規リガンド依存性受容体を利用したイオン透過型化学遺伝学ツールの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	小林和人
令和4	補助・助成	環境に依存して行動を制御する線条体直接路・間接路の機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	西澤佳代
令和4	補助・助成	線条体直接路・間接路による弁別学習の制御機序の解析	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	西澤佳代

放射性同位元素研究施設

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸，関亦明子，伊関憲
令和4	補助・助成	アミラーゼ分泌能を可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸
令和4	補助・助成	がん支持療法創出を目指した可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸
令和4	補助・助成	免疫記憶成立の分子機構の解明とワクチン開発への応用	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	関亦正幸

実験動物研究施設

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野愼一
令和4	補助・助成	Lactobacillus murinusによるTFH細胞挙動変化と老化病態	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川田耕司
令和4	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野愼一，関口美穂

令和4	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野愼一，福原俊一
令和4	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野愼一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和4	国内共同研究	腰部脊柱管狭窄の症状尺度とQOL尺度の妥当性の検証プロジェクト	診断評価等基準委員会プロジェクト	日本脊椎脊髄病学会	川上守，紺野愼一，福井充，金森昌彦，橋爪洋，和田英路，細野昇，竹内大作，寒竹司，金山雅弘，関口美穂

国際被ばく保健看護学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	震災後の避難地域の介護予防対策推進のための介護実態プロファイルの開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊東尚美，坪倉正治，佐藤美佳，森山信彰
令和4	補助・助成	地域包括ケアを担う看護職のための放射線健康リスクリテラシー向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤美佳
令和4	補助・助成	おかえりなさいを支える「ふたば暮らしの保健室」	2022年度地域啓発活動助成	笹川保健財団	佐藤美佳

周産期・小児地域医療支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	経塚標，山口明子，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生仔マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤真紀，郷勇人，桃井伸緒，橋本浩一，吉野大輔
令和4	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福田冬馬，村田強志，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデル子宮内感染下における低酸素刺激の影響－脳障害の予防に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤森敬也，安田俊，福田冬馬，経塚標，村田強志，平岩幹

令和4	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村田強志，福田冬馬，経塚標，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒，郷勇人，青柳良倫，金井祐二
令和4	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデルを用いた炎症胎仔のメタボローム、酸化度解析による病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田俊，村田強志，福田冬馬，平岩幹，藤森敬也

災害医療支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	発達期の脳の臨界期とGABA調節因子の役割：麻酔薬の鎮静と毒性作用の解明に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西川光一

地域産婦人科支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宜

白河総合診療アカデミー

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮，長沼透，山田実，竹島太郎，栗田宜明
令和4	補助・助成	新たな高齢者向け包括的症状測定ツールSymTrak－健康指標としての意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹島太郎，濱口杉大
令和4	補助・助成	日本の高齢者の「人生の最終段階を見据えた話し合い」促進プログラム開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	宮下淳，福原俊一，山本洋介，清水さやか

東白川整形外科アカデミー

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱﨑道之，紺野愼一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一

疼痛医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和4	補助・助成	運動がマクロファージを介して疼痛を誘発または減少するメカニズムの解明	科学研究費助成事業／特別研究員奨励費	日本学術振興会	林和寛（特別研究員）

生体機能イメージング講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	脳構造ネットワーク解析によるアルツハイマー病の超早期診断に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田博史

多発性硬化症治療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	厚生労働科学研究費補助金　難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	桑原聡，和泉唯信，磯部紀子，鵜沢顕之，荻野美恵子，海田賢一，河内泉，小池春樹，佐藤泰憲，清水優子，園生雅弘，竹内英之，田原将行，中島一郎，中辻裕司，中西恵美，中原　仁，新野正明，三澤園子，村井弘之，本村政勝，山村隆，横田隆徳，吉川弘明

低侵襲腫瘍制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	消化器癌手術後の合併症発生に関連する術者の手技要因を同定する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多通孝

令和4	補助・助成	右側閉塞性大腸癌における大腸ステントの長期予後	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	宮川哲平

心臓調律制御医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	心房細動における"epicardial connection"の病態的意義の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金城貴士

ヒト神経生理学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	新規非侵襲的脳刺激が拓くネオ・リハビリテーションとそのシステム脳科学的解明	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	美馬達哉，小野弓絵，野嶌一平，桐本光，松橋眞生，植木美乃，小金丸聡子，宇川義一，福田敦夫，大須理英子，北城圭一
令和4	補助・助成	神経可塑性を用いた神経変性疾患の臨床的指標の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	花島律子，宇川義一，清水崇宏
令和4	国内共同研究	人工神経接続を用いた非侵襲的脊髄磁気刺激による脊髄損傷者の歩行再建		東京都医学総合研究所	西村幸男，宇川義一

総合内科・臨床感染症学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	日本紅斑熱における新たな媒介生物としてのヤマビルとその吸血被害の実態	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	山藤栄一郎

周産期間葉系幹細胞研究講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	誘導体化イメージングMSを軸とした抗うつ作用を示すテアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修，三浦至，前島裕子
令和4	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸斉，安村誠司，前田正治，桃井真帆，瀬藤乃理子，竹林唯，堀越直子，佐藤秀樹，後藤紗織

令和4	補助・助成	妊娠可能年齢女性への葉酸サプリメント投与によるワンカーボン代謝動態の総合的評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤久美子，福岡秀興，川端輝江
令和4	補助・助成	オキシトシン受容体を介した抗老化および寿命延伸作用の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	前島裕子
令和4	企業からの受託研究	国内の小児血友病A患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第VIII因子Fc融合タンパク質（rFVIIIFc）製剤の有用性を検討する多施設観察研究（Fc Adolescent and Children Treatment study （FACTs））		サノフィ株式会社	菊田敦，他

癌集学的治療地域支援講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	河野浩二，松本拓朗，中嶋正太郎，三村耕作
令和4	補助・助成	食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中嶋正太郎，河野浩二，三村耕作
令和4	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之，河野浩二，中嶋正太郎
令和4	国内共同研究	低線量被曝が腫瘍随伴マクロファージの分化・機能に及ぼす影響	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	中嶋正太郎，神沼修

アスタチン核種治療研究講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用療法患者における腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行，吉本由哉，三村耕作
令和4	補助・助成	放射線治療における免疫応答性に関わる体細胞変異のトランスレーショナルリサーチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村田和俊，尾池貴洋，吉本由哉

令和4	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプシー開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉，尾池貴洋，田巻倫明，鈴木義行，三村耕作

甲状腺治療学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	遺伝子発現解析を用いた術前甲状腺濾胞癌診断の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岩舘学，松本佳子，鈴木眞一
令和4	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一
令和4	補助・助成	血中ctDNAを用いた小児甲状腺癌再発マーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木眞一，岩舘学

救急・生体侵襲制御学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	救急救命士による病院前ブドウ糖投与の現状記述と時系列/横断的分析による制度評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	橋本克彦

地域婦人科腫瘍学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	子宮体癌におけるFBXW7-AURKA経路を標的とした新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡辺尚文，遠藤雄大，古川茂宜
令和4	補助・助成	接着分子CLDN12は子宮頸癌と子宮体癌の診断マーカー・新規治療標的となりうるか	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤雄大
令和4	補助・助成	子宮内膜癌におけるCLDN9発現の生物学的・臨床病理学的意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小島学

看護学部

総合科学部門　言語学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	英語の関係詞節と関係詞の指示特性に関する意味的・語用論的原理の記述的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中山仁

総合科学部門　行動科学分野（心理学）

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子，三澤文紀，矢原隆行，安保寛明

総合科学部門　行動科学分野（社会学）

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	子ども・若者支援従事者の専門性構築の課題と展望　「支援の重層性」の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二，井上大樹，宮崎隆志，上野景三，石井山竜平，帆足哲哉，立柳聡，深作拓郎，水野篤夫，中田周作，津富宏，川野麻衣子，大串隆吉，南出吉祥，大村恵，藤田美佳
令和4	補助・助成	高齢化コミュニティにおける介護キンドレッドの地域性　八丈島と北信地方の比較研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	立柳聡

総合科学部門　保健情報学・疫学分野

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや，岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋結
令和4	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子，後藤あや，吉田和樹，津富宏，佐々木美恵，渡邉一代
令和4	補助・助成	ベトナム人糖尿病患者の血糖コントロールとヘルスリテラシーの関連に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川博英，後藤あや，郡山千早，湯浅資之

令和4	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉一代，後藤あや，石井佳世子
令和4	補助・助成	保護者用乳幼児スキンケア評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子，後藤あや
令和4	補助・助成	精神科患者の生活習慣病予防・改善を目的としたタイプ別食生活指導プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡部聡子，後藤あや，本間杏菜，根本絢香，伊藤慎也，高橋徹
令和4	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや，熊谷敦史，村上道夫，植田紀美子
令和4	国際共同研究	Ethically Researching Health and Disasters: 3.11 and Beyond	Butterfield Awards for UK-Japan collaboration in medical research and public health practice	The Great Britain Sasakawa Foundation	Abeysinghe S，後藤あや，尾崎章彦，Lloyd Williams A，Leppold C

生命科学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸，関亦明子，伊関憲
令和4	補助・助成	小児緩和ケアの対象となる子どものQOL向上に向けた看護師教育プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	松岡真里，名古屋祐子，古橋知子，田村恵子，奈良間美保，平田美佳，岡崎伸，笹月桃子，石浦光世，有田直子，川合弘恭，竹之内直子
令和4	補助・助成	アミラーゼ分泌能を可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸
令和4	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和4	補助・助成	Ab initio法を活用した造血系腫瘍におけるlncRNAの統合的機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森努，合山進

令和4	補助・助成	がん支持療法創出を目指した可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子，関亦正幸

基礎看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗，稲毛映子，中野裕紀，丸谷美紀，川島理恵，蓬田美保
令和4	補助・助成	保護者用乳幼児スキンケア評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子，後藤あや
令和4	補助・助成	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	林紋美
令和4	補助・助成	要介護者に対する疾患別リハビリテーションから維持期・生活期リハビリテーションへの一貫したリハビリテーション手法の確立研究	厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）	厚生労働省	三上幸夫，田島文博，久保俊一，三上靖夫，川﨑敬，幸田剣，大川裕行，上西啓裕，篠原博，黒田るみ，浅枝諒，下川敏雄
令和4	補助・助成	看護学教員のキャリア・アンカーに関する実態の解明	育成研究	福島県立医科大学	川島理恵
令和4	学内共同研究	外来における２型糖尿病患者に対する看護師の関わりの実態	令和4年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学	丸山育子，林紋美，河野聡子，武田百合子

成人・老年看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	乳がん体験者の生活の再構築を促進する包括的な長期リハビリケアプログラムの効果	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	佐藤冨美子，石田孝宣，吉田詩織
令和4	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和4	補助・助成	肺切除患者のセルフ-エフィカシー基盤型看護リハビリテーションプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	片桐和子，菅野久美

令和4	補助・助成	看護師のアセスメントプロセスの可視化に基づくAIを活用した学習支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤みほ，宮川祥子，井庭崇，佐藤菜保子，藤村朗子
令和4	補助・助成	婦人科がん外科的閉経後の健康リスクの予防を目的とした継続教育のフォローアップ効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井上水絵
令和4	補助・助成	がん薬物療法における災害看護実践シミュレーション教育プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅野久美，今津陽子
令和4	補助・助成	高齢心不全患者と家族のAging in Placeを支える心不全緩和ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本祐子，山手美和，大崎瑞恵
令和4	補助・助成	膵癌細胞に発現したCRH系ペプチドは癌の進行と情動に介在するか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤菜保子，鈴木貴，海野倫明，元井冬彦
令和4	補助・助成	高齢糖尿病患者への外来看護実践に関する質指標の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤史子，結城美智子，鄭佳紅，坂本祐子
令和4	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子，堀内輝子，木下美佐子，高橋香子，片桐和子，山田智恵里
令和4	補助・助成	施設入所高齢者の入浴時刻の違いによる体温の経時的変化と睡眠覚醒状態の比較	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐々木千佳
令和4	補助・助成	薬局で看護活動をするファーマシー・ナースの役割と有用性の検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本幸子

小児・精神看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子，三澤文紀，矢原隆行，安保寛明
令和4	補助・助成	重度・慢性精神障害者の適応行動を維持・拡大するための看護介入モデルの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤利憲

令和4	補助・助成	摂食障害思考に基づく行動に対するセルフケア能力向上を目指した看護アプローチの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吾妻陽子，大川貴子
令和4	補助・助成	教育現場における遺児支援の構築に向けた介入ツールの開発と検証に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤利憲
令和4	補助・助成	精神障がいピアサポーターと専門職者が共同創造する地域移行支援モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田村達弥

地域・公衆衛生看護学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	幼児の「健康をつくる力」育成にむけたアクションを支援するWEBシステムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	世良喜子，安ヶ平伸枝，高瀬佳苗，鶴見仁美，後藤佳子
令和4	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗，稲毛映子，中野裕紀，丸谷美紀，川島理恵，蓬田美保
令和4	補助・助成	COVID-19による労働環境変化が学校教員の健康状態や健康関連行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秦暁子，各務竹康，日高友郎，高橋香子
令和4	補助・助成	幼児の「健康をつくる力」の看護師と保育士の連携・協同育成モデルの提示	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	世良喜子，後藤佳子，安ヶ平伸枝，若澤弥生，高瀬佳苗，西山里利，畦上恭彦，飯島典生，下泉秀夫，野呂千鶴子
令和4	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子，堀内輝子，木下美佐子，高橋香子，片桐和子，山田智惠里

母性看護・助産学部門

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	本邦の出生コホート研究成果の地域周産期医療・母子保健への導入に向けた基盤構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西郡秀和，篠原好江，森美由紀，渡邉まどか
令和4	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子，後藤あや，吉田和樹，津富宏，佐々木美恵，渡邉一代

令和4	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉一代，後藤あや，石井佳世子
令和4	補助・助成	成人学習理論に基づく父親の育児行動促進のための周産期の看護介入プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山口咲奈枝，藤田愛，佐藤幸子，遠藤由美子
令和4	補助・助成	妊産婦の食生活支援に有用な評価ツールの開発：日本版FBCの信頼性と妥当性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田愛，山口咲奈枝
令和4	学内共同研究	コロナ禍において対面式両親学級に参加する受講者のニーズを満たすプログラムの検討	令和4年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学	渡邉まどか，山口咲奈枝

保健科学部
理学療法学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	ノイズ電気刺激を用いた感覚入力変調による歩行能力の改善	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	青木修，大谷啓尊，森下慎一郎
令和4	補助・助成	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	椿淳裕，渡邊博昭，堀田一樹，森下慎一郎，池上諒，大西秀明
令和4	補助・助成	経頭蓋直流電気刺激により改善する遷延性意識障害例の神経基盤の解明と刺激法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	阿部浩明，根本清貴，山口智史
令和4	補助・助成	身体的要因と心理的要因との相互作用に基づく高齢者の転倒・骨折リスク評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	上出直人，柴喜崇
令和4	補助・助成	乳幼児期の発達障害児における目標志向型療育プログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	楠本泰士，友利幸之介，高橋恵里
令和4	補助・助成	脳卒中片麻痺に対するスティック型簡易上肢機能訓練機器の開発	科学研究費助成事業／基盤研究	日本学術振興会	酒井弘美，楠本泰士

令和4	補助・助成	同種造血細胞移植の再発率低下を目指したリハビリテーション法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴崎康彦，森下慎一郎，増子正義
令和4	補助・助成	デイサービス利用者の重度化防止を目指した介護スキームの開発と実証	科学研究費助成事業／基盤研究	日本学術振興会	柴喜崇，安齋紗保理，植田拓也，有阪直哉，新井武志
令和4	補助・助成	低出生体重で生まれた子どもの運動が不器用な要因の分析と運動指導の開発	科学研究費助成事業／基盤研究	日本学術振興会	松田雅弘，北原エリ子，儀間裕貴，楠本泰士，新田收
令和4	補助・助成	血液がん患者の免疫活性に特化した運動療法プログラムの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究	日本学術振興会	森下慎一郎，椿淳裕
令和4	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和4	補助・助成	地域在住高齢者の転倒要因となる足部形態による運動機能の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横塚美恵子
令和4	補助・助成	基本的運動能力、機能的動作能力の解析から学童期野球選手の障害因子を解明する	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤康裕
令和4	補助・助成	リアルタイム・荷重フィードバックが下肢人工関節置換後の歩行能力に及ぼす効果の検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野渡達哉
令和4	補助・助成	人工知能による歩行・歩容解析を用いた早期フレイルと認知機能との関連解析	2021年度（第48回）調査研究助成	大和証券ヘルス財団	太田康之，伊関千書，佐藤裕康，猪狩龍佑，近藤敏行，星真行，山田茂樹，青柳幸彦
令和4	補助・助成	遠隔支援を行う子どもコホート調査の立ち上げと子どもと保護者に対する健康支援プロ グラムの効果検証	令和3年度（第34回）研究助成金	公益財団法人中冨健康科学振興財団	楠本泰士
令和4	補助・助成	地域在住乳がんサバイバーのリンパ浮腫軽減と健康関連QOLの調査		公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団	森下慎一郎
令和4	補助・助成	経頭蓋直流電気刺激により反応性が改善する遷延性意識障害例の脳内特性解明	交通事故医療研究助成	一般社団法人日本損害保険協会	阿部浩明，根本清貴，山口智史，村石健治，関慎太郎，大鹿糠徹

作業療法学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	認知症のBPSDに対するデータマイニングに基づく行動パターン解析に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	木村大介，冨山直輝，山田和政，大歳太郎，倉澤茂樹，能登谷晶子
令和4	補助・助成	脳卒中者のIADL支援を推進する革新的予後予測モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	五百川和明，藤田貴昭，曽根稔雅
令和4	補助・助成	災害被災者の精神的健康に働きかける地域での対人交流プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石川陽子，林博史，曽根稔雅，籔脇健司
令和4	補助・助成	模倣時の脳活動と眼球運動の同時計測による自閉スペクトラム症児の評価・介入法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大歳太郎，倉澤茂樹，中井靖，木村大介
令和4	補助・助成	rt-PA治療効果の医療介護連携に関するプロセス、アウトカム評価指標の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柿沼倫弘，藤田貴昭，大夛賀政昭，岩本哲哉
令和4	補助・助成	辺縁系優位型加齢性TDP-43脳症（LATE)の臨床画像病理学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川勝忍，林博史，國井泰人，小林良太
令和4	補助・助成	高等学校の通級指導における協働：作業療法士によるコンサルテーション・モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	倉澤茂樹，立山清美，塩津裕康，田中善信
令和4	補助・助成	レビー小体病のアミロイド蓄積時期の同定－抗Aβ療法提案に向けた縦断的調査研究－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林良太，川勝忍，林博史，森岡大智
令和4	補助・助成	フレイル高齢者および家族介護者に対する自助・互助に基づいた支援体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	曽根稔雅，菅原由美
令和4	補助・助成	発達障害の特性と支援に関する知識尺度の開発と研修モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中善信，倉澤茂樹
令和4	補助・助成	自閉スペクトラム症児の食に関する行動障がいへの支援法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中岡和代，丹葉寛之，倉澤茂樹，立山清美

令和4	補助・助成	相乗効果とカットオフ値に焦点化した早期自立を促進する戦略的リハビリテーション指針	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田貴昭，五百川和明，曽根稔雅
令和4	補助・助成	反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳－脊髄の可塑的変化の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	浅尾章彦
令和4	補助・助成	内発的動機づけが主観的価値に基づく目的指向行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川﨑伊織
令和4	補助・助成	地域高齢者の作業に関するヘルスリテラシー尺度の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川又寛徳
令和4	補助・助成	脳卒中ADLリハの標準化－介入すべき機能と目標値を個別に導き出す客観的指標の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	藤田貴昭
令和4	補助・助成	BPSDおよび介護負担低減に向けたコミュニケーションツール実践マニュアルの開発	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	木村夏実
令和4	補助・助成	地域リハビリテーションの効果的な提供に資する指標開発のための研究	長寿科学政策研究事業	厚生労働省	菊地尚久，田中康之，鈴木英樹，五百川和明
令和4	補助・助成	福島県浜通りに居住する女性高齢者の災害時の避難行動意図に関する調査研究	地域課題調査・研究委託事業	公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構福島県男女共生センター	浅尾章彦，川又寛徳，石川陽子，五百川和明
令和4	補助・助成	労働者のメンタルヘルス不調の自覚方法と専門スタッフへの相談や受診との関連	産業医学・産業保健調査研究助成制度	公益財団法人福島県労働保健センター	石川陽子，林博史，曾根稔雅，五百川和明
令和4	補助・助成	神経筋疾患患者の作業遂行能力と自己認識に関する研究	一般社団法人宮城県作業療法士会研究助成	一般社団法人宮城県作業療法士会	川﨑伊織
令和4	補助・助成	造血器腫瘍患者の化学療法による上肢・手の機能、日常生活活動及び生活の質に関する調査	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	五百川和明，藤田貴昭

令和4	補助・助成	介護老人保健施設入所者における入院リスクの予測モデルの開発	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	藤田貴昭，笠原龍一，山本優一，神保良平，蛯名葉月，大河内香奈，本田至，西山和貴
令和4	国内共同研究	利用者とセラピスト間の意思決定プロセスにおける力の共有関係支援ガイドの開発	日本作業行動学会研究助成制度	日本作業行動学会	丁子雄希，斎藤佑樹，川又寛徳，小林隆司

診療放射線科学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	小細胞肺癌の細胞系譜転写因子ASCL1関連シグナル分子について	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	伊藤隆明，佐藤陽之輔，永原則之，藤野孝介，長谷川功紀，山口知也
令和4	補助・助成	頭頸部癌に対するBNCT投与線量適正化のための第一相線量増加臨床試験	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	高井良尋，佐藤まり子，廣瀬勝己，加藤貴弘
令和4	補助・助成	PET/MRI装置専用精度管理ファントムの開発と安全性試験ガイドラインの策定	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	高橋康幸，細川翔太，三輪建太，右近直之
令和4	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史，大葉隆，佐藤久志，佐藤健一，保田浩志，井山慶大
令和4	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和4	補助・助成	MRI標準化を目指した非混合型のT1・T2値模擬ファントムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	五月女康作，佐藤英介，只野喜一
令和4	補助・助成	深層学習による腫瘍構造を反映したホウ素濃度推定法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤英介，山本哲哉，磯辺智範，三輪建太，堀拳輔
令和4	補助・助成	呼吸循環フィットネスを評価する新しい指標の多角的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	里中綾子，鈴木伸治，寺田恭子，山品博子
令和4	補助・助成	系統差から見出す痒みの個体差の遺伝的基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高浪景子，小出剛，長谷川功紀

令和4	補助・助成	CT検査における多発脳動脈瘤を有するくも膜下出血の破裂瘤特定支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋規之
令和4	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之，紺野愼一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和4	補助・助成	顎骨定量SPECTの施設間標準化(ハーモナイゼーション)を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秦浩信，北川善政，平田健司，三輪建太，今待賢治，佐藤淳，松坂方士，浅香卓哉
令和4	補助・助成	アスリートを対象とした脳・骨格筋活動に関する MRS/PET代謝イメージング研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤本敏彦，久保均，田代学，伊藤浩
令和4	補助・助成	最新のデジタル半導体PET装置に対応した心臓動態ファントムの開発と撮像技術の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	孫田惠一，山品博子，納谷昌直，平田健司
令和4	補助・助成	視線解析に基づくマンモグラフィ撮影時のポジショニング技術の可視化と技術伝承	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山品博子
令和4	補助・助成	近赤外線による非侵襲的な脳内薬物濃度測定法(ケミカルNIRS)の開発と臨床評価	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	田代学，久保均，石川大太郎，藤井智幸，渡部浩司，松原佳亮
令和4	補助・助成	金属メッキ糸の織布を利用した次世代型2次元個人線量計の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	大葉隆
令和4	補助・助成	脳画像を用いた神経病理学的な知見を統合したアルツハイマー病診断法の開発・評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三輪建太
令和4	補助・助成	ラオスにおける放射線医療機器の品質・安全管理技術の向上を目的とした技術研修	令和4年度医療技術等国際展開推進事業	厚生労働省	石田隆行，山品博子，奥田保男，對間博之，坂井上之，赤津俊哉
令和4	補助・助成	災害対応者の業務姿勢に影響を与える因子の検討－多様な職種におけるコミュニケーターの育成を目指して	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	高村昇，長谷川有史，大葉隆

令和4	補助・助成	原発事故後における健康とWell-being のモニタリングへの市民参加の効果に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点トライアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	保田浩志，折田真紀子，大葉隆
令和4	補助・助成	福島県内のホールボディカウンター装置の経年変化（劣化）における6年間の多施設連携調査とその精度管理法の提案	令和4年度拠点プロジェクト研究費	ふくしま国際医療科学センター	菅野修一，角田和也，長谷川有史，坪倉正治
令和4	補助・助成	MRI画像診断に用いる擬似検体の商品化可能性調査事業	福島ファンド	福島市	五月女康作
令和4	補助・助成	X線CT装置の線質測定を目的とした新しい器具の開発	企業研究	東洋メディック	福田篤志
令和4	補助・助成	X線透視・撮影時の被ばく防護を目的とした新しい防護プロテクタの開発および改良	企業研究	保科製作所	福田篤志
令和4	補助・助成	小型線量計の使用法拡張に関する研究	共同研究	長瀬ランダウア	福田篤志
令和4	補助・助成	水晶体用線量計のエネルギー依存性を補正する手法の開発	神戸常磐大学2022年度テーマ別研究	神戸常磐大学	市川尚，福田篤志，林拓磨
令和4	補助・助成	3Dプリンタを用いた部位別ヒト型MRIファントムの開発	令和4年度戦略的学内研究推進事業（実用化分野）	福島県立医科大学	五月女康作
令和4	補助・助成	現代のMRI受信コイル構成に対応できる新しい感度特性評価方法の研究開発	保健科学部学部共同研究事業	福島県立医科大学	五月女康作，丹治一，髙橋悠馬，石川寛延，久保均
令和4	国内共同研究	福島県外のライフイベントを迎える世代に向けた放射線リスクコミュニケーションモデルの構築と実践	令和4年度放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	五月女康作，久保均，三輪建太，佐藤久志，大葉隆，広藤喜章，山品博子，坪倉正治，佐藤英介，江口有一郎，前川直哉，田代雅美，山尾天翔，三枝高大
令和4	国内共同研究	放射線リテラシーに関するクラスター判定式の開発と介入効果検証	令和4年度放射線の健康影響に係る研究調査事業	環境省	五月女康作，三枝高大

令和4	国内共同研究	MRI検査におけるアイメイクなどの化粧品が画像と人体に及ぼす影響に関する調査研究	学術研究班	日本放射線技術学会	星由紀子，立石敏樹，矢部邦宏，五月女康作，曽根理，木村智圭，阿部沙紀
令和4	国内共同研究	生殖腺防護に関する検討	放射線防護委員会研究班	日本放射線技術学会	根岸徹，五十嵐隆元，竹井泰孝，広藤喜章，廣瀬悦子，松原孝祐
令和4	学内共同研究	みまもる健康アプリを活用した保健医療従事者が帰還住民を支援するための具体的な方策の提案	令和4年度保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	広藤喜章，藤田恭啓，中野裕紀，大平哲也，後藤あや
令和4	その他	金属メッキ糸の織布を利用した次世代型2次元個人線量計の開発	企業研究	ミツフジ株式会社福島工場共同研究室	大葉隆

臨床検査学科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ，小島隆生
令和4	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とバイオマーカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英，大河原浩，深津真彦，池添隆之
令和4	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌（GBS）の検出－全自動遺伝子解析装置への応用－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦里織，豊川真弘，志村浩己
令和4	補助・助成	直接経口抗凝固薬（DOAC）に対する血中モニタリング法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森山雅人，松田将門，齋木琢郎，緒方元気，日比野浩，西條康夫
令和4	補助・助成	慢性痛と腸内細菌叢、および血中PGC1αの関連と集学的治療の効果に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	矢吹省司，三浦里織，錫谷達夫
令和4	補助・助成	心不全における腹部臓器血流と腸内細菌叢に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣
令和4	補助・助成	血栓形成を調節するヒートショックプロテイン７２の生理的メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木英明

令和4	補助・助成	O型糖鎖修飾による乳癌関連分子の機能制御機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高橋一人
令和4	補助・助成	血流感染症における新規迅速診断法の開発と重症度判定の臨床的有用性の評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	丹野大樹
令和4	補助・助成	アルツハイマー病モデルマウスを用いたO型糖鎖によるタウ病変の制御機構の解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	飯島順子
令和4	補助・助成	血管内皮型アミロイドβ前駆体タンパク質の翻訳後修飾と生体内運命への理解と医療応用	革新的先端研究開発支援事業	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	北爪しのぶ
令和4	補助・助成	白血病関連遺伝子変異を有する血球が血栓症を惹起する機序の解明とバイオマーカーの開発	2022年度　第30回研究助成金	公益財団法人黒住医学研究振興財団	三浦里織，植田航希，池田和彦
令和4	補助・助成	新規モデルマウスを駆使した認知症発症予防に向けた基礎研究		テルモ生命科学振興財団	北爪しのぶ
令和4	補助・助成	骨髄系細胞活性化に伴う心血管疾患におけるALK1およびAPP770の役割	令和4年度福島医大研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	三浦里織，植田航希，池田和彦
令和4	補助・助成	Liquid-based cytologyを用いた子宮頸部腫瘍性病変に対するp16とki-67の免疫細胞化学二重染色における解析	令和4年度保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	梅澤敬，橋本優子，添田周
令和4	補助・助成	糖鎖修飾による癌関連分子の機能制御機構の解明	令和4年度保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	高橋一人，北爪しのぶ，橋本優子
令和4	補助・助成	遺伝子変異を持つ血球細胞の心血管系疾患発症への関与解明	令和4年度保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	三浦里織，植田航希，池田和彦
令和4	補助・助成	抗血小板薬薬効評価に有用となる新規バイオマーカー候補の臨床サンプルを用いた検討	令和4年度保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	三浦里織，小島隆生，北爪しのぶ
令和4	国内共同研究	生化学的視点から捉えた癌、循環器系および神経変性疾患に関する研究		市立函館病院	高橋一人，下山則彦

令和4	国内共同研究	夜間高度の低酸素状態を呈する閉塞型睡眠時無呼吸症候群（OSAS）患者での十分な CPAP 治療が心房細動につながる不整脈を抑制できるかの検討	国内共同研究	AADHERE studyグループ	義久精臣，三阪智史，安藤真一

総合科学

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	放射線誘発バイスタンダー効果の進化的保存性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	有吉健太郎，葛西宏介
令和4	補助・助成	技能統合型ライティングにおける形成的評価ルーブリックの具体的提案と妥当性検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久保田恵佑
令和4	補助・助成	アニオン安定化置換基の隣接位におけるキラルカルバニオンの発生と捕捉	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐々木道子
令和4	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史
令和4	補助・助成	放射線被ばくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦富智，葛西宏介，有吉健太郎，山城秀昭
令和4	補助・助成	役割語分析で英語のアカデミックライティングスキル向上を目指す地域貢献型PBL	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田尚子，Blake John，Pyshkin Evgeny
令和4	国内共同研究	野生動物細胞におけるバイスタンダー効果の解析	共同研究	放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点	有吉健太郎
令和4	国内共同研究	いきいき百歳体操と救急搬送率との関連解析	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子，安達隆

附属病院長

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	心臓－骨髄関連と細胞間クロストークを基軸とした心不全の分子機構	公立大学法人福島県立医科大学令和4年度研究支援事業	育成研究　公立大学法人福島県立医科大学	竹石恭知
令和4	補助・助成	特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省	竹石恭知
令和4	補助・助成	循環器病対策推進基本計画に基づいた都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	厚生労働省循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	厚生労働省	竹石恭知
令和4	補助・助成	慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	難治性疾患実用化研究事業	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	竹石恭知
令和4	補助・助成	緊急被ばくに対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点　トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点	石田隆史，竹石恭知
令和4	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点　トライアングルプロジェクト	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同　放射線災害・医科学研究拠点	竹石恭知，石田隆史

患者サポートセンター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之，河野浩二，中嶋正太郎

ふたば救急総合医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	肺動脈性肺高血圧症の内皮間葉分化転換におけるDNA損傷応答とTGF-βの役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本浩一，石田隆史，三阪智史

令和4	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮，長沼透，山田実，竹島太郎，栗田宜明
令和4	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉和之，大谷晃司，紺野愼一
令和4	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦，杉本浩一，三阪智史，横川哲朗

総合内科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	新たな高齢者向け包括的症状測定ツールSymTrakー健康指標としての意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹島太郎，濱口杉大

小児外科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	壊死性腸炎に対する臍帯由来間葉系幹細胞による治療効果の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中秀明，新開統子，清水裕史，南洋輔
令和4	補助・助成	肝組織由来スフェロイド（LTOSs）を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丸橋繁，武藤亮，鈴志野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉

小児腫瘍内科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	同種免疫反応を起点とした抑制性がん微小環境の克服および抗腫瘍免疫誘導機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘，佐野秀樹，小林正悟，高橋信久，大原喜裕

歯科口腔外科

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	口腔扁平上皮癌における肝X受容体異常リン酸化の診断治療標的としての可能性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金子哲治，杉本幸太郎

集中治療部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	吸入麻酔薬投与デバイスを用いた重症呼吸不全患者の換気量制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎貴大
令和4	補助・助成	褐色脂肪細胞及びベージュ脂肪細胞の個体差が周術期体温に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井石雄三
令和4	補助・助成	中脳辺縁系ドパミン神経系の減弱は慢性痛および注意欠陥多動性障害と関連があるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	本田潤

総合周産期母子医療センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	ヒト胎盤オルガノイドチップによる妊娠高血圧症の病態分子メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	吉野大輔，郷勇人，船本健一
令和4	補助・助成	腎障害後の線維化に対する骨髄間葉系幹細胞移植による腎再生分子メカニズムの機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川崎幸彦，久米庸平，郷勇人，前田亮
令和4	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	経塚標，山口明子，安田俊，藤森敬也
令和4	補助・助成	酸化ストレスに着目した溶血性尿毒症症候群モデルマウスの腎障害進展機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久米庸平，郷勇人，前田亮，陶山和秀
令和4	補助・助成	体液エクソソームを用いた新生児慢性肺疾患の発症予測とmiR-21制御の治療効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷勇人，橋本浩一
令和4	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生仔マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤真紀，郷勇人，桃井伸緒，橋本浩一，吉野大輔
令和4	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本浩一，細矢光亮，郷勇人，佐藤晶論
令和4	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒，郷勇人，青柳良倫，金井祐二

令和4	補助・助成	難治性致死性疾患である亜急性硬化性全脳炎への治療法開発のための基礎的研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	前田創

生殖医療センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	男性下部尿路機能障害の疾患特異的な包括的病態把握と革新的治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小島祥敬，佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，関根英治，胡口智之，赤井畑秀則，星誠二，松岡香菜子，本田瑠璃子，小林和人，片岡政雄

臨床研究教育推進部

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	trajectoryとEMAによるステロイド有害事象の機序解明と予防アプリ開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	栗田宜明，菊地裕絵，宋龍平，矢嶋宣幸，佐田憲映，下島恭弘，石川雄一，脇田貴文，柴垣有吾
令和4	補助・助成	IT社会の医療情報が医療トラストに与えるメカニズムの解明:若年膠原病を対象として	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	栗田宜明，脇田貴文，矢嶋宣幸，宋龍平，佐田憲映，下島恭弘，吉見竜介
令和4	補助・助成	疫学を中心とした学際的アプローチに基づく医学論文査読の実証分析と教育への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史，片岡裕貴，マスワナ紗矢子，荒牧英治，金丸敏幸，水本篤，栗田宜明
令和4	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を目指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史，福原俊一，小島祥敬，脇田貴文，栗田宜明
令和4	補助・助成	透析症状の測定と管理をガイドするアプリ開発：日々の症状・活動量・社会参加への着眼	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河原崎宏雄，栗田宜明，西脇宏樹，脇田貴文，柴垣有吾
令和4	補助・助成	腎代替療法選択におけるSDMの質評価法の確立とその決定因子の臨床疫学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴垣有吾，脇田貴文，祖父江理，栗田宜明，河原崎宏雄
令和4	補助・助成	全県的データベースを利用したCOVID-19の増悪危険因子の経時的な解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光，大前憲史，伊関憲，栗田宜明

令和4	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮，長沼透，山田実，竹島太郎，栗田宜明
令和4	補助・助成	機械学習による経時的なQOL変化、及び質調整生存年(QALY)の予測に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山本洋介，大前憲史，後藤匡啓
令和4	補助・助成	「医療機関およびチーム医療へのトラスト」の測定と応用：持続可能な医療体制をめざす	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	栗田宜明，脇田貴文，次橋幸男，川口崇，矢嶋宣幸，柴垣有吾
令和4	補助・助成	慢性疾患での受容段階スケールの開発と実用化：受容－ホープ－セルフケアの機序解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	栗田宜明
令和4	補助・助成	尿路結石疼痛発作リスク予測モデルの開発		日本尿路結石症学会	大前憲史
令和4	補助・助成	医療×気象ビッグデータ解析に基づく尿路結石疼痛発作リスク予測アルゴリズムの開発・検証		公益財団法人 ひと・健康・未来研究財団	大前憲史
令和4	補助・助成	米国FDAによる医薬品迅速承認の実態調査：特に非がん治療関連薬に注目して		公益財団法人 医療科学研究所	大前憲史
令和4	補助・助成	評価表現分析で読み解く医学論文査読者の嗜好と思考：査読自動化へ向けた基盤研究		公益財団法人 カシオ科学振興財団	大前憲史

性差医療センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	哺乳動物卵管の存在意義：その微小環境が受精卵に及ぼす影響のメタボローム的分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	荒木慶彦，吉武洋，小宮ひろみ

大学健康管理センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	国内共同研究	成人期注意欠如多動性障害の診断用バイオマーカーの開発：マルチモーダルアプローチ	研究助成	ヤンセンファーマ株式会社	矢部博興（研究責任者），板垣俊太郎（主任研究者）

総合科学教育研究センター　人文社会科学系領域

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	子ども・若者支援従事者の専門性構築の課題と展望　「支援の重層性」の視点から	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二，井上大樹，宮崎隆志，上野景三，石井山竜平，帆足哲哉，立柳聡，深作拓郎，水野篤夫，中田周作，津富宏，川野麻衣子，大串隆吉，南出吉祥，大村恵，藤田美佳
令和4	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子，三澤文紀，矢原隆行，安保寛明
令和4	補助・助成	技能統合型ライティングにおける形成的評価ルーブリックの具体的提案と妥当性検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久保田恵佑
令和4	補助・助成	高齢化コミュニティにおける介護キンドレッドの地域性　八丈島と北信地方の比較研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	立柳聡
令和4	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史
令和4	補助・助成	役割語分析で英語のアカデミックライティングスキル向上を目指す地域貢献型PBL	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田尚子，Blake John，Pyshkin Evgeny

総合科学教育研究センター　自然科学系領域

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや，岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋結
令和4	補助・助成	放射線誘発バイスタンダー効果の進化的保存性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	有吉健太郎，葛西宏介
令和4	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子，後藤あや，吉田和樹，津富宏，佐々木美恵，渡邉一代

令和4	補助・助成	精神科患者の生活習慣病予防・改善を目的としたタイプ別食生活指導プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡部聡子，後藤あや，本間杏菜，根本絢香，伊藤慎也，高橋徹
令和4	補助・助成	核酸－金属複合体の合成・構造・機能：DNA超分子錯体と蛍光性Agナノクラスター	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小野晶，近藤次郎，山田亮，藤原章司，田中好幸，鳥越秀峰，大樂武範
令和4	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや，熊谷敦史，村上道夫，植田紀美子
令和4	補助・助成	アニオン安定化置換基の隣接位におけるキラルカルバニオンの発生と捕捉	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐々木道子
令和4	補助・助成	保護者用乳幼児スキンケア評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子，後藤あや
令和4	補助・助成	三元素ハイブリッド機能触媒を基盤とした高効率酸化変換の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田辺真
令和4	補助・助成	Pin(2)モノポール方程式と4次元トポロジー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中村信裕
令和4	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開康一，松浦弘泰，石井康之
令和4	補助・助成	放射線被ばくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦富智，葛西宏介，有吉健太郎，山城秀昭
令和4	補助・助成	ベトナム人糖尿病患者の血糖コントロールとヘルスリテラシーの関連に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川博英，後藤あや，郡山千早，湯浅資之
令和4	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉一代，後藤あや，石井佳世子
令和4	補助・助成	高規則化構造を目指した三元合金サブナノ磁石の創成	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井田由美

令和4	補助・助成	ポリマー保護サブナノ銅粒子による二酸化炭素還元触媒の高性能化	一般研究助成	公益財団法人小笠原敏晶記念財団	田辺真，山元公寿，梁天賜
令和4	国際共同研究	Ethically Researching Health and Disasters: 3.11 and Beyond	Butterfield Awards for UK-Japan collaboration in medical research and public health practice	The Great Britain Sasakawa Foundation	Abeysinghe S，後藤あや，尾崎章彦，Lloyd Williams A，Leppold C
令和4	国内共同研究	野生動物細胞におけるバイスタンダー効果の解析	共同研究	放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点	有吉健太郎
令和4	国内共同研究	いきいき百歳体操と救急搬送率との関連解析	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子，安達隆

医療人育成・支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	自然言語に対する人工知能技術適用による心理療法支援システムの開発	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(B)	日本学術振興会	竹林由武，青木俊太郎，中島俊
令和4	補助・助成	A Q-methodology international multiphase study exploring cultural differences in the understanding of professionalism and leadership in medical education comparing Japanese and UK contexts	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	Stanyon M，色摩弥生，大谷晃司
令和4	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司，関口美穂，小野玲，紺野愼一
令和4	補助・助成	DEXA法による筋量検査を用いた、腰部脊柱管狭窄における術前評価の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林洋，大谷晃司，紺野愼一
令和4	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生，橋本優子，池添隆之

令和4	補助・助成	健康の社会的決定要因に対する医療系学生の理解・活用能力：尺度構成と関連要因の探求	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅原亜紀子，春日秀朗，小林元，石川和信
令和4	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂，竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野愼一，福原俊一
令和4	補助・助成	集団的アプローチにもとづく漫画動画を利用したストレスマネジメント介入の評価研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀内聡，岡村尚昌，岩野卓，瀧井美緒，青木俊太郎
令和4	補助・助成	医学生のアンプロフェッショナル行動予防プログラム開発～演じる事による気付きから～	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	諸井陽子
令和4	補助・助成	医学生・医療人のためのソーシャルメディア利用に関する教育プログラム開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	諸井陽子，石川和信，小林元
令和4	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邉和之，大谷晃司，紺野愼一
令和4	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	中島俊，藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和4	補助・助成	医師に求められるプロフェッショナリズムを醸成する地域体験実習の構築	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	安田恵，色摩弥生，大谷晃司，坂本信雄
令和4	補助・助成	疼痛性障害に対する行動活性化療法の脳画像評価と治療効果予測因子の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	青木俊太郎
令和4	補助・助成	ロコモディブシンドロームとメタボリックシンドローム、認知症、ペリオスチンの相互関係についての探索的検討	日本整形外科学会学術プロジェクト	日本整形外科学会	森本忠嗣，馬渡正明，大谷晃司，出原賢治，紺野愼一，島ノ江千里，吉原智仁，戸田雄，小林孝巨
令和4	補助・助成	地域における慢性痛やロコモと自己効力との関係の検討	令和4年度福島県立病院医学研究補助金	福島県	増子遼介，大谷晃司

看護師特定行為研修センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和4	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和4	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤直哉，見城明
令和4	国内共同研究	看護職及び特定行為研修修了者による医行為の実施状況の把握・評価のための調査研究	厚生労働科学研究費補助金　地域医療基板開発推進研究事業	厚生労働省	永井良三，村上礼子，川上勝，前原正明，見城明，飯室聡，釜萢敏，木澤晃代

地域医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦
令和4	補助・助成	時空間内包型数理的解析手法によるがん細胞のクロナリティの新たな理解	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	植村元秀，井元清哉，片山琴絵，山口類

ふくしま子ども・女性医療支援センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	栄養環境改善（プレコンセプションケア）による妊孕性向上の分子機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	太田邦明，髙橋俊文
令和4	補助・助成	災害時の産科医療教育プログラムと妊産婦行動支援のための情報ツールの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	神保正利，髙橋俊文，太田邦明
令和4	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅沼亮太，髙橋俊文

令和4	補助・助成	産婦人科診療における地域格差の定量的検討－医療ビッグデータとGISを用いた解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	髙橋俊文，太田邦明
令和4	補助・助成	壊死性腸炎に対する臍帯由来間葉系幹細胞による治療効果の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中秀明，新開統子，清水裕史，南洋輔
令和4	補助・助成	本邦の出生コホート研究成果の地域周産期医療・母子保健への導入に向けた基盤構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西郡秀和，篠原好江，森美由紀，渡邉まどか
令和4	補助・助成	発達障害や虐待による行動異常の悪化を予防する、切れ目のない支援を支える手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横山浩之，小林淳子，富澤弥生

放射線医学県民健康管理センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや，岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋結
令和4	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里，中野裕紀，大平哲也
令和4	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸斉，安村誠司，前田正治，桃井真帆，瀬藤乃理子，竹林唯，堀越直子，佐藤秀樹，後藤紗織
令和4	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲包括的術前遺伝子検査によるリスク評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己，松本佳子，鈴木聡，鈴木眞一
令和4	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗，稲毛映子，中野裕紀，丸谷美紀，川島理恵，蓬田美保
令和4	補助・助成	日本における個人の境界線に焦点を当てた多様性教育の研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	水木理恵，出口真紀子，平山亮，小川公代，熊本理抄
令和4	補助・助成	中国医学の観点を取り入れた食事調査法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長尾匡則

令和4	補助・助成	脳卒中発症リスク要因としての長期避難生活が及ぼす影響に関する疫学研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀
令和4	補助・助成	脳卒中発症例をレセプトから抽出する機械学習予測モデルの開発と検証	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀
令和4	補助・助成	東日本大震災後の生活習慣病予防を目的とした潜在性脂肪肝スクリーニング指標の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林史和
令和4	補助・助成	受援力向上と減災：災害時に誰かに助けてもらうためのツール「DARECA」の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	針金まゆみ
令和4	補助・助成	福島第一原発事故の処理水放出に関する周辺住民の不安に関連する要因の解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	折田真紀子

健康増進センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	精神障害者当事者が参加する隔離・拘束を減らすためのプログラムの効果の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅美智，吉川隆博，深澤舞子，末安民生
令和4	補助・助成	統合失調症へのスティグマと医学教育や心理社会的因子との関連に関する疫学研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	片岡茉莉子

先端臨床研究センター

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	18F標識プローブの高効率マイクロスケール自動合成プラットフォームの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	岩田錬，高橋和弘，原田龍一
令和4	補助・助成	腎放射活性を低減するradiotheranostic薬剤の新規設計	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	上原知也，高橋和弘，田中浩士
令和4	補助・助成	原発性アルドステロン症における新治療戦略ー安全かつ高奏功な根本治療の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	絹谷清剛，小川数馬，川井恵一，小林正和，鷲山幸信，岡沢秀彦，清野泰，米田隆，米谷充弘

令和4	補助・助成	ナトリウム共役能動輸送型糖輸送体を標的としたセラノスティクス薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林正和，玉井郁巳，国嶋崇隆，川井恵一，西井龍一，鷲山幸信，水谷明日香
令和4	補助・助成	PET/MRI装置専用精度管理ファントムの開発と安全性試験ガイドラインの策定	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	高橋康幸，細川翔太，三輪建太，右近直之
令和4	補助・助成	がん幹細胞をターゲットとしたα線放出核種を用いた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	趙松吉，池添隆之，西嶋剣一，高橋和弘，鷲山幸信，杉山暁，右近直之，織内昇，粟生木美穂
令和4	補助・助成	多価効果と代謝性リンカーの融合による革新的核医学治療薬の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	水野雄貴，上原知也，安井博宣，西嶋剣一
令和4	補助・助成	標的アルファ線治療におけるプレターゲティング法の最適化と複数がん種への適応	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	鷲山幸信，高橋和弘，杉山暁，山下雄史，右近直之，横山明彦，趙松吉，巽俊文，粟生木美穂
令和4	補助・助成	個別化医療を志向したがんに選択的なチミジンホスホリラーゼイメージング技術の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秋澤宏行，宿里充穂，久下裕司，趙松吉，尾江悟，水野雄貴
令和4	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩，小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和4	補助・助成	血管新生因子PD-ECGFを標的としたAt-211標識治療用放射性薬剤の基礎検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西嶋剣一，久下裕司，趙松吉，水野雄貴
令和4	補助・助成	アスタチン化学のフロンティア解明と医学とのシナジー	科学研究費助成事業／挑戦的研究(開拓)	日本学術振興会	高貝慶隆，鷲山幸信，高橋和弘
令和4	補助・助成	新規α線イメージング手法による核医学治療の組織吸収線量測定法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	右近直之
令和4	補助・助成	新規PSMA標的放射性薬剤の開発－18Fと211Atとの生物学的同等性の攻略	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	城寳大輝
令和4	補助・助成	アスタチン-211標識化合物の自動合成装置開発に向けた固相カートリッジ開発	JST　A-STEP／産学共同（育成型）	科学技術振興機構	松永茂樹，高橋和弘
令和4	補助・助成	固相法によるアスタチン標識化合物自動合成装置の開発	医療機器等研究成果展開事業	日本医療研究開発機構（AMED）	小川美香子，松永茂樹，樋口博紀，志賀哲，高橋和弘

令和4	補助・助成	At-211 MABGの褐色細胞腫/パラガングリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第I相試験	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	小早川雅男，志賀哲，伊藤浩，高橋和弘
令和4	補助・助成	がん微小環境代謝ネットワークを制御するAIセラノスティクス	次世代がん医療加速化研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	大澤毅，相川光介，杉山暁，島村徹平，内田広夫，檜顕成，林真路，高橋和弘
令和4	補助・助成	膵臓がんに対する高LETアルファ線医学治療の最適化に資する研究	次世代がん医療加速化研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）	藤井博史，小嶋基寛，鷲山幸信，吉井幸恵
令和4	補助・助成	RIによるがん治療の効果と安全性に関する研究	助成事業	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団	織内昇，趙松吉，阿部悠，吉田光明
令和4	国内共同研究	健康成人男性及び前立腺癌患者を対象としたMPS200PSMA-Ga自動合成装置で製造されたGa-68　PSMA-11注射液の安全性、薬物動態、及び内部被ばく線量の評価と有効性の探索を目的とした第I/IIa相試験		住友重機械工業株式会社	志賀哲，織内昇，伊藤浩，高橋和弘
令和4	国内共同研究	前立腺特異膜抗原（PSMA: Prostate Specific Membrane Antigen）による診断・治療に関する研究		AMS企画	志賀哲
令和4	国内共同研究	I-131の後発医薬品開発		AMS企画	志賀哲

会津医療センター　漢方医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	鍼治療を活用した保存期慢性腎臓病に対する新規治療戦略の検討	令和4年度研究支援事業	福島県立医科大学	畝田一司
令和4	国内共同研究	漢方医学的所見と漢方処方の関連を検証する前向き観察研究	共創の場形成支援プログラムCOI-NEXT	国立研究開発法人科学技術振興機構	三潴忠道，畝田一司，金子彰
令和4	国内共同研究	新型コロナウィルス感染症（COVID-19）罹患後の後遺症症状（Long COVID）に対する漢方薬治療の効果と安全性についての実態調査	学校法人北里大学研究所COVID-19対策北里プロジェクト	北里大学東洋医学総合研究所	三潴忠道，畝田一司，金子彰

令和4	国内共同研究	漢方製剤「補中益気湯」が血液透析患者の倦怠感・健康関連QOLに与える効果の検討			畝田一司,三潴忠道,栗田宜明,本田和也,齋藤龍史,長谷川浩司,橋本重厚,栗城実,入澤千晶,入澤千晴,鈴木浩一,玉木信

会津医療センター　精神医学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	損傷脳からみた日本語の神経基盤に関する統合的研究　ー個体差から個別化医療へー	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	鈴木匡子，川勝忍，菅野重範，大沢伸一郎，中里信和，鈴木麻希
令和4	補助・助成	レビー小体病のアミロイド蓄積時期の同定ー抗Aβ療法提案に向けた縦断的調査研究ー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林良太，川勝忍，林博史，森岡大智
令和4	補助・助成	辺縁系優位型加齢性TDP-43脳症（LATE)の臨床画像病理学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川勝忍，林博史，國井泰人，小林良太
令和4	国内共同研究	認知症者における抑うつ・無気力に対する治療法に関するエビデンス構築を目指した研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症政策研究	厚生労働省	井原一成，川勝忍，他
令和4	国内共同研究	反応性アストログリオーシスを定量化する新規画像バイオマーカーの研究開発	認知症疾患の層別化に資する脳画像解析技術・バイオマーカーの開発	AMED国立研究開発法人日本医療研究開発機構	田代学，川勝忍，他

会津医療センター　小腸・大腸・肛門科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	T-DXdがHER2陽性胃癌における抗腫瘍免疫応答に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	芦澤舞
令和4	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明，遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和4	補助・助成	染色体不安定性により生じる免疫制御遺伝子の不活化と免疫逃避機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎，岡山洋和，芦澤舞

会津医療センター　外科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳，鈴木弘行
令和4	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆，佐瀬善一郎，齋藤拓朗，丸橋繁，見城明

会津医療センター　整形外科・脊椎外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	担当研究者
令和4	学内共同研究	ロコモティブシンドロームの発生および増悪因子に関する探索的研究			白土修

会津医療センター　耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	タイトル	制度名	提供機関	担当研究者
令和4	補助・助成	機能性食品による抗酸化、免疫賦活化作用を介した聴覚障害予防の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川洋，錫谷達夫

Ⅳ　産業財産権の設定の登録一覧

生化学講座／法医学講座／脳神経外科学講座／保健科学部　臨床検査学科

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	橋本康弘，北爪しのぶ，星京香，藤井正純，村上友太，山ノ井優	グリオーマ検出用バイオマーカー	WO2020/004528 特許第7046394号	2020年1月 2022年3月

基礎病理学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	Fukushima Medical University	Chiba H, Sugimoto K	A Biomarker for Predicting the Prognosis for An Endometrial Cancer Patient	20220018842	2022年1月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	千葉英樹，杉本幸太郎	女性ホルモン依存性がんの悪性度及び予後の判定のためのバイオマーカー	特開2022-72531(P2022-72531A)	2022年5月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	千葉英樹，小林信，杉本幸太郎	がんの予後バイオマーカー	WO/2022/154037	2022年7月

衛生学・予防医学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	橋本康弘	橋本康弘	アルツハイマー病病態鑑別用組み合わせマーカー及びそれを用いたアルツハイマー病病態鑑別方法	WO/2022/070798	2022年4月

循環器内科学講座／輸血・移植免疫学講座／附属病院長

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	池田和彦，三阪智史，竹石恭知	好中球抑制剤、及びクローン性造血の予防又は治療用医薬組成物	特開2022-112208(P2022-112208A)	2022年8月

消化器内科学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	国立大学法人東京医科歯科大学，公立大学法人福島県立医科大学	鬼澤道夫，渡辺守，浅川剛人，大平弘正	炎症性腸疾患の予防又は改善剤	WO/2022/080249	2022年4月

消化器内科学講座／リウマチ膠原病内科学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，独立行政法人国立病院機構	右田清志，大平弘正，八橋弘	自己免疫性肝炎を判定するためのバイオマーカー	特開2022-22635(P2022-22635A)	2022年2月

呼吸器外科学講座／医療情報部／会津医療センター　外科学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社，公立大学法人福島県立医科大学	鈴木弘行，樋口光徳，永田毅，佐野碧，岩渕耕平，山崎学，井高貴之	判定予測システム、判定予測方法及び判定予測プログラム	特開2022-50089(P2022-50089A)	2022年3月

乳腺外科学講座／医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	Fukushima Medical University	Watanabe S, Imai J, Ito E, Otake T, Abe N, Tachibana K	Internal Standard Gene	20220267856	2022年8月

病理病態診断学講座／生体物質研究部門

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	Homma M, Hashimoto Y, Homma Y, Hoshi General Hospital	Homma M, Nomizu T, Hashimoto Y, Kiko Y, Homma Y	Prognostic Biomarker of Cancer（癌の予後バイオマーカー）	WO/2021/132544 EP4083627	2022年11月 2021年7月

甲状腺治療学講座

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	Fukushima Medical University, Zenogen Pharma Co., Ltd	Yokouchi Y, Era T, Suzuki S	Method for Producing Cultured Cells	20220145267	2022年5月

保健科学部　診療放射線科学科

過年業績

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	番号	公開年月
特許	国立大学法人東京大学	五月女康作，小池進介，山城晶弘	分類プログラム、分類装置及び分類方法	特開2022-044508	2021年9月

小児腫瘍内科

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	Fukushima Medical University	Mochizuki K	Composition for Treatment and/or Prevention of Tumor	20220378872	2022年12月

先端臨床研究センター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
特許	国立大学法人東京工業大学，公立大学法人福島県立医科大学，大陽日酸株式会社	田中浩士，高橋和弘，粟生木美穂	放射性ハロゲン標識前駆体化合物	特開2022-110777 WO/2022/158442	2022年7月

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種類	出願人（機関）	発明者/考案者/創作者	産業財産権名	公開番号	公開年月
商標	公立大学法人福島県立医科大学		なんでもアレイ	第6619010号	2022年2月

福島県立医科大学業績集

令和４年

印刷発行　令和６年３月 21 日

編集発行　福島県立医科大学附属学術情報センター
福島市光が丘１番地
TEL 024(547)1684

印刷所　株式会社　阿　部　紙　工
福島市庄野字柿場１の 11
電話代表　024(593)5111